

がん研究会有明病院



年 報

2023 年



目 次

はじめに

1. 理念・基本方針	1
2. 2023 年の動き	3
3. 組織図	4
4. 職員数	7
5. 診療科と責任者	8
6. 学会認定・指定・施設基準等	12
7. 統計資料	18
外来・入院実績	19
疾患別入院患者数	20
地区別外来患者数（総数）	23
◆全国	23
◆東京都	24
病理検査	25
病理検査・細胞診検査件数	25
CT 検査件数・MRI 検査件数・核医学検査件数	26
内視鏡検査数・超音波検査数	27
手術件数	28
院内がん登録集計	29
①部位別・男女別件数	29
②診断時居住地別件数（東京都医療圏別内訳）	30
③主要 5 部位治療別件数	31
④治療別件数	32
⑤ステージ別件数	33
⑥部位別・年齢別件数	34
⑦症例区分別件数	35
8. 一般公開講座	36
9. 学会・研究発表業績	37
10. 雑誌・単行本発表業績	150
11. 獲得研究費一覧	254
12. 学術研究講演	258
13. 財政状況	259

はじめに

2023 年のがん研有明病院年報をお届けします（2017 年分から電子媒体のみで作成しています）。2020 年に COVID-19 の影響で激減した新規患者数は、2021、22 年と回復していましたが、2023 年はやや足踏み状態で、2019 年のレベルには戻りませんでした。同様の傾向は国内の多くのがん専門病院から聞こえてきます。コロナの影響が我が国のがん診療のあり方を変えつつあるのかもしれません。4 月に新規開設した脳腫瘍外科は、順調なスタートを切りました。原発性脳腫瘍の手術数はまだ少ないですが、院内の脳血管障害発症時の対応にも活躍してくれています。先進がん治療開発センターの活動が本格化し、早期臨床治験数が着実に増加しています。手術室の 4 台の da Vinci はフル稼働し、年間ロボット支援手術数が 1,000 例を超えました。がんゲノム医療中核拠点病院としての活動も順調で、遺伝子パネル検査数は確実に増加しています。私たちは、「がん克服をもって人類の福祉に貢献する」というがん研究会のミッション遂行のために、より良い診療とより多くの治療選択肢を患者さんに提供する努力を続けます。

2024 年 11 月

公益財団法人がん研究会 有明病院
病院長 佐野 武

1. 理念・基本方針

未来を担う理想のがん専門病院となるために、病院の理念・基本方針として次の**使命(Mission)**、共有する**価値観(Core Values)**、**将来展望(Vision)**を定めました。

これに基づき、私たちは最高の医療を提供するとともに、下記の「患者さんの権利」を尊重した、やさしく心の通った医療を実践してまいります。

◆基本理念

「がん研究会はがん克服をもって人類の福祉に貢献する」

この基本理念達成のために、がん研究会は 研究所、病院およびがん化学療法センター等を擁し

1. がんの本態と個性を明らかにし、がんの診断・治療・予防に貢献すると共に、生命科学の先端を開拓する。
2. 優れたがんの診断・治療を実践し、がんを治す。
3. がんの新薬と新しい診断・治療法を開発する。
4. がんの予防研究と一次・二次予防の実践により、がんの発生と死亡を抑える。
5. がんの研究・診療・予防の、国内および国際交流を促進する。

◆使命・価値観・将来展望

使 命	Mission	「がん克服をもって人類の福祉に貢献する」
価 値 観	Core Values	「創造・革新・高質・親切・協調」
将来展望	Vision	「がんの診療・研究において世界に誇るがん研となる」

◆基本方針

1. 新しいがん医療の創造に努めます
2. 安全かつ質の高いがん医療を提供します
3. 患者さん中心の親切ながん医療を行います
4. 臓器別診療に基づくチーム医療を実践します
5. 人間性豊かな医療人の育成に努めます

◆患者さんの権利

1. 常に人格が尊重され、尊厳が守られる権利があります。（個人の尊厳）
2. 高質で安全な医療を等しく受けることができます。（基本的人権）
3. 十分な説明と情報提供を受けることができます。（十分な説明と情報提供）
4. 自己の意思に基づいて診療を受けることができます。（治療の自己決定）
5. 自己の受けた診療内容を知ることができます。（情報公開）
6. 個人情報及び医療情報は十分に保護され秘密が守られます。（個人情報保護）
7. 診断および治療内容について他の医師の意見を求めることができます。（選択の自由）

例えば…

※診療を受けることも、拒否することもできます。

※一方、自己決定したことに対して責務が存在することもご理解ください。

※診療内容、診療記録等について知りたいときは説明・開示をお求めください。

なお、新しい治療法開発のために必要な臨床試験をお願いすることがありますのでご理解下さい。

◆こどもの権利

こどもたちは、

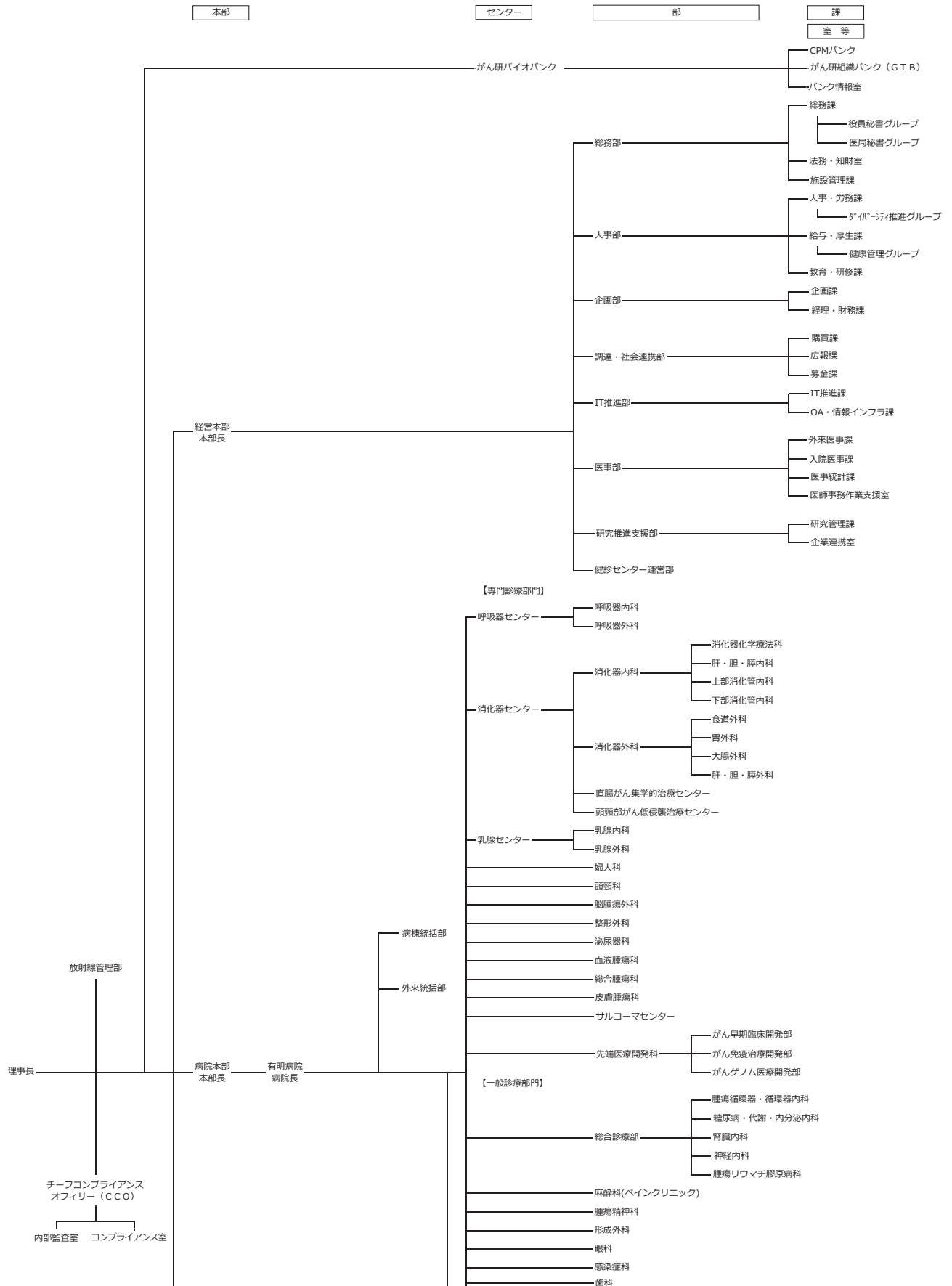
1. ひとりの人間として尊重され、いつでも安心して安全な治療を受けることができます。
2. 病気のことや病気を治していく方法について、それぞれの年齢や理解度にあわせて、十分な説明を受けることができます。
3. 病気を治していく方法について、自分で決めることができます。自分で決めることができないときは、代わりに家族の人に決めてもらうことができます。一度決めたことでも、いつでも変えることができます。
4. 病気のことや病気を治していく方法について、分からないことや不安なことがあるときは、いつでも分かりやすく教えてもらうことができます。
5. 病気のことや話したくないことを、ほかの人に知られたくないときは秘密にすることができます。
6. 年齢や症状にあわせて、あそび、レクリエーションに参加し、教育を受けることができます。
7. 病気や治療の研究に対して、それぞれの年齢や理解度にあわせて十分な説明を受けたうえで、協力するかどうかを自分で決めることができます。自分で決めることができないときは、代わりに家族の人に決めてもらうことができます。途中でやめたくなれば、いつでもやめることができます。

2. 2023 年の動き

- 1 月 4 日 がん研究会永年勤続者等表彰式が挙行される。
25 年勤続表彰者 8 名、10 年勤続表彰者 74 名、学術賞 1 名、特別賞 1 名、
チーム表彰 3 チーム、優良賞 6 名
- 1 月 25 日 がん研究会が、東京薬科大学と連携協定を締結。
- 3 月 7 日 Best English Paper of the Year の授賞式が挙行される。
ゴールド賞 1 名、シルバー賞 2 名、ブロンズ賞 4 名
- 3 月 8 日 がん研究会が、『健康経営優良法人 2023（大規模法人部門）』に認定される。
- 3 月 19 日 「がん研究会 チャリティーコンサート」を東京芸術劇場にて開催。
- 3 月 28 日 がんゲノム医療中核拠点病院 に指定される。
- 3 月 29 日 細胞検査士養成所の令和 5 年度入所式（総勢 13 名）が挙行される。
- 3 月 29 日 がん研有明病院が、虎の門病院との診療連携に関する協定を締結。
- 4 月 1 日 専門診療部門に脳腫瘍外科、中央診療部門に IVR センターを新設する。
- 4 月 1 日 日本胃癌学会認定施設 A として認定される。
- 6 月 16 日 第 26 回定時評議員会・第 126 回理事会が開催される。
- 10 月 26 日 細胞検査士養成所の令和 5 年度退所式（総勢 14 名）が挙行される。

3. 組織図

【2023年9月1日】



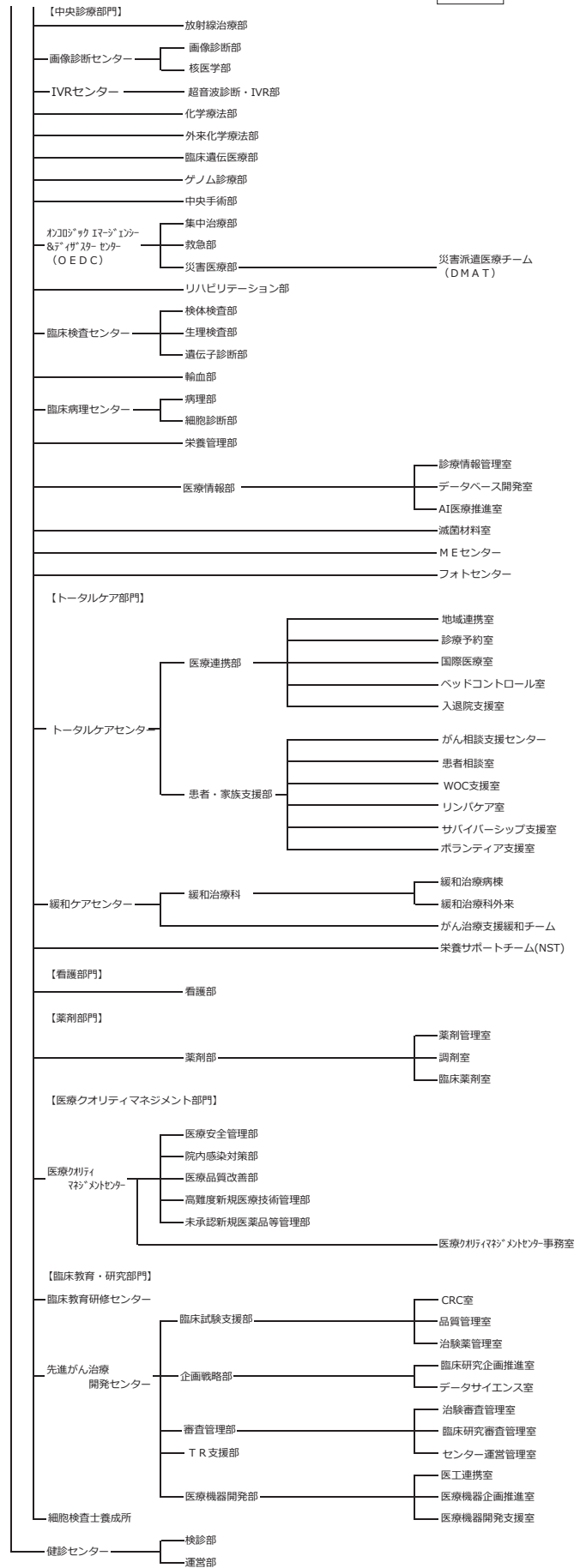
本部

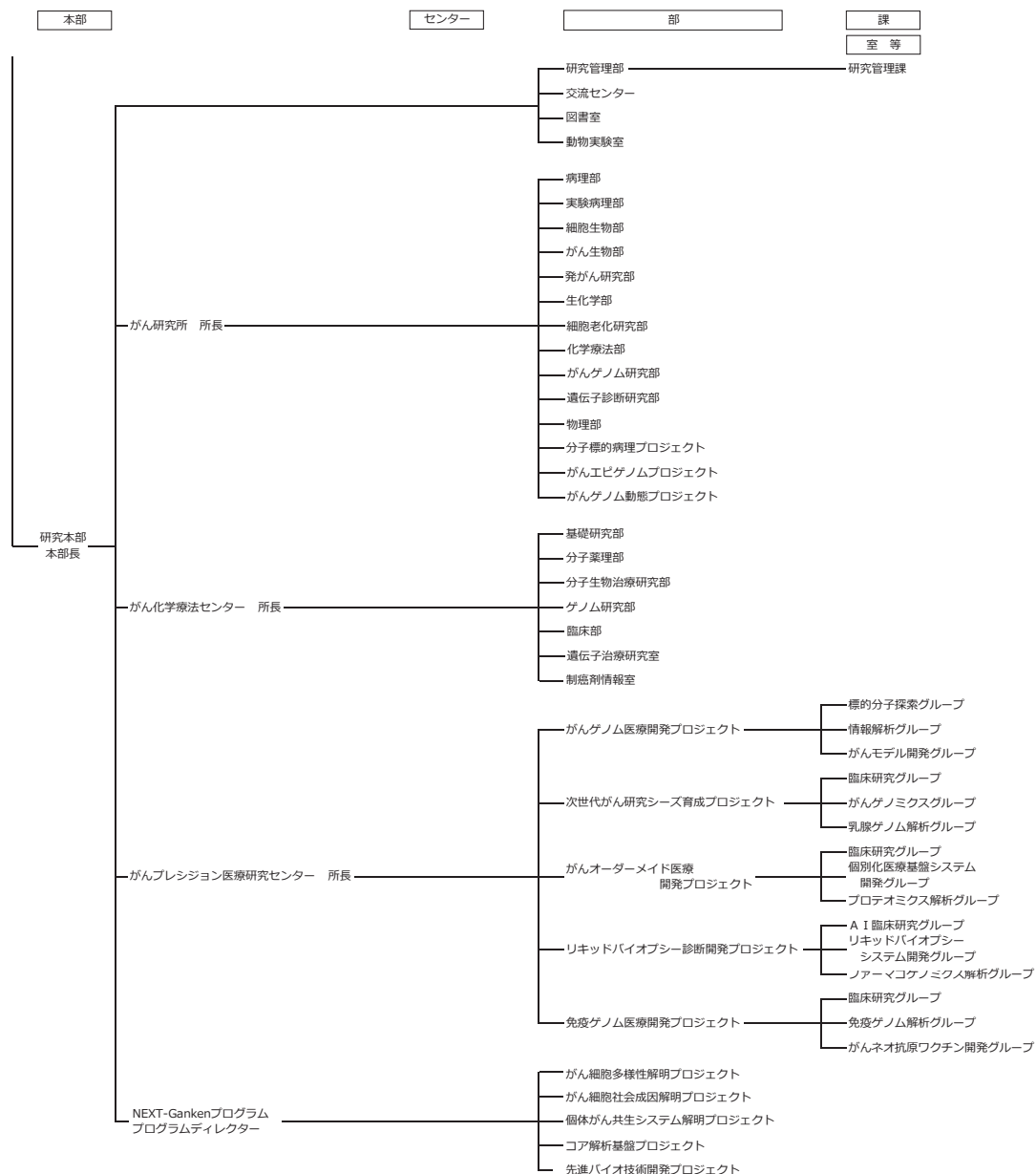
センター

部

課

室等





4. 職員数

【2023 年 12 月】

	事務部門	病院部門	研究部門	合計	非常勤職員
医師	1	378	0	379	117
薬剤師	0	71	0	71	1
看護師	0	828	0	828	6
臨床検査技師	0	84	0	84	5
臨床放射線技師	0	86	0	86	0
栄養士	0	17	0	17	0
事務職員	84	164	12	260	32
研究員	1	3	79	83	13
その他	0	201	76	277	49
計	86	1832	167	2085	223

5. 診療科と責任者

【2023 年 12 月 1 日】

名誉院長	武藤 徹一郎（消化器外科）・中川 健（呼吸器外科）・
病院長	山口 俊晴（消化器外科）
副院長	佐野 武（消化器外科）
	高橋 俊二（総合腫瘍科）・渡邊 雅之（消化器外科）・
	米瀬 淳二（泌尿器科）・山口 研成（消化器化学療法科）・
	清水 多嘉子（看護部）
院長補佐	陳 勁松（外来化学療法部）・高橋 祐（肝・胆・膵外科）・
	丸山 大（血液腫瘍科）・志賀 太郎（総合診療部）・
	高野 利実（乳腺内科）・布部 創也（胃外科）・
	笹平 直樹（肝・胆・膵内科）・奥村 栄（中央手術部）・
	山口 正和（薬剤部）・山本 晃史（人事部）
顧問	宝来 威（呼吸器内科）・五十嵐 正広（消化器内科）・
	松本 誠一（整形外科）・小口 正彦（医療情報部）
病棟統括部	部長 高橋 祐
外来統括部	部長 陳 勁松
呼吸器センター	担当部長 宮北 康二
呼吸器内科	センター長 西尾 誠人
	部長 西尾 誠人
呼吸器外科	副部長 柳谷 典子
	部長 文 敏景
	副部長 中尾 将之
	副部長 松浦 陽介
消化器センター	センター長 福長 洋介
消化器内科	部長 山口 研成
消化器化学療法科	部長 山口 研成
	副部長 篠崎 英司
	副部長 高張 大亮
肝・胆・膵内科	部長 笹平 直樹
	担当部長 尾阪 将人
	担当部長 佐々木 隆
上部消化管内科	部長 後藤田 卓志
	担当部長 平澤 俊明
	担当部長 由雄 敏之
	副部長 石山 晃世志
下部消化管内科	部長 斎藤 彰一
	副部長 千野 晶子
消化器外科	部長 渡邊 雅之
食道外科	部長 渡邊 雅之
胃外科	部長 布部 創也
	副部長 大橋 学
大腸外科	部長 福長 洋介
	副部長 秋吉 高志
肝・胆・膵外科	部長 高橋 祐
	副部長 井上 陽介
直腸がん集学的治療センター	センター長 秋吉 高志
頭頸部がん低侵襲治療センター	センター長 石山 晃世志

乳腺センター	センター長	上野 貴之
乳腺内科	部長	高野 利実
	副部長	小林 隆之
	副部長	原 文堅
乳腺外科	部長	上野 貴之
	副部長	坂井 威彦
婦人科	部長	金尾 祐之
	副部長	野村 秀高
	副部長	温泉川 真由
頭頸科	部長	三谷 浩樹
	副部長	福島 啓文
	副部長	佐々木 徹
脳腫瘍外科	部長	宮北 康二
整形外科	部長	阿江 啓介
泌尿器科	部長	米瀬 淳二
	担当部長	山本 真也
	担当部長	湯浅 健
	副部長	沼尾 昇
血液腫瘍科	部長	丸山 大
	副部長	三嶋 裕子
総合腫瘍科	部長	高橋 俊二
皮膚腫瘍科	部長	吉野 公二
サルコーマセンター	センター長	松本 誠一
先端医療開発科	部長	北野 滋久
がん早期臨床開発部	部長	古川 孝広
がん免疫治療開発部	部長	北野 滋久
がんゲノム医療開発部	部長	上野 貴之
総合診療部	部長	志賀 太郎
腫瘍循環器・循環器内科	部長	志賀 太郎
糖尿病・代謝・内分泌内科	部長	中山 耕之介
	副部長	北澤 公
腎臓内科	—	—
神経内科	—	—
腫瘍リウマチ膠原病科	—	—
麻酔科（ペインクリニック）	部長	寺嶋 克幸
	副部長	大里 彰二郎
	副部長	蛭名 稔明
腫瘍精神科	部長	清水 研
形成外科	部長	矢野 智之
	副部長	吉松 英彦
眼科	部長	辻 英貴
感染症科	部長	米瀬 淳二
歯科	部長	富塚 健
放射線治療部	部長	吉岡 靖生

画像診断センター	センター長	寺内 隆司
画像診断部	部長代行	寺内 隆司
	副部長	負門 克典
	副部長	菊池 真理
	副部長	山元 龍哉
核医学部	部長	寺内 隆司
	副部長	小山 眞道
	副部長	山元 龍哉
IVR センター	センター長	松枝 清
超音波診断・I V R 部	部長	松枝 清
化学療法部	部長	西尾 誠人
外来化学療法部	部長	陳 勁松
臨床遺伝医療部	部長	植木 有紗
ゲノム診療部	部長	高橋 俊二
中央手術部	部長	奥村 栄
オゾン・リサーチ・センター & デイ・ケアセンター (OEDC)	センター長	寺嶋 克幸
集中治療部	部長	寺嶋 克幸
	副部長	望月 俊明
救急部	部長	寺嶋 克幸
災害医療部	部長	寺嶋 克幸
リハビリテーション部	部長	阿江 啓介
臨床検査センター	センター長	中山 耕之介
検体検査部	部長	中山 耕之介
生理検査部	部長	中山 耕之介
遺伝子診断部	部長	森 誠一
輸血部	部長	三嶋 裕子
臨床病理センター	センター長	竹内 賢吾
病理部	部長	河内 洋
細胞診断部	部長	千葉 知宏
栄養管理部	部長	佐藤 崇文
	副部長	斎野 容子
	担当副部長	岡村 明彦
医療情報部	部長	小口 正彦
	副部長	鈴木 一洋
トータルケアセンター	センター長	渡邊 雅之
医療連携部	部長	渡邊 雅之
	副部長	伊藤 寛倫
	副部長	坂口 日登美
	副部長	川口 武史
患者・家族支援部	部長	高野 利実
緩和ケアセンター	センター長	松本 禎久
緩和治療科	部長	松本 禎久
看護部	部長	清水 多嘉子
	副部長	中原 由美子
	副部長	北野 雅子
	副部長	長井 優子
薬剤部	部長	山口 正和
	副部長	清水 久範
	副部長	山田 玲子

医療クオリティマネジメントセンター	センター長	米瀬 淳二
医療安全管理部	部長	山本 豊
院内感染対策部	部長	米瀬 淳二
	副部長	羽山 ブライアン
医療品質改善部	部長	望月 俊明
	副部長	水越 勝
高難度新規医療技術管理部	部長	高橋 祐
未承認新規医薬品等管理部	部長	山口 正和
臨床教育研修センター	センター長	高野 利実
先進がん治療開発センター	センター長	石崎 秀信
審査管理部	部長	樽野 弘之
	担当部長	日高 輝明
企画戦略部	部長	石崎 秀信
	副部長	安藤 聡美
臨床試験支援部	部長	丸山 大
TR 支援部	部長	渡邊 雅之
	副部長	今村 裕
医療機器開発部	部長	矢野 智之
	副部長	辛川 領
細胞検査士養成所	所長	千葉 知宏
健診センター	センター長	藤崎 順子
検診部	部長	宇津木 久仁子
	副部長	内田 靖子
運営部	部長	田中 正典

6. 学会認定・指定・施設基準等

1. 都道府県がん診療連携拠点病院の指定

がん研究会有明病院は、平成 14 年 3 月に厚生労働大臣から地域がん診療拠点病院の指定を受けておりましたが、その後の新たな制度下においても、継続して 2019 年 3 月に都道府県（東京都）がん診療連携拠点病院の指定を受けております。

2. 学会認定教育修練研修機関

当院は次の学会の認定医・専門医療制度の研修施設指定を受けております。

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1) 日本医学放射線学会 | 21) 日本乳癌学会 |
| 2) 日本病理学会 | 22) 日本臨床細胞学会 |
| 3) 日本内科学会 | 23) 日本形成外科学会 |
| 4) 日本外科学会 | 24) 日本放射線腫瘍学会 |
| 5) 日本消化器外科学会 | 25) 日本整形外科学会 |
| 6) 日本消化器内視鏡学会 | 26) 日本婦人科腫瘍学会 |
| 7) 日本麻酔科学会 | 27) 日本肝胆膵外科学会 |
| 8) 日本眼科学会 | 28) 日本がん治療認定医機構 |
| 9) 日本産科婦人科学会 | 29) 日本甲状腺学会 |
| 10) 日本泌尿器科学会 | 30) 日本頭頸部外科学会 |
| 11) 日本消化器病学会 | 31) 日本皮膚科学会 |
| 12) 日本臨床腫瘍学会 | 32) 日本総合病院精神医学会 |
| 13) 日本静脈経腸栄養学会 | 33) 日本感染症学会 |
| 14) 日本呼吸器学会 | 34) 日本救急医学会 |
| 15) 日本大腸肛門病学会 | 35) 日本消化管学会 |
| 16) 日本耳鼻咽喉科学会 | 36) 日本緩和医療学会 |
| 17) 日本超音波医学会 | 37) 日本集中治療医学会 |
| 18) 日本血液学会 | 38) 日本食道学会 |
| 19) 日本核医学会 | |
| 20) 日本ペインクリニック学会 | |

3. 施設基準の指定

がん研究会有明病院における関東信越厚生局長から指定を受けている基本診療料、特掲診療料等にかかる施設基準については、次の通りです。

基本診療料の施設基準

- 1) 初診料（歯科）の注 1 に掲げる基準
- 2) 歯科外来診療医療安全対策加算 1
- 3) 歯科外来診療感染対策加算 1
- 4) 初診料（医科）の注 16 及び初診料（歯科）の注 15 に規定する医療 DX 推進体制整備加算
- 5) 特定機能病院入院基本料 7 : 1 一告示注 1 1（入院栄養管理体制加算）
- 6) 救急医療管理加算
- 7) 診療録管理体制加算 2
- 8) 医師事務作業補助体制加算 1 30 : 1
- 9) 急性期看護補助体制加算 25 : 1
告示注 2 夜間 100 対 1・告示注 3 夜間看護体制加算・告示注 4 看護補助体制充実加算
- 10) 看護職員夜間配置加算 12 : 1 配置加算 1

- 11) 療養環境加算
- 12) 重症者等療養環境特別加算
- 13) 無菌治療室管理加算 1
- 14) 無菌治療室管理加算 2
- 15) 放射線治療病室管理加算（治療用放射性同位元素による場合）
- 16) 緩和ケア診療加算
- 17) 栄養サポートチーム加算
- 18) 医療安全対策加算 1
- 19) 感染対策向上加算 1—抗菌薬適正使用加算
- 20) 重症患者初期支援充実加算
- 21) 患者サポート体制充実加算
- 22) 報告書管理体制加算
- 23) 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
- 24) 後発医薬品使用体制加算 3
- 25) 病棟薬剤業務実施加算 1
- 26) 病棟薬剤業務実施加算 2
- 27) データ提出加算 2 及び 4
- 28) 入退院支援加算 1—入院時支援加算
- 29) せん妄ハイリスク患者ケア加算
- 30) 特定集中治療室管理料 3
告示注 4 早期離床・リハビリテーション加算・告示注 5 早期栄養介入管理加算
- 31) 緩和ケア病棟入院料 1

特掲診療料の施設基準

- 1) 外来栄養食事指導料の注 2 に規定する基準
- 2) 外来栄養食事指導料の注 3 に規定する基準
- 3) がん性疼痛緩和指導管理料
- 4) がん患者指導管理料イ
- 5) がん患者指導管理料ロ
- 6) がん患者指導管理料ハ
- 7) がん患者指導管理料ニ
- 8) 外来緩和ケア管理料
- 9) 小児運動器疾患指導管理料
- 10) 婦人科特定疾患治療管理料
- 11) 夜間休日救急搬送医学管理料—救急搬送看護体制加算
- 12) 外来放射線照射診療料
- 13) 外来腫瘍化学療法診療料 1—連携充実加算、がん薬物療法体制充実加算
- 14) 療養・就労両立支援指導料—相談支援加算
- 15) がん治療連携計画策定料
- 16) 薬剤管理指導料
- 17) 検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
- 18) 医療機器安全管理料 1
- 19) 医療機器安全管理料 2
- 20) 歯科治療時医療管理料
- 21) 遺伝学的検査
- 22) BRCA 1 / 2 遺伝子検査
- 23) がんゲノムプロファイリング検査
- 24) HPV 核酸検出及び HPV 核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
- 25) ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
- 26) 検体検査管理加算（Ⅰ）

- 27) 検体検査管理加算（Ⅳ）
- 28) 国際標準検査管理加算
- 29) 遺伝カウンセリング加算
- 30) 遺伝性腫瘍カウンセリング加算
- 31) ロービジョン検査判断料
- 32) 前立腺針生検法（MRI 撮影及び超音波検査融合画像によるもの）
- 33) 画像診断管理加算 1
- 34) 画像診断管理加算 2
- 35) ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
- 36) CT 撮影及び MRI 撮影
- 37) 冠動脈 CT 撮影加算
- 38) 心臓 MRI 撮影加算
- 39) 乳房 MRI 撮影加算
- 40) 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- 41) 外来化学療法加算 1
- 42) 無菌製剤処理料
- 43) ストーマ合併症加算
- 44) 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）
- 45) 運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
- 46) 呼吸器リハビリテーション料（Ⅱ）
- 47) 摂食機能療法の注 3 に規定する摂食嚥下機能回復体制加算 2
- 48) がん患者リハビリテーション料
- 49) リンパ浮腫複合的治療料
- 50) 集団コミュニケーション療法料
- 51) 歯科口腔リハビリテーション料 2
- 52) 硬膜外自家血注入
- 53) 導入期加算 1
- 54) CAD/CAM 冠及び CAD/CAM インレー
- 55) センチネルリンパ節加算
- 56) 自家脂肪注入
- 57) 組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る。）
- 58) 四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に規定する処理骨再建加算
- 59) 骨移植術（軟骨移植術を含む。）（同種骨移植（非生体）（同種骨移植（特殊なものに限る。））
- 60) 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
- 61) 骨悪性腫瘍、類骨骨腫及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法（一連として）
- 62) 内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術
- 63) 在宅腫瘍治療電場療法指導管理料の施設基準
- 64) 内視鏡下鼻・副鼻腔手術 V 型（拡大副鼻腔手術）及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術（頭蓋底郭清、再建を伴うもの）
- 65) 鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。）、
- 66) 鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。）（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）及び鏡視下喉頭悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 67) 鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
- 68) 乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術（一連につき）（MRI によるもの）
- 69) 頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
- 70) 乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及びセンチネルリンパ節生検（併用）（乳がんセンチネルリンパ節加算 1）
- 71) 乳がんセンチネルリンパ節加算 2 及びセンチネルリンパ節生検（単独）（乳がんセンチネルリンパ節加算 2）
- 72) 乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの）及び乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴うもの））
- 73) ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）

- 74) 胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 75) 胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 76) 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合）
- 77) 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 78) 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（気管支形成を伴う肺切除）
- 79) 胸腔鏡下肺切除術（区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるものに限る。）（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 80) 肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
- 81) 胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 82) 食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、小腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、結腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腎（腎盂）腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、尿管腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膀胱腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腔腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）
- 83) 大動脈バルーンパンピング法（IABP法）
- 84) 腹腔鏡下リンパ節群郭清術（後腹膜）
- 85) 腹腔鏡下リンパ節群郭清術（傍大動脈）
- 86) 腹腔鏡下リンパ節群郭清術（側方）
- 87) 腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開副腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開腎（尿管）悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
- 88) 腹腔鏡下十二指腸局所切除術（内視鏡処置を併施するもの）
- 89) 腹腔鏡下胃切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 90) 腹腔鏡下噴門側胃切除術（単純切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））及び腹腔鏡下噴門側胃切除術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
- 91) 腹腔鏡下胃全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 92) 腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢床切除を伴うもの）
- 93) 胆管悪性腫瘍手術（臍頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うものに限る。）
- 94) 腹腔鏡下肝切除術
- 95) 腹腔鏡下肝切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 96) 腹腔鏡下臍腫瘍摘出術
- 97) 腹腔鏡下臍体尾部腫瘍切除術
- 98) 腹腔鏡下臍体尾部腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 99) 腹腔鏡下臍頭部腫瘍切除術
- 100) 腹腔鏡下臍頭部腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 101) 腹腔鏡下臍中央切除術
- 102) 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
- 103) 腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 104) 腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術、低位前方切除術及び切断術に限る。）（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 105) 内視鏡的小腸ポリープ切除術
- 106) 骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
- 107) 腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
- 108) 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 109) 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
- 110) 腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
- 111) 人工尿道括約筋植込・置換術
- 112) 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
- 113) 腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法

- 114) 精巣温存手術
- 115) 腹腔鏡下腔式子宮全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 116) 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 117) 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る。）
- 118) 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮頸がんに限る。）
- 119) 胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）（医科点数表第 2 章第 10 部手術通則の 16 に規定する手術）
- 120) 医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 19 に規定する手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。）
- 121) 医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 19 に規定する手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術）
- 122) 輸血管理料 I
- 123) 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- 124) 胃瘻造設時嚥下機能評価加算
- 125) 歯周組織再生誘導手術
- 126) 麻酔管理料（Ⅰ）
- 127) 麻酔管理料（Ⅱ）
- 128) 放射線治療専任加算
- 129) 外来放射線治療加算
- 130) 高エネルギー放射線治療
- 131) 1 回線量増加加算
- 132) 強度変調放射線治療（IMRT）
- 133) 画像誘導放射線治療（IGRT）
- 134) 体外照射呼吸性移動対策加算
- 135) 定位放射線治療
- 136) 定位放射線治療呼吸移動対策加算
- 137) 画像誘導密封小線源治療加算
- 138) デジタル病理画像による病理診断
- 139) 病理診断管理加算 2
- 140) 悪性腫瘍病理組織標本加算
- 141) 口腔病理診断管理加算 2
- 142) クラウン・ブリッジ維持管理料
- 143) 鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。）（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）及び鏡視下喉頭悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 144) 看護職員処遇改善評価料 62

酸素及び窒素の価格

入院時食事療養(Ⅰ)の施設基準

実施報告が必要なもの

- 1) 特別の療養環境の提供の実施(変更)報告書
- 2) 病床数が 200 床以上の病院について受けた初診,再診の実施報告書
- 3) 180 日を超える入院の実施(変更)報告書
- 4) 金属床による総義歯の提供の実施報告書

3. その他の指定

- 1) 指定自立支援医療機関（更生医療・育成医療）
- 2) 生活保護法指定医療機関
- 3) 東京都災害拠点病院
- 4) 臨床研修指定病院
- 5) 都道府県がん診療連携拠点病院
- 6) 救急告示医療機関
- 7) 休日・全夜間診療事業実施医療機関（東京都指定二次救急医療機関）
- 8) 外国医師臨床修練病院
- 9) 日本医療機能評価機構認定病院
- 10) 労災指定病院
- 11) 特定機能病院
- 12) がんゲノム医療拠点病院

4. 外来の受付時間（初診・再診）

月～金曜日 午前 8 時 30 分～正午

5. 休診日

土曜・日曜・祝祭日・年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

6. 面会時間

平 日 : 午後 2 時～午後 8 時（総合案内／正面玄関手続き）
（ICU は午後 2 時 30 分～午後 7 時 30 分）

土・日・祝日 : 午前 10 時～午後 8 時（守衛室／救急時間外入口手続き）
（ICU は午前 10 時 30 分～午後 7 時 30 分）

7. 統計資料

外来・入院実績	19
疾患別入院患者数	20
地区別外来患者数（総数）	23
◆全国	23
◆東京都	24
病理検査	25
病理検査件数・細胞診検査件数	25
CT 検査件数・MRI 検査件数・核医学検査件数	26
内視鏡検査件数・超音波検査件数	27
手術件数	28
院内がん登録集計	29
①部位別・男女別件数	29
②診断時居住地別件数（東京都医療圏別内訳）	30
③主要 5 部位治療別件数	31
④治療別件数	32
⑤ステージ別件数	33
⑥部位別・年齢別件数	34
⑦症例区分別件数	35

外来・入院実績【2023 年 1 月～ 12 月】

科名	初診患者数	外来延患者数	入院患者数	延患者数
呼吸内	405	16,465	1,231	1,207
呼吸外	344	9,237	637	635
消化外	0	2	0	0
乳腺外	1,390	45,519	1,265	1,254
婦人科	1,510	36,460	2,446	2,418
頭頸科	866	28,503	654	650
整形外	1,018	10,586	710	703
泌尿器	865	30,069	1,642	1,635
総腫瘍	84	6,296	687	668
放射線	64	30,863	0	0
総内科	395	8,107	0	0
腫瘍精	127	2,768	0	0
眼科	301	4,390	42	42
皮膚科	447	6,551	271	263
歯科	1,633	8,845	0	0
形成外	63	10,144	413	414
麻酔科	35	1,814	0	0
救急部	340	623	11	2
緩和	64	1,910	96	345
放診断	4	177	0	0
健内科	9	3,948	0	0
遺伝診	14	676	0	0
血液腫	211	12,746	596	605
乳腺内	37	22,731	376	352
上消外	0	1	0	0
感染科	0	1	0	0
食道外	187	4,593	192	186
胃外科	338	9,193	501	494
大腸外	653	19,612	1,063	1,074
消化療	380	22,268	1,581	1,543
上消内	864	15,082	970	971
下消内	795	9,354	694	693
肝胆外	402	12,106	800	795
肝胆内	549	21,325	1,239	1,175
腫瘍循	345	2,689	0	0
内分泌	107	3,801	0	0
腎臓内	10	195	0	0
神経内	1	53	0	0
脳腫外	43	212	33	31
漢方サ	1	69	0	0
感染症	160	615	0	0
地域連	0	13	0	0
が相談	0	489	0	0
W O C	9	2,448	0	0
ゲノム	68	1,579	0	0
先端科	64	2,481	244	232
	15,202	427,609	18,394	18,387

疾患別入院患者数【2023 年】

退院患者延べ数(第10回国際疾病分類による)

病 名	男	女	合計
総数①+②+③	9,084	10,462	19,546
①悪性新生物(C00-C97)	7,756	8,736	16,492
口唇,口腔及び咽頭の悪性新生物(C00-C14)	585	173	758
C 00 口唇の悪性新生物	0	1	1
C 01 舌根〈基底〉部の悪性新生物	28	0	28
C 02 その他及び部位不明の舌の悪性新生物	93	41	134
C 03 歯肉の悪性新生物	21	33	54
C 04 口腔底の悪性新生物	11	0	11
C 05 口蓋の悪性新生物	11	2	13
C 06 その他及び部位不明の口腔の悪性新生物	15	5	20
C 07 耳下腺の悪性新生物	8	12	20
C 08 その他及び部位不明の大唾液腺の悪性新生物	18	19	37
C 09 扁桃の悪性新生物	5	1	6
C 10 中咽頭の悪性新生物	129	26	155
C 11 鼻<上>咽頭の悪性新生物	22	8	30
C 12 梨状陥凹<洞>の悪性新生物	80	11	91
C 13 下咽頭の悪性新生物	143	14	157
C 14 その他及び部位不明確の口唇,口腔及び咽頭の悪性新生物	1	0	1
消化器の悪性新生物(C15-C26)	3,683	2,409	6,092
C 15 食道の悪性新生物	893	268	1,161
C 16 胃の悪性新生物	766	446	1,212
C 17 小腸の悪性新生物	47	37	84
C 18 結腸の悪性新生物	543	594	1,137
C 19 直腸 S 状結腸移行部の悪性新生物	8	11	19
C 20 直腸の悪性新生物	536	388	924
C 21 肛門及び肛門管の悪性新生物	11	21	32
C 22 肝及び肝内胆管の悪性新生物	169	56	225
C 23 胆のう<嚢>の悪性新生物	21	44	65
C 24 その他及び部位不明の胆道の悪性新生物	140	73	213
C 25 膵の悪性新生物	543	471	1,014
C 26 その他及び部位不明確の消化器の悪性新生物	6	0	6
呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物(C30-C39)	1,025	750	1,775
C 30 鼻腔及び中耳の悪性新生物	4	11	15
C 31 副鼻腔の悪性新生物	18	12	30
C 32 喉頭の悪性新生物	24	5	29
C 33 気管の悪性新生物	0	0	0
C 34 気管支及び肺の悪性新生物	945	710	1,655
C 37 胸腺の悪性新生物	16	6	22
C 38 心臓,縦隔及び胸膜の悪性新生物	18	6	24
C 39 その他及び部位不明確の呼吸器系及び胸腔内臓器の悪性新生物	0	0	0
骨及び関節軟骨の悪性新生物(C40-C41)	106	64	170
C 40 (四)肢の骨及び関節軟骨の悪性新生物	48	24	72
C 41 その他及び部位不明の骨及び関節軟骨の悪性新生物	58	40	98
皮膚の黒色腫及びその他の悪性新生物(C43-C44)	126	98	224
C 43 皮膚の悪性黒色腫	56	39	95
C 44 皮膚のその他の悪性新生物	70	59	129

病 名	男	女	合計
中皮及び軟部組織の悪性新生物(C45-C49)	268	262	530
C 45 中皮腫	9	8	17
C 46 カポジ<Kaposi>肉腫	0	0	0
C 47 末梢神経及び自律神経系の悪性新生物	7	6	13
C 48 後腹膜及び腹膜の悪性新生物	42	149	191
C 49 その他の結合組織及び軟部組織の悪性新生物	210	99	309
乳房の悪性新生物(C50)	4	1,947	1,951
C 50 乳房の悪性新生物	4	1947	1,951
女性性器の悪性新生物(C51-C58)		2,036	2,036
C 51 外陰の悪性新生物		37	37
C 52 陰の悪性新生物		19	19
C 53 子宮頸(部)の悪性新生物		538	538
C 54 子宮体部の悪性新生物		640	640
C 55 子宮の悪性新生物,部位不明		0	0
C 56 卵巣の悪性新生物		742	742
C 57 その他及び部位不明の女性性器の悪性新生物		60	60
C 58 胎盤の悪性新生物		0	0
男性性器の悪性新生物(C60-C63)	611		611
C 60 陰茎の悪性新生物	11		11
C61 前立腺の悪性新生物	548		548
C62 精巣(睾丸)の悪性新生物	48		48
C63 その他及び部位不明の男性性器の悪性新生物	4		4
尿路の悪性新生物(C64-C68)	659	268	927
C 64 腎盂を除く腎の悪性新生物	102	46	148
C 65 腎盂の悪性新生物	58	20	78
C 66 尿管の悪性新生物	45	24	69
C 67 膀胱の悪性新生物	453	172	625
C 68 その他及び部位不明の泌尿器の悪性新生物	1	6	7
眼,脳及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物(C69-C72)	1	7	8
C 69 眼及び付属器の悪性新生物	1	5	6
C 70 髄膜の悪性新生物	0	0	0
C 71 脳の悪性新生物	0	2	2
C 72 脊髄,脳神経系及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物	0	0	0
甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物(C73-C75)	33	81	114
C 73 甲状腺の悪性新生物	33	80	113
C 74 副腎の悪性新生物	0	0	0
C 75 その他の内分泌腺及び関連組織の悪性新生物	0	1	1
部位不明確,続発部位及び部位不明の悪性新生物(C76-C80)	314	365	679
C 76 その他及び部位不明確の悪性新生物	0	0	0
C 77 リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物	37	45	82
C 78 呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物	188	183	371
C 79 その他の部位の続発性悪性新生物	59	108	167
C 80 部位の明示されない悪性新生物	30	29	59

病 名	男	女	合計
リンパ組織,造血組織及び関連組織の悪性新生物(C81-C96)	341	276	617
C 81 ホジキン〈HoDgkin〉病	4	8	
C 82 ろく瘰癧性〔結節性〕非ホジキン<non-HoDgkin>リンパ腫	37	44	81
C 83 びまん性非ホジキン<non-HoDgkin>リンパ腫	147	108	255
C 84 末梢性及び皮膚T細胞リンパ腫	30	6	36
C 85 非ホジキン<non-HoDgkin>リンパ腫のその他及び詳細不明の型	29	38	67
C 88 悪性免疫増殖性疾患	12	6	18
C 90 多発性骨髄腫及び悪性形質細胞腫瘍	47	29	76
C 91 リンパ性白血病	20	11	31
C 92 骨髄性白血病	15	26	41
C 93 単球性白血病	0	0	0
C 94 その他の細胞型の明示された白血病	0	0	0
C 95 細胞型不明の白血病	0	0	0
C 96 リンパ組織,造血組織及び関連組織のその他及び詳細不明の悪性新生物	0	0	0
独立した(原発性)多部位の悪性新生物(C97)	0	0	0
C 97 独立した(原発性)多部位の悪性新生物	0	0	0
②その他の新生物(D00-D48)	462	570	1,032
上皮内新生物(D00-D09)	0	24	24
子宮頸〈部〉の上皮内癌(再掲)		(4)	(4)
良性新生物(D10-D36)	205	214	419
性状不詳又は不明の新生物(D37-D48)	257	332	589
③その他	866	1,156	2,022
血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害(D50-D89)	16	31	47
循環器系の疾患(I 00- I 99)	64	56	120
呼吸器系の疾患(J 00- J 99)	103	36	139
消化器系の疾患(K 00- K 93)	332	295	627
尿路性器系の疾患(N 00- N 99)	94	376	470
その他	257	362	619

地区別外来患者数（総数）【2023 年 1 ～ 12 月】

◆全国

都道府県	再来患者数	実患者数		新患者数	
		件数	割合	件数	実患者数に対する割合
北海道	514	135	0.20%	39	28.89%
青森県	812	179	0.27%	47	26.26%
岩手県	240	62	0.09%	14	22.58%
宮城県	229	76	0.12%	13	17.11%
秋田県	366	76	0.12%	19	25.00%
山形県	343	80	0.12%	29	36.25%
福島県	1,584	330	0.50%	63	19.09%
茨城県	6,572	1,275	1.93%	300	23.53%
栃木県	1,921	350	0.53%	81	23.14%
群馬県	1,970	354	0.54%	81	22.88%
埼玉県	47,609	7,506	11.37%	1,623	21.62%
千葉県	63,574	9,439	14.30%	2,156	22.84%
東京都	240,172	35,461	53.72%	8,320	23.46%
神奈川県	48,587	7,598	11.51%	1,496	19.69%
新潟県	555	145	0.22%	34	23.45%
富山県	235	55	0.08%	6	10.91%
石川県	76	18	0.03%	2	11.11%
福井県	58	17	0.03%	5	29.41%
山梨県	1,534	310	0.47%	62	20.00%
長野県	1,634	321	0.49%	88	27.41%
岐阜県	172	42	0.06%	14	33.33%
静岡県	1,257	263	0.40%	51	19.39%
愛知県	469	129	0.20%	25	19.38%
三重県	203	46	0.07%	13	28.26%
滋賀県	164	13	0.02%	10	76.92%
京都府	198	48	0.07%	13	27.08%
大阪府	377	110	0.17%	13	11.82%
兵庫県	503	103	0.16%	17	16.50%
奈良県	35	13	0.02%	5	38.46%
和歌山県	185	42	0.06%	7	16.67%
鳥取県	43	9	0.01%	2	22.22%
島根県	122	19	0.03%	10	52.63%
岡山県	101	24	0.04%	8	33.33%
広島県	223	62	0.09%	17	27.42%
山口県	167	39	0.06%	5	12.82%
徳島県	121	28	0.04%	5	17.86%
香川県	134	32	0.05%	4	12.50%
愛媛県	75	28	0.04%	6	21.43%
高知県	141	29	0.04%	6	20.69%
福岡県	251	70	0.11%	10	14.29%
佐賀県	23	10	0.02%		0.00%
長崎県	91	21	0.03%	10	47.62%
熊本県	88	37	0.06%	9	24.32%
大分県	92	24	0.04%	5	20.83%
宮崎県	160	47	0.07%	17	36.17%
鹿児島県	368	54	0.08%	22	40.74%
沖縄県	362	73	0.11%	20	27.40%
未分類	2,901	806	1.22%	400	49.63%
	427,611	66,008	100.00%	15,202	23.03%

地区別外来患者数（総数）【2023 年 1 ～ 12 月】

◆東京都

	再来患者数	実患者数		新患者数	
		件数	割合	件数	実患者数に対する割合
千代田区	1,478	302	0.85%	72	23.84%
中央区	5,983	921	2.59%	218	23.67%
港区	6,690	1,173	3.30%	262	22.34%
新宿区	4,296	764	2.15%	139	18.19%
文京区	3,035	539	1.51%	112	20.78%
台東区	2,522	482	1.35%	112	23.24%
墨田区	5,777	879	2.47%	211	24.00%
江東区	32,350	4,543	12.76%	1,242	27.34%
品川区	11,433	1,602	4.50%	423	26.40%
目黒区	5,365	839	2.36%	186	22.17%
大田区	17,239	2,262	6.36%	537	23.74%
世田谷区	16,471	2,466	6.93%	525	21.29%
渋谷区	5,024	787	2.21%	201	25.54%
中野区	4,709	693	1.95%	143	20.63%
杉並区	9,628	1,519	4.27%	325	21.40%
豊島区	5,318	853	2.40%	204	23.92%
北区	4,298	696	1.96%	141	20.26%
荒川区	1,914	286	0.80%	81	28.32%
板橋区	9,624	1,330	3.74%	326	24.51%
練馬区	12,988	1,928	5.42%	397	20.59%
足立区	6,724	1,006	2.83%	190	18.89%
葛飾区	7,380	1,050	2.95%	260	24.76%
江戸川区	23,161	2,988	8.39%	869	29.08%
都下	36765	5686	15.97%	1144	20.12%
	240,172	35,594	100.00%	8,320	23.37%

病理検査【2023 年 1 ～ 12 月】

病理検査数

	外来	入院	合計
総件数	17349	12777	30126
部位数（臓器分類単位）	24049	48426	72475
ブロック数（検体分類別）	20275	113348	133623
染色スライド数（特染含む）	68924	176125	245049
染色スライド数（特染のみ）	29715	28675	58390
保険部位数	41736	31379	73115
E M	—	—	—
抗体法	—	—	—
迅速件数	49	3768	3817
診断料	14230	7947	22177
診断のみ	2230	108	2338
レポート画像	—	—	—
ミクロ画像	—	—	—
マクロ画像	—	—	—
その他画像	—	—	—
呼吸器内科	223	81	304
呼吸器外科	51	1186	1237
消化器内科	0	0	0
消化器外科	0	2	2
乳腺外科	1396	2254	3650
婦人科	2125	1605	3730
頭頸科	585	844	1429
整形外科	456	1012	1468
泌尿器科	301	1133	1434
総合腫瘍科	61	12	73
放射線治療	0	0	0
総合内科	1	0	1
腫瘍精神科	0	0	0
眼科	139	34	173
皮膚腫瘍科	278	134	412
歯科	8	2	10
形成外科	14	15	29
麻酔科	0	0	0
救急部	0	0	0
画像診断部	2	0	2
健診ドック	2447	9	2456
健診（内科）	479	4	483
臨床遺伝医療部	3	0	3
血液腫瘍科	432	184	616
乳腺内科	27	12	39
食道外科	17	172	189
胃外科	100	708	808
大腸外科	100	945	1045
消化器化学療法科	50	14	64
上部消化管内科	4210	741	4951
下部消化管内科	3474	328	3802
肝胆膵外科	35	1071	1106
肝胆膵内科	265	191	456
内分泌・代謝科	0	0	0
腎臓内科	0	0	0
脳腫瘍外科	3	52	55
ゲノム診療部	35	0	35
先端医療開発科	32	32	64

細胞診検査数

項目	年間件数
子宮腔部・頸部	4,875
子宮内膜	2,723
その他（婦人科）	5,511
健診 子宮腔部・頸部・断端	4,583
健診 子宮内膜	3,458
婦人科合計	21,150
乳腺	841
甲状腺	264
頭頸部（甲状腺以外）	247
骨軟部	899
脳脊髄液	67
リンパ節	683
気管支・肺	173
EBUS縦隔・肺門リンパ節	144
喀痰・三連痰	34
体腔液	3,971
尿	3,960
食道・胃	13
肝・胆・膵・大腸	423
脳	30
その他	117
婦人科以外合計	11,866
総合計	33,016
術中迅速細胞診	2,771
LBC	4,269
オンサイトサイトロジー	777
セルブロック	122

◆ CT 検査件数・MRI 検査件数・核医学検査件数

CT 検査件数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
稼働日数	19	19	22	20	20	22	20	22	20	21	20	20	
2023年 件数	4,459	4,396	5,080	4,527	4,547	4,992	4,503	4,867	4,634	4,846	4,712	4,790	56,353
平均件数/日	234.7	231.4	230.9	226.4	227.4	226.9	225.2	221.2	231.7	230.8	235.6	239.5	

MRI 検査件数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
稼働日数	19	19	22	20	20	22	20	22	20	21	20	20	
2023年 件数	1,139	1,145	1,355	1,219	1,222	1,352	1,167	1,257	1,189	1,245	1,206	1,214	14,710
平均件数/日	59.9	60.3	61.6	61.0	61.1	61.5	58.4	57.1	59.5	59.3	60.3	60.7	

核医学検査件数

2023年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
PET-CT	494	480	529	445	471	508	469	517	457	479	503	474	5826
SPECT-CT	64	48	46	53	54	72	72	64	48	49	45	44	610
その他	54	56	65	52	56	53	43	56	57	64	62	56	674
その他 (SPECT含)	118	104	111	105	110	125	115	120	105	113	107	100	1333
PET-CT	4	3	4	6	4	3	2	2	3	5	4	7	47
その他	97	74	106	96	91	96	87	101	89	98	96	83	1114
合計	713	661	750	652	676	732	673	740	654	695	710	664	8320

内視鏡検査件数

検 査 項 目	2023年
上部消化管	10,667
下部消化管	7,445
上部エコー	200
下部エコー	90
肝胆膵エコー	892
気管支鏡	249
ERCP	974
上部（EMRポリペク）	938
下部（EMRポリペク）	3419
下部（ESD）	491
EUS-FAN	773
その他	205

超音波検査件数

	2023年
呼吸内	743
呼吸外	274
◆消外	1
乳腺外	15,598
婦人科	11,878
頭頸科	5,943
整形外科	1,344
泌尿器	1,463
総腫瘍	248
放治	44
総合内	327
眼科	130
皮腫	280
形成外	1,053
救急部	3
緩和	7
健診ド	27,612
健診内	2
臨床遺	15
血液腫	974
乳腺内	1,410
食道外	282
胃外科	1,147
大腸外	2,499
消化療	657
上消内	398
下消内	141
肝外科	877
肝内科	758
腫循内	618
代謝科	216
腎臓内	4
神経内	2
脳腫外	21
感染症	3
先端科	150

手術件数【2023 年 1 ～ 12 月】

2023年		手術件数	呼吸器外科	消化器外科	整形外科	泌尿科	乳腺外科	泌尿器科	婦人科	形成外科	眼科	消化内科	緩和	麻酔科	治療科	化学科	救急部	呼吸内科	血液腫	皮膚	皮膚科	胃外科	肝胆脾外科	大腸外科	脳外
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数
1月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	607	49		42	50	97	63	88	26		4				2				8	13	41	47	77	
	硬膜外・腰麻・脊髄	0																							
	局麻・その他	69			9	2	2	15		24	8									9					
2月	計	676	49	0	51	52	99	78	88	50	8	4	0	0	0	2	0	0	0	17	13	41	47	77	
	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	608	58		43	32	100	60	88	31		4			4					6	11	45	44	82	
	硬膜外・腰麻・脊髄	0																							
3月	局麻・その他	81			7	8	3	21		29	8									5					
	計	689	58	0	50	40	103	81	88	60	8	4	0	0	0	4	0	0	0	11	11	45	44	82	
	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	741	74		49	50	115	74	109	40		4			1					11	14	53	53	94	
4月	硬膜外・腰麻・脊髄	1						1																	
	局麻・その他	76			12	5	4	22		19	6									7				1	
	計	818	74	0	61	55	119	97	109	59	6	4	0	0	0	1	0	0	0	18	14	53	53	95	
5月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	640	60		35	48	97	61	106	30	1	4			1					8	16	47	50	73	
	硬膜外・腰麻・脊髄	0																						3	
	局麻・その他	73			3	5	1	17		21	18									7				1	
6月	計	713	60	0	38	53	98	78	106	51	19	4	0	0	0	1	0	0	0	15	16	47	51	73	
	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	640	58		47	47	102	62	96	29	1	4			1					6	10	43	46	86	
	硬膜外・腰麻・脊髄	1						1																2	
7月	局麻・その他	80	1		7	3	3	17		26	16									7					
	計	721	59	0	54	50	105	79	97	55	17	4	0	0	0	1	0	0	0	13	10	43	46	86	
	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	678	62		41	52	98	74	118	34		4			2					10	15	38	51	76	
8月	硬膜外・腰麻・脊髄	0																							
	局麻・その他	93			10	5	1	20		28	21									7				1	
	計	771	62	0	51	57	99	94	118	62	21	4	0	0	0	2	0	0	0	17	15	38	51	76	
9月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	607	42		43	47	97	69	104	36	1	5			2					10	10	32	40	66	
	硬膜外・腰麻・脊髄	2			1			1																3	
	局麻・その他	73			7	6	6	12		29	11									2					
10月	計	682	42	0	51	53	103	82	104	65	12	5	0	0	0	2	0	0	0	12	10	32	40	66	
	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	693	45		53	51	120	64	111	37	2	4			1					9	16	38	47	91	
	硬膜外・腰麻・脊髄	2						2																4	
11月	局麻・その他	73			7	1	2	19		23	12			1						8					
	計	768	45	0	60	52	122	85	111	60	14	4	1	0	1	0	0	0	0	17	16	38	47	91	
	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	617	48		44	45	107	55	104	36	1	4			1					7	13	31	41	76	
12月	硬膜外・腰麻・脊髄	2			1			1																	
	局麻・その他	69			12	3		15	1	19	12									7					
	計	688	48	0	57	48	107	71	105	55	13	4	0	0	0	1	0	0	0	14	13	31	41	76	
2023年計	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	629	45		38	53	108	63	100	31	2	6								7	10	35	48	81	
	硬膜外・腰麻・脊髄	3			1			1												1					
	局麻・その他	75			8	9		17		19	15									6				1	
2023年計	計	707	45	0	47	62	108	81	100	50	17	6	0	0	0	0	0	0	0	14	10	35	48	81	
	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	614	53		38	49	99	59	93	31	1	4	0	0	0	1				8	12	31	48	85	
	硬膜外・腰麻・脊髄	0																							
2023年計	局麻・その他	73			11	7	5	15		18	10									6				1	
	計	687	53	0	49	56	104	74	93	49	11	4	0	0	0	1	0	0	0	14	12	31	48	86	
	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	630	38		46	43	98	62	102	32	1	6			3					7	12	42	49	83	
2023年計	硬膜外・腰麻・脊髄	1						1																	
	局麻・その他	67			7	7	6	7		20	18									2					
	計	698	38	0	53	50	104	70	102	52	19	6	0	0	0	3	0	0	0	9	12	42	49	83	
2023年計	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	7675	632	0	519	567	1238	766	1219	393	10	53	0	0	0	19	0	0	0	97	152	476	564	970	
	硬膜外・腰麻・脊髄	12	0	0	3	0	0	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
	局麻・その他	900	1	0	100	61	33	197	1	275	155	0	1	0	0	0	0	0	0	73	0	0	1	2	
2023年計	計	8587	633	0	622	628	1271	970	1221	668	165	53	1	0	0	19	0	0	0	171	152	476	565	972	
	硬膜外・腰麻・脊髄	0																							
	局麻・その他	73			3	5	1	17		21	18									7			1		

※治療科：緩和治療科・放射線治療部・化学療法部・救急部・呼吸器内科・血液腫瘍科

院内がん登録集計

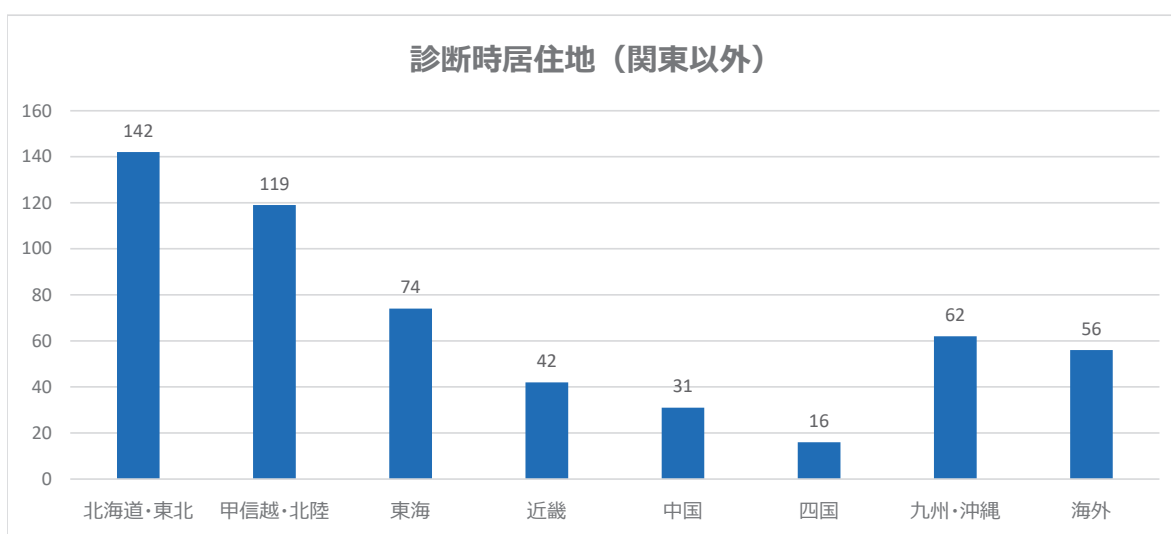
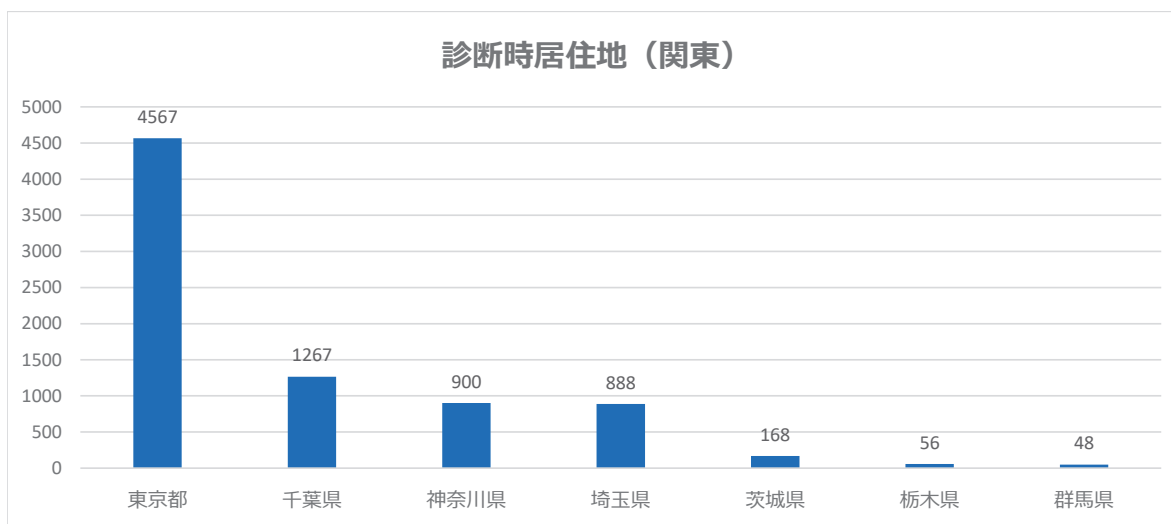
①部位別・男女別件数

部位	総数	男	女
口腔・咽頭	508	387	121
食道	470	361	109
胃	847	549	298
十二指腸・小腸	53	32	21
大腸	1140	640	500
肝臓	127	99	28
胆嚢・胆管	110	70	40
膵臓	424	229	195
喉頭	34	28	6
肺	619	352	267
骨・軟部	153	89	64
皮膚	159	83	76
乳房	1439	4	1435
子宮頸部	416	0	416
子宮体部	333	0	333
卵巣・卵管	197	0	197
前立腺	395	395	0
膀胱	198	144	54
腎・他の尿路	173	129	44
脳・中枢神経系	25	8	17
甲状腺	130	35	95
悪性リンパ腫	209	103	106
多発性骨髄腫	22	13	9
白血病	24	14	10
他の造血器腫瘍	16	12	4
原発不明	29	13	16
その他	186	92	94
総計	8436	3881	4555

院内がん登録集計

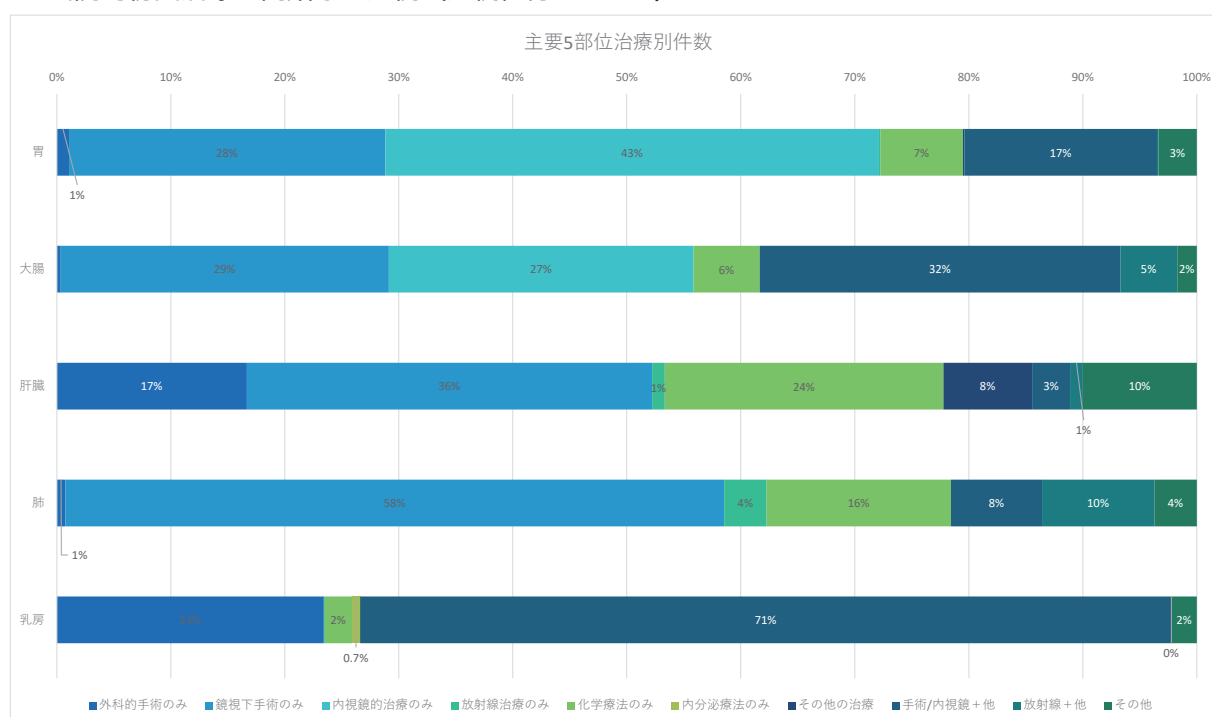
②診断時居住地別件数（東京都医療圏別内訳）

医療圏名	区市町村名	件数	医療圏名	区市町村名	件数
区中央部	千代田区	36	南多摩	八王子市	72
	中央区	97		日野市	22
	港区	146		多摩市	26
	文京区	63		町田市	53
	台東区	52		稲城市	16
		394			189
区東部	江東区	604	西多摩	羽村市	6
	江戸川区	484		福生市	4
	墨田区	115		青梅市	18
区東北部	荒川区	44		あきる野市	13
	足立区	108		瑞穂町	1
	葛飾区	143		日の出町	2
区西部	新宿区	77		奥多摩町	1
	中野区	89		檜原村	
	杉並区	197			45
区西北部	豊島区	95	北多摩南部	武蔵野市	36
	北区	72		三鷹市	46
	板橋区	165		調布市	42
	練馬区	231		狛江市	15
区西南部	目黒区	106		小金井市	30
	世田谷区	311		府中市	30
	渋谷区	97			199
区南部	品川区	233	北多摩西部	国分寺市	27
	大田区	307		国立市	15
島しょ部	大島町	3		東大和市	17
	利島村			立川市	24
	新島村	1		武蔵村山市	4
	神津島村			昭島市	19
	三宅村	1	北多摩北部	清瀬市	17
	御蔵島村			東久留米市	30
	八丈町	3		西東京市	53
	青ヶ島村			東村山市	26
	小笠原村			小平市	22
		8			148
			総計		4567



③主要 5 部位治療別件数

当院で初回治療を開始した症例（症例区分 20・30）



院内がん登録集計

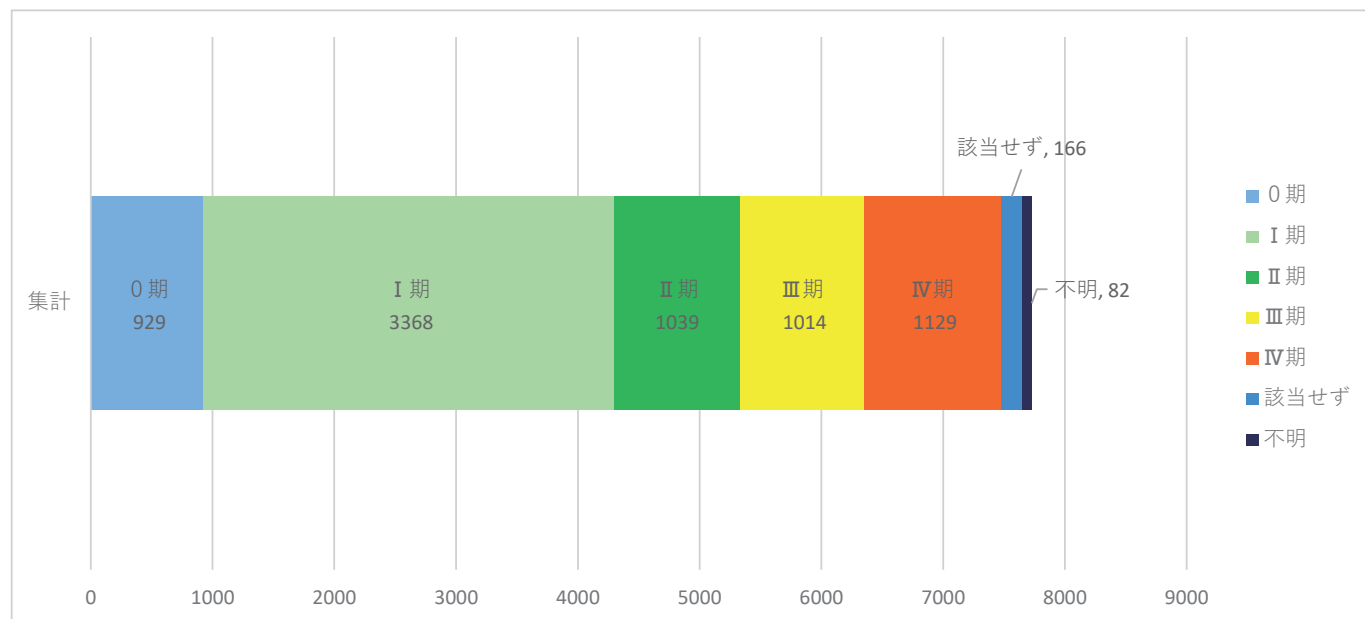
④治療別件数

当院で初回治療を開始した症例（症例区分 20・30）

	外科的 手術のみ	顕微下 手術のみ	内視鏡的 治療のみ	放射線 治療のみ	化学 療法のみ	内分泌 療法のみ	その他の 治療のみ	放射線 + 化学療法	放射線 + 内分泌	手術 + 内視鏡	手術/内視鏡 + その他の 治療	手術/内視鏡 + 放射線 + 化学療法 + 内分泌	手術/内視鏡 + 放射線 + 化学療法 + 内分泌	手術/内視鏡 + 放射線 + 化学療法 + 内分泌	経過観察	総計					
	155	11	129	9	11	0	1	32	0	3	13	1	0	2	38	0	0	0	3	21	429
	4	32	205	7	15	0	8	33	0	12	2	64	0	3	14	0	0	0	2	22	423
	8	207	323	1	54	0	1	1	0	38	0	86	0	1	1	0	0	0	2	23	746
	3	253	235	0	51	0	0	44	0	47	5	181	0	0	42	0	3	0	11	4	879
	5	12	8	0	3	0	0	0	0	2	0	5	0	0	0	0	0	0	0	2	37
	15	32	0	1	22	0	7	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	7	2	90
	22	10	1	1	15	0	0	1	0	0	0	23	0	0	0	0	0	0	0	4	77
	19	34	0	0	127	1	0	10	0	0	0	100	0	0	3	0	0	0	3	20	317
	5	1	2	10	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	22
	4	311	0	20	87	0	0	53	0	0	2	41	0	0	0	0	0	0	0	20	538
	89	0	0	1	0	0	1	5	0	0	0	5	0	3	0	0	0	0	0	8	112
	78	0	0	3	1	0	0	1	0	0	3	21	1	0	1	0	0	0	0	1	110
	295	0	0	1	30	9	0	0	0	0	66	94	318	0	58	141	118	101	19	9	1259
	94	140	0	5	8	0	1	38	0	0	3	21	1	0	13	0	0	0	0	37	361
	48	139	0	0	6	0	0	0	0	1	2	85	1	0	0	0	0	0	0	4	286
	50	2	0	0	5	0	0	0	0	0	0	93	0	0	0	0	0	0	0	1	151
	2	130	0	8	1	45	0	0	0	57	0	0	16	0	0	1	0	0	17	35	312
	3	0	5	0	2	0	1	0	0	4	0	54	0	13	1	0	0	0	37	2	122
	5	96	1	0	6	0	1	2	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	1	8	126
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	5	9
	48	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	0	2	0	0	0	29	103
	1	2	3	14	99	0	0	13	0	0	0	1	0	0	4	0	0	0	1	36	174
	0	0	0	0	7	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	12
	0	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	23
	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	12
	1	0	1	2	8	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	17
	40	19	0	6	21	0	1	10	0	0	6	17	0	0	6	0	0	0	0	10	136
	996	1433	913	90	603	55	22	249	57	107	102	901	358	22	184	144	121	101	104	321	6883

⑤ステージ別件数

当院で診断、治療を実施した症例（症例区分 10・20・21・30・31）

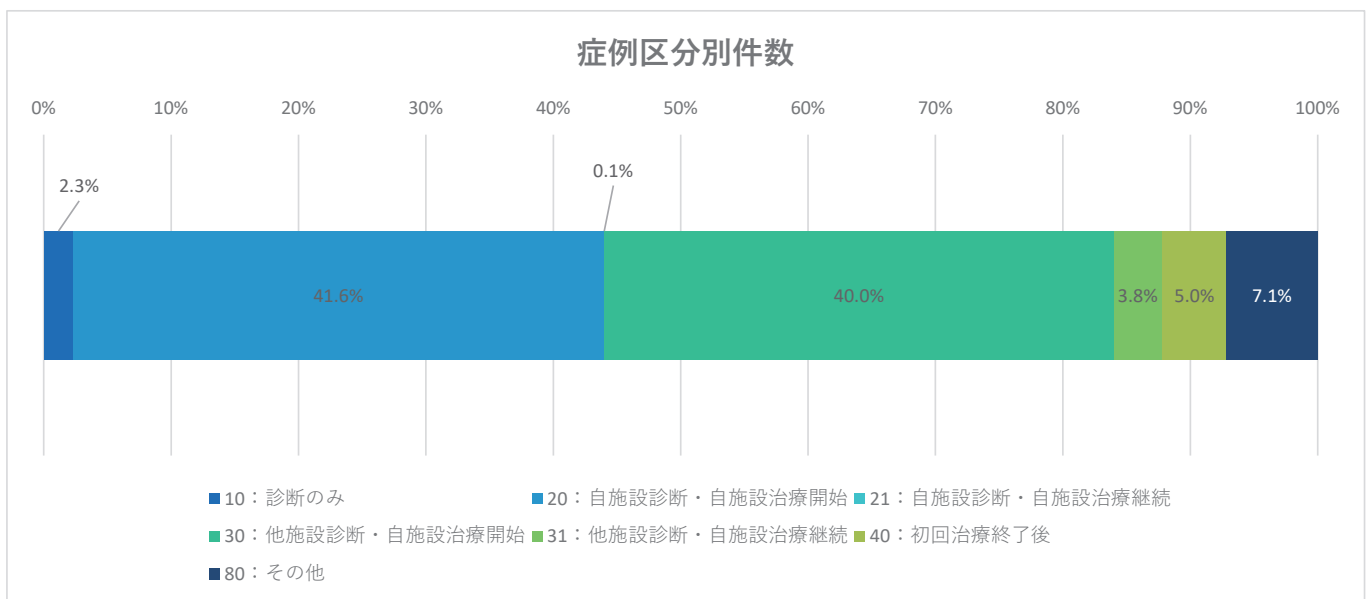


⑥部位別・年齢別件数

部位	年代									総計
	0-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	90-	
口腔・咽頭	0	5	7	31	88	145	158	69	5	508
食道	0	0	2	26	77	157	161	44	3	470
胃	0	2	24	50	129	205	303	125	9	847
十二指腸・小腸	0	0	1	9	14	15	11	2	1	53
大腸	1	6	60	135	283	294	278	72	11	1140
肝臓	0	0	1	6	19	32	47	20	2	127
胆嚢・胆管	0	1	0	3	7	24	48	27	0	110
脾臓	1	0	4	27	61	124	152	51	4	424
喉頭	0	0	0	1	4	10	13	6	0	34
肺	1	0	6	30	79	146	280	74	3	619
骨・軟部	7	9	9	18	30	23	38	17	2	153
皮膚	0	2	4	10	13	34	44	44	8	159
乳房	0	9	91	416	423	243	193	61	3	1439
子宮頸部	0	23	127	129	67	40	21	8	1	416
子宮体部	0	1	12	52	150	70	38	10	0	333
卵巣・卵管	0	4	14	31	74	40	27	7	0	197
前立腺	0	0	1	2	36	143	171	41	1	395
膀胱	0	0	1	10	35	53	73	24	2	198
腎・他の尿路	1	2	4	16	29	46	53	21	1	173
脳・中枢神経系	0	0	1	0	10	3	9	1	1	25
甲状腺	0	4	9	33	26	24	24	10	0	130
悪性リンパ腫	1	4	7	16	30	58	67	24	2	209
多発性骨髄腫	0	0	0	1	7	4	8	2	0	22
白血病	0	1	2	1	1	11	4	4	0	24
他の造血器腫瘍	0	0	1	1	0	4	4	6	0	16
原発不明	0	0	1	1	5	5	10	7	0	29
その他	1	7	17	27	35	33	35	29	2	186
総計	13	80	406	1082	1732	1986	2270	806	61	8436

⑦症例区分別件数

症例区分	件数	比率
10：診断のみ	197	2.3%
20：自施設診断・自施設治療開始	3512	41.6%
21：自施設診断・自施設治療継続	5	0.1%
30：他施設診断・自施設治療開始	3371	40.0%
31：他施設診断・自施設治療継続	323	3.8%
40：初回治療終了後	425	5.0%
80：その他	603	7.1%
総計	8436	100.0%



8. 一般公開講座

年		日程	時間	場所	題名	講師	担当科	参加人数
2023	1	2023年12月21日		オンライン (オンデマンド)	がんと共に生きるあなたへ ～自分らしく生活するために～	看護部	看護部	3715回(※)
	2	2024年1月13日	10：30～12：00	オンライン (オンデマンド)	自分らしくがんに向き合うために	トータルケアセンター	トータルケアセンター	1155回(※)

※ 2024年10月31日までの動画再生回数

9. 学会・研究発表業績

【呼吸器内科】

1. 北園聡
T R・臨床薬理 5（免疫・その他）
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市
+Web 開催，2023，[司会]
2. 西尾誠人
Recent advances in perioperative drug
therapy in lung cancer.
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市
+Web 開催，2023，[司会]
3. 西尾誠人
日米の医師で議論する、最適なドライバー遺伝
子診断と ALK 陽性肺がん治療．
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市
+Web 開催，2023，[司会]
4. 西尾誠人，福岡和也
呼吸器 1（NSCLC）
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市
+Web 開催，2023，[司会]
5. 西尾誠人
進行非小細胞肺癌に対する治療のトピック．
第 63 回日本呼吸器学会学術講演会：東京，
2023，[ランチョンセミナー]
6. 西尾誠人
ALK/ROS1 陽性肺癌の分子生物学と治療戦略．
第 82 回日本癌学会学術総会：横浜市，2023，
[座長]
7. 内堀健，菅井万優，宮寺恵希，角藤翔，次富亮
輔，網野喜彬，有安亮，北園聡，柳谷典子，片
山量平，西尾誠人
EGFR-T790M + C797S 変異に対する分子標的
治療に耐性を示す多重変異とその克服．
第 64 回日本肺癌学会学術集会：千葉市，
2023，[ワークショップ]
8. 宮寺恵希，北園聡，菅井万優，角藤翔，次富亮
輔，網野喜彬，有安亮，内堀健，柳谷典子，西
尾誠人
免疫チェックポイント阻害薬による非小細胞肺
癌患者の早期腫瘍縮小と生存期間の関連．
第 64 回日本肺癌学会学術集会：千葉市，
2023，[口述発表]
9. 柳谷典子
進行肺がん症例における神経症状：精神科との
連携．
第 64 回日本肺癌学会学術集会：千葉市，
2023，[ランチョンセミナー]
10. 菅井万優，網野喜彬，角藤翔，宮寺恵希，次富
亮輔，有安亮，内堀健，北園聡，柳谷典子，西
尾誠人
切除不能進行非小細胞肺癌における白金製剤と
イピリウムマブ + ニボルマブ併用療法の irAE 重
症度と予後との検．
第 64 回日本肺癌学会学術集会：千葉市，
2023，[口述発表]
11. 西尾誠人
肺癌学会での産学協同研究．
第 64 回日本肺癌学会学術集会：千葉市，
2023，[特別企画]
12. 西尾誠人，矢野聖二
標的治療耐性後の治療戦略．
第 64 回日本肺癌学会学術集会：千葉市，
2023，[座長]
13. 西尾誠人，山本信之
抗体薬物複合体（ADC）の臨床的意義を考える．
第 64 回日本肺癌学会学術集会：千葉市，
2023，[座長]
14. 西尾誠人
進行非小細胞肺癌に対する治療のトピック．
第 64 回日本肺癌学会学術集会：千葉市，
2023，[ランチョンセミナー]
15. 西尾誠人
肺癌診療における次世代シーケンサーの可能
性．
第 64 回日本肺癌学会学術集会：千葉市，
2023，[座長]

16. 北園聡
周術期症例など。
第 197 回日本肺癌学会関東支部学術集会：東京，2023，[症例提示]

【呼吸器外科】

1. 文敏景
今更聞けない？シリーズ：左下葉切除縦隔リンパ節郭清編。
ゼロコン+シアター第 7 回：Web 開催，2023，[講演]
2. 中尾将之
肺：肺悪性・胸膜腫瘍
第 191 回日本胸部外科学会関東甲信越地方会：横浜市 +Web 開催，2023，[座長]
3. 浦部貴史，松浦陽介，立花太明，玉川達，橋本浩平，一瀬淳二，中尾将之，奥村栄，文敏景
上大静脈浸潤を認めた胸腺癌に対する手術の工夫。
第 191 回日本胸部外科学会関東甲信越地方会：横浜市 +Web 開催，2023，[一般演題]
4. 玉川達，橋本浩平，二宮浩範，立花太明，浦部貴史，一瀬淳二，松浦陽介，中尾将之，奥村栄，文敏景
線維化巣の一部に認めた Complex glandular pattern を含む小型低分化肺腺癌の一例。
第 195 回日本肺癌学会関東支部学術集会：東京，2023，[一般演題]
5. 文敏景
縦隔リンパ節郭清を一塊に郭清した胸腔鏡下左肺全摘の 1 例。
第 20 回スプリングセミナー：那覇市，2023，[講演]
6. 一瀬淳二，小林直，菅野健児，橋本浩平，松浦陽介，中尾将之，奥村栄，文敏景
AI 術中ナビゲーションシステムの現状と今後の可能性。
第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京，2023，[パネルディスカッション]
7. 橋本浩平，加藤大喜，一瀬淳二，松浦陽介，中尾将之，奥村栄，大塚崇，文敏景

3D モデルを用いた気管支スリーブ切除トレーニングの多施設前向き研究。
第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京，2023，[特別企画]

8. Matsuura, Y.
Surgical treatment of early lung cancer: How to prevent local recurrence in segmentectomy?
4th Nanjing University Lung Cancer Jinling Forum: Web 開催，2023，[講演]
9. Mun, M.
VATS segmentectomy for lung cancer.
14th Zhongshan Forum on Thoracic Surgery: Web 開催，2023，[講演]
10. Hashimoto, K., Murakami, Y., Omura, K., Takahashi, H., Suzuki, R., Yoshioka, Y., Oguchi, M., Ichinose, J., Matsuura, Y., Nakao, M., Okumura, S., Ninomiya, H., Nishio, M., Mun, M.
Prediction of tumor PD-L1 expression in resectable non-small cell lung cancer using machine learning: performance comparison with preoperative biopsy.
103rd Annual Meeting of the American Association for Thoracic Surgery: Los Angeles, CA, USA, 2023，[口述発表]
11. 文敏景
今更聞けない？シリーズ：肺切除におけるトラブルシューティング編。
ゼロコン+シアター第 8 回：Web 開催，2023，[講演]
12. Hashimoto, K., Davey, C., Omura, K., Tamagawa, S., Urabe, T., Ichinose, J., Matsuura, M., Nakao, M., Okumura, S., Ninomiya, H., Mun, M.
Prediction of pathological pleural invasion of peripheral cT1 non-small lung cancer by deep-learning analysis of thoracoscopic images: A pilot study.
31th European Society of Thoracic Surgeons Meeting: Milano, Italy, 2023，[ポスター発表]

13. Ichinose, J., Hashimoto, K., Matsuura, Y., Nakao, M., Okumura, S., Mun, M.
Surgical treatment for high-grade neuroendocrine carcinoma: Significance and prognostic factors.
31th European Society of Thoracic Surgeons Meeting: Milano, Italy, 2023, [ポスター発表]
14. Matsuura, Y., Ichinose, J., Nakao, M., Okumura, S., Mun, M.
Prognostic impact and clinical utility of Eurolung2 risk model in Japanese lung cancer patients.
31th European Society of Thoracic Surgeons Meeting: Milano, Italy, 2023, [ポスター発表]
15. Mun, M., Ichinose, J., Matsuura, Y., Nakao, M.
Marionette methods for mediastinal lymph node dissection in minimally invasive surgery.
31th European Society of Thoracic Surgeons Meeting: Milano, Italy, 2023, [口述発表]
16. Mun, M., Ichinose, J., Matsuura, Y., Nakao, M.
Troubleshooting of a stapler failure during salvage surgery after ALK-TKI therapy.
31th European Society of Thoracic Surgeons Meeting: Milano, Italy, 2023, [口述発表]
17. 一瀬淳二, 立花太明, 浦部貴史, 玉川達, 橋本浩平, 松浦陽介, 中尾将之, 奥村栄, 文敏景
胸腔鏡下肺区域切除における術中気管支鏡の重要性.
第46回日本呼吸器内視鏡学会学術集会: 横浜市, 2023, [ビデオワークショップ]
18. 橋本浩平, 村上悠, 大村兼志郎, 高橋輝, 鈴木涼子, 吉岡靖生, 小口正彦, 一瀬淳二, 松浦陽介, 中尾将之, 奥村栄, 二宮浩範, 西尾誠人, 文敏景
遺伝子変異診断における工夫 機械学習による非小細胞肺癌切除検体のPD-L1発現の予測と術前生検との比較.
第46回日本呼吸器内視鏡学会学術集会: 横浜市, 2023, [シンポジウム]
19. 文敏景, 一瀬淳二, 松浦陽介, 中尾将之, 奥村栄
胸腔鏡下手術縦隔リンパ節郭清における視野展開の工夫 (Marionette method) と手術手順.
第48回日本外科系連合学会学術集会: 横浜市, 2023, [ビデオワークショップ]
20. 松浦陽介
早く一人前の胸部外科医になりたい!: 今明かす、私の修行法.
第192回日本胸部外科学会関東甲信越地方会: 東京, 2023, [ランチョンセミナー]
21. 一瀬淳二, ほか
AIと電子カルテ連携データベースを用いた個別化予後予測システムの開発.
第40回日本呼吸器外科学会学術集会: 新潟市, 2023, [口述発表]
22. 一瀬淳二, ほか
ロボット支援下手術の固定された近接視がもたらすピットフォール.
第40回日本呼吸器外科学会学術集会: 新潟市, 2023, [口述発表]
23. 一瀬淳二, ほか
左上大区域切除後の気管支断端が肺動脈に接触し出血した1例.
第40回日本呼吸器外科学会学術集会: 新潟市, 2023, [ポスター発表]
24. 中尾将之
気管支形成ハズオン: SDGs 再利用可能な新しい気管支形成モデル.
第40回日本呼吸器外科学会学術集会: 新潟市, 2023, [ハズオンセミナー]
25. 中尾将之
肺癌: 手術手技
第40回日本呼吸器外科学会学術集会: 新潟市, 2023, [座長]

26. 文敏景
VISERA ELITE Ⅲによる 4K フルカラー蛍光観察での区域切除。
第 40 回日本呼吸器外科学会学術集会：新潟市，2023, [ランチョンセミナー]
27. 文敏景
ロボット手術
第 40 回日本呼吸器外科学会学術集会：新潟市，2023, [座長]
28. 文敏景，中尾将之
継往開来：胸腔鏡手術。
第 40 回日本呼吸器外科学会学術集会：新潟市，2023, [ランチョンセミナー]
29. 松浦陽介，内堀健，二宮浩範，一瀬淳二，中尾将之，奥村栄，西尾誠，文敏景
SDGs：手術検体から肺癌マルチ遺伝子検査を確実に成功させるための先駆的研究。
第 40 回日本呼吸器外科学会学術集会：新潟市，2023, [ポスター発表]
30. 橋本浩平，一瀬淳二，松浦陽介，中尾将之，植原良太，石田寿人，加藤大喜，大塚崇，文敏景
気管気管支形成術を次世代につなぐ：3D モデルを用いたトレーニング法の社会実装。
第 40 回日本呼吸器外科学会学術集会：新潟市，2023, [特別企画]
31. 橋本浩平，デビー・カルビン，大村兼志郎，一瀬淳二，松浦陽介，中尾将之，二宮浩範，瀬々潤，文敏景
深層学習で胸腔鏡画像から末梢型 cT1 肺癌の胸膜浸潤を予測する：パイロットスタディー。
第 40 回日本呼吸器外科学会学術集会：新潟市，2023, [口述発表]
32. 立花太明，松浦陽介，浦部貴史，玉川達，橋本浩平，一瀬淳二，中尾将之，奥村栄，文敏景
術前気管支鏡検査後に肺化膿症を合併した原発性肺癌切除 11 例の検討。
第 40 回日本呼吸器外科学会学術集会：新潟市，2023, [口述発表]
33. 鈴木あゆみ
肺癌：症例 1
第 40 回日本呼吸器外科学会学術集会：新潟市，2023, [座長]
34. 浦部貴史，中尾将之，立花太明，川原光恵，鈴木あゆみ，一瀬淳二，松浦陽介，文敏景，西尾誠人，二宮浩範
小細胞肺癌 CRT 後，照射野に出現した肺扁平上皮癌に対する 1 切除例。
第 196 回日本肺癌学会関東支部学術集会：東京，2023, [口述発表]
35. Mun, M.
Management of VATS complication.
2nd SEATS MEETING: Bangkok, Thailand, 2023, [講演]
36. Mun, M.
Segmental anatomy 3D reconstruction and beyond.
2nd SEATS MEETING: Bangkok, Thailand, 2023, [講演]
37. Ichinose, J., Matsuura, Y., Nakao, M., Okumura, S., Mun, M.
Which lymph nodes should be evaluated with priority in segmentectomy for lung cancer?
IASLC 2023 World Conference on Lung Cancer: Singapore, 2023, [口述発表]
38. Nakao, M., Suzuki, J., Ichinose, J., Matsuura, Y., Okumura, S., Mun, M.
Increased risk of death from other causes after lobectomy compared with sublobar resection in lung cancer patients.
IASLC 2023 World Conference on Lung Cancer: Singapore, 2023, [ポスター発表]
39. 中尾将之
テクノロジーの進化と歩む当科のイメージガイド胸腔鏡下肺区域切除。
日本蛍光ガイド手術研究会第 6 回学術集会：名古屋，2023, [シンポジウム]

40. 文敏景
呼吸器外科 1
日本蛍光ガイド手術研究会第 6 回学術集会：名古屋市，2023, [座長]
41. 一瀬淳二，小林直，深田恭平，菅野健児，鈴木あゆみ，松浦陽介，中尾将之，奥村栄，文敏景
AI 術中ナビゲーションシステムの開発における医工連携．
第 76 回日本胸部外科学会定期学術集会：仙台市，2023, [ワークショップ]
42. 一瀬淳二，安田学
呼吸器 1：縦隔疾患その他
第 76 回日本胸部外科学会定期学術集会：仙台市，2023, [座長]
43. 中尾将之，川原光恵，立花太明，浦部貴史，鈴木あゆみ，一瀬淳二，松浦陽介，奥村栄，文敏景
Thoracoscopic surgery after drug therapy and chemoradiotherapy for lung cancer.
第 76 回日本胸部外科学会定期学術集会：仙台市，2023, [ビデオワークショップ]
44. 中尾将之
当科の区域切除の適応と術前準備．
第 76 回日本胸部外科学会定期学術集会：仙台市，2023, [ランチョンセミナー]
45. 文敏景，中尾将之，松浦陽介，一瀬淳二，鈴木あゆみ，奥村栄
呼吸器外科手術における反回神経損傷を回避するための工夫．
第 76 回日本胸部外科学会定期学術集会：仙台市，2023, [パネルディスカッション]
46. 文敏景，中尾将之，松浦陽介，一瀬淳二，鈴木あゆみ，奥村栄
質の高い胸腔鏡下手術を安全に行うための工夫．
第 76 回日本胸部外科学会定期学術集会：仙台市，2023, [ビデオワークショップ]
47. 松浦陽介，鈴木あゆみ，一瀬淳二，中尾将之，奥村栄，文敏景
区域切除において局所再発を防ぐコツとは？
第 76 回日本胸部外科学会定期学術集会：仙台市，2023, [パネルディスカッション]
48. 立花太明，松浦陽介，川原光恵，浦部貴史，鈴木あゆみ，一瀬淳二，中尾将之，奥村栄，二宮浩範，文敏景
pm1 に着目した肺野末梢小型肺癌に対する区域切除適応拡大への提言．
第 76 回日本胸部外科学会定期学術集会：仙台市，2023, [一般口演]
49. 鈴木あゆみ
若手呼吸器外科医の会
第 76 回日本胸部外科学会定期学術集会：仙台市，2023, [ディスカッション]
50. Mun, M.
How to prevent and deal with air leak during lung cancer surgery.
Thoracic Advisory Board: Singapore, 2023, [講演]
51. 一瀬淳二，川原光恵，立花太明，浦部貴史，鈴木あゆみ，松浦陽介，中尾将之，奥村栄，文敏景
区域切除においてどのリンパ節を優先的に郭清すべきか．
第 64 回日本肺癌学会学術集会：千葉市，2023, [ビデオシンポジウム]
52. 中尾将之，川原光恵，立花太明，浦部貴史，鈴木あゆみ，一瀬淳二，松浦陽介，奥村栄，文敏景
標準手術 vs 縮小手術における新たなトレードオフに関するエビデンス．
第 64 回日本肺癌学会学術集会：千葉市，2023, [口述発表]
53. 川原光恵，松浦陽介，二宮浩範，立花太明，浦部貴史，鈴木あゆみ，一瀬淳二，中尾将之，奥村栄，文敏景
臓側胸膜浸潤を有する充実成分優位小型肺癌の検討．
第 64 回日本肺癌学会学術集会：千葉市，2023, [口述発表]

54. 松浦陽介, 立花太明, 二宮浩範, 川原光恵, 浦部貴史, 鈴木あゆみ, 一瀬淳二, 中尾将之, 奥村栄, 文敏景
肺葉切除症例での転移リンパ節解析を基に区域切除の適応を熟考する.
第 64 回日本肺癌学会学術集会: 千葉市, 2023, [口述発表]
55. 立花太明, 松浦陽介, 二宮浩範, 川原光恵, 浦部貴史, 鈴木あゆみ, 一瀬淳二, 中尾将之, 奥村栄, 文敏景
STAS と主腫瘍塊の距離を基にした区域切除の適応の検討.
第 64 回日本肺癌学会学術集会: 千葉市, 2023, [口述発表]
56. 鈴木あゆみ, 川原光恵, 立花太明, 浦部貴史, 一瀬淳二, 松浦陽介, 中尾将之, 奥村栄, 文敏景
原発性肺癌に対する胸腔鏡下手術における術後不整脈発症に関する検討.
第 64 回日本肺癌学会学術集会: 千葉市, 2023, [口述発表]
57. 一瀬淳二, 川原光恵, 立花太明, 浦部貴史, 鈴木あゆみ, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景
VATS と RATS 双方の長所を活かした対面式 RATS 肺癌手術の工夫.
第 36 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2023, [シンポジウム]
58. 中尾将之, 川原光恵, 立花太明, 浦部貴史, 鈴木あゆみ, 一瀬淳二, 松浦陽介, 文敏景
テクノロジーを駆使したイメージガイド胸腔鏡下肺区域切除.
第 36 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2023, [一般演題口演]
59. 中尾将之
呼吸器良性
第 36 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2023, [司会]
60. 川原光恵, 一瀬淳二, 立花太明, 浦部貴史, 鈴木あゆみ, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景
浸潤型胸腺腫に対して広範囲心膜合併切除再建を行った両側アプローチ胸腔鏡下胸腺全摘術の一例.
第 36 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2023, [一般演題口演]
61. 文敏景, 中尾将之, 松浦陽介, 一瀬淳二, 鈴木あゆみ, 立花太明, 浦部貴史, 川原光恵
低侵襲肺癌手術のベストアプローチ.
第 36 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2023, [パネルディスカッション]
62. 文敏景
呼吸器外科胸腔鏡安全技術認定制度の現状と課題.
第 36 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2023, [司会]
63. 立花太明, 中尾将之, 川原光恵, 鈴木あゆみ, 一瀬淳二, 松浦陽介, 文敏景
胸腔鏡下に切除した横隔膜気管支原生嚢胞の一例.
第 36 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2023, [ミニオーラル]
64. 鈴木あゆみ, 川原光恵, 立花太明, 浦部貴文, 一瀬淳二, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景
呼吸器外科安全技術認定の取得に向けて: 取得を目指す若手の立場から.
第 36 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2023, [パネルディスカッション]
65. 松浦陽介
Cancer board 2: Ⅲ期症例など
第 197 回日本肺癌学会関東支部学術集会: 東京, 2023, [ファシリテーター]

【食道外科】

1. 栗山健吾, 今村裕, 渡邊雅之
当院における 75 歳以上 Stage II/III 進行胸部食道癌患者の治療成績.
第 19 回日本消化管学会総会学術集会: 東京 + Web 開催, 2023, [ワークショップ]
2. 渡邊雅之, 加藤健
高齢者消化器癌診療における化学療法と外科治療の現状と課題.

第 19 回日本消化管学会総会学術集会：東京
+Web 開催，2023，[司会]

3. 渡邊雅之，佐伯浩司
がん薬物療法 Up Date.
第 33 回日本気管食道科学会認定気管食道科専門医大会：倉敷市，2023，[司会]
4. 今村裕，布部創也，蟹江恭和，丸山傑，坂本啓，
栗山健吾，岡村明彦，金森淳，佐野武，渡邊雅之
食道胃接合部腺癌に対する Conversion 手術の
治療成．
第 95 回日本胃癌学会総会：札幌市，2023，[デ
ジタルポスター]
5. 渡邊雅之
進行胃癌 3．
第 95 回日本胃癌学会総会：札幌市，2023，[座
長]
6. 渡邊雅之
食道癌の外科治療と周術期管理の進歩．
大分食道癌治療セミナー：大分市，2023，[特
別講演]
7. 丸山傑，岡村明彦，蟹江恭和，栗山健吾，坂本
啓，金森淳，今村裕，渡邊雅之
食道切除術後の治療成績に関連する便中腸内細
菌．
第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京，
2023，[サージカルフォーラム]
8. 今村裕，深田一平，陳勁松，林直美，大木暁，
高張大亮，小倉真理子，中山巖馬，福岡聖大，
原口郁実，森誠一，蟹江恭和，坂本啓，丸山傑，
栗山健吾，岡村明彦，金森淳，山口研成，高橋
俊二，渡邊雅之
当院における食道がんゲノム医療の現状とがん
外科医療の将来展望．
第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京，
2023，[サージカルフォーラム]
9. 栗山健吾，岡村明彦，丸山傑，蟹江恭和，坂本
啓，金森淳，今村裕，渡邊雅之
cT3br 食道扁平上皮癌に対する導入療法の治療
成績．

第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京，
2023，[ポスター発表]

10. 渡邊雅之，栗山健吾，蟹江恭和，丸山傑，坂本
啓，岡村明彦，金森淳，今村裕
食道癌集学的治療において外科医が果たすべき
役割．
第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京，
2023，[シンポジウム]
11. 蟹江恭和，岡村明彦，栗山健吾，丸山傑，坂本
啓，金森淳，今村裕，神山亮介，瀬戸陽，新橋
渉，佐々木徹，福島啓文，三谷浩樹，渡邊雅之
領域横断的チームで挑む咽頭喉頭食道全摘術と
その工夫．
第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京，
2023，[ワークショップ]
12. Kanamori, J.
Minimally invasive esophagectomy: My
commitment to lymph node dissection and
reconstruction.
The 5th Hebei Esophageal Cancer Summit
Forum (第 5 回 河北臨床腫瘍学協会 食道癌 サ
ミットフォーラム)：Web 開催，2023，[講演]
13. 渡邊雅之
食道癌外科治療の最前線．
第 56 回名古屋消化器外科セミナー：名古屋市
+Web 開催，2023，[講演]
14. 丸山傑，岡村明彦，蟹江恭和，栗山健吾，坂本
啓，金森淳，今村裕，渡邊雅之
食道癌手術における腹部操作：開腹 vs 腹腔鏡．
第 77 回手術手技研究会：名古屋市，2023，
[サージカルフォーラム]
15. 蟹江恭和，栗山健吾，丸山傑，坂本啓，岡村明
彦，金森淳，今村裕，渡邊雅之
右鎖骨下動脈起始異常に対する Cervicothora-
coscopic approach NIM 併用による食道癌根
治切除術．
第 77 回手術手技研究会：名古屋市，2023，
[サージカルフォーラム]

16. 渡邊雅之
手術を中心とした食道癌集学的治療。
次世代外科医療研究会 2023 in 山梨：Web 開催，2023，[講演]
17. 岡村明彦
食道切除後胃管作成、再建経路、吻合のこだわり：2. 三角吻合。
第 48 回食道内視鏡外科学会：大阪市 + Web 開催，2023，[講演]
18. 丸山傑，岡村明彦，蟹江恭和，栗山健吾，坂本啓，金森淳，今村裕，渡邊雅之
食道癌患者における血中好塩基球数の臨床的意義。
第 77 回日本食道学会学術集会：大阪市，2023，[一般演題口演]
19. 今村裕，陳勁松，蟹江恭和，栗山健吾，熊田宣真，坂本啓，岡村明彦，金森淳，高橋俊二，渡邊雅之
食道癌治療におけるがんゲノム情報の現状と将来の治療応用への可能性。
第 77 回日本食道学会学術集会：大阪市，2023，[パネルディスカッション]
20. 岡村明彦，松田愉，入野誠之，眞柳修平，坊岡英祐，川久保博文，坪佐恭宏，渡邊雅之，竹内裕也，北川雄光
Deep neural network による食道癌術前化学療法後内視鏡画像の pCR 診断。
第 77 回日本食道学会学術集会：大阪市，2023，[ワークショップ]
21. 栗山健吾，岡村明彦，丸山傑，蟹江恭和，坂本啓，金森淳，今村裕，渡邊雅之
cStage IIIB/IVA 食道癌に対する conversion/salvage 手術の治療成績。
第 77 回日本食道学会学術集会：大阪市，2023，[一般演題口演]
22. 渡邊雅之，竹内裕也
cStage II/IIIA 食道癌：DCF NAC 後の術後補助療法とその適応。
第 77 回日本食道学会学術集会：大阪市，2023，[司会]
23. 渡邊雅之
食道がん一次治療の最適化：Patient Journey から考える。
第 77 回日本食道学会学術集会：大阪市，2023，[座長]
24. 熊田宣真，岡村明彦，金森淳，石岡充彬，由雄敏之，蟹江恭和，栗山健吾，丸山傑，坂本啓，今村裕，渡邊雅之
高度狭窄・瘻孔を伴う切除不能食道癌に対する食道バイパス術および食道ステントの意義。
第 77 回日本食道学会学術集会：大阪市，2023，[ワークショップ]
25. 蟹江恭和，岡村明彦，由雄敏之，石山晃世志，栗山健吾，金森淳，今村裕，浅利崇生，陳勁松，渡邊雅之
cT1N0 食道扁平上皮癌に対する内視鏡的切除後追加治療としての手術治療の意義。
第 77 回日本食道学会学術集会：大阪市，2023，[シンポジウム]
26. 蟹江恭和，栗山健吾，丸山傑，坂本啓，岡村明彦，金森淳，今村裕，渡邊雅之
食道癌と胃癌を合併し CRT、手術を行ったが増悪し右結腸で食道バイパス術を行った症例。
第 77 回日本食道学会学術集会：大阪市，2023，[症例検討]
27. 金森淳，渡邊雅之，丸山傑，蟹江恭和，坂本啓，栗山健吾，岡村明彦，今村裕，峯真司
低侵襲化をめざした右胸腔アプローチによる胸腔内 overlap 吻合。
第 77 回日本食道学会学術集会：大阪市，2023，[ビデオシンポジウム]
28. 栗山健吾，岡村明彦，丸山傑，蟹江恭和，坂本啓，金森淳，今村裕，渡邊雅之
食道切除術後に COVID-19 感染併発により、術後縫合不全による縦隔炎の診断や管理に苦労した 1 例。
第 192 回日本胸部外科学会関東甲信越地方会：東京，2023，[一般演題]

29. Kanamori, J.
Mediastinal lymph node dissection and re-construction: My development from cMIS to hybrid RAS.
2023 10th Surgical Strategies and Techniques Symposium of Thoracic Surgery: Beijing+Web 開催, 2023, [講演]
30. 丸山傑, 岡村明彦, 蟹江恭和, 栗山健吾, 坂本啓, 金森淳, 今村裕, 渡邊雅之
進行食道胃接合部腺癌に対する術前化学療法の治療成績.
第 78 回日本消化器外科学会総会: 函館市+Web 開催, 2023, [ワークショップ]
31. 今村裕, 蟹江恭和, 栗山健吾, 丸山傑, 坂本啓, 熊田宣真, 岡村明彦, 金森淳, 布部創也, 渡邊雅之
HER2 陽性食道胃接合部腺癌は Conversion 手術のよい適応である.
第 78 回日本消化器外科学会総会: 函館市+Web 開催, 2023, [口述発表]
32. 今村裕
食道: 手術手技.
第 78 回日本消化器外科学会総会: 函館市+Web 開催, 2023, [座長]
33. 岡村明彦, 渡邊雅之, 奥居潤, 松田諭, 竹村亮, 川久保博文, 竹内裕也, 掛地吉弘, 北川雄光, 土岐祐一郎
術前補助療法後に原発巣 CR を達成した症例の予後因子解析: 多施設後ろ向き観察研究.
第 78 回日本消化器外科学会総会: 函館市+Web 開催, 2023, [ワークショップ]
34. 栗山健吾, 岡村明彦, 丸山傑, 蟹江恭和, 坂本啓, 金森淳, 今村裕, 渡邊雅之
初診時切除不能局所進行食道癌に対する conversion/salvage 手術の治療成績.
第 78 回日本消化器外科学会総会: 函館市+Web 開催, 2023, [パネルディスカッション]
35. 渡邊雅之
上部: 切除可能進行食道癌に対する集学的治療の最前線.
- 第 78 回日本消化器外科学会総会: 函館市+Web 開催, 2023, [司会]
36. 渡邊雅之, 藤也寸志, 土岐祐一郎
日本食道学会における NCD 研究の現状と展望.
第 78 回日本消化器外科学会総会: 函館市+Web 開催, 2023, [特別企画]
37. 渡邊雅之
食道癌手術におけるアプローチの工夫と再建の引き出し.
第 78 回日本消化器外科学会総会: 函館市+Web 開催, 2023, [特別プログラム]
38. 蟹江恭和, 岡村明彦, 栗山健吾, 丸山傑, 坂本啓, 金森淳, 今村裕, 渡邊雅之
食道癌術後の栄養瘦を併用した外来栄養介入.
第 78 回日本消化器外科学会総会: 函館市+Web 開催, 2023, [口述発表]
39. 金森淳
ビデオクリニック上部消化管.
第 78 回日本消化器外科学会総会: 函館市+Web 開催, 2023, [司会]
40. 金森淳, 渡邊雅之, 丸山傑, 蟹江恭和, 坂本啓, 栗山健吾, 岡村明彦, 今村裕, 峯真司
低侵襲化をめざした胸腔内吻合のこだわりと合併症回避のための工夫: 当院 72 例の成績.
第 78 回日本消化器外科学会総会: 函館市+Web 開催, 2023, [ワークショップ]
41. 栗山健吾
食道癌に対する外科治療: 当院での取り組み.
Esophageal Summer Seminar in 群馬: 前橋市, 2023, [講演]
42. 金森淳
がん予防と早期発見.
がん対策推進企業アクション: 東京, 2023, [講演]
43. 丸山傑, 岡村明彦, 蟹江恭和, 栗山健吾, 坂本啓, 金森淳, 今村裕, 渡邊雅之
食道切除術後の再建経路が短期および長期成績に与える影響; 傾向スコアマッチング解析.

第 76 回日本胸部外科学会定期学術集会：仙台市，2023，[ポスター発表]

44. 今村裕，栗山健吾，田村真弘，高橋直規，寺山仁祥，岡村明彦，金森淳，渡邊雅之
食道胃接合部腺癌に対する Ivor-Lewis 食道切除の成績．

第 76 回日本胸部外科学会定期学術集会：仙台市，2023，[ポスター発表]

45. 寺山仁祥，岡村明彦，栗山健吾，高橋直規，田村真弘，金森淳，今村裕，渡邊雅之
局所進行食道扁平上皮癌における低侵襲食道切除術の安全性及び腫瘍学的有用性．

第 76 回日本胸部外科学会定期学術集会：仙台市，2023，[ポスター発表]

46. 岡村明彦，渡邊雅之
術前 HbA1c 値と食道癌術後合併症の関連；単施設研究から NCD 研究への発展．

第 76 回日本胸部外科学会定期学術集会：仙台市，2023，[ワークショップ]

47. 栗山健吾，岡村明彦，高橋直規，田村真弘，寺山仁祥，金森淳，今村裕，渡邊雅之
サルベージ手術の治療成績とリンパ節郭清の意義．

第 76 回日本胸部外科学会定期学術集会：仙台市，2023，[ディベート]

48. 渡邊雅之，本村昇
NCD/JCVSD の利活用推進のためのワークショップ（食道・心外）．

第 76 回日本胸部外科学会定期学術集会：仙台市，2023，[座長]

49. 渡邊雅之
優秀演題賞

第 76 回日本胸部外科学会定期学術集会：仙台市，2023，[座長]

50. 渡邊雅之
反回神経麻痺ゼロを目指したベストアプローチ．

第 76 回日本胸部外科学会定期学術集会：仙台市，2023，[座長]

51. 渡邊雅之

食道癌治療成績の向上を目指して．

第 76 回日本胸部外科学会定期学術集会：仙台市，2023，[分野会長講演]

52. 田村真弘，岡村明彦，高橋直規，寺山仁祥，栗山健吾，金森淳，今村裕，渡邊雅之

当院における周術期管理チーム導入による食道癌術後肺炎軽減への取り組み．

第 76 回日本胸部外科学会定期学術集会：仙台市，2023，[ワークショップ]

53. 金森淳，山下勇人

食道 6：領域横断

第 76 回日本胸部外科学会定期学術集会：仙台市，2023，[座長]

54. 金森淳，渡邊雅之，栗山健吾，寺山仁祥，高橋直規，田村真弘，岡村明彦，今村裕

食道癌根治切除後の術野内再発例の特徴と局所治療の意義．

第 76 回日本胸部外科学会定期学術集会：仙台市，2023，[ポスター発表]

55. 高橋直規，岡村明彦，田村真弘，寺山仁祥，栗山健吾，金森淳，今村裕，渡邊雅之

食道癌根治切除における回結腸再建の短期成績と長期栄養学的指標変化の検討．

第 76 回日本胸部外科学会定期学術集会：仙台市，2023，[ポスター発表]

56. Imamura, Y., Chin, K., Watanabe, M.

Neoadjuvant chemotherapy and conversion surgery for EGJ adenocarcinoma.

第 31 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2023：消化器外科学会・消化器内視鏡学会・消化器病学会）：神戸市，2023，[Joint Session]

57. Okamura, A., Kuriyama, K., Watanabe, M.
Conversion and salvage surgery for highly advanced ESCC.

第 31 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2023：消化器外科学会・消化器内視鏡学会・消化器病学会）：神戸市，2023，[シンポジウム]

58. 丸山傑, 岡村明彦, 蟹江恭和, 栗山健吾, 坂本啓, 金森淳, 今村裕, 渡邊雅之
食道癌手術における腹部操作.
第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023: 消化器外科学会): 神戸市, 2023, [ポスター発表]
59. 寺山仁祥, 岡村明彦, 栗山健吾, 高橋直規, 田村真弘, 金森淳, 今村裕, 渡邊雅之
術前治療後 yCT3r 以上の高度進行食道癌に対する低侵襲手術の妥当性.
第 34 回日本消化器癌発生学会総会: 高崎市, 2023, [ワークショップ]
60. 栗山健吾, 岡村明彦, 丸山傑, 高橋直規, 田村真弘, 寺山仁祥, 金森淳, 今村裕, 大隅寛木, 中山徹馬, 小倉真理子, 大木暁, 高張大亮, 陳勁松, 渡邊雅之
切除不能・再発食道扁平上皮癌に対する Nivolumab 療法における CRP/albumin 比の意義.
第 34 回日本消化器癌発生学会総会: 高崎市, 2023, [シンポジウム]
61. 田村真弘, 岡村明彦, 栗山健吾, 寺山仁祥, 高橋直規, 金森淳, 今村裕, 渡邊雅之
食道癌術後の握力は予後と関連する.
第 34 回日本消化器癌発生学会総会: 高崎市, 2023, [シンポジウム]
62. 高橋直規, 岡村明彦, 田村真弘, 寺山仁祥, 栗山健吾, 金森淳, 今村裕, 渡邊雅之
胃切除後食道癌における腹部リンパ節転移の検討
第 34 回日本消化器癌発生学会総会: 高崎市, 2023, [ポスター発表]
63. 岡村明彦, 丸山傑, 藤原彩, 蟹江恭和, 佐藤崇文, 熊谷厚志, 渡邊雅之
消化器がんの周術期における栄養治療の諸問題と対策.
第 45 回日本臨床栄養学会総会 / 第 44 日本臨床栄養協会総会 / 第 21 回大連合大会: 大阪市, 2023, [学会合同企画]
64. 今村裕, 浅利崇生, 新橋渉, 瀬戸陽, 陳勁松, 石山晃世志, 岡村明彦, 金森淳, 市川千恭, 神山亮介, 佐々木徹, 福島啓文, 山口研成, 三谷浩樹, 渡邊雅之
当院における頸部食道癌の治療成績.
第 74 回日本気管食道学会総会ならびに学術講演会: 福岡市, 2023, [主要関連セッション]
65. 寺山仁祥, 岡村明彦, 栗山健吾, 高橋直規, 田村直弘, 金森淳, 今村裕, 渡邊雅之
化学療法および再発巣切除により長期生存が得られている食道胃接合部癌術後腹膜播種・卵巣転移の 1 例.
第 74 回日本気管食道学会総会ならびに学術講演会: 福岡市, 2023, [口述発表]
66. 岡村明彦, 渡邊雅之, 奥居潤, 松田諭, 竹村亮, 川久保博文, 竹内裕也, 武藤学, 掛地吉弘, 北川雄光, 土岐祐一郎
リアルワールドデータを用いた食道扁平上皮癌に対する術前補助化学療法 / 化学放射線療法の治療成績比較.
第 74 回日本気管食道学会総会ならびに学術講演会: 福岡市, 2023, [口述発表]
67. 栗山健吾, 岡村明彦, 高橋直規, 田村真弘, 寺山仁祥, 金森淳, 今村裕, 渡邊雅之
咽頭喉頭 (頸部食道) 摘出術後の胸部食道癌に対する至適術式: McKeown vs Ivor-Lewis esophagectomy.
第 74 回日本気管食道学会総会ならびに学術講演会: 福岡市, 2023, [ワークショップ]
68. 渡邊雅之
鏡視下手術のピットフォール: 安全な手術のために知っておきたいピットフォール.
第 74 回日本気管食道学会総会ならびに学術講演会: 福岡市, 2023, [座長]
69. 渡邊雅之
食道癌の集学的治療: 外科医の役割は.
第 74 回日本気管食道学会総会ならびに学術講演会: 福岡市, 2023, [ランチョンセミナー]
70. 田村真弘, 岡村明彦, 栗山健吾, 寺山仁祥, 高橋直規, 金森淳, 今村裕, 渡邊雅之

広範囲胃切除後に認めた同時性の声門上癌、頸部食道癌、胸部下部食道癌に対して手術を行った1例。

第74回日本気管食道学会総会ならびに学術講演会：福岡市，2023，[口述発表]

71. 金森淳，渡邊雅之，栗山健吾，寺山仁祥，高橋直規，田村真弘，岡村明彦，今村裕
根治性と反回神経麻痺回避を目指した再現性のある上縦隔リンパ節郭清。

第74回日本気管食道学会総会ならびに学術講演会：福岡市，2023，[主要関連]

72. 高橋直規，岡村明彦，田村真弘，寺山仁祥，栗山健吾，金森淳，今村裕，渡邊雅之
食道癌に対する食道切除・結腸再建の治療成績と二期分割手術の有用性。

第74回日本気管食道学会総会ならびに学術講演会：福岡市，2023，[口述発表]

73. 渡邊雅之
進行食道がんに対する術前補助化学療法の進歩。

第85回日本臨床外科学会総会：岡山市，2023，[座長]

74. 寺山仁祥，岡村明彦，栗山健吾，高橋直規，田村真弘，金森淳，今村裕，渡邊雅之
高度進行食道癌に対する低侵襲手術の有用性。

第36回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2023，[一般演題口演]

75. 栗山健吾，岡村明彦，丸山傑，高橋直規，田村真弘，寺山仁祥，金森淳，今村裕，渡邊雅之
食道切除・腹腔鏡操作における助手補助の意義。

第36回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2023，[ミニオーラル]

76. 金森淳，渡邊雅之，栗山健吾，寺山仁祥，岡村明彦，今村裕，高橋直規，田村真弘
根治性と反回神経麻痺回避の両立を目指した#106-101リンパ節郭清。

第36回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2023，[一般演題口演]

77. 金森淳

食道悪性：腹腔鏡操作

第36回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2023，[司会]

78. 高橋直規，岡村明彦，蟹江恭和，栗山健吾，田村真弘，寺山仁祥，金森淳，今村裕，渡邊雅之
下咽頭癌術後、食道癌術後に発症した異時性残食道癌に対して胸腔鏡下残食道切除を施行した一例。

第36回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2023，[ミニオーラル]

【胃外科】

1. Nunobe, S., Yoshikawa, T., Nishida, Y., Yamada, T., Kaji, M., Takagane, A., Teshima, S., Matsushita, H., Tanaka, R., Hihara, J., Katayama, H., Mizusawa, J., Fukuda, H., Boku, N., Terashima, M.

Five-year follow-up results of a randomized phase III trial comparing 4 and 8 courses of S-1 adjuvant chemotherapy for pathological stage II gastric cancer: JCOG1104 (OPAS-1)。

2023 ASCO GI Cancers Symposium: San Francisco, CA, USA+Web開催，2023，[ポスター発表]

2. 松井亮太，井田智，杉田裕，石田洋樹，原田宏輝，寺山仁祥，小寺澤康文，渥美振一郎，西江尚貴，幕内梨恵，速水克，熊谷厚志，大橋学，布部創也

上部消化管がんにおける内臓脂肪量が術後成績に与える影響：A systematic review and meta-analysis。

第26回日本病態栄養学会年次学術集会：京都市，2023，[口述発表]

3. 原田宏輝，速水克，幕内梨恵，井田智，熊谷厚志，大橋学，佐野武，布部創也

上部胃癌に対するロボット支援下胃切除術における良好な視野展開のための簡便な肝左葉脱転法。

第15回日本ロボット外科学会：名古屋市，2023，[一般口演]

4. Makuuchi, R., Hayami, M., Ida, S., Kumagai, K., Ohashi, M., Nunobe, S.
Advantages of robot-assisted gastrectomy over laparoscopic gastrectomy for gastric cancer.
第 95 回日本胃癌学会総会：札幌市，2023, [シンポジウム]
5. Nunobe, S., Takahashi, M., Kinami, S., Fujita, J., Suzuki, T., Suzuki, A., Tanahashi, T., Kawaguchi, Y., Oshio, A., Nakada, K.
Evaluation of postgastrectomy symptoms and daily lives of small remnant distal gastrectomy for upper-third gastric cancer using a large-scale questionnaire survey.
第 95 回日本胃癌学会総会：札幌市，2023, [ワークショップ]
6. Nunobe, S.
Laparoscopic proximal gastrectomy with double-flap technique for the difficult case.
第 95 回日本胃癌学会総会：札幌市，2023, [JGCA-KGCA Joint Session]
7. 井田智，布部創也，速水克，幕内梨恵，熊谷厚志，大橋学，佐野武
胃切除後血糖変動とダンピング症状との関連．
第 95 回日本胃癌学会総会：札幌市，2023, [デジタルポスター]
8. 井田智
術後合併症 4
第 95 回日本胃癌学会総会：札幌市，2023, [座長]
9. 佐野武
ESD の開発に携わって．
第 95 回日本胃癌学会総会：札幌市，2023, [座長]
10. 原田宏輝，大橋学，幕内梨恵，速水克，井田智，熊谷厚志，佐野武，布部創也
胃神経内分泌腫瘍におけるリンパ節転移割合と予後についての検討．
第 95 回日本胃癌学会総会：札幌市，2023, [ワークショップ]
11. 大橋学
食道・胃接合部癌 1
第 95 回日本胃癌学会総会：札幌市，2023, [座長]
12. 寺山仁祥，大橋学，幕内梨恵，速水克，熊谷厚志，佐野武，布部創也
早期胃癌に対する機能温存胃切除術は、高齢者における術後の骨格筋量維持に有用である．
第 95 回日本胃癌学会総会：札幌市，2023, [パネルディスカッション]
13. 小寺澤康文，大橋学，速水克，幕内梨恵，井田智，佐野武，布部創也
胃全摘において病理学的な腫瘍の進展 8mm 以上は予後不良である．
第 95 回日本胃癌学会総会：札幌市，2023, [デジタルポスター]
14. 布部創也
腹腔鏡からロボットへ：がん研有明病院における若手教育のポイント．
第 95 回日本胃癌学会総会：札幌市，2023, [ランチョンセミナー]
15. 布部創也，稲木紀幸
進行胃癌に対する内視鏡下手術のコツ．
第 95 回日本胃癌学会総会：札幌市，2023, [座長]
16. 幕内梨恵，熊谷厚志，陳勁松，速水克，井田智，大橋学，大木暁，高張大亮，山口研成，布部創也
化学療法が著効し conversion 手術にて R0 切除しえた、多発肝転移、多発遠隔リンパ節転移を伴う胃癌の 1 例．
第 95 回日本胃癌学会総会：札幌市，2023, [Virtual Cancer Board]
17. 松井亮太，井田智，杉田裕，石田洋樹，原田宏輝，寺山仁祥，小寺澤康文，渥美振一郎，西江尚貴，幕内梨恵，速水克，熊谷厚志，大橋学，布部創也
胃切除症例に対する術前プレアルブミン値を用いた予後予測：pStage 別の検討．
第 95 回日本胃癌学会総会：札幌市，2023, [ワークショップ]

18. 泉大輔, 布部創也, 速水克, 幕内梨恵, 井田智, 熊谷厚志, 大橋学, 渡邊雅之, 佐野武
胃癌術後 1 年間の骨格筋脂肪置換度の変化.
第 95 回日本胃癌学会総会: 札幌市, 2023, [デジタルポスター]
19. 渥美振一郎, 布部創也, 速水克, 幕内梨恵, 井田智, 熊谷厚志, 大橋学, 渡邊雅之, 佐野武
当院における進行胃癌に対する腹腔鏡下幽門側胃切除術の安全性に関する検討.
第 95 回日本胃癌学会総会: 札幌市, 2023, [デジタルポスター]
20. 石田洋樹, 幕内梨恵, 速水克, 井田智, 熊谷厚志, 大橋学, 布部創也
残胃癌に対する低侵襲手術の短期成績.
第 95 回日本胃癌学会総会: 札幌市, 2023, [デジタルポスター]
21. 西江尚貴, 大橋学, 杉田裕, 松井亮太, 寺山仁祥, 石田洋樹, 原田宏輝, 渥美振一郎, 小寺澤康文, 幕内梨恵, 速水克, 井田智, 熊谷厚志, 布部創也
十二指腸 1st portion の NET に対する術式選択.
第 95 回日本胃癌学会総会: 札幌市, 2023, [デジタルポスター]
22. 速水克
ロボット全盛期時代に腹腔鏡下胃切除を再考する.
第 95 回日本胃癌学会総会: 札幌市, 2023, [ランチョンセミナー]
23. 速水克, 布部創也, 吉水祥一, 藤崎順子, 杉田裕, 松井亮太, 寺山仁祥, 石田洋樹, 原田宏輝, 西江尚貴, 小寺澤康文, 渥美振一郎, 幕内梨恵, 井田智, 熊谷厚志, 大橋学, 佐野武
表在型非乳頭部十二指腸上皮性腫瘍 (SNA-DETs) に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術 (D-LECS) .
第 95 回日本胃癌学会総会: 札幌市, 2023, [ワークショップ]
24. Nunobe, S.
Laparoscopic & endoscopic cooperative gastrectomy (LECS) : Current status & future perspectives.
KSELS 2023 (The 52th Congress of KSELS & 13th International Symposium) : Seoul, Korea, 2023, [シンポジウム]
25. 井田智, 速水克, 幕内梨恵, 熊谷厚志, 大橋学, 布部創也
十二指腸表在型腫瘍に対する D-LECS の治療成績と手技の工夫.
第 123 回日本外科学会定期学術集会: 東京, 2023, [ポスター発表]
26. 井田智, 布部創也, 熊谷厚, 石田洋樹, 速水克, 幕内梨恵, 大橋学, 佐野武
早期胃癌に対する蛍光イメージングを併用した縮小手術の取り組み.
第 123 回日本外科学会定期学術集会: 東京, 2023, [ワークショップ]
27. 原田宏輝, 速水克, 幕内梨恵, 井田智, 熊谷厚志, 大橋学, 佐野武, 布部創也
上部胃癌に対する鏡視下胃切除術における良好な視野展開のための簡便な肝左葉脱転法.
第 123 回日本外科学会定期学術集会: 東京, 2023, [ポスター発表]
28. 寺山仁祥, 大橋学, 幕内梨恵, 速水克, 井田智, 熊谷厚, 佐野武, 渡邊雅之, 布部創也
Intramuscular adipose content (IMAC) 値による筋質評価は, 根治切除後の pStage III 進行胃癌症例において, Docetaxel + S-1 (DS) 補助療法の完遂が困難な症例の予見に有用である.
第 123 回日本外科学会定期学術集会: 東京, 2023, [サージカルフォーラム]
29. 小寺澤康文, 大橋学, 幕内梨恵, 速水克, 井田智, 熊谷厚志, 佐野武, 布部創也
食道浸潤を伴う胃癌, 食道胃接合部癌の口側断端距離の検討.
第 123 回日本外科学会定期学術集会: 東京, 2023, [ポスター発表]
30. 山口俊晴
外科医待遇改善への道筋: 4 つの視点.
第 123 回日本外科学会定期学術集会: 東京, 2023, [司会・講演]

31. 布部創也
ハイボリュームセンターにおける消化管手術 Hybrid RAS.
第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京，2023, [ランチョンセミナー]
32. 布部創也
多様な残胃癌手術を攻略する：低侵襲手術の有用性．
第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京，2023, [ランチョンセミナー]
33. 布部創也
胃：GIST・縮小手術
第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京，2023, [司会]
34. 布部創也，井田智，幕内梨恵，速水克，大橋学，佐野武
腹腔鏡下噴門側胃切除・観音開き法再建の手技と工夫．
第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京，2023, [ディベート]
35. 松井亮太，井田智，杉田裕，石田洋樹，原田宏輝，寺山仁祥，小寺澤康文，渥美振一郎，西江尚貴，幕内梨恵，速水克，熊谷厚志，大橋学，布部創也
GLIM 基準低栄養が消化器がん患者の術後成績に与える影響：A systematic review and meta-analysis.
第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京，2023, [ワークショップ]
36. 泉大輔，布部創也，速水克，幕内梨恵，井田智，熊谷厚志，大橋学，渡邊雅之，佐野武
High volume center における 2000 例の解析に基づく直近 11 年間の腹腔鏡下胃切除レジデント教育の動向とこれから．
第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京，2023, [デジタルポスター]
37. 布部創也
困難例に対する腹腔鏡下噴門側胃切除：観音開き法再建の工夫．
奈良県腹腔鏡下外科手術研究会：橿原市 +Web 開催，2023, [講演]
38. 布部創也
がん研有明病院胃外科における治療戦略とチームビルディング．
第 12 回北日本胃がん集学的治療研究会：札幌市 +Web 開催，2023, [講演]
39. 井田智，守屋智之
がん（周術期管理）1
第 38 回日本臨床栄養代謝学会学術集会：神戸市，2023, [座長]
40. 井田智，伊藤圭子
周術期栄養（ERAS 含む）2
第 38 回日本臨床栄養代謝学会学術集会：神戸市，2023, [座長]
41. 松井亮太，松尾晴代
JSPEN の未来を語ろう．
第 38 回日本臨床栄養代謝学会学術集会：神戸市，2023, [コーディネーター]
42. 松井亮太，佐川まさの
SR 結果報告：Perioperative immunonutrition for head and neck or gastrointestinal cancer.
第 38 回日本臨床栄養代謝学会学術集会：神戸市，2023, [委員会報告]
43. 松井亮太，堤理恵，宮崎安弘，熊谷厚志，青山徹，奥川喜永，島本和巳，牧宏樹，松尾晴代，光永幸代，石井良昌，鍋谷圭宏，比企直樹
学会活動から実践する持続可能な Education：研究セミナーの実践：U45 クラブ設立と今後の展望．
第 38 回日本臨床栄養代謝学会学術集会：神戸市，2023, [シンポジウム]
44. 布部創也，幕内梨恵，速水克，大橋学，佐野武
低侵襲手術時代の胃癌手術 Cutting edge.
第 77 回手術手技研究会：名古屋市，2023, [口述発表]
45. 布部創也，瀧口修司
胃
第 77 回手術手技研究会：名古屋市，2023, [司会]

46. 速水克, 渡邊雅之, 今村裕, 岡村明彦, 金森淳, 幕内梨恵, 井田智, 熊谷厚志, 大橋学, 布部創也
ブタを用いた energy device の側方熱拡散についての検討.
第 77 回手術手技研究会: 名古屋市, 2023, [サージカルフォーラム]
47. Harada, H., Hayami, M., Makuuchi, R., Ida, S., Kumagai, K., Ohashi, M., Nunobe, S.
A simplified method of the hepatic left lateral segment inversion to secure an optimal surgical view around the esophageal hiatus in laparoscopic gastrectomy for upper gastric cancer.
15th International Gastric Cancer Congress (IGCC): 横浜市, 2023, [ポスター発表]
48. Hayami, M., Nunobe, S., Yoshimizu, S., Fujisaki, J., Sugita, Y., Matsui, R., Terayama, M., Ishida, H., Harada, H., Koterazawa, Y., Nishie, N., Atsumi, S., Makuuchi, R., Ida, S., Kumagai, K., Ohashi, M., Sano, T.
Laparoscopy endoscopy cooperative surgery for superficial non ampullary duodenal epithelial tumors.
15th International Gastric Cancer Congress (IGCC): 横浜市, 2023, [口述発表]
49. Ida, S., Nunobe, S., Ri, M., Hayami, M., Makuuchi, R., Kumagai, K., Ohashi, M., Sano, T.
Relationship between changes in blood glucose after gastrectomy and occurrence of late dumping syndrome.
15th International Gastric Cancer Congress (IGCC): 横浜市, 2023, [ポスター発表]
50. Ishida, H., Makuuchi, R., Hayami, M., Ida, S., Kumagai, K., Ohashi, M., Nunobe, S.
Short-term clinical outcomes of minimal invasive surgery for remnant gastric cancer.
15th International Gastric Cancer Congress (IGCC): 横浜市, 2023, [ポスター発表]
51. Kumagai, K., Yoshida, M., Ishida, H., Ishizuka, N., Hayami, M., Ida, S., Makuuchi, R., Ohashi, M., Ikenoyama, Y., Namikawa, K., Tokai, Y., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Fujisaki, J., Sano, T., Nunobe, S.
A prospective observational study of near-infrared fluorescent marking clips in laparoscopic gastrectomy.
15th International Gastric Cancer Congress (IGCC): 横浜市, 2023, [ポスター発表]
52. Makuuchi, R., Hayami, M., Ida, S., Kumagai, K., Ohashi, M., Nunobe, S.
Safety assessment of robot-assisted gastrectomy for gastric cancer.
15th International Gastric Cancer Congress (IGCC): 横浜市, 2023, [口述発表]
53. Matsui, R., Ida, S., Sugita, Y., Ishida, H., Harada, M., Terayama, M., Koterazawa, Y., Atsumi, S., Nishie, N., Makuuchi, R., Hayami, M., Kumagai, K., Ohashi, M., Nunobe, S.
Impact of preoperative prealbumin on overall survival in patients with gastric cancer after gastrectomy.
15th International Gastric Cancer Congress (IGCC): 横浜市, 2023, [口述発表]
54. Nunobe, S.
Function preserving surgery.
15th International Gastric Cancer Congress (IGCC): 横浜市, 2023, [講演]
55. Nunobe, S.
Laparoscopy and Endoscopy Cooperative Surgery for gastric and duodenal tumor.
15th International Gastric Cancer Congress (IGCC): 横浜市, 2023, [講演]
56. Nunobe, S.
Robotic proximal gastrectomy with double-flap technique for esophago-gastric junctional cancer.
15th International Gastric Cancer Congress (IGCC): 横浜市, 2023, [講演]

57. Otake, R., Kumagai, K., Ohashi, M., Makuuchi, M., Hayami, M., Ida, S., Sano, T., Nunobe, S.
Reflux esophagitis after laparoscopic pylorus-preserving gastrectomy for gastric cancer.
15th International Gastric Cancer Congress (IGCC) : 横浜市, 2023, [口述発表]
58. Sano, T.
Advancing upper GI oncology as global citizens.
15th International Gastric Cancer Congress (IGCC) : 横浜市, 2023, [座長]
59. Sano, T.
Overviewing guidelines : East versus West .
15th International Gastric Cancer Congress (IGCC) : 横浜市, 2023, [座長]
60. Sano, T.
Remaining issues for gastric cancer care.
15th International Gastric Cancer Congress (IGCC) : 横浜市, 2023, [座長]
61. Sano, T.
Where are now and where to do ?
15th International Gastric Cancer Congress (IGCC) : 横浜市, 2023, [講演]
62. Terayama, M., Ohashi, M., Harada, H., Ishida, H., Matsui, R., Makuuchi, R., Hayami, M., Ida, S., Kumagai, K., Sano, T., Nunobe, S.
Muscle sparing advantage of stomach preserving gastrectomy for elderly patients.
15th International Gastric Cancer Congress (IGCC) : 横浜市, 2023, [講演]
63. 速水克
低侵襲手術：領域横断に学ぶ郭清と再建：上腹部郭清操作の安全な導入と教育を胃と大腸のエキスパートから学ぶ。
第 45 回日本癌局所療法研究会：東京 +Web 開催, 2023, [最新医学セミナー]
64. 寺山仁祥, 熊谷厚志, 河内洋, 幕内梨恵, 速水克, 井田智, 大橋学, 佐野武, 渡邊雅之, 布部創也
胃壁に隣接した気管支原性嚢胞の 3 切除例。
第 48 回日本外科系連合学会学術集会：横浜市, 2023, [口述発表]
65. 布部創也, 阿部展次
LECS における手技の進歩。
第 48 回日本外科系連合学会学術集会：横浜市, 2023, [ビデオシンポジウム]
66. 松井亮太, 井田智, 杉田裕, 石田洋樹, 原田宏輝, 寺山仁祥, 小寺澤康文, 渥美振一郎, 西江尚貴, 幕内梨恵, 速水克, 熊谷厚志, 大橋学, 布部創也
GLIM 基準低栄養は術前栄養介入の対象である : A systematic review and meta analysis.
第 48 回日本外科系連合学会学術集会：横浜市, 2023, [パネルディスカッション]
67. 石田洋樹, 幕内梨恵, 速水克, 井田智, 熊谷厚志, 大橋学, 布部創也
残胃癌に対する腹腔鏡手術の短期成績。
第 48 回日本外科系連合学会学術集会：横浜市, 2023, [口述発表]
68. 速水克, 布部創也, 吉水祥一, 藤崎順子, 幕内梨恵, 井田智, 熊谷厚志, 大橋学, 佐野武
表在型非乳頭部十二指腸上皮性腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術 (D-LECS) 。
第 48 回日本外科系連合学会学術集会：横浜市, 2023, [ビデオシンポジウム]
69. 李基成
患者さんの予後を考えた手術手技：術後合併症低減を目指して；大腸外科と胃外科。
第 868 回外科集談会：東京, 2023, [スポンサーシンポジウム]
70. Matsui, R.
Perioperative body composition assessment and nutritional intervention for gastric cancer patients.
日本外科代謝栄養学会第 60 回学術集会：東京, 2023, [シンポジウム]

71. 井田智, 伊沢由紀子, 川名加織, 松下亜由子, 斎野容子, 熊谷厚志
全身化学療法中の進行食道癌・胃癌患者に対するONSの摂取コンプライアンスを検討するランダム化試験.
日本外科代謝栄養学会第60回学術集会: 東京, 2023, [ワークショップ]
72. 寺山仁祥, 大橋学, 幕内梨恵, 速水克, 井田智, 熊谷厚志, 佐野武, 布部創也
上部早期胃癌に対する機能温存胃切除術は、高齢者における術後の骨格筋量維持に有用である.
日本外科代謝栄養学会第60回学術集会: 東京, 2023, [口述発表]
73. 布部創也, 山田和彦
周術期の栄養と運動: 早期回復に向けての取り組みと課題: 2.
日本外科代謝栄養学会第60回学術集会: 東京, 2023, [座長]
74. 松井亮太
臨床研究
日本外科代謝栄養学会第60回学術集会: 東京, 2023, [座長]
75. 松井亮太, 井田智, 杉田裕, 石田洋樹, 原田宏輝, 寺山仁祥, 小寺澤康文, 渥美振一郎, 西江尚貴, 幕内梨恵, 速水克, 熊谷厚志, 大橋学, 布部創也
術前プレアルブミン値を用いた胃がん根治切除後の他病死の検討.
日本外科代謝栄養学会第60回学術集会: 東京, 2023, [シンポジウム]
76. 熊谷厚志, 福島亮治
がん化学療法中のベッドサイドに見る栄養療法の意義.
日本外科代謝栄養学会第60回学術集会: 東京, 2023, [座長]
77. Makuuchi, R., Hayami, M., Ida, S., Kumagai, K., Ohashi, M., Nunobe, S.
Comparison between robot-assisted and laparoscopic gastrectomy for advanced gastric cancer: 進行胃癌に対するロボット支援下胃切除術と腹腔鏡下胃切除術の比較検討.
第78回日本消化器外科学会総会: 函館市+Web開催, 2023, [ビデオシンポジウム]
78. Matsui, R., Nunobe, S., Sugita, Y., Ishida, H., Harada, H., Makuuchi, R., Hayami, M., Ida, S., Kumagai, K., Ohashi, M.
Relationship between antithrombotic drugs and postoperative outcomes in patients with gastric cancer: 抗血栓薬内服が胃癌胃切除術後の術後アウトカムに及ぼす影響 a propensity score matching analysis.
第78回日本消化器外科学会総会: 函館市+Web開催, 2023, [シンポジウム]
79. Nunobe, S., Takiguchi, S.
Current status and future prospects of robot-assisted surgery for advanced gastric cancer.
第78回日本消化器外科学会総会: 函館市+Web開催, 2023, [司会]
80. Nunobe, S., Ida, S., Makuuchi, R., Hayami, M., Ohashi, M., Kanamori, J., Okamura, A., Imamura, Y., Watanabe, M., Sano, T.
Laparoscopic proximal gastrectomy with double-flap technique for esophago-gastric junctional cancer: 進行食道胃接合部癌に対する腹腔鏡下噴門側胃切除・観音開き法再建.
第78回日本消化器外科学会総会: 函館市+Web開催, 2023, [ビデオシンポジウム]
81. Ohashi, M., Terayama, M., Hayami, M., Makuuchi, M., Ida, S., Kumagai, K., Sano, T., Nunobe, S.
Feasibility of adjuvant S-1 plus docetaxel for pathological stage III gastric cancer in practice: 実臨床における病理ステージIII胃癌に対するS-1+ドセタキセル療法の実行性.
第78回日本消化器外科学会総会: 函館市+Web開催, 2023, [シンポジウム]
82. 井田智, 熊谷厚志, 速水克, 幕内梨恵, 大橋学, 佐野武, 布部創也
胃切除術前の血清亜鉛値と術後合併症との関連.

- 第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市
+Web 開催，2023，[一般演題]
83. 原田宏輝，大橋学，幕内梨恵，速水克，井田智，
熊谷厚志，佐野武，布部創也
腹腔鏡下幽門保存胃切除術における器械式体腔
内再建法（デルタ吻合，ピラス法）の短期・長
期成績．
第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市
+Web 開催，2023，[ワークショップ]
84. 寺山仁祥，大橋学，幕内梨恵，速水克，井田智，
熊谷厚志，渡邊雅之，佐野武，布部創也
上部早期胃癌に対する残胃温存胃切除術は，高
齢者の術後体重維持及び筋力維持に有用であ
る．
第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市
+Web 開催，2023，[ワークショップ]
85. 小寺澤康文，西江尚貴，渥美振一郎，幕内梨恵，
速水克，井田智，熊谷厚志，大橋学，佐野武，
布部創也
85 歳以上の高齢者胃癌手術症例に対する治療
成績の検討．
第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市
+Web 開催，2023，[ワークショップ]
86. 布部創也
若手外科医の育成：開腹胃がん手術から技術認
定取得まで．
第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市
+Web 開催，2023，[座長]
87. 杉田裕，大橋学，幕内梨恵，速水克，井田智，
熊谷厚志，布部創也
8cm を超える大型 3 型胃癌の臨床病理学的因
子と予後の検討．
第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市
+Web 開催，2023，[一般演題]
88. 泉大輔，布部創也，速水克，幕内梨恵，井田智，
熊谷厚志，大橋学，渡邊雅之，佐野武
High-volume center における直近 11 年間の
腹腔鏡下胃切除レジデント教育とラーニング
カーブに影響する因子．
第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市
+Web 開催，2023，[要望演題]
89. 渥美振一郎，布部創也，速水克，幕内梨恵，井
田智，熊谷厚志，大橋学，渡邊雅之，佐野武
当院における進行胃癌に対する腹腔鏡下幽門側
胃切除術の切離断端に関する検討．
第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市
+Web 開催，2023，[一般演題]
90. 熊谷厚志
胃・十二指腸：胃癌：成績
第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市
+Web 開催，2023，[座長]
91. 石田洋樹，熊谷厚志，幕内梨恵，速水克，井田
智，大橋学，布部創也
胃切除後十二指腸断端縫合不全の治療戦略．
第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市
+Web 開催，2023，[一般演題]
92. 西江尚貴，大橋学，渥美振一郎，小寺澤康文，
幕内梨恵，速水克，井田智，熊谷厚志，布部創
也
十二指腸球部 NET に対する治療戦略．
第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市
+Web 開催，2023，[一般演題]
93. 速水克，井田智，幕内梨恵，熊谷厚志，大橋学，
布部創也
十二指腸腫瘍に対する D-LECS の治療成績．
第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市
+Web 開催，2023，[一般演題]
94. Nunobe, S.
Intracorporeal gastro-gastrostomy.
KINGCA WEEK 2023 (The Korea Interna-
tional Gastric Cancer Week 2023) : Seoul,
Korea, 2023, [シンポジウム]
95. Sano, T.
Evidences for LN grouping and extent of LN
dissection.
KINGCA WEEK 2023 (The Korea Interna-
tional Gastric Cancer Week 2023) : Seoul,
Korea, 2023, [講演]

96. Sano, T.
MDT case Conference
KINGCA WEEK 2023 (The Korea International Gastric Cancer Week 2023) : Seoul, Korea, 2023, [司会]
97. 熊谷厚志
視下胃癌手術における近赤外蛍光クリップの可能性 .
日本蛍光ガイド手術研究会第 6 回学術集会 : 名古屋市 , 2023, [ランチョンセミナー]
98. 石田洋樹
内視鏡治療後胃癌に対する腹腔鏡下胃切除における IC 蛍光法によるセンチネルリンパ節生検と OSNA 法によるリンパ節転移診断 .
日本蛍光ガイド手術研究会第 6 回学術集会 : 名古屋市 , 2023, [シンポジウム]
99. Sano, T., Mönig, S., Roviello, F., Baiocchi, G.
European chapter and gastro- data meeting .
European Chapter Congress of the International Gastric Cancer Association 2023: Geneva, Switzerland, 2023, [座長]
100. Sano, T.
Minimal invasive surgery oesogastric cancer : Eastern view.
European Chapter Congress of the International Gastric Cancer Association 2023: Geneva, Switzerland, 2023, [ビデオセッション]
101. 佐野武
がん医療におけるデジタルトランスフォーメーション .
第 61 回日本癌治療学会学術集会 : 横浜市 , 2023, [UICC シンポジウム]
102. 佐野武
働き方改革 2024 に備えて : ここまで実践しています ! : JaSECT 合同セッション .
第 76 回日本胸部外科学会定期学術集会 : 仙台市 , 2023, [シンポジウム]
103. 速水克 , クレベヴロ・フレドリック , ツェクレコス・アンドリアヌス , ウィンベルグ・ヨハンナサモラ , 神谷諭 , ルベラス・ヤニス , ニルソン・マグナス , リンドブラッド・マッツ
食道切除後の縫合不全に対する Endoscopic Vacuum Therapy の経験 .
第 76 回日本胸部外科学会定期学術集会 : 仙台市 , 2023, [ポスター発表]
104. Sano, T.
To bridge the gap between east and west in gastric cancer.
Annual Congress of KSS 2023 & 75th Congress of the Korean Surgical Society: Seoul, Korea, 2023, [講演]
105. 松井亮太 , 堤理恵 , 宮崎安弘 , 熊谷厚志 , 青山徹 , 奥川喜永 , 島本和巳 , 牧宏樹 , 松尾晴代 , 光永幸代 , 石井良昌 , 鍋谷圭宏 , 竹内裕也 , 市川大輔 , 比企直樹 , 日本臨床栄養代謝学会将来構想委員会
JSPEN 将来構想を見据えた企画の立案と実践 JSPEN-U45 活動報告 .
第 14 回日本臨床栄養代謝学会九州支部学術集会 : 2023, [口述発表]
106. 原田宏輝 , 山本森太郎 , 速水克 , 李基成 , 幕内梨恵 , 大橋学 , 布部創也
当院における D-LECS の工夫と治療成績 .
第 26 回腹腔鏡内視鏡合同手術研究会 : 神戸市 , 2023, [口述発表]
107. 布部創也
食道胃接合部癌の安全な再建 .
第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023 : 消化器外科学会・消化器病学会) : 神戸市 , 2023, [パネルディスカッション 7]
108. 松井亮太 , 井田智 , 布部創也
術前ブレアルブミン低値は胃がん術後の他病死に関わるリスク因子である .
第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023 : 消化器外科学会・消化器病学会消化器内視鏡学会・肝臓学会) : 神戸市 , 2023, [ワークショップ]

109. 熊谷厚志
胃（手術治療（悪性））1
第31回日本消化器関連学会週間（JDDW 2023：消化器外科学会）：神戸市，2023，[座長]
110. 原田宏輝，大橋学，李基成，幕内梨恵，速水克，熊谷厚志，佐野武，布部創也
腹腔鏡下幽門保存胃切除における体腔内器械式胃胃吻合の安全性についての検討．
第53回胃外科・術後障害研究会：東京，2023，[要望演題]
111. 布部創也，松橋延壽
噴門側胃切除
第53回胃外科・術後障害研究会：東京，2023，[司会]
112. 布部創也
胃全摘空腸パウチ作製術の再検証．
第53回胃外科・術後障害研究会：東京，2023，[ランチョンセミナー]
113. 速水克，李基成，幕内梨恵，大橋学，布部創也
当院における食道胃接合部癌に対するロボット支援下噴門側胃切除術．
第53回胃外科・術後障害研究会：東京，2023，[主題演題]
114. 山口俊晴
外科医の働き方改革②
第85回日本臨床外科学会総会：岡山市，2023，[司会]
115. 山本森太郎，李基成，幕内梨恵，速水克，熊谷厚志，大橋学，布部創也
当院における局所進行胃癌に対する腹腔鏡下・ロボット支援下胃全摘術の短期成績．
第85回日本臨床外科学会総会：岡山市，2023，[パネルディスカッション]
116. 東園和哉，幕内梨恵，李基成，速水克，熊谷厚志，大橋学，布部創也
神経内分泌癌に対する至適リンパ節郭清範囲の検討．
第85回日本臨床外科学会総会：岡山市，2023，[ワークショップ]
117. 松井亮太，胡慶江，森戸淳，山本森太郎，東園和哉，杉田裕，石田洋樹，原田宏輝，李基成，幕内梨恵，速水克，熊谷厚志，大橋学，布部創也
消化器がんにおける GLIM 基準低栄養の診断意義：A systematic review and meta-analysis.
第85回日本臨床外科学会総会：岡山市，2023，[ワークショップ]
118. 森戸淳，李基成，幕内理恵，速水克，熊谷厚志，大橋学，布部創也
傍大動脈リンパ節転移を有する進行胃癌に対する No.16 リンパ節の郭清効果．
第85回日本臨床外科学会総会：岡山市，2023，[ワークショップ]
119. 胡慶江，大橋学，李基成，森戸淳，山本森太郎，東園和哉，杉田裕，松井亮太，石田洋樹，原田宏輝，速水克，幕内梨恵，熊谷厚志，布部創也
穹窿部胃癌の臨床病理学的特徴．
第85回日本臨床外科学会総会：岡山市，2023，[ポスター発表]
120. Nunobe, S.
Tips and pitfalls in robotic proximal gastrectomy with double-flap technique.
Seoul International Gastric Cancer Forum 2023 (SIGCF) and 52nd KCLASS Workshop: Seoul, Korea, 2023，[講演]
121. 原田宏輝，大橋学，栗原望，李基成，幕内梨恵，速水克，熊谷厚志，布部創也
腹腔鏡下幽門保存胃切除における体腔内器械式胃胃吻合の安全性についての検討．
第36回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2023，[一般演題口演]
122. 布部創也，市川大輔
噴門側胃切除における至適再建法．
第36回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2023，[司会]
123. 布部創也，李基成，幕内梨恵，速水克，大橋学
大彎浸潤を伴う進行胃癌に対する胃全摘脾合併切除の予後因子の検討．

第 36 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，
2023, [パネルディスカッション]

124. 布部創也

進行胃癌に対する低侵襲手術：ハイボリューム
センターの経験と知見．

第 36 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，
2023, [Educational Lecture 21]

125. 幕内梨恵，李基成，速水克，大橋学，布部創也
ロボット支援下観音開き法再建の安全性の検
討．

第 36 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，
2023, [ワークショップ]

126. 杉田裕，李基成，幕内梨恵，速水克，熊谷厚志，
大橋学，布部創也

当院における噴門部 LECS の手術成績の検討．

第 36 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，
2023, [ワークショップ]

127. 李基成，幕内梨恵，速水克，熊谷厚志，大橋学，
布部創也

局所進行胃癌に対する低侵襲手術：胃全摘と噴
門側胃切除の短期成績について．

第 36 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，
2023, [シンポジウム]

128. 松井亮太，胡慶江，森戸淳，山本森太郎，東園
和哉，杉田裕，石田洋樹，原田宏輝，李基成，
幕内梨恵，速水克，熊谷厚志，大橋学，布部創
也

進行胃癌における術前化学療法後の低侵襲手術
の安全性の検討：A propensity score match-
ing analysis.

第 36 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，
2023, [一般演題口演]

129. 石田洋樹，速水克，李基成，幕内梨恵，熊谷厚
志，大橋学，布部創也

上部進行胃癌に対する腹腔鏡下脾合併切除の手
術手技．

第 36 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，
2023, [一般演題口演]

130. 速水克，李基成，幕内梨恵，熊谷厚志，大橋学，
布部創也

当院における食道胃接合部癌に対する低侵襲噴
門側胃切除術．

第 36 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，
2023, [パネルディスカッション]

【大腸外科】

1. 福長洋介

直腸がんに対する術前集学的治療と手術手技．

第 10 回外科・周術期研究会：仙台市，2023,
[講演会]

2. 櫻井翼，秋吉高志，向井俊貴，日吉幸晴，山口
智弘，長寄寿矢，福長洋介

当院における術前治療を行なった若年性直腸癌
の臨床病理学的検討．

第 98 回大腸癌研究会：浜松市，2023, [口述
発表]

3. 向井俊貴，山口智弘，日吉幸晴，長寄寿矢，秋
吉高志，福長洋介

直腸癌に対する経会陰鏡視下アプローチ併用ロ
ボット支援下骨盤内臓全摘術．

第 15 回日本ロボット外科学会：名古屋市，
2023, [一般口演]

4. 山口智弘

下部消化器④直腸癌（2）

第 15 回日本ロボット外科学会：名古屋市，
2023, [座長]

5. 山口智弘，根本鉄太郎，佐野修平，天野隆皓，
櫻井翼，向井俊貴，日吉幸晴，長寄寿矢，秋吉
高志，福長洋介

大腸癌ロボット手術の教育と普及への取り組
み．

第 15 回日本ロボット外科学会：名古屋市，
2023, [シンポジウム]

6. 太田絵美，日吉幸晴，山口智弘，松浦信子，向
井俊貴，長寄寿矢，秋吉高志，福長洋介

ロボット支援下直腸手術における小開腹先行ア
プローチによるストマ合併症軽減のための工夫．

第 40 回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会：東京，2023，[口演]

7. 山口智弘
ロボット支援下結腸癌手術：内側アプローチとオーバーラップ吻合の工夫．
第 1 回ロボット大腸切除研究会：東京 +Web 開催，2023，[講演]
8. 向井俊貴
ストーマ
第 59 回日本腹部救急医学会総会：宜野湾市，2023，[司会]
9. 山口智弘，秋吉高志，福長洋介
下部消化管領域におけるロボット手術の現況と展望．
第 109 回日本消化器病学会総会：長崎市，2023，[パネルディスカッション]
10. 向井俊樹，日吉幸晴，山口智弘，長寄寿矢，秋吉高志，福長洋介
Two-team 腹腔鏡下骨盤内臓全摘術の治療成績と DVC 処理の工夫．
第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京，2023，[サージカルフォーラム]
11. 天野隆皓，長寄寿矢，甲津卓実，根本鉄太郎，坂本貴志，向井俊貴，日吉幸晴，山口智弘，秋吉高志，福長洋介
中下部直腸癌に対する手術後に人工肛門造設状態となる頻度と要因についての検討．
第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京，2023，[ポスター発表]
12. 山口智弘，櫻井翼，坂本貴志，根本鉄太郎，佐野修平，天野隆皓，向井俊貴，日吉幸晴，長寄寿矢，秋吉高志，福長洋介
右側結腸癌に対するロボット手術：術中体位変換不要な内側アプローチ法と体腔内吻合の工夫．
第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京，2023，[ポスター発表]
13. 日吉幸晴，大徳暢哉，向井俊貴，長寄寿矢，山口智弘，秋吉高志，福長洋介

直腸 NET 切除例における多発 NET 症例の検討．
第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京，2023，[ポスター発表]

14. 櫻井翼，山口智弘，根本鉄太郎，佐野修平，天野隆皓，向井俊貴，日吉幸晴，長寄寿矢，秋吉高志，福長洋介
腹腔鏡下右側結腸癌手術における体腔内吻合時の化学的前処置の有用性について．
第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京，2023，[ポスター発表]
15. 甲津卓実，福長洋介，天野隆皓，櫻井翼，佐野修平，根本鉄太郎，向井俊貴，日吉幸晴，山口智弘，長寄寿矢，秋吉高志
直腸癌に対する腹腔鏡下括約筋間直腸切除術（Pull-through 法）の治療成績．
第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京，2023，[ポスター発表]
16. 福長洋介，須並英二
より安全で有効な大腸手術を目指した新しい技術と工夫（AI，ナビゲーション，モニタリングなど）．
第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京，2023，[司会]
17. 秋吉高志，櫻井翼，向井俊貴，日吉幸晴，長寄寿矢，山口智弘，福長洋介
当院における進行下部直腸癌に対する術前集学的治療戦略とその治療成績．
第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京，2023，[ワークショップ]
18. 秋吉高志
直腸：ロボット手術：1
第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京，2023，[司会]
19. 長寄寿矢，日吉幸晴，向井俊貴，山口智弘，秋吉高志，福長洋介
直腸癌術後排便障害に関する検討．
第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京，2023，[ポスター発表]

20. 福長洋介
新型 4K・3D 内視鏡システムとエネルギーデバイスがもたらす腹腔鏡下手術の新たな可能性 (3D 放映・4K 放映) .
第 34 回内視鏡外科フォーラム in 盛岡：盛岡市，2023, [スポンサーードシンポジウム]
21. 山口智弘
直腸がん集学的治療：TNT、Watch and Wait を中心に .
East Saitama Colorectal Cancer Forum: Web 開催，2023, [講演]
22. 山口智弘
ロボット手術の結腸・直腸プロクターを目指す先生方へ：若手外科医へのメッセージ .
第 45 回日本癌局所療法研究会：東京 +Web 開催，2023, [最新医学セミナー]
23. 山口智弘
ロボット結腸・直腸癌手術：手技のこだわりと当院の治療方針 .
AMG 内視鏡外科フォーラム：上尾市，2023, [特別講演]
24. Akiyoshi, T.
Oncological strategy and outcome in rectal cancer with resectable metastases.
Symposium of Colorectal Cancer with Liver Metastasis in Taiwan: Tainan, 2023, [講演]
25. 福長洋介
全層切除 .
第 23 回 EMR/ESD 研究会：東京，2023, [司会]
26. 山口智弘
ここまで来た！消化器外科ロボット手術 .
第 38 回 AMG 内視鏡外科フォーラム：上尾市，2023, [講演]
27. Sakamoto, T., Akiyoshi, T., Sakurai, T., Mukai, T., Hiyoshi, Y., Yamaguchi, T., Nagasaki, T., Fukunaga, Y.
Oncological strategy and outcome in rectal cancer with resectable metastases : 切除可能な遠隔転移を有する直腸癌に対する治療戦略と成績 .
第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市 +Web 開催，2023, [シンポジウム]
28. 佐野修平，秋吉高志，日吉幸晴，向井俊貴，山口智弘，長寄寿矢，福長洋介，河内洋
進行直腸癌の術前化学放射線療法効果予測因子としての治療前生検検体における Intratumoral budding の有用性 .
第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市 +Web 開催，2023, [ワークショップ]
29. 向井俊貴
大腸：転移再発 4
第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市 +Web 開催，2023, [座長]
30. 向井俊貴
大腸癌手術のコツ、ぜんぶ見せます：ラパロから最新ロボットまで .
第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市 +Web 開催，2023, [ランチョンセミナー]
31. 向井俊貴，日吉幸晴，山口智弘，長寄寿矢，秋吉高志，福長洋介
局所再発直腸癌に対する鏡視下骨盤拡大手術の治療成績 .
第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市 +Web 開催，2023, [口述発表]
32. 天野隆皓，古田桃子，斎野容子，櫻井翼，向井俊貴，日吉幸晴，長寄寿矢，山口智弘，福長洋介
下部直腸癌における術前化学放射線治療後の GNRI 値は予後予測因子となりうる .
第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市 +Web 開催，2023, [一般演題]
33. 太田絵美，福長洋介，向井俊貴，日吉幸晴，山口智弘，長寄寿矢，秋吉高志
異時性腹膜播種再発に対する外科的切除の検討 .
第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市 +Web 開催，2023, [一般演題]

34. 山口智弘
大腸；ロボット手術 4
第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市
+Web 開催，2023，[座長]
35. 山口智弘，秋吉高志，根本鉄太郎，佐野修平，
天野隆皓，櫻井翼，向井俊貴，日吉幸晴，長寄
寿矢，福長洋介
直腸癌に対する Watch and Wait 療法：症例画
像を主に提示．
第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市
+Web 開催，2023，[ワークショップ]
36. 日吉幸晴，山口智弘，向井俊貴，長寄寿矢，秋
吉高志，福長洋介
直腸 NET に対するロボット手術の治療成績．
第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市
+Web 開催，2023，[一般演題]
37. 櫻井翼，山口智弘，根本鉄太郎，佐野修平，天
野隆皓，向井俊貴，日吉幸晴，長寄寿矢，秋吉
高志，福長洋介
腹腔鏡下結腸癌手術に対する体腔内吻合の手技
と工夫．
第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市
+Web 開催，2023，[ワークショップ]
38. 甲津卓実，向井俊貴，坂本貴志，根本鉄太郎，
野口竜剛，日吉幸晴，長寄寿矢，山口智弘，秋
吉高志，福長洋介
術前治療を施行した下部進行直腸癌に対する鏡
視下手術の治療成績．
第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市
+Web 開催，2023，[要望演題ビデオ]
39. 福長洋介，高橋孝夫
下部：直腸癌の治療効果予測と再発リスク診断．
第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市
+Web 開催，2023，[司会]
40. 福長洋介，秋吉高志，長寄寿矢，山口智弘，向
井俊貴，日吉幸晴，櫻井翼，坂本貴志，野口竜
剛，甲津卓実
腹腔鏡下大腸癌手術における困った時の術中対
応．
第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市
+Web 開催，2023，[特別プログラム]
41. 福長洋介
郭清を極める！エキスパートが考える：私の流
儀．
第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市
+Web 開催，2023，[座長]
42. 秋吉高志，問山裕二
下部：直腸癌に対する watch and wait 戦略の
現状と課題．
第 78 回日本消化器外科学会総会：札幌市
+Web 開催，2023，[司会]
43. 秋吉高志，櫻井翼，向井俊貴，日吉幸晴，長寄
寿矢，山口智弘，福長洋介
当院における進行下部直腸癌に対する術前集学
的治療戦略と今後の課題．
第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市
+Web 開催，2023，[パネルディスカッション]
44. 野口竜剛，福長洋介，坂本貴志，根本鉄太郎，
櫻井翼，日吉幸晴，向井俊貴，山口智弘，長寄
寿矢，秋吉高志
外腸骨動脈浸潤を伴う進行・再発大腸癌に対す
る，血行再建併用による根治的切除の試み．
第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市
+Web 開催，2023，[一般演題]
45. 坂本貴志，秋吉高志，櫻井翼，松井信平，向井
俊貴，山口智弘，河内洋，福長洋介
R0 切除可能な肝転移を有する直腸癌に対す
る治療戦略と成績．
第 99 回大腸癌研究会：尼崎市，2023，[口述
発表]
46. 山口智弘，坂本貴志，櫻井翼，向井俊貴，日吉
幸晴，長寄寿矢，秋吉高志，福長洋介
進行下部直腸癌に対する TNT（Total Neoad-
juvant Therapy）の治療成績．
第 99 回大腸癌研究会：尼崎市，2023，
47. 松井信平，櫻井翼，坂本貴志，野口竜剛，甲津
卓実，尾崎公輔，小澤直也，秋山貴彦，安藤陽
平，南原翔，松本倫，向井俊貴，山口智弘，秋
吉高志，福長洋介
当院における虫垂腫瘍に対する治療と臨床病理
学的検討．

- 第 99 回大腸癌研究会：尼崎市，2023, [ポスター発表]
48. 松井信平
虫垂腫瘍のすべて。
第 99 回大腸癌研究会：尼崎市，2023, [座長]
49. 福長洋介
虫垂腫瘍のすべて
第 99 回大腸癌研究会：尼崎市，2023, [座長]
50. 櫻井翼，福長洋介，坂本貴志，松井信平，向井俊貴，山口智弘，秋吉高志
腹腔鏡下括約筋間切除術における Needlescopic surgery の短期成績。
10th Reduced Port Surgery Forum: 北九州市，2023, [主題関連]
51. 福長洋介，小竹優範
下部消化管 1。
10th Reduced Port Surgery Forum: 北九州市，2023, [座長]
52. 山口智弘
ロボット支援下結腸・直腸癌手術における助手の重要性。
第 10 回日本臨床外科学会富山県支部例会：富山市，2023, [ランチョンセミナー]
53. 山口智弘，渡辺徹
腹腔鏡下直腸・左側結腸切除における内側アプローチ（下腸間膜動脈処理前後の操作について）。
第 10 回日本臨床外科学会富山県支部例会：富山市，2023, [コメンテーター]
54. 山口智弘
日本内視鏡外科学会技術認定合格を目指して。
宮城腹腔鏡下大腸切除セミナー：Web 開催，2023, [講演]
55. 山口智弘
結腸癌に対するロボット手術の実際。
第 2 回 KPUM 大腸ロボット手術研究会：京都市，2023, [講演]
56. 山口智弘
大腸外科における現状と対策。
第 8 回日本外科感染症学会特別セミナー：Healthy DiscuSSIon 周術期感染対策セミナー：Web 開催，2023, [講演]
57. 山口智弘
隣接臓器合併切除を伴うロボット支援下直腸癌手術。
一匠一塾：中国合同ウェビナー：Web 開催，2023, [講演]
58. 山口智弘
日本内視鏡外科学会技術認定医取得のコツ。
湘南 GI Hybrid Seminar: Web 開催，2023, [手術手技 Session]
59. 日吉幸晴，向井俊貴，長寄寿矢，山口智弘，秋吉高志，福長洋介
直腸神経内分泌腫瘍のリンパ節転移リスク因子の検討。
第 61 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2023, [一般口演]
60. 福長洋介，向井俊貴，秋吉高志，山口智弘，櫻井翼，松井信平，坂本貴志，野口竜剛，甲津卓実
当院における直腸癌局所再発症例に対する手術成績。
第 61 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2023, [シンポジウム]
61. 秋吉高志，篠崎英司，田口千藏，千野晶子，松井信平，櫻井翼，向井俊貴，山口智弘，福長洋介，山口研成
本邦における TNT の現状。
第 61 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2023, [シンポジウム]
62. 山口智弘，秋吉高志，福長洋介
直腸癌に対する最適な術前・術後治療。
第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023：消化器外科学会・消化器病学会・消化器内視鏡学会)：神戸市，2023, [パネルディスカッション]

63. 秋吉高志
大腸（内視鏡下手術（悪性））
第 31 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2023：消化器外科学会）：神戸市，2023，[座長]
64. 福長洋介，Lee, B. I., Chen, C. C.
Lower GI：大腸癌に対する集学的治療：アジアにおける最前線。
第 31 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2023）：神戸市，2023，[ディスカッション]
65. 小澤直也，横堀武彦，岡田拓久，白石卓也，大曾根勝也，酒井真，佐野彰彦，小川博臣，宗田真，調憲，佐伯浩司
Colitic cancer における MAdCAM-1 の発現とその阻害薬の検討。
第 34 回日本消化器癌発生学会総会：高崎市，2023，[シンポジウム]
66. 向井俊貴，松井信平，櫻井翼，山口智弘，秋吉高志，福長洋介
切除可能な局所再発直腸癌に対する術前（化学）放射線療法の治療成績。
第 78 回日本大腸肛門病学会学術集会：熊本市，2023，[パネルディスカッション]
67. 坂本貴志，向井俊貴，甲津卓実，櫻井翼，松井信平，山口智弘，秋吉高志，福長洋介
脾彎曲部癌に対する至適郭清範囲とアプローチ法。
第 78 回日本大腸肛門病学会学術集会：熊本市，2023，[ビデオシンポジウム]
68. 太田絵美，日吉幸晴，松浦信子，石川加奈子，藤浪文子，向井俊貴，山口智弘，長寄寿矢，秋吉高志，福長洋介
術前ストーママーキングの定型化とストーマ漏出症例の検討。
第 78 回日本大腸肛門病学会学術集会：熊本市，2023，[要望演題]
69. 山口智弘，花井恒一
ロボット支援直腸癌手術。
第 78 回日本大腸肛門病学会学術集会：熊本市，2023，[シンポジウム]
70. 松井信平，櫻井翼，坂本貴志，野口竜剛，甲津卓実，尾崎公輔，小澤直也，秋山貴彦，安藤陽平，南原翔，松本倫，向井俊貴，山口智弘，秋吉高志，福長洋介
下部直腸癌に対する ISR 術後の排便機能障害についての検討。
第 78 回日本大腸肛門病学会学術集会：熊本市，2023，[シンポジウム]
71. 櫻井翼，日吉幸晴，大徳暢哉，坂本貴志，松井信平，向井俊貴，山口智弘，秋吉高志，河内洋，福長洋介
直腸神経内分泌腫瘍における側方リンパ節転移の危険因子と予後への影響。
第 78 回日本大腸肛門病学会学術集会：熊本市，2023，[口述発表]
72. 甲津卓実，福長洋介，坂本貴志，櫻井翼，松井信平，向井俊貴，山口智弘，秋吉高志
直腸癌に対する腹腔鏡下括約筋間直腸切除術（Pull-through 法）の短期成績と術後排便障害に対する検討。
第 78 回日本大腸肛門病学会学術集会：熊本市，2023，[要望演題]
73. 福長洋介
脾彎曲部癌の手術。
第 78 回日本大腸肛門病学会学術集会：熊本市，2023，[司会]
74. 秋吉高志，川合一茂
側方リンパ節郭清。
第 78 回日本大腸肛門病学会学術集会：熊本市，2023，[座長]
75. 秋吉高志，櫻井翼，松井信平，向井俊貴，山口智弘，福長洋介，河内洋，森誠一
進行下部直腸癌における治療前生検検体のゲノム・トランスクリプトーム解析による術前化学放射線療法効果予測。
第 78 回日本大腸肛門病学会学術集会：熊本市，2023，[パネルディスカッション]
76. 野口竜剛，秋吉高志，山口智弘，櫻井翼，松井信平，向井俊貴，福長洋介
当院における進行下部直腸癌に対する術前集学的治療戦略の推移。

- 第 78 回日本大腸肛門病学会学術集会：熊本市，2023, [シンポジウム]
77. 山口智弘
SMV・SMA をどう攻める？：結腸右半切除での合併症回避．
第 85 回日本臨床外科学会総会：岡山市，2023, [学術セミナー]
78. 福長洋介，金光幸男
直腸がんに対する側方郭清の適応（1）．
第 85 回日本臨床外科学会総会：岡山市，2023, [司会]
79. 秋吉高志，永坂岳司
直腸がんに対する術前集学的治療の最前線①
第 85 回日本臨床外科学会総会：岡山市，2023, [司会]
80. 向井俊樹，櫻井翼，松井信平，山口智弘，秋吉高志，福長洋介
局所再発直腸癌に対する腹腔鏡下多臓器合併切除の腫瘍学的安全性についての検討．
第 36 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2023, [パネルディスカッション]
81. 小澤直也，山口智弘，坂本貴志，櫻井翼，松井信平，向井俊貴，秋吉高志，福長洋介
腹腔鏡下およびロボット支援下直腸癌手術における手術部位感染症のリスク因子について．
第 36 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2023, [ミニオーラル]
82. 山口智弘，野口竜剛，坂本貴志，櫻井翼，松井信平，向井俊貴，秋吉高志，福長洋介
術前治療後の直腸癌手術における工夫点．
第 36 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2023, [ワークショップ]
83. 松井信平，秋吉高志，櫻井翼，向井俊貴，山口智弘，福長洋介
下部直腸癌に対する術前 CRT 後の鏡視下側方リンパ節郭清についての検討．
第 36 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2023, [パネルディスカッション]
84. 櫻井翼，山口智弘，坂本貴志，松井信平，向井俊貴，秋吉高志，福長洋介
腹腔鏡下右側結腸癌手術における肥満症例での体腔内吻合の検討．
第 36 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2023, [パネルディスカッション]
85. 甲津卓実，向井俊貴，坂本貴志，野口竜剛，櫻井翼，松井信平，山口智弘，秋吉高志，福長洋介
Total neoadjuvant therapy 後の直腸癌手術は安全に施行できるか．
第 36 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2023, [一般演題口演]
86. 福長洋介
下部悪性：ロボット直腸
第 36 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2023, [司会]
87. 秋吉高志，伊藤雅昭
直腸癌に対する低侵襲手術の最前線．
第 36 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2023, [司会]
88. 秋吉高志，櫻井翼，松井信平，向井俊貴，山口智弘，福長洋介
腹腔鏡下側方リンパ節郭清術の evidence と将来展望．
第 36 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2023, [シンポジウム]
89. 野口竜剛，山口智弘，坂本貴志，櫻井翼，松井信平，向井俊貴，秋吉高志，福長洋介
ロボット支援下直腸手術をどう若手外科医に伝えるか：当院の指導体制．
第 36 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2023, [パネルディスカッション]
90. 小澤直也，山口智弘，羽山ブライアン，武田孝一，野口竜剛，坂本貴志，櫻井翼，松井信平，向井俊貴，秋吉高志，福長洋介
右側結腸癌手術において SSI を減少させる最適な腸管前処置の検討．
第 36 回日本外科感染症学会総会学術集会：北九州市，2023, [ワークショップ]

【肝胆膵外科】

1. 井上陽介
ロボット支援下膵頭十二指腸切除術 (R-PD) の最新の知見 .
第 1 回 HPB ウインターミーティング：ニセコ町, 2023, [一般演題]
2. 井上陽介
膵 3
第 1 回 HPB ウインターミーティング：ニセコ町, 2023, [司会]
3. 伊藤寛倫
T1 : 2 の胆嚢癌に対するリンパ節郭清の意義 .
第 1 回 HPB ウインターミーティング：ニセコ町, 2023, [口演]
4. 伊藤寛倫
胆 2
第 1 回 HPB ウインターミーティング：ニセコ町, 2023, [司会]
5. 佐藤彰記
Multiple scope transition method is a good potion to create an optimal surgical view in Robotic distal pancreatectomy.
第 1 回 HPB ウインターミーティング：ニセコ町, 2023, [一般演題]
6. 大庭篤志
CA19-9 非産生膵癌患者治療における DUPAN-2 の有用性の検討 .
第 1 回 HPB ウインターミーティング：ニセコ町, 2023, [一般演題]
7. 大庭篤志
腹腔鏡 .
第 1 回 HPB ウインターミーティング：ニセコ町, 2023, [一般演題]
8. 井上陽介, 佐藤崇文, 大庭篤志, 小野嘉大, 伊藤寛倫, 高橋祐
ロボット支援膵切除で求められる工夫 : Multiple scope transition による当科の定型化 .
第 15 回日本ロボット外科学会：名古屋市, 2023, [一般口演]
9. 廣瀬雄己, 島崎二郎
小腸⑤
第 59 回日本腹部救急医学会総会：宜野湾市, 2023, [司会]
10. 井上陽介, 古瀬純司, 山上裕機
切除不能膵癌に対する FOLFIRINOX 療法またはゲムシタビン+ナブパクリタキセル併用療法により切除可能と判断された膵癌患者の登録解析研究 (PC-CURE-1) .
第 109 回日本消化器病学会総会：長崎市, 2023, [ワークショップ]
11. 井上陽介, 佐藤崇文, 大庭篤志, 佐藤彰記, 北野雄希, 廣瀬雄己, 小林光助, 小野嘉大, 伊藤寛倫, 高橋祐
浸潤性膵管癌に対するロボット支援下膵切除：当科の定型化 .
第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京, 2023, [ポスター発表]
12. 伊藤寛倫, 風見由祐, 廣瀬雄己, 大庭篤志, 小野嘉大, 佐藤崇文, 井上陽介, 高橋祐
膵管内乳頭粘液囊胞性腫瘍 (IPMN) 切除後の残膵遺残病変と残膵癌再発リスク .
第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京, 2023, [ワークショップ]
13. 佐藤彰記, 佐藤崇文, 大庭篤志, 小野嘉大, 伊藤寛倫, 井上陽介, 高橋祐
腹腔鏡下後腹膜一括郭清膵体尾部切除 (Lap-RAMPS) の手術難度に体型と体格が及ぼす影響 .
第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京, 2023, [ポスター発表]
14. 前川彩, 大庭篤志, 小野嘉大, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 井上陽介, 高橋祐
門脈合併切除を要する進行膵体部癌に対する至適術式選択アルゴリズムの確立 .
第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京, 2023, [ポスター発表]
15. 北野雄希, 大庭篤志, 小野嘉大, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 井上陽介, 高橋祐
胆道癌におけるシンバイオティクスを含む包括的周術期管理チームの取り組み .

- 第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京，2023, [サージカルフォーラム]
16. 大宮康次郎，小野嘉大，大庭篤志，佐藤崇文，伊藤寛倫，井上陽介，高橋祐
胆道癌肝切除におけるドレーン早期抜去の安全性と有用性の評価．
第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京，2023, [ワークショップ]
 17. 大庭篤志，井上陽介，前川彩，高橋敦，小林拓史，大宮康次郎，北野雄希，佐藤彰記，小林光助，廣瀬雄己，小野嘉大，佐藤崇文，伊藤寛倫，高橋祐
ロボット支援下脾切除導入前後の修練医教育とコスト．
第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京，2023, [パネルディスカッション]
 18. 小林光助，小野嘉大，北野雄希，大庭篤志，佐藤崇文，伊藤寛倫，井上陽介，高橋祐
大腸癌肝転移における同時性肝外病変の治療成績．
第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京，2023, [ポスター発表]
 19. 小林拓史，井上陽介，大庭篤志，小野嘉大，佐藤崇文，伊藤寛倫，高橋祐
肉眼的腹膜播種を有さない腹腔洗浄細胞診陽性脾癌に対する治療戦略．
第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京，2023, [サージカルフォーラム]
 20. 廣瀬雄己，大庭篤志，小野嘉大，佐藤崇文，伊藤寛倫，井上陽介，高橋祐
動脈切除または動脈神経叢剥離を要する進行脾癌に対する根治的外科切除の長期成績：新たな周術期化学療法時代における臨床的意義．
第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京，2023, [ポスター発表]
 21. 桐谷翔，小野嘉大，大庭篤，佐藤崇文，伊藤寛倫，井上陽介，高橋祐
糖尿病の急性増悪を伴う脾癌の手術成績．
第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京，2023, [サージカルフォーラム]
 22. 高橋敦，小野嘉大，大庭篤志，佐藤崇文，伊藤寛倫，井上陽介，高橋祐
肝門部領域胆管癌術後における肝再生の検討．
第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京，2023, [サージカルフォーラム]
 23. 高橋祐，井上陽介，伊藤博倫，佐藤崇文，小野嘉大，大庭篤志，佐藤彰記，廣瀬雄己，北野雄希，小林光助，大宮康次，桐谷翔，小林拓史，高橋敦，前川彩
肝門部領域胆管癌に対する血管合併切除の意義．
第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京，2023, [シンポジウム]
 24. 井上陽介，大庭篤志，小野嘉大，佐藤崇文，伊藤寛倫，高橋祐
Vision first, retraction second, and manipulation last：ロボット支援脾切除の定型化で得られた教訓．
第 77 回手術手技研究会：名古屋市，2023, [サージカルフォーラム]
 25. 井上陽介，大庭篤志，小野嘉大，佐藤崇文，伊藤寛倫，高橋祐
ロボット支援下脾頭十二指腸切除における Tailored dissection の具現化．
第 77 回手術手技研究会：名古屋市，2023, [奨励研究賞]
 26. 大宮康次郎，井上陽介，大庭篤志，小野嘉大，佐藤崇文，伊藤寛倫，高橋祐
ロボット支援下脾頭十二指腸切除術における当院での SMD Level 3 郭清手技の工夫．
第 77 回手術手技研究会：名古屋市，2023, [サージカルフォーラム]
 27. 大庭篤志，前川彩，井上陽介，幕内梨恵，大宮康次郎，小林光助，小野嘉大，佐藤崇文，伊藤寛倫，布部創也，高橋祐
幽門側胃切除後のロボット支援下脾動静脈温存脾体尾部切除の工夫．
第 77 回手術手技研究会：名古屋市，2023, [サージカルフォーラム]

28. 小林光助, 小野嘉大, 大庭篤志, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 井上陽介, 高橋祐
Total laparoscopic two-stage liver resection for multiple colorectal liver metastases.
第 77 回手術手技研究会: 名古屋市, 2023, [サージカルフォーラム]
29. 小林拓史, 大庭篤志, 佐藤崇文, 小野嘉大, 伊藤寛倫, 井上陽介, 高橋祐
巨大転移性肝腫瘍に対し、Pmbrolizumab 奏効後に、腹腔鏡下尾状葉切除・下大静脈合併切除を施行した一例。
第 77 回手術手技研究会: 名古屋市, 2023, [サージカルフォーラム]
30. 小野嘉大, 小林光助, 井上陽介, 大庭篤志, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 高橋祐
主要 3 肝静脈浸潤を伴う転移性肝癌に対し、肝静脈再建を含めた 2 期肝切除を施行した 1 例。
第 77 回手術手技研究会: 名古屋市, 2023, [ビデオ賞]
31. 高橋祐, 井上陽介, 伊藤寛倫, 佐藤崇文, 小野嘉大, 大庭篤志, 佐藤彰記, 廣瀬雄己, 北野雄希, 小林光助, 大宮康次郎, 桐谷翔, 小林拓史, 前川彩, 高橋敦
肛門部領域胆管癌に対する左三区域について: 広い離断面対策。
第 77 回手術手技研究会: 名古屋市, 2023, [主題]
32. Ito, H., Sato, T., Oba, A., Ono, Y., Inoue, Y., Takahashi, Y.
Peritumoral microinvasions and risk of lymph node metastasis for early gallbladder cancer (GBCA) .
15th Biennial Congress of the E-AHPBA: Lyon, France, 2023, [ポスター発表]
33. Kobayashi, K., Ono, Y., Kitano, Y., Oba, A., Sato, T., Ito, H., Inoue, Y., Takahashi, Y.
Treatment strategy based on technical and oncological futures in colorectal liver metastases in Japanese high-volume cancer.
15th Biennial Congress of the E-AHPBA: Lyon, France, 2023, [ポスター発表]
34. Hirose, Y., Oba, A., Kitano, Y., Kobayashi, K., Sato, S., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Inoue, Y., Wakai, T., Takahashi, Y.
Caveolin-1 expression predicts survival and treatment failure in resected pancreatic ductal adenocarcinoma.
第 35 回日本肝胆膵外科学会学術集会: 東京, 2023, [口述発表]
35. Inoue, Y.
Introduction of robotic hepatectomy and standardization of techniques.
第 35 回日本肝胆膵外科学会学術集会: 東京, 2023, [座長]
36. Inoue, Y., Kitano, Y., Sato, S., Kobayashi, K., Hirose, Y., Omiya, K., Kobayashi, H., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Takahashi, Y.
Our principle of robotic-assisted pancreaticoduodenectomy: Vision first, retraction second, and manipulation last.
第 35 回日本肝胆膵外科学会学術集会: 東京, 2023, [ビデオワークショップ]
37. Ito, H., Sato, T., Oba, A., Ono, Y., Inoue, Y., Takahashi, Y.
Surgery for early (T1/2) gallbladder cancer: Is radical resection always necessary?
第 35 回日本肝胆膵外科学会学術集会: 東京, 2023, [口述発表]
38. Ito, H.
Want to learn more about study abroad?
第 35 回日本肝胆膵外科学会学術集会: 東京, 2023, [座長]
39. Kiritani, S., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Inoue, Y., Takahashi, Y.
Central pancreatectomy with elevated jejunum patch decreased postoperative pancreatic fistula.
第 35 回日本肝胆膵外科学会学術集会: 東京, 2023, [ワークショップ]
40. Kitano, Y., Ono, Y., Kobayashi, K., Oba, A., Sato, T., Ito, H., Inoue, Y., Takahashi, Y.

Analysis of oncological characterisation and long-term outcomes in patients with KRAS-mutant colorectal liver metastases.

第 35 回日本肝胆膵外科学会学術集会：東京，2023，[ポスター発表]

41. Kobayashi, K.
The experiences and journey of becoming Hepato-Pancreatico-Biliary Attending at Lausanne University Hospital Switzerland.
第 35 回日本肝胆膵外科学会学術集会：東京，2023，[教育講演]
42. Kobayashi, H., Inoue, Y., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Takahashi, Y.
Formalized pancreatic jejunal anastomosis in robot-assisted pancreaticoduodenectomy.
第 35 回日本肝胆膵外科学会学術集会：東京，2023，[ビデオワークショップ]
43. Kobayashi, K.
Treatment strategy based on technical and oncological futures in colorectal liver metastases.
第 35 回日本肝胆膵外科学会学術集会：東京，2023，[シンポジウム]
44. Maekawa, A., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Inoue, Y., Takahashi, Y.
The efficacy of FDG PET for induction chemotherapy in pancreatic ductal adenocarcinoma.
第 35 回日本肝胆膵外科学会学術集会：東京，2023，[口述発表]
45. Omiya, K., Oba, A., Maekawa, A., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Inoue, Y., Takahashi, Y.
Outcomes of metastasectomy for metastatic pancreatic cancer.
第 35 回日本肝胆膵外科学会学術集会：東京，2023，[ワークショップ]
46. Ono, Y., Inoue, Y., Kato, T., Kobayashi, K., Oba, A., Sato, T., Ito, H., Takahashi, Y.
New approach of circumferential lymph

node dissection around the superior mesenteric artery for pancreatic cancer during pancreaticoduodenectomy.

第 35 回日本肝胆膵外科学会学術集会：東京，2023，[ビデオシンポジウム]

47. Sato, S., Inoue, Y., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Takahashi, Y.
Multiple scope transition methods is a good potion to create an optimal surgical view in Robotic distal pancreatectomy.
第 35 回日本肝胆膵外科学会学術集会：東京，2023，[口述発表]
48. Takahashi, Y., Inoue, Y., Ito, H., Sato, T., Ono, Y., Oba, A., Sato, T., Hirose, Y., Kitano, Y., Kobayashi, K., Omiya, K., Kiritani, S., Kobayashi, H., Maekawa, A., Takahashi, Y.
Clinical implication of left trisectionectomy of the liver for perihilar cholangiocarcinoma.
第 35 回日本肝胆膵外科学会学術集会：東京，2023，[パネルディスカッション]
49. Takahashi, Y.
DP-CAR: Indication, technique & perioperative management.
第 35 回日本肝胆膵外科学会学術集会：東京，2023，[座長]
50. Takahashi, A., Inoue, Y., Kitano, Y., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Takahashi, Y.
Standardized techniques to improve short-term outcomes of distal pancreatectomy with celiac axis resection (DP-CAR) .
第 35 回日本肝胆膵外科学会学術集会：東京，2023，[ワークショップ]
51. 高橋祐
The experts' techniques for minimally invasive surgery: エキスパートのこだわりと工夫：低侵襲手術を肝胆膵外科で。
第 35 回日本肝胆膵外科学会学術集会：東京，2023，[座長]

52. 井上陽介, 北野雄希, 佐藤彰記, 小林光助, 大宮康二郎, 大庭篤志, 小野嘉大, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 高橋祐
安全なロボット膵頭十二指腸切除術に必要な理念: 視野, 展開, そして剥離.
第 54 回日本膵臓学会大会: 福岡市, 2023, [シンポジウム]
53. 前川彩, 大庭篤志, 小野嘉大, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 井上陽介, 高橋祐
切除不能膵癌における Conversion Surgery への取り組み.
第 54 回日本膵臓学会大会: 福岡市, 2023, [パネルディスカッション]
54. 前川彩, 大庭篤志, 小野嘉大, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 井上陽介, 高橋祐
門脈合併切除を要する進行膵体部癌における至適術式選択の検討.
第 54 回日本膵臓学会大会: 福岡市, 2023, [一般演題口演]
55. 大宮康次郎, 大庭篤志, 小野嘉大, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 井上陽介, 高橋祐
CA19-9 nonsecretor 膵癌患者の予後評価における DUPAN-2 の有用性の検討.
第 54 回日本膵臓学会大会: 福岡市, 2023, [一般演題口演]
56. 大宮康次郎, 大庭篤志, 前川彩, 小野嘉大, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 井上陽介, 高橋祐
遠隔転移膵癌に対する当科での外科的切除の適応とその有用性の検討.
第 54 回日本膵臓学会大会: 福岡市, 2023, [シンポジウム]
57. 大庭篤志, 前川彩, 井上陽介, 小林光助, 廣瀬雄己, 佐藤彰記, 大宮康次郎, 小野嘉大, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 高橋祐
低侵襲時代の膵癌に対する tailor-made robotic pancreatectomy.
第 54 回日本膵臓学会大会: 福岡市, 2023, [ミニシンポジウム]
58. 大庭篤志, 工藤篤, 前川彩, 赤星径一, 上田浩樹, 石川喜也, 渡邊秀一, 浅野大輔, 井上陽介, 高橋祐, 田邊稔
膵神経内分泌腫瘍の悪性度を予測するタイプ別形態分類の検討.
第 54 回日本膵臓学会大会: 福岡市, 2023, [パネルディスカッション]
59. 小林光助, 小野嘉大, 大庭篤志, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 井上陽介, 高橋祐
術前化学療法後 BR-A 膵癌術後の局所再発から考える至適切除範囲の検討.
第 54 回日本膵臓学会大会: 福岡市, 2023, [ミニシンポジウム]
60. 小野嘉大, 井上陽介, 佐々木隆, 尾阪将人, 笹平直樹, 小林光助, 大庭篤志, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 齋浦明夫, 高橋祐
切除境界域膵癌に対する術前化学療法 Gem + nab-PTX 4 コース後の長期成績と今後の課題.
第 54 回日本膵臓学会大会: 福岡市, 2023, [シンポジウム]
61. 廣瀬雄己, 大庭篤志, 北野雄希, 小林光助, 佐藤彰記, 大宮康次郎, 小野嘉大, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 井上陽介, 若井俊文, 高橋祐
膵癌の癌細胞及び Cancer-associated fibroblasts における Caveolin-1 発現の臨床的意義.
第 54 回日本膵臓学会大会: 福岡市, 2023, [一般演題口演]
62. Inoue, Y., Sato, T., Kitano, Y., Sato, S., Kobayashi, K., Hirose, Y., Oba, A., Ono, Y., Ito, H., Takahashi, Y.
Standardization of robotic-assisted pancreaticoduodenectomy: Appraisal 2 years after introduction: ロボット支援下膵頭十二指腸切除の定型化とチームビルディング: 導入 2 年を経て.
第 78 回日本消化器外科学会総会: 函館市 + Web 開催, 2023, [ビデオシンポジウム]
63. Maekawa, A., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Inoue, Y., Takahashi, Y.
Technical strategy for advanced pancreatic body cancer requiring portal vein resection: 門脈合併切除を要する膵体部癌に対する至適術式選択の検討.

第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市
+Web 開催, 2023, [シンポジウム]

64. 伊藤寛倫, 大庭篤志, 小野嘉大, 佐藤崇文, 井上陽介, 高橋祐

G1/2 膵神経内分泌腫瘍の手術成績：縮小手術は許容されるか？

第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市
+Web 開催, 2023, [口述発表]

65. 佐藤崇文, 小林光助, 大宮康次郎, 大庭篤志, 小野嘉大, 伊藤寛倫, 井上陽介, 高橋祐

標準手技としての左後方アプローチによる腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術。

第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市
+Web 開催, 2023, [要望演題ビデオ]

66. 佐藤彰記, 大庭篤志, 北野雄希, 小野嘉大, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 井上陽介, 高橋祐

ハイボリューム肝胆膵外科におけるロボット支援膵切除教育の現状と展望。

第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市
+Web 開催, 2023, [口述発表]

67. 北野雄希, 小野嘉大, 小林光助, 大庭篤志, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 井上陽介, 高橋祐

Borderline resectable 大腸癌肝転移に対する multidisciplinary approach.

第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市
+Web 開催, 2023, [口述発表]

68. 大宮康次郎, 伊藤寛倫, 大庭篤志, 小野嘉大, 佐藤崇文, 井上陽介, 高橋祐

80 歳以上の高齢膵癌患者に対する膵頭十二指腸切除術の成績。

第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市
+Web 開催, 2023, [口述発表]

69. 小林光助, 伊藤寛倫, 大庭篤志, 小野嘉大, 佐藤崇文, 井上陽介, 高橋祐

膵頭十二指腸切除における至適ドレーン本数の検討：膵液瘻リスク分類での層別化。

第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市
+Web 開催, 2023, [ワークショップ]

70. 小林拓史, 井上陽介, 北野雄希, 大庭篤志, 小野嘉大, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 高橋祐
解剖学的 / 生物学的切除可能膵癌に対する NAC-GS 療法の長期予後。

第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市
+Web 開催, 2023, [ワークショップ]

71. 小野嘉大, 小林光助, 井上陽介, 大庭篤志, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 高橋祐

主要肝静脈浸潤を伴う肝腫瘍切除時にグラフトを用いた肝静脈再建の手技と有用性。

第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市
+Web 開催, 2023, [要望演題ビデオ]

72. 桐谷翔, 小野嘉大, 大庭篤志, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 井上陽介, 高橋祐

傾向スコアマッチング法を用いた単発肝細胞癌に対する系統切除および非系統切除の治療成績。

第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市
+Web 開催, 2023, [一般演題]

73. 高橋敦, 小野嘉大, 大庭篤志, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 井上陽介, 高橋祐

当院における Failure to rescue 回避に向けての取り組み。

第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市
+Web 開催, 2023, [口述発表]

74. 高橋祐, 井上陽介, 伊藤寛倫, 佐藤崇文, 小野嘉大, 大庭篤志

胆道癌に対する Major HPD の治療成績：肝切除量（右側 vs 左側肝切除）による術後成績の比較。

第 78 回日本消化器外科学会総会：函館市
+Web 開催, 2023, [ワークショップ]

75. 井上陽介

Conversion surgery 1.

第 50 回日本膵切研究会：東京, 2023, [司会]

76. 井上陽介, 大宮康次郎, 前川彩, 大庭篤志, 小野嘉大, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 高橋祐

UR-M に対する当院の Conversion Surgery の現状と今後の治療戦略。

第 50 回日本膵切研究会：東京, 2023, [全員討論会]

77. 井上陽介
世界を追い越せ！日本の膵臓 MIS の進むべき道．
第 50 回日本膵切研究会：東京，2023，[ラン
チョンセミナー]
78. 宮田辰徳，大庭篤志，井上陽介，桐谷翔，小野
嘉大，佐藤崇文，伊藤寛倫，高橋祐
膵炎既往を有する膵頭部癌に対するロボット支
援下幽門輪温存膵頭十二指腸切除術の経験．
第 50 回日本膵切研究会：東京，2023，[ポス
ター発表]
79. 小林光助，井上陽介，大庭篤志，桐谷翔，小野
嘉大，佐藤崇文，伊藤寛倫，高橋祐
低侵襲膵頭十二指腸切除の成績：ロボット支援
下および腹腔鏡下の比較検討．
第 50 回日本膵切研究会：東京，2023，[シン
ポジウム]
80. 小林拓史，井上陽介，桐谷翔，小林光助，大庭
篤志，小野嘉大，佐藤崇文，伊藤寛倫，高橋祐
ロボット支援下手術は開腹に比べて、Soft
pancreas 症例の膵頭十二指腸切除術後の膵液
瘻を減らしうるか．
第 50 回日本膵切研究会：東京，2023，[ポス
ター発表]
81. 桐谷翔，大庭篤志，井上陽介，小野嘉大，佐藤
崇文，伊藤寛倫，高橋祐
空腸パッチによる中央膵切除の膵液瘻対策．
第 50 回日本膵切研究会：東京，2023，[要望
演題]
82. Inoue, Y.
Mesenteric approach pancreatoduodenec-
tomy.
9th Biennial Congress of the Asian-Pacific
Hepato-Pancreato-Biliary Association (APH-
PBA2023) : Bengaluru, India, 2023, [発表
形式不明]
83. Inoue, Y., Sato, T., Oba, A., Ono, Y., Ito, H.,
Takahashi, Y.
Optimized view and retraction during ro-
botic pancreaticoduodenectomy using mul-
tiple scope transition method.
9th Biennial Congress of the Asian-Pacific
Hepato-Pancreato-Biliary Association (APH-
PBA2023): Bengaluru, India, 2023, [Plenary
Session]
84. Inoue, Y., Kobayashi, K., Oba, A., Ono, Y.,
Sato, T., Ito, H., Takahashi, Y.
Optimizing the selection of technically un-
resectable colorectal liver metastases:
Analysis of 122 consecutive unresectable
patients in a single center.
9th Biennial Congress of the Asian-Pacific
Hepato-Pancreato-Biliary Association (APH-
PBA2023): Bengaluru, India, 2023, [Plenary
Session]
85. Inoue, Y., Kobayashi, K., Oba, A., Ono, Y.,
Sato, T., Ito, H., Takahashi, Y.
Standardized management of post-pan-
createctomy hemorrhage can mitigate the
90-day mortality down to 0.2%: A sin-
gle-center experience of consecutive 1,096
pancreatoduodenectomies.
9th Biennial Congress of the Asian-Pacific
Hepato-Pancreato-Biliary Association (APH-
PBA2023): Bengaluru, India, 2023, [Plenary
Session]
86. Inoue, Y., Oba, A., Takashi, Y.
Is robotic pancreaticoduodenectomy a fu-
ture standard procedure for distal biliary
malignancy?
第 59 回日本胆道学会学術集会：札幌市，
2023，[ワークショップ]
87. 伊藤寛倫
胆汁漏（2）
第 59 回日本胆道学会学術集会：札幌市，
2023，[座長]
88. 北野雄希，大庭篤志，小野嘉大，佐藤崇文，伊
藤寛倫，井上陽介，高橋祐
胆道癌に対する肝切除・肝外胆管切除における
包括的周術期管理チームの取り組み．
第 59 回日本胆道学会学術集会：札幌市，
2023，[デジタルポスター]

89. 大宮康次郎, 大庭篤志, 小野嘉大, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 井上陽介, 高橋祐
CA19-9 陰性胆道癌患者の予後予測における DUPAN-2 の有用性の検討.
第 59 回日本胆道学会学術集会: 札幌市, 2023, [デジタルポスター]
90. 高橋敦, 小野嘉大, 大庭篤志, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 井上陽介, 高橋祐
肝門部領域胆管癌に対する術後肝再生, 脾臓容積の検討.
第 59 回日本胆道学会学術集会: 札幌市, 2023, [デジタルポスター]
91. 高橋祐, 井上陽介
上中部胆管癌における至適術式は?
第 59 回日本胆道学会学術集会: 札幌市, 2023, [デジタルポスター]
92. 高橋祐
肝門部領域 (手術: 1) .
第 59 回日本胆道学会学術集会: 札幌市, 2023, [座長]
93. 井上陽介
膵癌の集学的治療と外科の役割 update 2023 : 見えてきた UR へのアプローチ.
第 61 回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2023, [イブニングセミナー]
94. 北野雄希, 井上陽介, 大庭篤志, 小野嘉大, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 高橋祐
Resectable 膵癌に対する NAC-GS 療法の臨床病理学的有用性の検討.
第 61 回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2023, [口述発表]
95. 井上陽介
安全なロボット膵頭十二指腸切除導入のための考え方.
第 15 回膵臓内視鏡外科研究会: 岡山市, 2023, [スポンサーセッション]
96. 小林光助, 井上陽介, 大庭篤志, 小野嘉大, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 高橋祐
がん研有明病院における若手肝胆膵外科医の修練課程: 開腹、腹腔鏡からロボット手術へ.
第 15 回膵臓内視鏡外科研究会: 岡山市, 2023, [ワークショップ]
97. 廣瀬雄己, 大庭篤志, 高橋祐
動脈浸潤を伴う膵癌 (BR-A/UR-LA) に対する根治的外科切除成績の時代変遷と予後因子解析: 新たな周術期化学療法時代における臨床的意義.
第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023: 消化器外科学会・消化器病学会・消化器内視鏡学会・肝臓学会): 神戸市, 2023, [シンポジウム]
98. 大庭篤志, 井上陽介, 高橋祐
膵癌に対する Robot-assisted pancreatotomy.
第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023: 消化器外科学会・消化器病学会・消化器内視鏡学会): 神戸市, 2023, [パネルディスカッション]
99. 井上陽介, 笹平直樹, 高橋祐
Conversion Surgery のタイミング最適化を目指した "Potentially convertible" の概念の提唱と実践.
第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023: 消化器病学会・消化器内視鏡学会・消化器外科学会・消化器がん検診学会): 神戸市, 2023, [パネルディスカッション]
100. 小林光助, 井上陽介, 高橋祐
大腸癌肝転移に対する集学的アプローチ: 治療の進化と普遍化.
第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023: 肝臓学会・消化器病学会・消化器内視鏡学会・消化器外科学会): 神戸市, 2023, [シンポジウム]
101. 大宮康次郎, 佐藤崇文, 大庭篤志, 小野嘉大, 伊藤寛倫, 井上陽介, 高橋祐
デジタル化による手術記録の進化と実践的な作成方法.
第 85 回日本臨床外科学会総会: 岡山市, 2023, [総会特別企画]

102. 小林光助, 大庭篤志, 小野嘉大, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 井上陽介, 高橋祐
世界の医師たちから日本の研修医へのメッセージ: 中堅外科医のリアルなアンケート.
第 85 回日本臨床外科学会総会: 岡山市, 2023, [総会特別企画]
103. 小野嘉大, 井上陽介, 小林光助, 大庭篤志, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 高橋祐
術前化学療法後の膵頭十二指腸切除術における、最適な神経叢および上腸間膜動脈周囲リンパ節郭清の検討.
第 85 回日本臨床外科学会総会: 岡山市, 2023, [パネルディスカッション]
104. Kobayashi, K., Inoue, Y., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Takahashi, Y.
Optimal classification and treatment strategy based on technical and oncological futures in recurrence of colorectal liver metastases.
ESMO Asia Congress 2023: Singapore, 2023, [ポスター発表]
105. 佐藤崇文, 井上陽介, 桐谷翔, 小林拓史, 高橋敦, 前川彩, 大宮康次郎, 小林光助, 大庭篤志, 小野嘉大, 高橋祐
低侵襲膵頭十二指腸切除における SMA への最適なアプローチ法.
第 36 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2023, [シンポジウム]
106. 佐藤崇文
肝臓: 腹腔鏡手術 3
第 36 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2023, [司会]
107. 小林光助, 井上陽介, 大庭篤志, 桐谷翔, 小野嘉大, 佐藤崇文, 高橋祐
膵頭十二指腸切除術におけるロボット支援下と開腹手術の比較: 導入から定型化、未来へ.
第 36 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2023, [一般演題口演]
108. 桐谷翔, 井上陽介, 大庭篤志, 小野嘉大, 佐藤崇文, 高橋祐
ロボット支援下膵頭十二指腸切除における Left-Posterior アプローチの有用性.
第 36 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2023, [一般演題口演]
109. 馬場逸人, 大庭篤志, 小野嘉大, 佐藤崇文, 井上陽介, 高橋祐
鏡視下膵体尾部切除術における膵液瘻発生リスク因子の検討: 腹腔鏡 / ロボットの治療成績比較から.
第 36 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2023, [一般演題口演]

【消化器化学療法科】

1. Osumi, H., Shinozaki, E., Nakamura, Y., Esaki, T., Yasui, H., Taniguchi, H., Satake, H., Sunakawa, Y., Komatsu, Y., Kagawa, Y., Denda, T., Shiozawa, M., Satoh, T., Nishina, T., Goto, M., Takahashi, N., Kato, T., Bando, H., Yamaguchi, K., Yoshino, T.
Neo RAS wild-type metastatic colorectal cancer in the SCRUM-Japan GOZILA study.
2023 ASCO GI Cancers Symposium: San Francisco, CA, USA +Web 開催, 2023, [口述発表]
2. Yoshino, K., Osumi, H., Ooki, A., Fukuda, K., Fukuoka, S., Nakayama, I., Wakatsuki, T., Ogura, M., Takahari, D., Chin, K., Yamaguchi, K., Shinozaki, E.
Impact of high-dose dexamethasone and prolonged infusion time to prevent hypersensitivity reaction related to oxaliplatin in patients with colorectal cancer.
2023 ASCO GI Cancers Symposium: San Francisco, CA, USA +Web 開催, 2023, [ポスター発表]
3. 下寄啓太郎, 高張大亮, 中山徹馬, 山口研成
予後因子を用いた後治療移行割合の検討: 切除不能進行再発胃癌における最適な continuum of care を考える.
第 95 回日本胃癌学会総会: 札幌市, 2023, [ワークショップ]

4. 中山巖馬
術前化学療法 .
第 95 回日本胃癌学会総会：札幌市，2023, [座長]
5. 中山巖馬，高張大亮，大橋学，布部創也，山口研成
スキルス型胃癌に対する周術期化学療法の新展開 .
第 95 回日本胃癌学会総会：札幌市，2023, [パネルディスカッション]
6. 中山巖馬，高張大亮，陳勁松，小倉真理子，大木暁，福田晃史郎，大隅寛木，福岡聖大，若槻尊，篠崎英司，山口研成
化学療法が奏効した診断時切除不能遠隔転移を有する胃がんの化学療法継続と Conversion surgery の治療成績 .
第 95 回日本胃癌学会総会：札幌市，2023, [シンポジウム]
7. 山口研成
HER2 陽性胃癌の最適な治療シーケンスを考える .
第 95 回日本胃癌学会総会：札幌市，2023, [座長]
8. 山口研成
胃がん薬物療法 2023：個別化治療への期待 .
第 95 回日本胃癌学会総会：札幌市，2023, [座長]
9. 若槻尊，馬島哲夫，川田直美，中村健一，清宮啓之，山口研成
胃がんにおける抗 VEGFR2 抗体投与後の幹細胞関連因子発現と治療抵抗性には宿主由来の VEGF-A 誘導が寄与する .
第 95 回日本胃癌学会総会：札幌市，2023, [パネルディスカッション]
10. 陳勁松
化学療法 3.
第 95 回日本胃癌学会総会：札幌市，2023, [座長]
11. 陳勁松，川端良平，保坂尚志，武藤理，進藤吉明，永田直幹，藪崎裕，今村博司，遠藤俊治，柏田知美，中村将人，檜原淳，小林道也，長島文夫，高張大亮，石塚直樹，山口研成
高齢者転移進行胃癌に対する CapeOX 第 2 相試験（TCOG GI-1601）G8/MINI-COG を用いた探索的解析 .
第 95 回日本胃癌学会総会：札幌市，2023, [パネルディスカッション]
12. 高張大亮
周術期薬物療法の新しい展開 .
第 95 回日本胃癌学会総会：札幌市，2023, [座長]
13. 下寄啓太郎，中山巖馬，高張大亮，吉野光一郎，福田晃史郎，福岡聖大，大隅寛木，若槻尊，大木暁，篠崎英司，小倉真理子，陳勁松，山口研成
HER2 陰性切除不能進行・再発胃癌における PD-L1 発現と臨床病理学的因子の関連に関する検討 .
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催，2023, [ポスター発表]
14. 中山巖馬，高張大亮，陳勁松，若槻尊，大木暁，小倉真理子，福田晃史郎，大隅寛木，福岡聖大，篠崎英司，山口研成
HER2 低発現胃がんの臨床病理学的特徴 .
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催，2023, [Mini Oral Session]
15. 吉野光一郎，中山巖馬，下寄啓太郎，福田晃史郎，福岡聖大，大隅寛木，小倉真理子，若槻尊，大木暁，篠崎英司，陳勁松，山口研成，高張大亮
当院での進行胃癌に対する Trastuzumab Deruxtecan の使用経験 .
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催，2023, [ポスター発表]
16. 大木暁，陳勁松，坂東英明，熊谷尚悟，小谷大輔，三島沙織，羽部匠，對馬隆浩，原浩樹，門脇重憲，加藤健，山口研成，影山俊一郎，北條秀博，中村匡希，橘英伸
切除不能局所進行食道扁平上皮癌に対する化学

放射線療法後のアテゾリズマブの有効性・安全性をみる第 II 相試験 (EPOC1802) .

第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会 : 福岡市 +Web 開催 , 2023, [Presidential Session]

17. 山口研成
消化器 1 (結腸・直腸がん)
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会 : 福岡市 +Web 開催 , 2023, [司会]
18. 山口研成
Comprehensive treatment sequence in metastatic gastric cancer since the introduction of ICI in first-line treatment.
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会 : 福岡市 +Web 開催 , 2023, [司会]
19. 山口研成
CM649 長期フォローデータを踏まえた 1 次治療への期待 .
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会 : 福岡市 +Web 開催 , 2023, [メディカルセミナー]
20. 福田晃史郎 , 高張大亮 , 大隅寛木 , 中山巖馬 , 福岡聖大 , 小倉真理子 , 大木暁 , 若槻尊 , 下寄啓太郎 , 吉野光一郎 , 篠崎英司 , 陳勁松 , 山口研成
進行胃癌患者に対するサルベージライン治療としてのトリフルリジン・チピラシル塩酸塩 (FTD/TPI) の有効性と安全性について .
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会 : 福岡市 +Web 開催 , 2023, [Mini Oral Session]
21. 篠崎英司
大腸癌化学療法における抗 EGFR 抗体薬の役割 .
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会 : 福岡市 +Web 開催 , 2023, [モーニングセミナー]
22. 陳勁松 , 大沼啓之
消化器 4 (食道がん・化学療法)
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会 : 福岡市 +Web 開催 , 2023, [司会]
23. 高張大亮 , 沖田南都子
臨床試験推進プログラム 2.

第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会 : 福岡市 +Web 開催 , 2023, [司会]

24. Yamaguchi, K.
Immunotherapy for gastrointestinal cancer : Focus on esophageal, gastric, and colorectal cancer.
第 109 回日本消化器病学会総会・18th JSGE-AGA Joint Meeting: 長崎市 , 2023, [講演]
25. Fukuda, K., Osumi, H., Akira, O., Udagawa, S., Nakayama, I., Fukuoka, S.
Clinical significance of primary tumor sites and epithelial tumor markers in patients with unresectable/recurrent gastrointestinal neuroendocrine carcinoma treated with combined chemotherapy with irinotecan and cisplatin.
ESMO World Congress on Gastrointestinal Cancer: Barcelona, Spain, 2023, [ポスター発表]
26. Takahari, D.
Immunotherapy for gastric cancer.
15th International Gastric Cancer Congress (IGCC) : 横浜市 , 2023, [講演]
27. Takahari, D.
Current insights in gastric cancer chemotherapy.
15th International Gastric Cancer Congress (IGCC) : 横浜市 , 2023, [イブニングセミナー]
28. Wakatsuki, T., ほか
Exploratory analysis of HER2 extracellular domain in HER2 positive gastric cancer treated with SOX plus trastuzumab.
15th International Gastric Cancer Congress (IGCC) : 横浜市 , 2023, [口述発表]
29. Yamaguchi, K.
Trastuzumab duruxtecane for advanced gastric and gastroesophageal cancer: Focus on difficulties in the drug development of AGC.
15th International Gastric Cancer Congress (IGCC) : 横浜市 , 2023, [講演]

30. Yamaguchi, K.
The latest treatment in gastric cancer and treatment sequencing.
15th International Gastric Cancer Congress (IGCC) : 横浜市, 2023, [ランチョンセミナー]
31. Yamaguchi, K.
History of standard chemotherapy for gastric cancer in Japan.
15th International Gastric Cancer Congress (IGCC) : 横浜市, 2023, [イブニングセミナー]
32. 中山巖馬
胃癌における血管新生阻害剤の役割 .
第 45 回日本癌局所療法研究会 : 東京 +Web 開催, 2023, [最新医学セミナー]
33. 山口研成
大腸がん治療ガイドラインを語る .
第 48 回日本外科系連合学会学術集会 : 横浜市, 2023, [ランチョンセミナー]
34. 山口研成, 室圭
癌治療における支持療法の現状と課題 .
第 48 回日本外科系連合学会学術集会 : 横浜市, 2023, [司会]
35. 陳勁松, 佐竹悠良
外来化学療法における他職種に関わり .
第 48 回日本外科系連合学会学術集会 : 横浜市, 2023, [司会]
36. 陳勁松, 李相雄
術前 / 術後補助療法 .
第 77 回日本食道学会学術集会 : 大阪市, 2023, [座長]
37. 高張大亮
胃癌の周術期化学療法の進歩 .
第 29 回日本ヘリコバクター学会学術集会 : 東京, 2023, [シンポジウム]
38. 福田晃史郎, 篠崎英司, 大隅寛木, 大木暁, 宇田川翔平, 丹羽美香子, 福岡聖大, 中山巖馬, 小倉真理子, 若槻尊, 高張大亮, 陳勁松, 山口研成
当院における切除不能・再発虫垂癌に対する化学療法の治療成績 .
第 99 回大腸癌研究会 : 尼崎市, 2023, [口述発表]
39. Osumi, H., Wakatsuki, T., Takahari, D., Ooki, A., Chin, K., Shoji, H., Ogura, M.
Clinical relevance of circulating tumor DNA in HER2-positive advanced gastric cancer: Results from phase Ib trial of HER2 and PD-1 dual targeted therapy (Ni-High) .
ESMO Congress: Madrid, Spain, 2023, [ポスター発表]
40. 宇田川翔平, 中山巖馬, 深田一平, 丹羽美香子, 福岡聖大, 大隅寛木, 小倉真理子, 若槻尊, 大木暁, 陳勁松, 篠崎英司, 山口研成, 高張大亮
転移性胃・食道胃接合部癌に対する包括的ゲノムプロファイリング検査の実臨床への導入 .
第 61 回日本癌治療学会学術集会 : 横浜市, 2023, [口述発表]
41. 山口研成
消化器癌、腫瘍免疫環境の Update : Bench to bedside.
第 61 回日本癌治療学会学術集会 : 横浜市, 2023, [司会]
42. 山口研成, Janjigian, Y. Y., 設楽紘平, Moehler, M., Garrido, M., Gallardo, C., Shen, L., Wyrwicz, L., Skoczylas, T., Bragagnoli, A., Liu, T., Tehfe, M., Elimova, E., Bruges, R., James · M., Karamouzis, C., M., Soleymani, S., Lei, M., Chanaga, C. A., Ajani, J. A.
進行胃がんにおける 1L ニボルマブ + 化学療法: CheckMate649 3 年フォローアップ .
第 61 回日本癌治療学会学術集会 : 横浜市, 2023, [アンコールセッション]
43. 福田晃史郎, 大隅寛木, 善浪佑理, 高島淳生, 大内康太, 澤田亮一, 若槻尊, 大木暁, 中山巖馬, 平野秀和, 庄司広和, 加藤健, 朴成和, 山口研成, 篠崎英司
RAS/BRAF 野生型転移性大腸癌に対する抗

EGFR 抗体薬再投与の効果に関する多施設観察研究.

第 61 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2023, [一般口演]

44. 篠崎英司

遠隔転移巣切除を行った大腸癌患者に補助化学療法は必要か？：大腸癌肝転移の周術期化学療法.

第 61 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2023, [シンポジウム]

45. 篠崎英司，城後友望子，衣斐寛倫，舩石俊樹，加藤健志，仁科智裕，江崎泰斗，小松嘉人，加藤健，佐藤暁洋，坂東英明，Odegaard, J., 藤井誠志，吉野孝之，中村能章

ctDNA に FGFR 遺伝子異常を有する進行固形がんに対するフチバチニブの有効性の検討.

第 61 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2023, [口述発表]

46. 高張大亮，福田晃史郎，山口研成

消化器がん化学療法症例への早期緩和治療の取り組み.

第 61 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2023, [シンポジウム]

47. 山口研成

大腸癌治療における Precision Medicine の現在地.

第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023:消化器病学会)：神戸市，2023, [司会]

【肝胆膵内科】

1. 山田学，岡本武士，石塚隆浩，中川皓貴，古川貴光，三重堯文，武田剛志，春日章良，松山真人，佐々木隆，尾阪将人，笹平直樹

EUS-HGS 後に遅発性の仮性動脈瘤破裂を来した 1 例.

日本消化器病学会関東支部第 373 回例会：東京，2023, [口述発表]

2. 三重堯文，尾阪将人，石塚隆浩，山田学，中川皓貴，古川貴光，岡本武士，武田剛志，春日章良，松山真人，佐々木隆，笹平直樹

膵癌に対する modified FOLFIRINOX 投与後におけるナノリポソーマルイリノテカン及びフルオロウラシル / ロイコボリン併用療法の治療成績に関する検討.

第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催，2023, [Mini Oral Session]

3. 佐々木隆，長尾昌二，久保正二，金井雅史，万代昌紀，丸木雄太，松村謙臣，里井壯平，竹原和宏，松元隆，丁田泰宏，添田周，岡本愛光，古川正幸，桑川陽祐，上野誠

アジア人の進行固形癌 6 種における MSI-H/dMMR の頻度：日本人サブグループ解析

第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催，2023, [口述発表]

4. 古川貴光，尾阪将人，高松学，岡本武士，石塚隆浩，山田学，中川皓貴，三重堯文，武田剛志，春日章良，松山真人，佐々木隆，笹平直樹

胆膵神経内分泌細胞癌におけるプラチナ併用化学療法奏功予測因子の病理学的検討.

第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催，2023, [Mini Oral Session]

5. 尾阪将人，大野隆真

膵・消化管 -NET/NEC の治療開発.

第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催，2023, [司会]

6. 尾阪将人

転移性膵癌一次治療の現状.

第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催，2023, [シンポジウム]

7. 春日章良，石塚隆浩，山田学，中川皓貴，三重堯文，古川貴光，武田剛志，岡本武士，松山真人，佐々木隆，尾阪将人，笹平直樹

再発膵癌の治療成績と術前化学療法との関係.

第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催，2023, [Mini Oral session]

8. 武田剛志，齋藤圭，中井陽介，笹平直樹，上野誠，手塚瞬，伊佐山浩通，富嶋享，小島康志，山本夏代，伊藤由紀子，大山博生，戸田信夫，高木馨，松原三郎，毛利大，佐藤達也，藤城光弘

非切除膵癌におけるスタチン使用とゲムシタビン・ナブパクリタキセル併用療法の予後との関係．

第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催，2023，[Mini Oral Session]

9. 藤井壮人，岡本武士，石塚隆浩，山田学，中川皓貴，三重堯文，古川貴光，武田剛志，春日章良，松山真人，佐々木隆，尾阪将人，笹平直樹，平澤俊明，鈴木啓太，高松学
主乳頭直上のクリッピングにより胆管閉塞をきたした一例．

日本消化器病学会関東支部第 374 回例会：東京 +Web 開催，2023，[一般演題]

10. 三重堯文
切除不能膵癌に対するゲムシタビン・ナブパクリタキセル治療後の二次治療成績と予後因子の検討．
第 109 回日本消化器病学会総会：長崎市，2023，[口述発表]

11. 武田剛志，佐々木隆，笹平直樹
切除不能膵癌に対するゲムシタビン・ナブパクリタキセル併用療法におけるオステオサルコペニアの臨床的意義に関する検討．
第 109 回日本消化器病学会総会：長崎市，2023，[口述発表]

12. 佐々木隆
膵癌薬物療法の治療戦略．
第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京，2023，[モーニングセミナー]

13. 佐々木隆
第四部：評価項目．
第 105 回日本消化器内視鏡学会総会附置研究会 1：第 3 回内視鏡的胆道ドレナージの評価基準作成に関する研究会：東京，2023，[口述発表]

14. 岡本武士
肝臓・胆道．
日本消化器病学会関東支部第 375 回例会：東京，2023，[座長]

15. 石塚隆浩，岡本武士，平井達基，山田学，中川皓貴，古川貴光，三重堯文，武田剛志，春日章良，佐々木隆，尾阪将人，笹平直樹
膵神経内分泌腫瘍に対する治療中に突然発症した重症カルチノイド症候群の一例．

日本消化器病学会関東支部第 375 回例会：東京，2023，[口述発表]

16. 古川貴光，高松学，武田剛志，大庭篤志，石塚隆浩，山田学，中川皓貴，三重堯文，岡本武士，春日章良，松山真人，佐々木隆，尾阪将人，小野嘉大，佐藤崇文，伊藤寛倫，井上陽介，高橋祐，笹平直樹
modified FOLFIRINOX 療法が奏功した膵腺房細胞癌の 2 例．

第 54 回日本膵臓学会大会：福岡市，2023，[一般演題ポスター]

17. 尾阪将人
11 膵臓（化学療法）
第 54 回日本膵臓学会大会：福岡市，2023，[座長]

18. 尾阪将人
局所進行切除不能膵癌に対する治療戦略．
第 54 回日本膵臓学会大会：福岡市，2023，[ランチョンセミナー]

19. 笹平直樹
19 膵臓（症例）5.
第 54 回日本膵臓学会大会：福岡市，2023，[座長]

20. 尾阪将人
膵癌周術期における化学療法．
第 50 回日本膵切研究会：東京，2023，[スポンサードセミナー]

21. 平井達基，三重堯文，佐々木隆，石塚隆浩，山田学，中川皓貴，古川貴光，岡本武士，武田剛志，春日章良，尾阪将人，笹平直樹，大庭篤志，高橋祐，高松学
膵管内乳頭粘液性腫瘍に合併した壊死性肉芽腫の一例．
日本消化器病学会関東支部第 376 回例会：東京，2023，[一般演題]

22. 武田剛志, 平井達基, 石塚隆浩, 山田学, 中川皓貴, 古川貴光, 三重堯文, 岡本武士, 春日章良, 佐々木隆, 尾阪将人, 笹平直樹
オラパリブ維持療法により長期間の病勢コントロールが得られた BRCA 病的バリエーション陽性の切除不能膵癌の一例.
日本消化器病学会関東支部第 376 回例会: 東京, 2023, [一般演題]
23. 岡本武士, 武田剛志, 笹平直樹
切除不能膵尾部癌による左側門脈圧亢進症の検討.
第 30 回日本門脈圧亢進症学会総会: 東京, 2023, [発表形式不明]
24. 三重堯文
膵頭十二指腸切除後の胆管空腸吻合部良性狭窄発症リスクと術前胆管ドレナージに関する検討.
第 59 回日本胆道学会学術集会: 札幌市, 2023, [デジタルポスター]
25. 佐々木隆, 鈴木裕
切除不能・再発腫瘍・Conversion surgery (6)
第 59 回日本胆道学会学術集会: 札幌市, 2023, [座長]
26. 山田学, 武田剛志, 石塚隆浩, 中川皓貴, 古川貴光, 三重堯文, 岡本武士, 春日章良, 松山真人, 佐々木隆, 尾阪将人, 笹平直樹
肝門部悪性胆管狭窄に対する Inside Stent 法の有用性に関する検討.
第 59 回日本胆道学会学術集会: 札幌市, 2023, [デジタルポスター]
27. 岡本武士, 石塚隆浩, 山田学, 中川皓貴, 古川貴光, 三重堯文, 武田剛志, 春日章良, 松山真人, 佐々木隆, 尾阪将人, 笹平直樹
当院における高齢胆道癌患者に対する化学療法の検討.
第 59 回日本胆道学会学術集会: 札幌市, 2023, [デジタルポスター]
28. 武田剛志, 岡本武士, 佐々木隆, 石塚隆浩, 山田学, 中川皓貴, 三重堯文, 古川貴光, 春日章良, 松山真人, 尾阪将人, 笹平直樹
切除不能胆道癌におけるオステオサルコペニアの臨床的意義に関する検討.
第 59 回日本胆道学会学術集会: 札幌市, 2023, [デジタルポスター]
29. 笹平直樹, 樋口亮太
Cross talk session: 胆嚢癌 (3)
第 59 回日本胆道学会学術集会: 札幌市, 2023, [座長]
30. 尾阪将人
HBOC 診療における膵がんマネージメント.
第 61 回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2023, [ワークショップ]
31. 尾阪将人
切除不能局所進行膵癌に対する集学的治療戦略と成績: 化学療法の立場から.
第 61 回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2023, [シンポジウム]
32. 中川皓貴, 佐々木隆, 石塚隆浩, 山田学, 三重堯文, 古川貴光, 岡本武士, 武田剛志, 春日章良, 松山真人, 尾阪将人, 笹平直樹
高齢者の良性胆管空腸吻合部狭窄に対する SBE-ERCP 治療成績について.
第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023: 消化器内視鏡学会): 神戸市, 2023, [ポスター発表]
33. 武田剛志, 佐々木隆, 笹平直樹
当院における膵癌オリゴ肺転移の治療成績について.
第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023: 消化器外科学会・消化器病学会・消化器内視鏡学会): 神戸市, 2023, [シンポジウム]
34. 笹平直樹
膵臓 (癌) 5
第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023: 消化器病学会: 神戸市, 2023, [座長]
35. 佐々木隆
膵臓 (癌) 2
第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023: 消化器病学会): 神戸市, 2023, [座長]

36. 岡本武士, 佐々木隆, 笹平直樹
逆流防止弁付き胆管ステントを用いた EUS-CDS の検討.
第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023: 消化器病学会): 神戸市, 2023, [ポスター発表]
37. 武田剛志
使用経験から考える, アナモレリン塩酸塩の位置づけ.
第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023: 消化器病学会): 神戸市, 2023, [ブラックファーストセミナー]
38. 石川颯一, 笹平直樹, 尾阪将人, 佐々木隆, 春日章良, 武田剛志, 岡本武士, 古川貴光, 三重堯文, 中川皓貴, 山田学, 石塚隆浩, 平井達基, 高橋祐, 高松学
術前診断が困難であった胆嚢癌肉腫の一例.
日本消化器病学会関東支部第 377 回例会: 東京, 2023, [口述発表]
39. 山田学, 武田剛志, 平井達基, 石塚隆浩, 中川皓貴, 古川貴光, 三重堯文, 岡本武士, 春日章良, 佐々木隆, 尾阪将人, 笹平直樹
肝門部悪性胆管閉塞 (MHBO) に対する plasticstent (PS) の胆管内留置後の reintervention の検討.
第 117 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2023, [口述発表]
40. 平井達基, 三重堯文, 岡本武士, 佐々木隆, 笹平直樹
当院における新型超音波内視鏡下穿刺ニードル (Trident Needle Biopsy System) の使用経験.
第 117 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2023, [口述発表]
41. 平井達基
脾臓
第 117 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2023, [症例プレゼンター]

【上部消化管内科】

1. 平澤俊明
見逃し症例から学ぶ、胃癌の見つけ方.
我孫子医師会学術講演会: 我孫子市, 2023, [講演]
2. 平澤俊明, 池之山洋平, 石岡充彬, 並河健, 堀内裕介, 多田智裕, 藤崎順子
胃癌の内視鏡診断における人工知能の活用.
第 8 回 ESD 研究会: 札幌市, 2023, [口述発表]
3. 平澤俊明
世界に挑戦する日本の内視鏡 AI.
第 19 回日本消化管学会総会学術集会: 東京 + Web 開催, 2023, [ランチョンセミナー]
4. 平澤俊明
内視鏡 AI の臨床導入へ向けて.
第 19 回日本消化管学会総会学術集会: 東京 + Web 開催, 2023, [基調講演]
5. 藤崎順子
背景胃粘膜に応じた早期胃癌の診断と治療.
第 19 回日本消化管学会総会学術集会: 東京 + Web 開催, 2023, [司会]
6. 平澤俊明
AI が変える胃癌診断.
第 95 回日本胃癌学会総会: 札幌市, 2023, [ランチョンセミナー]
7. 平澤俊明
胃癌診療における AI の活用.
第 95 回日本胃癌学会総会: 札幌市, 2023, [座長]
8. 森田祐規, 並河健, 平澤俊明, 池之山洋平, 渡海義隆, 吉水祥一, 堀内裕介, 石山晃世志, 由雄敏之, 中野薫, 布部創也, 藤崎順子
胃酸分泌障害に伴う多発胃 NET (neuroendocrine tumor) に対する幽門洞切除の有効性の検討.
第 95 回日本胃癌学会総会: 札幌市, 2023, [パネルディスカッション]

9. 渡邊昌人, 由雄敏之, 高松学, 池之山洋平, 並河健, 渡海義隆, 吉水祥一, 堀内裕介, 石山晃世志, 平澤俊明, 藤崎順子
当院におけるラズベリー様腺窩上皮型胃腫瘍の臨床経過についての検討.
第 95 回日本胃癌学会総会: 札幌市, 2023, [ワークショップ]
10. 由雄敏之, 今村裕, 高松学, 藤崎順子
病変範囲が不明瞭な食道胃接合部癌.
第 95 回日本胃癌学会総会: 札幌市, 2023, [ビデオワークショップ]
11. 藤崎順子
世界に挑戦する日本の内視鏡 AI.
第 95 回日本胃癌学会総会: 札幌市, 2023, [座長]
12. 鈴木啓太, 堀内裕介, 藤崎順子
Helicobacter Pylori 未感染未分化型胃癌の発生リスク因子の検討.
第 95 回日本胃癌学会総会: 札幌市, 2023, [ワークショップ]
13. 平澤俊明
ピロリ感染と背景粘膜から胃癌を探す.
江東区医師会内視鏡医会: 東京, 2023, [講演]
14. 平澤俊明
胃がん内視鏡検診のコツ: その胃癌、見逃していませんか?
群馬県医師会令和 4 年度 胃内視鏡検診従事者講習会: 前橋市, 2023, [講演]
15. 池之山洋平
研修医 V (上部消化管 2)
日本消化器病学会関東支部第 374 回例会: 東京 +Web 開催, 2023, [座長]
16. 熊澤佑介, 並河健, 吉水祥一, 由雄敏之, 藤崎順子, 池之山洋平, 高松学
LSBE 背景のバレット食道腺癌に stepwise ESD を施行した 2 例.
日本消化器病学会関東支部第 374 回例会: 東京 +Web 開催, 2023, [一般演題]
17. 古谷建悟, 由雄敏之, 池之山洋平, 並河健, 渡海義隆, 吉水祥一, 堀内裕介, 石山晃世志, 平澤俊明, 中野薫, 藤崎順子
微小な食道癌に対する鉗子摘除についての検討.
第 109 回日本消化器病学会総会: 長崎市, 2023, [ミニオーラル]
18. 堀江義政, 堀内裕介, 藤崎順子
抗血栓薬内服による食道内視鏡切除術の後出血リスクの検討.
第 109 回日本消化器病学会総会: 長崎市, 2023, [パネルディスカッション]
19. 平澤俊明
AI が変える未来の内視鏡診療.
第 109 回日本消化器病学会総会: 長崎市, 2023, [ランチョンセミナー]
20. 渡邊昌人, 平澤俊明, 中野薫, 島村勇人, 池之山洋平, 並河健, 渡海義隆, 吉水祥一, 堀内裕介, 石山晃世志, 由雄敏之, 藤崎順子
壁細胞機能不全症を背景に多発胃神経内分泌腫瘍を発症した 4 症例.
第 109 回日本消化器病学会総会: 長崎市, 2023, [口述発表]
21. 藤崎順子
胃: ESD と出血
第 109 回日本消化器病学会総会: 長崎市, 2023, [座長]
22. 鈴木啓太, 池之山洋平, 平澤俊明
当院で経験した出血性放射線性胃炎の検討
第 109 回日本消化器病学会総会: 長崎市, 2023, [口述発表]
23. Nakao, E., Yoshio, T., Fujisaki, J.
Randomized controlled trial of artificial intelligence diagnostic system in clinical practice to detect esophageal squamous cell carcinoma.
ESGE days 2023: Dublin, Ireland, 2023, [口述発表]

24. 中尾栄祐, 由雄敏之, 藤崎順子
The efficacy of artificial intelligence diagnostic system in the clinical trial to detect esophageal squamous cell carcinoma.
第 105 回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2023, [一般演題口演]
25. 小林輝, 吉水祥一, 布部創也
大型病変に対する D-LECS の治療成績.
第 105 回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2023, [シンポジウム]
26. 平澤俊明
世界に挑戦する日本の内視鏡 AI.
第 105 回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2023, [ランチョンセミナー]
27. 渡海義隆, 堀内裕介, 並河健, 吉水祥一, 石山晃世志, 由雄敏之, 平澤俊明, 藤崎順子
高度萎縮を認める除菌後胃の発癌リスク因子となる狭帯域光併用拡大内視鏡所見.
第 105 回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2023, [一般演題口演]
28. 渡邊昌人, 平澤俊明, 中野薫, 城間翔, 島村勇人, 池之山洋平, 並河健, 渡海義隆, 吉水祥一, 堀内裕介, 石山晃世志, 由雄敏之, 藤崎順子
多発胃神経内分泌腫瘍を契機に発見された壁細胞機能不全症 4 例の臨床像の検討.
第 105 回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2023, [一般演題口演]
29. Namikawa, K.
The role of AI for endoscopic diagnosis in gastric cancer: Current status, challenges, and future perspectives.
15th International Gastric Cancer Congress (IGCC): 横浜市, 2023, [ランチョンセミナー]
30. 平澤俊明
ピロリ菌除菌時代の胃癌診断.
日本消化器病学会関東支部第 42 回教育講演会: Web 開催, 2023, [講演]
31. 藤崎順子, 高松学
H. pylori 未感染未分化型胃癌の特徴と自然史.
第 29 回日本ヘリコバクター学会学術集会: 東京, 2023, [シンポジウム]
32. 唐渡修一郎, 並河健, 藤崎順子
Barrett' 食道腺癌発癌における内臓脂肪の関与の検討.
第 77 回日本食道学会学術集会: 大阪市, 2023, [要望演題]
33. 山本浩之, 由雄敏之, 石山晃世志, 陳勁松, 浅利崇生, 小倉真理子, 藤崎順子
周在性 2/3 周以上の食道表在癌における ESD と CRT/RT の治療成績に関する検討.
第 77 回日本食道学会学術集会: 大阪市, 2023, [シンポジウム]
34. 平澤俊明
食道疾患における AI 導入の可能性.
第 77 回日本食道学会学術集会: 大阪市, 2023, [司会]
35. 池之山洋平, 藤崎順子, 並河健
LSBE 由来の腺癌の異時多発癌リスクに関する検討.
第 77 回日本食道学会学術集会: 大阪市, 2023, [要望演題]
36. 福山知香, 石山晃世志, 並河健, 渡海義隆, 吉水祥一, 堀内裕介, 平澤俊明, 由雄敏之, 藤崎順子
当院で経験した習慣的飲酒歴・喫煙歴がない食道表在癌 31 症例の検討.
第 77 回日本食道学会学術集会: 大阪市, 2023, [要望演題]
37. 並河健
AI による胃病変の鑑別診断支援および AI 関連の海外活動について.
第 116 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2023, [ランチョンセミナー]
38. 木戸恒陽, 平澤俊明, 望月俊明, 山本豊, 並河健, 渡海義隆, 吉水祥一, 堀内裕介, 石山晃世志, 由雄敏之, 藤崎順子

- 早期胃癌 ESD 中に緊張性気胸を発症し MET (Medical Emergency Team) により救命しえた 1 例 .
第 23 回 EMR/ESD 研究会 : 東京 , 2023, [口述発表]
39. 平澤俊明
内視鏡 AI の現状と展望 : 医師アンケート調査が示す内視鏡診療の未来 .
第 19 回拡大内視鏡研究会 : 東京 , 2023, [講演]
40. 平澤俊明
内視鏡診断における AI の現状と将来展望 : 上部消化管 .
第 19 回拡大内視鏡研究会 : 東京 , 2023, [基調講演]
41. 後藤田卓志
みんなで知っておきたい消化器内視鏡の話 .
第 77 回国立病院総合医学会 : 広島市 , 2023, [座長]
42. Yoshio, T., Watanabe, M., Nakao, E., Ikenoyama, Y., Namikawa, K., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Hirasawa, T., Fujisaki, J., Tada, T.
Randomized controlled trial of artificial intelligence diagnostic system in clinical practice to detect esophageal squamous cell carcinoma.
31st United European Gastroenterology Week (UEGW) : Copenhagen, Denmark, 2023, [口述発表]
43. Gotoda, T.
Bringing Endoscopy to the next new era : Latest technology for both Upper and Lower GI.
Asian Pacific Digestive Week (APDW) : Bangkok, Thailand, 2023, [ランチョンシンポジウム]
44. Gotoda, T.
Low grade dysplasia in stomach: do we need to resect?
- Asian Pacific Digestive Week (APDW) : Bangkok, Thailand, 2023, [シンポジウム]
45. Gotoda, T.
Oral session
Asian Pacific Digestive Week (APDW) : Bangkok, Thailand, 2023, [司会]
46. Gotoda, T.
ライブデモンストレーション
Asian Pacific Digestive Week (APDW) : Bangkok, Thailand, 2023, [技術供覧]
47. 木戸恒陽, 吉水祥一, 布部創也, 後藤田卓志
上十二指腸角内壁側の十二指腸腫瘍に対して DLECS を行った 2 例 .
第 26 回腹腔鏡内視鏡合同手術研究会 : 神戸市 , 2023, [口述発表]
48. 熊澤佑介, 池之山洋平, 藤崎順子
咽喉頭腫瘍の見逃し症例における臨床的特徴に関する検討 .
第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023 : 消化器内視鏡学会・消化器がん検診学会) : 神戸市 , 2023, [ワークショップ]
49. 池之山洋平, 藤崎順子, 高松学
Barrett 食道腺癌の同時・異時多発癌 risk 因子 , Stepwise ESD の可能性について .
第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023 : 消化器内視鏡学会・消化器病学会・消化器外科学会・消化器がん検診学会) : 神戸市 , 2023, [ワークショップ]
50. 藤崎順子, 上堂文也
上部消化管腫瘍性病変に対する内視鏡治療 : 新たな展開 : 偶発症対策を含めて .
第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023 : 消化器内視鏡学会・消化器病学会・消化器外科学会・消化器がん検診学会) : 神戸市 , 2023, [司会]
51. 小林輝, 並河健, 藤崎順子
Helicobacter pylori 除菌後 10 年以上経過して発見された除菌後胃癌の臨床病理学的特徴について .

- 第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023:消化器内視鏡学会) : 神戸市, 2023, [ポスター発表]
52. 平澤俊明
その他 (鎮静・その他) 2.
第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023:消化器内視鏡学会) : 神戸市, 2023, [座長]
53. 平澤俊明
世界に挑戦する日本の内視鏡 AI.
第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023:消化器内視鏡学会) : 神戸市, 2023, [サテライトシンポジウム]
54. 栗原渉, 堀内裕介, 藤崎順子
80 歳以上の高齢者の食道扁平上皮癌に対する内視鏡的切除の治療成績と予後予測因子の検討.
第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023:消化器内視鏡学会) : 神戸市, 2023, [ポスター発表]
55. 森田祐規, 吉水祥一, 藤崎順子
表在性非乳頭部十二指腸腺癌に対する治療法選択のための術前深達度診断.
第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023:消化器内視鏡学会) : 神戸市, 2023, [ポスター発表]
56. 渡海義隆, 堀内裕介, 池之山洋平, 並河健, 吉水祥一, 石山晃世志, 由雄敏之, 平澤俊明, 藤崎順子
横這型胃癌に対する内視鏡治療後に内視鏡的根治度 C となる治療前リスク因子の検討.
第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023:消化器内視鏡学会) : 神戸市, 2023, [ポスター発表]
57. 石山晃世志, 藤崎順子, 伊藤清栄, 川島美佳, 根本真記, 山本豊, 寺嶋克幸
病院機能評価受審における当院の鎮静管理体制の構築について: 内視鏡室を中心に.
第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023:消化器内視鏡学会) : 神戸市, 2023, [ポスター発表]
58. 石山晃世志
頭頸部がん支持療法における PEG の有用性とイディアルボタン ZERO への期待.
第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023:消化器内視鏡学会) : 神戸市, 2023, [ランチョンセミナー]
59. 石山晃世志
食道・咽頭 (食道悪性腫瘍) 1.
第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023:消化器内視鏡学会) : 神戸市, 2023, [座長]
60. 山本浩之, 由雄敏之, 浅利崇生, 陳勁松, 小倉真理子, 石山晃世志, 池之山洋平, 並河健, 渡海義隆, 吉水祥一, 堀内裕介, 平澤俊明, 藤崎順子
3/4 周以上の食道癌における ESD と CRT, RT の治療成績に関する検討
第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023 : 消化器病学会) : 神戸市, 2023, [ポスター発表]
61. 後藤田卓志
ハンズオンセミナー 消化管 1・消化管 2
第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023 : 消化器病学会) : 神戸市', 2023, [プログラム責任者]
62. 後藤田卓志
食道・咽頭 (内視鏡治療)
第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023:消化器病学会) : 神戸市, 2023, [座長]
63. 平澤俊明
消化管領域における内視鏡 AI の現状と展望.
第 37 回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会: 米子市, 2023, [ワークショップ]
64. 堀内裕介
上部
第 117 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2023, [ハンズオンセミナー]
65. 山本浩之, 春木聡美, 福山知香, 渡海義隆, 藤崎順子

AI を用いた健診センター上部消化管内視鏡検査における精度管理．

第 117 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：東京，2023，[口述発表]

66. 栗原渉，吉水祥一，布部創也，藤崎順子
当院における非乳頭部十二指腸腫瘍に対する D-LECS の治療成績．

第 117 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：東京，2023，[口述発表]

67. 鈴木啓太
大腸．
第 117 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：東京，2023，[口述発表]

【下部消化管内科】

1. 斎藤彰一
大腸鋸歯状病変の分類・診断と臨床的取扱い．
第 98 回大腸癌研究会：浜松市，2023，[座長]

2. 鈴木桂悟，千野晶子，榎本有里，十倉淳紀，石岡充彬，安江千尋，井出大資，斎藤彰一
SSLD の診断における NBI の有用性に関する検討．
第 98 回大腸癌研究会：浜松市，2023，[口述発表]

3. 山本浩之，安江千尋，高松学，十倉淳紀，鈴木桂悟，井出大資，千野晶子，五十嵐正広，河内洋，斎藤彰一
大腸 T1 癌における遠隔転移のリスク因子の検討．
第 109 回日本消化器病学会総会：長崎市，2023，[口述発表]

4. 森田祐規，鈴木桂悟，千野晶子
Sessile serrated lesion with dysplasia (SSLD) の診断における Narrow band imaging (NBI) 併用拡大観察の有用性に関する検討．
第 109 回日本消化器病学会総会：長崎市，2023，[ワークショップ]

5. 伊藤孝助，安江千尋，斎藤彰一
大腸 T1b 癌に対する ESD の垂直断端陽性に関するリスク因子の検討．

第 105 回日本消化器内視鏡学会総会：東京，2023，[パネルディスカッション]

6. 原健三，井出大資，斎藤彰一，十倉淳紀，鈴木桂悟，安江千尋，千野晶子，五十嵐正広
内視鏡治療後の大腸遺残再発病変に対する traction device を用いた pocket-creation method の有用性の検討．
第 105 回日本消化器内視鏡学会総会：東京，2023，[一般演題口演]

7. 伊藤孝助，斎藤彰一，高松学
大腸 T1 癌における超拡大内視鏡の有用性と現状での課題．
第 116 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：東京，2023，

8. 斎藤彰一
内視鏡治療の管理と合併症のマネージメント．
第 23 回 EMR/ESD 研究会：東京，2023，[司会]

9. 渡邊昌人，鈴木桂悟，斎藤彰一，副島啓太，鈴木啓太，唐渡修一郎，福山知香，泉敦子，十倉淳紀，安江千尋，井出大資，千野晶子，五十嵐正広，福長洋介
当院の虫垂開口部腫瘍に対する腹腔鏡内視鏡合同手術の治療成績．
第 23 回 EMR/ESD 研究会：東京，2023，[口述発表]

10. 鈴木桂悟，十倉淳紀，安江千尋，井出大資，千野晶子，斎藤彰一，五十嵐正広，高松学
高周波手術装置 maxium® を用いた大腸 ESD の使用経験．
第 23 回 EMR/ESD 研究会：東京，2023，[スポンサーセッション]

11. 渡邊昌人，鈴木桂悟，斎藤彰一，副島啓太，鈴木啓太，唐渡修一郎，福山知香，泉敦子，十倉淳紀，安江千尋，井出大資，千野晶子，五十嵐正広，福長洋介，高松学
当院の虫垂開口部腫瘍に対する腹腔鏡内視鏡合同手術の治療成績．
第 99 回大腸癌研究会：尼崎市，2023，[ポスター発表]

12. 千野晶子, 秋吉高志, 福長洋介
進行直腸癌に対する化学放射線療法の内視鏡効果判定.
第 61 回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2023, [シンポジウム]
13. 十倉淳紀, 斎藤彰一, 河内洋
癌併存 SSLD の解析からみた, 内視鏡所見と病理組織学的所見との対応とその意義.
第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023: 消化器内視鏡学会・消化器病学会・消化器外科学会・消化器がん検診学会): 神戸市, 2023, [ワークショップ]
14. 原健三, 鈴木桂悟, 福長洋介
大腸内視鏡治療困難症例に対する当院における腹腔鏡内視鏡合同手術の治療成績.
第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023: 消化器内視鏡学会・消化器病学会・消化器外科学会): 神戸市, 2023, [統合プログラム]
15. 伊藤孝助, 斎藤彰一, 高松学
早期大腸癌における超拡大内視鏡の有用性と現状での課題.
第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023: 消化器内視鏡学会): 神戸市, 2023, [ポスター発表]
16. 千野晶子
大腸 (診断) 1.
第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023: 消化器内視鏡学会): 神戸市, 2023, [座長]
17. 安江千尋
大腸 (EMR・ESD) 4.
第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023: 消化器内視鏡学会): 神戸市, 2023, [座長]
18. 千野晶子
内視鏡治療におけるピュアスタットを用いた止血マネジメント.
第 41 回日本大腸検査学会総会: 東京, 2023, [アフタヌーンセミナー]
19. 原健三, 鈴木桂悟, 斎藤彰一, 鈴木啓太, 副島啓太, 唐渡修一郎, 渡邊昌人, 泉敦子, 福山知香, 十倉淳紀, 安江千尋, 井出大資, 千野晶子, 五十嵐正広, 福長洋介
当院における大腸腹腔鏡内視鏡合同手術の治療成績.
第 78 回日本大腸肛門病学会学術集会: 熊本市, 2023, [口述発表]
20. 唐渡修一郎, 十倉淳紀, 鈴木啓太, 副島啓太, 渡邊昌人, 泉敦子, 鈴木桂悟, 安江千尋, 千野晶子, 五十嵐正広, 斎藤彰一
後出血を繰り返した大腸 ESD 症例について.
第 78 回日本大腸肛門病学会学術集会: 熊本市, 2023, [パネルディスカッション]
21. 渡邊昌人, 井出大資, 副島啓太, 鈴木啓太, 唐渡修一郎, 福山知香, 泉敦子, 鈴木桂悟, 十倉淳紀, 安江千尋, 千野晶子, 五十嵐正広, 斎藤彰一
大腸内視鏡治療後の遺残再発病変に対する traction device を利用した pocket-creation method の有用性に関する検討.
第 78 回日本大腸肛門病学会学術集会: 熊本市, 2023, [口述発表]
22. 鈴木啓太, 安江千尋, 千野晶子, 副島啓太, 唐渡修一郎, 渡邊昌人, 泉敦子, 鈴木桂悟, 十倉淳紀, 井出大資, 五十嵐正広, 斎藤彰一, 高松学
当院における直腸 NET の臨床病理学的検索.
第 78 回日本大腸肛門病学会学術集会: 熊本市, 2023, [口述発表]

【乳腺内科】

1. 小林隆之
多職種でがん患者を支えるアドバンス・ケア・プランニング: 実態調査結果から現状と課題を考える.
第 37 回日本がん看護学会学術集会: 横浜市 + Web 開催, 2023, [講演]
2. 青山陽亮
Reliability and validity of Japanese version of Chemotherapy-induced Alopecia Distress Scale.

- 2023 the Japanese Society of Medical Oncology Annual Meeting: 福岡市 +Web 開催, 2023, [口述発表]
3. 原文堅
HER2 陽性転移乳癌の新たな治療展開：エンハーツがもたらす未来。
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催, 2023, [モーニングセミナー]
 4. 原文堅
乳癌（術後薬物療法）
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催, 2023, [教育講演]
 5. 原文堅
乳癌領域における医師主導治験：現状と課題。
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催, 2023, [シンポジウム]
 6. 原文堅
早期トリプルネガティブ乳癌治療に対する新たな展望。
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催, 2023, [メディカルセミナー]
 7. 原文堅
閉経前乳癌の最適治療を考える。
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催, 2023, [司会]
 8. 尾崎由記範
閉経前乳癌のホルモン療法：現状と課題。
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催, 2023, [シンポジウム]
 9. 深田一平, 林直美, 細永真理, 山崎真澄, 王曉斐, 植木有紗, 清谷一馬, 外岡暁子, 竹内賢吾, 森誠一, 高橋俊二
保険診療下におけるがん遺伝子パネル検査が患者の予後に与える影響。
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催, 2023, [ポスター発表]
 10. 高野利実, Krop, I., Park, Y. H., Kim, S.-B., Borges, G., S., A., Gregori, J., R., R., e., L., Yerushaim, R., Zagouri, F., Duhoux, F. P., Fehm, T., Egorov, A., Lu, W., Xiao, M., Cathcart, J., Chu, C., Andre, F.
T-DM1 による治療歴のある HER2 陽性の手術不能又は再発乳癌患者を対象に T-DXd と医師選択治療を比較する第 III 相試験（DESTINY-Breast02）。
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催, 2023, [Presidential Session]
 11. 高野利実
乳腺。
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催, 2023, [講演]
 12. 高野利実
専門医部会企画：腫瘍内科の未来を拓く：新専門医制度下の腫瘍内科医育成。
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催, 2023, [司会]
 13. 高野利実, 里見絵理子
骨転移の症状管理。
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催, 2023, [司会]
 14. 高野利実, 牧田茂
担癌患者の循環器診療のポイント（循環器医の立場から、癌治療医の立場から）
第 87 回日本循環器学会学術集会：福岡市 +Web 開催, 2023, [座長]
 15. 高野利実
多診療科で考える脊椎転移の治療：腫瘍内科医からみた骨転移のマネジメント。
第 96 回日本整形外科学会学術総会：横浜市, 2023, [シンポジウム]
 16. 高野利実
Exercise Oncology の未来を考える。
第 8 回日本がんサポーターシップケア学会学術集会：奈良市, 2023, [座長]
 17. 高野利実
Stroke Oncology の諸問題と連携のあり方を考える：脳卒中合併がん患者の最善のケアのために。

- 第 8 回日本がんサポーターティブケア学会学術集会：奈良市，2023，[座長]
18. 青山陽亮
生きるを支える、症状緩和：がん患者の精神症状の緩和：症例提示。
第 28 回日本緩和医療学会学術大会：神戸市，2023，[シンポジウム]
 19. 原文堅
乳がんの周術期治療の新たな展開。
第 29 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会：高知市，2023，[ランチョンセミナー]
 20. 佐伯澄人，高橋洋子，尾辻和尊，尾崎由記範，大迫智，高野利実，大野真司，上野貴之，丸山玲緒
乳癌患者由来オルガノイドにおけるがん細胞の腫瘍内不均一性。
第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web 開催，2023，[口述発表]
 21. 原文堅
CDK4/6 阻害剤による乳がん治療のパラダイムシフト：エビデンスと患者ベネフィット。
第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web 開催，2023，[ランチョンセミナー]
 22. 原文堅
ページニオのエビデンスをどのように臨床に反映すべきか _：腫瘍内科医と統計家の視点から。
第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web 開催，2023，[座長]
 23. 原文堅
周術期乳癌薬物療法における S-1 の役割。
第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web 開催，2023，[ランチョンセミナー]
 24. 原文堅，長崎礼子，南礼子，泉谷忠宏，荒井綾子，二瓶秋子，桜井なおみ，大野真司
患者が本当に欲しい副作用情報とは？：乳がん患者を対象とした治療の副作用に関するデータニーズ調査研究。
第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web 開催，2023，[ポスター発表]
 25. 原文堅
本邦における NDC 乳癌登録を用いた炎症性乳癌の実態。
第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web 開催，2023，[委員会企画]
 26. 小林隆之，川井沙織，西村明子，尾崎由記範，細永真理，深田一平，小林心，原文堅，上野貴之，大野真司，高野利実
ホルモン受容体陽性転移乳癌に対する一次化学療法としての S-1 と capecitabine の比較。
第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web 開催，2023，[ポスター発表]
 27. 小林隆之
積極的治療中から始める ACP のモヤモヤ：腫瘍内科医の立場から。
第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web 開催，2023，[イブニングセミナー]
 28. 尾崎由記範，鶴谷純司，向原徹，岩朝勤，高橋將人，田辺裕子，川端英孝，増田慎三，二村学，南博信，松本光史，吉村健一，北野滋久，高野利実
HER2 陰性転移再発乳癌に対するニボルマブ + ベバシズマブ + パクリタキセル併用療法の第 II 相試験 (WJOG9917B)。
第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web 開催，2023，[委員会企画]
 29. 尾崎由記範
ページニオのエビデンスをどのように臨床に反映すべきか：腫瘍内科医と統計家の視点から。
第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web 開催，2023，[ランチョンセミナー]
 30. 尾崎由記範，北野滋久，山下万貴子，五十嵐大樹，鶴谷純司，岩朝勤，高橋將人，向原徹，増田慎三，二村学，南博信，松本光史，田辺裕子，川端英孝，吉村健一，高野利実
再発乳癌と stage IV 乳癌における免疫状態や免疫チェックポイント阻害薬に対する反応性の違い：WJOG9917BTR。
第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web 開催，2023，[口述発表]

31. 川井沙織, 小林隆之, 西村明子, 尾崎由記範, 前田哲代, 吉田和世, 深田一平, 細永真理, 小林心, 原文堅, 上野貴之, 高野利実, 大野真司
HER2 発現状況 (low/zero) からみた HER2 陰性乳癌の予後と術前化学療法治療効果に関する検討.
第 31 回日本乳癌学会学術総会: 横浜市 +Web 開催, 2023, [口述発表]
32. 深田一平, 上野貴之
がん全ゲノム情報等の患者還元および新たな治療法等の創出を通じた高度化がんプレジジョン医療の取組と課題.
第 31 回日本乳癌学会学術総会: 横浜市 +Web 開催, 2023, [シンポジウム]
33. 細永真理, 川井沙織, 吉田和世, 西村明子, 尾崎由記範, 深田一平, 前田哲代, 小林心, 原文堅, 小林隆之, 高橋俊二, 高野利実, 大野真司
HER2 陽性乳癌脳転移症例の現状と治療成績.
第 31 回日本乳癌学会学術総会: 横浜市 +Web 開催, 2023, [ポスター発表]
34. 西村明子, 小林隆之, 間森智加, 坂井威彦, 川井沙織, 尾崎由記範, 細永真理, 深田一平, 小林心, 原文堅, 秋谷昌史, 千葉知宏, 大迫智, 上野貴之, 高野利実, 大野真司
HER2 陽性乳癌における術前化学療法後微小遺残例の予後に関する単施設後方視的解析.
第 31 回日本乳癌学会学術総会: 横浜市 +Web 開催, 2023, [口述発表]
35. 青山陽亮
がん患者の精神症状の緩和: 症例提示.
第 31 回日本乳癌学会学術総会: 横浜市 +Web 開催, 2023, [シンポジウム]
36. 青山陽亮
がん薬物療法の副作用緩和: 症例提示.
第 31 回日本乳癌学会学術総会: 横浜市 +Web 開催, 2023, [シンポジウム]
37. 高野利実
TNBC はネガティブではない: 新たな疾患概念と新治療開発の未来.
第 31 回日本乳癌学会学術総会: 横浜市 +Web 開催, 2023, [イブニングセミナー]
38. 高野利実
新時代における HER2 陽性早期乳癌の治療戦略.
第 31 回日本乳癌学会学術総会: 横浜市 +Web 開催, 2023, [座長]
39. Ozaki, Y., Hosonaga, M., Futamura, M., Kurozumi, S., Onoe, T., Iwasa, T., Kamio, H., Terata, K., Watanuki, R., Masuda, H., Saeki, Y., Kitano, S., Sakamaki, K., Nonogaki, K., Yoshimura, Y., Kawai, D., Takano, T.
Prospective observational study to evaluate lemborexant utility in insomnia among women with breast cancer (WJOG14921B, LUNAR study) .
ASCO Annual Meeting: Chicago, IL, USA +Web 開催, 2023, [ポスター発表]
40. 高野利実
ACP の Year in Review と実装: どこへ行くのか、がん医療におけるアドバンス・ケア・プランニング: ここ数年の重要エビデンスと現場の斬新な取り組み.
第 36 回日本サイコオンコロジー学会総会: 奈良市, 2023, [シンポジウム]
41. 原文堅
乳癌.
第 61 回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2023, [ディスカッション]
42. 尾崎由記範
乳癌の薬物療法最新情報.
第 61 回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2023, [教育セッション]
43. 尾崎由記範, 岩朝勤, 北野滋久, 山下万貴子, 鶴谷純司, 高橋将人, 向原徹, 増田慎三, 二村学, 南博信, 松本光史, 田辺裕子, 川端英孝, 吉村健一, 高野利実
治療前 CD163 はニボルマブ + 化学療法における予後不良因子 (WJOG9917BTR)
第 61 回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2023, [一般口演]

44. 高野利実
「G-CSF 適正使用ガイドライン 2022 年 10 月改訂第 2 版」改訂のポイント。
第 61 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2023, [シンポジウム]
45. 高野利実
HER2 陽性進行再発乳癌の薬物療法。
第 61 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2023, [ワークショップ]
46. 高野利実
オンコロジストの考える Stroke Oncology の可能性。
第 61 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2023, [ワークショップ]
47. 佐伯澄人，内田靖子，田中正典，高橋洋子，上野貴之，宇津木久仁子，藤崎順子
COVID-19 流行による単施設検診センターでの乳がん検診への影響の調査。
第 33 回日本乳癌検診学会学術総会：福岡市，2023, [一般演題口演]
48. 原文堅
治療編：HER2 陰性乳癌に対する周術期薬物療法。
第 19 回日本乳癌学会関東地方会：さいたま市，2023, [教育セミナー]
49. 高野利実
免疫チェックポイントのマネジメント。
第 19 回日本乳癌学会関東地方会：さいたま市，2023, [座長]

【乳腺外科】

1. 片岡明美
女性がんサバイバーのヘルスケアニーズ：QOL 向上に必要な性差視点。
健康博覧会 2023 ビジネスカンファレンス：東京，2023, [講演]
 2. 松永有紀，片岡明美，阿部朋未，植弘奈津恵，間森智加，吉田奈央，尾崎由記範，西村明子，古川孝広，高野利実，上野貴之，大野真司
当院での乳癌術前化学療法前の妊孕性温存療法施行の実態調査。
- 第 13 回日本がん・生殖医療学会学術集会：さいたま市，2023, [ポスター発表]
 3. 片岡明美，阿部朋未，植弘奈津恵，松永有紀，間森智加，吉田奈央，尾崎由記範，西村明子，古川孝広，高野利実，上野貴之，大野真司
エストロゲンレセプター陽性乳癌の術後内分泌療法中断症例における妊娠転帰と再発について。
第 13 回日本がん・生殖医療学会学術集会：さいたま市，2023, [ポスター発表]
 4. 阿部朋未，片岡明美，植弘奈津恵，松永有紀，間森智加，吉田奈央，尾崎由記範，西村明子，古川孝広，高野利実，上野貴之，大野真司
乳がん患者の挙児希望と妊孕性温存の実態。
第 13 回日本がん・生殖医療学会学術集会：さいたま市，2023, [発表形式不明]
 5. 稲荷均
Gene awareness：遺伝腫瘍患者・家族ケアの充実に向けて。
第 37 回日本がん看護学会学術集会：横浜市 +Web 開催，2023, [講演]
 6. 稲荷均
全国のがん診療連携拠点病院における遺伝性腫瘍診療のアンケート形式による実態調査。
第 37 回日本がん看護学会学術集会：横浜市 +Web 開催，2023, [3 学会合同企画]
 7. Iesato, A., Ueno, T., Takahashi, Y., Kataoka, A., Matsunaga, Y., Sasaki, S., Ozaki, Y., Inoue, Y., Maeda, T., uehiro, N., Kobayashi, T., Sakai, T., Takano, T., Kogawa, T., Kitano, S., Ono, M., Osako, T., Ohno, S.
Postpartum breast cancer diagnosed within 10 years of last childbirth is a prognostic factor for distant metastasis : Analysis of lymphovascular invasion relating factors.
18th St.Gallen International Breast Cancer Conference: Vienna, Austria +Web 開催，2023, [ポスター発表]
 8. 片岡明美，中村美穂
乳がん治療と社会生活の両立：あきらめない暮らし方。

第5回 がん研究会有明病院・海上ビル診療所
合同セミナー：東京，2023，[講演]

9. 大野真司
今輝き、未来を拓く：Evolution and innovation.
第20回日本乳癌学会九州地方会：佐賀市，
2023，[イブニングセミナー]

10. 大野真司
進行・再発 TNBC の治療：現状と展望．
第20回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市
+Web 開催，2023，[イブニングセミナー]

11. 上野貴之
乳腺：化学療法．
第123回日本外科学会定期学術集会：東京，
2023，[司会]

12. 中平詩，荻谷朗子，阿部朋未，井上有香，前田
哲代，植弘奈津恵，高橋洋子，片岡明美，坂井
威彦，宮城由美，上野貴之，大野真司
乳房部分切除とセンチネルリンパ節生検
(pN0sn) 後に発症した温存乳房内癌に対する
再センチネルリンパ節生検施行 (pN0sn) 症例
の長期成績．
第123回日本外科学会定期学術集会：東京，
2023，[パネルディスカッション]

13. 井上有香，上野貴之，中村暁，中平詩，春山優
理恵，家里明日美，高畑史子，阿部朋未，吉田
和世，前田哲代，植弘奈津恵，高橋洋子，稲荷
均，片岡明美，荻谷朗子，坂井威彦，宮城由美，
大迫智，大野真司
Oligometastatic Breast Cancer 治療選択にお
ける宿主因子の重要性．
第123回日本外科学会定期学術集会：東京，
2023，[シンポジウム]

14. 坂井威彦，上野貴之，中平詩，荻谷朗子，宮城
由美，大野真司
cN+ 乳癌の腋窩個別化治療について．
第123回日本外科学会定期学術集会：東京，
2023，[パネルディスカッション]

15. 大野真司，石田隆宣
進行・再発乳癌における外科治療の意義と適応．
第123回日本外科学会定期学術集会：東京，
2023，[司会]

16. 片岡明美，阿部朋未，植弘奈津恵，高畑史子，
春山優理恵，吉田奈央，松永有紀，間森智加，
中平詩，井上有香，前田哲代，吉田和世，高橋
洋子，稲荷均，荻谷朗子，坂井威彦，宮城由美，
上野貴之，高野利実，大野真司
若年乳癌サバイバー (YBC) の第二癌の発症頻
度・時期と予後への影響．
第123回日本外科学会定期学術集会：東京，
2023，[ポスター発表]

17. 大野真司，岩田広治
地域連携の現状と課題．
第3回 JOHBOC 学術総会：東京，2023，[座長]

18. 大野真司
都市部と地方部における HBOC 診療の医療連
携・多職種連携の取り組み．
第3回 JOHBOC 学術総会：東京，2023，[ア
フタヌーンセミナー]

19. 前田哲代
乳腺4．
第50回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会：
東京，2023，[座長]

20. 片岡明美
妊孕性部会活動報告．
第8回日本がんサポーターブケア学会学術集
会：奈良市，2023，[口述発表]

21. 上野貴之
HER2 陰性乳癌術後薬物療法のポイントを整理
する：リムパーザの使いどころ．
第31回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web
開催，2023，[ランチョンセミナー]

22. 上野貴之
リキッドバイオプシーの現状と課題．
第31回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web
開催，2023，[将来検討委員会]

23. 上野貴之
乳がんにおけるリキッドバイオプシーの有用性。
第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web 開催，2023，[座長]
24. 上野貴之
図解！周術期乳癌における BRCA1/2 遺伝子検査のポイント。
第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web 開催，2023，[座長]
25. 中平詩
乳癌検診 1。
第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web 開催，2023，[座長]
26. 中平詩，荻谷朗子，阿部朋未，井上有香，前田哲代，植弘奈津恵，高橋洋子，片岡明美，宮城由美，坂井威彦，大迫智，菊池真理，五味直哉，高野利実，上野貴之，大野真司
術前化学療法後にリンパ節超音波検査で ycNO、MRI で iCR を得た症例はセンチネルリンパ節生検を省略しうるか？
第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web 開催，2023，[口述発表]
27. 井上有香，植弘奈津恵，山口裕樹，Maezono, M., 安東頼子，西山結美，水沼未雅，市川裕樹，中村暁，松永有紀，家里明日美，尾崎由記範，前田哲代，高橋洋子，原文堅，小林隆之，大迫智，坂井威彦，上野貴之，大野真司
原発性乳癌における尿中 microRNA 発現の臨床的意義。
第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web 開催，2023，[ポスター発表]
28. 前田哲代
T1b トリプルネガティブ乳癌の化学療法の適応についての検討。
第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web 開催，2023，[ポスター発表]
29. 吉田奈央，荻谷朗子，大迫智，中村暁，松永有紀，間森智加，中平詩，家里明日美，阿部朋未，井上有香，植弘奈津恵，前田哲代，高橋洋子，片岡明美，坂井威彦，宮城由美，高野利実，上野貴之，大野真司
男性乳癌の総括的検討：当院における 36 乳房の検討。
第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web 開催，2023，[ポスター発表]
30. 坂井威彦
新時代の乳腺外科手術 _：エネルギーデバイスを用いた腋窩郭清 安全な使用法と郭清手技の継承。
第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web 開催，2023，[座長]
31. 大野真司
Recent advances in the management of early triple-negative breast cancer.
第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web 開催，2023，[座長]
32. 大野真司
今輝き、未来を拓く：Passion, Mission & Action.
第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web 開催，2023，[会長講演]
33. 家里明日美，上野貴之，高橋洋子，片岡明美，松永有紀，佐伯澄人，阿部朋未，尾崎由記範，井上有香，前田哲代，植弘奈津恵，小林隆之，坂井威彦，高野利実，古川孝広，北野滋久，小野麻紀子，大迫智，大野真司
最終出産後 10 年未満に罹患した乳癌は予後不良である：リンパ管侵襲関連因子の解析。
第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web 開催，2023，[ポスター発表]
34. 春山優理恵，稲荷均，前田哲代，中島絵里，家里明日美，中村暁，上野貴之，大野真司，植木有紗，金子景香，新川裕美，幅野愛理，高津美月，箕浦祐子，古川孝広
HBOC 診断を目的とした BRACAnalysis の実施状況から考える遺伝性腫瘍診療の現状。
第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web 開催，2023，[ポスター発表]

35. 松永有紀, 片岡明美, 阿部朋未, 植弘奈津恵, 西村明子, 尾崎由記範, 中平詩, 間森智加, 吉田奈央, 古川孝広, 高野利実, 上野貴之, 大野真司
若年性乳癌患者に対する手術年代別の治療成績の推移.
第 31 回日本乳癌学会学術総会: 横浜市 +Web 開催, 2023, [ポスター発表]
36. 植弘奈津恵, 上野貴之, 坂井威彦, 荻谷朗子, 大迫智, 片岡明美, 稲荷均, 高橋洋子, 前田哲代, 吉田和世, 井上有香, 阿部朋未, 家里明日美, 中平詩, 中村暁, 松永有紀, 吉田奈央, 間森智加, 宮城由美, 大野真司
局所再発低リスク症例における乳房温存術後放射線治療省略の可能性.
第 31 回日本乳癌学会学術総会: 横浜市 +Web 開催, 2023, [口述発表]
37. 片岡明美, 阿部朋未, 松永有紀, 吉田奈央, 中平詩, 植弘奈津恵, 高畑史子, 稲荷均, 尾崎由記範, 西村明子, 高野利実, 古川孝広, 新川裕美, 植木有紗, 上野貴之, 大野真司
若年トリプルネガティブ乳癌の予後と治療後の妊娠に関する経年的解析.
第 31 回日本乳癌学会学術総会: 横浜市 +Web 開催, 2023, [口述発表]
38. 稲荷均, 前田哲代, 春山優理恵, 中村暁, 家里明日美, 中島絵里, 上野貴之, 大野真司, 金子景香, 新川裕美, 幅野愛理, 箕浦祐子, 高津美月, 植木有紗, 鈴木美智子, 河島地草
全国のがん診療連携拠点病院における遺伝性腫瘍診療のアンケート形式による実態調査.
第 31 回日本乳癌学会学術総会: 横浜市 +Web 開催, 2023, [シンポジウム]
39. 間森智加, 坂井威彦, 西村明子, 吉田奈央, 松永有紀, 阿部朋未, 前田哲代, 吉田和世, 井上有香, 高橋洋子, 植弘奈津恵, 稲荷均, 片岡明美, 荻谷朗子, 宮城由美, 小林隆之, 大迫智, 上野貴之, 高野利実, 大野真司
マンモグラフィ石灰化に着目した HER2 陽性乳癌の術前薬物療法の治療効果予測因子に関する検討.
第 31 回日本乳癌学会学術総会: 横浜市 +Web 開催, 2023, [ポスター発表]
40. 阿部朋未, 片岡明美, 植弘奈津恵, 尾崎由記範, 西村明子, 高畑史子, 中平詩, 前田哲代, 吉田和世, 井上有香, 高橋洋子, 稲荷均, 坂井威彦, 荻谷朗子, 宮城由美, 古川孝広, 高野利実, 上野貴之, 大野真司
若年乳癌女性の妊孕性温存に関する意識調査: FELICE Trial.
第 31 回日本乳癌学会学術総会: 横浜市 +Web 開催, 2023, [ポスター発表]
41. 高畑史子, 植弘奈津恵, 阿部朋未, 片岡明美, 川井沙織, 尾崎由記範, 稲荷均, 荻谷朗子, 坂井威彦, 宮城由美, 高野利実, 上野貴之, 大野真司
COVID-19 流行下での当院乳腺外科治療.
第 31 回日本乳癌学会学術総会: 横浜市 +Web 開催, 2023, [ポスター発表]
42. 片岡明美
がん治療の実際と生殖機能への影響.
日本生殖心理学会「がん・生殖医療専門心理士」資格認定養成講座: Web 開催, 2023, [講演]
43. 片岡明美
Gene Awareness と Advance Care Planning との協働.
第 47 回日本遺伝カウンセリング学会学術集会 / 第 31 回日本乳癌学会学術総会 / 第 28 回日本緩和医療学会学術大会 / 第 37 回日本がん看護学会学術集会.: 松本市, 2023, [座長]
44. 片岡明美
活動発表.
認定 NPO 法人乳房健康研究会ピンクリボンアドバイザーアニュアルミーティング: 横浜市 +Web 開催, 2023, [座長]
45. 片岡明美
妊娠期間連乳がん (PABC) 患者の臨床病理学的特徴と治療の変遷について.
第 14 回関東産婦人科乳腺医学会: 東京, 2023, [講演]

46. 坂井威彦
乳房手術に対する工夫。
第 11 回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会総会：つくば市，2023, [一般演題]
47. 上野貴之
HR 陽性進行再発乳癌の最適な一次治療を考える。
第 21 回日本乳癌学会九州地方会：福岡市，2023, [イブニングセミナー]
48. 上野貴之
Current status of the cancer whole genome project and the future of cancer medicine :
がん全ゲノムプロジェクトの現状とがん医療の未来 全ゲノム解析等実行計画における患者還元。
第 82 回日本癌学会学術総会：横浜市，2023, [座長]
49. 上野貴之，深田一平，森誠一
Return of the whole genome information to patients under the Action Plan for Whole Genome Analysis : 全ゲノム解析等実行計画における患者還元。
第 82 回日本癌学会学術総会：横浜市，2023, [シンポジウム]
50. 佐伯澄人，糸川昂平，高橋洋子，大迫智，亜森馬合木特，尾辻和尊，宮田憲一，鈴鹿淳，尾崎由記範，高野利実，野田哲生，大野真司，八尾良司，上野貴之，丸山玲緒
Intratumoral heterogeneity in patient-derived breast cancer organoids: Identifying shared and unique cellular states : 乳がん患者由来オルガノイドにおける腫瘍内不均一性：共有される細胞状態とユニークな細胞状態の識別。
第 82 回日本癌学会学術総会：横浜市，2023, [口述発表]
51. 前田哲代，小野麻紀子，千葉知宏，大迫智，家里明日美，尾崎由記範，井上有香，植弘奈津恵，高橋洋子，山下奈真，小林隆之，古川孝広，北野滋久，上野貴之，大野真司
Prognostic impact of Stimulator of Interferon Genes expression in triple negative breast cancer : トリプルネガティブ乳癌における Stimulator of Interferon Genes 発現の予後への影響。
第 82 回日本癌学会学術総会：横浜市，2023, [口述発表]
52. 上野貴之
拡がる BRACAnalysis : 特殊検査から一般検査の時代へ。
第 61 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2023, [司会]
53. 坂井威彦
新規デバイスによる乳癌手術手技への応用とその臨床成績。
第 61 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2023, [司会]
54. 山下奈真，家里明日美，伏見淳，田原梨絵，寺田満雄，佐野恵美，高木富美，福田護
デジタルネイティブ世代に向けた、みんなで支えるオンライン「がん教育」。
第 33 回日本乳癌検診学会学術総会：福岡市，2023, [厳選口演]
55. 坂井威彦
乳癌における細胞診のコツ（乳腺・腋窩）。
第 62 回日本臨床細胞学会秋期大会：福岡市，2023, [座長]
56. 吉田奈央，坂井威彦，植弘奈津江，高橋洋子，山下奈真，前田哲代，井上有香，阿部朋美，中平詩，上野貴之，大野真司
若手乳腺外科医が OPBCS を行うための当院の取り組みと今後の課題。
第 85 回日本臨床外科学会総会：岡山市，2023, [シンポジウム]
57. 阿部朋未，片岡明美，植弘奈津恵，前田哲代，吉田和世，井上有香，山下奈真，高橋洋子，稲荷均，坂井威彦，上野貴之，大野真司
挫折や失敗は次に進むチャンス！
第 85 回日本臨床外科学会総会：岡山市，2023, [ワークショップ]

58. 上野貴之
グランドカンサーボード。
第 19 回日本乳癌学会関東地方会：さいたま市，
2023, [座長]
59. 原文堅
乳がん治療における医療経済の課題。
第 19 回日本乳癌学会関東地方会：さいたま市，
2023, [ランチョンセミナー]
60. 吉田奈央
転移再発後に妊娠出産を経験した若年 HER2 乳
癌の一例。
第 19 回日本乳癌学会関東地方会：さいたま市，
2023, [グランドカンサーボード]
61. 坂井威彦
当院における OncotypeDX® 検査の使用方針
とそのエビデンス。
第 19 回日本乳癌学会関東地方会：さいたま市，
2023, [ランチョンセミナー]
62. 坂井威彦
乳癌診療のトレンドと深化する超音波診断。
第 51 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会：
東京 +Web 開催，2023, [座長]
63. 坂井威彦
乳癌診療のトレンドと画像診断に求められてい
ること。
第 51 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会：
東京 +Web 開催，2023, [ランチョンセミナー]

【婦人科】

1. 金尾祐之
婦人科手術しか経験がない医師がいかにか安全に
卵巣がん手術を習得するか。
卵巣がん web セミナー：Web 開催，2023, [講
演]
2. 美坂聡樹，野村秀高，西野翔吾，村頭温，松本
剛史，菅野素子，阿部彰子，伏木淳，青木洋一，
根津幸穂，尾身牧子，谷川輝美，岡本三四郎，
尾松公平，温泉川真由，金尾祐之
ロボット支援下子宮全摘術時に生じた右外腸骨
静脈損傷と修復。
第 11 回婦人科ロボット手術学会：弘前市，
2023, [一般演題]
3. 野村秀高，美坂聡樹，吉満輝行，村頭温，松本
剛史，伏木淳，阿部彰子，菅野素子，青木洋一，
根津幸穂，尾身牧子，谷川輝美，岡本三四郎，
尾松公平，温泉川真由，金尾祐之
子宮悪性腫瘍手術における当科の子宮牽引方
法。
第 11 回婦人科ロボット手術学会：弘前市，
2023, [ワークショップ]
4. 金尾祐之
技と工夫（高難易度症例への対策）
第 11 回婦人科ロボット手術学会：弘前市，
2023, [座長]
5. 宇津木久仁子
リンパ浮腫治療の現状と課題。
第 15 回がんのリンパ浮腫研究会：名古屋市，
2023, [特別講演]
6. Kanao, H.
Our surgical strategy for gynecologic can-
cer especially focused on robotic surgery
AMC ロボット手術シンポジウム：Seoul, Ko-
rea, 2023, [特別講演]
7. 金尾祐之
Our surgical strategy for gynecologic can-
cer especially focused on robotic surgery.
AMC ロボット手術シンポジウム：Seoul Ko-
rea, 2023, [特別講演]
8. 伏木淳
うまい子宮悪性腫瘍手術とは？
Tama laparoscopic seminar: 東 京，2023,
[講演]
9. 宇津木久仁子
妊娠中のコルポ検査と対処法。
日本婦人科腫瘍学会コルポスコピー研修会：東
京，2023, [講演]
10. 野村秀高
婦人科腫瘍専門医がやるべき内視鏡下手術：リ
ンパ節郭清。

第 11 回東京低侵襲婦人科手術研究会：Web 開催，2023，[教育プログラム]

11. 野村秀高，美坂聡樹，吉満輝行，村頭温，松本剛史，伏木淳，阿部彰子，菅野素子，根津幸穂，青木洋一，尾身牧子，谷川輝美，岡本三四郎，尾松公平，温泉川真由，金尾祐之
鋭的剥離を基本としたロボット支援下子宮全摘出術。
第 15 回日本ロボット外科学会：名古屋市，2023，[シンポジウム]
12. 金尾祐之
切磋琢磨する骨盤外科手術：エキスパートの特技
第 15 回日本ロボット外科学会：名古屋市，2023，[ランチョンセミナー]
13. 金尾祐之
婦人科領域における傍大動脈リンパ節郭清術。
第 42 回東京大学婦人科がん免疫化学療法研究会：東京，2023，[講演]
14. 野村秀高
理想の医師像を追い求めて：あざとくキャリアアップしよう！
Endometrial cancer web seminar: Web 開催，2023，[講演]
15. 野村秀高
遺伝性乳癌卵巣癌、リンチ症候群に対する婦人科診療最前線。
多摩南部地域病院症例検討会：Web 開催，2023，[講演]
16. 宇津木久仁子
リンパ浮腫予防指導：標準化に向けて。
日本リンパ浮腫学会教育セミナー：大阪市，2023，[講演]
17. 尾松公平，松本光史
婦人科
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催，2023，[司会]

18. 温泉川真由
婦人科。
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催，2023，[司会]
19. 金尾祐之
婦人科がん治療戦略。
第 55 回沖縄産科婦人科学会学術集会：那覇市，2023，[特別講演]
20. 金尾祐之
卵巣がんに対する手術療法。
卵巣がん web seminar: Web 開催，2023，[講演]
21. Abe, A., Nomura, H., Fusegi, A., Yunokawa, M., Ueki, A., Habano, E., Arakawa, H., Kaneko, K., Minoura, Y., Inari, H., Ueno, T., Kanao, H.
Impact of public insurance coverage for HBOC from 2020 in Japan.
BRCA2023: Montreal, Canada, 2023，[ポスター発表]
22. 金尾祐之
困難症例に対する手術戦略。
婦人科エキスパートオンラインセミナー：山梨，2023，[特別講演]
23. 伏木淳
早期子宮頸癌に対する No-look no-touch 法を用いた腹腔鏡広汎子宮全摘術の予後について。
東京医科歯科大学同門会学会：東京，2023，[特別講演会]
24. Kanao, H., Nomura, H., Okamoto, S., Tanigawa, T., Aoki, Y., Omi, M., Fusegi, A., Abe, A., Kanao, H., Netsu, S.
Laparoscopic assisted pelvic exenteration and laterally extended endopelvic resection for postradiation recurrent cervical carcinoma : Technical feasibility and short-term oncologic outcome.
第 75 回日本産科婦人科学会学術講演会：東京，2023，[ポスター発表]

25. 温泉川真由
子宮頸がん薬物療法の二次治療を再考する：セ
ミプリマブの適正使用。
第 75 回日本産科婦人科学会学術講演会：東京，
2023, [イブニングセミナー]
26. 野村秀高
低侵襲手術における血管損傷のトラブルシュー
ティング。
第 75 回日本産科婦人科学会学術講演会：東京，
2023, [生涯研修プログラム]
27. 金尾祐之
婦人科悪性手術：開腹 / 腹腔鏡のアドバンテー
ジを最大限活かす：エネルギーデバイスと術野
展開の工夫。
第 75 回日本産科婦人科学会学術講演会：東京，
2023, [座長]
28. 金尾祐之
腹腔鏡下骨盤内悪性腫瘍手術。
第 75 回日本産科婦人科学会学術講演会：東京，
2023, [座長]
29. 金尾祐之
手術から考える卵巣がん初回治療の会。
：開催地不明，2023, [座長]
30. 西野翔吾
irAE の実情とその対策。
婦人科腫瘍スキルアップセミナー：ZOOM 配
信，2023, [講演]
31. 鎌田麻由美
irAE の実情とその対策。
婦人科腫瘍スキルアップセミナー：ZOOM 配
信，2023, [講演]
32. 野村秀高
HBOC ④：治療・リスク低減手術。
第 29 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会：高知市，
2023, [座長]
33. 野村秀高，阿部彰子，吉満輝行，村頭温，松本
剛史，菅野素子，青木洋一，根津幸穂，尾身牧
子，谷川輝美，岡本三四郎，尾松公平，温泉川
真由，植木有紗，金尾祐之
当院における、遺伝性乳癌卵巣癌に対する卵巣
癌サーベイランス。
第 29 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会：高知市，
2023, [口述発表]
34. 阿部彰子，野村秀高，温泉川真由，伏木淳，岡
本三四郎，谷川輝美，尾身牧子，根津幸穂，青
木洋一，菅野素子，稲荷均，金子景香，新川裕
美，高津美月，幅野愛理，箕浦祐子，上野貴之，
植木有紗，金尾祐之
卵巣癌発症を契機に診断された遺伝性乳癌卵巣
癌（HBOC）におけるサーベイランスの現状。
第 29 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会：高知市，
2023, [口述発表]
35. 野村秀高，植木有紗
HBOC 診療における、婦人科領域からの将来展
望。
第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web
開催，2023, [シンポジウム]
36. 宇津木久仁子，石塚直樹，野村秀高，金尾祐之
セルフドレナージは婦人科がん手術後のリンパ
浮腫発症を防ぐか？
第 47 回日本リンパ学会総会：浜松市，2023，
[シンポジウム]
37. 宇津木久仁子，石塚直樹，野村秀高，金尾祐之
リンパ浮腫の診断法に関する研究。
第 47 回日本リンパ学会総会：浜松市，2023，
[口述発表]
38. 温泉川真由
進行卵巣がんに対する薬物療法。
第 64 回日本臨床細胞学会総会春期大会：名古
屋市，2023, [ランチョンセミナー]
39. 谷川輝美，山田麻里沙，伏木淳，阿部彰子，野
村秀高，阿部仁，外岡暁子，杉山裕子，金尾祐
之
子宮頸癌に対する放射線治療後のフォローアッ
プにおける子宮頸部細胞診の有用性。
第 64 回日本臨床細胞学会総会春期大会：名古
屋市，2023, [教育講演]

40. 野村秀高, 杉山裕子, 美坂聡樹, 吉満輝行, 村頭温, 松本剛史, 伏木淳, 阿部彰子, 菅野素子, 青木洋一
婦人科関連遺伝性腫瘍における細胞診の役割について.
第 64 回日本臨床細胞学会総会春期大会: 名古屋市, 2023, [教育講演]
41. 阿部彰子
卵巣がん.
Japan Cancer Forum 2023: Web 開催, 2023, [講演]
42. 野村秀高
RRSO を追求する: 付属器摘出術って簡単だと思いませんか?
婦人科腫瘍 Web セミナー: Web 開催, 2023, [講演]
43. 岡本三四郎
婦人科ロボット手術に関する各種認定制度と新規ロボットについて.
第 3 回東京婦人科ロボット手術研究会: ●開催地不明, 2023, [座長]
44. 伏木淳, 金尾祐之, 野村秀高, 阿部彰子, 鎌田麻由美, 河本貴之, 美坂聡樹, 吉満輝行, 津村志穂, 西野翔吾, 一木愛, 菅野素子, 青木洋一, 根津幸穂, 尾身牧子, 谷川輝美, 岡本三四郎, 尾松公平, 温泉川真由
No-look no-touch 法を用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘出術: 必要十分な手術を行うための「3 牽引」.
第 65 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 松江市, 2023, [ワークショップ]
45. 尾身牧子, 河本貴之, 西野翔吾, 菅野素子, 伏木淳, 阿部彰子, 青木洋一, 根津幸穂, 谷川輝美, 岡本三四郎, 尾松公平, 温泉川真由, 野村秀高, 金尾祐之, 榎田泰祐, 羽山ブライアン, 早川景子, 田中優美子
外陰癌術後の surgical site infection (SSI) から緑膿菌による恥骨骨髓炎をきたした 2 症例.
第 65 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 松江市, 2023, [ポスター発表]
46. 村頭温, 野村秀高, 美坂聡樹, 吉満輝行, 松本剛史, 菅野素子, 阿部彰子, 伏木淳, 尾身牧子, 根津幸穂, 谷川輝美, 青木洋一, 岡本三四郎, 尾松公平, 温泉川真由, 金尾祐之
当院における新型コロナウイルス感染症流行前後の子宮頸癌患者の後方視的検討.
第 65 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 松江市, 2023, [口述発表]
47. 河本貴之, 岡本三四郎, 鎌田麻由美, 菅野素子, 阿部彰子, 伏木淳, 根津幸穂, 尾身牧子, 谷川輝美, 青木洋一, 尾松公平, 温泉川真由, 野村秀高, 伊藤藍, 外岡暁子, 北井里美, 田中優美子, 金尾祐之
当院で経験した卵巣境界悪性ブレンナー腫瘍の臨床病理学的検討.
第 65 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 松江市, 2023, [ポスター発表]
48. 津村志穂, 西野翔吾, 一木愛, 菅野素子, 伏木淳, 阿部彰子, 青木洋一, 根津幸穂, 尾身牧子, 谷川輝美, 岡本三四郎, 野村秀高, 尾松公平, 温泉川真由, 金尾祐之
初回治療で病変が消失した再発子宮体癌に対する局所治療の有効性に関する検討.
第 65 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 松江市, 2023, [ポスター発表]
49. 温泉川真由, 津村志穂, 西野翔吾, 一木愛, 菅野素子, 阿部彰子, 伏木淳, 青木洋一, 根津幸穂, 尾身牧子, 谷川輝美, 岡本三四郎, 尾松公平, 野村秀高, 金尾祐之
Real world における転移・再発子宮体がんに対するレンパチニブ・ペムブロリズマブ療法の検討.
第 65 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 松江市, 2023, [ワークショップ]
50. 温泉川真由
進行卵巣がんに対する HRD 検査の現状と課題、薬物治療へのインパクト.
第 65 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 松江市, 2023, [ランチョンセミナー]

51. 菅野素子, 津村志穂, 西野翔吾, 一木愛, 伏木淳, 阿部彰子, 根津幸穂, 青木洋一, 尾身牧子, 谷川輝美, 岡本三四郎, 尾松公平, 野村秀高, 温泉川真由, 金尾祐之
遠隔転移のある子宮内膜癌 IVB 期に対する腹腔内腫瘍減量手術の有効性.
第 65 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 松江市, 2023, [ポスター発表]
52. 西野翔吾, 谷川輝美, 津村志穂, 一木愛, 菅野素子, 伏木淳, 阿部彰子, 根津幸穂, 青木洋一, 尾身牧子, 岡本三四郎, 野村秀高, 尾松公平, 温泉川真由, 金尾祐之
びまん性播種を伴う卵巣癌に対する Interval debulking surgery 時の残存腫瘍の予測因子に関する検討.
第 65 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 松江市, 2023, [ポスター発表]
53. 谷川輝美, 西野翔吾, 津村志穂, 一木愛, 菅野素子, 根津幸穂, 伏木淳, 阿部彰子, 青木洋一, 尾身牧子, 岡本三四郎, 野村秀高, 尾松公平, 温泉川真由, 金尾祐之
進行・再発卵巣癌患者における実臨床での PARP 阻害薬維持療法別の有害事象.
第 65 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 松江市, 2023, [シンポジウム]
54. 野村秀高, 美坂聡樹, 吉満輝行, 村頭温, 松本剛史, 伏木淳, 阿部彰子, 菅野素子, 青木洋一, 根津幸穂, 尾身牧子, 谷川輝美, 岡本三四郎, 尾松公平, 温泉川真由, 外岡暁子, 植木有紗, 金尾祐之
50 歳未満の子宮体癌 105 例に対して行ったミスマッチ修復蛋白の免疫染色の結果と臨床的背景の検討.
第 65 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 松江市, 2023, [ポスター発表]
55. 野村秀高
手術で治す。次は無い。
第 65 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 松江市, 2023, [ランチョンセミナー]
56. 金尾祐之
再発子宮頸がんに対する治療戦略: 手術療法の立場から.
第 65 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 松江市, 2023, [スポンサーセミナー]
57. 金尾祐之
卵巣がん, 卵管がん, 腹膜がんの手術.
第 65 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 松江市, 2023, [教育プログラム]
58. 金尾祐之
卵巣癌: 手術
第 65 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 松江市, 2023, [座長]
59. 鎌田麻由美, 尾身牧子, 河本貴之, 菅野素子, 阿部彰子, 伏木淳, 青木洋一, 根津幸穂, 谷川輝美, 岡本三四郎, 尾松公平, 温泉川真由, 野村秀高, 伊藤藍, 外岡暁子, 金尾祐之
当院にて診断された子宮体癌 (mesonephric-like adenocarcinoma) 9 例についての検討.
第 65 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 松江市, 2023, [口述発表]
60. 阿部彰子, 杉山裕子, 外岡暁子, 千葉知宏, 美坂聡樹, 吉満輝行, 村頭温, 松本剛史, 菅野素子, 尾身牧子, 根津幸穂, 谷川輝美, 青木洋一, 岡本三四郎, 尾松公平, 温泉川真由, 伏木淳, 野村秀高, 金尾祐之
子宮体部と卵巣悪性腫瘍同時発生例 (SEOC) の臨床病理学的特徴に関する検討: 特に癌肉腫について.
第 65 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 松江市, 2023, [シンポジウム]
61. 金尾祐之
患者さんのことを考えた only one の手術ストラテジー.
Ovarian cancer national web symposium: Web 開催, 2023, [シンポジウム]
62. 菅野素子
PARP 阻害薬のある今だから、さらなる R0 手術を目指して.
チームで尽力する卵巣癌治療: complete surgery を目指して.: Zoom 配信, 2023, [講演]

63. 宇津木久仁子
最新の婦人科系がん事情と検診・リスク検査について．
健康保険組合経営研究会：東京，2023，[講演]
64. 金尾祐之
婦人科がん治療を再考する．
長崎県産婦人科手術手技セミナー：長崎市，2023，[セミナー]
65. 伏木淳，野村秀高，阿部彰子，菅野素子，青木洋一，根津幸穂，尾身牧子，谷川輝美，岡本三四郎，温泉川真由，金尾祐之
「美しい」広汎子宮全摘出術を目指して：単摘から始まるコンセプト養成．
第46回日本産婦人科手術学会：東京 + Web開催，2023，[口述発表]
66. 野村秀高，河本貴之，佛原悠介，美坂聡樹，吉満輝行，伏木淳，菅野素子，青木洋一，阿部彰子，根津幸穂，尾身牧子，谷川輝美，岡本三四郎，温泉川真由，金尾祐之
仙骨前面に再発した子宮体癌に対し、腹腔鏡下にスパーサーを留置し、安全に放射線治療を遂行した1例．
第46回日本産婦人科手術学会：東京 + Web開催，2023，[口述発表]
67. Fusegi, A.
Clinical implications of superficial uterine vein pattern for the dissection of the anterior layer of the vesicouterine ligament.
第63回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：大津市，2023，[English Session]
68. 一木愛，菅野素子，豊原佑典，西野翔吾，津村志穂，青木洋一，根津幸穂，谷川輝美，温泉川真由，金尾祐之
腹腔鏡下で完全切除し得た Polypoid endometriosis の一例．
第63回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：大津市，2023，[一般口演]
69. 尾身牧子，ほか
腹腔鏡下準広汎子宮全摘術の術中に尿管を焼灼した苦い経験から学んだこと．
第63回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：大津市，2023，[一般口演]
70. 岡本三四郎，ほか
診断に苦慮した縦隔リンパ節腫大を認めた卵巢境界悪性腫瘍の1症例．
第63回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：大津市，2023，[ポスター発表]
71. 根津幸穂
審査腹腔鏡4．
第63回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：大津市，2023，[座長]
72. 河本貴之，ほか
シミュレーターを使った技術復帰の検討．
第63回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：大津市，2023，[一般口演]
73. 津村志穂
診断が困難であった腹腔内デスマイド腫瘍に対し、腹腔鏡下に診断、治療を行うことができた1例．
第63回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：大津市，2023，[一般口演]
74. 菅野素子，鎌田麻由美，美坂聡樹，豊原佑典，西野翔吾，津村志穂，一木愛，伏木淳，阿部彰子，青木洋一，根津幸穂，尾身牧子，谷川輝美，岡本三四郎，野村秀高，金尾祐之
がん専門病院で行った大腸閉塞、尿管狭窄をきたした希少部位・骨盤子宮内膜症に対する妊孕性温存手術．
第63回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：大津市，2023，[ポスター発表]
75. 野村秀高
腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清を安全に行うために．
第63回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：大津市，2023，[シンポジウム]
76. 金尾祐之
ほぼノーカット手術映像で見る VISERA ELITE III の臨床的有用性．
第63回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：大津市，2023，[ランチョンセミナー]

77. 金尾祐之
当科で行う良性疾患に対する腹腔鏡手術と早期子宮体癌に対するロボット支援下手術。
第 63 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：大津市，2023, [ランチョンセミナー]
78. 金尾祐之
照射野内再発子宮頸がんに対する手術療法 (PE/LEER) の適応と限界。
第 63 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：大津市，2023, [シンポジウム]
79. 金尾祐之
術中、術後合併症ゼロを目指して：開腹 / 腹腔鏡卵巣がん根治術。
第 63 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：大津市，2023, [ランチョンセミナー]
80. 金尾祐之，小林英仁
鏡視下手術による骨盤内臓器合併切除。
第 63 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：大津市，2023, [座長]
81. 鎌田麻由美，ほか
腹腔鏡下広汎子宮全摘出術における腫瘍散布予防の効果。
第 63 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：大津市，2023, [ワークショップ]
82. 青木洋一
ロボット 7。
第 63 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：大津市，2023, [座長]
83. 青木洋一，ほか
肥満患者に da vinci Xi を用いたロボット手術は有効か？。
第 63 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：大津市，2023, [一般口演]
84. 杉山裕子，後藤理，外岡暁子，野田哲生，森誠一
Predictors for progestin therapy of endometrial proliferative diseases：子宮内膜増殖性病変に対する妊孕性温存黄体ホルモン療法の治療効果予測に関する研究。
第 82 回日本癌学会学術総会：横浜市，2023, [ポスター発表]
85. 菅野素子
初回進行卵巣がん治療：治療戦略と今後の治療。
Gynecologic Oncology Expert Seminar: 東京，2023, [講演]
86. 金尾祐之
婦人科がん治療を再考する。
Gynecologic oncology expert seminar.: ●開催地不明，2023, [セミナー]
87. 金尾祐之
初発から再発までのトータル治療を考える。
Gynecology expert web seminar: Web 開催，2023, [座長]
88. 伏木淳
腹腔鏡下広汎子宮全摘出術 No-look no-touch technique。
がん研アカデミー 2023 婦人科：東京，2023, [講演]
89. 金尾祐之
開腹 / 腹腔鏡卵巣がん根治術。
卵巣がんの patient journey を考える：●開催地不明，2023, [講演]
90. Abe, A., Nomura, H., Fusegi, A., Yunokawa, M., Okamoto, S., Tanigawa, T., Omi, M., Netsu, S., Aoki, Y., Kanno, M., Misaka, S., Yoshimitsu, T., Butsuhara, Y., Kanao, H.
Factors influencing clinical decision-making for risk-reducing salpingo-oophorectomy among female BRCA mutation carriers。
日本人類遺伝学会第 68 回大会：東京 + Web 開催，2023, [ポスター発表]
91. 金尾祐之
婦人科がんに対する骨盤手術。
第 61 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2023, [ランチョンセミナー]
92. Kanao, H.
Laparoscopic extended radical surgery for gynecologic diseases.

- 韓国内視鏡学会：●開催都市不明，2023，[招請講演]
93. 金尾祐之
CST での到達目標と実際の手術 /CST.
骨盤解剖を紐解く会：札幌市，2023，[講演 / demonstrator]
94. 金尾祐之
開腹 / 腹腔鏡卵巣がん根治術 .
Ovarian cancer web seminar: Web 開催，2023，[セミナー]
95. Fusegi, A.
Challenges treating uterine cancer during minimally invasive surgery.
CoE program GYN: 東京，2023，[講演]
96. 金尾祐之
初回卵巣がん治療戦略 .
第 5 回 ovarian cancer academia: ●開催地不明，2023，[講演]
97. 美坂聡樹，佛原悠介，吉満輝之，伏木淳，菅野素子，青木洋一，阿部彰子，根津幸穂，尾身牧子，谷川輝美，岡本三四郎，温泉川真由，金尾祐之
高難易度手術を見据えたダブルバイポーラ法を用いたロボット支援下手術 .
第 46 回日本産婦人科手術学会：東京 +Web 開催，2023，[口述発表]
98. 杉山裕子
子宮頸部腺系病変の細胞診 .
第 62 回日本臨床細胞学会秋期大会：福岡市，2023，[教育講演]
99. 金尾祐之
卵巣がん治療戦略 .
第 146 回関東連合産科婦人科学会総会：浜松市，2023，[ランチョンセミナー]
100. 伏木淳
卵巣癌初回治療における Debulking surgery の意義を考える .
Gynecologist Educational Seminar: Web 開催，2023，[講演]
101. 野村秀高，ほか
遺伝性乳癌卵巣癌症候群のサーベイランスにおける子宮内膜細胞診の意義についての検討 .
第 9 回日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会：名古屋市，2023，[一般演題口演]
102. 阿部彰子，ほか
RRSO の意思決定に影響を与える要因 .
第 9 回日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会：名古屋市，2023，[一般演題口演]
103. 吉満輝行，美坂聡樹，佛原悠介，菅野素子，阿部彰子，伏木淳，尾身牧子，青木洋一，根津幸穂，谷川輝美，岡本三四郎，温泉川真由，野村秀高，金尾祐之
当院の腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清の合併症とその対策 .
第 36 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2023，[一般演題口演]
104. 清水裕介，ほか
早期子宮体部悪性腫瘍に対する低侵襲手術における子宮内操作器具の影響と改善の可能性 .
第 36 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2023，[ミニオーラル]
105. 美坂聡樹，吉満輝行，伏木淳，阿部彰子，菅野素子，根津幸穂，青木洋一，尾身牧子，谷川輝美，岡本三四郎，温泉川真由，野村秀高，金尾祐之
腹腔鏡手術の弱点を補うための電気メスの使い方とカメラワークの工夫 .
第 36 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2023，[一般演題口演]
106. 金尾祐之，野村秀高，岡本三四郎，谷川輝美，尾身牧子，青木洋一，根津幸穂，伏木淳，菅野素子
婦人科領域におけるリンパ節郭清術はロボット支援で変わるか？
第 36 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2023，[シンポジウム]
107. 金尾祐之
骨盤内視鏡外科：我々はどこへ行くのか .
第 36 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2023，[Evening Lecture 2]

108. 伏木淳, 杉山裕子, 寺内公一, 尾身牧子, 鎌田麻由美, 美坂聡樹, 西野翔吾, 菅野素子, 阿部彰子, 青木洋一, 根津幸穂, 谷川輝美, 岡本三四郎, 温泉川真由, 野村秀高, 金尾祐之
婦人科がん患者治療後の身体的・心理的症状プロフィールを用いた更年期症状評価.
第 38 回日本女性医学学会学術集会: 徳島市, 2023, [口述発表]
109. 尾身牧子, 栗原望, 美坂聡樹, 鎌田麻由美, 西野翔吾, 菅野素子, 伏木淳, 根津幸穂, 青木洋一, 阿部彰子, 谷川輝美, 岡本三四郎, 野村秀高, 温泉川真由, 杉山裕子, 金尾祐之
同時化学放射線療法を行った子宮頸癌患者に対するホルモン補充療法の検討.
第 38 回日本女性医学学会学術集会: 徳島市, 2023, [口述発表]
110. 美坂聡樹, 吉満輝之, 鎌田麻由美, 西野翔吾, 伏木淳, 尾身牧子, 杉山裕子, 金尾祐之
進行卵巣癌の維持療法中にホルモン補充療法を施行した 2 症例.
第 38 回日本女性医学学会学術集会: 徳島市, 2023, [ポスター発表]
111. 西野翔吾, 伏木淳, 鎌田麻由美, 美坂聡樹, 菅野素子, 阿部彰子, 青木洋一, 根津幸穂, 尾身牧子, 谷川輝美, 岡本三四郎, 温泉川真由, 野村秀高, 杉山裕子, 金尾祐之
Lynch 症候群における若年性医原性閉経後のホルモン補充療法 (Hormone_replacement_therapy : HRT) の使用経験.
第 38 回日本女性医学学会学術集会: 徳島市, 2023, [口述発表]
112. 鎌田麻由美, 伏木淳, 美坂聡樹, 西野翔吾, 菅野素子, 阿部彰子, 青木洋一, 根津幸穂, 尾身牧子, 谷川輝美, 岡本三四郎, 温泉川真由, 野村秀高, 杉山裕子, 金尾祐之
ホルモン補充療法を行なった進行子宮体がんサバイバーの経験例.
第 38 回日本女性医学学会学術集会: 徳島市, 2023, [ポスター発表]
113. 野村秀高
がんゲノム医療時代における婦人科癌と遺伝性腫瘍の治療戦略.

第 57 回日本婦人科病理学会学術集会: 東京 +Web 開催, 2023, [ランチョンセミナー]

114. 河本貴之, 野村秀高, 佛原悠介, 美坂聡樹, 吉満輝行, 伏木淳, 阿部彰子, 温泉川真由, 千葉知宏
子宮頸癌主治療後再発し、腔内照射を行うも再発した上皮内病変に対しイミキモドクリームが有効であった 1 例.
第 407 回東京産科婦人科学会合同研修会 / 第 46 回東京産婦人科医会: 東京, 2023, [口述発表]

【頭頸科】

1. 三谷浩樹, 小森学
第 54 群: 合併症.
第 32 回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会: 金沢市, 2023, [座長]
2. 鳥居淳一, 横井麻珠美, 早坂紀子
頭頸部アルミノックス治療 (光免疫療法) 実施に際しての運用・看護のポイント.
・頭頸部アルミノックス治療の概要.
・頭頸部アルミノックス治療実施に際しての運用・看護のポイント.
・頭頸部アルミノックス治療 (光免疫療法) 実施に向けた環境及び体制整備.
第 37 回日本がん看護学会学術集会: 横浜市 +Web 開催, 2023, [教育セミナー]
3. 福島啓文, 神山亮介, 佐々木徹, 新橋渉, 瀬戸陽, 三谷浩樹
気管食道シャント術: 手術から管理まで.
第 124 回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会: 福岡市, 2023, [学術講演]
4. 神山亮介, 福島啓文
ボイスプロステシス挿入・交換等.
第 124 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 総会・学術講演会 / Global Postlaryngectomy Rehabilitation Academy in Japan (第 10 回 GPRJ): 福岡市, 2023, [ハンズオンセミナー]
5. 神山亮介
音声リハビリテーション・永久気管孔用人工鼻の普及に向けて.

第 124 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 総会・学術講演会 /Global Postlaryngectomy Rehabilitation Academy in Japan (第 10 回 GPRJ) : Web 開催, 2023, [Web セミナー]

6. 三谷浩樹, 中川雅裕
頭頸部再建新世紀: 定型的再建の一步先へ.
第 47 回日本頭頸部癌学会・学術講演会: 大阪市, 2023, [司会]
7. 今泉冴恵, 佐々木徹, 三谷浩樹, 福島啓文, 新橋渉, 小泉雄, 瀬戸陽, 神山亮介, 市川千恭, 森田琢磨, 鳥居淳一, 檜原浩介, 岩城弘尚, 西條幸平, 松居祐樹, 嘉陽祐紀, 八木建樹
声門癌放射線治療後残存・再発に対する喉頭垂直部分切除術施行例の臨床的検討.
第 47 回日本頭頸部癌学会・学術講演会: 大阪市, 2023, [口述発表]
8. 岩城弘尚, 瀬戸陽, 三谷浩樹, 福島啓文, 佐々木徹, 新橋渉, 小泉雄, 神山亮介, 市川千恭, 森田琢磨, 鳥居淳一, 檜原浩介, 今泉冴恵, 西條幸平, 松居祐樹, 嘉陽祐紀, 八木建樹, 佐藤由紀子
当院における舌背癌手術症例の検討.
第 47 回日本頭頸部癌学会・学術講演会: 大阪市, 2023, [口述発表]
9. 市川千恭, 三谷浩樹, 福島啓文, 佐々木徹, 新橋渉, 瀬戸陽, 神山亮介, 鳥居淳一, 檜原浩介, 岩城弘尚, 今泉冴恵, 西條幸平, 松居祐樹, 高橋俊二, 小野麻紀子, 利安隆史, 石山晃世志, 佐藤由紀子, 田中宏子
当科における下咽頭癌 T2N0 症例の治療成績.
第 47 回日本頭頸部癌学会・学術講演会: 大阪市, 2023, [口述発表]
10. 新橋渉, 高橋俊二, 福田直樹, Low, S., Chan, H. T., 三谷浩樹, 福島啓文, 佐々木徹, 瀬戸陽, 小泉雄, 神山亮介, 市川千恭, 森田琢磨, 鳥居淳一, 檜原浩介, 今泉冴恵, 岩城弘尚, 西條幸平, 松居祐樹, 利安隆史
頭頸部進行癌におけるリキッドバイオプシー活用の検討.
第 47 回日本頭頸部癌学会・学術講演会: 大阪市, 2023, [口述発表]

11. 松居祐樹, 戸田和寿, 新橋渉, 三谷浩樹, 福島啓文, 佐々木徹, 瀬戸陽, 神山亮介, 市川千恭, 鳥居淳一, 檜原浩介, 岩城弘尚, 今泉冴恵, 西條幸平, 千葉知宏, 杉谷巖
甲状腺乳頭癌に対して喉頭全摘術, 下咽頭喉頭全摘術実施症例の検討.
第 47 回日本頭頸部癌学会・学術講演会: 大阪市, 2023, [口述発表]
12. 森田琢磨, 佐々木徹, 佐藤由紀子, 福島啓文, 新橋渉, 瀬戸陽, 小泉雄, 神山亮介, 市川千恭, 鳥居淳一, 檜原浩介, 岩城弘尚, 西條幸平, 松居祐樹, 今泉冴恵, 嘉陽祐紀, 八木建樹, 利安隆史, 高橋俊二, 三谷浩樹
口腔扁平上皮癌頸部リンパ節転移の節外浸潤進展度と術後補助治療選択に関する臨床的検討.
第 47 回日本頭頸部癌学会・学術講演会: 大阪市, 2023, [口述発表]
13. 鳥居淳一, 瀬戸陽, 佐藤由紀子, 三谷浩樹, 福島啓文, 佐々木徹, 新橋渉, 小泉雄, 神山亮介, 市川千恭, 森田琢磨, 檜原浩介, 西條幸平, 松居祐樹, 岩城弘尚, 今泉冴恵, 嘉陽祐紀, 八木建樹
当科における耳下腺多形腺腫由来癌症例の検討.
第 47 回日本頭頸部癌学会・学術講演会: 大阪市, 2023, [口述発表]
14. 三谷浩樹, 松本崇
頭頸部腫瘍 3
第 85 回耳鼻咽喉科臨床学会学術講演会: 東京, 2023, [座長]
15. 新橋渉
口腔咽頭 6
第 85 回耳鼻咽喉科臨床学会学術講演会: 東京, 2023, [座長]
16. 新橋渉, 三谷浩樹, 福島啓文, 佐々木徹, 瀬戸陽, 小泉雄, 戸田和寿, 神山亮介, 市川千恭, 森田琢磨, 高橋俊二, 利安隆史, 佐藤由紀子
中咽頭癌における再建手術症例の検討.
第 61 回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2023, [ワークショップ]

17. 三谷浩樹, 宮崎達也
頸部食道癌.
第 74 回日本気管食道学会総会ならびに学術講演会: 福岡市, 2023, [座長]
18. 福島啓文, 三谷浩樹, 佐々木徹, 新橋渉, 瀬戸陽, 神山亮介, 市川千恭
当科における頭頸部癌治療後のリハビリテーションの取り組み.
第 74 回日本気管食道学会総会ならびに学術講演会: 福岡市, 2023, [講演]

【整形外科】

1. 早川景子
進行性軟部肉腫に対するエリブリンの有効性 (骨軟部肉腫治療研究会 (JMOG) 多施設共同研究より)
第 6 回日本サルコーマ治療研究学会学術集会: 神戸市, 2023, [スポンサーシップシンポジウム]
2. 有賀茜, 阿江啓介, 谷澤泰介, 早川景子, 三浪友輔, 齊藤正徳, 黒澤紀雄, 白川さくら, 松本誠一
臼蓋破綻により腸管穿孔を生じた骨盤周囲肉腫の術後長期臨床像.
第 6 回日本サルコーマ治療研究学会学術集会: 神戸市, 2023, [ポスター発表]
3. 阿江啓介
サルコーマ診療において Precision Oncology がもたらすもの.
第 6 回日本サルコーマ治療研究学会学術集会: 神戸市, 2023, [座長]
4. 阿江啓介
四肢軟部肉腫の外科的切除縁.
第 6 回日本サルコーマ治療研究学会学術集会: 神戸市, 2023, [シンポジウム]
5. 黒澤紀雄, 阿江啓介, 谷澤泰介, 早川景子, 三浪友輔, 齊藤正徳, 有賀茜, 白川さくら, 松本誠一
再発性悪性軟部腫瘍の手術加療による局所制御率.
第 6 回日本サルコーマ治療研究学会学術集会: 神戸市, 2023, [ポスター発表]
6. 齊藤正徳, 阿江啓介, 谷澤泰介, 早川景子, 三浪友輔, 黒澤紀雄, 有賀茜, 白川さくら, 松本誠一
骨盤周囲腫瘍に対する、新しい皮膚切開法.
第 6 回日本サルコーマ治療研究学会学術集会: 神戸市, 2023, [口述発表]
7. 松本誠一
骨軟部腫瘍: 診断治療の現状.
第 44 回静岡骨軟部腫瘍研究会: 浜松市, 2023, [特別講演]
8. 阿江啓介, 谷澤泰介, 早川景子, 船内雄生, 三浪友輔, 齊藤正徳, 黒澤紀雄, 有賀茜, 松本誠一
骨盤骨腫瘍の手術合併症とその対策.
第 96 回日本整形外科学会学術総会: 横浜市, 2023, [シンポジウム]
9. 中山隆之, 松本誠一, 阿江啓介, 谷澤泰介, 早川景子, 三浪友輔, 齊藤正徳, 黒澤紀雄, 山下享子
椎間関節から発生した腱滑膜巨細胞腫の 4 例.
第 56 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会: 東京, 2023, [ポスター発表]
10. 早川景子, 阿江啓介, 谷澤泰介, 三浪友輔, 齊藤正徳, 黒澤紀雄, 有賀茜, 白川さくら, 松本誠一
当院における下肢長管骨 intercalary allograft の治療成績.
第 56 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会: 東京, 2023, [シンポジウム]
11. 早川景子
悪性軟部腫瘍 7.
第 56 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会: 東京, 2023, [座長]
12. 早川景子, 阿江啓介, 谷澤泰介, 三浪友輔, 齊藤正徳, 黒澤紀雄, 有賀茜, 白川さくら, 松本誠一
橈骨遠位骨切除を要する手関節再建の治療成績.
第 56 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会: 東京, 2023, [口述発表]

13. 有賀茜, 松本誠一, 谷澤泰介, 早川景子, 船内雄生, 三浪友輔, 齊藤正徳, 黒澤紀雄, 寺内隆司, 阿江啓介
18F-FDG PET/CT で偽陰性を示す転移性粘液型脂肪肉腫.
第 56 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会: 東京, 2023, [主題]
14. 有賀茜, 阿江啓介, 谷澤泰介, 早川景子, 船内雄生, 三浪友輔, 齊藤正徳, 黒澤紀雄, 松本誠一
術後晩期に腸管穿孔を生じた骨盤発生肉腫 3 例の臨床像.
第 56 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会: 東京, 2023, [口述発表]
15. 松本誠一, 阿江啓介, 谷澤泰介, 早川景子, 齊藤正徳, 三浪友輔, 黒澤紀雄, 有賀茜, 白川さくら, 山下享子
細胞診断および MDM2 免疫染色と FISH 診断を併用した針生検による異型脂肪腫様腫瘍の術前診断.
第 56 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会: 東京, 2023, [ポスター発表]
16. 松本誠一
腫瘍用人工関節: 残された課題.
第 56 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会: 東京, 2023, [座長]
17. 松本誠一
骨・軟部腫瘍医育成のためのシステム作り.
第 56 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会: 東京, 2023, [シンポジウム]
18. 白川さくら, 谷澤泰介, 阿江啓介, 松本誠一, 早川景子, 三浪友輔, 齊藤正徳, 黒澤紀雄, 有賀茜, 大川淳
神経内ガングリオンによる腓骨神経麻痺の 1 例.
第 56 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会: 東京, 2023, [ポスター発表]
19. 谷澤泰介
これからの生物学的再建.
第 56 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会: 東京, 2023, [座長]
20. 谷澤泰介, 阿江啓介, 松本誠一, 早川景子, 齊藤正徳, 黒澤紀雄, 有賀茜, 白川さくら
上肢悪性骨・軟部腫瘍の治療: 肘関節周囲の軟部肉腫における肘の機能再建 / 課題と対策.
第 56 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会: 東京, 2023, [シンポジウム]
21. 阿江啓介, 松本誠一, 谷澤泰介, 早川景子, 齊藤正徳, 三浪友輔, 黒澤紀雄, 船内雄生, 大川淳
切除縁獲得の考え方: 最新の知見から.
第 56 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会: 東京, 2023, [セミナー]
22. 阿江啓介, 谷澤泰介, 早川景子, 三浪友輔, 齊藤正徳, 黒澤紀雄, 有賀茜, 白川さくら, 船内雄生, 松本誠一, 川口智義
小児肉腫治療における小児 (腫瘍) 科との連携.
第 56 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会: 東京, 2023, [シンポジウム]
23. 阿江啓介
骨・軟部腫瘍および転移性骨腫瘍に対する mega-prosthesis を用いた関節機能再建術: 本邦における GMRS 下肢人工関節システムの中長期成績.
第 56 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会: 東京, 2023, [ランチョンセミナー]
24. 阿江啓介
骨・軟部腫瘍手術の周術期感染対策.
第 56 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会: 東京, 2023, [座長]
25. 黒澤紀雄, 阿江啓介, 谷澤泰介, 早川景子, 三浪友輔, 齊藤正徳, 有賀茜, 白川さくら, 松本誠一
患肢切断術を要した骨・軟部腫瘍症例の予後規定因子の検討.
第 56 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会: 東京, 2023, [ポスター発表]
26. 齊藤正徳, 阿江啓介, 谷澤泰介, 早川景子, 三浪友輔, 黒澤紀雄, 有賀茜, 白川さくら, 松本誠一, 船内雄生, 大川淳
腋窩領域発生軟部肉腫の治療成績.

第 56 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会：東京，2023，[ポスター発表]

27. 嶋田壮太郎，阿江啓介，松本誠一，齊藤正徳，黒澤紀雄，船内雄生，吉井俊貴
異型紡錘細胞 / 多形型脂肪性腫瘍の 4 症例。
第 72 回東日本整形災害外科学会：旭川市，2023，[一般演題]

28. 有賀茜，阿江啓介，谷澤泰介，早川景子，船内雄生，齊藤正徳，黒澤紀雄，松本誠一
術後晩期に腸管穿孔を生じた骨盤発生肉腫 3 例。
第 72 回東日本整形災害外科学会：旭川市，2023，[若手優秀演題アワードセッション]

29. 阿江啓介
骨悪性腫瘍に対する mega-prosthesis を用いた再建術。
第 72 回東日本整形災害外科学会：旭川市，2023，[教育研修講演]

30. 黒澤紀雄，阿江啓介，船内雄生，齊藤正徳，松本誠一，吉井俊貴
USP6 遺伝子再構成の検出で診断された小児の硬膜外発生結節性筋膜炎。
第 72 回東日本整形災害外科学会：旭川市，2023，[一般演題]

31. 齊藤正徳，阿江啓介，松本誠一，黒澤紀雄，林直輝，嶋田壮太郎，船内雄生，吉井俊貴
PET-CT で腰椎に偶然見つかった，悪性腫瘍を強く疑わせる局所浸潤性の強い色素性絨毛結節性滑膜炎の 1 例。
第 72 回東日本整形災害外科学会：旭川市，2023，[一般演題]

32. Hayakawa, K., Ae, K., Tanizawa, T., Saito, M., Kurosawa, N., Matsumoto, S.
Treatment for soft tissue sarcoma in the chest wall.
14th Asia Pacific Musculoskeletal Tumor Society Meeting: Taipei, Taiwan, 2023, [口述発表]

33. Kurosawa, N., Ae, K., Hayakawa, K., Saito, M., Matsumoto, S.
Long-term results of the cement-augmented intramedullary nail fixation combined with metal mesh/plate reconstruction.
14th Asia Pacific Musculoskeletal Tumor Society Meeting: Taipei, Taiwan, 2023, [ポスター発表]

34. Saito, M., Ae, K., Hayakawa, K., Kurosawa, N., Funauchi, Y.
A new skin incision for pelvic musculoskeletal tumor surgery.
14th Asia Pacific Musculoskeletal Tumor Society Meeting: Taipei, Taiwan, 2023, [口述発表]

35. 阿江啓介
骨盤悪性腫瘍の診断と治療：Tips & Tricks.
第 17 回信州骨軟部腫瘍研究会：松本市，2023，[教育研修講演]

36. 阿江啓介，谷澤泰介，早川景子，齊藤正徳，松本誠一
後腹膜、鼠径部悪性軟部腫瘍の治療。
第 61 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2023，[シンポジウム]

37. Hayashi, N., Ae, K., Tanizawa, T., Hayakawa, K., Saito, M., Kurosawa, N., Hayashida, Y., Matsumoto, S.
A huge giant cell tumor of bone of the middle phalanx of third finger : A case report.
109 回東京医科歯科大学整形外科集談会：東京，2023，[口述発表]

38. Hayashida, Y., Ae, K., Matsumoto, S., Tanizawa, T., Hayakawa, K., Saito, M., Kurosawa, N., Hayashi, N., Ishizuka, K.
A case of malignant giant cell tumor of soft tissue that occurred in right thigh.
109 回東京医科歯科大学整形外科集談会：東京，2023，[口述発表]

【泌尿器科】

1. 大木遼佑, 浦崎哲也, 伊東翼, 中村剛大, 山口良友, 西野貴斗, 米岡祐輔, 安田庸輔, 藤原遼, 小口智彦, 駒井好信, 沼尾昇, 山本真也, 米瀬淳二, 高橋俊二, 湯浅健
当院における尿路上皮癌に対するエンフォルトマブ・ベドチン療法の使用成績.
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 福岡市 +Web 開催, 2023, [Mini Oral Session]
2. Komai, Y.
Local management of adult soft tissue sarcomas.
第 110 回日本泌尿器科学会総会: 神戸市, 2023, [ワークショップ]
3. 安田庸輔, 湯浅健, 浦崎哲也, 大木遼佑, 山本真也, 沼尾昇, 駒井好信, 小口智彦, 藤原遼, 米岡祐輔, 山口良友, 西野貴斗, 米瀬淳二
転移性腎癌に対する免疫チェックポイント阻害剤治療における免疫関連副作用の予後因子としての意義.
第 110 回日本泌尿器科学会総会: 神戸市, 2023, [口述発表]
4. 山本真也, 沼尾昇, 駒井好信, 安田庸輔, 小口智彦, 藤原遼, 米岡祐輔, 山口良友, 中村剛大, 伊東翼
PSA 50 ng/mL 以上の前立腺癌に対する前立腺全摘除術の長期成績.
第 110 回日本泌尿器科学会総会: 神戸市, 2023, [ポスター発表]
5. 米岡祐輔
日本人の尿膜管癌における包括的治療に関するレトロスペクティブコホート.
第 110 回日本泌尿器科学会総会: 神戸市, 2023, [口述発表]
6. 駒井好信, 山口良友, 布施佑馬, 矢野智之, 西野貴斗, 米岡祐輔, 藤原遼, 安田庸輔, 小口智彦, 沼尾昇, 湯浅健, 山本真也, 米瀬淳二
下肢リンパ流の解剖学的知見に基づく鼠径リンパ節郭清術中の末梢趾皮下 ICG 注入法を用いたリアルタイムリンパ漏部位同定の試み: 術後リンパ関連合併症低減のために.
7. 沼尾昇, 市橋和明
当院におけるロボット手術の現状.
日本医工学治療学会第 39 回学術大会: 川越市, 2023, [シンポジウム]
8. 湯浅健
BRACAnalysis 陽性例に対する PARP 阻害剤オラパリブの初期治療経験.
第 27 回日本がん分子標的治療学会学術集会: 佐賀市, 2023, [ポスター発表]
9. 湯浅健
Li Fraumeni 症候群、進行期尿路上皮がんの 1 例.
第 27 回日本がん分子標的治療学会学術集会: 佐賀市, 2023, [ワークショップ]
10. 湯浅健
ペンプロリズマブ治療により画像的 CR を示した Lynch 症候群、転移性尿路上皮がんの 1 例.
第 27 回日本がん分子標的治療学会学術集会: 佐賀市, 2023, [ワークショップ]
11. 湯浅健, 高橋俊二
分子診断・ゲノム診断にもとづく個別化医療.
第 27 回日本がん分子標的治療学会学術集会: 佐賀市, 2023, [座長]
12. 湯浅健
転移性尿路上皮がんに対する pembrolizumab 療法における clinical biomarker.
第 27 回日本がん分子標的治療学会学術集会: 佐賀市, 2023, [ポスター発表]
13. 湯浅健
転移性尿路上皮がんに対するエンホルツマブ・ベドチンの初期治療経験.
第 27 回日本がん分子標的治療学会学術集会: 佐賀市, 2023, [ポスター発表]
14. 安田庸輔, 湯浅健, 藤原遼, 小口智彦, 駒井好信, 沼尾昇, 山本真也, 米瀬淳二
免疫チェックポイント時代における転移性腎癌に対する腫瘍減量腎摘除の意義.

第 53 回腎癌研究会：東京，2023，[ポスター発表]

15. 山口良友，藤原遼，湯浅健，駒井好信，小口智彦，沼尾昇，山本真也，安田庸輔，米岡祐輔，西野貴斗，中村剛大，伊東翼，米瀬淳二
ペムブロリズマブを投与された転移性尿路上皮癌における炎症マーカー・栄養指標マーカーが予後に与える影響。
第 110 回日本泌尿器科学会総会：神戸市，2023，[口述発表]
16. 藤原遼，山本真也，湯浅健，沼尾昇，駒井好信，小口智彦，安田庸輔，米岡祐輔，山口良友，西野貴斗，中村剛大，伊東翼，米瀬淳二
ARAT 治療を施行された MOCRPC 症例に対する治療効果および予後予測因子に関する研究。
第 110 回日本泌尿器科学会総会：神戸市，2023，[口述発表]
17. 西野貴斗，山本真也，湯浅健，沼尾昇，駒井好信，小口智彦，安田庸輔，藤原遼，米岡祐輔，山口良友，中村剛大，伊東翼，米瀬淳二
高リスク前立腺癌根治手術後における去勢抵抗性前立腺癌への進展の予測因子。
第 110 回日本泌尿器科学会総会：神戸市，2023，[口述発表]
18. 沼尾昇
術前化学療法を施行した膀胱全摘症例（ypT2-pT4a or ypN+）における病理学的予後予測因子。
第 88 日本泌尿器科学会東部総会：札幌市，2023，[口述発表]
19. 安田庸輔，沼尾昇，藤原遼，佐藤慧吾，米瀬一郎，布施洸，米岡祐輔，小口智彦，山本真也，米瀬淳二
筋層浸潤性膀胱癌に対するロボット支援膀胱全摘除術の術後合併症の予測因子の検討。
第 37 回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会：米子市，2023，[ポスター発表]
20. 増田均，山本真也，沼尾昇，小川将宏，井上亨，武田隼人，上原翔，三神晃，萩原喜一，湯浅健，福井巖，米瀬淳二
がん研究会有明病院における低侵襲手術の動向。

第 15 回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会学術集会：Web 開催，2023，[パネルディスカッション]

21. 米瀬淳二
前立腺全摘除
第 15 回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会学術集会：Web 開催，2023，[ビデオディスカッション]
22. 米瀬淳二
膀胱全摘
第 15 回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会学術集会：Web 開催，2023，[ビデオディスカッション]
23. 米瀬淳二
膀胱癌手術（全摘除・部分切除・尿路再建）
第 15 回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会学術集会：Web 開催，2023，[座長]
24. 駒井好信，後藤田直人，井上雅晴，三神晃，井上亨，小川将宏，山本真也，米瀬淳二
Segmental ischemia での腎部分切除を可能にする renovascular microdissection：腹腔鏡下アプローチにおける手技の実際。
第 15 回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会学術集会：Web 開催，2023，[発表形式不明]
25. 駒井好信，石川雄大，沼尾昇，福井巖，米瀬淳二
他科から学ぶ腹腔鏡手術手技。
第 15 回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会学術集会：Web 開催，2023，[パネルディスカッション]
26. 駒井好信，後藤田直人，松原伸晃，米瀬淳二
腎癌手術のクオリティを向上させる 3D プリンティッドモデル。
第 15 回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会学術集会：Web 開催，2023，[特別講演]

【形成外科】

1. Karakawa, R., ほか
Comparison of outcomes following pedicled and free flap transfers for treatment of shoulder soft tissue sarcoma.

- 2023 American Society of Reconstructive Microsurgery (ASRM) Annual Meeting: Aventura, FL, USA, 2023, [一般演題口演]
2. Karakawa, R.
A novel microsurgical training system using Augmented Reality (AR) with superimposed procedure of the proficient surgeon.
2023 American Society of Reconstructive Microsurgery (ASRM) Annual Meeting: Aventura, FL, USA, 2023, [一般演題口演]
3. Yoshimatsu, H.
My microsurgical journey.
2023 American Society of Reconstructive Microsurgery (ASRM) Annual Meeting: Aventura, FL, USA, 2023, [シンポジウム]
4. Yoshimatsu, H.
The SCIP: Pushing the limits.
2023 American Society of Reconstructive Microsurgery (ASRM) Annual Meeting: Aventura, FL, USA, 2023, [シンポジウム]
5. Yano, T.
Surgical intervention for complications after breast implant reconstruction.
Best of SABCS: China, 2023, [シンポジウム]
6. 倉元有木子
選択肢が増えた SBI による乳房再建 .
第 28 回日本形成外科手術手技学会 : 東京 +Web 開催, 2023, [アフタヌーンセミナー]
7. 末貞伸子, 矢野智之, 吉松英彦, 宮下宏紀, 倉元有木子, 辛川領, 山田真由香, 布施佑馬, 前田恵里沙, 眞島昂也
がん研流乳房再建 : Step by step.
第 28 回日本形成外科手術手技学会 : 川崎市, 2023, [ビデオシンポジウム]
8. 矢野智之
乳房再建の最新治療 .
第 28 回日本形成外科手術手技学会 : 東京 +Web 開催, 2023, [座長]
9. 矢野智之
頭蓋底頭頸部再建を経て至ったマイク口の境地 .
第 16 回日本整容脳神経外科学会 : 富山市, 2023, [シンポジウム]
10. Yano, T.
Head & neck reconstruction
第 66 回日本形成外科学会総会・学術集会 : 長崎市, 2023, [座長]
11. Yano, T., Kuramoto, Y., Suesada, N., Karakawa, R., Miyashita, H., Yoshimatsu, H.
Surgical interventions for a capsular contracture after breast reconstruction using implants.
第 66 回日本形成外科学会総会・学術集会 : 長崎市, 2023, [国際セッション]
12. Yoshimatsu, H., ほか
Packman Superficial Circumflex Iliac Artery Perforator Flaps: Turning an Axial Flap to a Pseudo-perforator Flap.
第 66 回日本形成外科学会総会・学術集会 : 長崎市, 2023, [国際セッション]
13. 大沼遥, 宮下宏紀, 吉松英彦, 倉元有木子, 末貞伸子, 山田真由香, 辛川領, 布施佑馬, 松岡祐貴, 權知華, 前田恵里沙, 眞島昂也, 中塚健吾, 米倉悠太
遊離皮弁を用いた乳房再建における静脈移植の有用性の検討 .
第 66 回日本形成外科学会総会・学術集会 : 長崎市, 2023, [口述発表]
14. 辛川領
自家組織乳房再建手術の短期成績における BMI の影響 : 大規模リアルワールドデータ研究 .
第 66 回日本形成外科学会総会・学術集会 : 長崎市, 2023, [口述発表]
15. 吉松英彦
Lymphatic physiological surgeries for treatment of breast cancer-related upper extremity lymphedema.
第 31 回日本乳癌学会学術総会 : 横浜市 +Web 開催, 2023, [シンポジウム]

16. Yano, T.
How to reshape breast contour in DIEP flap breast reconstruction.
2023 China Breast Reconstruction Symposium: Shenzhen, China, 2023, [シンポジウム]
 17. 倉元有木子
HBOC 保険収載後の予防切除に対する自家組織再建の合併症 .
第 11 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会：つくば市, 2023, [パネルディスカッション]
 18. 倉元有木子
選択肢が増えた SBI による乳房再建 .
第 11 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会：つくば市, 2023, [パネルディスカッション]
 19. 矢野智之
Profunda artery perforator (PAPflap) の弱点を克服する脂肪注入併用 Hybrid-PAP flap (HyPAP) の工夫 .
第 11 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会：つくば市, 2023, [ビデオシンポジウム]
 20. 辛川領
PAP flap を武器にする !
第 11 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会：つくば市, 2023, [教育講演]
 21. Kagimoto, S.
The trial of using color reader in plastic surgery field.
第 32 回日本形成外科学会基礎学術集会：東京, 2023, [国際委員会企画]
 22. 矢野智之
がん治療後も前向きになるための整容再建 .
第 61 回日本癌治療学会学術集会：横浜市, 2023, [シンポジウム]
 23. 矢野智之
軟部か硬性再建か？ゴール設定は：上顎再建を模索する ,
第 41 回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会：淡路市, 2023, [シンポジウム]
 24. 権知華, ほか
深大腿動脈穿通枝 (PAP) 皮弁による乳房再建に適した乳房とは？：整容面の定量的評価 .
第 50 回日本マイクロサージャリー学会学術集会：名古屋市, 2023, [口述発表]
 25. 矢野智之
みんなが使える色調変化に着目した皮弁血流評価デバイス開発の未来 .
第 50 回日本マイクロサージャリー学会学術集会：名古屋市, 2023, [シンポジウム]
 26. 辛川領, ほか
ボディスーツとスマートフォンを用いたリンパ浮腫四肢周径測定 .
第 50 回日本マイクロサージャリー学会学術集会：名古屋市, 2023, [口述発表]
 27. 辛川領
悪性軟部腫瘍切除後の皮弁再建におけるテクノロジー導入の影響 .
第 50 回日本マイクロサージャリー学会学術集会：名古屋市, 2023, [ビデオパネル]
- 【眼科】**
1. 辻英貴
悪性腫瘍 .
第 10 回日本眼形成再建外科学会学術集会：札幌市, 2023, [座長]
 2. 中島勇魚, 辻英貴, 佐藤由紀子, 古田玲子, 利安隆史, 中泉知子, 竹内賢吾
結膜上皮系新生物におけるヒト乳頭腫ウィルスの関与 .
第 40 回日本眼腫瘍学会：大阪市, 2023, [口述発表]
 3. 辻英貴, 鈴木茂伸
眼窩腫瘍
第 40 回日本眼腫瘍学会：大阪市, 2023, [座長]

4. 中島勇魚, ほか
COVID-19 感染後に眼痛と複視を生じた眼窩炎症の 1 例 .
第 37 回日本眼窩疾患シンポジウム : 広島市 , 2023, [一般口演]
5. 中島勇魚, 辻英貴, 中泉知子, 竹内賢吾, 山城健児
IgG4 陽性形質細胞の浸潤を伴う巨大眼瞼結膜腫瘍の 3 例 .
第 77 回日本臨床眼科学会 : 東京 , 2023, [ポスター発表]
6. 辻英貴
眼瞼腫瘍・手術
第 77 回日本臨床眼科学会 : 東京 , 2023, [座長]
7. 辻英貴
明日から実践できる眼腫瘍診断
豊島区眼科医会学術講演会 : 東京 , 2023, [講演]

【血液腫瘍科】

1. 丸山大
リンパ腫①
第 18 回日本血液学会関東甲信越地方会 : 東京 , 2023, [座長]
2. 丸山大
再発・難治性 FL における CAR-T 療法 .
第 18 回日本血液学会関東甲信越地方会 : 東京 , 2023, [座長]
3. 丸山大
Meet the Experts ①
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会 : 福岡市 +Web 開催 , 2023, [司会]
4. 丸山大
Oncocardiology 時代の静脈血栓塞栓症のマネジメント .
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会 : 福岡市 +Web 開催 , 2023, [委員会企画]
5. 丹羽美香子, 朝井洋晶, 吉田菊晃, 平野慧, 寺本由加子, 平野光人, 城内優子, 石原優子, 三嶋裕子, 丸山大
G-CSF 製剤により発症した大動脈炎の 2 症例 .
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会 : 福岡市 +Web 開催 , 2023, [ポスター発表]
6. Hirano, K., Yoshida, K., Inoue, N., Tsuyama, N., Teramoto, Y., Hirano, M., Tanba, M., Yamauchi, N., Shirouchi, Y., Ishihara, Y., Asai, H., Mishima, Y., Taguchi, S., Hirasawa, T., Takeuchi, K., Maruyama, D.
Clinical outcome of patients with localized primary gastric mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma: Long-term follow-up results from a single-institution observational study.
European Hematology Association 2023 Hybrid Congress: Frankfurt, Germany, 2023, [ポスター発表]
7. 丸山大
再発難治性 CLL 治療における BCL-2 阻害剤の役割 .
第 63 回日本リンパ網内系学会・総会 / 第 26 回日本血液病理研究会 : さいたま市 +Web 開催 , 2023, [モーニングセミナー]
8. 山内寛彦
CD20xCD3 二重特異性抗体
第 63 回日本リンパ網内系学会・総会 / 第 26 回日本血液病理研究会 : さいたま市 +Web 開催 , 2023, [教育セミナー]
9. 平野光人, 吉田菊晃, 平野慧, 寺本由加子, 丹羽美香子, 山内寛彦, 城内優子, 石原優子, 朝井洋晶, 三嶋裕子, 竹内賢吾, 丸山大
再発・難治性 DLBCL 患者に対する polatumab vedotin, bendamustine, rituximab 併用 (pola-BR) 療法の有効性と安全性に関する後方視的観察研究 .
第 63 回日本リンパ網内系学会・総会 / 第 26 回日本血液病理研究会 : さいたま市 +Web 開催 , 2023, [ポスター発表]

10. 三嶋裕子, ほか
移植非適応初発 MCL 治療のエビデンスを探る SHINE study より .
第 19 回日本血液学会関東甲信越地方会 : 甲府市, 2023, [口述発表]
11. 山内寛彦
CQ7-2 : がん薬物療法に伴い静脈血栓塞栓症を発症した患者に抗凝固療法は推奨されるか ?
第 6 回日本腫瘍循環器学会学術集会 : 神戸市, 2023, [ガイドラインセッション]
12. 城内優子, 芳賀淑美, 峯岸ゆり子, 箱崎勇治, 堀公法, 三嶋裕子, 丸山大, 植田幸嗣
Proteomic profiling of bone marrow EVs to identify diagnostic biomarkers for multiple myeloma : 骨髓液中の細胞外小胞内包タンパク質解析による多発性骨髄腫診断バイオマーカーの開発 .
第 82 回日本癌学会学術総会 : 横浜市, 2023, [口述発表]
13. 丸山大
リンパ腫治療の最近の進歩 .
第 61 回日本癌治療学会学術集会 : 横浜市, 2023, [教育セッション]
14. 丸山大, 上野誠, 木村綾, 中村健一, 柴田大朗, 片山宏, 山本精一郎, 福田治彦
日本臨床腫瘍研究グループ (JCOG) の取り組み .
第 61 回日本癌治療学会学術集会 : 横浜市, 2023, [シンポジウム]
15. 三嶋裕子, 城内優子, 石原優子, 平野慧, 平野光人, 朝井洋晶, 吉田菊晃, 寺本由加子, 美馬風花, Low, S. K., 丸山大
初発多発性骨髄腫における NRAS 変異の 3 剤併用寛解導入療法の治療効果に対する影響 .
第 85 回日本血液学会学術集会 : 東京, 2023, [口述発表]
16. 丸山大, 一井倫子
多発性骨髄腫治療の現状と今後の展開 .
第 85 回日本血液学会学術集会 : 東京, 2023, [座長]

【総合腫瘍科】

1. 仲野兼司
悪性軟部腫瘍に対する薬物療法の現状と今後の展望 .
第 6 回日本サルコーマ治療研究学会学術集会 : 神戸市, 2023, [ランチョンセミナー]
2. 佐藤靖祥, ほか
がん専門病院での肉腫における遺伝子パネル検査の現状 .
第 6 回日本サルコーマ治療研究学会学術集会 : 神戸市, 2023, [ポスター発表]
3. 浦崎哲也, ほか
再発乳房原発血管肉腫の 2 例 .
第 6 回日本サルコーマ治療研究学会学術集会 : 神戸市, 2023, [ポスター発表]
4. 須藤洋崇, ほか
再発・難治性成人ユーイング肉腫ファミリー腫瘍の予後因子の検討 .
第 6 回日本サルコーマ治療研究学会学術集会 : 神戸市, 2023, [ポスター発表]
5. 高橋俊二
がん遺伝子パネル検査と分子標的薬の可能性 .
第 6 回日本サルコーマ治療研究学会学術集会 : 神戸市, 2023, [座長]
6. 高橋俊二
悪性軟部腫瘍と GIST の現状と今後の展望 .
第 6 回日本サルコーマ治療研究学会学術集会 : 神戸市, 2023, [ランチョンセミナー]
7. 佐藤靖祥
食道癌・胃癌における免疫チェックポイント阻害剤 + 化学療法の複合療法の現状と展望 .
第 55 回制癌剤適応研究会 : 鎌倉市, 2023, [シンポジウム]
8. 仲野兼司, 坂田征士, 佐藤靖祥, 王曉斐, 林直美, 須藤洋崇, 大木遼佑, 福田直樹, 浦崎哲也, 小野麻紀子, 友松純一, 三谷浩樹
頭頸部癌における MET 過剰発現の頻度と、免疫チェックポイント阻害薬の有効性予測因子としての意義 .

- 第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催，2023，[口述発表]
9. 佐藤靖祥，坂田征士，佐藤由紀子，大木遼佑，須藤洋崇，王晓斐，林直美，福田直樹，浦崎哲也，仲野兼司，小野麻紀子，友松純一，三谷浩樹，高橋俊二
ニボルマブ療法におけるバイオマーカーとしての PD-L1 発現および好中球／リンパ球比 (NLR) .
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催，2023，[Mini Oral Session]
 10. 大木遼佑，浦崎哲也，伊東翼，中村剛大，山口良友，西野貴斗，米岡祐輔，安田庸輔，藤原遼，小口智彦，駒井好信，沼尾昇，山本真也，米瀬淳二，高橋俊二，湯浅健
当院における尿路上皮癌に対するエンフォルトマブ・ベドチン療法の使用成績 .
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催，2023，[Mini Oral Session]
 11. 大木遼佑，飯沼光司
泌尿器 2（腎がん） .
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催，2023，[司会]
 12. 大木遼佑
転移性腎細胞癌の予後良好群に対する治療戦略 .
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催，2023，[シンポジウム]
 13. 小野麻紀子
閉経前乳癌におけるサバイバーシップ .
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催，2023，[シンポジウム]
 14. 林直美，深田一平，細永真理，王晓斐，山崎真澄，植木有紗，清谷一馬，外岡暁子，竹内賢吾，森誠一，高橋俊二
当院におけるがん遺伝子パネル検査 .
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催，2023，[ポスター発表]
 15. 浦崎哲也，小野麻紀子，武田孝一，望月俊明，友松純一，宮脇英里子，志賀太郎，古川孝広，高橋俊二，北野滋久
当院免疫支援チームで対応した免疫関連有害事象に関する後方視的解析 .
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催，2023，[ポスター発表]
 16. 温泉川真由
婦人科 .
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催，2023，[司会]
 17. 福田直樹，戸田和寿，大木遼佑，須藤洋崇，王晓斐，林直美，浦崎哲也，佐藤靖祥，仲野兼司，小野麻紀子，友松純一，三谷浩樹，高橋俊二
ヨード不応性分化型甲状腺癌に対するレンパチニブ長期投与時におけるタンパク尿の臨床的意義 .
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催，2023，[Mini Oral Session]
 18. 高橋俊二
甲状腺癌における Patient Journey、及び臓器横断的な固形腫瘍における遺伝子検査 .
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催，2023，[司会]
 19. 高橋俊二
頭頸部 .
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催，2023，[司会]
 20. 小野麻紀子
乳がんの治療戦略とアピアランスケア支援について .
第 5 回 AYA がんの医療と支援のあり方研究会学術集会：東京，2023，[座長]
 21. 小野麻紀子，濱口恵子，中村美穂，長崎礼子，横井麻珠美，鴨川郁子，床知恵子，中原由美子，宇津木久仁子，片岡明美，植弘奈津恵，高野利実
当院における多職種によるサバイバーシップ支援の取り組み：アピアランスケアを中心に .
第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web 開催，2023，[ポスター発表]

22. 福田直樹
レンパチニブ長期継続実現のための治療戦略：
効果を最大限に発揮させることを目指した副作
用マネジメントの考察。
第 35 回日本内分泌外科学会総会：松本市，
2023, [ランチョンセミナー]
23. 福田直樹
甲状腺癌ゲノム診療最前線。
第 35 回日本内分泌外科学会総会：松本市，
2023, [教育セミナー]
24. 高橋俊二，小野田尚佳
進行甲状腺癌に対する薬物療法の現状と展望。
第 35 回日本内分泌外科学会総会：松本市，
2023, [座長]
25. 高橋俊二，佐野大佑
ゲノム医療。
第 47 回日本頭頸部癌学会・学術講演会：大阪
市，2023, [司会]
26. 温泉川真由
進行卵巣がんに対する薬物療法。
第 64 回日本臨床細胞学会総会春期大会：名古
屋市，2023, [ランチョンセミナー]
27. 高橋俊二
再発転移頭頸部癌に対する免疫チェックポイン
ト阻害剤の適応：腫瘍内科医の見地から。
第 61 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，
2023, [シンポジウム]
3. 志賀太郎
青年期および若年成人（AYA）がんサバイバー
の長期的健康管理：AYA 世代および小児がんサ
バイバーに対する心血管毒性を考える：若年が
ん患者と腫瘍循環器学。
第 5 回 AYA がんの医療と支援のあり方研究会
学術集会：東京，2023, [シンポジウム]
4. 上原雅恵，松田淳
末梢血管 / 肺高血圧 / 腫瘍。
第 268 回日本循環器学会関東甲信越地方会：
東京，2023, [座長]
5. 志賀太郎
がん関連血栓症（CAT）診療を極める。
第 43 回日本静脈学会総会：松山市，2023, [座
長]
6. 志賀太郎
Oncology Emergency。
第 8 回日本がんサポーターシップケア学会学術集
会：奈良市，2023, [座長]
7. 武田孝一
ケースから学ぶ実践的 irAE マネジメント。
第 39 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会：名古
屋市，2023, [スポンサーシップシンポジウム]
8. 志賀太郎
BTK 阻害薬に関連した心血管合併症とそのマネ
ジメント。
第 6 回日本腫瘍循環器学会学術集会：神戸市，
2023, [ランチョンセミナー]
9. 志賀太郎
SNS を活用した腫瘍循環器の普及に向けて。
第 6 回日本腫瘍循環器学会学術集会：神戸市，
2023, [シンポジウム]
10. 志賀太郎
各国ガイドラインから考える，小児・AYA が
んサバイバーに対する長期的な腫瘍循環器診療
フォローアップについて。
第 6 回日本腫瘍循環器学会学術集会：神戸市，
2023, [シンポジウム]

【総合診療部】

1. 志賀太郎
静脈血栓症／肺塞栓症部会：欧米ガイドライン
と比較した日本国内の VTE 予防の状況と相違
点。
第 17 回日本血栓止血学会学術標準化委員会シ
ンポジウム：東京 +Web 開催，2023, [ディス
カッサント]
2. 志賀太郎
ハイボリウムセンターにおける腫瘍循環器学
の実践。
第 120 回日本内科学会総会・講演会：東京
+Web 開催，2023, [シンポジウム]

11. 志賀太郎
腫瘍循環器学の基本②：がん専門医から循環器専門医へ。
第 6 回日本腫瘍循環器学会学術集会：神戸市，2023, [座長]
12. 志賀太郎
長期的ながん関連静脈血栓症のマネジメントを考える。
第 6 回日本腫瘍循環器学会学術集会：神戸市，2023, [ランチョンセミナー]
13. 志賀太郎
がん治療に関連した心血管毒性（CTR-CVT）の予防やマネジメントについて。
第 61 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2023, [ワークショップ]
14. 武田孝一
重篤・難渋 irAE のマネジメントを考える：どこで気付く？どう対処する？事例から学び明日への診療につなげる。
第 61 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2023, [学術セミナー]
15. 武田孝一
オブジーボ・ヤーボイの irAE マネジメント：irAE CRS・irAE 心筋炎の Tips。
第 64 回日本肺癌学会学術集会：千葉市，2023, [スポンサーシップシンポジウム]
16. 志賀太郎
免疫チェックポイント阻害薬による循環器関連 irAE の診療。
第 44 回日本臨床薬理学会学術総会：神戸市，2023, [シンポジウム]
17. 上原雅恵
心膜腫瘍
第 270 回日本循環器学会関東甲信越地方会：東京，2023, [座長]

【麻酔科】

1. 寺嶋克幸
一般演題 4
第 35 回日本老年麻酔学会：東京 + Web 開催，2023, [座長]

2. 寺嶋克幸
術中の心停止を予測する低血圧アラーム。
第 34 回日本臨床モニター学会総会：高知市，2023, [一般演題口演]
3. 寺嶋克幸
頭文字 P で考えるレミマゾラム麻酔。
第 34 回日本臨床モニター学会総会：高知市，2023, [座長]
4. 寺嶋克幸
2023 年度社会保険部会診療報酬フォーラム。
日本麻酔科学会第 70 回学術集会：神戸市，2023, [シンポジウム]
5. 甲田昌紀，鈴木隆司，山崎恭子，寺嶋克幸
輸血用血液製剤投与中にアナフィラキシーショックをきたした 1 例。
関東甲信越・東京支部第 63 回合同学術集会：東京，2023, [一般演題]
6. 寺嶋克幸
全身麻酔中の人工呼吸器設定：こだわっていますか？
日本臨床麻酔学会第 43 回大会：宮崎市，2023, [麻酔科領域講習]
7. 甲田昌紀，平島潤子，石川晴士，広山万希子，寺嶋克幸
日本人の婦人科がんにおける術前深部静脈血栓症の予測因子の検討。
日本臨床麻酔学会第 43 回大会：宮崎市，2023, [優秀演題候補セッション]

【腫瘍精神科】

1. 清水研
Psycho-Oncology『病を抱えた方との向き合い方』がん患者さんが教えてくれたこと。
第 6 回日本サルコーマ治療研究学会学術集会：神戸市，2023, [ランチョンセミナー]
2. 清水研
薬剤師が担う精神心理的ケア：患者さんの“つらさ”にどう対応するか：がん患者の怒り：患者心理を理解して適切に対応するために。
第 12 回日本臨床腫瘍薬学会学術大会：名古屋市，2023, [シンポジウム]

3. 清水研, 竹久志穂
精神心理的苦痛を評価する。
第 28 回日本緩和医療学会学術大会：神戸市，
2023, [座長]
4. 清水研
患者さんの怒りに向き合う：明日から役立つ臨
床のコツ。
第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web
開催，2023, [イブニングセミナー]
5. 厚坊浩史
総合病院リエゾン場面におけるアディクショ
ン：アルコールを中心に。
2023 年度アルコール・薬物依存関連学会合同
学術総会：岡山市，2023, [ワークショップ]
6. 大岡友子
Family, bereaved family, grief 遺族ケアガイ
ドライン。
第 36 回日本サイコオンコロジー学会総会：奈
良市，2023, [シンポジウム]
7. 清水研, 藤原雅樹
家族を含めたがんとの共生。
第 36 回日本サイコオンコロジー学会総会：奈
良市，2023, [シンポジウム]
8. 清水研
がんところ：死を意識した患者と向き合うた
めに。
第 46 回日本産婦人科手術学会：東京 +Web 開
催，2023, [講演]
9. 厚坊浩史
パーソナルリカバリーを目指したがんサバイ
バーシップ支援：心理士の視点から。
第 36 回日本総合病院精神医学会総会：熊本市，
2023, [ワークショップ]
10. 厚坊浩史
改めてチーム医療を考える：多職種チーム間の
連携と協働における課題と工夫。
第 36 回日本総合病院精神医学会総会：熊本市，
2023, [ワークショップ]

11. 厚坊浩史
総合病院の心理職として今までやってきたこ
と，これからやっていきたいこと。
第 36 回日本総合病院精神医学会総会：熊本市，
2023, [シンポジウム]
12. 清水研
がん患者の死に対する恐怖や生きる意味につい
て。
第 36 回日本総合病院精神医学会総会：熊本市，
2023, [座長]

【感染症科】

1. 榎田泰祐, 鎗水彰, 武田孝一, 大串大輔, 羽山
ブライアン, 原田壮平
悪性外耳道炎の治療中に左末梢性顔面神経麻痺
を生じ，治療不良を疑うも Ramsay-Hunt 症候
群の合併と診断した一例。
第 97 回日本感染症学会総会・学術講演会 / 第
71 回日本化学療法学会総会合同学会：横浜市，
2023, [口述発表]
2. 武田孝一, 鎗水彰, 榎田泰祐, 大串大輔, 羽山
ブライアン
子宮頸がん術後の *Mycoplasma hominis* によ
るリンパ嚢胞感染の 1 例。
第 97 回日本感染症学会総会・学術講演会 / 第
71 回日本化学療法学会総会合同学会：横浜市，
2023, [口述発表]
3. 武田孝一
ケースから学ぶ実践的 irAE マネジメント。
第 39 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会：名古
屋市，2023, [スポンサーードシンポジウム]
4. 武田孝一
重篤・難渋 irAE のマネジメントを考える：ど
こで気付く？どう対処する？実例から学び明日
への診療につなげる。
第 61 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，
2023, [学術セミナー]
5. 羽山ブライアン
耐性菌感染症
第 72 回日本感染症学会東日本地方会学術集会，
第 70 回日本化学療法学会東日本支部総会合同
学会：東京，2023, [座長]

6. 鎗水彰, 榎田泰祐, 武田孝一, 大串大輔, 羽山ブライアン
C. difficile 感染症の治療後再発を反復する患者に対しベズロトクスマブを使用し再発抑制に至った症例.
第 72 回日本感染症学会東日本地方会学術集会, 第 70 回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会: 東京, 2023, [一般演題]
7. 武田孝一
オブジーボ・ヤーボイの irAE マネジメント: irAE CRS・irAE 心筋炎の Tips.
第 64 回日本肺癌学会学術集会: 千葉市, 2023, [スポンサーシップシンポジウム]

【歯科】

1. 富塚健
がん治療から終末期までの、口腔トラブルの緩和ケア.
第 28 回日本緩和医療学会学術大会: 神戸市, 2023, [座長]

【放射線治療部】

1. 伊藤康
定位照射技術 Update
日本放射線技術学会東京支部第 147 回東京支部セミナー: Web 開催, 2023, [講演]
2. 小口正彦
がんゲノム診療のための AI ホスピタル: 統合がんデータベース構築.
ゲノム医療推進研究会: 東京, 2023, [口述発表]
3. 中島大
放射線治療業務における医療安全からみたピットホール (品質管理).
日本放射線治療専門放射線技師認定機構 第 3 回 RTT 医療安全セミナー: Web 開催, 2023, [講演]
4. 伊藤康
放射線治療業務における医療安全からみたピットホール (CT シミュレータ・固定具作成).
日本放射線治療専門放射線技師認定機構 第 3

回 RTT 医療安全セミナー: Web 開催, 2023, [講演]

5. 利安隆史
エキスパートによる治療計画のコツとノウハウ: 1) 局所進行頸部癌: 治療計画提示.
日本放射線腫瘍学会第 36 回高精度外部照射部会研究会: 柏市, 2023, [シンポジウム]
6. 芹澤慈子, ほか
骨転移に対する体幹部定位放射線治療 (SBRT) の有用性と安全性の検討.
日本放射線腫瘍学会第 36 回高精度外部照射部会研究会: 柏市, 2023, [要望演題]
7. 上間達也
IMRT/VMAT における独立線量計算検証 (AAPM TG219).
第 79 回日本放射線技術学会総会学術大会: 横浜市, 2023, [第 86 回放射線治療部会]
8. 吉岡靖生
金マーカーを用いた寡分割外照射の最前線.
第 110 回日本泌尿器科学会総会: 神戸市, 2023, [ランチョンセミナー]
9. 下谷内奈々, ほか
当院の局所進行子宮頸癌に対する根治的 CCRT の長期成績.
日本放射線腫瘍学会小線源治療部会第 25 回学術大会: 神戸市 + Web 開催, 2023, [口述発表]
10. 吉岡靖生
高線量率組織内照射: High-dose-rate brachytherapy: Ready for prime time?
日本放射線腫瘍学会小線源治療部会第 25 回学術大会: 神戸市 + Web 開催, 2023, [シンポジウム]
11. 原田亜里咲
Role of radiotherapy in the management of the axilla for breast cancer.
第 31 回日本乳癌学会学術総会: 横浜市 + Web 開催, 2023, [シンポジウム]

12. 吉岡靖生
前立腺癌への放射線治療：modality の最新状況．
日本泌尿器腫瘍学会第 9 回学術集会：横浜市，2023, [司会]
13. 吉岡靖生
寡分割照射を理解するのに必要な基礎知識．
第 51 回日本放射線技術学会秋季学術大会：名古屋，2023, [教育講演]
14. 松林史泰，伊藤康
吸引式患者固定具の圧力低下がセットアップエラーに及ぼす影響．
第 51 回日本放射線技術学会秋季学術大会：名古屋，2023, [口述発表]
15. 吉岡靖生
進行前立腺がんに対する放射線治療の適用法と求められる画像診断．
第 61 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2023, [イブニングセミナー]
16. 高橋太郎
RALS の独立検証について（ソフトウェア使用）
マイクロセレクトロン研究会第 19 回学術大会：東京，2023, [講演]
17. 上間達也
線量測定・線量検証
日本放射線腫瘍学会第 36 回学術大会：横浜市，2023, [座長]
18. 上間達也，ほか
肺 VMAT-SBRT における呼吸停止中の腫瘍位置変位が腫瘍投与線量に与える影響について．
日本放射線腫瘍学会第 36 回学術大会：横浜市，2023, [口述発表]
19. 利安隆史，ほか
局所進行 p16 陽性中咽頭癌に対する同時化学放射線療法 of 長期治療成績．
日本放射線腫瘍学会第 36 回学術大会：横浜市，2023, [口述発表]
20. 原田亜里咲，ほか
寡分割全乳房照射における X 線照射エネルギー別の長期治療成績の検討．
日本放射線腫瘍学会第 36 回学術大会：横浜市，2023, [口述発表]
21. 吉岡靖生
The latest technology and solution in RTMR.
日本放射線腫瘍学会第 36 回学術大会：横浜市，2023, [座長]
22. 吉岡靖生
SpaceOAR を用いた前立腺がん放射線治療：ハイドロゲルスパースの安全な留置と効果的な治療計画．
日本放射線腫瘍学会第 36 回学術大会：横浜市，2023, [ランチョンセミナー]
23. 吉岡靖生
前立腺癌
日本放射線腫瘍学会第 36 回学術大会：横浜市，2023, [教育講演]
24. 吉岡靖生
小線源治療 1
日本放射線腫瘍学会第 36 回学術大会：横浜市，2023, [座長]
25. 宮内輝，ほか
トモセラピーの線量分布を活用した Knowledge-based planning の model 作成に関する検討．
日本放射線腫瘍学会第 36 回学術大会：横浜市，2023, [ポスター発表]
26. 芹澤慈子，ほか
前立腺癌 IMRT における金マーカーを用いた IGRT と非 IGRT との比較．
日本放射線腫瘍学会第 36 回学術大会：横浜市，2023, [口述発表]
27. 小口正彦
How to close the cancer care gap with Artificial Intelligence：がん診療における AI ホスピタル．

第 44 回日本臨床薬理学会学術総会：横浜市，
2023, [シンポジウム]

28. 小口正彦
内閣府 AI（人工知能）ホスピタル共催シンポ
ジウム
第 44 回日本臨床薬理学会学術総会：神戸市，
2023, [座長]

【緩和治療科】

1. 松本禎久
早期からの緩和ケア提供。
第 6 回岡山県緩和ケアフォローアップ研修会
(岡山県医師会主催)：Web 開催，2023, [講演]
2. 松本禎久
がん医療における緩和ケアと口腔健康管理。
令和 4 年度東京都周術期口腔ケア推進事業 第
3 回基礎・応用コース研修：Web 開催，2023,
[講演]
3. 松本禎久
骨転移による痛みのマネジメント。
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市
+Web 開催，2023, [合同シンポジウム]
4. 松本禎久，ほか
がん患者の痛みに関する最近の話題：Year in
review。
第 8 回日本がんサポーターズケア学会学術集
会：奈良市，2023, [口述発表]
5. 佐伯吉規
精神科リエゾンチームのハードルと今後の課題
について考える。
第 28 回日本緩和医療学会学術大会：神戸市，
2023, [パネルディスカッション]
6. 松本禎久
つぎにつなげる臨床研究：痛みをどう評価する
のか。
第 28 回日本緩和医療学会学術大会：神戸市，
2023, [座長]
7. 松本禎久
看護師だからこそ、ここまでできる！：症例か
ら読み解くがん疼痛治療のポイント。
第 28 回日本緩和医療学会学術大会：神戸市，
2023, [座長]
8. 松本禎久
難治性のがんの痛みへのアプローチ：評価から
メサドンや侵襲を伴う治療法まで、どう考えて
どう対応するか。
第 28 回日本緩和医療学会学術大会：神戸市，
2023, [口述発表]
9. 秋月晶子，松本禎久，佐伯吉規，臼井優子，池
田昌弘，夏目まいか，石黒太造，飯倉佑介
がん疼痛に対してメサドンが導入された 82 例
の後方視的検討。
第 28 回日本緩和医療学会学術大会：神戸市，
2023, [ポスター発表]
10. 佐伯吉規
曲がり角に立つ精神科入院医療：課題の多様性
から将来を探る。
第 119 回日本精神神経学会学術総会：横浜市，
2023, [指定発言]
11. 松本禎久
精神科医への期待：がん治療との統合。
第 119 回日本精神神経学会学術総会：横浜市，
2023, [口述発表]
12. 松本禎久，飯倉佑介，石黒太造
がん疼痛に対してプログラム式植込み型輸液ポ
ンプ使用中の患者の海外からの受け入れ。
日本ペインクリニック学会第 57 回学術集会：
佐賀市，2023, [口述発表]
13. 佐伯吉規
がん患者に対する向精神薬使用の注意点：緩和
医療を中心に。
第 33 回日本臨床精神神経薬理学会：松山市，
2023, [シンポジウム]
14. 佐伯吉規，梶原裕希，鴨川郁子，宇津木智子，
飯倉佑介，石黒太造，夏目まいか，臼井優子，
瀬戸陽，栗城綾子，松本禎久

片頭痛を併存した耳下腺がん海綿静脈洞転移の一例。

第5回日本緩和医療学会関東甲信越支部学術大会 / 第36回栃木県緩和ケア研究会合同開催：足利市，2023，[ポスター発表]

15. 松本禎久
がん疼痛治療：オピオイド鎮痛薬。
第5回日本緩和医療学会関東甲信越支部学術大会 / 第36回栃木県緩和ケア研究会合同開催：足利市，2023，[座長]

16. 佐伯吉規
がんと不眠：睡眠、QOL、予後との関係。
第36回日本サイコオンコロジー学会総会：奈良市，2023，[ランチョンセミナー]

17. 松本禎久
がんの痛みの治療 Up-to-date
第36回日本サイコオンコロジー学会総会：奈良市，2023，[口述発表]

18. 松本禎久
地域におけるサイコオンコロジー 2.0
第36回日本サイコオンコロジー学会総会：奈良市，2023，[座長]

19. 松本禎久
早期からの緩和ケア提供は生存率に寄与するか。
第36回日本サイコオンコロジー学会総会：奈良市，2023，[口述発表]

20. 松本禎久
緩和ケア提供とがんの痛みのマネジメント：基礎知識と最近の話題。
第61回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2023，[教育講演]

21. 松本禎久
自分らしく過ごすために：賢い患者になる緩和ケア活用法。
Club CaNoW セミナー：Web開催，2023，[一般向け講演会]

22. 佐伯吉規，厚坊浩史
知りたい！あの先生のキャリアパス 2023。
第36回日本総合病院精神医学会総会：熊本市，2023，[座長]

23. 松本禎久
がん医療における緩和ケアと口腔健康管理。
令和5年度東京都周術期口腔ケア推進事業 第2回基礎・応用コース研修：Web開催，2023，[講演]

【トータルケアセンター】

1. 坂口日登美
実践報告。
令和4年度東京都入退院時連携強化研修事業 フォローアップ研修：Web開催，2023，[講演]

2. 宇津木久仁子
リンパ浮腫治療の現状と課題。
第15回がんのリンパ浮腫研究会：名古屋市，2023，[特別講演]

3. 片岡明美
女性がんサバイバーのヘルスケアニーズ：QOL向上に必要な性差視点。
健康博覧会 2023 ビジネスカンファレンス：東京，2023，[講演]

4. 床知恵子
がん研究会有明病院におけるACPの取り組み。
第1回がん緩和ケア地域連携カンファレンス：Web開催，2023，[講演]

5. 片岡明美，阿部朋未，植弘奈津江，松永有紀，間森智加，吉田奈央，尾崎由記範，西村明子，古川孝広，高野利実，上野貴之，大野真司
エストロゲンレセプター陽性乳癌の術後内分泌療法中断症例における妊娠転帰と再発について。
第13回日本がん・生殖医療学会学術集会：さいたま市，2023，[ポスター発表]

6. 永澤郁美，坂口日登美，釣江利，小倉祐子，佐藤友貴絵，吉村亜紀，田近忍，上田美佐江，谷口顕子，中川知香子，鈴木隆之，浅生田尚子，名倉綾乃，武本麻理絵

- 患者・介護者が安心して在宅療養できる切れ目のない継続的な支援を目指した地域連携室と外来看護師の協働体制づくり。
第 37 回日本がん看護学会学術集会：横浜市 +Web 開催，2023，[ポスター発表]
7. 濱口恵子，渡邊眞理
未来を拓くがん看護の本質：これまでの歩み、そして未来。
第 37 回日本がん看護学会学術集会：横浜市 +Web 開催，2023，[座長]
 8. 石川加奈子，藤浪文子，松浦信子
A 病院における褥瘡専任看護師の自己評価表を用いた褥瘡看護実践力に関する実態調査。
第 37 回日本がん看護学会学術集会：横浜市 +Web 開催，2023，[口述発表]
 9. 藤浪文子，上石響，宇津木智子，花出正美
「専門看護師・認定看護師活動報告書・ラダー自己評価表」を活用した専門看護師・認定看護師と配属部署看護管理者の面談の取組み。
第 37 回日本がん看護学会学術集会：横浜市 +Web 開催，2023，[口述発表]
 10. 若林あずさ，松浦信子，石川加奈子，藤波文子
尿路変向を受けた認知症高齢者の新たな行動変容を促すアプローチ。
第 40 回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会：東京，2023，[ポスター発表]
 11. Kataoka, A.
Exploring the professional fulfillment of nurses engaged in end of life cancer nursing.
26th East Asian Forum of Nursing Scholars: Tokyo, Japan, 2023，[ポスター発表]
 12. 宇津木久仁子
リンパ浮腫予防指導：標準化に向けて。
日本リンパ浮腫学会教育セミナー：大阪市，2023，[講演]
 13. 伊藤寛倫
大腸癌がん肝転移の外科治療。
第 5 回 がん研究会有明病院・海上ビル診療所合同セミナー：東京，2023，[講演]
 14. 渡邊雅之
食道癌の診断と治療。
第 5 回 がん研究会有明病院・海上ビル診療所合同セミナー：東京，2023，[講演]
 15. 片岡明美，中村美穂
乳がん治療と社会生活の両立：あきらめない暮らし方。
第 5 回 がん研究会有明病院・海上ビル診療所合同セミナー：東京，2023，[講演]
 16. 片岡明美
若年性乳癌の治療とその後の妊娠について。
第 22 回 HOPE カンファレンス：東京，2023，[講演]
 17. 片岡明美，阿部朋未，植弘奈津恵，高畑史子，春山優理恵，吉田奈央，松永有紀，間森智加，中平詩，井上有香，前田哲代，吉田和世，高橋洋子，稲荷均，荻谷朗子，坂井威彦，宮城由美，上野貴之，高野利実，大野真司
若年乳癌サバイバー（YBC）の第二癌の発症頻度・時期と予後への影響。
第 123 回日本外科学会定期学術集会：東京，2023，[ポスター発表]
 18. 片岡明美
妊孕性部会活動報告。
第 8 回日本がんサポーターシップケア学会学術集会：奈良市，2023，[口述発表]
 19. 上田美佐江
外来ラウンドの取り組みについて：MSW の立場から。
第 25 回日本医療マネジメント学会学術総会：横浜市，2023，[一般演題口演]
 20. 濱口恵子
様々な Gap を埋め「生きる」を応援するアドバンスケアプランニング。
第 28 回日本緩和医療学会学術大会：神戸市，2023，[座長]
 21. 床知恵子，鈴木美智子，東千絵，片岡明美，小林隆之，高畑史子，尾崎由紀範，中村暁，小野麻紀子，高野利実，大野真司

- 多職種でがん患者の「生きる」を支援する ACP
がん診療連携拠点病院を対象とした実態調査からの現状と課題。
第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web
開催，2023，[ポスター発表]
22. 片岡明美，阿部朋未，松永有紀，吉田奈央，中平詩，植弘奈津恵，高畑史子，稲荷均，尾崎由記範，西村明子，高野利実，古川孝広，新川裕美，植木有紗，上野貴之，大野真司
若年トリプルネガティブ乳癌の予後と治療後の妊娠に関する経年的解析。
第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web
開催，2023，[口述発表]
23. 田近忍
病院全体で取り組む地域連携の在り方。
第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web
開催，2023，[メディカルスタッフセッション]
24. 片岡明美
がん治療の実際と生殖機能への影響。
日本生殖心理学会「がん・生殖医療専門心理士」
資格認定養成講座：Web 開催，2023，[講演]
25. 片岡明美
ピンクリボンウォーク 2023 フィナーレイベント。
第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web
開催，2023，[パネリスト]
26. 片岡明美
Gene Awareness と Advance Care Planning
との協働。
第 47 回日本遺伝カウンセリング学会学術集会
/ 第 31 回日本乳癌学会学術総会 / 第 28 回日本
緩和医療学会学術大会 / 第 37 回日本がん看護
学会学術集会。：松本市，2023，[座長]
27. 片岡明美
活動発表。
認定 NPO 法人乳房健康研究会ピンクリボンア
ドバイザーアニュアルミーティング：横浜市
+Web 開催，2023，[座長]
28. 片岡明美
妊娠期関連乳がん（PABC）患者の臨床病理学的特徴と治療の変遷について。
第 14 回関東産婦人科乳腺医学会：東京，
2023，[講演]
29. 片岡明美
POSITIVE 試験と今後の展望について。
第 24 回乳癌最新情報カンファランス：東京，
2023，[講演]
30. 田近忍
がん患者の在宅療養を支える多職種連携；在宅療養と緩和ケア：地域連携の取り組み。
令和 5 年度江東区在宅医療連携推進事業在宅医療多職種連携研修：Web 開催，2023，[講演]
31. 松浦信子
がん患者におけるスキンケア。
第 25 回日本褥瘡学会学術集会：神戸市，
2023，[ランチョンセミナー]
32. 松浦信子
超高齢化社会におけるストーマケア。
第 54 回東京ストーマリハビリテーション研究会：東京，2023，[パネルディスカッション]
33. 花出正美
がん看護 CNS による相談支援を利用した進行・再発がん患者の posttraumatic growth。
第 61 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，
2023，[ポスター発表]
34. 上田美佐江
事例検討①がん研究会有明病院で取り組んでいるおひとりさま支援。
第 5 回介護と医療連携の会：症例から学ぶおひとりさま支援：Web 開催，2023，[講演]
35. 武本麻理絵
事例検討②がん研究会有明病院で取り組んでいるおひとりさま支援。
第 5 回介護と医療連携の会：症例から学ぶおひとりさま支援：Web 開催，2023，[講演]

【画像診断部】

1. 菊池真理
ケースプレゼンテーション：症例 2.
第 19 回乳房 MRI 研究会：東京 +Web 開催,
2023, [ケースプレゼンテーション]
2. 菊池真理
知っておきたい乳腺画像診断の基本とピット
フォール.
第 29 回日本産婦人科乳腺医学会：東京 +Web
開催, 2023, [講演]
3. 五味直哉
画像診断医に求められるもの.
第 32 回日本乳癌画像研究会：東京 +Web 開催,
2023, [座長]
4. 渡邊ひかる
症例カンファレンス
第 32 回日本乳癌画像研究会：東京 +Web 開催,
2023, [口述発表]
5. 菊池真理
HBOC とハイリスクサーベイランス
第 32 回日本乳癌画像研究会：東京 +Web 開催,
2023, [シンポジウム]
6. 菊池真理
画像診断のミニマルエッセンス：マンモグラ
フィ.
第 32 回日本乳癌画像研究会：東京 +Web 開催,
2023, [セミナー]
7. 菊池真理
症例カンファレンス
第 32 回日本乳癌画像研究会：東京 +Web 開催,
2023, [コメンテーター]
8. 佐藤嘉尚
肺癌の画像診断（非典型例と臨床病期分類）.
第 42 回日本画像医学会：東京, 2023, [セミ
ナー]
9. 菊池真理
乳腺 術前薬物療法後の画像診断の実際
HER2 陽性乳癌を中心に.
第 42 回日本画像医学会：東京, 2023, [司会]
10. 渡邊ひかる
横隔膜デスマイド型線維腫症の 1 例.
第 459 回日本医学放射線学会関東地方会定期
大会・セミナー：Web 開催, 2023, [口述発表]
11. 負門克典
癌に関連した心大血管の画像診断.
第 459 回日本医学放射線学会関東地方会定期
大会・セミナー：Web 開催, 2023, [セミナー]
12. Tanaka, O., Chiba, T., Tonooka, A., Okamo-
to, S., Kanao, H.
ECR Case of the Day. Casse 16.
European Congress of Radiology (ECR) :
Vienna, Austria+Web 開催, 2023, [ポスター
発表]
13. Watanabe, H., Sato, Y., Oikado, K., Terau-
chi, T.
Correlation between Iodine Concentration
in Lung Cancer on Dual-Energy CT and
Non-mucinous Adenocarcinoma Grading.
European Congress of Radiology (ECR) :
Vienna, Austria, 2023, [口述発表]
14. 田中優美子
婦人科腫瘍の標準的撮像法：現状と課題：MRI
アップデート：推奨プロトコル.
第 66 回 RadiologyUpdate 学術講演会：東京
+Web 開催, 2023, [講演]
15. 上田和彦, 江本豊
医療の質：診断（必須）：医療の質：診断.
第 82 回日本医学放射線学会総会：Web 開催,
2023, [教育講演]
16. 田中優美子
国際交流セッション（骨盤領域）.
第 82 回日本医学放射線学会総会：横浜市
+Web 開催, 2023, [座長]
17. Tanaka, Y., Tanaka, K., Tonooka, A., Ito, A.,
Okamoto, S., Kitai, S., Kanao, H.
Mesonephric-like adenocarcinoma of the
endometrium: Imaging findings.
Asian Congress of Abdominal Radiology:
Web 開催, 2023, [口述発表]

18. 田中優美子
婦人科 Common disease の MRI: 撮り方と見方.
Web イメージングセミナー: ウイメンズ画像診断: Web 開催, 2023, [講演]
19. 五味直哉
アクアフィリング
第 50 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会: 東京, 2023, [講演]
20. 上田和彦
興味ある症例 2
第 65 回肝癌症例研究会: 川崎市, 2023, [コメンテーター]
21. 北井里実
卵巣・卵管
第 36 回日本腹部放射線学会: 仙台市, 2023, [座長]
22. 田中優美子, 藤井進也
大会長公募症例 (4 題).
第 36 回日本腹部放射線学会: 仙台市, 2023, [座長]
23. 高橋叶衣, 山元龍哉, 渡邊ひかる, 駒井好信, 米瀬淳二, 山下享子, 稲村健太郎
腎発生の孤立性線維性腫瘍の一例.
第 36 回日本腹部放射線学会: 仙台市, 2023, [ポスター発表]
24. 植野映子
骨・軟部腫瘍における放射線科医の使い道.
第 56 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会: 東京, 2023, [セミナー]
25. 一川良太, 山元龍哉, 藤原遼, 米瀬淳二, 津山直子, 竹内賢吾
Erdheim Chester 病が疑われた一例.
第 10 回泌尿器画像診断・治療技術研究会: 京都市, 2023, [ポスター発表]
26. 田中優美子, 片田芳明, 三好布季子, 守矢知永, 菅原信二, 長谷川真, 大槻克文, 藤村正樹, 森下由紀雄
子宮捻転の 2 例: 画像所見と文献的考察.
24th Annual Symposium Japanese Society for the Advancement of Women 's Imaging: 淡路市 +Web 開催, 2023, [ポスター発表]
27. 谷口文紀, 田中優美子
子宮内膜症: 深部内膜症まで完全攻略.
24th Annual Symposium Japanese Society for the Advancement of Women 's Imaging: 淡路市 +Web 開催, 2023, [座長]
28. 田中優美子
エキスパートのための卵巣腫瘍の画像診断.
卵巣がん治療をチームで考える講演会: 画像診断編: Web 開催, 2023, [講演]
29. 渡邊ひかる
粗大な石灰化を伴い良性病変との鑑別を要した肺コロイド腺癌の 1 例.
第 37 回胸部放射線研究会: 徳島市 +Web 開催, 2023,
30. 北井里実
MR of the female pelvis: imaging and diagnosis: 婦人科 MRI: 撮影の工夫と診断のポイント.
第 51 回日本磁気共鳴医学会大会: 軽井沢町 +Web 開催, 2023, [ランチョンセミナー]
31. 佐藤嘉尚
肺癌の治療後画像変化と合併症.
第 64 回日本肺癌学会学術集会: 千葉市, 2023, [教育講演]
32. 負門克典
肺がん検診読影セミナー 2023.
第 64 回日本肺癌学会学術集会: 千葉市, 2023, [座長]
33. 佐藤嘉尚
放射線肺炎の画像診断.
第 460 回日本医学放射線学会関東地方会定期大会: 東京, 2023, [講演]

【臨床遺伝医療部】

1. 植木有紗
遺伝性乳癌卵巣癌 .
第 7 回認定遺伝カウンセラー協会アドバンスト
研修会 : Web 開催 , 2023, [講演]
2. 幅野愛理 , 植木有紗
がんゲノム医療を受けた当事者からのメッセー
ジ .
第 4 回臨床遺伝専門職のためのがんゲノムセミ
ナー 日本遺伝カウンセリング学会 : Web 開催 ,
2023, [講演]
3. 幅野愛理
Gene awareness : 遺伝性腫瘍患者・家族ケアの
充実に向けて .
第 37 回日本がん看護学会学術集会 : 横浜市
+Web 開催 , 2023, [講演]
4. 植木有紗
HBOC の PGT-M に対する社会的課題と医療者
における認知 .
第 3 回 JOHBOC 学術総会 : 東京 , 2023, [シ
ンポジウム]
5. 植木有紗
遺伝性腫瘍マルチ遺伝子パネル検査について使
用経験を踏まえた活用のコツ .
第 3 回 JOHBOC 学術総会 : 東京 , 2023, [ア
フタヌーンセミナー]
6. 金子景香
遺伝子の情報を伝える際に遺伝カウンセラーが
心がけていること : 患者さんやご家族に前向き
にご活用いただくために .
日本臨床薬理学会 第 6 回薬理ゲノミクスセミ
ナー : Web 開催 , 2023, [講演]
7. 幅野愛理 , 箕浦祐子 , 高津美月 , 新川裕美 , 金
子景香 , 林直美 , 土橋映仁 , 古川孝広 , 植木有
紗
当院で診断された Li-Fraumeni 症候群の発端
者の診断契機と表現型の検討 .
第 29 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会 : 高知市 ,
2023, [一般演題]
8. 新川裕美
遺伝性腫瘍の基礎 .
第 29 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会 : 高知市 ,
2023, [教育セッション]
9. 箕浦祐子 , 幅野愛理 , 高津美月 , 新川裕美 , 金
子景香 , 林直美 , 土橋映仁 , 外岡暁子 , 古川孝
広 , 伏木淳 , 阿部彰子 , 尾松公平 , 野村秀高 ,
温泉川真由 , 金尾祐之 , 植木有紗
myChoice 診断システムにおける tBRCA1/2 陽
性率と gBRCA1/2 陽性率の比較 .
第 29 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会 : 高知市 ,
2023, [一般演題]
10. 金子景香 , 新川裕美 , 幅野愛理 , 高津美月 , 箕
浦祐子 , 東千絵 , 南千鈴 , 鈴木美智子 , 鈴木め
ぐみ , 春山優理恵 , 野村秀高 , 千野晶子 , 外岡
暁子 , 湯浅健 , 山崎真澄 , 深田一平 , 尾阪将人 ,
大野真司 , 植木有紗
遺伝カウンセリング部門の視点より、遺伝性腫
瘍診療のチーム医療を考える .
第 29 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会 : 高知市 ,
2023, [要望演題]
11. 幅野愛理 , 金子景香 , 新川裕美 , 高津美月 , 箕
浦祐子 , 土橋映仁 , 古川孝広 , 家里明日美 , 中
村暁 , 春山優理恵 , 前田哲代 , 稲荷均 , 上野貴
之 , 大野真司 , 植木有紗
当院における Li-Fraumeni 症候群女性の LFS
診断契機と乳癌の特徴の後方視的検討 .
第 31 回日本乳癌学会学術総会 : 横浜市 +Web
開催 , 2023, [口述発表]
12. 植木有紗
3 学会合同シンポジウム : 遺伝性腫瘍診療のチー
ム医療の推進 : Gene Awareness.
第 31 回日本乳癌学会学術総会 : 横浜市 +Web
開催 , 2023, [シンポジウム座長・総合討論司
会]
13. 箕浦祐子 , 金子景香 , 新川裕美 , 幅野愛理 , 高
津美月 , 土橋映仁 , 古川孝弘 , 家里明日美 , 中
村暁 , 春山優理恵 , 前田哲代 , 稲荷均 , 森誠一 ,
中村清吾 , 上野貴之 , 大野真司 , 植木有紗
乳癌患者に対する多遺伝子パネル検査の有用性
の検討 .

- 第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web 開催，2023，[口述発表]
14. 幅野愛理，松川愛未，鳥嶋雅子，太宰牧子，小杉眞司
HBOC と診断された女性とパートナーを対象とした質的研究：リスク低減卵管卵巣摘出術の性生活への影響．
第 47 回日本遺伝カウンセリング学会学術集会：松本市，2023，[奨励賞候補演題]
 15. 新川裕美，金子景香，幅野愛理，箕浦祐子，高津美月，土橋映仁，古川孝広，植木有紗
癌未発症 BRCA1/2 病的バリエーション保持者への生殖に関連した情報提供と医療職の認識．
第 47 回日本遺伝カウンセリング学会学術集会：松本市，2023，[一般口演]
 16. 植木有紗，片岡明美
Gene Awareness と Advance Care Planning との協働．
第 47 回日本遺伝カウンセリング学会学術集会：松本市，2023，[座長]
 17. 植木有紗
チーム医療で取り組む遺伝性腫瘍診療：Gene Awareness を目指して．
第 47 回日本遺伝カウンセリング学会学術集会：松本市，2023，[座長]
 18. 金子景香
チーム医療で取り組む遺伝性腫瘍診療：Gene Awareness を目指して．
第 47 回日本遺伝カウンセリング学会学術集会：松本市，2023，[ランチョンセミナー]
 19. 植木有紗，箕浦祐子，幅野愛理，高津美月，新川裕美，金子景香，伏木淳，阿部彰子，野村秀高，温泉川真由，金尾祐之
myChoice 診断システム 179 件における tBRCA 陽性例の germline 割合の検討と返却レポートの注意点．
第 65 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：松江市，2023，[口述発表]
 20. 植木有紗
15. HBOC ガイドライン．
第 6 回 JOHBOC e-learning セミナー：Web 開催，2023，[講演]
 21. 植木有紗，上野貴之
Germline findings associated with hereditary diseases in clinical practice and research: What are barriers?: 臨床診療および研究解析における遺伝性疾患関連遺伝子の開示に関する検討．
第 82 回日本癌学会学術総会：横浜市，2023，[シンポジウム]
 22. Habano, E., Kaneko, K., Arakawa, H., Minoura, Y., Kuga, A., Hayashi, N., Dobashi, A., Kogawa, T., Fukada, I., Mori, S., Takahashi, S., Ueki, A.
A study of Li-Fraumeni syndrome that led to diagnosis after tumor-only comprehensive genomic profiling at our hospital.
日本人類遺伝学会第 68 回大会：東京 +Web 開催，2023，[ポスター発表]
 23. Minoura, Y., Kaneko, K., Arakawa, H., Habano, E., Kuga, A., Hayashi, N., Dobashi, A., Kogawa, T., Ueki, A.
Utility of multi-gene panel testing for patients with breast / ovarian cancer.
日本人類遺伝学会第 68 回大会：東京 +Web 開催，2023，[口述発表]
 24. Ueki, A.
Cancer Genomics, Germline
日本人類遺伝学会第 68 回大会：東京 +Web 開催，2023，[司会]
 25. 植木有紗
初心者向けのがん遺伝子パネル検査講座．
第 61 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2023，[教育講演]
 26. 植木有紗
遺伝学的情報を患者家族の治療と健康管理に活用する “Gene Awareness” ．

第 61 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，
2023, [がん医療の基盤整備に対する助成プロ
ジェクト]

27. 金子景香
家族歴聴取・家系図の描き方
第 26 回遺伝性腫瘍セミナー：東京 +Web 開催，
2023, [講演]

28. 新川裕美
HBOC の PGT-M に対する現状と課題：アンケー
ト調査を通じて．
第 9 回日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演
会：名古屋市，2023, [シンポジウム]

29. 植木有紗
HBOC 診療の Up to date
第 9 回日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演
会：名古屋市，2023, [座長]

30. 植木有紗
多様化する遺伝性腫瘍診療に対応するための院
内体制構築：Gene Awareness を目指して．
第 9 回日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演
会：名古屋市，2023, [シンポジウム]

31. 幅野愛理，松川愛未，鳥嶋雅子，太宰牧子，小
杉眞司
HBOC 女性とパートナーを対象とした RRSO
前後の性生活に関する質的研究の報告と情報提
供ツールの作成．
第 19 回日本乳癌学会関東地方会：さいたま市，
2023, [一般演題]

32. 植木有紗
遺伝性腫瘍領域の PGT-M に対する社会的課題
と医療者における認知．
第 35 回日本生命倫理学会年次大会：東京，
2023, [シンポジウム]

33. 植木有紗
遺伝学的診断を活かした遺伝性婦人科腫瘍の
チーム医療：がん研 Gene Awareness プロジェ
クト．
第 57 回日本婦人科病理学会学術集会：東京
+Web 開催，2023, [オーガナイザー]

34. 金子景香，久我亜沙美
遺伝学的診断を活かした遺伝性婦人科腫瘍の
チーム医療：がん研 Gene Awareness プロジェ
クト．
第 57 回日本婦人科病理学会学術集会：東京
+Web 開催，2023, [特別講演]

【集中治療部】

1. 望月俊明
薬剤④
第 50 回日本集中治療医学会学術集会：京都市，
2023, [座長]
2. 風戸拓也，見市光寿，望月俊明，寺嶋克幸
Tumor Lysis Syndrome (TLS) と診断され
ICU で治療を行った 3 例．
第 50 回日本集中治療医学会学術集会：京都市，
2023, [ポスター発表]
3. 望月俊明
新しい薬剤有害事象“irAEs”の急性期マネジ
メントについて．
第 45 回日本中毒学会総会・学術集会：さいた
ま市，2023, [ランチョンセミナー]

【核医学部】

1. 梅田拓朗
臨床 PET 検査法：各種検査の撮像法 F-18 FDG
検査法
PET 研修セミナー 診療放射線技師コース：臨
床コース
第 23 回日本核医学会春季大会：Web 開催，
2023, [教育セミナー]
2. 山下康輔
核医学技術研究班
第 77 回東京支部春期学術大会：東京，2023，
[シンポジウム]
3. 島田直毅
セッション 2：救急
第 39 回東葛放射線画像 Web セミナー：Web
開催，2023, [座長]

4. 島田直毅
核医学におけるセラノスティクスの現状と将来展望.
FCA-Webinar in 関東：東京 +Web 開催，2023, [講演]
5. 深井翔平
ルタテラ治療と運用に向けた病院体制を考える：導入までの流れと現在の運用体制：放射線技師.
放射性核種療法 Seminar: 東京 +Web 開催，2023, [講演]
6. 吉田ほのか
Harmonization の現状.
第 20 回 TOPIC: Web 開催，2023, [講演]
7. 島田直毅
技術セッション
第 20 回 TOPIC: Web 開催，2023, [座長]
8. 山下康輔
教育委員会企画 1「いかにして研究をおこなうか」：私の研究の進め方：モチベーションから実践までのアプローチ
第 51 回日本放射線技術学会秋季学術大会：名古屋市，2023, [シンポジウム]
9. 山下康輔
骨シンチグラフィ（画質評価・被ばく）
第 51 回日本放射線技術学会秋季学術大会：名古屋市，2023, [座長]
10. 茂木一樹，倉田悟至
NM1 核医学
日本放射線技術学会第 70 回関東支部研究発表大会：東京，2023, [座長]

【救急部】

1. 望月俊明
新しい薬剤有害事象“irAEs”の急性期マネジメントについて.
第 45 回日本中毒学会総会・学術集会：さいたま市，2023, [ランチョンセミナー]

【臨床検査センター】

1. 三宅一徳，海原和巳，関田綱基，上林慧也，鈴木暁，藤巻立生明，中山耕之介，丸山大，阿部仁
抗 CD38 抗体薬（ダラツムマブ、イサツキシマブ）投与患者の治療効果判定：HYDRASHIFT による M 蛋白同定検査
第 48 回日本骨髓腫学会学術集会：東京 +Web 開催，2023, [モーニングセミナー]
2. 加藤千絵子，坂井威彦，圓岡有里，國分優美，荻谷朗子，宮城由美，大迫智，松枝清，上野貴之，大野真司
US-US Fusion を用いた乳癌術前化学療法前後の腋窩転移リンパ節の評価.
第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web 開催，2023, [シンポジウム]
3. 関田綱基，上林慧也，海原和巳，阿部仁，海老原文，三宅一徳，中山耕之介
バナジン酸酸化法による総ビリルビン測定において偽低値を示した 1 症例.
第 31 回日本臨床化学会関東支部総会：東京，2023, [一般演題]
4. 海原和巳，関田綱基，鈴木暁，藤巻立生明，上林慧也，阿部仁，中山耕之介，丸山大，三宅一徳
抗 CD38 抗体薬（ダラツムマブ、イサツキシマブ）投与患者の治療効果判定検査における M 蛋白同定 2 社の比較検討.
日本医療検査科学会第 55 回大会：横浜市，2023, [発表形式不明]
5. 関田綱基
ストロンチウム含有サプリメント，多発性骨髄腫治療薬，前立腺がん治療薬，乳がん治療薬による検査値への影響.
日本医療検査科学会第 55 回大会：横浜市，2023, [セミナー]
6. 関田綱基
再検査の役割と工夫について.
第 63 回日本臨床化学会年次学術集会：東京，2023, [シンポジウム]

7. 関田綱基, 海原和己, 阿部仁, 中山耕之介, 丸山大, 三宅一徳
抗 CD38 抗体薬投与患者の M 蛋白同定と免疫固定法の比較「HYDRASHIFT」による治療効果判定.
第 70 回日本臨床検査医学会学術集会: 長崎市, 2023, [一般演題]
8. 林早佑理, 関田綱基, 鈴木暁, 上林慧也, 海原和己, 阿部仁, 三宅一徳, 中山耕之介
血清蛋白分画に M 蛋白様異常バンドが検出され、クリオグロブリンが同定された 1 例.
第 18 回東京都医学検査学会: 東京, 2023, [一般演題]
9. 石山大治, 友田美穂子, 上東野誉司美, 高橋ひろみ, 関根凜太郎, 阿部仁, 三宅一徳, 中山耕之介
男性の十二指腸癌患者に尿沈渣所見にてコイロサイトを認めた 1 症例.
第 18 回東京都医学検査学会: 東京, 2023, [一般演題]
10. 鈴木暁, 関田綱基, 林早佑理, 上林慧也, 海原和己, 阿部仁, 三宅一徳, 中山耕之介
自動化学発光酵素免疫分析装置による新規 ACTH 測定試薬の基礎的検討.
第 18 回東京都医学検査学会: 東京, 2023, [一般演題]
1. 三宅一徳, 海原和己, 関田綱基, 上林慧也, 鈴木暁, 藤巻立生明, 中山耕之介, 丸山大, 阿部仁
抗 CD38 抗体薬 (ダラツムマブ、イサツキシマブ) 投与患者の治療効果判定: HYDRASHIFT による M 蛋白同定検査
第 48 回日本骨髄腫学会学術集会: 東京 +Web 開催, 2023, [モーニングセミナー]
2. 関田綱基, 上林慧也, 海原和己, 阿部仁, 海老原文, 三宅一徳, 中山耕之介
バナジン酸酸化法による総ビリルビン測定において偽低値を示した 1 症例.
第 31 回日本臨床化学会関東支部総会: 東京, 2023, [一般演題]
3. 海原和己, 関田綱基, 鈴木暁, 藤巻立生明, 上林慧也, 阿部仁, 中山耕之介, 丸山大, 三宅一徳
抗 CD38 抗体薬 (ダラツムマブ, イサツキシマブ) 投与患者の治療効果判定検査における M 蛋白同定 2 社の比較検討.
日本医療検査科学会第 55 回大会: 横浜市, 2023, [発表形式不明]
4. 関田綱基
ストロンチウム含有サプリメント, 多発性骨髄腫治療薬, 前立腺がん治療薬, 乳がん治療薬による検査値への影響.
日本医療検査科学会第 55 回大会: 横浜市, 2023, [セミナー]
5. 関田綱基
再検査の役割と工夫について.
第 63 回日本臨床化学会年次学術集会: 東京, 2023, [シンポジウム]
6. 関田綱基, 海原和己, 阿部仁, 中山耕之介, 丸山大, 三宅一徳
抗 CD38 抗体薬投与患者の M 蛋白同定と免疫固定法の比較「HYDRASHIFT」による治療効果判定.
第 70 回日本臨床検査医学会学術集会: 長崎市, 2023, [一般演題]
7. 林早佑理, 関田綱基, 鈴木暁, 上林慧也, 海原和己, 阿部仁, 三宅一徳, 中山耕之介
血清蛋白分画に M 蛋白様異常バンドが検出され、クリオグロブリンが同定された 1 例.
第 18 回東京都医学検査学会: 東京, 2023, [一般演題]
8. 石山大治, 友田美穂子, 上東野誉司美, 高橋ひろみ, 関根凜太郎, 阿部仁, 三宅一徳, 中山耕之介
男性の十二指腸癌患者に尿沈渣所見にてコイロサイトを認めた 1 症例.
第 18 回東京都医学検査学会: 東京, 2023, [一般演題]
9. 鈴木暁, 関田綱基, 林早佑理, 上林慧也, 海原和己, 阿部仁, 三宅一徳, 中山耕之介

自動化学発光酵素免疫分析装置による新規
ACTH 測定試薬の基礎的検討。

第 18 回東京都医学検査学会：東京，2023，[一般演題]

【超音波診断・IVR 部】

1. Sato, Y.
Clinical Impact of TACE for HCC in Systemic Therapy Era.
23rd Annual Conference of Indian Society of Vascular and Interventional Radiology: Hyderabad, India, 2023, [講演]
2. Sato, Y.
Selective, ultraselective and balloon TACE.
23rd Annual Conference of Indian Society of Vascular and Interventional Radiology: Hyderabad, India, 2023, [講演]
3. 佐藤洋造，長谷川貴章，黒田浩章
肺ラジオ波焼灼療法にて難治性膿胸をきたした 1 例。
第 1 回日本アブレーション研究会：2023，[ワークショップ]
4. Sato, Y.
Interventional management of postoperative fistula/leak.
SIR (Society of Interventional Radiology) 2023 annual scientific meeting: Phoenix, AZ, USA, 2023, [講演]
5. 國分優美
REL14-1. DCIS の画像診断：超音波。
第 82 回日本医学放射線学会総会：Web 開催，2023, [教育講演]
6. 國分優美
深化し続ける乳房超音波診断：ヒト× AI 技術。
日本超音波医学会第 96 回学術集会：さいたま市，2023, [ランチョンセミナー]
7. 藤原良将，山田恵子，川上登福
Deep Learning を用いた甲状腺超音波画像からの腫瘍検出・鑑別支援アルゴリズムの開発。
日本超音波医学会第 96 回学術集会：さいたま市，2023, [一般口演]
8. 佐藤洋造
BCLC stage A に対する TACE の役割：新規臨床試験の立案。
第 28 回肝動脈塞栓療法研究会：高知市，2023, [シンポジウム]
9. 山田恵子，松本佳子
甲状腺 2
第 50 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会：東京，2023, [座長]
10. 佐藤洋造，松枝清，土屋智史，大澤まりえ，春日章良，岡本武士，笹平直樹
当院におけるレンバチニブと TACE の併用療法（LEN-TACE 療法）の検討。
第 52 回日本 IVR 学会総会：高知市，2023, [口述発表]
11. 佐藤洋造，松枝清
緩和 IVR：こんな時にも役に立つ！
第 52 回日本 IVR 学会総会：高知市，2023, [講演]
12. 佐藤洋造，松枝清，稲葉吉隆
消化器症状に対する緩和 IVR：何ができるの？
第 28 回日本緩和医療学会学術大会：神戸市，2023, [シンポジウム]
13. 佐藤洋造，松枝清，稲葉吉隆
難治性会陰部痛・肛門痛：IVR で何ができる？
第 28 回日本緩和医療学会学術大会：神戸市，2023, [パネルディスカッション]
14. 佐藤洋造
肝癌全身薬物療法全盛期における肝動脈化学塞栓療法（TACE）の役割：TACE と全身薬物療法との併用療法を中心に。
第 39 回日本 DDS 学会学術集会：東京，2023, [シンポジウム]
15. 佐藤洋造，ほか
当院におけるレンバチニブと TACE の併用療法（LEN-TACE）療法の検討。
第 59 回日本肝癌研究会：大阪市，2023, [口述発表]

16. 藤原良将
Deep Learning を用いた甲状腺超音波画像からの腫瘍検出・鑑別支援アルゴリズムの開発と性能評価。
日本超音波医学会第 35 回関東甲信越地方会学術集会：東京，2023，[一般演題]
17. 松枝清
患者さんのための留置、管理、治療の三刀流をめざして。
第 47 回リザーバー & ポート研究会：東京，2023，[座長]
18. 加藤千絵子
術前化学療法前後の超音波診断。
第 51 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会：東京 +Web 開催，2023，[ランチョンセミナー]
19. 國分優美，内田靖子，上野みどり
GTC 記録／測定の実際（医師の視点から）。
第 51 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会：東京 +Web 開催，2023，[講演]

【看護部】

1. 古賀典子
医療チームで関わる気管孔ケア：外来と病棟の関わり。
第 2 回頭頸部がんサポート研究会：名古屋市 +Web 開催，2023，[講演]
2. 床知恵子
がん研究会有明病院における ACP の取り組み：思いを繋げて支援する。
第 1 回がん緩和ケア地域連携カンファレンス：Web 開催，2023，[オンラインパネリスト]
3. 上間美夕紀
急性放射線皮膚炎へのケアに対する知識を Up-to-date。
第 37 回日本がん看護学会学術集会：横浜市 +Web 開催，2023，[座長]
4. 中村美琴，笹本麻実
食道癌術後患者に対する退院支援フローチャート使用前後の支援内容と患者成果の比較。
第 37 回日本がん看護学会学術集会：横浜市 +Web 開催，2023，[ポスター発表]
5. 久保出晴菜，阿久津裕果，吉澤舞，古谷悠衣，床千恵子，下倉美穂
患者と共に行う、退院後の生活で困らない尿路ストーマ管理への取り組み。
第 37 回日本がん看護学会学術集会：横浜市 +Web 開催，2023，[ポスター発表]
6. 今村優里，加藤智子，鴨川郁子
悪性骨軟部肉腫治療中の就学している小児・AYA 世代が抱える問題の実態調査。
第 37 回日本がん看護学会学術集会：横浜市 +Web 開催，2023，[ポスター発表]
7. 加藤小巻，長崎礼子，阪口智子，野口美保，河野花恵
外来治療室（ATC）で免疫チェックポイント阻害薬（ICI）治療を受ける患者へのセルフモニタリング指導内容の検討。
第 37 回日本がん看護学会学術集会：横浜市 +Web 開催，2023，[ポスター発表]
8. 大友陽子，三澤貴代美，鴨川郁子，宇津木智子，水野俊美，大島淑夫，佐伯吉規，柴田直樹
A がん専門病院の一般診療科・病棟におけるせん妄対応への緩和ケアチームの教育・活動実践について。
第 37 回日本がん看護学会学術集会：横浜市 +Web 開催，2023，[ポスター発表]
9. 大友陽子
Gene awareness：遺伝腫瘍患者・家族ケアの充実に向けて。
第 37 回日本がん看護学会学術集会：横浜市 +Web 開催，2023，[座長]
10. 後藤志保
治療後の暮らし：頭頸部がん治療の体験から。
第 37 回日本がん看護学会学術集会：横浜市 +Web 開催，2023，[座長]
11. 梶原裕希，柴本裕美，宮園瑞帆，河島地草，石川加奈子，木村倫子，浦野美雪，上間美夕紀，根崎優里恵
A がん専門病院の多領域から構成する専門看護師・認定看護師チームの定期病棟訪問によるコンサルテーション活動と課題。

第 37 回日本がん看護学会学術集会：横浜市
+Web 開催，2023，[ポスター発表]

12. 梶原裕希，勝又百実，大城くりこ，和田彩香，
水野俊美
A 病院緩和ケア病棟におけるグリーフカードの
運用方法変更に伴う病棟スタッフの意識変化．
第 37 回日本がん看護学会学術集会：横浜市
+Web 開催，2023，[ポスター発表]

13. 横井麻珠実
頭頸部アルミノック治療実施に際しての運用・
看護のポイント．
第 37 回日本がん看護学会学術集会：横浜市
+Web 開催，2023，[シンポジウム]

14. 水野俊美
チーム医療 2.
第 37 回日本がん看護学会学術集会：横浜市
+Web 開催，2023，[座長]

15. 永澤郁美，坂口日登美，釣江利，小倉祐子，佐
藤友貴絵，吉村亜紀，田近忍，上田美佐江，谷
口顕子，中川知香子，鈴木隆之，浅生田尚子，
名倉綾乃，武本麻理絵
患者・介護者が安心して在宅療養できる切れ目
のない継続的な支援を目指した地域連携室と外
来看護師の協働体制づくり．
第 37 回日本がん看護学会学術集会：横浜市
+Web 開催，2023，[ポスター発表]

16. 河島地草，宮城八重子，片岡綾華，花出正美
がん相談支援センターの対面相談に対する利
用者評価：がん相談支援センターの相談者の
フィードバックから見た現状．
第 37 回日本がん看護学会学術集会：横浜市
+Web 開催，2023，[ポスター発表]

17. 清水多嘉子
F. Nightingale よりひも解く病気の見方と患者
の生きる力．
第 37 回日本がん看護学会学術集会：横浜市
+Web 開催，2023，[座長]

18. 清水多嘉子
がん患者の持つ力を見出し支援する看護．

第 37 回日本がん看護学会学術集会：横浜市
+Web 開催，2023，[会長講演]

19. 濱口恵子，渡邊眞理
未来を拓くがん看護の本質：これまでの歩み、
そして未来．
第 37 回日本がん看護学会学術集会：横浜市
+Web 開催，2023，[座長]

20. 照井千恵，田村瑠美，阪口智子，長崎礼子
外来治療室における看護師の緊急時対応：能力
向上に向けたシミュレーションテストの組み
組みの実践報告．
第 37 回日本がん看護学会学術集会：横浜市
+Web 開催，2023，[ポスター発表]

21. 田代恵子，稲城陽子，長崎礼子，黒田直子，松
浦信子，横井麻珠実
専門看護師・認定看護師・診療看護師を目指す
看護師のための支援活動：“キャリアデザイン
なび”
第 37 回日本がん看護学会学術集会：横浜市
+Web 開催，2023，[ポスター発表]

22. 石川加奈子，藤浪文子，松浦信子
A 病院における褥瘡専任看護師の自己評価表を
用いた褥瘡看護実践力に関する実態調査．
第 37 回日本がん看護学会学術集会：横浜市
+Web 開催，2023，[口述発表]

23. 藤浪文子，上石響，宇津木智子，花出正美
「専門看護師・認定看護師活動報告書・ラダー
自己評価表」を活用した専門看護師・認定看護
師と配属部署看護管理者の面談の取り組み．
第 37 回日本がん看護学会学術集会：横浜市
+Web 開催，2023，[口述発表]

24. 谷口翔子，大友陽子，長崎礼子，多田由香
がん専門病院における放射線治療中患者の看護
カンファレンス実施状況調査報告．
第 37 回日本がん看護学会学術集会：横浜市
+Web 開催，2023，[ポスター発表]

25. 鈴木めぐみ，鈴木美智子，大澤めぐみ，古寺麻
希，恩地純子，井田恵都，坂元さやこ，中谷夕
佳，織本亜理沙，船越さおり，堀田真弓，佐伯
やよい，高西真寿美，阿部三千代

- 外来看護師と訪問看護師の連携強化を目指して：電話での情報提供システムの構築に取り組んで．
第 37 回日本がん看護学会学術集会：横浜市 +Web 開催，2023，[口述発表]
26. 長崎礼子
いま知っておきたい「がん免疫と irAE」：知ればケアがきっとよくなる．
・看護師のための“がん免疫”かんたん解説．
・irAE の患者支援：看護師が押さえておくべきエッセンス．
第 37 回日本がん看護学会学術集会：横浜市 +Web 開催，2023，[講演]
27. 長崎礼子
多職種でがん患者を支えるアドバンス・ケア・プランニング：実態調査結果から現状と課題を考える．
第 37 回日本がん看護学会学術集会：横浜市 +Web 開催，2023，[座長]
28. 関口陽子，小路谷友紀，鴨川郁子，高野利実，大島淑夫，片岡明美，小野麻紀子，加藤真由子，望月淑子，副島梓，厚坊浩史，渡邊雅之
医療スタッフの AYA 世代がん患者に対する認知・介入の現状及びチャイルド・AYA チームの活動に対する認知に関する調査．
第 37 回日本がん看護学会学術集会：横浜市 +Web 開催，2023，[ポスター発表]
29. 阿部三千代
がん治療前に妊孕性温存のニーズがある患者への支援：外来部門での取り組み強化．
第 37 回日本がん看護学会学術集会：横浜市 +Web 開催，2023，[ポスター発表]
30. 鴨川郁子
COVID-19 に関するがん看護．
第 37 回日本がん看護学会学術集会：横浜市 +Web 開催，2023，[座長]
31. 若林あずさ，松浦信子，石川加奈子，藤波文子
尿路変向を受けた認知症高齢者の新たな行動変容を促すアプローチ．
第 40 回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会：東京，2023，[ポスター発表]
32. 片岡綾華
Exploring the professional fulfillment of nurses engaged in end of life cancer nursing.
26th East Asia Forum of Nursing Scholars (EAFONS 2023)：Tokyo, Japan, 2023，[ポスター発表]
33. 赤土朋美
糖尿病足壊疽の手術後に発生した *Corynebacterium striatum* による SSI 疑いの 1 例．
第 7 回臨床感染症看護教育研究会：Web 開催，2023，[口述発表]
34. 長崎礼子，床知恵子，羽田忍，鈴木美智子，中原由美子，小野麻紀子，田近忍，宮城八重子，厚坊浩史，片岡明美，高野利実，大野真司
ACP (Advance Care Planning) の臨床導入についての活動報告．
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催，2023，[口述発表]
35. 上石響，田代恵子，望月俊明，柴田佳子，井上杏奈，浅野舞美
重症がん患者に対する ICU での化学療法実施時の注意点．
第 50 回日本集中治療医学会学術集会：京都市，2023，[ポスター発表]
36. 後藤志保
期待される INE の役割．
第 52 回日本 IVR 学会総会：高知市，2023，[シンポジウム]
37. 佐山郁子，青木洋一，小野麻紀子，片岡明美，阿部三千代，黒田直子，大友陽子，片岡綾華，横井麻珠美，阿部朋未，中村美穂，濱口恵子，高野利実
当院の妊孕性温存支援体制の振り返りと今後の展望．
第 8 回日本がんサポーターズ学会学術集会：奈良市，2023，[ポスター発表]
38. 床知恵子，鈴木美智子，東千絵，片岡明美，小林隆之，高畑史子，尾崎由紀範，中村暁，小野麻紀子，高野利実，大野真司

多職種でがん患者の「生きる」を支援する ACP
がん診療連携拠点病院を対象とした実態調査から
の現状と課題。

第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web
開催，2023，[ポスター発表]

39. 竹内愛

アベマシクリブの副作用下痢に対してフロー
チャートシートを用いた指導結果の分析。

第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web
開催，2023，[ポスター発表]

40. 鈴木美智子，河島地草，稲荷均，前田哲代，春
山優理恵，中村暁，家里明日美，中島絵里，上
野貴之，大野真司，金子景香，新川裕美，幅野
愛理，箕浦祐子，高津美月，植木有紗

全国がん診療連携拠点病院における遺伝性腫瘍
診療のアンケート結果からみえてきた HBOC
診療の現状と課題。

第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web
開催，2023，[シンポジウム]

41. 上石響

ICU の場を超えた重症患者へのクリティカルケ
ア：クリティカルケアが必要ながん患者；治療、
意思決定、終末期ケア。

第 19 回日本クリティカルケア看護学会学術集
会：東京，2023，[シンポジウム]

42. 鈴木美智子

最近よく耳にする患者市民参画。PPI って何を
するの？

第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web
開催，2023，[座長]

43. Goto, S.

Postoperative Recovery of Patients Under-
went Free Flap Reconstruction for Their
Tongue Cancer: a descriptive chart review.
The 6th Asian Oncology Nursing Society
(AONS) Conference: Bari, Indonesia, 2023,
[ポスター発表]

44. 横田淳子

どうするコンピテンシー研修。

第 27 回日本看護管理学会学術集会：福岡市，
2023，[シンポジウム]

45. 清水多嘉子

がん患者の持つ力を支援する看護。

第 5 回華西国際看護学会：四川省，中国，
2023，[基調講演]

46. 松浦信子

超高齢化社会におけるストーマケア。

第 54 回東京ストーマリハビリテーション研究
会：東京，2023，[パネルディスカッション]

47. 花出正美

がん看護 CNS による相談支援を利用した進行・
再発がん患者の posttraumatic growth.

第 61 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，
2023，[ポスター発表]

48. 阿部三千代

内服抗がん薬治療を受ける患者に対する外来看
護師の関り。

第 5 回 CoINPLANT for Outpatient: Web 開催，
2023，[講演・ディスカッション]

【薬剤部】

1. 小林一男

がん薬物療法での薬剤師業務に基づくエビデ
ンス創出。

日本薬学会第 143 年会：札幌市 +Web 開催，
2023，[シンポジウム]

2. 小林一男

がん薬物療法。

第 12 回日本臨床腫瘍薬学会学術大会：名古屋
市，2023，[座長]

3. 山口正和

チーム医療：薬剤師に期待すること、伝えたい
こと。

第 12 回日本臨床腫瘍薬学会学術大会：名古屋
市，2023，[座長]

4. 川上和宜

経口抗がん薬は、なぜチームマネジメントが必
要か。

第 12 回日本臨床腫瘍薬学会学術大会：名古屋
市，2023，[シンポジウム]

5. 根本真記
Onco-cardiology : 薬剤師に何ができるのか? :
薬剤師視点で考える Onco-cardiology.
第 12 回日本臨床腫瘍薬学会学術大会 : 名古屋市, 2023, [シンポジウム]
6. 横川貴志
臨床研究実施時の障壁と乗り越えるコツ : 後ろ
向き研究を例に .
第 12 回日本臨床腫瘍薬学会学術大会 : 名古屋
市, 2023, [シンポジウム]
7. 清水久範
抗がん剤調製ロボットを用いた新たな抗がん剤
調製業務体制の構築 .
第 12 回日本臨床腫瘍薬学会学術大会 : 名古屋
市, 2023, [座長]
8. 青山剛
Up-To-Date! みんなで守ろう患者の血管! がん
薬物療法に伴う血管外漏出マネージメント : がん
薬物療法に伴う血管外漏出に関する合同ガイ
ドライン発刊記念シンポジウム : CQ ステロイ
ド局所注射、外用剤塗布の使用は推奨されるか .
第 12 回日本臨床腫瘍薬学会学術大会 : 名古屋
市, 2023, [シンポジウム]
9. 野々宮悠真, 中山徹馬, 小林一男, 天川佳洋,
柴田直樹, 副島梓, 川口萌実, 花房李恵, 川上
和宜, 清水久範, 高張大亮, 川井沙織, 原文堅,
高野利実, 山口研成, 山口正和
日常診療における進行・再発胃がん及び乳がん
患者を対象としたトラスツズマブ デルクステ
カン投与に関する後ろ向き観察研究 .
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会 : 福岡市
+Web 開催, 2023, [Mini Oral Session]
10. 川上和宜, 江口真理子
がんに関連する症状緩和 .
第 16 回日本緩和医療薬学会年会 : 神戸市,
2023, [座長]
11. 山口正和
Chance・Challenge・Change : がん医療への
想いをつなげる 3C.
第 15 回日本がん薬剤学会学術大会 : 名古屋市,
2023, [座長]
12. 清水久範
薬剤
第 25 回日本医療マネジメント学会学術総会 :
横浜市, 2023, [座長]
13. 小林一男
肝・胆・膵がんにおける薬学的な介入 .
日本臨床腫瘍薬学会ブラッシュアップセミナー
2023: 2023, [オンデマンドセミナー]
14. 横川貴志
薬剤師が行うべき膵がん患者のトータルマネジ
メント .
第 1 回慶應義塾大学薬学がんプロフェッショナ
ル研修会 : 東京, 2023, [研修会講演]
15. 前勇太郎, 谷口愉香, 横川貴志, 館合慶一, 副
島梓, 小林一男, 橋本幸輝, 川上和宜, 清水久
範, 山口正和
薬学的介入の実際とブレアボイド報告から得ら
れる医療費削減効果の推算 .
日本病院薬剤師会関東ブロック第 53 回学術大
会 : 新潟市, 2023, [ポスター発表]
16. 式部さあ里, 橋本幸輝, 戸谷渡, 清水久範, 酒
井良子, 赤沢学, 金尾祐之, 山口正和
婦人科がんカルボプラチン+パクリタキセル療
法におけるアプレピタント追加が制吐効果に及
ぼす影響 .
日本病院薬剤師会関東ブロック第 53 回学術大
会 : 新潟市, 2023, [ポスター発表]
17. 木村俊哉, 横川貴志, 川上和宜, 清水久範, 副
島梓, 中村匡志, 井上杏奈, 山端悠介, 鈴木亘,
森祐佳, 杉崎崇人, 小林一男, 橋本幸輝, 前勇
太郎, 館合慶一, 山口正和
パクリタキセル+カルボプラチン併用療法にお
ける初回指導動画ツールを用いた薬剤管理指導
業務効率化の検討 .
日本病院薬剤師会関東ブロック第 53 回学術大
会 : 新潟市, 2023, [ポスター発表]
18. 谷口愉香, 山口正和, 清水久範, 小林一男, 野々
宮悠真, 岩崎加奈子
医療用電解水生成装置を用いた製剤室環境にお
ける清掃方法の検討 .

日本病院薬剤師会関東ブロック第 53 回学術大会：新潟市，2023，[ポスター発表]

19. 石黒太造，飯倉佑介，臼井優子，鴨川郁子，土井善貴，夏目まいか，宇津木智子
難治性疼痛に緩和ケアチームが介入しケタミンの導入で退院、訪問診療につなげた下咽頭がんの一例．
第 5 回日本緩和医療学会 関東甲信越支部学術大会 / 第 36 回栃木県緩和ケア研究会合同開催：足利市，2023，[ポスター発表]
20. 鈴木亘，川口崇，辻大樹，横川貴志，川崎洋平，山口拓允，高田慎也，玉木慎也，小泉圭，松本拓真，坂田幸雄，荒川雄一郎，鮎原秀明，山口正和，鈴木賢一
乳癌高度催吐性化学療法に対するデキサメタゾンフリー制吐療法の多機関共同第 II 相試験．
第 61 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2023，[口述発表]
21. 飯倉佑介
がん診断時からの緩和ケア：薬剤師の立場から．
第 61 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2023，[シンポジウム]
22. 横川貴志
安全ながん薬物療法の実践．
日本病院薬剤師会令和 5 年度 がん専門薬剤師集中教育講座：オンデマンド配信，2023，[教育セミナー]
23. 中村匡志
薬剤師による処方提案が治療継続にもたらす効果：治療強度から副作用マネジメント．
第 33 回日本医療薬学会年会：仙台市，2023，[シンポジウム]
24. 伴修平，橋本幸輝，羽鳥正浩，鈴木莉羅，木村俊哉，古谷良太，鈴木亘，蓑輪雄一，瀧口友美，川上和宜，清水久範，山口正和
経口抗がん薬を対象とした薬剤師による疑義照会後の処方代行入力（PBPM）導入について．
第 33 回日本医療薬学会年会：仙台市，2023，[一般演題ポスター]

25. 小林一男
プレイヤーとマネージャーの架け橋：「育つ（創る）」と「育てる（贈る）」の共存．
第 33 回日本医療薬学会年会：仙台市，2023，[シンポジウム]
26. 山口正和
「東京都がん薬物療法協議会」発足の経緯について．
第 33 回日本医療薬学会年会：仙台市，2023，[シンポジウム / オーガナイザー・座長]
27. 川上和宜
患者さんに成果を示すがん薬剤師外来：服薬指導だけではなくファーマシューティカルケアの実践．
第 33 回日本医療薬学会年会：仙台市，2023，[シンポジウム / オーガナイザー・座長]
28. 川上和宜，小林一男，清水久範，横川貴志，鈴木一洋，森祐佳，鈴木亘，柴田直樹，中井恵子，竹内資和，安藤井達，山口正和
経口抗がん薬の服薬リアルタイムモニタリングシステム構築．
第 33 回日本医療薬学会年会：仙台市，2023，[一般演題ポスター]
29. 森祐佳，小林一男，川上和宜，清水久範，森田幾代，横井麻珠美，長崎礼子，黒田直子，清水多嘉子，山口正和
清掃員における抗がん薬の動画教育資料を用いた曝露対策に関する理解度調査．
第 33 回日本医療薬学会年会：仙台市，2023，[一般演題ポスター]
30. 横川貴志
12 年先を見据えた、一歩進んだがん薬物療法の副作用マネジメント：副作用への早期対応を目的とした IoT の活用．
第 33 回日本医療薬学会年会：仙台市，2023，[オーガナイザー・座長]
31. 橋本幸輝
Oncology Emergency を防げ！：網羅的検査値抽出アプリケーションを活用した安全管理支援体制の構築．

第 33 回日本医療薬学会年会：仙台市，2023，
[シンポジウム]

32. 清水久範
薬薬連携の醸成はトレーシングレポートの標準化から：がん薬物療法の安心・安全を目指す東京都の取組。
第 33 回日本医療薬学会年会：仙台市，2023，
[オーガナイザー]
33. 野々宮悠真，清水久範，谷口愉香，岩崎加奈子，
小林一男，山口正和
医療用電解水生成装置電解水による安全キャビネットの新規清掃の無菌的検証。
第 33 回日本医療薬学会年会：仙台市，2023，
[一般演題口演]
34. 鈴木莉羅，岩崎加奈子，杉崎崇人，中村匡志，
名和亜利沙，平松亜依，三木真梨杏，渡部秀一，
青山剛，蓑輪雄一，清水久範，山口正和
注射部署における 5S 活動による作業環境改善、
効率性向上と在庫物品の見直し。
第 33 回日本医療薬学会年会：仙台市，2023，
[一般演題ポスター]

【栄養管理部】

1. 斎野容子，ほか
周術期管理チーム PERICAN における管理栄養士の役割。
第 26 回日本病態栄養学会年次学術集会：京都市，2023，[シンポジウム]
2. 石井美鈴，藤原遼，川名加織，斎野容子，松下
亜由子，高木久美，中屋恵梨香，伊丹優貴子，
藤原彩，榎田滋穂，稲用ゆうか，守屋直紀，古
田桃子，山根有貴，熊谷厚志，井田智
膀胱全摘除術における周術期治療チーム導入に
よる栄養状態の推移。
第 26 回日本病態栄養学会年次学術集会：京都市，2023，[口述発表]
3. 高木久美，井田智，伊丹優貴子，中屋恵梨香，
松下亜由子，川名加織，斎野容子，岡村明彦，
佐藤崇文，熊谷厚志
入院前患者の高齢者機能評価とサルコペニアの
関連について。

第 14 回日本臨床栄養代謝学会 首都圏支部学術
集会：東京，2023，[口述発表]

4. 高木久美，井田智，伊丹優貴子，中屋恵梨香，
川名加織，松下亜由子，斎野容子，岡村明彦，
佐藤崇文，熊谷厚志
入院前患者の高齢者機能評価とサルコペニアの
関連について。
第 14 回日本臨床栄養代謝学会首都圏支部学術
集会：東京，2023，[一般演題口演]
5. 守屋直紀，井田智，伊丹優貴子，古田桃子，稲
用ゆうか，石井美鈴，中屋恵梨香，榎田滋穂，
藤原彩，高木久美，松下亜由子，川名加織，斎
野容子，熊谷厚志
整形外科術後創部関連合併症に影響する因子の
検討。
第 38 回日本臨床栄養代謝学会学術集会：神戸
市，2023，[口述発表]
6. 川名加織，井田智，高木文，斎野容子，望月俊
明
がん専門病院における ICU チームアプローチの
効果に関する検討。
第 38 回日本臨床栄養代謝学会学術集会：神戸
市，2023，[口述発表]
7. 榎田滋穂，片岡明美，伊丹優貴子，斎野容子，
井田智，熊谷厚志，石塚直樹，阿部朋未，植弘
奈津恵，高畑史子，春山優理恵，中平詩，尾崎
由記範，古川孝広，高野利実，上野貴之，大野
真司
乳癌肥満患者の対面栄養指導に対する電話栄養
指導の非劣性を検証するランダム化比較第 III
相試験。
第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 + Web
開催，2023，[シンポジウム]
8. 古田桃子，井田智，高木久美，守屋直紀，稲用
ゆうか，石井美鈴，伊丹優貴子，中屋恵梨香，
松下亜由子，川名加織，斎野容子，天野隆皓，
櫻井翼，福長洋介，熊谷厚志
大腸癌患者における術後麻痺性イレウスと食物
繊維量の関連。
日本外科代謝栄養学会第 60 回学術集会：東京，
2023，[口述発表]

9. 川名加織, 井田智, 小倉真理子, 小野麻紀子, 望月俊明, 北野滋久, 中屋恵梨香, 松下亜由子, 斎野容子, 熊谷厚志
免疫チェックポイント阻害薬による栄養障害と
その対応.
日本外科代謝栄養学会第 60 回学術集会: 東京,
2023, [ワークショップ]
 10. 斎野容子, 井田智, 川名加織, 松下亜由子, 高
木久美, 中屋恵梨香, 伊丹優貴子, 石井美鈴,
守屋直紀, 古田桃子, 稲用ゆうか, 藤原彩, 榎
田滋穂, 山根有貴, 柄島美咲, 熊谷厚志
胃癌術前患者における手術待機期間中の体組成
変化.
日本外科代謝栄養学会第 60 回学術集会: 東京,
2023, [メディカルスタッフセッション]
 11. 松下亜由子, 佐藤崇文, 高木久美, 中屋恵梨香,
川名加織, 斎野容子, 井田智, 熊谷厚志, 高橋
祐
肝門部領域胆管癌術前患者に対する栄養指導の
有効性について.
日本外科代謝栄養学会第 60 回学術集会: 東京,
2023, [口述発表]
 12. 熊谷厚志, 福島亮治
がん化学療法中のベッドサイドに見る栄養療法
の意義.
日本外科代謝栄養学会第 60 回学術集会: 東京,
2023, [座長]
 13. Saino, Y., Kawase, F., Nagano, A., Ueshima,
J., Kobayashi, H., Murotani, K., Inoue, T.,
Nagami, S., Suzuki, M., Maeda, K.
Prevalence and diagnostic criteria of sarco-
penic obesity in colorectal cancer: A scop-
ing review.
9th Asian Conference for Frailty and Sarco-
penia: Singapore, 2023, [ポスター発表]
 14. 斎野容子, 佐藤崇文, 松下亜由子, 川名加織,
中屋恵梨香, 伊丹優貴子, 榎田滋穂, 高木久美,
石井美鈴, 守屋直紀, 稲用ゆうか, 古田桃子,
片岡明美, 熊谷厚志
がん医療における多職種連携・地域連携; 管理
栄養士の役割.
- 第 61 回日本癌治療学会学術集会: 横浜市,
2023, [シンポジウム]
 15. 川名加織, 岡村明彦, 石井美鈴, 守屋直紀, 斎
野容子, 金森淳, 熊谷厚志, 渡邊雅之, 佐藤崇
文
咽頭喉頭食道全摘術を施行した患者の術前栄養
状態と術後合併症の関連について.
第 76 回日本胸部外科学会定期学術集会: 仙台
市, 2023, [ポスター発表]
 16. 石井美鈴, 松下亜由子, 高木久美, 高橋幸亜,
松崎凜子, 柄島美咲, 山根有貴, 古田桃子, 守
屋直紀, 稲用ゆうか, 榎田滋穂, 伊丹優貴子,
中屋恵梨香, 川名加織, 斎野容子, 岡村明彦,
金森淳, 熊谷厚志, 渡邊雅之, 佐藤崇文
食道がん患者における術前高齢者機能評価と術
後合併症の関連.
第 76 回日本胸部外科学会定期学術集会: 仙台
市, 2023, [ポスター発表]
 17. 山根有貴, 岡村明彦, 榎田滋穂, 松下亜由子,
高木久美, 中屋恵梨香, 伊丹優貴子, 稲用ゆう
か, 石井美鈴, 守屋直紀, 古田桃子, 柄島美咲,
斎野容子, 青木洋一, 佐藤崇文
子宮頸がん術後、イレウスとなり栄養介入を
行った一例.
第 24 回 Met3 NST 研究会: Web 開催, 2023,
[口述発表]
 18. 柄島美咲, 青木洋一, 高木久美, 松下亜由子,
中屋恵梨香, 伊丹優貴子, 榎田滋穂, 稲用ゆう
か, 石井美鈴, 守屋直紀, 古田桃子, 山根有貴,
斎野容子, 岡村明彦, 佐藤崇文
腹水貯留を伴う左卵巣癌患者に対する栄養管理
の一例.
第 24 回 Met3NST 研究会: Web 開催, 2023,
[口述発表]
- 【細胞診断部】**
1. 池畑浩一
細胞 2.
第 72 回日本医学検査学会 in GUNMA: 高崎市,
2023, [座長]

2. 千葉知宏
甲状腺未分化癌研究コンソーシアム。
第 35 回日本内分泌外科学会総会：松本市，
2023, [パネルディスカッション]
3. 伊藤崇彦
ROSE。
第 64 回日本臨床細胞学会総会春期大会：名古屋
市，2023, [座長]
4. 千葉知宏
甲状腺における背景遺伝子異常。
第 64 回日本臨床細胞学会総会春期大会：名古屋
市，2023, [シンポジウム]
5. 池畑浩一
乳腺 2。
第 64 回日本臨床細胞学会総会春期大会：名古屋
市，2023, [座長]
6. 池畑浩一，山下享子，伊藤崇彦，藤山淳三，阿
部仁，植野映子，松本誠一，阿江啓介，石田剛，
杉山裕子
嚢胞内容液に球状のフィブリン様物質を認めた
単純性骨嚢腫の一例。
第 64 回日本臨床細胞学会総会春期大会：名古屋
市，2023, [ポスター発表]
7. 藤山淳三
頭頸部。
第 64 回日本臨床細胞学会総会春期大会：名古屋
市，2023, [座長]
8. 阿部仁
令和時代の細胞診専門医と細胞検査士：未来志
向の関係構築にむけて。
第 64 回日本臨床細胞学会総会春期大会：名古屋
市，2023, [細胞診専門医セミナー]
9. 阿部仁
細胞検査士の働き方とタスクシフト。
第 64 回日本臨床細胞学会総会春期大会：名古屋
市，2023, [座長]
10. 千葉知宏
甲状腺 WHO 分類第 5 版の考え方と使い方。
第 99 回日本病理学会関東支部会学術集会：
Web 開催，2023, [特別講演]
11. 伊藤崇彦，佐藤由紀子，石井脩平，山田麻里沙，
山崎奈緒子，池畑浩一，藤山淳三，阿部仁，千
葉知宏
口腔扁平上皮癌と前癌病変の細胞所見。
第 62 回日本臨床細胞学会秋期大会：福岡市，
2023, [ワークショップ]
12. 千葉知宏
甲状腺がんと個別化医療。
第 62 回日本臨床細胞学会秋期大会：福岡市，
2023, [教育講演]
13. 杉山裕子
子宮頸部腺系病変の細胞診。
第 62 回日本臨床細胞学会秋期大会：福岡市，
2023, [教育講演]
14. 千葉知宏
甲状腺腫瘍の遺伝子異常。
第 51 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会：
東京 + Web 開催，2023, [講演]

【検診センター】

1. 宇津木久仁子
リンパ浮腫治療の現状と課題。
第 15 回がんのリンパ浮腫研究会：名古屋市，
2023, [特別講演]
2. 上田和彦，尾島英知
興味深い症例報告とその他の肝血流に関するあ
らゆる演題②。
第 29 回肝血流動態機能イメージ研究会：大阪
市 + Web 開催，2023, [座長]
3. 藤崎順子
H.pylori 陰性時代の胃癌の診断のパラダイムシ
フト。
第 45 回日本消化器内視鏡学会関東支部セミ
ナー：東京，2023, [講演]
4. 宇津木久仁子
妊娠中のコルポ検査と対処法。
日本婦人科腫瘍学会コルポスコピー研修会：東
京，2023, [講演]

5. 藤崎順子
背景胃粘膜に応じた早期胃癌の診断と治療。
第 19 回日本消化管学会総会学術集会：東京
+Web 開催，2023，[司会]
6. 上田和彦
低線量 CT 検診普及のために必要な環境整備。
第 30 回日本 CT 検診学会学術集会：熊本市
+Web 開催，2023，[シンポジウム]
7. 藤崎順子
世界に挑戦する日本の内視鏡 AI。
第 95 回日本胃癌学会総会：札幌市，2023，[座
長]
8. 宇津木久仁子
リンパ浮腫予防指導：標準化に向けて。
日本リンパ浮腫学会教育セミナー：大阪市，
2023，[講演]
9. 上田和彦
Radiology report: Key strategies for clear
reporting。
第 82 回日本医学放射線学会総会：横浜市，
2023，[教育講演]
10. 上田和彦
興味ある症例 2
第 65 回肝癌症例研究会：川崎市，2023，[コ
メンテーター]
11. 藤崎順子，高松学
H. pylori 未感染未分化型胃癌の特徴と自然史。
第 29 回日本ヘリコバクター学会学術集会：東
京，2023，[シンポジウム]
12. 宇津木久仁子，石塚直樹，野村秀高，金尾祐之
リンパ浮腫の診断法に関する研究。
第 47 回日本リンパ学会総会：浜松市，2023，
[口述発表]
13. エマ・大辻・ピックルス
オストメイトからの発信！医療者にもっと知っ
ておいてほしいこと
第 39 回九州スーモリハビリテーション研究
会：鹿児島市，2023，[教育講演]
14. Fujisaki, J.
Precautions and results in ESD of undiffer-
entiated-type gastric carcinoma。
Korea International Gastric Cancer Week:
Seoul, Korea, 2023，[招待講演]
15. 内田靖子，清水貴子，春木聡美，窪田素子，宇
津木久仁子，藤崎順子
任意型検診で発見された進行癌の特徴分析とそ
の対策についての検討。
第 64 回日本人間ドック学会学術大会：高崎市
+Web 開催，2023，[一般演題口演]
16. 宇津木久仁子，石塚直樹，野村秀高，金尾祐之
婦人科がん手術後の下肢リンパ浮腫のリスク
ファクター：前方視的研究。
第 61 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，
2023，[口述発表]
17. 上田和彦
造影効果と肝腫瘍。
第 66 回肝癌症例研究会：東京，2023，[コメ
ンテーター]
18. 上田和彦
画像診断報告書 -Clear reporting への手掛かり。
第 31 回山形 CT MRI 研究会：山形市 +Web 開
催，2023，[特別講演]
19. 藤崎順子，上堂文也
上部消化管腫瘍性病変に対する内視鏡治療：新
たな展開：偶発症対策を含めて。
第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW
2023：消化器内視鏡学会・消化器病学会・消
化器外科学会・消化器がん検診学会)：神戸市，
2023，[司会]
20. 佐伯澄人，内田靖子，田中正典，高橋洋子，上
野貴之，宇津木久仁子，藤崎順子
COVID-19 流行による単施設検診センターでの
乳がん検診への影響の調査。
第 33 回日本乳癌検診学会学術総会：福岡市，
2023，[一般演題口演]

21. Fujisaki, J.
How to improve the curative resection rate of ESD for undifferentiated EGC.
2nd National Cancer Center Gastric Cancer Forum: Seoul, Korea, 2023, [招待講演]

【先進がん治療開発センター】

1. 井添由香子, 栗原望, 松井美子, 平井友紀子, 大野るみ子, 神戸萌, 秋吉高志, 篠崎英司, 安藤聡美, 山口研成, 石塚直樹, 村田正弘
研究の品質向上のための Query Effectiveness Ratio の使用経験.
日本臨床試験学会第 14 回学術集会総会: 金沢市, 2023, [ポスター発表]
2. 樽野弘之
日本臨床試験学会における認定制度の現状 (GCP パスポート / エキスパート / がん専門) .
日本臨床試験学会第 14 回学術集会総会: 金沢市, 2023, [シンポジウム]
3. 安藤聡美
臨床研究・治験におけるメディカルライターの役割 .
一般社団法人医療開発基盤研究所 SDM 教育セミナー: 東京, 2023, [講演]
4. 栗原望
卵巣癌化学療法と臨床試験の統計解析について.
Ovarian Cancer Web Seminar in EHIME: 松山市, 2023, [講演]
5. 樽野弘之
TR 教育に必要なリソースを考える .
ARO 協議会第 10 回学術集会: 東京, 2023, [専門家連絡会企画]
6. 石崎秀信, 丸山大, 北野滋久, 山口研成, 小口正彦, 佐野武
ライフサイエンスエコシステムにおけるグローバルリンクを目指したがん研有明病院の取り組み .
ARO 協議会第 10 回学術集会: 東京, 2023, [シンポジウム]

7. Kurihara, N., Uozumi, R.
Designing diagnostic studies with clusters.
Joint Statistical Meetings (JSM2023) : Toronto, Canada, 2023, [口述発表]

【皮膚腫瘍科】

1. 吉村有彩, 上原治朗, 吉野公二, 北澤公, 北野滋久
集学的治療を要した G-CSF, PTHrP 産生臀部有棘細胞癌の 1 例 .
日本皮膚科学会第 905 回東京地方会: 東京, 2023, [口述発表]
2. 上原治朗, 吉村有彩, 北野滋久, 吉野公二
Nivolumab 投与中に単発性の keratoacanthoma が発生した melanoma の 1 例
日本皮膚科学会総会第 905 回東京地方会: 東京, 2023, [発表形式不明]
3. 吉村有彩, 松崎友里江, 豊島梨乃, 上原治朗, 吉野公二, 利安隆史, 後藤啓介, 河内洋, 北野滋久
CDDP 5-FU による化学放射線治療が奏効した切除不能頸部有棘細胞癌の 1 例
日本皮膚科学会東京地方会第 906 回例会: 東京, 2023, [口述発表]
4. 松崎友里江, 吉村有彩, 豊島梨乃, 上原治朗, 吉野公二, 北野滋久, 後藤啓介, 河内洋
粘液性変化を伴った有茎性隆起性皮膚線維肉腫の 1 例 .
日本皮膚科学会東京地方会第 906 回例会: 東京, 2023, [口述発表]
5. 豊島梨乃, 松崎友里江, 吉村有彩, 上原治朗, 吉野公二, 北野滋久, 後藤啓介, 河内洋
下腿に生じた巨大 eccrine hidrocystoma の 1 例 .
日本皮膚科学会東京地方会第 906 回例会: 東京, 2023, [口述発表]
6. 上原治朗, 吉村有彩, 北野滋久, 吉野公二
皮膚付属器癌 80 症例の臨床的特徴, 治療方針についての検討 .
第 122 回日本皮膚科学会総会: 横浜市, 2023, [口述発表]

7. 吉野公二, 青井淳
上皮性腫瘍, 間葉系腫瘍.
第 122 回日本皮膚科学会総会: 横浜市, 2023,
[座長]
8. 吉野公二
免疫チェックポイント阻害薬による免疫関連事
象.
第 122 回日本皮膚科学会総会: 横浜市, 2023,
[教育講演]
9. 吉野公二
進行期 BRAF 陽性メラノーマの最新治療戦略:
エビデンスと臨床使用経験から.
第 122 回日本皮膚科学会総会: 横浜市, 2023,
[イブニングセミナー]
10. 豊島梨乃, 松崎友里江, 吉村有彩, 上原治朗,
北野滋久, 後藤啓介, 河内洋, 吉野公二
パクリタキセル単独療法で縮小維持した顔面血
管肉腫の 1 例.
日本皮膚科学会東京地方会第 907 回例会: 東
京, 2023, [口述発表]
11. 上原治朗, 吉村有彩, 北野滋久, 吉野公二
Stage II、III 悪性黒色腫術後臨床経過のまとめ.
第 39 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会: 名古
屋市, 2023, [一般演題]
12. 上原治朗, 吉村有彩, 北野滋久, 吉野公二
根治切除不能乳房外 Paget 病に対するドセタキ
セル療法のまとめ.
第 39 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会: 名古
屋市, 2023, [一般演題]
13. 上原治朗
鼻根部に生じた嚢胞性病変.
第 39 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会: 名古
屋市, 2023, [シンポジウム]
14. 吉村有彩, 上原治朗, 豊島梨乃, 松崎友里江,
北野滋久, 吉野公二
TMB-high 頬部有棘細胞癌の切除不能リンパ
節転移に対してペムブロリズマブで加療した 1
例.
第 39 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会: 名古
屋市, 2023, [一般演題]
15. 吉野公二
進行期メラノーマの課題と治療ゴールとは: エ
ビデンスが示す治療戦略.
第 39 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会: 名古
屋市, 2023, [ランチョンセミナー]
16. 吉村有彩, 松崎友里江, 豊島梨乃, 上原治朗,
北野滋久, 後藤啓介, 河内洋, 吉野公二
熱傷瘢痕に生じた足底悪性黒色腫の 1 例.
第 75 回日本皮膚科学会西部支部学術大会: 宜
野湾市, 2023, [一般演題]
17. 吉野公二
血管肉腫における外科治療の意義.
第 75 回日本皮膚科学会西部支部学術大会: 宜
野湾市, 2023, [教育講演]
18. 西澤綾, 武田孝一, 浦崎哲也, 小野麻紀子, 友
松純一, 望月俊明, 志賀太郎, 古川孝広, 高橋
俊二, 北野滋久
抗生物質投与後ショックを呈した免疫チェック
ポイント阻害薬投与患者の重篤な薬疹.
第 75 回日本皮膚科学会西部支部学術大会: 宜
野湾市, 2023, [一般演題]
19. 豊島梨乃, 松崎友里江, 吉村有彩, 上原治朗,
北野滋久, 後藤啓介, 河内洋, 吉野公二
顔面に生じた嚢胞性 BCC の 1 例.
日本皮膚科学会東京地方会第 908 回例会: 東
京, 2023, [口述発表]
20. 上原治朗, 吉村有彩, 松崎友里江, 豊島梨乃,
北野滋久, 後藤啓介, 河内洋, 吉野公二
再発、切除不能アポクリン腺癌・汗腺癌 16 例
に対する臨床経過のまとめ.
第 87 回日本皮膚科学会東京支部学術大会: 東
京, 2023, [一般演題]
21. 吉村有彩, 松崎友里江, 豊島梨乃, 上原治朗,
吉野公二, 北野滋久, 後藤啓介, 河内洋
ニボルマブ+イピリウムマブ併用療法で irAE 脳
炎を発症した脛原発悪性黒色腫の 1 例.
第 87 回日本皮膚科学会東京支部学術大会: 東
京, 2023, [一般演題]
22. 吉野公二
進行期乳房外 Paget 病の次の一手.

第 87 回日本皮膚科学会東京支部学術大会：東京，2023，[シンポジウム]

23. 松崎友里江，吉村有彩，豊島梨乃，上原治朗，北野滋久，後藤啓介，河内洋，吉野公二
Adjuvant 療法後の転移に BRAF/MEK 阻害薬再投与が奏功した背部悪性黒色腫の 1 例。
第 87 回日本皮膚科学会東京支部学術大会：東京，2023，[一般演題]
24. 豊島梨乃，松崎友里江，吉村有彩，上原治朗，北野滋久，後藤啓介，河内洋，吉野公二
Sweat-gland carcinoma with neuroendocrine differentiation (SCAND) と診断された 3 例。
第 87 回日本皮膚科学会東京支部学術大会：東京，2023，[一般演題]
25. 吉村有彩，松崎友里江，豊島梨乃，上原治朗，北野滋久，後藤啓介，河内洋，吉野公二
若年男性の大腿部に発生した巨大増殖性毛母腫の 1 例。
日本皮膚科学会東京地方会第 909 回例会：東京，2023，[口述発表]
26. 吉野公二
irAE のマネジメント：日常診療におけるピットフォール。
第 53 回日本皮膚免疫アレルギー学会学術大会：浦安市，2023，[シンポジウム]

【先端医療開発科】

1. 宮脇英里子，水柿秀紀，古川孝広，尾崎由記範，大木暁，温泉川真由，篠崎英司，尾阪将人，福田直樹，佐藤靖祥，小野麻紀子，高橋俊二，上野貴之，北野滋久
第 1 相試験へ組み入れられる患者の背景とは：当科発足から 2 年間のまとめ
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催，2023，[ポスター発表]
2. 尾崎由記範
乳癌の薬物療法最新情報。
第 61 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2023，[教育セッション]

【先端医療開発科がん免疫治療開発部】

1. 北野滋久
固形がんに対する遺伝子改変：細胞療法と Bispecific 抗体療法の開発状況と課題。
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催，2023，[合同シンポジウム]
2. 北野滋久
腫瘍免疫学の基礎。
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催，2023，[教育講演]
3. 北野滋久
複合がん免疫療法：泌尿器腫瘍を中心に。
第 24 回関東ホルモンと癌研究会：東京，2023，[ランチョンセミナー]
4. 北野滋久
乳癌における新規がん免疫療法。
第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web 開催，2023，[シンポジウム]
5. 北野滋久
がん免疫療法の今後の展開。
第 96 回日本内分泌学会学術総会：名古屋市，2023，[クリニカルアワー]
6. 北野滋久
B 細胞から考える自己免疫疾患、悪性腫瘍：腫瘍免疫における B 細胞免疫応答。
第 51 回日本臨床免疫学会総会：東京，2023，[シンポジウム]
7. 北野滋久
腎癌における Adjuvant 療法としての CI の意義。
第 75 回西日本泌尿器科学会総会：松山市，2023，[教育セミナー]
8. 北野滋久，有賀淳
免疫チェックポイント阻害剤のバイオマーカー探索。
第 36 回日本バイオセラピー学会学術集会総会：東京，2023，[座長]

【先端医療開発科がん早期臨床開発部】

1. 古川孝広
T R・臨床薬理 1 (基礎医学)
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市
+Web 開催，2023，[司会]
2. 古川孝広，Krop, I. E., Meric- Bernstam, F., Tolcher, A. W., 向原徹, Lisberg, A., 清水俊雄, Hamilton, E. P., Spira, A. I., Papandopoulos, K. P., Greenberg, J., Gu, W., 小林史明, Zebger-Gong, H., 川崎結衣, Wog, R., Bardia, A.
ダトポタマブデルクステカンの第 1 相試験：TROPION-PanTumor01 における進行・転移性トリプルネガティブ乳癌コホート結果アップデート。
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市
+Web 開催，2023，[Mini Oral Session]
3. 古川孝広，Meric- Bernstam, F., Krop, I. E., Juric, D., Hamilton, E. P., Spira, A. I., 向原徹, 角田卓也, Damodaran, S., Greenberg, J., Gu, w., 小林史明, Zebger-Gong, H.
ダトポタマブデルクステカンの第 1 相試験：TROPION-PanTumor01 における進行・転移性ホルモン陽性 HER2 陰性乳癌コホート結果。
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市
+Web 開催，2023，[口述発表]
4. 古川孝広，関順彦
乳腺 3 (バイオマーカー)。
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市
+Web 開催，2023，[司会]
5. 古川孝広，宮脇英里子，宮本一平，尾崎由記範，小野麻紀子，林直美，高野利実，上野貴之，高橋俊二，北野滋久
当院におけるゲノム時代の乳がん早期薬剤開発インフラ整備。
第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web 開催，2023，[ポスター発表]
6. 古川孝広，須藤一起，松本光史，下村昭彦，Dauki, A., Zhang, D., 岩堀有希，Gary, D., Huynh, D., 内藤陽一
ASCENT-J02：日本人固形癌患者を対象としたサシツズマブ ゴビテカンの第 1/2 相試験。

第 61 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2023，[口述発表]

【先端医療開発科がんゲノム医療開発部】

1. 上野貴之
HER2 陰性乳癌術後薬物療法のポイントを整理する：リムパーザの使いどころ。
第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web 開催，2023，[ランチョンセミナー]
2. 上野貴之
Current status of the cancer whole genome project and the future of cancer medicine：がん全ゲノムプロジェクトの現状とがん医療の未来 全ゲノム解析等実行計画における患者還元。
第 82 回日本癌学会学術総会：横浜市，2023，[座長]
3. 上野貴之，深田一平，森誠一
Return of the whole genome information to patients under the Action Plan for Whole Genome Analysis：全ゲノム解析等実行計画における患者還元。
第 82 回日本癌学会学術総会：横浜市，2023，[シンポジウム]
4. 上野貴之
拡がる BRACAnalysis：特殊検査から一般検査の時代へ。
第 61 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2023，[司会]

【ゲノム診療部】

1. 山崎真澄，深田一平，林直美，細永真理，王曉斐，植木有紗，清谷一馬，外岡暁子，竹内賢吾，森誠一，高橋俊二
がん研有明病院におけるがん遺伝子パネル後の薬剤到達率について。
第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 ++Web 開催，2023，[ポスター発表]
2. 林直美，深田一平，細永真理，王曉斐，山崎真澄，植木有紗，清谷一馬，外岡暁子，竹内賢吾，森誠一，高橋俊二
当院におけるがん遺伝子パネル検査。

第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催，2023，[ポスター発表]

3. 深田一平，林直美，細永真理，山崎真澄，王曉斐，植木有紗，清谷一馬，外岡暁子，竹内賢吾，森誠一，高橋俊二

保険診療下におけるがん遺伝子パネル検査が患者の予後に与える影響．

第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催，2023，[ポスター発表]

4. 高橋俊二

甲状腺癌における Patient Journey、及び臓器横断的な固形腫瘍における遺伝子検査．

第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市 +Web 開催，2023，[司会]

5. 深田一平，上野貴之

がん全ゲノム情報等の患者還元および新たな治療等の創出を通じた高度化がんプレジジョン医療の取組と課題．

第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web 開催，2023，[シンポジウム]

6. 山崎真澄

What' s the Neighborhood Do ? A Quality Strategy for all Stakeholders、Perspectives of Medical Institutions (Clinical Study Coordinator) ．

第 20 回 DIA 日本年会：東京，2023，[口述発表]

【医療情報部】

1. 小口正彦

がんゲノム診療のための AI ホスピタル：統合がんデータベース構築．

ゲノム医療推進研究会：東京，2023，[口述発表]

2. 上田和彦

低線量 CT 検診普及のために必要な環境整備．

第 30 回日本 CT 検診学会学術集会：熊本市 +Web 開催，2023，[シンポジウム]

3. 小口正彦

How to close the cancer care gap with In-

formation Technology：がん医療格差を情報技術で埋める．

第 82 回日本癌学会学術総会：神戸市，2023，[シンポジウム]

4. 小口正彦

統合がん臨床データベースと AI ホスピタル：がん研究会での取り組み．

第 48 回甲信放射線医学研究会 領域講習：松本市，2023，[領域講習]

5. 小口正彦

RWD 利活用を通じて肺癌治療における ICI の適正使用を考える：臨床医の視点．

第 43 回医療情報学連合大会 / 第 24 回日本医療情報学会学術大会：神戸市，2023，[座長]

6. 鈴木一洋

AMED 革新的がん医療実用化研究事業における臨床情報自動収集の取り組み．

第 43 回医療情報学連合大会 / 第 24 回日本医療情報学会学術大会：神戸市，2023，[ワークショップ]

7. 鈴木一洋，笠原あや菜，大浜隆雅，渡邊一間，原田将希，池畑拓実，熊谷宗久，小口正彦

FHIR を利用した「病理検体トレーサビリティ情報記録システム」の開発．

第 43 回医療情報学連合大会 / 第 24 回日本医療情報学会学術大会：神戸市，2023，[口述発表]

8. 高橋輝，鈴木一洋，川上和宜，舘合慶一，森祐佳，中野泰寛，根本真記，庄司大悟，清水久範，小口正彦

術前中止薬情報確認システムの開発と薬剤師による入院前面談での活用．

第 43 回医療情報学連合大会 / 第 24 回日本医療情報学会学術大会：神戸市，2023，[口述発表]

9. 鈴木一洋

業務に最適なアプリ開発の基盤と標準化の関係：がん研有明病院における FHIR を活用したアプリ開発．

第 9 回岩手医療情報研究会：盛岡市，2023，[口述発表]

【脳腫瘍外科】

1. 宮北康二
ニーズとサポート .
第 1 回脳腫瘍支持療法研究会：東京，2023，[座長]
2. 宮北康二
中枢神経系原発悪性リンパ腫の治療、進歩と課題：脳神経外科医の視点から .
第 63 回日本リンパ網内系学会・総会 / 第 26 回日本血液病理研究会：さいたま市 +Web 開催，2023，[スポンサーセミナー]
3. 宮北康二
脳神経（手術、放射線）
第 61 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2023，[座長]
4. 大村朋子，ほか
膠芽腫患者の終末期医療の実際と COVID-19 での変化 .
第 41 回日本脳腫瘍学会学術集会：新発田市，2023，[ポスター発表]
5. 宮北康二，ほか
中枢神経系外再発をきたした中枢神経系原発悪性リンパ腫（PCNSL）の検討 .
第 41 回日本脳腫瘍学会学術集会：新発田市，2023，[ポスター発表]

【病理部】

1. 北濱圭一郎，重松康之，大本晃弘，菅原江美子，
亜森グランバル，竹内賢吾，稲村健太郎
膀胱小細胞癌 11 例の臨床病理学的検討
第 112 回日本病理学会総会：下関市，2023，
[口述発表]
2. 小山慧，二宮浩範，文敏景，西尾誠人，後藤明輝，竹内賢吾
甲状腺乳頭癌との鑑別を要した morule-like components を有する肺腺癌の一例
第 112 回日本病理学会総会：下関市，2023，
[ポスター発表]
3. 山下享子
骨軟部腫瘍病理診断の新展開 .

- 第 112 回日本病理学会総会：下関市，2023，
[座長]
4. 山下享子
脂肪性腫瘍の新規分類と診断
第 112 回日本病理学会総会：下関市，2023，
[ワークショップ]
5. 河内洋
RhoGAP fusion 早期胃癌の臨床病理学的意義
第 112 回日本病理学会総会：下関市，2023，
[ワークショップ]
6. 田中一仁，重松康之，亜森グランバル，北濱圭一郎，
神田浩明，高澤豊，竹内賢吾，稲村健太郎
肝臓における Oncostatin M 発現の臨床病理学的意義
第 112 回日本病理学会総会：下関市，2023，
[口述発表]
7. 秋谷昌史，大迫智，國分優美，上野貴之，大野真司，竹内賢吾
他臓器がん乳癌転移の臨床病理学的特徴
第 112 回日本病理学会総会：下関市，2023，
[口述発表]
8. 菅原江美子，重松康之，亜森グランバル，竹内賢吾，稲村健太郎
Papillary renal neoplasm with reverse polarity5 例の臨床病理学的検討
第 112 回日本病理学会総会：下関市，2023，
[口述発表]
9. 秋谷昌史，國分優美，坂井威彦，上野貴之，大野真司，大迫智
他臓器がん乳癌転移の臨床病理学的特徴および診断上の注意点
第 31 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 +Web 開催，2023，[ポスター発表]
10. 井上典仁，竹内賢吾
食道周囲に大きな腫瘤を形成したリンパ腫の一例
第 63 回日本リンパ網内系学会・総会 / 第 26 回日本血液病理研究会：さいたま市 +Web 開催，2023，[講演]

11. 外岡暁子, 次富亮輔, 柳谷典子, 宝来威, 山崎奈緒子, 藤山淳三, 阿部仁, 杉山裕子, 二宮浩範, 竹内賢吾
KIF5B-RET 融合遺伝子を有する肺癌の腹膜転移の診断に FISH 法が有用であった 1 例.
第 64 回日本臨床細胞学会総会春期大会: 名古屋市, 2023, [ポスター発表]
12. 大迫智
わくわくしながら診断した極めて稀な乳腺軟部腫瘍.
第 64 回日本臨床細胞学会総会春期大会: 名古屋市, 2023, [シンポジウム]
13. 後藤啓介
皮膚腫瘍病理診断 update:2023 年 WHO 分類に基づいて: 皮膚附属器腫瘍.
第 122 回日本皮膚科学会総会: 横浜市, 2023, [教育講演]
14. 山下享子, 植野映子, 谷澤泰介, 阿江啓介, 松本誠一, 蛭田啓之
左肩巨大軟部腫瘍.
第 56 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会 東京, 2023, [口述発表]
15. 山下享子
ゲノム可視化技術が拓くゲノム病理学.
第 19 回日本病理学会カンファレンス: 函館市, 2023, [講演]
16. 杉田佳祐, 大西威一郎, 倉田盛人
間接的 CRISPR screening を用いた細胞間相互作用により誘導される薬剤耐性関連分子の解析.
第 19 回日本病理学会カンファレンス: 函館市, 2023, [ポスター発表]
17. 後藤啓介
概念が再定義された皮膚腫瘍について.
第 39 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会: 名古屋市, 2023, [シンポジウム]
18. 山下享子
C 骨・軟部腫瘍.
2023 年日本病理学会小児腫瘍組織分類小委員会症例検討会: さいたま市, 2023, [座長]
19. 河内洋
大腸早期病変の病理診断アップデート 2023.
第 41 回広島早期大腸癌研究会: 広島市, 2023, [特別講演]
20. 重松康之, 亜森グランバル, 神田浩明, 高橋祐, 高澤豊, 竹内賢吾, 稲村健太郎
MHC class I loss is associated with biliary/progenitor cell features and “cold” tumor-immune microenvironment in HCC: 肝細胞癌における腫瘍の MHC class I 発現消失は腫瘍細胞の胆管 / 前駆細胞形質と非炎症性の免疫微小環境と関係している.
第 82 回日本癌学会学術総会: 横浜市, 2023, [ポスター発表]
21. 山下享子
骨軟部腫瘍の新しい疾患概念.
第 11 回千葉県骨軟部腫瘍症例研究会: Web 開催, 2023, [教育講演]
22. 千葉知宏
甲状腺 WHO 分類第 5 版の考え方と使い方.
第 99 回日本病理学会関東支部会学術集会: Web 開催, 2023, [特別講演]
23. 二宮浩範
呼吸器 3.
第 62 回日本臨床細胞学会秋期大会: 福岡市, 2023, [座長]
24. 二宮浩範
癌関連遺伝子 2.
第 64 回日本肺癌学会学術集会: 千葉市, 2023, [座長]
25. 杉田佳祐, 有馬秀紀, 田中道雄, 熊谷二郎
急速に鉄過剰心筋症が進行した脱水型遺伝性有口赤血球症の一部検例.
第 69 回日本病理学会秋期特別総会: 久留米市, 2023, [ポスター発表]
26. 千葉知宏
甲状腺腫瘍の遺伝子異常.
第 51 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会: 東京 +Web 開催, 2023, [講演]

27. 河内洋
MMR タンパク免疫組織化学検査：いまさら訊けない4つの問いに答える。
第57回日本婦人科病理学会学術集会：東京+Web開催，2023，[スイーツセミナー]
28. 山下享子，植野映子，阿江啓介，松本誠一，國枝純子，蛭田啓之，町並陸生，石田剛
右恥骨腫瘍。
第70回日本骨軟部腫瘍研究会：金沢市，2023，[口述発表]
29. 杉田佳祐，二宮浩範，稲村健太郎，竹内賢吾，松浦陽介，内堀健，柳谷典子，奥村栄，文敏景，西尾誠人
Gefitinib + Ramucirumab 療法による4年間のSD後サルベージ手術を行った肺腺癌の1例。
第197回日本肺癌学会関東支部学術集会：東京，2023，[口述発表]

【医療品質改善部】

1. 望月俊明，青木智恵子，尾崎由記範，浅田政幸，関口陽子，伊達督史，鈴木一洋，根本真記，西田尚美
医療品質改善部の立ち上げから院内大会開催までの取り組み報告。
第18回医療の質・安全学会学術集会：神戸市，2023，[ポスター発表]

10. 雑誌・単行本発表業績

【呼吸器内科】

1. Amino, Y., Low, S. K., Ninomiya, H., Kiritani, A., Miyadera, K., Kakuto, S., Akita, T., Tsugitomi, R., Ariyasu, R., Uchibori, K., Kitazono, S., Yanagitani, N., Nishio, M.
Clinical characteristics of patients with KRAS mutation detected by liquid biopsy.
Thorac. Cancer, 2023. 14 (33) : 3317-3322
2. Ariyasu, R., Kakuto, S., Miyadera, K., Akita, T., Kiritani, A., Tsugitomi, R., Amino, Y., Uchibori, K., Kitazono, S., Yanagitani, N., Nishio, M.
Real-world outcome analysis of patients with stage IV NSCLC treated with tyrosine kinase and immune checkpoint inhibitors.
JTO Clin. Res. Rep., 2023. 4 (6) : 100524
3. Assaf, Z. J. F., Zou, W., Fine, A. D., Socinski, M. A., Young, A., Lipson, D., Freidin, J. F., Kennedy, M., Polisecki, E., Nishio, M., Fabrizio, D., Oxnard, G. R., Cummings, C., Rode, A., Reck, M., Patil, N. S., Lee, M., Shames, D. S., Schulze, K.
A longitudinal circulating tumor DNA-based model associated with survival in metastatic non-small-cell lung cancer.
Nat. Med., 2023. 29 (4) : 859-868
4. Borghaei, H., Ciuleanu, T. E., Lee, J. S., Pluzanski, A., Bernabe Caro, R., Gutierrez, M., Ohe, Y., Nishio, M., Goldman, J., Ready, N., Spigel, D. R., Ramalingam, S. S., Paz-Ares, L. G., Gainor, J. F., Ahmed, S., Reck, M., Maio, M., O' Byrne, K. J., Memaj, A., Nathan, F., Tran, P., Hellmann, M. D., Brahmer, J. R.
Long-term survival with first-line nivolumab plus ipilimumab in patients with advanced non-small cell lung cancer: A pooled analysis.
Ann. Oncol., 2023. 34 (2) : 173-185
5. Brahmer, J. R., Lee, J. S., Ciuleanu, T. E., Caro, R. B., Nishio, M., Urban, L., Audigier-Valette, C., Lupinacci, L., Sangha, R., Pluzanski, A., Burgers, J., Mahave, M., Ahmed, S., Schoenfeld, A. J., Paz-Ares, L. G., Reck, M., Borghaei, H., O' Byrne, K. J., Gupta, R. G., Bushong, J., Li, L., Blum, S. I., Eccles, L. J., Ramalingam, S. S.
Five-year survival outcomes with nivolumab plus ipilimumab versus chemotherapy as first-line treatment for metastatic non-small cell lung cancer in CheckMate 227.
J. Clin. Oncol., 2023. 41 (6) : 1200-1212
6. Fujiwara, Y., Makihara, R., Hase, T., Hashimoto, N., Naito, T., Tsubata, Y., Okuno, T., Takahashi, T., Kobayashi, H., Shinno, Y., Zenke, Y., Ikeda, T., Hosomi, Y., Watanabe, K., Kitazono, S., Sakiyama, N., Makino, Y., Yamamoto, N.
Pharmacokinetic and dose-finding study of osimertinib in patients with impaired renal function and low body weight.
Cancer Sci., 2023. 114 (5) : 2087-2097
7. Garon, E. B., Reck, M., Nishio, K., Heymach, J. V., Nishio, M., Novello, S., Paz-Ares, L., Popat, S., Aix, S. P., Graham, H., Butts, B. D., Visseren-Grul, C., Nakagawa, K.
Ramucirumab plus erlotinib versus placebo plus erlotinib in previously untreated EGFR-mutated metastatic non-small-cell lung cancer (RELAY) : exploratory analysis of next-generation sequencing results.
ESMO Open, 2023. 8 (4) : 101580
8. Goto, K., Shiraishi, Y., Murakami, H., Horinouchi, H., Toyozawa, R., Takeda, M., Uno, M., Crawford, N., McGill, J., Jimbo, T., Ishigami, M., Takayama, G., Nakayama, S., Ohwada, S., Nishio, M.
Phase 1 study of DS-1205c combined with gefitinib for EGFR mutation-positive non-small cell lung cancer.

9. Goto, Y., Kenmotsu, H., Tamiya, M., Murakami, S., Kurata, T., Yanagitani, N., Taniguchi, H., Kuyama, S., Shimizu, J., Yokoyama, T., Shimada, N., Maeda, T., Tamiya, A., Uchiyama, A., Imaizumi, K., Takahama, T., Kato, T., Hayashi, H., Shiraiwa, N., Toyozumi, S., Kikkawa, H., Thomaïdou, D., Nishio, M.
A retrospective, multicenter, observational study to evaluate clinical outcomes of lorlatinib after alectinib in patients with ALK-positive NSCLC in Japan.
JTO Clin. Res. Rep., 2023. 4 (5) : 100508
10. Hasegawa, T., Ariyasu, R., Tanaka, H., Saito, R., Kawashima, Y., Horiike, A., Sakatani, T., Tozuka, T., Shiihara, J., Saiki, M., Tambo, Y., Sonoda, T., Miyazaki, A., Uematsu, S., Tsuchiya-Kawano, Y., Yanagitani, N., Nishino, M.
Subsequent treatment for locally advanced non-small-cell lung cancer that progressed after definitive chemoradiotherapy and consolidation therapy with durvalumab: A multicenter retrospective analysis (TOPGAN 2021-02) .
Cancer Chemother. Pharmacol., 2023. 92 (1) : 29-37
11. Hashimoto, K., Ariyasu, R., Ichinose, J., Matsuura, Y., Nakao, M., Amino, Y., Uchibori, K., Kitazono, S., Yanagitani, N., Okumura, S., Nishio, M., Mun, M.
Advances in the treatment of postoperative recurrence of non-small cell lung cancer and their impact on survival in Asian patients.
J. Thorac. Cardiovasc. Surg., 2023. 165(4): 1565-1574
12. Hayashi, H., Teraoka, S., Goto, Y., Kumagai, T., Nishio, M., Sugawara, S., Oizumi, S., Matsumura, M., Okura, M., Peltz, G., Kato, T.
First-line lorlatinib versus crizotinib in ALK-positive NSCLC: Japanese subgroup analysis of CROWN.
JTO Clin. Res. Rep., 2023. 4 (4) : 100471
13. Hayashi, H., Nishio, M., Takahashi, M., Tsuchiya, H., Kasahara-Kiritani, M.
Real-world data about treatment outcomes for patients with EGFR-mutated NSCLC resistance to osimertinib and platinum-based chemotherapy.
Adv. Ther., 2023. 40 (10) : 4545-4560
14. Kim, H. R., Sugawara, S., Lee, J. S., Kang, J. H., Inui, N., Hida, T., Lee, K. H., Yoshida, T., Tanaka, H., Yang, C. T., Nishio, M., Ohe, Y., Tamura, T., Yamamoto, N., Yu, C. J., Akamatsu, H., Takahashi, S., Nakagawa, K.
First-line nivolumab, paclitaxel, carboplatin, and bevacizumab for advanced non-squamous non-small cell lung cancer: Updated survival analysis of the ONO-4538-52/TASUKI-52 randomized controlled trial.
Cancer Med., 2023. 12 (16) : 17061-17067
15. Kondo, N., Utsumi, T., Shimizu, Y., Takemoto, A., Oh-Hara, T., Uchibori, K., Subat-Motoshi, S., Ninomiya, H., Takeuchi, K., Nishio, M., Miyazaki, Y., Katayama, R.
MIG6 loss confers resistance to ALK/ROS1 inhibitors in NSCLC through EGFR activation by low-dose EGF.
JCI insight, 2023. 8 (24) : e173688
16. Miura, S., Nishio, M., Akamatsu, H., Goto, Y., Hayashi, H., Gemma, A., Yoshino, I., Misumi, T., Hata, A., Hataji, O., Fujita, K., Seike, M., Yanagitani, N., Nishino, K., Hara, S., Saito, R., Mori, M., Tsuda, T., Iwasawa, S., Nakagawa, S., Mitsudomi, T.
Effectiveness and safety of atezolizumab monotherapy in previously treated Japanese patients with unresectable advanced or recurrent NSCLC: A multicenter, prospective, observational study (J-TAIL) .
JTO Clin. Res. Rep., 2023. 4 (3) : 100484

17. Nakamura, A., Yamaguchi, O., Mori, K., Miura, K., Tamiya, M., Oba, T., Yanagitani, N., Mizutani, H., Ninomiya, T., Kajiwar, T., Ito, K., Miyana, A., Arai, D., Kodama, H., Kobayashi, K., Kaira, K.
Multicentre real-world data of ramucirumab plus docetaxel after combined platinum-based chemotherapy with programmed death-1 blockade in advanced non-small cell lung cancer: NEJ051 (REACTIVE study) .
Eur. J. Cancer, 2023. 184: 62-72
18. Nakayama, I., Shinozaki, E., Kawachi, H., Sasaki, T., Yunokawa, M., Tomomatsu, J., Yuasa, T., Kitazono, S., Kobayashi, K., Hayakawa, K., Ueki, A., Takahashi, S., Yamaguchi, K.
Implementation of microsatellite instability testing for the assessment of solid tumors in clinical practice.
Cancer Med., 2023. 12 (7) : 7932-7940
19. Nishio, M., Atagi, S., Goto, K., Hosomi, Y., Seto, T., Hida, T., Nakagawa, K., Yoshioka, H., Nogami, N., Maemondo, M., Nagase, S., Okamoto, I., Yamamoto, N., Igawa, Y., Tajima, K., Fukuoka, M., Yamamoto, N., Nishio, K.
Biomarker analysis of the phase II JO25567 study comparing erlotinib with or without bevacizumab in first-line advanced EGFR+non-small-cell lung cancer.
Transl. Lung Cancer Res., 2023. 12 (6) : 1167-1184
20. Nishio, M., Ohe, Y., Ikeda, S., Yokoyama, T., Hayashi, H., Fukuhara, T., Sato, Y., Tanaka, H., Hotta, K., Sugawara, S., Daga, H., Okamoto, I., Kasahara, K., Naito, T., Li, L., Gupta, R. G., Bushong, J., Mizutani, H.
Correction to: First-line nivolumab plus ipilimumab in metastatic non-small cell lung cancer: 5-year outcomes in Japanese patients from CheckMate 227 Part 1.
Int. J. Clin. Oncol., 2023. 28 (10) : 1369-1370
21. Nishio, M., Ohe, Y., Ikeda, S., Yokoyama, T., Hayashi, H., Fukuhara, T., Sato, Y., Tanaka, H., Hotta, K., Sugawara, S., Daga, H., Okamoto, I., Kasahara, K., Naito, T., Li, L., Gupta, R. G., Bushong, J., Mizutani, H.
First-line nivolumab plus ipilimumab in metastatic non-small cell lung cancer: 5-year outcomes in Japanese patients from CheckMate 227 Part 1.
Int. J. Clin. Oncol., 2023. 28 (10) : 1354-1368
22. Nishio, K., Sakai, K., Nishio, M., Seto, T., Visseren-Grul, C., Carlsen, M., Matsui, T., Enatsu, S., Nakagawa, K.
Impact of ramucirumab plus erlotinib on circulating cell-free DNA from patients with untreated metastatic non-small cell lung cancer with EGFR-activating mutations (RELAY phase 3 randomized study) .
Transl. Lung Cancer Res., 2023. 12 (8) : 1702-1716
23. Nishio, M., Paz-Ares, L., Reck, M., Nakagawa, K., Garon, E. B., Popat, S., Ceccarelli, M., Graham, H. T., Visseren-Grul, C., Novello, S.
RELAY, ramucirumab plus erlotinib (RAM+ERL) in untreated metastatic EGFR-mutant NSCLC (EGFR+ NSCLC) : Association between TP53 status and clinical outcome.
Clin. Lung Cancer, 2023. 24 (5) : 415-428
24. Ogusu, S., Harutani, Y., Tozuka, T., Saito, R., Koyama, J., Sakamoto, H., Sonoda, T., Tsuchiya-Kawano, Y., Oba, T., Kudo, K., Gytoku, H., Nakatomi, K., Ariyasu, R.
Second-line immunosuppressant administration for steroid-refractory immune-related adverse events in patients with lung cancer.
Cancer Immunol. Immunother., 2023. 72 (11) : 3765-3772

25. Planchard, D., Jänne, P. A., Cheng, Y., Yang, J. C., Yanagitani, N., Kim, S. W., Sugawara, S., Yu, Y., Fan, Y., Geater, S. L., Laktionov, K., Lee, C. K., Valdiviezo, N., Ahmed, S., Maurel, J. M., Andrasina, I., Goldman, J., Ghiorghiu, D., Rukazenzov, Y., Todd, A., Kobayashi, K.
Osimertinib with or without chemotherapy in EGFR-mutated advanced NSCLC.
N. Engl. J. Med., 2023. 389 (21) : 1935-1948
26. Reck, M., Ciuleanu, T. E., Lee, J. S., Schenker, M., Zurawski, B., Kim, S. W., Mahave, M., Alexandru, A., Peters, S., Pluzanski, A., Caro, R. B., Linardou, H., Burgers, J. A., Nishio, M., Martinez-Marti, A., Azuma, K., Axelrod, R., Paz-Ares, L. G., Ramalingam, S. S., Borghaei, H., O' Byrne, K. J., Li, L., Bushong, J., Gupta, R. G., Grootendorst, D. J., Eccles, L. J., Brahmer, J. R.
Systemic and intracranial outcomes with first-line nivolumab plus ipilimumab in patients with metastatic NSCLC and baseline brain metastases from CheckMate 227 Part 1.
J. Thorac. Oncol., 2023. 18 (8) : 1055-1069
27. Shimizu, T., Sands, J., Yoh, K., Spira, A., Garon, E. B., Kitazono, S., Johnson, M. L., Meric-Bernstam, F., Tolcher, A. W., Yamamoto, N., Greenberg, J., Kawasaki, Y., Zebger-Gong, H., Kobayashi, F., Phillips, P., Lisberg, A. E., Heist, R. S.
First-in-human, phase I dose-escalation and dose-expansion study of trophoblast cell-surface antigen 2-directed antibody-drug conjugate datopotamab deruxtecan in non-small-cell lung cancer: TROPION-pantumor01.
J. Clin. Oncol., 2023. 41 (29) : 4678-4687
28. Socinski, M. A., Jotte, R. M., Cappuzzo, F., Nishio, M., Mok, T. S. K., Reck, M., Finley, G. G., Kaul, M. D., Yu, W., Paranthaman, N., Bara, I., West, H. J.
Association of immune-related adverse events with efficacy of atezolizumab in patients with non-small cell lung cancer: Pooled analyses of the phase 3 IMpower130, IMpower132, and IMpower150 randomized clinical trials.
JAMA Oncol., 2023. 9 (4) : 527-535
29. Sugawara, S., Kondo, M., Yokoyama, T., Kumagai, T., Nishio, M., Goto, K., Nakagawa, K., Seto, T., Yamamoto, N., Kudou, K., Asato, T., Zhang, P., Ohe, Y.
Correction to: Brigatinib in Japanese patients with tyrosine kinase inhibitor-naïve ALK-positive non-small cell lung cancer: First results from the phase 2 J-ALTA study.
Int. J. Clin. Oncol., 2023. 28 (5) : 724-725
30. Sugawara, S., Tanaka, K., Imamura, F., Yamamoto, N., Nishio, M., Okishio, K., Hirashima, T., Tanaka, H., Fukuhara, T., Nakahara, Y., Kurata, T., Katakami, N., Okada, M., Horinouchi, H., Udagawa, H., Kasahara, K., Satouchi, M., Saka, H., Tokito, T., Hosomi, Y., Aoe, K., Kishi, K., Ohashi, K., Yokoyama, T., Adachi, N., Noguchi, K., Schwarzenberger, P., Kato, T.
Pembrolizumab plus chemotherapy in Japanese patients with metastatic squamous non-small-cell lung cancer in KEYNOTE-407.
Cancer Sci., 2023. 114 (8) : 3330-3341
31. Takahashi, T., Nishio, M., Nishino, K., Yoshiki, Y., Shiraiwa, N., Emir, B., Iadeluca, L., Yatabe, Y., Nishio, K.
Real-world study of next-generation sequencing diagnostic biomarker testing for patients with lung cancer in Japan.
Cancer Sci., 2023. 114 (6) : 2524-2533
32. Tozuka, T., Yanagitani, N., Yoshida, H., Manabe, R., Ogusu, S., Tsugitomi, R., Sakamoto, H., Amino, Y., Ariyasu, R., Uchibori, K., Kitazono, S., Seike, M., Gemma, A., Nishio, M.

Soluble interleukin-2 receptor as a predictive biomarker for poor efficacy of combination treatment with anti-PD-1/PD-L1 antibodies and chemotherapy in non-small cell lung cancer patients.

Invest. New Drugs., 2023. 41 (3) : 411-420

33. Uematsu, S., Kitazono, S., Tanaka, H., Saito, R., Kawashima, Y., Ohyanagi, F., Tozuka, T., Ryosuke, T., Sakatani, T., Horiike, A., Yoshizawa, T., Saiki, M., Tambo, Y., Koyama, J., Kanazu, M., Kudo, K., Tsuchiya-Kawano, Y., Yanagitani, N., Nishio, M. Clinical efficacy of amrubicin in patients with small cell lung cancer relapse after first-line treatment including immune checkpoint inhibitors: A retrospective multicenter study (TOPGAN 2021-01) . Thorac. Cancer, 2023. 14 (2) : 168-176

34. Yoshida, T., Kumagai, T., Toyozawa, R., Katayama, R., Nishio, M., Seto, T., Goto, K., Yamamoto, N., Ohe, Y., Kudou, K., Asato, T., Zhang, P., Nakagawa, K. Brigatinib in Japanese patients with ALK-positive non-small-cell lung cancer: Final results of the phase 2 J-ALTA trial. Cancer Sci., 2023. 114 (9) : 3698-3707

35. Zhou, C., Tang, K. J., Cho, B. C., Liu, B., Paz-Ares, L., Cheng, S., Kitazono, S., Thiagarajan, M., Goldman, J. W., Sabari, J. K., Sanborn, R. E., Mansfield, A. S., Hung, J. Y., Boyer, M., Popat, S., Mourão Dias, J., Felip, E., Majem, M., Gumus, M., Kim, S. W., Ono, A., Xie, J., Bhattacharya, A., Agrawal, T., Shreeve, S. M., Knoblauch, R. E., Park, K., Girard, N. Amivantamab plus chemotherapy in NSCLC with EGFR exon 20 insertions. N. Engl. J. Med., 2023. 389 (22) : 2039-2051

36. 柳谷典子
肺癌診療ガイドライン 2022 年版を読み解く : 薬物治療を中心に : V 期非小細胞肺癌における

薬物療法 : ALK 融合遺伝子陽性 .

呼吸器内科, 2023. 44 (4) : 418-423

37. 次富亮輔, 柳谷典子

5. 単発の骨転移の治療方法について教えて下さい .

肺癌診療 Q&A : 一つ上を行く診療の実践 第 4 版 (弦間昭彦編集), 東京, 中外医学社 : pp.505-508, 2023

【呼吸器外科】

1. Hashimoto, K., Ariyasu, R., Ichinose, J., Matsuura, Y., Nakao, M., Amino, Y., Uchibori, K., Kitazono, S., Yanagitani, N., Okumura, S., Nishio, M., Mun, M. Advances in the treatment of postoperative recurrence of non-small cell lung cancer and their impact on survival in Asian patients. J. Thorac. Cardiovasc. Surg., 2023. 165(4): 1565-1574
2. Ichinose, J., Hashimoto, K., Matsuura, Y., Nakao, M., Okumura, S., Mun, M. Initial perioperative outcomes of robot-assisted thoracoscopic lobectomy using a confronting setting. Surg. Today, 2023. 53 (9) : 1073-1080
3. Ichinose, J., Yamamoto, H., Aokage, K., Kondo, H., Sato, Y., Suzuki, K., Chida, M. Real-world perioperative outcomes of segmentectomy versus lobectomy for early-stage lung cancer: A propensity score-matched analysis. Eur. J. Cardiothorac. Surg., 2023. 63 (1) : ezac529
4. Ichinose, J., Hashimoto, K., Matsuura, Y., Nakao, M., Okumura, S., Mun, M. Risk factors for bronchopleural fistula after lobectomy for lung cancer. J. Thorac. Dis., 2023. 15 (6) : 3330-3338
5. Matsuura, Y., Mun, M., Shintani, Y., Okami, J., Ito, H., Ohtsuka, T., Mori, T., Watanabe, S. I., Chida, M., Endo, S., Nakanishi, R., Ka-

- dokura, M., Suzuki, H., Miyaoka, E., Yoshino, I., Date, H.
Features of anaplastic lymphoma kinase rearrangement in early-stage lung cancer: Analysis of a nationwide Japanese database.
J. Surg. Oncol., 2023. 128 (5) : 916-924
6. Matsuura, Y.
Precise identification of the intersegmental plane for lung cancer segmentectomy.
Transl. Cancer Res., 2023. 12 (2) : 213-216
 7. Mimae, T., Saji, H., Nakamura, H., Okumura, N., Tsuchida, M., Sonobe, M., Miyazaki, T., Aokage, K., Nakao, M., Haruki, T., Okada, M., Suzuki, K., Yoshino, I.
Sublobar resection for non-small cell lung cancer in octogenarians: A prospective, multicenter study.
Ann. Thorac. Surg., 2023. 116 (3) : 543-551
 8. Mun, M., Nakao, M., Matsuura, Y., Ichinose, J.
Prognostic difference between each T3 descriptor in T3N0-3M0 non-small-cell lung cancer.
Eur. J. Cardiothorac. Surg., 2023. 63 (3) : eza037
 9. Nakao, M., Terauchi, T., Oikado, K., Sato, Y., Hashimoto, K., Ichinose, J., Matsuura, Y., Okumura, S., Ninomiya, H., Mun, M.
Distinct prognostic impact of PET findings based on radiological appearance in clinical stage IA lung adenocarcinoma.
Clin. Lung Cancer, 2023. 24 (2) : 107-113
 10. Nobori, Y., Anraku, M., Yamauchi, Y., Mun, M., Yoshino, I., Nakajima, J., Ikeda, N., Matsuguma, H., Iwata, T., Shintani, Y., Nakayama, M., Oyama, T., Chida, M., Kuroda, H., Hashimoto, H., Azuma, Y., Funai, K., Endoh, M., Uemura, Y., Kawamura, M.
Risk-adjusted hazard analysis of survival after pulmonary metastasectomy for uterine malignancies in 319 cases.
JTCVS open, 2023. 13: 411-422
 11. Omura, K., Murakami, Y., Hashimoto, K., Takahashi, H., Suzuki, R., Yoshioka, Y., Oguchi, M., Ichinose, J., Matsuura, Y., Nakao, M., Okumura, S., Mun, M.
Detection of EGFR mutations in early-stage lung adenocarcinoma by machine learning-based radiomics.
Transl. Cancer Res., 2023. 12 (4) : 837-847
 12. Ozawa, H., Matsuura, Y., Hashimoto, K., Ichinose, J., Nakao, M., Okumura, S., Mun, M.
Prognostication using the Japanese risk calculator for lung cancer surgery.
Clin. Lung Cancer, 2023. 24 (8) : 743-752.e2
 13. Sato, Y., Ishiyama, M., Nakano, S., Nakao, M., Mun, M., Ninomiya, H., Terauchi, T., Oikado, K.
Ringlike peripheral increased iodine concentration for the differentiation of primary lung cancer and pulmonary metastases on contrast-enhanced dual-energy CT.
Am. J. Roentgenol., 2023. 220 (6) : 828-837
 14. Takeda, T., Sasaki, T., Ichinose, J., Inoue, Y., Okamoto, T., Mie, T., Furukawa, T., Kasuga, A., Oba, A., Matsuura, Y., Nakao, M., Ozaka, M., Mun, M., Takahashi, Y., Sasahira, N.
Outcomes of lung oligometastasis in pancreatic cancer.
Jpn. J. Clin. Oncol., 2023. 53 (12) : 1144-1152
 15. Tamagawa, S., Hashimoto, K., Ichinose, J., Matsuura, Y., Nakao, M., Okumura, S., Satoh, Y., Mun, M.
Phrenic nerve interposition in a completely

portal robotic thymectomy.
JTCVS Tech., 2023. 20: 182-185

16. Yamauchi, Y., Nakajima, J., Mun, M., Shintani, Y., Kuroda, H., Iwata, T., Endo, M., Azuma, Y., Chida, M., Sakao, Y., Yoshino, I., Ikeda, N., Matsuguma, H., Funai, K., Hashimoto, H., Kawamura, M., On Behalf of The Metastatic Lung Tumor Study Group of Japan.
Survival after lung metastasectomy from esophageal cancer: Results from a multi-institutional database.
Cancers (Basel) , 2023. 15 (5) : 1472
17. Zhu, S., Xu, W., Li, Z., Wu, W., Brunelli, A., Matsuura, Y., Maurizi, G., Tosi, D., Bouabdallah, I., Gossot, D., Chen, L.
Branching patterns and variations of the bronchus and blood vessels in the superior segment of the right lower lobe: A three-dimensional computed tomographic bronchography and angiography study.
J. Thorac. Dis., 2023. 15 (12) : 6879-6888
18. 中尾将之, 文敏景
未来の専門医を育てる! : がん研究会有明病院呼吸器外科における修練医の手術教育.
胸部外科, 2023. 76 (13) : 1122-1125
19. 橋本浩平, 大村兼志郎, 岩本直也, 玉川達, 山道亮, 小澤広輝, 近藤泰人, 一瀬淳二, 松浦陽介, 中尾将之, 奥村栄, 文敏景
CTデータに基づいた軟性3D気道モデルを利用した気管気管支再建術トレーニングおよび個別化シミュレーションプログラムの開発.
日本外科学会雑誌, 2023. 124 (1) : 118-121

【食道外科】

1. Aoki, Y., Inoue, Y., Sasahira, N., Ono, M., Inamura, K., Kataoka, A., Takano, T., Kanao, H., Watanabe, M.
Primary ovarian insufficiency associated with lenvatinib therapy in a patient with

hepatocellular carcinoma: A case report.
Oncol. Lett., 2023. 26 (4) : 450

2. Bao, C., Tourdot, R. W., Brunette, G. J., Stewart, C., Sun, L., Baba, H., Watanabe, M., Agoston, A. T., Jajoo, K., Davison, J. M., Nason, K. S., Getz, G., Wang, K. K., Imamura, Y., Odze, R., Bass, A. J., Stachler, M. D., Zhang, C. Z.
Genomic signatures of past and present chromosomal instability in Barrett's esophagus and early esophageal adenocarcinoma.
Nat. Commun., 2023. 14 (1) : 6203
3. Hori, S., Imamura, Y., Kanie, Y., Okamura, A., Kanamori, J., Watanabe, M.
Early postoperative hyperglycemia as a predictor of postoperative infectious complications and overall survival in non-diabetic patients with esophageal cancer.
J. Gastrointest. Surg., 2023. 27 (12) : 2743-2751
4. Kanie, Y., Okamura, A., Tomizuka, K., Uchiyama, T., Kanamori, J., Imamura, Y., Ebata, T., Watanabe, M.
ASO author reflections: Periodontal inflamed surface area predicts postoperative pneumonia after esophagectomy.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (13) : 8280-8281
5. Kanie, Y., Okamura, A., Tomizuka, K., Uchiyama, T., Kanamori, J., Imamura, Y., Ebata, T., Watanabe, M.
ASO visual abstract: Quantitative evaluation of periodontitis for predicting the occurrence of postoperative pneumonia after oncologic esophagectomy.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (13) : 8285-8286
6. Kanie, Y., Okamura, A., Kanamori, J., Imamura, Y., Kamiyama, R., Seto, A., Shimbashi, W., Sasaki, T., Fukushima, H., Mitani, H., Watanabe, M.

Postoperative complications following pharyngolaryngectomy with total esophagectomy: Comparison between cervical and anterior mediastinal tracheostomy.

Ann. Otol. Rhinol. Laryngol., 2023. 132(7): 770-776

7. Kanie, Y., Okamura, A., Tomizuka, K., Uchiyama, T., Kanamori, J., Imamura, Y., Ebata, T., Watanabe, M.
Quantitative evaluation of periodontitis for predicting the occurrence of postoperative pneumonia after oncologic esophagectomy. Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (13) : 8216-8222
8. Kosumi, K., Baba, Y., Yamamura, K., Nomoto, D., Okadome, K., Yagi, T., Toihata, T., Kiyozumi, Y., Harada, K., Eto, K., Sawayama, H., Ishimoto, T., Iwatsuki, M., Iwagami, S., Miyamoto, Y., Yoshida, N., Watanabe, M., Baba, H.
Intratour Fusobacterium nucleatum and immune response to oesophageal cancer. Br. J. Cancer., 2023. 126 (6) : 1155-1165
9. Kuriyama, K., Okamura, A., Kanie, Y., Maruyama, S., Sakamoto, K., Kanamori, J., Imamura, Y., Watanabe, M.
McKeown versus Ivor-Lewis esophagectomy for patients with a history of total pharyngolaryngectomy: A comparison study. World J. Surg., 2023. 47 (10) : 2479-2487
10. Maruyama, S., Okamura, A., Kanie, Y., Kuriyama, K., Sakamoto, K., Kanamori, J., Imamura, Y., Watanabe, M.
Prognostic significance of circulating basophil counts in patients who underwent esophagectomy for esophageal cancer. Langenbecks Arch. Surg., 2023. 408 (1) : 235
11. Matsuda, S., Irino, T., Okamura, A., Mayanagi, S., Booka, E., Takeuchi, M., Kawakubo, H., Takeuchi, H., Watanabe, M., Kitagawa, Y.

ASO author reflections: Preoperative prediction of pathological complete response using deep neural network after neoadjuvant chemotherapy in esophageal cancer patients.

Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (12) : 7509-7510

12. Matsuda, S., Irino, T., Okamura, A., Mayanagi, S., Booka, E., Takeuchi, M., Kawakubo, H., Takeuchi, H., Watanabe, M., Kitagawa, Y.
Endoscopic evaluation of pathological complete response using deep neural network in esophageal cancer patients who received neoadjuvant chemotherapy-multicenter retrospective study from four Japanese esophageal centers. Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (12) : 7472-7480
13. Matsuda, S., Kitagawa, Y., Kawakubo, H., Okui, J., Okamura, A., Takemura, R., Muto, M., Kakeji, Y., Takeuchi, H., Watanabe, M., Doki, Y.
A nationwide validation of the prognostic impact of pathological response and the distribution of recurrence patterns in responders after neoadjuvant chemotherapy for esophageal squamous cell carcinoma. Esophagus, 2023. 20 (2) : 205-214
14. Matsuda, S., Kitagawa, Y., Okui, J., Okamura, A., Kawakubo, H., Takemura, R., Muto, M., Kakeji, Y., Takeuchi, H., Watanabe, M., Doki, Y.
Nationwide validation study of the prognostic significance of stratification using pathological stage and response to neoadjuvant chemotherapy for esophageal squamous cell carcinoma. Ann. Surg., 2023. 278 (2) : e234-e239
15. Matsuda, S., Kitagawa, Y., Okui, J., Okamura, A., Kawakubo, H., Takemura, R., Muto, M., Kakeji, Y., Takeuchi, H., Watanabe, M., Doki, Y.

Old age and intense chemotherapy exacerbate negative prognostic impact of postoperative complication on survival in patients with esophageal cancer who received neoadjuvant therapy: A nationwide study from 85 Japanese esophageal centers.
Esophagus, 2023. 20 (3) : 445-454

16. Matsuda, S., Kitagawa, Y., Okui, J., Okamura, A., Kawakubo, H., Takemura, R., Kono, K., Muto, M., Kakeji, Y., Takeuchi, H., Watanabe, M., Doki, Y.
Prognostic impact of endoscopic response evaluation after neoadjuvant chemotherapy for esophageal squamous cell carcinoma: A nationwide validation study.
Esophagus, 2023. 20 (3) : 455-464

17. Matsuda, S., Kitagawa, Y., Takemura, R., Okui, J., Okamura, A., Kawakubo, H., Muto, M., Kakeji, Y., Takeuchi, H., Watanabe, M., Doki, Y.
Real-world evaluation of the efficacy of neoadjuvant DCF over CF in esophageal squamous cell carcinoma: Propensity score matched analysis from 85 authorized institutes for esophageal cancer in Japan.
Ann. Surg., 2023. 278 (1) : e35-e42

18. Minatoya, K., Sato, Y., Toh, Y., Abe, T., Endo, S., Hirata, Y., Ishida, M., Iwata, H., Kamei, T., Kawaharada, N., Kawamoto, S., Kohno, K., Kumamaru, H., Matsumiya, G., Motomura, N., Nakahara, R., Okada, M., Saji, H., Saito, A., Shimizu, H., Suzuki, K., Takemura, H., Taketani, T., Takeuchi, H., Tatsuishi, W., Yamamoto, H., Yasuda, T., Watanabe, M., Yoshimura, N., Tsuchida, M., Sawa, Y.
Thoracic and cardiovascular surgeries in Japan during 2019 : Annual report by the Japanese Association for Thoracic Surgery.
Gen. Thorac. Cardiovasc. Surg., 2023. 71 (10) : 595-628

19. Morita, Y., Yoshio, T., Nakano, K., Shim-bashi, W., Imamura, Y.

Emergent endoscopic submucosal dissection for a polypoid fibroadipose tumor accidentally disgorged from the mouth: An organ-preserving minimally invasive treatment.

VideoGIE, 2023. 8 (2) : 50-52

20. Okamura, A., Watanabe, M., Okui, J., Matsuda, S., Takemura, R., Kawakubo, H., Takeuchi, H., Muto, M., Kakeji, Y., Kitagawa, Y., Doki, Y.
ASO author reflections: Prediction of the response to neoadjuvant therapy by patients with esophageal squamous cell carcinoma.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (4) : 2186-2187
21. Okamura, A., Watanabe, M., Okui, J., Matsuda, S., Takemura, R., Kawakubo, H., Takeuchi, H., Muto, M., Kakeji, Y., Kitagawa, Y., Doki, Y.
ASO visual abstract: Development and validation of a predictive model of therapeutic effect in patients with esophageal squamous cell carcinoma who received neoadjuvant treatment: A nationwide, retrospective study in Japan.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (4) : 2188-2189
22. Okamura, A., Watanabe, M., Okui, J., Matsuda, S., Takemura, R., Kawakubo, H., Takeuchi, H., Muto, M., Kakeji, Y., Kitagawa, Y., Doki, Y.
Development and validation of a predictive model of therapeutic effect in patients with esophageal squamous cell carcinoma who received neoadjuvant treatment: A nationwide retrospective study in Japan.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (4) : 2176-2185
23. Okamura, A., Endo, H., Watanabe, M., Yamamoto, H., Kikuchi, H., Kanaji, S., Toh, Y., Kakeji, Y., Doki, Y., Kitagawa, Y.

- Influence of patient position in thoracoscopic esophagectomy on postoperative pneumonia: A comparative analysis from the National Clinical Database in Japan. *Esophagus*, 2023. 20 (1) : 48-54
24. Okamura, A., Watanabe, M., Okui, J., Matsuda, S., Takemura, R., Kawakubo, H., Takeuchi, H., Muto, M., Kakeji, Y., Kitagawa, Y., Doki, Y.
Neoadjuvant chemotherapy or neoadjuvant chemoradiotherapy for patients with esophageal squamous cell carcinoma: Real-world data comparison from a Japanese nationwide study.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (9) : 5885-5894
 25. Okamura, A., Watanabe, M., Okui, J., Matsuda, S., Takemura, R., Kawakubo, H., Takeuchi, H., Muto, M., Kakeji, Y., Kitagawa, Y., Doki, Y.
Risk prediction of esophageal squamous cell carcinoma recurrence in patients who underwent esophagectomy after receiving neoadjuvant treatment: A nationwide retrospective study in Japan.
Esophagus, 2023. 20 (3) : 465-473
 26. Ooki, A., Osumi, H., Chin, K., Watanabe, M., Yamaguchi, K.
Potent molecular-targeted therapies for advanced esophageal squamous cell carcinoma.
Ther. Adv. Med. Oncol., 2023. 15: 17588359221138377
 27. Oshikiri, T., Numasaki, H., Oguma, J., Toh, Y., Watanabe, M., Muto, M., Kakeji, Y., Doki, Y.
ASO author reflections: Preservation of the thoracic duct is feasible for esophageal squamous cell carcinoma patients treated with esophagectomy after neoadjuvant chemoradiotherapy.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (5) : 2699-2700
 28. Oshikiri, T., Numasaki, H., Oguma, J., Toh, Y., Watanabe, M., Muto, M., Kakeji, Y., Doki, Y.
ASO visual abstract: Is thoracic duct resection necessary for esophageal squamous cell carcinoma patients treated with neoadjuvant chemoradiotherapy? A propensity-matched analysis based on the comprehensive registry of esophageal cancer in Japan.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (5) : 2701-2702
 29. Oshikiri, T., Numasaki, H., Oguma, J., Toh, Y., Watanabe, M., Muto, M., Kakeji, Y., Doki, Y.
Is thoracic duct resection necessary for esophageal squamous cell carcinoma patients treated with neoadjuvant chemoradiotherapy? A propensity-matched analysis based on the comprehensive registry of esophageal cancer in Japan.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (5) : 2691-2698
 30. Saito, Y., Hamamoto, Y., Hirata, K., Yamasaki, M., Watanabe, M., Abe, T., Tsubosa, Y., Hamai, Y., Murakami, K., Bamba, T., Yoshii, T., Tsuda, M., Watanabe, M., Ueno, M., Kitagawa, Y.
Real-world management and outcomes of older patients with locally advanced esophageal squamous cell carcinoma: A multi-center retrospective study.
BMC Cancer, 2023. 23 (1) : 283
 31. Shimozaki, K., Shinozaki, E., Yamamoto, N., Imamura, Y., Osumi, H., Nakayama, I., Wakatsuki, T., Ooki, A., Takahari, D., Ogura, M., Chin, K., Watanabe, M., Yamaguchi, K.
KRAS mutation as a predictor of insufficient trastuzumab efficacy and poor prognosis in HER2-positive advanced gastric cancer.
J. Cancer Res. Clin. Oncol., 2023. 149 (3) : 1273-1283

32. Watanabe, M., Toh, Y., Ishihara, R., Kono, K., Matsubara, H., Miyazaki, T., Morita, M., Murakami, K., Muro, K., Numasaki, H., Oyama, T., Saeki, H., Tanaka, K., Tsushima, T., Ueno, M., Uno, T., Yoshio, T., Usune, S., Takahashi, A., Miyata, H.
Comprehensive registry of esophageal cancer in Japan, 2015.
Esophagus, 2023. 20 (1) : 1-28
33. Watanabe, M., Kuriyama, K., Terayama, M., Okamura, A., Kanamori, J., Imamura, Y.
Robotic-assisted esophagectomy: Current situation and future perspectives.
Ann. Thorac. Cardiovasc. Surg., 2023. 29 (4) : 168-176
34. Yoshida, N., Eto, K., Matsumoto, T., Kosumi, K., Imamura, Y., Iwatsuki, M., Baba, Y., Miyamoto, Y., Watanabe, M., Baba, H.
Omental flap wrapping around the esophagogastric anastomosis and association with anastomotic leak in esophagectomy for esophageal cancer: A propensity score-matching analysis.
J. Am. Coll. Surg., 2023. 236 (1) : 189-197
35. 栗山健吾, 金森淳, 寺山仁祥, 高橋直規, 田村真弘, 岡村明彦, 今村裕, 渡邊雅之
ハイボリュームセンターのオペ記事 (消化管癌編) 食道癌: 胸腔鏡手術のオペ記事: 手術内容記載からデータベース構築まで.
臨床外科, 2023. 78 (13) : 1432-1436
36. 渡邊雅之
20 進行食道癌に対する集学的治療.
消化器外科専門医の心得 (上) 2023 年度版 (日本消化器外科学会編集, 消化器外科専門医テキスト制作委員監修), 東京, 日本消化器外科学会 : pp.280-284, 2023
37. 渡邊雅之
イラスト×写真で機能・検査・疾患・治療・ケアのギモンが解決! 解剖生理からみちびく消化器ケア Q&A108: (1 章) 食道の解剖生理・疾患・検査・治療・ケア: 治療・ケア (Q13): 食道切除術ではどこを切除する?
消化器ナーシング, 2023 (2023 春季増刊) : 38-39
38. 渡邊雅之
イラスト×写真で機能・検査・疾患・治療・ケアのギモンが解決! 解剖生理からみちびく消化器ケア Q&A108: (1 章) 食道の解剖生理・疾患・検査・治療・ケア: 治療・ケア (Q14) 食道切除後の再建方法は?
消化器ナーシング, 2023 (2023 春季増刊) : 40-41
39. 渡邊雅之
イラスト×写真で機能・検査・疾患・治療・ケアのギモンが解決! 解剖生理からみちびく消化器ケア Q&A108: (1 章) 食道の解剖生理・疾患・検査・治療・ケア: 治療・ケア (Q15) 食道がん手術後の合併症にはどのようなものがある?
消化器ナーシング, 2023 (2023 春季増刊) : 42-43
40. 渡邊雅之
イラスト×写真で機能・検査・疾患・治療・ケアのギモンが解決! 解剖生理からみちびく消化器ケア Q&A108: (1 章) 食道の解剖生理・疾患・検査・治療・ケア: 治療・ケア (Q16) 食道がん手術後の退院指導では何に気を付ける?
消化器ナーシング, 2023 (2023 春季増刊) : 44-45
41. 渡邊雅之, 林隆一
シンポジウム 5「頭頸部癌・食道癌の合併症対策」司会者のまとめ.
日本気管食道学会会報, 2023. 74 (2) : 112
42. 渡邊雅之, 栗山健吾, 坂本啓, 蟹江恭和, 丸山傑, 岡村明彦, 金森淳, 今村裕
食道再建のすべて: 食道再建における吻合方法.
消化器外科, 2023. 46 (2) : 157-165
43. 湯田匡美, 松本晶, 谷島雄一郎, 矢野文章, 西川勝則, 渡邊雅之
外科手術と感染症: 総論: 術前咽頭培養の意義 術後感染性合併症との関連.
外科, 2023. 85 (5) : 484-488

44. 熊谷厚志, 岡村明彦, 小野嘉大
代謝領域: 内科医として知っておくべき栄養に関する最新の知識: 消化器がん患者の術後栄養療法.
日本内科学会雑誌, 2023. 112 (4) : 648-653

【胃外科】

1. Akiyama, Y., Katai, H., Kitabayashi, R., Nunobe, S., Koeda, K., Yura, M., Sato, Y., Yoshikawa, T., Terashima, M.
Frequency of lymph node metastasis according to tumor location in clinical T1 early gastric cancer: supplementary analysis of the Japan Clinical Oncology Group study (JCOG0912) .
J. Gastroenterol., 2023. 58 (6) : 519-526
2. Etoh, T., Ohyama, T., Sakuramoto, S., Tsuji, T., Lee, S. W., Yoshida, K., Koeda, K., Hiki, N., Kunisaki, C., Tokunaga, M., Otsubo, D., Takagane, A., Misawa, K., Kinoshita, T., Cho, H., Doki, Y., Nunobe, S., Shiraishi, N., Kitano, S.
Five-year survival outcomes of laparoscopy-assisted vs open distal gastrectomy for advanced gastric cancer: The JLSSG0901 randomized clinical trial.
JAMA Surg., 2023. 158 (5) : 445-454
3. Harada, H., Hayami, M., Makuuchi, R., Ida, S., Kumagai, K., Ohashi, M., Nunobe, S.
A sandwiching method that simplifies hepatic left lateral segment inversion to secure an optimal surgical view around the esophageal hiatus in laparoscopic and robotic gastrectomy for upper gastric and esophagogastric junction cancers.
Langenbecks Arch. Surg., 2023. 408 (1) : 159
4. Hashimoto, T., Nakayama, I., Ohashi, M., Mizusawa, J., Kawachi, H., Kita, R., Fukuda, H., Kurokawa, Y., Boku, N., Yoshikawa, T., Terashima, M.
Randomized phase II study comparing

neoadjuvant 5-fluorouracil/oxaliplatin/docetaxel versus docetaxel/oxaliplatin/S-1 for patients with type 4 or large type 3 gastric cancer.
Future Oncol., 2023. 19 (32) : 2147-2155

5. Ito, S., Sano, T., Mizusawa, J., Tokunaga, M., Hashimoto, T., Imamura, H., Teshima, S., Nihei, K., Yamada, M., Choda, Y., Imamura, K., Hato, S., Terashima, M., Sasako, M.
Identifying risk factors of complications following total gastrectomy for gastric cancer: Comparison between splenectomy and spleen-preserving surgery: Supplementary analysis of JCOG0110.
Dig. Surg., 2023. 40 (3-4) : 114-120
6. Kano, Y., Ohashi, M., Nunobe, S.
Laparoscopic function-preserving gastrectomy for proximal gastric cancer or esophagogastric junction cancer: A narrative review.
Cancers (Basel) , 2023. 15 (1) : 311
7. Kodera, Y., Yoshida, K., Kochi, M., Sano, T., Ichikawa, W., Kakeji, Y., Sunakawa, Y., Takeuchi, M., Fujii, M.
Addition of docetaxel to S-1 results in significantly superior 5-year survival outcomes in Stage III gastric cancer: A final report of the JACCRO GC-07 study.
Gastric Cancer, 2023. 26 (6) : 1063-1068
8. Koterazawa, Y., Ohashi, M., Hayami, M., Makuuchi, R., Ida, S., Kumagai, K., Sano, T., Nunobe, S.
Oncological impact of unexpected horizontal tumor spread in gastric cancer that requires total gastrectomy.
Gastric Cancer, 2023. 26 (5) : 823-832
9. Koterazawa, Y., Ohashi, M., Hayami, M., Makuuchi, R., Ida, S., Kumagai, K., Sano, T., Nunobe, S.
Required esophageal resection length beyond the tumor boundary to ensure a neg-

- ative proximal margin for gastric cancer with gross esophageal invasion or esophagogastric junction cancer.
Gastric Cancer, 2023. 26 (3) : 451-459
10. Kumagai, K., Nunobe, S., Hiki, N., Hayami, M., Ishizuka, N., Ida, S., Makuuchi, R., Jiang, X., Ohashi, M., Sano, T.
Anatomical position of the pancreas as a risk factor for pancreatic fistula after laparoscopic gastrectomy for gastric cancer.
World J. Surg., 2023. 47 (7) : 1744-1751
 11. Makuuchi, R., Terashima, M., Terada, M., Mizusawa, J., Kita, R., Tokunaga, M., Omori, T., Ojima, T., Ehara, K., Watanabe, M., Yanagimoto, Y., Nunobe, S., Kinoshita, T., Ito, S., Nishida, Y., Hihara, J., Boku, N., Kurokawa, Y., Yoshikawa, T.
Randomized controlled phase III trial to investigate superiority of robot-assisted gastrectomy over laparoscopic gastrectomy for clinical stage T1-4aN0-3 gastric cancer patients (JCOG1907, MONA LISA study) : A study protocol.
BMC Cancer, 2023. 23 (1) : 987
 12. Matsui, R., Inaki, N., Tsuji, T., Fukunaga, T.
Association of GLIM defined malnutrition according to preoperative chronic inflammation with long-term prognosis after gastrectomy in patients with advanced gastric cancer.
J. Clin. Med., 2023. 12 (4) : 1579
 13. Matsui, R., Rifu, K., Watanabe, J., Inaki, N., Fukunaga, T.
Impact of malnutrition as defined by the GLIM criteria on treatment outcomes in patients with cancer: A systematic review and meta-analysis.
Clin. Nutr., 2023. 42 (5) : 615-624
 14. Matsui, R., Inaki, N., Tsuji, T., Fukunaga, T.
Impact of sex-specific preoperative fat mass assessment on long-term prognosis after gastrectomy for gastric cancer.
Cancers (Basel) , 2023. 15 (7) : 2100
 15. Matsui, R., Nunobe, S., Makuuchi, R., Hayami, M., Ida, S., Kumagai, K., Ohashi, M., Sano, T.
Relationship between antithrombotic drugs and postoperative outcomes in patients with gastric cancer after gastrectomy: A propensity matching analysis.
Gastric Cancer, 2023. 26 (5) : 833-842
 16. Oba, A., Maekawa, A., Makuuchi, R., Inoue, Y., Takahashi, Y.
ASO author reflections: Open/robotic-splenic vessels preserving distal pancreatectomy can be a good option for post-distal gastrectomy patients.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (11) : 6682-6683
 17. Oba, A., Maekawa, A., Inoue, Y., Makuuchi, R., Omiya, K., Kobayashi, K., Ono, Y., Sato, T., Ohashi, M., Ito, H., Nunobe, S., Takahashi, Y.
Robotic splenic vessels preserving distal pancreatectomy in a post-distal gastrectomy patient.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (11) : 6680-6681
 18. Otake, R., Kumagai, K., Ohashi, M., Makuuchi, R., Ida, S., Sano, T., Nunobe, S.
ASO author reflections: Severe reflux esophagitis after laparoscopic pylorus-preserving gastrectomy for gastric cancer is associated with male sex, preoperative grade a reflux esophagitis, postoperative BMI of ≥ 23 kg/m², hiatal hernia, and long-term gastric stasis.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (4) : 2304-2305
 19. Otake, R., Kumagai, K., Ohashi, M., Makuuchi, R., Ida, S., Sano, T., Nunobe, S.
ASO visual abstract: Reflux esophagitis after laparoscopic pylorus-preserving gastrectomy for gastric cancer.

- Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (4) : 2306
20. Otake, R., Kumagai, K., Ohashi, M., Makuuchi, R., Ida, S., Sano, T., Nunobe, S.
Reflux esophagitis after laparoscopic pylorus-preserving gastrectomy for gastric cancer.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (4) : 2294-2303
 21. Saeki, S., Kumegawa, K., Takahashi, Y., Yang, L., Osako, T., Yasen, M., Otsuji, K., Miyata, K., Yamakawa, K., Suzuka, J., Sakimoto, Y., Ozaki, Y., Takano, T., Sano, T., Noda, T., Ohno, S., Yao, R., Ueno, T., Maruyama, R.
Transcriptomic intratumor heterogeneity of breast cancer patient-derived organoids may reflect the unique biological features of the tumor of origin.
Breast Cancer Res., 2023. 25 (1) : 21
 22. Söderström, H., Moons, J., Nafteux, P., Uzun, E., Grimminger, P., Luyer, M. D. P., Nieuwenhuijzen, G. A. P., Nilsson, M., Hayami, M., Degisors, S., Piessen, G., Vanommeslaeghe, H., Van Daele, E., Cheong, E., Gutschow, C. A., Vetter, D., Schuring, N., Gisbertz, S. S., Räsänen, J.
ASO visual abstract: Major intraoperative complications during minimally invasive esophagectomy.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (13) : 8294-8295
 23. Söderström, H., Moons, J., Nafteux, P., Uzun, E., Grimminger, P., Luyer, M. D. P., Nieuwenhuijzen, G. A. P., Nilsson, M., Hayami, M., Degisors, S., Piessen, G., Vanommeslaeghe, H., Van Daele, E., Cheong, E., Gutschow, C. A., Vetter, D., Schuring, N., Gisbertz, S. S., Räsänen, J.
Major intraoperative complications during minimally invasive esophagectomy.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (13) : 8244-8250
 24. Terayama, M., Ohashi, M., Ida, S., Hayami, M., Makuuchi, R., Kumagai, K., Sano, T., Nunobe, S.
Advantages of function-preserving gastrectomy for older patients with upper-third early gastric cancer: Maintenance of nutritional status and favorable survival.
J. Gastric. Cancer, 2023. 23 (2) : 303-314
 25. Terayama, M., Ohashi, M., Makuuchi, R., Hayami, M., Ida, S., Kumagai, K., Sano, T., Nunobe, S.
A continuous muscle-sparing advantage of pylorus-preserving gastrectomy for older patients with cT1N0M0 gastric cancer in the middle third of the stomach.
Gastric Cancer, 2023. 26 (1) : 145-154
 26. Terayama, M., Ohashi, M., Ri, M., Makuuchi, R., Hayami, M., Ida, S., Kumagai, K., Sano, T., Nunobe, S.
Long-term impact of sarcopenia in older patients undergoing gastrectomy for gastric cancer: A systematic review and meta-analysis.
Transl. Gastroenterol. Hepatol., 2023. 8: 35
 27. Terayama, M., Kumagai, K., Kawachi, H., Makuuchi, R., Hayami, M., Ida, S., Ohashi, M., Sano, T., Nunobe, S.
Optimal resection of gastric bronchogenic cysts based on anatomical continuity with adherent gastric muscular layer: A case report.
World J. Gastrointest. Surg, 2023. 15 (6) : 1216-1223
 28. Toriumi, T., Terashima, M., Mizusawa, J., Sato, Y., Kurokawa, Y., Takiguchi, S., Doki, Y., Shinohara, H., Teshima, S., Yasuda, T., Ito, S., Yoshikawa, T., Sano, T., Sasako, M.
Recurrence patterns after curative gastrectomy for pStage II/III gastric cancer: Exploratory analysis of the randomized controlled JCOG1001 trial.

- Eur. J. Surg. Oncol., 2023. 49 (4) : 838-844
29. Ueshima, J., Nagano, A., Maeda, K., Enomoto, Y., Kumagai, K., Tsutsumi, R., Higashibeppu, N., Uneno, Y., Kotani, J.
Nutritional counseling for patients with incurable cancer: Systematic review and meta-analysis.
Clin. Nutr., 2023. 42 (2) : 227-234
 30. Yagi, S., Ida, S., Namikawa, K., Hayami, M., Makuuchi, R., Kumagai, K., Ohashi, M., Sano, T., Nunobe, S.
Clinical outcomes of palliative treatment for gastric bleeding from incurable gastric cancer.
Surg. Today, 2023. 53 (3) : 360-368
 31. Yoshikawa, T., Sano, T., Terashima, M., Yamaguchi, K., Bando, E., Kawabata, R., Yabusaki, H., Shinohara, H., Oba, M. S., Kimura, T., Takita, A., Sasako, M.
Incidence and risk factors for venous thromboembolism in the Cancer-VTE Registry stomach cancer subcohort.
Gastric Cancer, 2023. 26 (4) : 493-503
 32. 佐野武
外科手術と感染症：編集にあたって .
外科, 2023. 85 (5) : 414
 33. 佐野武
編集ペン：ポストコロナの学会 .
外科, 2023. 85 (5) : 662
 34. 佐野武
編集ペン：外科医の「自己研鑽」
外科, 2023. 85 (11) : 1262
 35. 吉水祥一, 布部創也, 速水克, 井田智, 石山晃世志, 由雄敏之, 平澤俊明, 藤崎順子
表在性非乳頭部十二指腸上皮性腫：(SNADET)の内視鏡診断と治療：治療：十二指腸 LECS の位置づけと治療成績 .
消化器内視鏡, 2023. 35 (6) : 807-813
 36. 寺山仁祥, 布部創也, 幕内梨恵, 速水克, 井田智, 大橋学
上部消化管良性疾患に対する低侵襲治療戦略：胃粘膜下腫瘍に対する LECS.
手術, 2023. 77 (9) : 1379-1385
 37. 山本森太郎, 布部創也
ハイボリュームセンターのオペ記事《消化管癌編》：胃癌 胃全摘のオペ記事 効率的かつ詳細な手術記事をめざして .
臨床外科, 2023. 78 (13) : 1458-1463
 38. 崔尚仁, 布部創也, 速水克, 幕内梨恵, 井田智, 熊谷厚志, 大橋学, 佐野武
第2章 胃：1 噴門側胃切除術観音開き法再建 .
消化器内視鏡外科手術バイブル：動画で学ぶハイボリュームセンターの手技(宮澤光男, 竹内裕也編集), 東京, 医学書院 : pp.31-36, 2023
 39. 布部創也
16 胃癌に対する幽門保存胃切除術 .
消化器外科専門医の心得(上) 2023 年度版(日本消化器外科学会編集, 消化器外科専門医テキスト制作委員監修), 東京, 日本消化器外科学会 : pp.370-372, 2023
 40. 杉田裕, 布部創也
ロボット手術新時代！：極めよう食道癌・胃癌・大腸癌手術：保険術式：ロボット支援腹腔鏡下噴門側胃切除術 .
臨床外科, 2023. 78 (8) : 952-956
 41. 杉田裕, 布部創也, 幕内梨恵, 速水克, 井田智, 大橋学
必携：ロボット支援下消化器外科手術：基本手技とトラブルシューティング：上部消化管領域：ロボット支援下噴門側胃切除術 .
手術, 2023. 77 (8) : 1129-1134
 42. 東園和哉, 布部創也
内科と外科のコラボレーション手術の今：胃粘膜下腫瘍に対するコラボレーション手術：LECS の 概要：Classical LECS : inverted LECS.
消化器内視鏡, 2023. 35 (11) : 1534-1538

43. 松井亮太
がん周術期栄養管理のいま：ERAS 実践における工夫とその成果：がん患者に対する周術期栄養管理の問題点と今後の展望．
臨床栄養，2023. 143（3）：290-298
44. 松井亮太，布部創也，李基成，幕内梨恵，速水克，大橋学
内視鏡下消化管手術における手術デバイスの使い方 - 腹腔鏡・胸腔鏡手術からロボット支援手術まで：剥離・切離デバイスの適切な選択とその上手な使い方 腹腔鏡下胃癌手術．
手術，2023. 77（12）：1709-1712
45. 松井亮太，布部創也，吉水祥一，幕内梨恵，速水克，大橋学
非乳頭部十二指腸腺腫・癌の診療方針：十二指腸腫瘍に対する LECS．
臨床消化器内科，2023. 38（12）：1541-1548
46. 熊谷厚志，神野和志
世界各国における外科医の教育と地位：ノルウェー / スウェーデンにおける外科医の教育と地位．
外科，2023. 85（7）：797-802
47. 熊谷厚志，岡村明彦，小野嘉大
代謝領域：内科医として知っておくべき栄養に関する最新の知識：消化器がん患者の術後栄養療法．
日本内科学会雑誌，2023. 112（4）：648-653
48. 石田洋樹，布部創也，幕内梨恵，速水克，井田智，熊谷厚志，大橋学
術後 QOL を重視した胃癌手術と再建法：幽門側胃切除：小胃を残す幽門側胃切除術．
臨床外科，2023. 78（5）：574-579
49. 速水克，布部創也
消化器外科における各種デバイスの使い方とピットフォール：上部消化管：ロボット支援下胃切除術におけるエネルギーデバイスの使い方とピットフォール．
外科，2023. 85（4）：338-344

【大腸外科】

1. Akiyoshi, T., Wang, Z., Kaneyasu, T., Gotoh, O., Tanaka, N., Amino, S., Yamamoto, N., Kawachi, H., Mukai, T., Hiyoshi, Y., Nagasaki, T., Yamaguchi, T., Konishi, T., Fukunaga, Y., Noda, T., Mori, S.
Transcriptomic analyses of pretreatment tumor biopsy samples, response to neoadjuvant chemoradiotherapy, and survival in patients with advanced rectal cancer.
JAMA Netw. Open, 2023. 6（1）：e2252140
2. Amano, T., Akiyoshi, T., Furuta, M., Saino, Y., Mukai, T., Hiyoshi, Y., Nagasaki, T., Yamaguchi, T., Kawachi, H., Fukunaga, Y.
Geriatric nutritional risk index after neoadjuvant chemoradiotherapy and survival in older patients with advanced rectal cancer.
Int. J. Colorectal Dis., 2023. 38（1）：119
3. Chan, H. T., Nagayama, S., Otaki, M., Chin, Y. M., Fukunaga, Y., Ueno, M., Nakamura, Y., Low, S. K.
Tumor-informed or tumor-agnostic circulating tumor DNA as a biomarker for risk of recurrence in resected colorectal cancer patients.
Front. Oncol., 2023. 12: 1055968
4. Fujiwara, H., Nagayama, S., Kawachi, H., Nakano, K., Shimizu, Y., Katayama, R., Yao, R., Komai, Y., Hiyoshi, Y., Mukai, T., Yamaguchi, T., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y.
A case of laparoscopically resected rectal neuroendocrine carcinoma and its renal metastasis with a potential sensitivity to inhibitors of FGFR and the Bcl family.
J. Surg., 2023. 8（7）：1759
5. Greijdanus, N. G., Wienholts, K., Ubels, S., Talboom, K., Hannink, G., Wolthuis, A., de Lacy, F. B., Lefevre, J. H., Solomon, M., Frasson, M., Rotholtz, N., Denost, Q., Perez, R. O., Konishi, T., Panis, Y., Rutegård,

- M., Hompes, R., Rosman, C., van Workum, F., Tanis, P. J., de Wilt, J. H. W.
Stoma-free survival after rectal cancer resection with anastomotic leakage: Development and validation of a prediction model in a large international cohort.
Ann. Surg., 2023. 128 (5) : 772-780
6. Hiyoshi, Y., Yamaguchi, T., Matsuura, N., Amano, T., Kozu, T., Mukai, T., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y.
Advantages of the umbilical minilaparotomy-first approach in robotic rectal cancer surgery.
Tech. Coloproctol., 2023. 27 (1) : 71-74
 7. Hiyoshi, Y., Mukai, T., Nagasaki, T., Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y.
ASO author reflections: Rectal neuroendocrine tumors have strong potential for lymph node metastasis in accordance with an increase of risk factors, and lymph node metastasis is associated with a poor prognosis.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (7) : 3954-3955
 8. Hiyoshi, Y., Daitoku, N., Mukai, T., Nagasaki, T., Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Yasue, C., Chino, A., Saito, S., Takamatsu, M., Fukunaga, Y.
ASO visual abstract: Risk factors for lymph node metastasis of rectal neuroendocrine tumor and its prognostic impact: A single-center retrospective analysis of 195 cases with radical resection.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (7) : 3956
 9. Hiyoshi, Y., Sakamoto, T., Mukai, T., Nagasaki, T., Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y.
Inferior versus medial approach in laparoscopic colectomy with complete mesocolic excision and D3 lymphadenectomy for right-sided colon cancer: A propensity-score-matched analysis.
Colorectal Dis., 2023. 25 (1) : 56-65
 10. Hiyoshi, Y., Daitoku, N., Mukai, T., Nagasaki, T., Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Yasue, C., Chino, A., Saito, S., Takamatsu, M., Fukunaga, Y.
Risk factors for lymph node metastasis of rectal neuroendocrine tumor and its prognostic impact: A single-center retrospective analysis of 195 cases with radical resection.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (7) : 3944-3935
 11. Honma, N., Arai, T., Matsuda, Y., Fukunaga, Y., Muramatsu, M., Ikeda, S., Akishima-Fukasawa, Y., Yamamoto, N., Kawachi, H., Ishikawa, Y., Takeuchi, K., Mikami, T.
Estrogen receptor- β gene cytosine-adenine (ESR2-CA) repeat polymorphism in postmenopausal colon cancer.
Int. J. Mol. Sci., 2023. 24 (5) : 4502
 12. Kajiwarra, Y., Oka, S., Tanaka, S., Nakamura, T., Saito, S., Fukunaga, Y., Takamatsu, M., Kawachi, H., Hotta, K., Ikematsu, H., Kojima, M., Saito, Y., Yamada, M., Kanemitsu, Y., Sekine, S., Nagata, S., Yamada, K., Kobayashi, N., Ishihara, S., Saitoh, Y., Matsuda, K., Togashi, K., Komori, K., Ishiguro, M., Kuwai, T., Okuyama, T., Ohuchi, A., Ohnuma, S., Sakamoto, K., Sugai, T., Katsumata, K., Matsushita, H. O., Yamano, H. O., Eda, H., Uraoka, T., Akimoto, N., Kobayashi, H., Ajioka, Y., Sugihara, K., Ueno, H.
Nomogram as a novel predictive tool for lymph node metastasis in T1 colorectal cancer treated with endoscopic resection: A nationwide, multicenter study.
Gastrointest. Endosc., 2023. 97 (6) : 1119-1128
 13. Kasahara, K., Narumi, R., Nagayama, S., Masuda, K., Esaki, T., Obama, K., Tomonaga, T., Sakai, Y., Shimizu, Y., Adachi, J.
A large-scale targeted proteomics of plasma extracellular vesicles shows utility for prognosis prediction subtyping in colorectal cancer.

- Cancer Med., 2023. 12 (6) : 7616-7626
14. Kiyozumi, Y., Yamaguchi, T., Ichikawa, N., Homma, S., Ikeda, K., Inada, R., Otsuka, K., Furutani, A., Iijima, H., Watanabe, M., Taketomi, A., Naitoh, T.
Endoscopic surgical skill qualification system: Propensity-score matched cohort analysis of accredited supervisors in laparoscopic rectal cancer surgery.
Br. J. Surg., 2023. 110 (12) : 1834-1839
 15. Kiyozumi, Y., Nagasaki, T., Matsui, S., Mukai, T., Hiyoshi, Y., Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y.
The evaluation of postoperative bowel dysfunction in Japanese patients with rectal cancer.
Surg. Today, 2023. 53 (5) : 596-604
 16. Kobayashi, Y., Niida, A., Nagayama, S., Saeki, K., Haeno, H., Takahashi, K. K., Hayashi, S., Ozato, Y., Saito, H., Hasegawa, T., Nakamura, H., Tobo, T., Kitagawa, A., Sato, K., Shimizu, D., Hirata, H., Hisamatsu, Y., Toshima, T., Yonemura, Y., Masuda, T., Mizuno, S., Kawazu, M., Kohsaka, S., Ueno, T., Mano, H., Ishihara, S., Uemura, M., Mori, M., Doki, Y., Eguchi, H., Oshima, M., Suzuki, Y., Shibata, T., Mimori, K.
Subclonal accumulation of immune escape mechanisms in microsatellite instability-high colorectal cancers.
Br. J. Cancer, 2023. 129 (7) : 1105-1118
 17. Mori, Y., Ishida, H., Chika, N., Ito, T., Amano, K., Chikatani, K., Takeuchi, Y., Kono, M., Shichijo, S., Chino, A., Nagasaki, T., Takao, A., Takao, M., Nakamori, S., Sasaki, K., Akagi, K., Yamaguchi, T., Tanakaya, K., Naohiro, T., Ajioka, Y.
Usefulness of genotyping APC gene for individualizing management of patients with familial adenomatous polyposis.
Int. J. Clin. Oncol., 2023. 28 (12) : 1641-1650
 18. Mukai, T., Maki, A., Shimizu, H., Kim, H.
The economic burdens of anastomotic leakage for patients undergoing colorectal surgery in Japan.
Asian J. Surg., 2023. 46 (10) : 4323-4329
 19. Nagayama, S., Kobayashi, Y., Fukunaga, M., Sakimura, S., Sugimachi, K., Sasaki, S., Masuda, T., Mafune, K. I., Oshima, M., Shibata, T., Suzuki, Y., Mimori, K.
Mutated genes on ctDNA detecting post-operative recurrence presented reduced neoantigens in primary tumors in colorectal cancer cases.
Sci. Rep., 2023. 13 (1) : 1366
 20. Ota, E., Hiyoshi, Y., Matsuura, N., Ishikawa, K., Fujinami, F., Mukai, T., Yamaguchi, T., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y.
Standardization of preoperative stoma site marking and its utility for preventing stoma leakage: A retrospective study of 519 patients who underwent laparoscopic/robotic rectal cancer surgery.
Tech. Coloproctol., 2023. 27 (12) : 1387-1392
 21. Ozaki, K., Sasaki, K., Abe, H., Nozawa, H., Murono, K., Emoto, S., Ushiku, T., Ishihara, S.
Apoptosis-related prognostic factors in advanced colorectal cancer determined using tissue microarrays.
Anticancer Res., 2023. 43 (9) : 3935-3942
 22. Ozato, Y., Kojima, Y., Kobayashi, Y., Hisamatsu, Y., Toshima, T., Yonemura, Y., Masuda, T., Kagawa, K., Goto, Y., Utou, M., Fukunaga, M., Gamachi, A., Imamura, K., Kuze, Y., Zenkoh, J., Suzuki, A., Niida, A., Hirose, H., Hayashi, S., Koseki, J., Oki, E., Fukuchi, S., Murakami, K., Tobo, T., Nagayama, S., Uemura, M., Sakamoto, T., Oshima, M., Doki, Y., Eguchi, H., Mori, M., Iwasaki, T., Oda, Y., Shibata, T., Suzuki, Y., Shimamura, T., Mimori, K.

Spatial and single-cell transcriptomics decipher the cellular environment containing HLA-G+ cancer cells and SPP1+ macrophages in colorectal cancer.
Cell Rep., 2023. 42 (1) : 111929

23. Piozzi, G. N., Khobragade, K., Aliyev, V., Asoglu, O., Bianchi, P. P., Butiurca, V. O., Chen, W. T., Cheong, J. Y., Choi, G. S., Coratti, A., Denost, Q., Fukunaga, Y., Gorgun, E., Guerra, F., Ito, M., Khan, J. S., Kim, H. J., Kim, J. C., Kinugasa, Y., Konishi, T., Kuo, L. J., Kuzu, M. A., Lefevre, J. H., Liang, J. T., Marks, J., Molnar, C., Panis, Y., Rouanet, P., Rullier, E., Saklani, A., Spinelli, A., Tsarkov, P., Tsukamoto, S., Weiser, M., Kim, S. H.
International standardization and optimization group for intersphincteric resection (ISOG-ISR) : modified Delphi consensus on anatomy, definition, indication, surgical technique, specimen description and functional outcome.
Colorectal Dis., 2023. 25 (9) : 1896-1909
24. Sakurai, T., Yamaguchi, T., Sakamoto, T., Amano, T., Mukai, T., Hiyoshi, Y., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y.
Novel mobilization of the medial approach without changing the position for robotic right hemicolectomy.
Surg. Today, 2023. 53 (11) : 1317-1319
25. Sakurai, T., Yamaguchi, T., Noguchi, T., Sakamoto, T., Mukai, T., Hiyoshi, Y., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y.
Short-term outcomes of intracorporeal versus extracorporeal anastomosis in laparoscopic surgery for right-sided colon cancer: A propensity score-matched study.
Asian J. Endosc. Surg., 2023. 16 (1) : 14-22
26. Sano, S., Akiyoshi, T., Yamamoto, N., Hiyoshi, Y., Mukai, T., Yamaguchi, T., Nagasaki, T., Taketomi, A., Fukunaga, Y., Kawachi, H.
Intratumoral budding and CD8-positive T-cell density in pretreatment biopsies as a predictor of response to neoadjuvant chemoradiotherapy in advanced rectal cancer.
Clin. Colorectal Cancer, 2023. 22 (4) : 411-420.e1
27. Shiota, T., Murata, K., Kishimoto, M., Yao, T., Noura, S., Morita, S., Akiyoshi, T., Okamura, S., Imasato, M., Furuhashi, T., Suto, T., Takemasa, I., Shingai, T., Ueda, M., Mizuno, H., Hisamatsu, Y., Takeda, T., Fujii, M., Kagawa, Y., Sugihara, K.
Clinicopathological features of appendiceal goblet cell adenocarcinoma in Japan: A multicenter retrospective study.
Surg. Today, 2023. 53 (2) : 174-181
28. Tanaka, Y. O., Sugawara, E., Tonooka, A., Saida, T., Sakata, A., Fukunaga, Y., Kanao, H., Satoh, T., Noguchi, M., Terauchi, T.
Mucinous tumors arising from ovarian teratomas as another source of pseudomyxoma peritonei: MR findings comparison with ovarian metastases from appendiceal mucinous tumors.
BJR open, 2023. 5 (1) : 20220036
29. Tate, T., Matsumoto, S., Nemoto, K., Leisegang, M., Nagayama, S., Obama, K., Nakamura, Y., Kiyotani, K.
Identification of T cell receptors targeting a neoantigen derived from recurrently mutated FGFR3.
Cancers (Basel) , 2023. 15 (4) : 1031
30. Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y., Sakamoto, T., Mukai, T., Hiyoshi, Y., Nagasaki, T., Taguchi, S., Chino, A., Shinozaki, E., Yamaguchi, K., Konishi, T.
Adding induction chemotherapy before chemoradiotherapy with total mesorectal excision and selective lateral lymph node dissection for patients with poor-risk, locally advanced, mid-to-low rectal cancer may improve oncologic outcomes: A propensity score-matched analysis.

- Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (8) : 4716-4724
31. Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Konishi, T.
ASO author reflections: Oncological outcomes of adding induction chemotherapy before chemoradiotherapy with total mesorectal excision and selective lateral lymph node dissection in patients with poor-risk, locally advanced rectal cancer.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (8) : 4725-4726
 32. Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y., Sakamoto, T., Mukai, T., Hiyoshi, Y., Nagasaki, T., Taguchi, S., Chino, A., Shinozaki, E., Yamaguchi, K., Konishi, T.
ASO visual abstract: Adding induction chemotherapy before chemoradiotherapy with total mesorectal excision and selective lateral lymph node dissection in patients with poor-risk, locally advanced, mid-to-low rectal cancer may improve oncological outcomes: A propensity score-matched analysis.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (8) : 4727-4728
 33. 坂本貴志, 山口智弘, 櫻井翼, 向井俊貴, 日吉幸晴, 長寄寿矢, 秋吉高志, 福長洋介
ロボット大腸癌手術のすべて: ロボット支援下腹会陰式直腸切断術: 手技と工夫.
消化器外科, 2023. 46 (7) : 761-771
 34. 坂本貴志, 福長洋介, 鈴木桂悟, 斎藤彰一
内科と外科のコラボレーション手術の今: 大腸・肛門病変に対するコラボレーション手術: 大腸LECS, colorectal LECS.
消化器内視鏡, 2023. 35 (11) : 1616-1621
 35. 坂本貴志, 福長洋介
大腸がん: 診断と治療: 大腸がんの外科療法.
ライフライン 21 がんの先進医療, 2023. 50: 19-23
 36. 天野隆皓, 山口智弘, 坂本貴志, 櫻井翼, 向井俊貴, 日吉幸晴, 長寄寿矢, 秋吉高志, 福長洋介
低侵襲内視鏡外科手術の最前線: 大腸: ロボット支援下結腸切除術.
外科, 2023. 85 (3) : 260-267
 37. 山口智弘
手術支援ロボットの進化: 手術支援ロボットの進化と今後の医療への展望.
AL media, 2023. 27 (3) : 1-3
 38. 櫻井翼, 山口智弘
大腸Ⅳ. 大腸手術の一般手技の Knack & Pitfalls : 3. 腔内吻合.
Knack & Pitfalls : 大腸・肛門外科の要点と盲点 第4版 (石原総一郎, 絹笠祐介編集), 東京, 文光堂: pp.120-123, 2023
 39. 櫻井翼, 山口智弘, 向井俊貴, 日吉幸晴, 長寄寿矢, 秋吉高志, 福長洋介
見てわかる! 下部消化管手術における最適な剥離層: 悪性疾患の手術: 腹腔鏡下 (ロボット支援下) 括約筋間直腸切除術 (ISR) における剥離層の選択.
臨床外科, 2023. 78 (9) : 1083-1087
 40. 甲津卓実, 福長洋介, 櫻井翼, 松井信平, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志
ハイボリュームセンターのオペ記事: 消化管癌編: 大腸癌: S 状結腸切除術のオペ記事: テンプレートを用いた簡潔で有用な手術記録の工夫.
臨床外科, 2023. 78 (13) : 1481-1486
 41. 福長洋介, 秋吉高志, 長寄寿矢, 山口智弘, 向井俊貴, 日吉幸晴
イラストで見る消化器癌手術アトラス; 大腸: 直腸癌に対する腹腔鏡下側方リンパ節郭清.
手術, 2023. 77 (6) : 833-839
 42. 秋吉高志
26 後腹膜腫瘍・原発不明癌.
消化器外科専門医の心得 (下) 2023 年度版 (日本消化器外科学会編集, 消化器外科専門医テキスト制作委員監修

東京, 日本消化器外科学会 : pp.595-597, 2023

43. 秋吉高志, 櫻井翼, 松井信平, 向井俊貴, 山口智弘, 福長洋介
誌上ディベート (第 42 回) : 直腸癌に対する予防的側方郭清 : 必要 vs. 不必要 ; 不必要の立場から .
消化器外科, 2023. 46 (11) : 1261-1264
44. 野口竜剛, 山口智弘, 向井俊貴, 日吉幸晴, 長壽寿矢, 秋吉高志
内視鏡下大腸手術における術中トラブル対応と開腹移行 : ロボット支援下低位前方切除術 : 術中トラブル対応と開腹移行 .
手術, 2023. 77 (11) : 1613-1619
45. 野口竜剛, 秋吉高志, 櫻井翼, 松井信平, 向井俊貴, 山口智弘, 福長洋介
大腸 : 直腸癌の術前術後補助化学療法 .
外科, 2023. 85 (10) : 1118-1123

【肝胆膵外科】

1. Aoki, Y., Inoue, Y., Sasahira, N., Ono, M., Inamura, K., Kataoka, A., Takano, T., Kanao, H., Watanabe, M.
Primary ovarian insufficiency associated with lenvatinib therapy in a patient with hepatocellular carcinoma: A case report.
Oncol. Lett., 2023. 26 (4) : 450
2. Gulla, A., Ignatavicius, P., Correa, C., Inoue, Y., Hashimoto, D., Ban, D., Heger, U., Wagner, D., Xie, Q., Shen, P., Michel, A. L., Lerut, J., Del Chiaro, M., Hackert, T., Wolfgang, C. L., He, J., Kingham, P., Pawlik, T. M., Satoi, S., Schemmer, P., Strupas, K., Siriwardena, A. K.
Academic value and impact of continuous global academic learning: The International HPB surgery journal club concept.
HPB (Oxford) , 2023. 25 (8) : 980-982
3. Hashimoto, D., Satoi, S., Fujii, T., Sho, M., He, J., Hackert, T., Del Chiaro, M., Jang, J. Y., Gulla, A., Yoon, Y. S., Shan, Y. S., Lou, W.,

Valente, R., Furuse, J., Oba, A., Nagai, M., Terai, T., Tanaka, H., Sakai, A., Yamamoto, T., Yamaki, S., Matsumoto, I., Murakami, Y., Takaori, K., Takeyama, Y.

Is surgical resection justified for pancreatic ductal adenocarcinoma with distant abdominal organ metastasis? A position paper by experts in pancreatic surgery at the Joint Meeting of the International Association of Pancreatology (IAP) & the Japan Pancreas Society (JPS) 2022 in Kyoto.
Pancreatology, 2023. 23 (6) : 682-688

4. Hata, T., Ito, H.
Biliary parasitic diseases associated with hepatobiliary carcinoma.
Visc. Med., 2023. 39 (3-4) : 71-75
5. Karam, E., Hollenbach, M., Abou Ali, E., Auriemma, F., Anderloni, A., Barbier, L., Belfiori, G., Caillol, F., Crippa, S., Del Chiaro, M., De Ponthaud, C., Dahel, Y., Falconi, M., Giovannini, M., Heling, D., Inoue, Y., Jarnagin, W. R., Leung, G., Lupinacci, R. M., Mariani, A., Masaryk, V., Miksch, R. C., Musquer, N., Napoleon, B., Oba, A., Partelli, S., Petrone, M. C., Prat, F., Repici, A., Sauvanet, A., Salzmann, K., Schattner, M. A., Schulick, R., Schwarz, L., Soares, K., Souche, F. R., Truant, S., Vaillant, J. C., Wang, T., Wedi, E., Werner, J., Weismüller, T. J., Wichmann, D., Will, U., Zaccari, P., Gulla, A., Heise, C., Regner, S., Gaujoux, S.
Endoscopic and surgical management of non-metastatic ampullary neuroendocrine neoplasia: A multi-institutional Pancreas2000/EPC study.
Neuroendocrinology, 2023. 113 (10) : 1024-1034
6. Kato, T., Ono, Y., Oba, A., Sato, T., Ito, H., Inoue, Y., Saiura, A., Takahashi, Y.
Comparison of the clinical efficacy of a new prognostic stratification for duodenal adenocarcinoma with that of TNM staging: The importance of T status with regard to the prognosis.

- Eur. J. Surg. Oncol., 2023. 49 (1) : 122-128
7. Kato, T., Ono, Y., Oba, A., Sato, T., Ito, H., Inoue, Y., Saiura, A., Takahashi, Y.
Treatment strategy of pancreas-sparing distal duodenectomy for distal duodenal malignancies with adjustable dissection levels according to disease progression (with video) .
World J. Surg., 2023. 47 (7) : 1752-1761
 8. Kawano, F., Ito, H., Takahashi, Y.
ASO author reflections: Chasing a microscopic cancer-free margin during resection for perihilar cholangiocarcinoma: Can additional resection improve the long-term outcomes?
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (5) : 3360-3361
 9. Kawano, F., Ito, H., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Inoue, Y., Mise, Y., Saiura, A., Takahashi, Y.
ASO visual abstract: Role of intraoperative assessment of proximal bile duct margin status and additional resection of perihilar cholangiocarcinoma-can local clearance trump tumor biology? A retrospective cohort study.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (6) : 3362
 10. Kawano, F., Ito, H., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Inoue, Y., Mise, Y., Saiura, A., Takahashi, Y.
Role of intraoperative assessment of proximal bile duct margin status and additional resection of perihilar cholangiocarcinoma: Can local clearance trump tumor biology? A retrospective cohort study.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (6) : 3348-3359
 11. Kazami, Y., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Inoue, Y., Saiura, A., Takahashi, Y., Ito, H.
Intraoperative paraaortic lymph node sampling during resection for pancreatic cancer: Evolving role in the modern chemotherapy era.
HPB (Oxford) , 2023. 25 (10) : 1169-1178
 12. Kiritani, S., Oba, A., Inoue, Y., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Takahashi, Y.
ASO author reflections: The jejunum patch technique is effective and easy to use during central pancreatectomy.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (9) : 5763-5764
 13. Kiritani, S., Ono, Y., Takamatsu, M., Yoshio, S., Miyashita, M., Oba, A., Sato, T., Ito, H., Inoue, Y., Saiura, A., Takahashi, Y.
ASO visual abstract: Unique biology of pancreatic ductal adenocarcinoma accompanied by rapidly impaired diabetes: A favorable long-term survival after curative resection.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 31: 1944-1945
 14. Kiritani, S., Oba, A., Inoue, Y., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Takahashi, Y.
Jejunum patch technique during robot-assisted central pancreatectomy: A lesson from open procedure experience.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (9) : 5761-5762
 15. Kitano, Y., Inoue, Y., Takeda, T., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Ozaka, M., Sasaki, T., Sasahira, N., Baba, H., Takahashi, Y.
ASO visual abstract: Clinical efficacy of neoadjuvant chemotherapy with gemcitabine plus S-1 for resectable pancreatic ductal adenocarcinoma compared with upfront surgery.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (8) : 5103-5104
 16. Kitano, Y., Inoue, Y., Takeda, T., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Ozaka, M., Sasaki, T., Sasahira, N., Baba, H., Takahashi, Y.
Clinical efficacy of neoadjuvant chemotherapy with gemcitabine plus S-1 for re-

sectable pancreatic ductal adenocarcinoma compared with upfront surgery.

Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (8) : 5093-5102

17. Kobayashi, K., Ono, Y., Kitano, Y., Oba, A., Sato, T., Ito, H., Mise, Y., Shinozaki, E., Inoue, Y., Yamaguchi, K., Saiura, A., Takahashi, Y.

ASO visual abstract: Prognostic impact of tumor markers (CEA and CA19-9) in patients with resectable colorectal liver metastases stratified by tumor number and size: Potentially valuable biological markers for preoperative treatment.

Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (12) : 7391-7392

18. Kobayashi, K., Inoue, Y., Omiya, K., Sato, S., Kato, T., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Matsueda, K., Saiura, A., Takahashi, Y.

Diagnosis and management of postpancreatectomy hemorrhage: A single-center experience of consecutive 1,096 pancreatoduodenectomies.

Pancreatology, 2023. 23 (3) : 235-244

19. Kobayashi, K., Ono, Y., Sato, S., Kato, T., Oba, A., Sato, T., Ito, H., Inoue, Y., Takamatsu, M., Saiura, A., Takahashi, Y.

Evaluation of local recurrence after pancreaticoduodenectomy for borderline resectable pancreatic head cancer with neoadjuvant chemotherapy: Can the resection level change after chemotherapy?

Surgery, 2023. 173 (5) : 1220-1228

20. Kobayashi, K., Inoue, Y., Kitano, Y., Sato, S., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Mise, Y., Saiura, A., Takahashi, Y.

Optimizing the selection of technically unresectable colorectal liver metastases.

Surgery, 2023. 173 (2) : 442-449

21. Kobayashi, K., Ono, Y., Kitano, Y., Oba, A., Sato, T., Ito, H., Mise, Y., Shinozaki, E., Inoue, Y., Yamaguchi, K., Saiura, A., Takahashi, Y.

Prognostic impact of tumor markers (CEA and CA19-9) on patients with resectable colorectal liver metastases stratified by tumor number and size: Potentially valuable biologic markers for preoperative treatment.

Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (12) : 7338-7347

22. Masugi, Y., Takamatsu, M., Tanaka, M., Hara, K., Inoue, Y., Hamada, T., Suzuki, T., Arita, J., Hirose, Y., Kawaguchi, Y., Nakai, Y., Oba, A., Sasahira, N., Shimane, G., Takeda, T., Tateishi, K., Uemura, S., Fujishiro, M., Hasegawa, K., Kitago, M., Takahashi, Y., Ushiku, T., Takeuchi, K., Sakamoto, M.

Post-operative mortality and recurrence patterns in pancreatic cancer according to KRAS mutation and CDKN2A, p53, and SMAD4 expression.

J. Pathol., 2023. 9 (5) : 339-353

23. Murai, H., Kodama, T., Maesaka, K., Tange, S., Motooka, D., Suzuki, Y., Shigematsu, Y., Inamura, K., Mise, Y., Saiura, A., Ono, Y., Takahashi, Y., Kawasaki, Y., Iino, S., Kobayashi, S., Idogawa, M., Tokino, T., Hashidate-Yoshida, T., Shindou, H., Miyazaki, M., Imai, Y., Tanaka, S., Mita, E., Ohkawa, K., Hikita, H., Sakamori, R., Tatsumi, T., Eguchi, H., Morii, E., Takehara, T.

Multimomics identifies the link between intra-tumor steatosis and the exhausted tumor immune microenvironment in hepatocellular carcinoma.

Hepatology, 2023. 77 (1) : 77-91

24. Nagakawa, Y., Jang, J. Y., Kawai, M., Kim, S. C., Inoue, Y., Yabushita, Y., Heo, J. S., Honda, M., Sugiura, T., Kagawa, S., Hayasaki, A., Kwon, W., Uemura, K., Han, H. S., Sugimoto, M., Ando, Y., Nakamura, M., Wada, K., Kumamoto, Y., Osakae, H., Tsuchida, A., Yoon, Y. S., Park, J. S., Yamae, H., Endo, I.

Surgical outcomes of pancreatectomy with

- resection of the portal vein and/or superior mesenteric vein and jejunal vein for pancreatic head cancer: A multicenter study. *Ann. Surg.*, 2023. 277 (5) : e1081-e1088
25. Nakachi, K., Ikeda, M., Konishi, M., Nomura, S., Katayama, H., Kataoka, T., Todaka, A., Yanagimoto, H., Morinaga, S., Kobayashi, S., Shimada, K., Takahashi, Y., Nakagohri, T., Gotoh, K., Kamata, K., Shimizu, Y., Ueno, M., Ishii, H., Okusaka, T., Furuse, J.
Adjuvant S-1 compared with observation in resected biliary tract cancer (JCOG1202, ASCOT) : A multicentre, open-label, randomised, controlled, phase 3 trial. *Lancet*, 2023. 401 (10372) : 195-203
 26. Nakamura, T., Okada, K. I., Ohtsuka, M., Higuchi, R., Takahashi, H., Nagai, K., Unno, M., Murakami, Y., Oba, A., Tomikawa, M., Kato, A., Horiguchi, A., Nakamura, M., Yagi, S., Satoi, S., Endo, I., Amano, R., Matsumoto, I., Ito, Y. M., Nagakawa, T., Hirano, S. Insights from managing clinical issues in distal pancreatectomy with en bloc coeliac axis resection: experiences from 626 patients. *Br. J. Surg.*, 2023. 110 (10) : 1387-1394
 27. Oba, A., Maekawa, A., Makuuchi, R., Inoue, Y., Takahashi, Y.
ASO author reflections: Open/robotic-splenic vessels preserving distal pancreatectomy can be a good option for post-distal gastrectomy patients. *Ann. Surg. Oncol.*, 2023. 30 (11) : 6682-6683
 28. Oba, A., Del Chiaro, M., Fujii, T., Okano, K., Stoop, T. F., Wu, Y. H. A., Maekawa, A., Yoshida, Y., Hashimoto, D., Sugawara, T., Inoue, Y., Tanabe, M., Sho, M., Sasaki, T., Takahashi, Y., Matsumoto, I., Sasahira, N., Nagakawa, Y., Satoi, S., Schulick, R. D., Yoon, Y. S., He, J., Jang, J. Y., Wolfgang, C. L., Hackert, T., Besselink, M. G., Takaori, K., Takeyama, Y.
"Conversion surgery" for locally advanced pancreatic cancer: A position paper by the study group at the joint meeting of the International Association of Pancreatology (IAP) & Japan Pancreas Society (JPS) 2022. *Pancreatology*, 2023. 23 (6) : 712-720
 29. Oba, A., Maekawa, A., Inoue, Y., Makuuchi, R., Omiya, K., Kobayashi, K., Ono, Y., Sato, T., Ohashi, M., Ito, H., Nunobe, S., Takahashi, Y.
Robotic splenic vessels preserving distal pancreatectomy in a post-distal gastrectomy patient. *Ann. Surg. Oncol.*, 2023. 30 (11) : 6680-6681
 30. Okamoto, T., Sasaki, T., Takahashi, Y., Takamatsu, M., Kanda, H., Hiratsuka, M., Matsuyama, M., Ozaka, M., Sasahira, N.
Perivascular epithelioid cell tumor (PEComa) of the cystic duct. *Clin. J. Gastroenterol.*, 2023. 16 (1) : 87-95
 31. Omiya, K., Oba, A., Inoue, Y., Kobayashi, K., Wu, Y. H. A., Ono, Y., Sato, T., Sasaki, T., Ozaka, M., Sasahira, N., Ito, H., Saiura, A., Takahashi, Y.
Serum DUPAN-2 could be an alternative biological marker for CA19-9 non-secretors with pancreatic cancer. *Ann. Surg.*, 2023. 277 (6) : e1278-e1283
 32. Ono, Y., Inoue, Y., Ito, H., Sasaki, T., Takeda, T., Ozaka, M., Sasahira, N., Hiratsuka, M., Matsueda, K., Oba, A., Sato, T., Saiura, A., Takahashi, Y.
Analysis of prognostic factors for borderline resectable pancreatic cancer after neoadjuvant chemotherapy: The importance of CA19-9 decrease in patients with elevated pre-chemotherapy CA19-9 levels. *HPB (Oxford)* , 2023. 25 (1) : 100-108

33. Ono, Y., Inoue, Y., Kato, T., Kobayashi, K., Takamatsu, M., Atsushi, O., Sato, T., Ito, H., Takahashi, Y.
New approach of circumferential lymph node dissection around the superior mesenteric artery for pancreatic cancer during pancreaticoduodenectomy (with video) .
Langenbecks Arch. Surg., 2023. 408 (1) : 422
34. Sato, S., Oba, A., Kato, T., Kobayashi, K., Wu, Y. H. A., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Inoue, Y., Takahashi, Y.
Feasibility of laparoscopic radical antegrade modular pancreatectomy (RAMPS) as a standard treatment for distal resectable pancreatic cancer.
Langenbecks Arch. Surg., 2023. 408 (1) : 217
35. Sato, T., Inoue, Y., Oba, A., Ono, Y., Ito, H., Takahashi, Y.
Laparoscopic dissection around the superior mesenteric artery by left posterior approach during pancreaticoduodenectomy.
Surg. Endosc., 2023. 37 (11) : 8871-8878
36. Sato, S., Inoue, Y., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Takahashi, Y.
The "Tube Submarine Technique" : A safe and easy technique to place an external drainage tube during hepaticojejunostomy in minimally invasive surgery.
Langenbecks Arch. Surg., 2023. 408 (1) : 117
37. Seki, M., Ninomiya, E., Saiura, A., Takahashi, Y., Inoue, Y., Katori, M., Yamamoto, N., Takamatsu, M., Kato, Y., Yamada, K., Matsueda, K., Ohkura, Y.
Clinicopathological study of surgically treated non-neoplastic diseases of the pancreas with special reference to autoimmune pancreatitis.
Langenbecks Arch. Surg., 2023. 408 (1) : 223
38. Shigematsu, Y., Amori, G., Tanaka, K., Kitahama, K., Kanda, H., Takahashi, Y., Takazawa, Y., Takeuchi, K., Inamura, K.
MHC class I loss is associated with biliary/progenitor cell features and "cold" tumor-immune microenvironment in hepatocellular carcinoma.
Virchows Arch., 2023. 483 (2) : 177-186
39. Takagi, K., Inoue, Y., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Saino, Y., Saiura, A., Takahashi, Y.
Impact of sarcopenia on S1 adjuvant chemotherapy and prognosis in pancreatic cancer patients.
Biosci. Trends, 2023. 17 (4) : 310-317
40. Takahashi, A., Mise, Y., Watanabe, G., Yoshioka, R., Ono, Y., Inoue, Y., Ito, H., Takahashi, Y., Kawasaki, S., Saiura, A.
Radical antegrade modular pancreatectomy enhances local control of the disease in patients with left-sided pancreatic cancer.
HPB (Oxford) , 2023. 25 (1) : 37-44
41. Takeda, T., Sasaki, T., Ichinose, J., Inoue, Y., Okamoto, T., Mie, T., Furukawa, T., Kasuga, A., Oba, A., Matsuura, Y., Nakao, M., Ozaka, M., Mun, M., Takahashi, Y., Sasahira, N.
Outcomes of lung oligometastasis in pancreatic cancer.
Jpn. J. Clin. Oncol., 2023. 53 (12) : 1144-1152
42. Takeda, T., Sasaki, T., Okamoto, T., Kasuga, A., Matsuyama, M., Ozaka, M., Inoue, Y., Takahashi, Y., Saiura, A., Sasahira, N.
Outcomes of pancreatic cancer with liver oligometastasis.
J. Hepatobiliary Pancreat. Sci., 2023. 30 (2) : 229-239
43. Tomimaru, Y., Eguchi, H., Inoue, Y., Nakagawa, Y., Ohba, A., Takami, H., Unno, M., Yamamoto, T., Kawakatsu, S., Hayashi, T., Higuchi, R., Kitagawa, H., Hattori, S., Fu-

- jii, T., Hirooka, Y., Igarashi, H., Kitano, M., Kuroki, T., Masamune, A., Shimizu, Y., Tani, M., Tanno, S., Tsuji, Y., Yamaue, H., Satoi, S., Takeyama, Y.
Impact of S-1 adjuvant chemotherapy longer than 6 months on survival in patients with resected pancreatic cancer: A nationwide survey by the Japan Pancreas Society based on real-world data.
Cancer, 2023. 129 (5) : 728-739
44. Tomimaru, Y., Eguchi, H., Shimomura, Y., Kitamura, T., Inoue, Y., Nagakawa, Y., Ohba, A., Onoe, S., Unno, M., Hashimoto, D., Kawakatsu, S., Hayashi, T., Higuchi, R., Kitagawa, H., Uemura, K., Kimura, Y., Satoi, S., Takeyama, Y.
Standard versus delayed initiation of S-1 adjuvant chemotherapy after surgery for pancreatic cancer: A secondary analysis of a nationwide cohort by the Japan Pancreas Society.
J. Gastroenterol., 2023. 58 (8) : 790-799
45. 井上陽介, 高橋祐
どう見える? どう扱う?: ランドマークを意識した肝臓内視鏡外科手術: ロボット支援下膵頭十二指腸切除における上腸間膜動静脈の取扱い.
手術, 2023. 77 (7) : 1045-1051
46. 伊藤寛倫
IPMN 診療の新知見: 残膵再発.
消化器外科, 2023. 46 (12) : 1327-1330
47. 伊藤寛倫
世界各国における外科医の教育と地位: 米国における外科教育の変遷: 外科レジデンシー今昔.
外科, 2023. 85 (7) : 769-773
48. 北野雄希, 井上陽介, 大宮康次郎, 高橋祐
血管再建を伴う高難度肝胆膵外科手術: 膵癌に対する腹腔動脈合併切除・左胃動脈再建を要する膵体尾部切除術.
外科, 2023. 85 (2) : 187-195
49. 北野雄希, 小野嘉大, 井上陽介, 高橋祐
転移性肝癌を極める: borderline resectable 大腸癌肝転移に対する multidisciplinary approach.
消化器外科, 2023. 46 (3) : 243-247
50. 大庭篤志, 牛田雄太, 井上陽介, 前川彩, 大宮康次郎, 北野雄希, 佐藤彰記, 小林光助, 廣瀬雄己, 小野嘉大, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 佐々木隆, 尾阪将人, 笹平直樹, 高橋祐
膵癌 Conversion Surgery への挑戦: 切除不能膵癌に対する Conversion Surgery の至適タイミング: 予後予測スコアを用いて.
胆と膵, 2023. 44 (2) : 131-136
51. 小林光助, 井上陽介, 小野嘉大, 高橋祐
イラストで見る消化器癌手術アトラス: 外科解剖: 膵頭十二指腸切除術における膵外神経叢郭清に必要な局所解剖.
手術, 2023. 77 (6) : 703-711
52. 小林光助, 井上陽介, 大庭篤志, 小野嘉大, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 高橋祐
肝胆膵外科手術における術中トラブルシューティング: 膵臓・脾臓: 開腹膵切除術における炎症か腫瘍浸潤か判断がむずかしいときの剥離の注意点.
外科, 2023. 85 (8) : 929-935
53. 小野嘉大, 井上陽介, 大庭篤志, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 高橋祐
肝門部胆管癌の治療戦略 update: 手術の実際 細小胆管断端に対する胆管再建術のコツ.
外科, 2023. 85 (11) : 1214-1219
54. 熊谷厚志, 岡村明彦, 小野嘉大
代謝領域: 内科医として知っておくべき栄養に関する最新の知識: 消化器がん患者の術後栄養療法.
日本内科学会雑誌, 2023. 112 (4) : 648-653
55. 高橋敦, 大庭篤志, 小野嘉大, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 井上陽介, 高橋祐
最新の膵癌診療: 血管合併切除を伴う膵切除.
消化器外科, 2023. 46 (5) : 515-523

56. 高橋敦, 大庭篤志, 小野嘉大, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 井上陽介, 高橋祐
肝門部領域胆管癌: 術前・術後化学療法.
消化器外科, 2023. 46 (1) : 31-38
57. 高橋祐, 井上陽介, 佐々木隆, 笹平直樹, 伊藤寛倫, 佐藤崇文, 小野嘉大, 大庭篤志
切除不能胆道癌: 定義・診断・治療: 切除不能肝門部領域胆管癌に対するステント選択: 外科の立場から.
胆と膵, 2023. 44 (6) : 547-552
58. 高橋祐, 井上陽介, 伊藤寛倫, 佐藤崇文, 小野嘉大, 大庭篤志
進行消化器癌に対する conversion surgery のすべて: 肝胆膵: 肝門部領域胆道癌に対する conversion 手術.
外科, 2023. 85 (13) : 1422-1434

【消化器化学療法科部】

1. Aoki, Y., Nakamura, Y., Denda, T., Ohta, T., Esaki, T., Shiozawa, M., Yamaguchi, K., Yamazaki, K., Sunakawa, Y., Kato, T., Okano, N., Taniguchi, H., Sato, T., Oki, E., Nishina, T., Komatsu, Y., Matsushashi, N., Goto, M., Yasui, H., Ohtsubo, K., Moriwaki, T., Takahashi, N., Horita, Y., Boku, S., Wakabayashi, M., Ikeno, T., Mitani, R., Yuasa, M., Yoshino, T.
Clinical validation of plasma-based genotyping for RAS and BRAF V600E mutation in metastatic colorectal cancer: SCRUM-Japan GOZILA substudy.
JCO Precis. Oncol., 2023. 7: e2200688
2. Aoki, M., Kadowaki, S., Takahashi, N., Suzuki, T., Oshima, K., Ando, T., Yamamoto, Y., Kawakami, K., Kito, Y., Matsumoto, T., Shimozaiki, K., Miyazaki, Y., Yamaguchi, T., Nagase, M., Tamura, T., Amanuma, Y., Esaki, T., Miura, Y., Akiyoshi, K., Baba, E., Makiyama, A., Negoro, Y., Nakashima, K., Sugimoto, N., Nagashima, K., Shoji, H., Boku, N.
Pattern of disease progression during third-line or later chemotherapy with nivolumab associated with poor prognosis in advanced gastric cancer: A multicenter retrospective study in Japan.
Gastric Cancer, 2023. 26 (1) : 132-144
3. Beppu, T., Yamamura, K., Sakamoto, K., Honda, G., Kobayashi, S., Endo, I., Hasegawa, K., Kotake, K., Itabashi, M., Hashiguchi, Y., Kotera, Y., Yamaguchi, T., Natsume, S., Tabuchi, K., Kobayashi, H., Yamaguchi, K., Morita, S., Kikuchi, K., Miyazaki, M., Sugihara, K., Yamamoto, M., Takahashi, K.
Validation study of the JSHBPS nomogram for patients with colorectal liver metastases who underwent hepatic resection in the recent era : A nationwide survey in Japan.
J. Hepatobiliary Pancreat. Sci., 2023. 30 (5) : 591-601
4. Chin, K., Yamamoto, S., Takahashi, M., Kadowaki, S., Kubota, Y., Amanuma, Y., Okada, M., Kanda, M., Kimura, Y., Nogi, Y., Arimitsu, Y., Kitagawa, Y.
Effectiveness of taxanes following nivolumab in patients with advanced esophageal squamous cell carcinoma: A retrospective chart review of patients in ATTRACTION-3.
Esophagus, 2023. 20 (2) : 302-308
5. Fukuda, K., Osumi, H., Yoshino, K., Nakayama, I., Fukuoka, S., Ogura, M., Wakatsuki, T., Ooki, A., Takahashi, D., Chin, K., Yamaguchi, K., Shinozaki, E.
Single-organ pulmonary metastasis is a favorable prognostic factor in metastatic colorectal cancer patients treated with FOLF-IRI and vascular endothelial growth factor inhibitors.
BMC Cancer, 2023. 23 (1) : 634
6. Hashimoto, T., Nakayama, I., Ohashi, M., Mizusawa, J., Kawachi, H., Kita, R., Fukuda, H., Kurokawa, Y., Boku, N., Yoshikawa, T., Terashima, M.
Randomized phase II study comparing neoadjuvant 5-fluorouracil/oxaliplatin/

- docetaxel versus docetaxel/oxaliplatin/S-1 for patients with type 4 or large type 3 gastric cancer.
Future Oncol., 2023. 19 (32) : 2147-2155
7. Izumi, A., Yoshio, T., Sasaki, T., Ishioka, M., Kizawa, A., Ikenoyama, Y., Namikawa, K., Tokai, Y., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Hirasawa, T., Chin, K., Ogura, M., Sasahira, N., Fujisaki, J.
Efficacy and safety of self-expandable metallic stent placement for malignant esophageal fistula.
J. Clin. Med., 2023. 12 (18) : 5859
 8. Janjigian, Y. Y., Shitara, K., Moehler, M., Garrido, M., Salman, P., Wyrwicz, L., Yamaguchi, K., Skoczylas, T., Bragagnoli, A. C., Liu, T., Schenker, M., Yanez, P., Tehfe, M., Kowalyszyn, R., Karamouzis, M. V., Bruges, R., Zander, T., Pazo-Cid, R., Hitre, E., Feeney, K., Cleary, J. M., Poulart, V., Cullen, D., Lei, M., Xiao, H., Kondo, K., Li, M., Ajani, J. A.
A plain language summary of the Check-Mate 649 study: nivolumab in combination with chemotherapy compared to chemotherapy alone for untreated advanced or metastatic cancer of the stomach or esophagus.
Future Oncol., 2023. 19 (11) : 739-752
 9. Kagawa, Y., Shinozaki, E., Okude, R., Tone, T., Kunitomi, Y., Nakashima, M.
Real-world evidence of trifluridine/tipiracil plus bevacizumab in metastatic colorectal cancer using an administrative claims database in Japan.
ESMO Open, 2023. 8 (4) : 101614
 10. Kajiwara, T., Nishina, T., Yamashita, R., Nakamura, Y., Shiozawa, M., Yuki, S., Taniguchi, H., Hara, H., Ohta, T., Esaki, T., Shinozaki, E., Takashima, A., Yamamoto, Y., Yamazaki, K., Yoshino, T., Hyodo, I.
Sidedness-dependent prognostic impact of gene alterations in metastatic colorectal cancer in the nationwide cancer genome screening project in Japan (SCRUM-Japan GI-SCREEN) .
Cancers (Basel) , 2023. 15 (21) : 5172
 11. Kamiimabeppu, D., Wakatsuki, T., Takahari, D., Fukuda, N., Shimozaeki, K., Osumi, H., Nakayama, I., Ogura, M., Ooki, A., Shinozaki, E., Chin, K., Yamaguchi, K.
Treatment efficacy of ramucirumab-containing chemotherapy in patients with alpha-fetoprotein producing gastric cancer.
Int. J. Clin. Oncol., 2023. 28 (1) : 121-129
 12. Kawabata, R., Chin, K., Takahari, D., Hosaka, H., Muto, O., Shindo, Y., Nagata, N., Yabusaki, H., Imamura, H., Endo, S., Kashiwada, T., Nakamura, M., Hihara, J., Kobayashi, M., Sagawa, T., Saito, S., Sato, A., Yamada, T., Okano, N., Shimada, K., Matsushima, M., Kataoka, M., Matsumoto, S., Goto, M., Kotaka, M., Shiraishi, T., Yamai, H., Nagashima, F., Ishizuka, N., Yamaguchi, K.
Multicenter phase II study of capecitabine plus oxaliplatin in older patients with advanced gastric cancer: the Tokyo Cooperative Oncology Group (TCOG) GI-1601 study.
Gastric Cancer, 2023. 26 (6) : 1020-1029
 13. Kobayashi, S., Bando, H., Taketomi, A., Takamoto, T., Shinozaki, E., Shiozawa, M., Hara, H., Yamazaki, K., Komori, K., Matsushashi, N., Kato, T., Kagawa, Y., Yokota, M., Oki, E., Komine, K., Takahashi, S., Wakabayashi, M., Yoshino, T.
NEXUS trial: A multicenter phase II clinical study evaluating the efficacy and safety of the perioperative use of encorafenib, binimetinib, and cetuximab in patients with previously untreated surgically resectable BRAF V600E mutant colorectal oligometastases.
BMC Cancer, 2023. 23 (1) : 779

14. Kobayashi, K., Ono, Y., Kitano, Y., Oba, A., Sato, T., Ito, H., Mise, Y., Shinozaki, E., Inoue, Y., Yamaguchi, K., Saiura, A., Takahashi, Y.
Prognostic impact of tumor markers (CEA and CA19-9) on patients with resectable colorectal liver metastases stratified by tumor number and size: Potentially valuable biologic markers for preoperative treatment.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (12) : 7338-7347
15. Marshall, S., Wakatsuki, T., Takahari, D., Matsushima, T., Ishizuka, N., Nakayama, I., Osumi, H., Ogura, M., Ichimura, T., Shinozaki, E., Chin, K., Yamaguchi, K.
Prognostic factors in patients with advanced HER2-positive gastric cancer treated with trastuzumab-based chemotherapy: A cohort study.
J. Gastrointest. Cancer, 2023. 54 (2) : 475-484
16. Moehler, M., Xiao, H., Blum, S. I., Elimova, E., Cella, D., Shitara, K., Ajani, J. A., Janjigian, Y. Y., Garrido, M., Shen, L., Yamaguchi, K., Liu, T., Schenker, M., Kowalyszyn, R., Bragagnoli, A. C., Bruges, R., Montesarchio, V., Pazo-Cid, R., Hunter, S., Davenport, E., Wang, J., Kondo, K., Li, M., Wyrwicz, L.
Health-related quality of life with nivolumab plus chemotherapy versus chemotherapy in patients with advanced gastric/gastroesophageal junction cancer or esophageal adenocarcinoma from CheckMate 649.
J. Clin. Oncol., 2023. 41 (35) : 5388-5399
17. Nagaoka, T., Osumi, H., Ueno, T., Ooki, A., Wakatsuki, T., Nakayama, I., Ogura, M., Takahari, D., Chin, K., Matsueda, K., Yamaguchi, K., Shinozaki, E.
Morphological response and tumor shrinkage as predictive factors in metastatic colorectal cancer treated with first-line capecitabine, oxaliplatin, and bevacizumab.
Int. J. Clin. Oncol., 2023. 28 (9) : 1191-1199
18. Nakai, C., Mimaki, S., Matsushima, K., Shinozaki, E., Yamazaki, K., Muro, K., Yamaguchi, K., Nishina, T., Yuki, S., Shitara, K., Bando, H., Suzuki, Y., Akagi, K., Nomura, S., Fujii, S., Sugiyama, M., Nishida, N., Mizokami, M., Koh, Y., Koshizaka, T., Okada, H., Abe, Y., Ohtsu, A., Yoshino, T., Tsuchihara, K.
Regulation of MEK inhibitor selumetinib sensitivity by AKT phosphorylation in the novel BRAF L525R mutant.
Int. J. Clin. Oncol., 2023. 28 (5) : 654-663
19. Nakamura, Y., Yamashita, R., Okamoto, W., Komatsu, Y., Yuki, S., Ueno, M., Kato, K., Taniguchi, H., Kagawa, Y., Denda, T., Hara, H., Esaki, T., Moriwaki, T., Sunakawa, Y., Oki, E., Nagashima, F., Nishina, T., Satoh, T., Kawakami, H., Yamaguchi, K., Ohtsubo, K., Kato, T., Horita, Y., Tsuji, A., Yasui, H., Goto, M., Hamamoto, Y., Wakabayashi, M., Ikeno, T., Shitara, K., Bando, H., Tsuchihara, K., Miki, I., Ichiki, H., Ohtsu, A., Yoshino, T.
Efficacy of targeted trials and signaling pathway landscape in advanced gastrointestinal cancers from SCRUM-Japan GI-SCREEN: A nationwide genomic profiling program.
JCO Precis. Oncol., 2023. 7: e2200653
20. Nakayama, I., Shinozaki, E., Kawachi, H., Sasaki, T., Yunokawa, M., Tomomatsu, J., Yuasa, T., Kitazono, S., Kobayashi, K., Hayakawa, K., Ueki, A., Takahashi, S., Yamaguchi, K.
Implementation of microsatellite instability testing for the assessment of solid tumors in clinical practice.
Cancer Med., 2023. 12 (7) : 7932-7940

21. Nakayama, I., Takahari, D., Chin, K., Wakatsuki, T., Takamatsu, M., Yamamoto, N., Ogura, M., Ooki, A., Fukuda, K., Osumi, H., Fukuoka, S., Shinozaki, E., Yamaguchi, K.
Incidence, clinicopathological features, and clinical outcomes of low HER2 expressed, inoperable, advanced, or recurrent gastric/gastroesophageal junction adenocarcinoma.
ESMO Open, 2023. 8 (4) : 101582
22. Nakayama, I., Takahari, D.
The role of angiogenesis targeted therapies in metastatic advanced gastric cancer: A narrative review.
J. Clin. Med., 2023. 12 (9) : 3226
23. Nishizawa, A., Shinozaki, E., Wakatsuki, T., Satoh, T., Yamazaki, N., Oyamada, S., Ariyoshi, K., Kihara, K., Tsuboi, M., Yamaguchi, K.
Efficacy of aluminum chloride in severe regorafenib-associated hand-foot skin reactions: A single-arm trial.
BMC Cancer, 2023. 23 (1) : 401
24. Nishizawa, A., Takeda, K., Urasaki, T., Ono, M., Mochizuki, T., Shiga, T., Fujiwara, M., Yuasa, T., Murakami, A., Koike, R., Yunokawa, M., Kanao, H., Shimosaki, K., Takahari, D., Kogawa, T., Takahashi, S., Kitano, S.
Severe drug eruption after antibiotic administration in patients receiving immune checkpoint inhibitors: A monocentric case series.
J. EADV Clin. Pract., 2023. 2 (2) : 330-337
25. Ogata, T., Narita, Y., Wainberg, Z. A., Van Cutsem, E., Yamaguchi, K., Piao, Y., Zhao, Y., Peterson, P. M., Wijayawardana, S. R., Abada, P., Chatterjee, A., Muro, K.
Exploratory analysis of patients with gastric/gastroesophageal Junction Adenocarcinoma with or without liver metastasis from the phase 3 RAINBOW study.
J. Gastric. Cancer, 2023. 23 (2) : 289-302
26. Ooki, A., Osumi, H., Chin, K., Watanabe, M., Yamaguchi, K.
Potent molecular-targeted therapies for advanced esophageal squamous cell carcinoma.
Ther. Adv. Med. Oncol., 2023. 15 : 17588359221138377
27. Ooki, A., Osumi, H., Fukuda, K., Yamaguchi, K.
Potent molecular-targeted therapies for gastro-entero-pancreatic neuroendocrine carcinoma.
Cancer Metastasis Rev., 2023. 42 (3) : 1021-1054
28. Osumi, H., Takashima, A., Ooki, A., Yoshinari, Y., Wakatsuki, T., Hirano, H., Nakayama, I., Okita, N., Sawada, R., Ouchi, K., Fukuda, K., Fukuoka, S., Ogura, M., Takahari, D., Chin, K., Shoji, H., Kato, K., Ishizuka, N., Boku, N., Yamaguchi, K., Shinozaki, E.
A multi-institutional observational study evaluating the incidence and the clinicopathological characteristics of NeoRAS wild-type metastatic colorectal cancer.
Transl. Oncol., 2023. 35: 101718
29. Sakamoto, K., Beppu, T., Honda, G., Kotake, K., Yamamoto, M., Takahashi, K., Endo, I., Hasegawa, K., Itabashi, M., Hashiguchi, Y., Kotera, Y., Kobayashi, S., Yamaguchi, T., Natsume, S., Tabuchi, K., Kobayashi, H., Yamaguchi, K., Tani, K., Morita, S., Miyazaki, M., Sugihara, K.
Comprehensive data of 4,502 patients newly diagnosed with colorectal liver metastasis between 2015 and 2017, and prognostic data of 2,427 patients newly diagnosed with colorectal liver metastasis in 2013 and 2014: Third report of a nationwide survey in Japan.
J. Hepatobiliary Pancreat. Sci., 2023. 30 (5) : 570-590

30. Sakata, H., Murase, M., Kato, T., Yamaguchi, K., Sugihara, K., Suzuki, S., Yoshino, T. Encorafenib, binimetinib, and cetuximab in BRAF V600E-mutated colorectal cancer: an early post-marketing phase vigilance study. *Int. J. Clin. Oncol.*, 2023. 28 (1) : 139-144
31. Satake, H., Lee, K. W., Chung, H. C., Lee, J., Yamaguchi, K., Chen, J. S., Yoshikawa, T., Amagai, K., Yeh, K. H., Goto, M., Chao, Y., Lam, K. O., Han, S. R., Shiratori, S., Shah, S., Shitara, K.
Pembrolizumab or pembrolizumab plus chemotherapy versus standard of care chemotherapy in patients with advanced gastric or gastroesophageal junction adenocarcinoma: Asian subgroup analysis of KEYNOTE-062.
Jpn. J. Clin. Oncol., 2023. 53 (3) : 221-229
32. Shah, M. A., Yoshino, T., Tebbutt, N. C., Grothey, A., Tabernero, J., Xu, R. H., Cervantes, A., Oh, S. C., Yamaguchi, K., Fakih, M., Falcone, A., Wu, C., Chiu, V. K., Tomasek, J., Bendell, J., Fontaine, M., Hitron, M., Xu, B., Taieb, J., Van Cutsem, E.
Napabucasin plus FOLFIRI in patients with previously treated metastatic colorectal cancer: Results from the open-label, randomized phase III CanStem303C study.
Clin. Colorectal Cancer, 2023. 22 (1) : 100-110
33. Shimozaki, K., Nakayama, I., Hirota, T., Yamaguchi, K.
Current strategy to treat immunogenic gastrointestinal cancers: Perspectives for a new era.
Cells, 2023. 12 (7) : 1049
34. Shimozaki, K., Nakayama, I., Takahari, D., Nagashima, K., Yoshino, K., Fukuda, K., Fukuoka, S., Osumi, H., Ogura, M., Wakatsuki, T., Ooki, A., Shinozaki, E., Chin, K., Yamaguchi, K.
Efficacy and safety of trastuzumab derux-tecan and nivolumab as third- or later-line treatment for HER2-positive advanced gastric cancer: A single-institution retrospective study.
J. Gastric. Cancer, 2023. 23 (4) : 609-621
35. Shimozaki, K., Shinozaki, E., Yamamoto, N., Imamura, Y., Osumi, H., Nakayama, I., Wakatsuki, T., Ooki, A., Takahari, D., Ogura, M., Chin, K., Watanabe, M., Yamaguchi, K.
KRAS mutation as a predictor of insufficient trastuzumab efficacy and poor prognosis in HER2-positive advanced gastric cancer.
J. Cancer Res. Clin. Oncol., 2023. 149 (3) : 1273-1283
36. Shitara, K., Hirao, M., Iwasa, S., Oshima, T., Komatsu, Y., Kawazoe, A., Sato, Y., Hamakawa, T., Yonemori, K., Machida, N., Yuki, S., Suzuki, T., Okumura, S., Takase, T., Semba, T., Zimmermann, B., Teng, A., Yamaguchi, K.
Phase 1 study of the liposomal formulation of eribulin (E7389-LF) : results from the advanced gastric cancer expansion cohort.
Clin. Cancer Res., 2023. 29 (8) : 1406-1467
37. Takahari, D., Nakayama, I.
Perioperative immune checkpoint inhibitor therapy for gastric and gastroesophageal junction cancers: a review of current approaches and future perspectives.
Int. J. Clin. Oncol., 2023. 28 (11) : 1431-1441
38. Takahari, D., Katai, H., Takashima, A., Iizawa, N., Ishizuka, N., Ohashi, M., Mikami, S., Wakatsuki, T., Nakayama, I., Chin, K., Ida, S., Kumagai, K., Nunobe, S., Iwasa, S., Shoji, H., Wada, T., Doi, A., Yoshikawa, T., Sano, T., Boku, N., Yamaguchi, K.
Perioperative TAS-118 plus oxaliplatin in patients with locally advanced gastric cancer: APOLLO-11 study.

Gastric Cancer, 2023. 26 (4) : 614-625

39. Udagawa, S., Ooki, A., Shinozaki, E., Fukuda, K., Yamaguchi, K., Osumi, H.
Circulating tumor DNA: The dawn of a new era in the optimization of chemotherapeutic strategies for metastatic colo-rectal cancer focusing on RAS mutation.
Cancers (Basel) , 2023. 15 (5) : 1473
40. Udagawa, H., Takahashi, S., Hirao, M., Tahara, M., Iwasa, S., Sato, Y., Hamakawa, T., Shitara, K., Horinouchi, H., Chin, K., Masuda, N., Suzuki, T., Okumura, S., Takase, T., Nagai, R., Yonemori, K.
Liposomal eribulin for advanced adenoid cystic carcinoma, gastric cancer, esophageal cancer, and small cell lung cancer.
Cancer Med., 2023. 12 (2) : 1269-1278
41. Ura, T., Hironaka, S., Tsubosa, Y., Mizusawa, J., Kato, K., Tsushima, T., Fushiki, K., Chin, K., Tomori, A., Okuno, T., Matsushita, H., Kojima, T., Doki, Y., Kusaba, H., Fujitani, K., Seki, S., Kitagawa, Y.
Early tumor shrinkage and depth of response in patients with metastatic esophageal cancer treated with 2-weekly docetaxel combined with cisplatin plus fluorouracil: An exploratory analysis of the JCOG0807.
Esophagus, 2023. 20 (2) : 272-280
42. Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y., Sakamoto, T., Mukai, T., Hiyoshi, Y., Nagasaki, T., Taguchi, S., Chino, A., Shinozaki, E., Yamaguchi, K., Konishi, T.
Adding induction chemotherapy before chemoradiotherapy with total mesorectal excision and selective lateral lymph node dissection for patients with poor-risk, locally advanced, mid-to-low rectal cancer may improve oncologic outcomes: A propensity score-matched analysis.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (8) : 4716-4724
43. Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y., Sakamoto, T., Mukai, T., Hiyoshi, Y., Nagasaki, T., Taguchi, S., Chino, A., Shinozaki, E., Yamaguchi, K., Konishi, T.
ASO visual abstract: Adding induction chemotherapy before chemoradiotherapy with total mesorectal excision and selective lateral lymph node dissection in patients with poor-risk, locally advanced, mid-to-low rectal cancer may improve oncological outcomes: A propensity score-matched analysis.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (8) : 4727-4728
44. Yamaguchi, K., Bang, Y. J., Iwasa, S., Sugimoto, N., Ryu, M. H., Sakai, D., Chung, H. C., Kawakami, H., Yabusaki, H., Lee, J., Shimoyama, T., Lee, K. W., Saito, K., Kawaguchi, Y., Kamio, T., Kojima, A., Sugihara, M., Shitara, K.
Trastuzumab deruxtecan in anti-human epidermal growth factor receptor 2 treatment-naïve patients with human epidermal growth factor receptor 2-low gastric or gastroesophageal junction adenocarcinoma: Exploratory cohort results in a phase II trial.
J. Clin. Oncol., 2023. 41 (4) : 816-825
45. Yoshikawa, T., Sano, T., Terashima, M., Yamaguchi, K., Bando, E., Kawabata, R., Yabusaki, H., Shinohara, H., Oba, M. S., Kimura, T., Takita, A., Sasako, M.
Incidence and risk factors for venous thromboembolism in the Cancer-VTE Registry stomach cancer subcohort.
Gastric Cancer, 2023. 26 (4) : 493-503
46. Yoshino, T., Di Bartolomeo, M., Raghav, K., Masuishi, T., Loupakis, F., Kawakami, H., Yamaguchi, K., Nishina, T., Wainberg, Z., Elez, E., Rodriguez, J., Fakih, M., Ciardiello, F., Saxena, K., Kobayashi, K., Bako, E., Okuda, Y., Meinhardt, G., Grothey, A., Siena, S.

Final results of DESTINY-CRC01 investigating trastuzumab deruxtecan in patients with HER2-expressing metastatic colorectal cancer.

Nat. Commun., 2023. 14 (1) : 3332

47. 下嵯啓太郎, 篠崎英司
Precision oncology の検証 : 各臓器がんの Precision oncology : Precision medicine 時代の大腸がん薬物療法 .
腫瘍内科, 2023. 31 (1) : 69-77
48. 中山巖馬, 宇田川翔平, 高張大亮
がんゲノム医療はどう進化しているのか? : 胃がんの化学療法とパネル検査の活用と限界 .
消化器病学サイエンス, 2023. 7 (3) : 143-148
49. 中山巖馬
胃癌に対する conversion surgery-Stage IV でも治したい! : 総論 腫瘍内科医からみた conversion surgery.
臨床外科, 2023. 78 (12) : 1333-1338
50. 山口研成
最新の診断・治療と病態 : 化学療法 : 分子標的薬 .
日本臨床, 2023. 81 (増刊 5 最新臨床大腸癌学 2023) : 312-321

【肝胆膵内科】

1. Aoki, Y., Inoue, Y., Sasahira, N., Ono, M., Inamura, K., Kataoka, A., Takano, T., Kanao, H., Watanabe, M.
Primary ovarian insufficiency associated with lenvatinib therapy in a patient with hepatocellular carcinoma: A case report.
Oncol. Lett., 2023. 26 (4) : 450
2. Gotohda, N., Nishida, T., Sato, S., Ozaka, M., Nakahara, Y., Komatsu, Y., Kondo, M., Cho, H., Kurokawa, Y., Kitagawa, Y.
Re-appraisal of the universal definition of tumor rupture among patients with high-risk gastrointestinal stromal tumors.
Ann. Gastroenterol. Surg., 2023. 7 (6) : 1021-1031

3. Imaoka, H., Ikeda, M., Umemoto, K., Sunakawa, Y., Ueno, M., Ueno, H., Ozaka, M., Kuwahara, T., Okano, N., Kanai, M., Hisano, T., Suzuki, Y., Asagi, A., Shioji, K., Todaka, A., Tsuji, K., Ikezawa, K., Miki, I., Komatsu, Y., Akutsu, N., Yamashita, T., Okuyama, H., Furuse, J., Nagano, H.
Comprehensive review of undifferentiated carcinoma of the pancreas: From epidemiology to treatment.
Jpn. J. Clin. Oncol., 2023. 53 (9) : 764-773
4. Imaoka, H., Ikeda, M., Nomura, S., Morizane, C., Okusaka, T., Ozaka, M., Shimizu, S., Yamazaki, K., Okano, N., Sugimori, K., Shirakawa, H., Mizuno, N., Satoi, S., Yamaguchi, H., Sugimoto, R., Gotoh, K., Sano, K., Asagi, A., Nakamura, K., Ueno, M.
Development of a nomogram to predict survival in advanced biliary tract cancer.
Sci. Rep., 2023. 13 (1) : 21548
5. Inokuma, A., Takahara, N., Ishibashi, R., Hakuta, R., Ishigaki, K., Saito, K., Saito, T., Hamada, T., Mizuno, S., Yagioka, H., Takahashi, S., Kogure, H., Sasaki, T., Hirano, K., Ito, Y., Isayama, H., Nakai, Y., Koike, K., Fujishiro, M.
Comparison of novel large-bore and conventional-bore covered self-expandable metal stents for malignant gastric outlet obstruction; A multicenter, retrospective study.
Dig. Endosc., 2023. 35 (1) : 111-121
6. Ishibashi, R., Sasaki, T., Isayama, H., Matsuzawa, T., Kuwai, T., Yamada, T., Saito, S., Tomita, M., Shiratori, T., Ikeda, S., Kanazawa, H., Fujishiro, M., Maetani, I., Saida, Y.
A Japanese prospective, multicenter study of colonic stenting for palliation using a high axial force self-expandable metal stent for malignant large bowel obstruction in 200 patients.
J. Clin. Med., 2023. 12 (15) : 5134

7. Ishii, S., Isayama, H., Sasahira, N., Matsubara, S., Nakai, Y., Fujisawa, T., Tomishima, K., Sasaki, T., Ishigaki, K., Kogure, H., Okamoto, T., Otsuka, T., Takasaki, Y., Suzuki, A. A pilot study of spring stopper stents: Novel partially covered self-expandable metallic stents with anti-migration properties for EUS-guided hepaticogastrostomy. *Endosc. Ultrasound*, 2023. 12 (2) : 266-272
8. Ishiwatari, H., Kawabata, T., Kawashima, H., Nakai, Y., Miura, S., Kato, H., Shiomi, H., Fujimori, N., Ogura, T., Inatomi, O., Kubota, K., Fujisawa, T., Takenaka, M., Mori, H., Noguchi, K., Fujii, Y., Sugiura, T., Ideno, N., Nakafusa, T., Masamune, A., Isayama, H., Sasahira, N. Clinical outcomes of inside stents and conventional plastic stents as bridge-to-surgery options for malignant hilar biliary obstruction. *Dig. Dis. Sci.*, 2023. 68 (4) : 1139-1147
9. Izumi, A., Yoshio, T., Sasaki, T., Ishioka, M., Kizawa, A., Ikenoyama, Y., Namikawa, K., Tokai, Y., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Hirasawa, T., Chin, K., Ogura, M., Sasahira, N., Fujisaki, J. Efficacy and safety of self-expandable metallic stent placement for malignant esophageal fistula. *J. Clin. Med.*, 2023. 12 (18) : 5859
10. Kelley, R. K., Ueno, M., Yoo, C., Finn, R. S., Furuse, J., Ren, Z., Yau, T., Klumpfen, H. J., Chan, S. L., Ozaka, M., Verslype, C., Bouattour, M., Park, J. O., Barajas, O., Pelzer, U., Valle, J. W., Yu, L., Malhotra, U., Siegel, A. B., Edeline, J., Vogel, A. Pembrolizumab in combination with gemcitabine and cisplatin compared with gemcitabine and cisplatin alone for patients with advanced biliary tract cancer (KEYNOTE-966) : A randomised, double-blind, placebo-controlled, phase 3 trial. *Lancet*, 2023. 401 (10391) : 1853-1865
11. Kitano, Y., Inoue, Y., Takeda, T., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Ozaka, M., Sasaki, T., Sasahira, N., Baba, H., Takahashi, Y. Clinical efficacy of neoadjuvant chemotherapy with gemcitabine plus S-1 for resectable pancreatic ductal adenocarcinoma compared with upfront surgery. *Ann. Surg. Oncol.*, 2023. 30 (8) : 5093-5102
12. Masugi, Y., Takamatsu, M., Tanaka, M., Hara, K., Inoue, Y., Hamada, T., Suzuki, T., Arita, J., Hirose, Y., Kawaguchi, Y., Nakai, Y., Oba, A., Sasahira, N., Shimane, G., Takeda, T., Tateishi, K., Uemura, S., Fujishiro, M., Hasegawa, K., Kitago, M., Takahashi, Y., Ushiku, T., Takeuchi, K., Sakamoto, M. Post-operative mortality and recurrence patterns in pancreatic cancer according to KRAS mutation and CDKN2A, p53, and SMAD4 expression. *J. Pathol.*, 2023. 9 (5) : 339-353
13. Matsuyama, M., Okamoto, T., Takeda, T., Kasuga, A., Sasaki, T., Ozaka, M., Sasahira, N. Successful removal of a biliary metal stent using the stent-in-stent-in-stent technique. *Endoscopy*, 2023. 55 (S 01) : E1025-E1026
14. Mie, T., Sasaki, T., Matsueda, K., Okamoto, T., Hirai, T., Ishitsuka, T., Yamada, M., Nakagawa, H., Furukawa, T., Takeda, T., Kasuga, A., Ozaka, M., Sasahira, N. Ruptured cystic artery pseudoaneurysm after self-expandable metal stent placement for malignant biliary obstruction. *DEN Open*, 2023. 4 (1) : e304
15. Mie, T., Sasaki, T., Sasahira, N. Serial pancreatic juice aspiration cytologic examination with balloon-assisted enteroscopy in surgically altered anatomy. *Dig. Endosc.*, 2023. 35 (1) : e13-e15

16. Mie, T., Sasaki, T., Takeda, T., Okamoto, T., Hamada, T., Ishitsuka, T., Yamada, M., Nakagawa, H., Furukawa, T., Kasuga, A., Matsuyama, M., Ozaka, M., Sasahira, N.
Treatment outcomes and prognostic factors of gemcitabine plus nab-paclitaxel as second-line chemotherapy after modified FOLFIRINOX in unresectable pancreatic cancer. *Cancers (Basel)*, 2023. 15 (2) : 358
17. Mizuno, N., Ioka, T., Ogawa, G., Nakamura, S., Hiraoka, N., Ito, Y., Katayama, H., Takeda, R., Kobayashi, S., Ikeda, M., Miwa, H., Okano, N., Kuramochi, H., Sekimoto, M., Okusaka, T., Ozaka, M., Todaka, A., Gotoh, K., Tobimatsu, K., Yamaguchi, H., Nakagohri, T., Kajiura, S., Sudo, K., Okamura, K., Shimizu, S., Shirakawa, H., Kato, N., Sano, K., Iwai, T., Fujimori, N., Ueno, M., Ishii, H., Furuse, J.
Effect of systemic inflammatory response on induction chemotherapy followed by chemoradiotherapy for locally advanced pancreatic cancer: An exploratory subgroup analysis on systemic inflammatory response in JCOG1106. *Jpn. J. Clin. Oncol.*, 2023. 53 (8) : 704-713
18. Nakayama, I., Shinozaki, E., Kawachi, H., Sasaki, T., Yunokawa, M., Tomomatsu, J., Yuasa, T., Kitazono, S., Kobayashi, K., Hayakawa, K., Ueki, A., Takahashi, S., Yamaguchi, K.
Implementation of microsatellite instability testing for the assessment of solid tumors in clinical practice. *Cancer Med.*, 2023. 12 (7) : 7932-7940
19. Oba, A., Del Chiaro, M., Fujii, T., Okano, K., Stoop, T. F., Wu, Y. H. A., Maekawa, A., Yoshida, Y., Hashimoto, D., Sugawara, T., Inoue, Y., Tanabe, M., Sho, M., Sasaki, T., Takahashi, Y., Matsumoto, I., Sasahira, N., Nagakawa, Y., Satoi, S., Schulick, R. D., Yoon, Y. S., He, J., Jang, J. Y., Wolfgang, C. L., Hackert, T., Besselink, M. G., Takaori, K., Takeyama, Y.
"Conversion surgery" for locally advanced pancreatic cancer: A position paper by the study group at the joint meeting of the International Association of Pancreatology (IAP) & Japan Pancreas Society (JPS) 2022. *Pancreatology*, 2023. 23 (6) : 712-720
20. Okamoto, T., Ishitsuka, T., Sasahira, N.
Dilatation of hepaticojejunostomy anastomotic stricture with a drill dilator during balloon enteroscopy-assisted endoscopic retrograde cholangiopancreatography. *J. Hepatobiliary Pancreat. Sci.*, 2023. 30 (6) : e41-e42
21. Okamoto, T., Takeda, T., Sasahira, N.
Endoscopic ultrasound-guided choledochoduodenostomy using a drill dilator. *Endoscopy*, 2023. 55 (S 01) : E635-E636
22. Okamoto, T., Sasaki, T., Yoshio, T., Mori, C., Mie, T., Furukawa, T., Yamada, Y., Takeda, T., Kasuga, A., Matsuyama, M., Ozaka, M., Fujisaki, J., Sasahira, N.
Outcomes after partially covered self-expandable metal stent placement for recurrent duodenal obstruction. *Surg. Endosc.*, 2023. 37 (1) : 319-328
23. Okamoto, T., Sasaki, T., Takahashi, Y., Takamatsu, M., Kanda, H., Hiratsuka, M., Matsuyama, M., Ozaka, M., Sasahira, N.
Perivascular epithelioid cell tumor (PEComa) of the cystic duct. *Clin. J. Gastroenterol.*, 2023. 16 (1) : 87-95
24. Okamoto, T., Takeda, T., Sasaki, T., Hamada, T., Mie, T., Ishitsuka, T., Yamada, M., Nakagawa, H., Hirai, T., Furukawa, T., Kasuga, A., Ozaka, M., Sasahira, N.
Safety and effectiveness of chemotherapy in elderly biliary tract cancer patients. *Curr. Oncol.*, 2023. 30 (8) : 7229-7240

25. Okamoto, T., Takeda, T., Mie, T., Hirai, T., Ishitsuka, T., Yamada, M., Nakagawa, H., Furukawa, T., Kasuga, A., Sasaki, T., Ozaka, M., Sasahira, N.
Splenic hilar involvement and sinistral portal hypertension in unresectable pancreatic tail cancer.
Cancers (Basel) , 2023. 15 (24) : 5862
26. Okusaka, T., Nakamura, M., Yoshida, M., Kitano, M., Ito, Y., Mizuno, N., Hanada, K., Ozaka, M., Morizane, C., Takeyama, Y.
Clinical practice guidelines for pancreatic cancer 2022 from the Japan pancreas society: A synopsis.
Int. J. Clin. Oncol., 2023. 28 (4) : 493-511
27. Omiya, K., Oba, A., Inoue, Y., Kobayashi, K., Wu, Y. H. A., Ono, Y., Sato, T., Sasaki, T., Ozaka, M., Sasahira, N., Ito, H., Saiura, A., Takahashi, Y.
Serum DUPAN-2 could be an alternative biological marker for CA19-9 non-secretors with pancreatic cancer.
Ann. Surg., 2023. 277 (6) : e1278-e1283
28. Ono, Y., Inoue, Y., Ito, H., Sasaki, T., Takeda, T., Ozaka, M., Sasahira, N., Hiratsuka, M., Matsueda, K., Oba, A., Sato, T., Saiura, A., Takahashi, Y.
Analysis of prognostic factors for borderline resectable pancreatic cancer after neoadjuvant chemotherapy: The importance of CA19-9 decrease in patients with elevated pre-chemotherapy CA19-9 levels.
HPB (Oxford) , 2023. 25 (1) : 100-108
29. Ozaka, M., Nakachi, K., Kobayashi, S., Ohba, A., Imaoka, H., Terashima, T., Ishii, H., Mizusawa, J., Katayama, H., Kataoka, T., Okusaka, T., Ikeda, M., Sasahira, N., Miwa, H., Mizukoshi, E., Okano, N., Mizuno, N., Yamamoto, T., Komatsu, Y., Todaka, A., Kamata, K., Furukawa, M., Fujimori, N., Katanuma, A., Takayama, Y., Tsumura, H., Fukuda, H., Ueno, M., Furuse, J.
A randomised phase II study of modified FOLFIRINOX versus gemcitabine plus nab-paclitaxel for locally advanced pancreatic cancer (JCOG1407) .
Eur. J. Cancer, 2023. 181: 135-144
30. Sasaki, T., Takeda, T., Yamada, Y., Okamoto, T., Mori, C., Mie, T., Kasuga, A., Matsuyama, M., Ozaka, M., Sasahira, N.
Long-term outcomes of endoscopic double stenting using an anti-reflux metal stent for combined malignant biliary and duodenal obstruction.
J. Hepatobiliary Pancreat. Sci., 2023. 30 (1) : 144-152
31. Takahara, N., Nakai, Y., Isayama, H., Sasaki, T., Morine, Y., Watanabe, K., Ueno, M., Ioka, T., Kanai, M., Kondo, S., Okano, N., Koike, K.
A prospective multicenter phase II study of FOLFIRINOX as a first-line treatment for patients with advanced and recurrent biliary tract cancer.
Invest. New Drugs., 2023. 41 (1) : 76-85
32. Takeda, T., Sasaki, T., Yamada, Y., Okamoto, T., Mie, T., Furukawa, T., Kasuga, A., Matsuyama, M., Ozaka, M., Sasahira, N.
The efficacy and safety of a duckbill-type anti-reflux metal stent as the initial metal stent for distal malignant biliary obstruction in unresectable pancreatic cancer.
DEN Open, 2023. 3 (1) : e205
33. Takeda, T., Okamoto, T., Sasaki, T., Hirai, T., Ishitsuka, T., Yamada, M., Nakagawa, H., Mie, T., Furukawa, T., Kasuga, A., Ozaka, M., Sasahira, N.
The impact of osteosarcopenia in patients with unresectable or recurrent biliary tract cancer receiving palliative chemotherapy.
Jpn. J. Clin. Oncol., 2023. 53 (11) : 1051-1057

34. Takeda, T., Sasaki, T., Okamoto, T., Ishitsuka, T., Yamada, M., Nakagawa, H., Mie, T., Furukawa, T., Kasuga, A., Matsuyama, M., Ozaka, M., Sasahira, N.
Impact of the extent of weight loss before administration on the efficacy of anamorelin in advanced pancreatic cancer patients with cachexia.
Intern. Med., 2023. 62 (13) : 1887-1893
35. Takeda, T., Sasaki, T., Yamada, Y., Okamoto, T., Mie, T., Furukawa, T., Kasuga, A., Matsuyama, M., Ozaka, M., Sasahira, N.
Long-term outcomes of duckbill-type anti-reflux metal stents versus conventional covered metal stents in reinterventions after covered biliary metal stent dysfunction in unresectable pancreatic cancer.
Surg. Endosc., 2023. 37 (5) : 3498-3506
36. Takeda, T., Sasaki, T., Ichinose, J., Inoue, Y., Okamoto, T., Mie, T., Furukawa, T., Kasuga, A., Oba, A., Matsuura, Y., Nakao, M., Ozaka, M., Mun, M., Takahashi, Y., Sasahira, N.
Outcomes of lung oligometastasis in pancreatic cancer.
Jpn. J. Clin. Oncol., 2023. 53 (12) : 1144-1152
37. Takeda, T., Sasaki, T., Okamoto, T., Kasuga, A., Matsuyama, M., Ozaka, M., Inoue, Y., Takahashi, Y., Saiura, A., Sasahira, N.
Outcomes of pancreatic cancer with liver oligometastasis.
J. Hepatobiliary Pancreat. Sci., 2023. 30 (2) : 229-239
38. Takeda, T., Sasaki, T., Okamoto, T., Ishitsuka, T., Yamada, M., Nakagawa, H., Mie, T., Furukawa, T., Kasuga, A., Matsuyama, M., Ozaka, M., Sasahira, N.
Prognostic impact of osteosarcopenia in patients with advanced pancreatic cancer receiving gemcitabine plus nab-paclitaxel.
Pancreatology, 2023. 23 (3) : 275-282
39. Tateai, Y., Kawakami, K., Teramae, M., Fukuda, N., Yokokawa, T., Kobayashi, K., Shibata, N., Suzuki, W., Shimizu, H., Takahashi, S., Ozaka, M., Sasahira, N., Hori, S., Yamaguchi, M.
Factors associated with lenvatinib adherence in thyroid cancer and hepatocellular carcinoma.
PLoS One, 2023. 18 (11) : e0294320
40. Todaka, A., Sasaki, M., Ueno, H., Goto, T., Murohisa, G., Mizuno, N., Ozaka, M., Kobayashi, S., Uesugi, K., Kobayashi, N., Hayashi, H., Sudo, K., Okano, N., Horita, Y., Kamei, K., Nanami, S., Boku, N.
FOLFIRINOX in pancreatic cancer: Risk factors for febrile neutropenia and severe neutropenia: Nationwide study analysis.
Anticancer Res., 2023. 43 (9) : 4115-4123
41. Yamada, M., Okamoto, T., Sato, Y., Takeda, T., Mie, T., Ishitsuka, T., Nakagawa, H., Matsuyama, M., Sasaki, T., Sasahira, N.
Late-onset hemobilia due to pseudoaneurysm rupture after endoscopic ultrasound-guided hepaticogastrostomy.
Clin. J. Gastroenterol., 2023. 16 (5) : 743-747
42. Yamada, M., Takeda, T., Sasaki, T., Okamoto, T., Hamada, T., Ishitsuka, T., Nakagawa, H., Mie, T., Furukawa, T., Kasuga, A., Matsuyama, M., Ozaka, M., Kobara, H., Masaki, T., Sasahira, N.
Outcomes of intraductal placement of covered metal stents for unresectable distal malignant biliary obstruction.
J. Clin. Med., 2023. 12 (5) : 2001
43. Yamada, Y., Sasaki, T., Takeda, T., Okamoto, T., Mie, T., Yonekura, C., Furukawa, T., Kasuga, A., Matsuyama, M., Ozaka, M., Matsuda, T., Igarashi, Y., Sasahira, N.
Removal of Duckbill-type laser-cut anti-reflux metal stents: Clinical evaluation and in vitro study.

- DEN Open, 2023. 3 (1) : e217
44. Yamada, M., Okamoto, T., Sasahira, N.
Successful removal of a migrated plastic stent using a new endoscopic sheath.
Endoscopy, 2023. 55 (S01) : E1250-E1251
 45. Yamada, M., Okamoto, T., Sasahira, N.
Troubleshooting with a drill dilator for the stent-in-stent technique in malignant hilar biliary obstruction.
Endoscopy, 2023. 55 (S01) : E189-E190
 46. Yamagata, W., Fujisawa, T., Sasaki, T., Ishibashi, R., Saito, T., Yoshida, S., No, S., Inoue, K., Nakai, Y., Sasahira, N., Isayama, H.
Evaluation of the mechanical properties of current biliary self-expandable metallic stents: Axial and radial force, and axial force zero border.
Clin. Endosc., 2023. 56 (5) : 635-649
 47. 三重堯文, 平井達基, 石塚隆浩, 山田学, 中川皓貴, 古川貴光, 岡本武士, 武田剛志, 春日章良, 松山真人, 佐々木隆, 尾阪将人, 笹平直樹
新時代のKRAS変異: 診断の主役から治療の標的へ: 膵・胆道癌の内視鏡診断におけるKRAS変異の現状.
胆と膵, 2023. 44 (7) : 641-646
 48. 佐々木隆, 伊佐山浩通
Stenting Bible : Renewal : ステンントと挿入・留置手技にこだわる !! : 1. ステンントの基礎知識; Self-Expandable Metallic Stent の構造と Mechanical Property に関する基礎知識(RF,AF,AF Zero Border) .
胆と膵, 2023. 44 (臨増特大) : 1033-1038
 49. 佐々木隆
消化管内視鏡治療のリスク克服に向けて: 待機の内視鏡治療に潜むリスクとそのマネジメント: 消化管ステント.
臨床消化器内科, 2023. 38 (1) : 48-53
 50. 佐々木隆
胆道癌, 膵癌の薬物療法・集学的治療最前線: 胆道癌・膵癌での新規治療の可能性 (CAR-T 療法, 光免疫療法) .
胆と膵, 2023. 44 (11) : 1601-1607
 51. 佐々木隆
膵癌と胆道癌: 膵癌・胆道癌診療 up to date : ガイドラインに基づく胆道癌の危険因子と診療アルゴリズム .
Medical Practice, 2023. 40 (12) : 1821-1827
 52. 古川貴光, 佐々木隆, 高松学, 尾阪将人, 笹平直樹
膵癌・胆道癌 2023 (下) 胆道癌編: 基礎・臨床の最新研究動向: 特殊な組織型 (臨床病理学的特徴) 胆道神経内分泌腫瘍の臨床病理学的特徴および胆道神経内分泌細胞癌の治療成績 .
日本臨床, 2023. 81 (増刊 4 膵癌・胆道癌 2023 (下) 胆道癌編) : 316-322
 53. 尾阪将人
膵癌・胆道癌に対する化学療法・ゲノム医療の新展開: 膵癌: 膵癌における術前化学療法 .
肝胆膵, 2023. 87 (5) : 557-563
 54. 尾阪将人, 上村恵一, 田上恵太, 辻哲也, 森雅紀, 横川貴志, 親川拓也, 光永修一, 藤森麻衣子, 坂本はと恵, 清水陽一
膵癌診療ガイドライン 2022 改訂のポイント: 支持緩和療法 .
膵臓, 2023. 38 (2) : 138-146
 55. 武田剛志, 平井達基, 石塚隆浩, 山田学, 中川皓貴, 古川貴光, 三重堯文, 岡本武士, 春日章良, 佐々木隆, 尾阪将人, 笹平直樹
Stenting Bible : Renewal : ステンントと挿入・留置手技にこだわる !! : こだわりのステント選択: 悪性遠位胆管閉塞に対する逆流防止弁付き金属ステント .
胆と膵, 2023. 44 (臨増特大) : 1293-1297
 56. 武田剛志, 笹平直樹, 濱田毅, 高松学
高齢者膵癌患者におけるサルコペニアが予後を不良にするメカニズムの癌微小環境に着目した解明 .

【上部消化管内科】

1. Dohi, O., Kato, M., Takeuchi, Y., Hoteya, S., Oyama, T., Nonaka, S., Yoshimizu, S., Yoshida, M., Ohata, K., Miura, Y., Hara, Y., Tsuji, S., Yamasaki, Y., Ueyama, H., Kurahara, K., Tashima, T., Abe, N., Nakayama, A., Oda, I., Yahagi, N.
Clinical course and management of adverse events after endoscopic resection of superficial duodenal epithelial tumors: A multi-center retrospective study.
Dig. Endosc., 2023. 35 (7) : 879-888
2. Hatta, W., Gotoda, T., Ogata, Y., Koike, T., Masamune, A.
W-eCura score versus eCura system: comparison in the external cohort is required.
Gut, 2023: in press
3. Hayashi, S., Takenaka, M., Kogure, H., Yakushijin, T., Nakai, Y., Ikezawa, K., Yamaguchi, S., Fujisawa, T., Tamaru, Y., Maetani, I., Maruyama, H., Asai, S., Takagi, T., Nagaike, K., Hori, Y., Sumiyoshi, T., Tsumura, H., Doyama, H., Yoshio, T., Hara, K., Abe, S., Oda, I., Kato, M., Nebiki, H., Mikami, T., Miyazaki, M., Matsunaga, K., Hosono, M., Nishida, T., Egawa, S., Nishihara, A., Ohnita, K., Minami, R., Tada, N., Kobayashi, K., Kato, M.
A follow-up questionnaire survey 2022 on radiation protection among 464 medical staff from 34 endoscopy-fluoroscopy departments in Japan.
DEN Open, 2023. 3 (1) : e227
4. Horikawa, Y., Hamada, K., Shiwa, Y., Mada, Y., Techigawara, K., Ishikawa, M., Ishiyama, A.
Double-scope endoscopic submucosal dissection of superficial laryngeal cancer to preserve the superior laryngeal nerve.
Endoscopy, 2023. 55 (S 01) : E749-E750
5. Ishibashi, F., Hirasawa, T., Ueyama, H., Minato, Y., Suzuki, S.
Exploring quality indicators for the detection of Helicobacter pylori-naïve gastric cancer: A cross-sectional nationwide survey.
Clin. Endosc., 2023. 56 (4) : 460-469
6. Ishioka, M., Osawa, H., Hirasawa, T., Kawachi, H., Nakano, K., Fukushima, N., Sakaguchi, M., Tada, T., Kato, Y., Shibata, J., Ozawa, T., Tajiri, H., Fujisaki, J.
Performance of an artificial intelligence-based diagnostic support tool for early gastric cancers: A retrospective study.
Dig. Endosc., 2023. 35 (4) : 483-491
7. Izumi, A., Yoshio, T., Sasaki, T., Ishioka, M., Kizawa, A., Ikenoyama, Y., Namikawa, K., Tokai, Y., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Hirasawa, T., Chin, K., Ogura, M., Sasahira, N., Fujisaki, J.
Efficacy and safety of self-expandable metallic stent placement for malignant esophageal fistula.
J. Clin. Med., 2023. 12 (18) : 5859
8. Kadota, T., Hasuike, N., Ono, H., Boku, N., Mizusawa, J., Oda, I., Oyama, T., Horiuchi, Y., Hirasawa, K., Yoshio, T., Minashi, K., Takizawa, K., Nakamura, K., Muto, M.
Clinical factors associated with non-curative endoscopic submucosal dissection for the expanded indication of intestinal-type early gastric cancer: a post hoc analysis of a multi-institutional, single-arm, confirmatory trial (JCOG0607) .
Dig. Endosc., 2023. 35 (4) : 494-502
9. Kadota, T., Ishihara, R., Hatta, W., Yoshida, M., Kanzaki, H., Kikuchi, D., Ono, Y., Abe, S., Yamamoto, Y., Yoshio, T., Urabe, Y., Yamaguchi, N., Nagami, Y., Iizuka, T., Takahashi, H., Oyama, T., Yano, T.
Multi-institutional questionnaire on treatment strategies for superficial entire cir-

cumferential esophageal squamous cell carcinoma.

DEN Open, 2023. 3 (1) : e206

10. Katada, C., Yokoyama, T., Hirasawa, D., Iizuka, T., Kikuchi, D., Yano, T., Hombu, T., Yoshio, T., Yoshimizu, S., Ono, H., Yabuuchi, Y., Terai, S., Hashimoto, S., Takahashi, K., Tanaka, S., Urabe, Y., Arima, M., Tanabe, S., Wada, T., Furue, Y., Oyama, T., Takahashi, A., Sakamoto, Y., Muto, M.
Curative management after endoscopic resection for esophageal squamous cell carcinoma invading muscularis mucosa or shallow submucosal layer-multicenter real-world survey in Japan.
Am. J. Gastroenterol., 2023. 118 (7) : 1175-1183
11. Miura, Y., Tsuji, Y., Yoshio, T., Hatta, W., Yabuuchi, Y., Hoteya, S., Kikuchi, D., Tsuji, S., Nagami, Y., Hikichi, T., Kobayashi, M., Morita, Y., Sumiyoshi, T., Iguchi, M., Tomida, H., Inoue, T., Mikami, T., Hasatani, K., Nishikawa, J., Matsumura, T., Nebiki, H., Nakamatsu, D., Ohnita, K., Suzuki, H., Ueyama, H., Hayashi, Y., Sugimoto, M., Yamaguchi, S., Michida, T., Yada, T., Asahina, Y., Narasaka, T., Kuribayashi, S., Kiyotoki, S., Mabe, K., Masamune, A., Fujishiro, M.
Association between perioperative management of antiplatelet agents and risk of post-endoscopic submucosal dissection bleeding in early gastric cancer: An analysis of a nationwide multicenter study.
Gastrointest. Endosc., 2023. 97 (5) : 889-897
12. Morita, Y., Yoshio, T., Nakano, K., Shimabashi, W., Imamura, Y.
Emergent endoscopic submucosal dissection for a polypoid fibroadipose tumor accidentally disgorged from the mouth: An organ-preserving minimally invasive treatment.
VideoGIE, 2023. 8 (2) : 50-52
13. Nakao, E., Fujisaki, J., Nakano, K., Kawachi, H., Narimiya, N., Suzuki, S., Namikawa, K., Tokai, Y., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T.
Early esophageal adenocarcinoma with non-Barrett's columnar epithelium origin: Two case reports and a literature review.
Intern. Med., 2023. 62 (13) : 1939-1946
14. Nakashima, H., Kitazawa, N., Fukuyama, C., Kawachi, H., Kawahira, H., Momma, K., Sakaki, N.
Clinical evaluation of computer-aided colorectal neoplasia detection using a novel endoscopic artificial intelligence: A single-center randomized controlled trial.
Digestion, 2023. 104 (3) : 193-201
15. Namikawa, K., Kamada, T., Fujisaki, J., Sato, Y., Murao, T., Chiba, T., Kaizaki, Y., Ishido, K., Ihara, Y., Kurahara, K., Suga, T., Suzuki, H., Ito, M., Hirakawa, K., Maruyama, Y., Gotoda, T., Hosokawa, O., Koike, T., Mabe, K., Yao, T., Inui, K., Iishi, H., Ogata, H., Furuta, T., Haruma, K.
Clinical characteristics and long-term prognosis of type 1 gastric neuroendocrine tumors in a large Japanese national cohort.
Dig. Endosc., 2023. 35 (6) : 757-766
16. Nihei, K., Minashi, K., Yano, T., Shimoda, T., Fukuda, H., Muto, M., Mizuawasa, J., Takizawa, K., Aoyama, I., Ishiyama, A., Kawata, N., Kikuchi, D., Hanaoka, N., Oda, I., Morita, Y., Tajika, M., Fujiwara, J., Yamamoto, Y., Katada, C., Hori, S., Doyama, H., Oyama, T., Nebiki, H., Amagai, K., Kubota, Y., Inokuchi, Y., Kobayashi, N., Suzuki, T., Hirasawa, K., Takeuchi, T., Kadota, T.
Final analysis of diagnostic endoscopic resection followed by selective chemoradiotherapy for stage I esophageal cancer: JCOG0508.
Gastroenterology, 2023. 164 (2) : 296-299.e2

17. Okamoto, T., Sasaki, T., Yoshio, T., Mori, C., Mie, T., Furukawa, T., Yamada, Y., Takeda, T., Kasuga, A., Matsuyama, M., Ozaka, M., Fujisaki, J., Sasahira, N.
Outcomes after partially covered self-expandable metal stent placement for recurrent duodenal obstruction.
Surg. Endosc., 2023. 37 (1) : 319-328
18. Suzuki, K., Ikenoyama, Y., Hirasawa, T., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Yoshio, T., Taguchi, S., Yoshioka, Y., Fujisaki, J.
Clinical course and treatment of radiation-induced hemorrhagic gastritis: A case series study.
Clin. J. Gastroenterol., 2023. 16 (2) : 152-158
19. Suzuki, H., Ono, H., Hirasawa, T., Takeuchi, Y., Ishido, K., Hoteya, S., Yano, T., Tanaka, S., Toya, Y., Nakagawa, M., Toyonaga, T., Takemura, K., Hirasawa, K., Matsuda, M., Yamamoto, H., Tsuji, Y., Hashimoto, S., Yuki, M., Oyama, T., Takenaka, R., Yamamoto, Y., Naito, Y., Yamamoto, K., Kobayashi, N., Kawahara, Y., Hirano, M., Koizumi, S., Hori, S., Tajika, M., Hikichi, T., Yao, K., Yokoi, C., Ohnita, K., Hisanaga, Y., Sumiyoshi, T., Kitamura, S., Tanaka, H., Shimoda, R., Shimazu, T., Takizawa, K., Tanabe, S., Kondo, H., Iishi, H., Ninomiya, M., Oda, I.
Long-term survival after endoscopic resection for gastric cancer: Real-world evidence from a multicenter prospective cohort.
Clin. Gastroenterol. Hepatol., 2023. 21 (2) : 307-318.e2
20. Tokai, Y., Horiuchi, Y., Yamamoto, N., Namikawa, K., Yoshimizu, S., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Fujisaki, J.
Effect of *Helicobacter pylori* eradication evaluated using magnifying endoscopy with narrow-band imaging in mixed-type early gastric cancer.
BMC Gastroenterol., 2023. 23 (1) : 425
21. Tokura, J., Yoshio, T., Hayashi, S., Yamamoto, M., Asai, S., Yakushijin, T., Ikezawa, K., Nagaike, K., Takagi, T., Fujisawa, T., Yamada, T., Tsumura, H., Maetani, I., Hori, Y., Ihara, H., Matsunaga, K., Kuwai, T., Ito, Y., Hasatani, K., Komeda, Y., Kurita, A., Yamaguchi, S., Maruyama, H., Iwashita, T., Takenaka, M., Hosono, M., Nishida, T.
Medical radiation exposure during gastrointestinal enteral metallic stent placement: Post hoc analysis of the REX-GI study.
JGH Open, 2023. 7 (12) : 869-874
22. Watanabe, M., Toh, Y., Ishihara, R., Kono, K., Matsubara, H., Miyazaki, T., Morita, M., Murakami, K., Muro, K., Numasaki, H., Oyama, T., Saeki, H., Tanaka, K., Tsushima, T., Ueno, M., Uno, T., Yoshio, T., Usune, S., Takahashi, A., Miyata, H.
Comprehensive registry of esophageal cancer in Japan, 2015.
Esophagus, 2023. 20 (1) : 1-28
23. Yamasaki, Y., Kato, M., Takeuchi, Y., Hoteya, S., Oyama, T., Nonaka, S., Yoshimizu, S., Yoshida, M., Ohata, K., Miura, Y., Hara, Y., Tsuji, S., Dohi, O., Ueyama, H., Kurahara, K., Tashima, T., Abe, N., Mitsunashi, T., Nakayama, A., Oda, I., Yahagi, N.
Characteristics of synchronous and metachronous duodenal tumors and association with colorectal cancer: A supplementary analysis.
J. Gastroenterol., 2023. 58 (5) : 459-469
24. Yamasaki, Y., Kato, M., Takeuchi, Y., Hoteya, S., Oyama, T., Nonaka, S., Yoshimizu, S., Yoshida, M., Ohata, K., Miura, Y., Hara, Y., Tsuji, S., Dohi, O., Ueyama, H., Kurahara, K., Tashima, T., Abe, N., Mitsunashi, T., Nakayama, A., Oda, I., Yahagi, N.
Correction: Characteristics of synchronous and metachronous duodenal tumors and association with colorectal cancer: a supplementary analysis.
J. Gastroenterol., 2023. 58 (5) : 470-471

25. Yonazu, S., Ozawa, T., Nakanishi, T., Ochiai, K., Shibata, J., Osawa, H., Hirasawa, T., Kato, Y., Tajiri, H., Tada, T.
Cost-effectiveness analysis of the artificial intelligence diagnosis support system for early gastric cancers.
DEN Open, 2023. 4 (1) : e289
26. 古谷建悟, 平澤俊明, 高松学, 池之山洋平, 並河健, 渡海義隆, 吉水祥一, 堀内裕介, 石山晃世志, 由雄敏之, 藤崎順子
消化管リンパ増殖性疾患の診断アプローチの基本: 胃 MALT リンパ: 胃癌との鑑別点を中心に. 胃と腸, 2023. 58 (7) : 893-896
27. 吉水祥一, 布部創也, 速水克, 井田智, 石山晃世志, 由雄敏之, 平澤俊明, 藤崎順子
表在性非乳頭部十二指腸上皮性腫: (SNADET) の内視鏡診断と治療: 治療: 十二指腸 LECS の位置づけと治療成績. 消化器内視鏡, 2023. 35 (6) : 807-813
28. 堀内裕介
胃癌の診断における狭帯域光併用 Endocytoscopy の手技のコツと有用性. 日本消化器内視鏡学会雑誌, 2023. 65 (12) : 2421-2429
29. 山本浩之, 平澤俊明, 高松学
「胃と腸」式 読影問題集 2023 応用と発展: 考える画像診断が身につく: 胃 (Case 8). 胃と腸, 2023. 58 (10) : 1276-1279
30. 平澤俊明
令和時代の胃の診断学. 京都消化器医会会報, 2023 (39) : 10-15
31. 後藤田卓志, 唐小燕
食道疾患アトラス: 平坦な病変: 悪性: Barrett 食道腺癌 (0-IIb) 消化器内視鏡, 2023. 35 (増刊) : 180-181
32. 由雄敏之, 藤崎順子
消化管狭窄に対する内視鏡的バルーン拡張術: EBD 後のステロイド局注の有用性. 臨床消化器内科, 2023. 38 (5) : 523-528
33. 石山晃世志, 堀川宜範, 志波慶樹, 鉄地川原香恵, 濱田晃市, 西野徳之
消化管異物の診断と治療: 食道異物の診断と治療. 臨床消化器内科, 2023. 38 (1) : 106-110
34. 藤崎順子
Barrett 食道腺癌の ESD と治療成績. Gastroenterol. Endosc., 2023. 65 (9) : 1405-1414
35. 藤崎順子, 東佑香, 並河健, 高松学
ピロリ菌未感染胃粘膜に発生する種々の疾患: 未感染粘膜の印環細胞癌. 消化器内科, 2023. 5 (1) : 60-65
36. 藤崎順子
上部消化管疾患の残された課題: ピロリ菌除菌による胃がんのリスク低減効果と除菌後胃がん. Prog. Med., 2023. 43 (9) : 817-823
37. 鈴木啓太, 池之山洋平, 吉水祥一, 藤崎順子
非乳頭部十二指腸腺腫・癌の診療方針: 非乳頭部十二指腸腺腫は治療すべきか: 経過観察例からの考察. 臨床消化器内科, 2023. 38 (12) : 1505-1513

【下部消化管内科】

1. Chikatani, K., Ishida, H., Mori, Y., Nakajima, T., Ueki, A., Akagi, K., Takao, A., Yamada, M., Taniguchi, F., Komori, K., Sasaki, K., Sudo, T., Miyakura, Y., Chino, A., Yamaguchi, T., Tanakaya, K., Tomita, N., Ajioka, Y.
Risk of metachronous colorectal cancer after colectomy for first colon cancer in Lynch syndrome: Multicenter retrospective study in Japan.
Int. J. Clin. Oncol., 2023. 28 (12) : 1633-1640
2. Enomoto, Y., Ishioka, M., Chino, A., Kobayashi, H., Shimizu, R., Yasue, C., Ide, D., Igarashi, M., Fujisaki, J., Matsuda, T., Igarashi, Y., Saito, S.

Advantage of magnifying narrow-band imaging for the diagnosis of colorectal neoplasia associated with sessile serrated lesions. *DEN Open*, 2023. 4 (1) : e315

3. Hiyoshi, Y., Daitoku, N., Mukai, T., Nagasaki, T., Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Yasue, C., Chino, A., Saito, S., Takamatsu, M., Fukunaga, Y.
ASO visual abstract: Risk factors for lymph node metastasis of rectal neuroendocrine tumor and its prognostic impact: A single-center retrospective analysis of 195 cases with radical resection. *Ann. Surg. Oncol.*, 2023. 30 (7) : 3956
4. Hiyoshi, Y., Daitoku, N., Mukai, T., Nagasaki, T., Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Yasue, C., Chino, A., Saito, S., Takamatsu, M., Fukunaga, Y.
Risk factors for lymph node metastasis of rectal neuroendocrine tumor and its prognostic impact: A single-center retrospective analysis of 195 cases with radical resection. *Ann. Surg. Oncol.*, 2023. 30 (7) : 3944-3935
5. Ishikawa, H., Yamada, M., Sato, Y., Tanaka, S., Chino, A., Tajika, M., Doyama, H., Takayama, T., Ohda, Y., Horimatsu, T., Sano, Y., Tanakaya, K., Ikematsu, H., Saida, Y., Ishida, H., Takeuchi, Y., Kashida, H., Kiriya, S., Hori, S., Lee, K., Tashiro, J., Kobayashi, N., Nakajima, T., Suzuki, S., Mutoh, M.
Intensive endoscopic resection for downstaging of polyp burden in patients with familial adenomatous polyposis (J-FAPP Study III) : A multicenter prospective interventional study. *Endoscopy*, 2023. 55 (4) : 344-352
6. Kajiwar, Y., Oka, S., Tanaka, S., Nakamura, T., Saito, S., Fukunaga, Y., Takamatsu, M., Kawachi, H., Hotta, K., Ikematsu, H., Kojima, M., Saito, Y., Yamada, M., Kanemitsu, Y., Sekine, S., Nagata, S., Yamada,

K., Kobayashi, N., Ishihara, S., Saitoh, Y., Matsuda, K., Togashi, K., Komori, K., Ishiguro, M., Kuwai, T., Okuyama, T., Ohuchi, A., Ohnuma, S., Sakamoto, K., Sugai, T., Katsumata, K., Matsushita, H. O., Yamano, H. O., Eda, H., Uraoka, T., Akimoto, N., Kobayashi, H., Ajioka, Y., Sugihara, K., Ueno, H.

Nomogram as a novel predictive tool for lymph node metastasis in T1 colorectal cancer treated with endoscopic resection: A nationwide, multicenter study. *Gastrointest. Endosc.*, 2023. 97 (6) : 1119-1128

7. Mori, Y., Ishida, H., Chika, N., Ito, T., Amano, K., Chikatani, K., Takeuchi, Y., Kono, M., Shichijo, S., Chino, A., Nagasaki, T., Takao, A., Takao, M., Nakamori, S., Sasaki, K., Akagi, K., Yamaguchi, T., Tanakaya, K., Naohiro, T., Ajioka, Y.
Usefulness of genotyping APC gene for individualizing management of patients with familial adenomatous polyposis. *Int. J. Clin. Oncol.*, 2023. 28 (12) : 1641-1650
8. Takayama, T., Muguruma, N., Igarashi, M., Ohsumi, S., Oka, S., Kakuta, F., Kubo, Y., Kumagai, H., Sasaki, M., Sugai, T., Sugano, K., Takeda, Y., Doyama, H., Banno, K., Fukahori, S., Furukawa, Y., Horimatsu, T., Ishikawa, H., Iwama, T., Okazaki, Y., Saito, Y., Matsuura, N., Mutoh, M., Tomita, N., Akiyama, T., Yamamoto, T., Ishida, H., Nakayama, Y.
Clinical Guidelines for Diagnosis and Management of Cowden Syndrome/PTEN Hamartoma Tumor Syndrome in Children and Adults-Secondary Publication. *J. Anus Rectum Colon.*, 2023. 7 (4) : 284-300
9. Tanaka, H., Uraoka, T., Kobayashi, N., Ohata, K., Takeuchi, Y., Chino, A., Yamada, M., Tsuji, Y., Hotta, K., Harada, K., Ikematsu, H., Murakami, T., Tsuji, S., Katagiri, A., Hori, S.,

- Michida, T., Suzuki, T., Fukuzawa, M., Kiri-
yama, S., Fukase, K., Murakami, Y., Ishika-
wa, H., Nagahara, A., Saito, Y.
Short-term and long-term outcomes of
submucosal dissection for residual or re-
current colorectal tumors after endoscopic
resection: Analysis of a multicenter pro-
spective study.
Dig. Endosc., 2023: in press
10. Tokura, J., Ide, D., Suzuki, K., Yasue, C.,
Chino, A., Igarashi, M., Saito, S.
Novel adjustable traction “noose knot”
method for colorectal endoscopic submuco-
sal dissection.
Endoscopy, 2023. 56 (S 01) : E55-E56
 11. Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y.,
Sakamoto, T., Mukai, T., Hiyoshi, Y., Naga-
saki, T., Taguchi, S., Chino, A., Shinozaki, E.,
Yamaguchi, K., Konishi, T.
Adding induction chemotherapy before
chemoradiotherapy with total mesorectal
excision and selective lateral lymph node
dissection for patients with poor-risk, local-
ly advanced, mid-to-low rectal cancer may
improve oncologic outcomes: A propensity
score-matched analysis.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (8) : 4716-
4724
 12. Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y.,
Sakamoto, T., Mukai, T., Hiyoshi, Y., Naga-
saki, T., Taguchi, S., Chino, A., Shinozaki, E.,
Yamaguchi, K., Konishi, T.
ASO visual abstract: Adding induction che-
motherapy before chemoradiotherapy with
total mesorectal excision and selective lat-
eral lymph node dissection in patients with
poor-risk, locally advanced, mid-to-low
rectal cancer may improve oncological out-
comes: A propensity score-matched analy-
sis.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (8) : 4727-
4728
 13. 十倉淳紀, 千野晶子
消化管出血のマネジメントが変わっている? :
最新情報と診療の実際: 放射線性腸炎患者にお
ける出血のマネジメント.
臨床消化器内科, 2023. 38 (11) : 1425-
1431
 14. 千野晶子, 片山美穂, 井出大資, 五十嵐正広
消化管内視鏡 AI:Updated: 下部消化管 AI 市
販化された AI の特徴とその使用法 CAdE
内視鏡 AI システム (ENDO-AID) の Up-to
date-ENDO AID, オリンパス株式会社による
開発プロセスと検証.
消化器内視鏡, 2023. 35 (12) : 1735-1739
 15. 原健三, 斎藤彰一, 高松学
最新の診断・治療と病態: 診断: 拡大内視鏡検
査 (pit pattern 診断) .
日本臨床, 2023. 81 (増刊 5: 最新臨床大腸癌
学 2023) : 62-67
 16. 原健三, 高松学, 十倉淳紀, 鈴木桂悟, 安江千
尋, 井出大資, 千野晶子, 五十嵐正広, 斎藤彰
一, 河内洋
消化管リンパ増殖性疾患の診断アプローチの基
本: 直腸 MALT リンパ腫: 鑑別のポイントを中
心に.
胃と腸, 2023. 58 (7) : 949-954
 17. 坂本貴志, 福長洋介, 鈴木桂悟, 斎藤彰一
内科と外科のコラボレーション手術の今: 大腸・
肛門病変に対するコラボレーション手術: 大腸
LECS, colorectal LECS.
消化器内視鏡, 2023. 35 (11) : 1616-1621
 18. 斎藤彰一, 河内洋, 池上雅博, 森田祐規, 小林
輝, 十倉淳紀, 鈴木桂悟, 安江千尋, 井出大資,
千野晶子, 五十嵐正広, 藤井有里, 玉井尚人,
中尾裕
鋸歯状病変関連の早期大腸癌: 癌併存大腸 SSL
の内視鏡診断: 画像強調観察の立場から: NBI
の立場から.
胃と腸, 2023. 58 (2) : 146-158
 19. 森田祐規, 中野薫, 高松学, 十倉淳紀, 鈴木桂
悟, 安江千尋, 井出大資, 千野晶子, 五十嵐正
広, 斎藤彰一, 河内洋

鋸歯状病変関連の早期大腸癌：serrated polypoid syndrome に合併した粘膜下層浸潤を呈した早期大腸癌の1例．

胃と腸, 2023. 58 (2) : 215-221

20. 泉敦子, 斎藤彰一, 高松学
「胃と腸」式読影問題集 2023 : 基本と応用 : 考える画像診断が身につく : 大腸 (Case 3) .
胃と腸, 2023. 58 (4) : 534-537
21. 渡邊昌人, 斎藤彰一, 河内洋
「胃と腸」式読影問題集 2023 応用と発展 : 考える画像診断が身につく : 大腸 (Case 12) .
胃と腸, 2023. 58 (10) : 1414-1417
22. 鈴木桂悟, 千野晶子
大腸ポリープに挑む : 大腸ポリポース患者のマネジメント .
臨床消化器内科, 2023. 38 (4) : 477-481

【乳腺内科】

1. André, F., Hee Park, Y., Kim, S. B., Takano, T., Im, S. A., Borges, G., Lima, J. P., Aksoy, S., Gavila Gregori, J., De Laurentiis, M., Bianchini, G., Royle, R., Miyoshi, Y., Armstrong, A., Sinha, R., Ruiz Borrego, M., Lim, E., Ettl, J., Yerushalmi, R., Zagouri, F., Duhoux, F. P., Fehm, T., Gambhire, D., Cathcart, J., Wu, C., Chu, C., Egorov, A., Krop, I.
Trastuzumab deruxtecan versus treatment of physician's choice in patients with HER2-positive metastatic breast cancer (DESTINY-Breast02) : A randomised, open-label, multicentre, phase 3 trial.
Lancet, 2023. 401 (10390) : 1773-1785
2. Aoki, Y., Inoue, Y., Sasahira, N., Ono, M., Inamura, K., Kataoka, A., Takano, T., Kanao, H., Watanabe, M.
Primary ovarian insufficiency associated with lenvatinib therapy in a patient with hepatocellular carcinoma: A case report.
Oncol. Lett., 2023. 26 (4) : 450
3. Baba, T., Kusumoto, M., Kato, T., Kurihara, Y., Sasaki, S., Oikado, K., Saito, Y., Endo, M., Fujiwara, Y., Kenmotsu, H., Sata, M., Takano, T., Kato, K., Hirata, K., Katagiri, T., Saito, H., Kuwano, K.
Clinical and imaging features of interstitial lung disease in cancer patients treated with trastuzumab deruxtecan.
Int. J. Clin. Oncol., 2023. 28 (12) : 1585-1596
4. Fukada, I., Mori, S., Hayashi, N., Hosonaga, M., Xiaofei, W., Yamazaki, M., Ueki, A., Kiyotani, K., Tonooka, A., Takeuchi, K., Ueno, T., Takahashi, S.
Prognostic impact of cancer genomic profile testing for advanced or metastatic solid tumors in clinical practice.
Cancer Sci., 2023. 114 (12) : 4632-4642
5. Funasaka, C., Hanai, A., Zenda, S., Mori, K., Fukui, M., Hirano, N., Shinohara, R., Fuse, N., Wakabayashi, M., Itagaki, M., Tomioka, Y., Nishina, M., Arai, Y., Kogawa, T., Ozaki, Y., Nishimura, M., Kobayashi, T., Hara, F., Takano, T., Mukohara, T.
Mitigation of paclitaxel-induced peripheral neuropathy in breast cancer patients using limb-cooling apparatus: A study protocol for a randomized controlled trial.
Front. Oncol., 2023. 13: 1216813
6. Hattori, M., Masuda, N., Takano, T., Tsugawa, K., Inoue, K., Matsumoto, K., Ishikawa, T., Itoh, M., Yasojima, H., Tanabe, Y., Yamamoto, K., Suzuki, M., Pan, W., Cortes, J., Iwata, H.
Pembrolizumab plus chemotherapy in Japanese patients with triple-negative breast cancer: Results from KEYNOTE-355.
Cancer Med., 2023. 12 (9) : 10280-10293
7. Ishiba, T., Nishibuchi, I., Hara, F., Shikama, N., Shien, T., Iwata, H.
Metastasis-directed therapy for oligometastases in breast cancer.

- Jpn. J. Clin. Oncol., 2023. 53 (10) : 893-898
8. Iwata, H., Nakamura, R., Masuda, N., Yamashita, T., Yamamoto, Y., Kobayashi, K., Tsurutani, J., Iwasa, T., Yonemori, K., Tamura, K., Aruga, T., Tokunaga, E., Kaneko, K., Lee, M. J., Yuno, A., Kawabata, A., Seike, T., Kaneda, A., Nishimura, Y., Trepel, J. B., Saji, S.
Efficacy and exploratory biomarker analysis of entinostat plus exemestane in advanced or recurrent breast cancer: Phase II randomized controlled trial.
Jpn. J. Clin. Oncol., 2023. 53 (1) : 4-15
 9. Kobayashi, K., Masuda, N., Mizuno, T., Miura, K., Tokuda, Y., Yoshinami, T., Kawaguchi, H., Ohtani, S., Saeki, T., Toi, M., Takeuchi, M., Ito, Y.
Phase II trial of biweekly administration with eribulin after three cycles of induction therapy in hormone receptor-positive, HER2-negative metastatic breast cancer (JACCRO BC-03) .
Breast Cancer Res. Treat., 2023. 201 (3) : 409-415
 10. Masuda, H., Tanabe, Y., Sakai, H., Matsumoto, K., Shimomura, A., Doi, M., Miyoshi, Y., Takahashi, M., Sagara, Y., Tokunaga, S., Iwasa, T., Niikura, N., Yoshimura, K., Takano, T., Tsurutani, J.
Efficacy of probiotics and trimebutine maleate for abemaciclib-induced diarrhea: A randomized, open-label phase II trial (MERMAID, WJOG11318B) .
Breast, 2023. 71: 22-28
 11. Masuda, J., Sakai, H., Tsurutani, J., Tanabe, Y., Masuda, N., Iwasa, T., Takahashi, M., Futamura, M., Matsumoto, K., Aogi, K., Iwata, H., Hosonaga, M., Mukohara, T., Yoshimura, K., Imamura, C. K., Miura, S., Yamochi, T., Kawabata, H., Yasojima, H., Tomioka, N., Yoshimura, K., Takano, T.
Efficacy, safety, and biomarker analysis of nivolumab in combination with abemaciclib plus endocrine therapy in patients with HR-positive HER2-negative metastatic breast cancer: a phase II study (WJOG11418B NEWFLAME trial) .
J. Immunother. Cancer, 2023. 11 (9) : e007126
 12. Nakayama, I., Shinozaki, E., Kawachi, H., Sasaki, T., Yunokawa, M., Tomomatsu, J., Yuasa, T., Kitazono, S., Kobayashi, K., Hayakawa, K., Ueki, A., Takahashi, S., Yamaguchi, K.
Implementation of microsatellite instability testing for the assessment of solid tumors in clinical practice.
Cancer Med., 2023. 12 (7) : 7932-7940
 13. Nozawa, K., Terada, M., Onishi, M., Ozaki, Y., Takano, T., Fakhouri, W., Novick, D., Haro, J. M., Faris, L. H., Kawaguchi, T., Tanizawa, Y., Tsurutani, J.
Real-world treatment patterns and outcomes of abemaciclib for the treatment of HR + , HER2- metastatic breast cancer patients in Japan.
Breast Cancer, 2023. 30 (4) : 657-665
 14. Ozaki, Y., Kinowaki, K., Kawabata, H., Kudo-Saito, C.
IL25+ macrophages are a key determinant of treatment resistance of IL17RB+ breast cancer.
Am. J. Cancer Res., 2023. 13 (10) : 4931-4943
 15. Ozaki, Y., Masuda, J., Kataoka, A., Kogawa, T., Abe, T., Morizono, H., Inagaki, R., Hara, F., Takano, T., Ueno, T., Ohno, S.
The impact of obesity and endocrine therapy on the prognosis of premenopausal women with hormone receptor-positive breast cancer: A single-institute retrospective study.
Cancer Rep., 2023. 6 (2) : e1695

16. Saeki, S., Iwatani, T., Kitano, A., Sakurai, N., Tanabe, Y., Yamauchi, C., Igarashi, A., Kajimoto, Y., Kuba, S., Hara, F., Sagara, Y., Ohno, S.
Correction: Factors associated with financial toxicity in patients with breast cancer in Japan: A comparison of patient and physician perspectives.
Breast Cancer, 2023. 30 (5) : 831
17. Saeki, S., Iwatani, T., Kitano, A., Sakurai, N., Tanabe, Y., Yamauchi, C., Igarashi, A., Kajimoto, Y., Kuba, S., Hara, F., Sagara, Y., Ohno, S.
Factors associated with financial toxicity in patients with breast cancer in Japan: A comparison of patient and physician perspectives.
Breast Cancer, 2023. 30 (5) : 820-830
18. Saeki, S., Kumegawa, K., Takahashi, Y., Yang, L., Osako, T., Yasen, M., Otsuji, K., Miyata, K., Yamakawa, K., Suzuka, J., Sakimoto, Y., Ozaki, Y., Takano, T., Sano, T., Noda, T., Ohno, S., Yao, R., Ueno, T., Maruyama, R.
Transcriptomic intratumor heterogeneity of breast cancer patient-derived organoids may reflect the unique biological features of the tumor of origin.
Breast Cancer Res., 2023. 25 (1) : 21
19. Sakai, H., Tsurutani, J., Ozaki, Y., Ishiguro, H., Nozawa, K., Watanabe, K., Maeda, S., Yokoe, T., Imamura, C. K., Matsumoto, K., Iwasa, T., Chiba, Y., Takiguchi, D., Takano, T.
Multicentre, randomised, double-blind, placebo-controlled phase II study of prophylactic olanzapine for patients with metastatic breast cancer receiving T-DXd treatment: protocol for the ERICA study (WJOG14320B) .
BMJ Open, 2023. 13 (4) : e070304
20. Sasada, S., Kondo, N., Hashimoto, H., Takahashi, Y., Terata, K., Kida, K., Sagara, Y., Ueno, T., Anan, K., Suto, A., Kanbayashi, C., Takahashi, M., Nakamura, R., Ishiba, T., Tsuneizumi, M., Nishimura, S., Naito, Y., Hara, F., Shien, T., Iwata, H.
Prognostic impact of adjuvant endocrine therapy for estrogen receptor-positive and HER2-negative T1a/bN0M0 breast cancer.
Breast Cancer Res. Treat., 2023. 202 (3) : 473-483
21. Shimomura, A., Takano, T., Takahashi, S., Sagara, Y., Watanabe, J., Tokunaga, E., Shinkai, T., Kamio, T., Kikumori, K., Kamiyama, E., Fujisaki, Y., Saotome, D., Yamashita, T.
Effect of trastuzumab deruxtecan on QT/QTc interval and pharmacokinetics in HER2-positive or HER2-low metastatic/unresectable breast cancer.
Clin. Pharmacol. Ther., 2023. 113 (1) : 160-169
22. Takada, M., Imoto, S., Ishida, T., Ito, Y., Iwata, H., Masuda, N., Mukai, H., Saji, S., Ikeda, T., Haga, H., Saeki, T., Aogi, K., Sugie, T., Ueno, T., Ohno, S., Ishiguro, H., Kanbayashi, C., Miyamoto, T., Hagiwara, Y., Toi, M.
A risk-based subgroup analysis of the effect of adjuvant S-1 in estrogen receptor-positive, HER2-negative early breast cancer.
Breast Cancer Res. Treat., 2023. 202 (3) : 485-496
23. Takano, T., Ito, M., Kadoya, T., Osako, T., Aruga, T., Masuda, N., Miyaki, T., Niikura, N., Shimizu, D., Yokoyama, Y., Watanabe, M., Tomomitsu, M., Aogi, K.
Efficacy and safety of pegfilgrastim biosimilar MD-110 in patients with breast cancer receiving chemotherapy: Single-arm phase III.
Cancer Med., 2023. 12 (20) : 20242-20250
24. Terada, M., Ito, A., Kikawa, Y., Koizumi, K., Naito, Y., Shimoi, T., Ishihara, M., Yamanaoka, T., Ozaki, Y., Hara, F., Nakamura, R.,

- Hattori, M., Miyashita, M., Kondo, N., Yoshinami, T., Takada, M., Matsumoto, K., Narui, K., Sasada, S., Iwamoto, T., Hosoda, M., Takano, Y., Oba, T., Sakai, H., Murakami, A., Higuchi, T., Tsuchida, J., Tanabe, Y., Shigechi, T., Tokuda, E., Harao, M., Kashiwagi, S., Mase, J., Watanabe, J., Nagai, S. E., Yamauchi, C., Yamamoto, Y., Iwata, H., Saji, S., Toyama, T.
The Japanese Breast Cancer Society Clinical Practice Guidelines for systemic treatment of breast cancer, 2022 edition.
Breast Cancer, 2023. 30 (6) : 872-884
25. Watanabe, K., Niikura, N., Kikawa, Y., Oba, M., Kobayashi, K., Tada, H., Ozaki, S., Toh, U., Yamamoto, Y., Tsuneizumi, M., Okuno, T., Iwakuma, N., Takeshita, T., Iwamoto, T., Ishiguro, H., Masuda, N., Saji, S.
Fulvestrant plus palbociclib in advanced or metastatic hormone receptor-positive/human epidermal growth factor receptor 2-negative breast cancer after fulvestrant monotherapy: Japan Breast Cancer Research Group-M07 (FUTURE trial) .
Breast Cancer Res. Treat., 2023. 199 (2) : 253-263
 26. Yamauchi, H., Toi, M., Takayama, S., Nakamura, S., Takano, T., Cui, K., Campbell, C., De Vos, L., Geyer, C., Jr., Tutt, A.
Adjuvant olaparib in the subset of patients from Japan with BRCA1- or BRCA2-mutated high-risk early breast cancer from the phase 3 OlympiA trial.
Breast Cancer, 2023. 30 (4) : 696-605
 27. Yamauchi, H., Toi, M., Takayama, S., Nakamura, S., Takano, T., Cui, K., Campbell, C., De Vos, L., Geyer, C., Jr., Tutt, A.
Correction: Adjuvant olaparib in the subset of patients from Japan with BRCA1- or BRCA2-mutated high-risk early breast cancer from the phase 3 OlympiA trial.
Breast Cancer, 2023. 30 (4) : 606
 28. 五味直哉, 深田一平, 笹野公伸, 高橋俊二
症例検討会: 内分泌療法抵抗性の IV 期の浸潤性小葉癌: エキスパートパネルでの検討を踏まえて.
Cancer Board Breast, 2023. 7 (2) : 71-80
 29. 升田茉莉子, 高野利実, 寺嶋克幸, 横田美幸, 立道昌幸, 立石清一郎
がん患者の仕事と治療の両立支援.
腫瘍内科, 2023. 32 (2) : 189-194
 30. 尾崎由記範
乳がん診療の新しい景色: ctDNA から見える乳がん診療の新しい景色.
腫瘍内科, 2023. 32 (2) : 123-128
 31. 尾崎由記範
乳癌診断と治療における押さえるべきトレンド: 乳癌における ctDNA の位置付け.
Rad Fan, 2023. 21 (7) : 59-63
 32. 尾崎由記範, 高野利実
国際共同試験への課題: がん化学療法におけるアジアと欧米の違い: 国際共同試験と承認格差への課題.
癌と化学療法, 2023. 50 (1) : 30-34
 33. 木澤莉香, 高野利実
乳腺内分泌腫瘍: バイオマーカーとコンパニオン診断: HER2 低発現進行・再発乳がんを対象としたトラスツズマブ・デルクステカンの臨床試験.
癌と化学療法, 2023. 50 (12) : 1278-1281
 34. 細永真理, 高野利実
各臓器がんに対する周術期 (手術・放射線治療) 薬物療法の State of the art : 乳がん.
腫瘍内科, 2023. 32 (3) : 230-236
 35. 西村明子
Q88 潜在性 TNBC が発見された場合の治療法について教えてください.
Q89 TNBC と人種の関係について教えてください.
トリプルネガティブ乳癌 Q&A (大野真司, 戸井雅和編集), 東京, 医歯薬出版: pp.256-260, 2023

36. 青山陽亮
がん患者のアピアランスケア。
腫瘍内科, 2023. 32 (2) : 195-200
37. 青山陽亮, 尾崎由記範, 高野利実
これだけは押さえておきたい: がん化学療法の薬: 抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬: はや調べノート: ざっくり解説! 支持療法薬; 発熱性好中球減少症での支持療法薬。
YORi-SOU がんナーシング, 2023. 別冊 (がん化学療法の薬 - 抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬 - はや調べノート 2023・2024 年版) : 366-368
38. 青山陽亮, 高野利実
症例に学ぶ臨床検査データの診かた: 領域別臨床検査データの診かた: 腫瘍マーカー。
臨床と研究, 2023. 100 (2) : 229-233

【乳腺外科】

1. Akechi, T., Yamaguchi, T., Uchida, M., Imai, F., Momino, K., Katsuki, F., Sakurai, N., Miyaji, T., Mashiko, T., Horikoshi, M., Furukawa, T. A., Yoshimura, A., Ohno, S., Uehiro, N., Higaki, K., Hasegawa, Y., Akahane, K., Uchitomi, Y., Iwata, H.
Smartphone psychotherapy reduces fear of cancer recurrence among breast cancer survivors: A fully decentralized randomized controlled clinical trial (J-SUPPORT 1703 Study) .
J. Clin. Oncol., 2023. 41 (5) : 1069-1078
2. Aoki, Y., Inoue, Y., Sasahira, N., Ono, M., Inamura, K., Kataoka, A., Takano, T., Kanao, H., Watanabe, M.
Primary ovarian insufficiency associated with lenvatinib therapy in a patient with hepatocellular carcinoma: A case report.
Oncol. Lett., 2023. 26 (4) : 450
3. Fukada, I., Mori, S., Hayashi, N., Hosonaga, M., Xiaofei, W., Yamazaki, M., Ueki, A., Kiyotani, K., Tonooka, A., Takeuchi, K., Ueno, T., Takahashi, S.
Prognostic impact of cancer genomic profile testing for advanced or metastatic solid tumors in clinical practice.
Cancer Sci., 2023. 114 (12) : 4632-4642
4. Imoto, S., Wang, K., Bi, X. W., Liu, G., Im, Y. H., Im, S. A., Sim, S. H., Ueno, T., Futamura, M., Toi, M., Fujiwara, Y., Ahn, S. G., Lee, J. E., Park, Y. H., Takao, S., Oba, M. S., Kitagawa, Y., Nishiyama, M.
Survival advantage of locoregional and systemic therapy in oligometastatic breast cancer: An international retrospective cohort study (OLIGO-BC1) .
Breast Cancer, 2023. 30 (3) : 412-423
5. Iwase, T., Saji, S., Iijima, K., Higaki, K., Ohtani, S., Sato, Y., Hozumi, Y., Hasegawa, Y., Yanagita, Y., Takei, H., Tanaka, M., Masuoka, H., Tanabe, M., Egawa, C., Komoike, Y., Nakamura, T., Ohtsu, H., Mukai, H.
Postoperative adjuvant anastrozole for 10 or 5 years in patients with hormone receptor-positive breast cancer: AERAS, a randomized multicenter open-label phase III trial.
J. Clin. Oncol., 2023. 41 (18) : 3329-3338
6. Iwata, H., Yamamoto, Y., Sakai, T., Hasegawa, Y., Nakamura, R., Akabane, H., Ohtani, S., Kashiwaba, M., Taira, N., Toyama, T., Fujisawa, T., Masuda, N., Shibahara, Y., Sasano, H., Yamaguchi, T.
Phase III study of long-term prognosis of estrogen receptor-positive early breast cancer treated with neoadjuvant endocrine therapy with/without adjuvant chemotherapy.
Breast Cancer Res. Treat., 2023. 199 (2) : 231-241
7. Kawaguchi, H., Yamamoto, Y., Saji, S., Masuda, N., Nakayama, T., Aogi, K., Anan, K., Ohtani, S., Sato, N., Takano, T., Tokunaga, E., Nakamura, S., Hasegawa, Y., Hattori, M., Fujisawa, T., Morita, S., Yamaguchi, M., Yamashita, T., Yotsumoto, D., Toi, M., Ohno, S.

- Retrospective study on the effectiveness of medroxyprogesterone acetate in the treatment of ER-positive/HER2-negative post-menopausal advanced breast cancer: An additional analysis of the JBCRG-C06 Safari study.
Jpn. J. Clin. Oncol., 2023. 53 (3) : 203-211
8. Koizumi, T., Sugishita, Y., Suzuki-Takahashi, Y., Nara, K., Miyagawa, T., Nakajima, M., Sugimoto, K., Futamura, M., Furui, T., Takai, Y., Matsumoto, H., Yamauchi, H., Ohno, S., Kataoka, A., Kawai, K., Fukuma, E., Nogi, H., Tsugawa, K., Suzuki, N.
Oncofertility-related psycho-educational therapy for young adult patients with breast cancer and their partners: Randomized controlled trial.
Cancer, 2023. 129 (16) : 2568-2580
 9. Kumegawa, K., Saeki, S., Takahashi, Y., Yang, L., Osako, T., Nakadai, T., Amino, S., Maeda, T., Takahata, C., Mori, S., Noda, T., Ohno, S., Ueno, T., Maruyama, R.
Chromatin profile-based identification of a novel ER-positive breast cancer subgroup with reduced ER-responsive element accessibility.
Br. J. Cancer., 2023. 128 (7) : 1208-1222
 10. Masuyama, M., Masuda, N., Kawaguchi, H., Yamamoto, Y., Saji, S., Nakayama, T., Aogi, K., Anan, K., Ohtani, S., Sato, N., Takano, T., Tokunaga, E., Nakamura, S., Hasegawa, Y., Hattori, M., Fujisawa, T., Morita, S., Yamaguchi, M., Yamashita, T., Yotsumoto, D., Toi, M., Ohno, S.
Fulvestrant with or without anti-HER2 therapy in patients in a postmenopausal hormonal state and with ER-positive HER2-positive advanced or metastatic breast cancer: A subgroup analysis of data from the Safari study (JBCRG-C06) .
Cancer Med., 2023. 12 (17) : 17718-17730
 11. Miyata, K., Zhou, X., Nishio, M., Hanyu, A., Chiba, M., Kawasaki, H., Osako, T., Takeuchi, K., Ohno, S., Ueno, T., Maruyama, R., Takahashi, A.
Chromatin conformational changes at human satellite II contribute to the senescence phenotype in the tumor microenvironment.
Proc. Natl. Acad. Sci. U. S. A., 2023. 120 (32) : e2305046120
 12. Nomura, H., Abe, A., Fusegi, A., Yoshimitsu, T., Misaka, S., Murakami, A., Matsumoto, T., Tsumura, S., Kanno, M., Aoki, Y., Netsu, S., Omi, M., Tanigawa, T., Okamoto, S., Omatsu, K., Yunokawa, M., Kanao, H., Habano, E., Arakawa, H., Kaneko, K., Ueki, A., Haruyama, Y., Inari, H., Ueno, T.
Impact of the coverage of risk-reducing salpingo-oophorectomy by the national insurance system for women with BRCA pathogenic variants in Japan.
Sci. Rep., 2023. 13 (1) : 1018
 13. Ogiya, A., Nagura, N., Shimo, A., Nogi, H., Narui, K., Seki, H., Mori, H., Sasada, S., Ishitobi, M., Kondo, N., Yamauchi, C., Akazawa, K., Shien, T.
ASO author reflections: Long term outcomes of breast cancer patients with local recurrence after mastectomy undergoing immediate breast reconstruction.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (11) : 6541-6542
 14. Ogiya, A., Nagura, N., Shimo, A., Nogi, H., Narui, K., Seki, H., Mori, H., Sasada, S., Ishitobi, M., Kondo, N., Yamauchi, C., Akazawa, K., Shien, T.
ASO visual abstract: Long-term outcomes of breast cancer patients with local recurrence after mastectomy undergoing immediate breast reconstruction: A retrospective, multi-institutional study of 4153 cases.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (11) : 6453-6544

15. Ogiya, A., Nagura, N., Shimo, A., Nogi, H., Narui, K., Seki, H., Mori, H., Sasada, S., Ishitobi, M., Kondo, N., Yamauchi, C., Akazawa, K., Shien, T.
Long-term outcomes of breast cancer patients with local recurrence after mastectomy undergoing immediate breast reconstruction: A retrospective multi-institutional study of 4153 cases.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (11) : 6532-6540
16. Ozaki, Y., Masuda, J., Kataoka, A., Kogawa, T., Abe, T., Morizono, H., Inagaki, R., Hara, F., Takano, T., Ueno, T., Ohno, S.
The impact of obesity and endocrine therapy on the prognosis of premenopausal women with hormone receptor-positive breast cancer: A single-institute retrospective study.
Cancer Rep., 2023. 6 (2) : e1695
17. Partridge, A. H., Niman, S. M., Ruggeri, M., Peccatori, F. A., Azim, H. A., Jr., Colleoni, M., Saura, C., Shimizu, C., Sætersdal, A. B., Kroep, J. R., Mailliez, A., Warner, E., Borges, V. F., Amant, F., Gombos, A., Kataoka, A., Rousset-Jablonski, C., Borstnar, S., Takei, J., Lee, J. E., Walshe, J. M., Ruíz-Borrego, M., Moore, H. C. F., Saunders, C., Bjelic-Radicic, V., Susnjar, S., Cardoso, F., Smith, K. L., Ferreiro, T., Ribi, K., Ruddy, K., Kammler, R., El-Abed, S., Viale, G., Piccart, M., Korde, L. A., Goldhirsch, A., Gelber, R. D., Pagani, O.
Interrupting endocrine therapy to attempt pregnancy after breast cancer.
N. Engl. J. Med., 2023. 388 (18) : 1645-1656
18. Saeki, S., Iwatani, T., Kitano, A., Sakurai, N., Tanabe, Y., Yamauchi, C., Igarashi, A., Kajimoto, Y., Kuba, S., Hara, F., Sagara, Y., Ohno, S.
Factors associated with financial toxicity in patients with breast cancer in Japan: A comparison of patient and physician perspectives.
Breast Cancer, 2023. 30 (5) : 820-830
19. Saeki, S., Kumegawa, K., Takahashi, Y., Yang, L., Osako, T., Yasen, M., Otsuji, K., Miyata, K., Yamakawa, K., Suzuka, J., Sakimoto, Y., Ozaki, Y., Takano, T., Sano, T., Noda, T., Ohno, S., Yao, R., Ueno, T., Maruyama, R.
Transcriptomic intratumor heterogeneity of breast cancer patient-derived organoids may reflect the unique biological features of the tumor of origin.
Breast Cancer Res., 2023. 25 (1) : 21
20. Sasada, S., Kondo, N., Hashimoto, H., Takahashi, Y., Terata, K., Kida, K., Sagara, Y., Ueno, T., Anan, K., Suto, A., Kanbayashi, C., Takahashi, M., Nakamura, R., Ishiba, T., Tsuneizumi, M., Nishimura, S., Naito, Y., Hara, F., Shien, T., Iwata, H.
Prognostic impact of adjuvant endocrine therapy for estrogen receptor-positive and HER2-negative T1a/bN0M0 breast cancer.
Breast Cancer Res. Treat., 2023. 202 (3) : 473-483
21. Shibata, N., Yoshinami, T., Tamaki, K., Nukada, T., Ohno, S.
Real-world data analysis of perioperative chemotherapy patterns, G-CSF use, and FN status in patients with early breast cancer.
Breast Cancer Res. Treat., 2023. 201 (2) : 265-273
22. Shimomura, A., Yoshida, M., Kubo, T., Yamashita, S., Noguchi, E., Nagayama, A., Hanamura, T., Okazaki, M., Mukohara, T., Tsuruga, A., Tanaka, K., Kawamura, Y., Higuchi, T., Takahashi, Y., Kurozumi, S., Hayashida, T., Ichikawa, H., Ushijima, T., Suto, A.
Clinicopathological features, genetic alterations, and BRCA1 promoter methylation in Japanese male patients with breast cancer.
Breast Cancer Res. Treat., 2023. 197 (3) : 593-602

23. Tada, K., Kumamaru, H., Miyata, H., Asaga, S., Iijima, K., Ogo, E., Kadoya, T., Kubo, M., Kojima, Y., Tanakura, K., Tamura, K., Nagahashi, M., Niikura, N., Hayashi, N., Miyashita, M., Yoshida, M., Ohno, S., Imoto, S., Jinno, H.
Characteristics of female breast cancer in Japan: Annual report of the National Clinical Database in 2018.
Breast Cancer, 2023. 30 (2) : 157-166
24. Takada, M., Imoto, S., Ishida, T., Ito, Y., Iwata, H., Masuda, N., Mukai, H., Saji, S., Ikeda, T., Haga, H., Saeki, T., Aogi, K., Sugie, T., Ueno, T., Ohno, S., Ishiguro, H., Kanbayashi, C., Miyamoto, T., Hagiwara, Y., Toi, M.
A risk-based subgroup analysis of the effect of adjuvant S-1 in estrogen receptor-positive, HER2-negative early breast cancer.
Breast Cancer Res. Treat., 2023. 202 (3) : 485-496
25. Takeda, M., Kataoka, A., Abe, T., Inoue, Y., Uehiro, N., Takahashi, Y., Nakashima, E., Ogiya, A., Sakai, T., Morizono, H., Miyagi, Y., Ohno, S., Ueno, T.
Childbirth after perioperative systemic therapy in patients with breast cancer: A retrospective single institutional study in Japan.
Jpn. J. Clin. Oncol., 2023. 53 (6) : 457-462
26. Teruya, N., Inoue, H., Horii, R., Akiyama, F., Ueno, T., Ohno, S., Takahashi, S.
Intratumoral heterogeneity, treatment response, and survival outcome of ER-positive HER2-positive breast cancer.
Cancer Med., 2023. 12 (9) : 10526-10535
27. Ueno, T.
A message from the new editor-in-chief.
Breast Cancer, 2023. 30 (1) : 1
28. Yamaguchi, A., Ishitobi, M., Nagura, N., Shimo, A., Seki, H., Ogiya, A., Sakurai, T., Seto, Y., Oshiro, C., Sasada, S., Kato, M., Kawate, T., Kondo, N., Narui, K., Nakagawa, T., Nogi, H., Yamauchi, C., Tsugawa, K., Kajiura, Y., Shien, T.
Classification of local recurrence after nipple-sparing mastectomy based on location: The features of nipple-areolar recurrence differ from those of other local recurrences.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (3) : 1678-1686
29. Yamakado, R., Ishitobi, M., Kondo, N., Yamauchi, C., Sasada, S., Nogi, H., Saiga, M., Ogiya, A., Narui, K., Seki, H., Nagura, N., Shimo, A., Sakurai, T., Niikura, N., Mori, H., Shien, T.
Physicians' perception about the impact of breast reconstruction on patient prognosis: A survey in Japan.
Breast Cancer, 2023. 30 (2) : 302-308
30. Yamamoto, Y., Yamashiro, H., Schneeweiss, A., Müller, V., Gluz, O., Klare, P., Aktas, B., Magdolna, D., Büdi, L., Pikó, B., Mangel, L., Toi, M., Morita, S., Ohno, S.
Factors affecting prognosis in patients treated with bevacizumab plus paclitaxel as first-line chemotherapy for HER2-negative metastatic breast cancer: An international pooled analysis of individual patient data from four prospective observational studies.
Breast Cancer, 2023. 30 (1) : 88-100
31. Yokokawa, T., Suzuki, K., Tsuji, D., Hosonaga, M., Kobayashi, K., Kawakami, K., Kawazoe, H., Nakamura, T., Suzuki, W., Sugisaki, T., Aoyama, T., Hashimoto, K., Hatori, M., Tomomatsu, T., Inoue, A., Azuma, K., Asano, M., Takano, T., Ohno, S., Yamaguchi, M.
Influence of menopause on chemotherapy-induced nausea and vomiting in highly emetogenic chemotherapy for breast cancer: A retrospective observational study.

Cancer Med., 2023. 12 (18) : 18745-18754

32. 上野貴之
これだけは押さえておきたい：がん化学療法の薬：抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬：はや調べノート：分子標的薬：抗 HER2 抗体：トラスツズマブエムタンシン．
YORi-SOU がんナーシング，2023. 別冊（がん化学療法の薬：抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬：はや調べノート 2023・2024 年版）：34-35
33. 上野貴之
これだけは押さえておきたい：がん化学療法の薬：抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬：はや調べノート：分子標的薬：抗 HER2 抗体：トラスツズマブデルクステカン．
YORi-SOU がんナーシング，2023. 別冊（がん化学療法の薬：抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬：はや調べノート 2023・2024 年版）：32-33
34. 上野貴之
これだけは押さえておきたい：がん化学療法の薬：抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬：はや調べノート：分子標的薬：抗 HER2 抗体：ペルツズマブ．
YORi-SOU がんナーシング，2023. 別冊（がん化学療法の薬：抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬：はや調べノート 2023・2024 年版）：36-37
35. 上野貴之
乳癌診断と治療における押さえるべきトレンド：ADC 登場がもたらした新たな乳癌サブタイプ HER2-low（HER2 低発現）．
Rad Fan, 2023. 21 (7) : 49-51
36. 中平詩，宮城由美，高橋洋子，稲荷均，荻谷朗子，片岡明美，坂井威彦，上野貴之，大迫智，大野真司
異時性に両側乳房に認めた血管肉腫に対して外科的切除が有用であった一例．
乳癌の臨床，2023. 38 (4) : 281-286
37. 坂井威彦
IV-D. 特殊状態の手術：4. 再乳房部分切除術．
Kanck & pitfalls：乳腺外科の要点と盲点（石田孝宣，上野貴之編集），東京，文光堂：pp.234-237, 2023
38. 坂井威彦
術前化学療法を施行した cN+ 乳癌における腋窩治療 - 各施設の取り組み：術前化学療法が奏効した腋窩リンパ節転移を有する乳癌に対する腋窩手術について：がん研有明病院における前向き観察研究の紹介．
乳癌の臨床，2023. 38 (3) : 175-180
39. 大野真司
がん診療における層別化医療の現状と今後の展望：乳がんにおける層別化医療の現状と今後の展望．
日本外科学会雑誌，2023. 124 (3) : 239-245
40. 松永有紀，片岡明美
乳輪乳頭の疾患：乳輪乳頭の発生，解剖と疾患．
形成外科，2023. 66 (5) : 529-537
41. 深田一平，上野貴之
Precision oncology の検証：がん全ゲノム解析の臨床活用概要：患者還元班の目的と課題．
腫瘍内科，2023. 31 (1) : 8-15
42. 片岡明美
IV-D. 特殊状態の手術：12. 妊娠期の手術．
Kanck & Pitfalls：乳腺外科の要点と盲点（石田孝宣，上野貴之編集），東京，文光堂：pp.260-262, 2023
43. 片岡明美
IV-D. 特殊病態の手術：13. 授乳期の手術．

Knack & Pitfalls : 乳腺外科の要点と盲点 第3版 (石田孝宣, 上野貴之編集), 東京, 文光堂: pp.263-265, 2023

44. 片岡明美, 阿部朋未, 大野真司
乳癌患者の妊孕性温存と POSITIVE 試験の意義.
腫瘍内科, 2023. 32 (2) : 166-170
45. 片岡明美, 阿部朋未, 大野真司
乳腺: 産婦人科医が知っておくべき必須知識: 乳がんの早期発見: ホルモン補充療法, ピルと乳がんリスク・検診の有効性.
臨床婦人科産科, 2023. 77 (3) : 384-388
46. 荻谷朗子, 木村聖美, 岩瀬拓士, 上野貴之, 大野真司
癌腋窩郭清, センチネルリンパ節生検後の経年的なリンパ浮腫率の推移と浮腫発生関連因子.
日本リンパ浮腫学会雑誌, 2023. 4 (1) : 10-14

【婦人科】

1. Aoki, Y., Inoue, Y., Sasahira, N., Ono, M., Inamura, K., Kataoka, A., Takano, T., Kanao, H., Watanabe, M.
Primary ovarian insufficiency associated with lenvatinib therapy in a patient with hepatocellular carcinoma: A case report.
Oncol. Lett., 2023. 26 (4) : 450
2. Fusegi, A., Kanao, H., Tsumura, S., Murakami, A., Abe, A., Aoki, Y., Nomura, H.
Minimally invasive radical hysterectomy and the importance of avoiding cancer cell spillage for early-stage cervical cancer: A narrative review.
J. Gynecol. Oncol., 2023. 34 (1) : e5
3. Hashimoto, K., Kawakami, K., Yokokawa, T., Shibata, N., Soejima, A., Sugisaki, T., Mori, Y., Shimizu, H., Yunokawa, M., Kanao, H., Yamaguchi, M.
Serum creatinine elevation as a risk factor for niraparib-induced hematologic toxicity.
Anticancer Res., 2023. 43 (10) : 4533-4541
4. Kanao, H., Tsumura, S.
Reconstruction of the diaphragm with autologous fascia lata during cytoreduction in patients with advanced ovarian cancer.
J. Gynecol. Oncol., 2023. 34: e43
5. Kanao, H., Kanno, M., Fusegi, A., Aoki, Y., Omi, M., Tanigawa, T., Okamoto, S., Nomura, H.
Transperineal endoscopic approach with GelPOINT V-path in laparoscopic pelvic exenteration for postirradiated recurrent cervical cancer.
Gynecol. Oncol. Rep., 2023. 50: 101291
6. Kanao, H., Fusegi, A., Omi, M., Youssefzadeh, A. C., Nomura, H., Matsuo, K.
Transvaginal cervical tumor-concealing no-look no-touch technique in minimally invasive radical hysterectomy for early-stage cervical cancer: A novel operation technique.
J. Gynecol. Oncol., 2023. 34 (3) : e27
7. Kanno, M., Yunokawa, M., Kurihara, N., Aoki, Y., Omi, M., Tanigawa, T., Kanao, H.
Efficacy of intra-abdominal cytoreductive surgery in advanced endometrial cancer with distant metastasis.
J. Gynecol. Oncol., 2023. 34 (6) : e77
8. Koike, R., Yunokawa, M., Omatsu, K., Kurihara, N., Nomura, H., Kanao, H., Sekizawa, A.
Retrospective study of the efficacy and safety of docetaxel/carboplatin combination therapy as postoperative adjuvant chemotherapy for nonsquamous cell carcinoma of the cervix.
Int. J. Clin. Oncol., 2023. 28 (10) : 1421-1430
9. Koppikar, S., Oaknin, A., Babu, K. G., Lorusso, D., Gupta, S., Wu, L. Y., Rajabto, W., Harano, K., Hong, S. H., Malik, R. A., Strebel, H., Aggarwal, I. M., Lai, C. H., Dejthavaporn, T., Tangjitgamol, S., Cheng, W.

- F., Chay, W. Y., Benavides, D., Hashim, N. M., Moon, Y. W., Yunokawa, M., Anggraeni, T. D., Wei, W., Curigliano, G., Maheshwari, A., Mahantshetty, U., Sheshadri, S., Peters, S., Yoshino, T., Pentheroudakis, G.
Pan-Asian adapted ESMO Clinical Practice Guidelines for the diagnosis, treatment and follow-up of patients with endometrial cancer.
ESMO Open, 2023. 8 (1) : 100774
10. Kurita, T., Yunokawa, M., Tanaka, Y., Okamoto, K., Kanno, M., Fusegi, A., Omi, M., Netsu, S., Nomura, H., Tonooka, A., Kanao, H.
Local treatment efficacy for single-area squamous cell carcinoma of the unknown primary site.
Curr. Oncol., 2023. 30 (10) : 9327-9334
 11. Nakayama, I., Shinozaki, E., Kawachi, H., Sasaki, T., Yunokawa, M., Tomomatsu, J., Yuasa, T., Kitazono, S., Kobayashi, K., Hayakawa, K., Ueki, A., Takahashi, S., Yamaguchi, K.
Implementation of microsatellite instability testing for the assessment of solid tumors in clinical practice.
Cancer Med., 2023. 12 (7) : 7932-7940
 12. Nakazawa, H., Yamaguchi, S., Onuki, M., Kitai, M., Yahata, H., Aoki, Y., Horie, K., Mimura, T., Okadome, M., Kato, H., Takehara, K., Kamiura, S., Shigeta, S., Matsumoto, K.
Age at first sexual intercourse among young women with invasive cervical cancer: Implications for routine vaccination against human papillomavirus in Japan.
Jpn. J. Clin. Oncol., 2023. 53 (6) : 530-533
 13. Nishizawa, A., Takeda, K., Urasaki, T., Ono, M., Mochizuki, T., Shiga, T., Fujiwara, M., Yuasa, T., Murakami, A., Koike, R., Yunokawa, M., Kanao, H., Shimozaaki, K., Takahari, D., Kogawa, T., Takahashi, S., Kitano, S.
Severe drug eruption after antibiotic administration in patients receiving immune checkpoint inhibitors: A monocentric case series.
JEADV Clin. Pract., 2023. 2 (2) : 330-337
 14. Nomura, H., Abe, A., Fusegi, A., Yoshimitsu, T., Misaka, S., Murakami, A., Matsumoto, T., Tsumura, S., Kanno, M., Aoki, Y., Netsu, S., Omi, M., Tanigawa, T., Okamoto, S., Omatsu, K., Yunokawa, M., Kanao, H., Habano, E., Arakawa, H., Kaneko, K., Ueki, A., Haruyama, Y., Inari, H., Ueno, T.
Impact of the coverage of risk-reducing salpingo-oophorectomy by the national insurance system for women with BRCA pathogenic variants in Japan.
Sci. Rep., 2023. 13 (1) : 1018
 15. Omi, M., Oishi Tanaka, Y., Enokida, T., Hayama, B., Hayakawa, K., Fusegi, A., Nomura, H., Kanao, H.
Osteomyelitis pubis caused by *Pseudomonas aeruginosa* secondary to surgical site infections subsequent to vulvar cancer surgeries: A case report.
Gynecol. Oncol. Rep., 2023. 50: 101295
 16. Onuki, M., Takahashi, F., Iwata, T., Nakazawa, H., Yahata, H., Kanao, H., Horie, K., Konnai, K., Nio, A., Takehara, K., Kamiura, S., Tsuda, N., Takei, Y., Shigeta, S., Matsumura, N., Yoshida, H., Motohara, T., Yamazaki, H., Nakamura, K., Hamanishi, J., Tasaka, N., Ishikawa, M., Hirashima, Y., Kudaka, W., Mori-Uchino, M., Kukimoto, I., Fujii, T., Watanabe, Y., Noda, K., Yoshikawa, H., Yaegashi, N., Matsumoto, K.
Human papillomavirus vaccine impact on invasive cervical cancer in Japan: Preliminary results from cancer statistics and the MINT study.
Cancer Sci., 2023. 114 (11) : 4426-4432
 17. Samejima, K., Netsu, S., Mitsushita, J., Chikazawa, K., Kuwata, T.

- Modified laparoscopic cornual resection for cornual pregnancy.
Gynecol. Minim. Invasive Ther., 2023. 12 (2) : 101-102
18. Shimada, M., Yoshihara, K., Tanigawa, T., Nomura, H., Hamanishi, J., Fujiwara, S., Tanabe, H., Kajiyama, H., Mandai, M., Aoki, D., Enomoto, T., Okamoto, A.
An attempt to establish real-world databases of poly (ADP-ribose) polymerase inhibitors for advanced or recurrent epithelial ovarian cancer: The Japanese Gynecologic Oncology Group.
J. Gynecol. Oncol., 2023. 34 (3) : e62
 19. Tanaka, Y. O., Sugawara, E., Tonooka, A., Saida, T., Sakata, A., Fukunaga, Y., Kanao, H., Satoh, T., Noguchi, M., Terauchi, T.
Mucinous tumors arising from ovarian teratomas as another source of pseudomyxoma peritonei: MR findings comparison with ovarian metastases from appendiceal mucinous tumors.
BJR open, 2023. 5 (1) : 20220036
 20. 一木愛, 野村秀高, 箕浦祐子, 幅野愛理, 金子景香, 植木有紗, 中島健, 金尾祐之
不妊治療中に子宮内膜癌と診断された Lynch 症候群の 2 例.
遺伝性腫瘍, 2023. 22 (4) : 101-105
 21. 宇津木久仁子, 野村秀高, 金尾祐之
子宮頸がんの包括的戦略: ワクチン・検診・診断から最新治療まで: 診断; 進行子宮頸がんに対する広汎子宮全摘出術の合併症対策.
産科と婦人科, 2023. 90 (11) : 1235-1240
 22. 杉山裕子
子宮体癌の診断・治療アップデート: 子宮体癌の診断と内膜細胞診.
日本女性医学学会雑誌, 2023. 30 (3) : 431-435
 23. 杉山裕子
子宮頸がんの包括的戦略: ワクチン・検診・診断から最新治療まで: 子宮頸部上皮内病変の精
- 密検査とフォローアップ.
産科と婦人科, 2023. 90 (11) : 1205-1211
24. 津村志穂, 温泉川真由
免疫チェックポイント阻害薬の使い方 & irAE 対策: 婦人科がん.
薬事, 2023. 65 (6) : 1128-1132
 25. 津村志穂, 温泉川真由, 菅野素子, 根津幸穂, 尾身牧子, 谷川輝美, 野村秀高, 金尾祐之, 鎗水彰
卵管癌治療中の C.difficile 感染症に対し bezlotoxumab を使用した 1 例.
東京産科婦人科学会会誌, 2023. 72 (4) : 792-796
 26. 温泉川真由, 野村秀高分担執筆, 日本婦人科腫瘍学会編
子宮体がん治療ガイドライン 2023 年版
東京, 金原出版: 239p., 2023
 27. 野村秀高
婦人科悪性腫瘍手術: トラブルシューティングとその予防法: 腹腔鏡下広汎子宮全摘術における Tips.
産婦人科の実践, 2023. 72 (12) : 1301-1307
 28. 野村秀高, 菅野素子, 伏木淳, 青木洋一, 阿部彰子, 根津幸穂, 尾身牧子, 谷川輝美, 岡本三四郎, 尾松公平, 温泉川真由, 金尾祐之
腹腔鏡手術における合併症対策: 低侵襲手術における血管損傷のトラブルシューティング.
日本産科婦人科学会雑誌, 2023. 75 (11) : 1450-1453
- 【頭頸科】**
1. Fujiwara, Y., Sato, Y., Hayashi, N., Fukuda, N., Wang, X., Nakano, K., Ohmoto, A., Urasaki, T., Ono, M., Tomomatsu, J., Toshiyasu, T., Mitani, H., Takahashi, S.
The Geriatric Nutritional Risk Index as a prognostic factor in older adult patients with locally advanced head and neck cancer receiving definitive chemoradiotherapy with tri-weekly cisplatin.
J. Geriatr. Oncol., 2023. 14 (5) : 101523

2. Fukuda, N., Oki, R., Suto, H., Wang, X., Urasaki, T., Sato, Y., Nakano, K., Yunokawa, M., Ono, M., Tomomatsu, J., Mitani, H., Takahashi, S.
Comparison of paclitaxel plus carboplatin versus observation in patients with recurrent or metastatic adenoid cystic carcinoma of the head and neck.
Oncology, 2023. 101 (8) : 502-511
 3. Inoue, Y., Ebina, A., Toda, K., Shimbashi, W., Yamada, K., Mitani, H., Tanaka, Y., Sugitani, I.
Surgical strategy for patients with papillary thyroid carcinoma invading the trachea: a comparison of tracheal sleeve resection with end-to-end anastomosis and window resection with tracheocutaneous fistula.
Gland Surg., 2023. 12 (9) : 1167-1178
 4. Kanie, Y., Okamura, A., Kanamori, J., Imamura, Y., Kamiyama, R., Seto, A., Shimbashi, W., Sasaki, T., Fukushima, H., Mitani, H., Watanabe, M.
Postoperative complications following pharyngolaryngectomy with total esophagectomy: Comparison between cervical and anterior mediastinal tracheostomy.
Ann. Otol. Rhinol. Laryngol., 2023. 132(7): 770-776
 5. Kazusaka, H., Sugitani, I., Toda, K., Sen, M., Saito, M., Nagaoka, R., Yoshida, Y.
Patient-reported outcomes in patients with low-risk papillary thyroid carcinoma: Cross-sectional study to compare active surveillance and immediate surgery.
World J. Surg., 2023. 47 (5) : 1190-1198
 6. Morita, Y., Yoshio, T., Nakano, K., Shimbashi, W., Imamura, Y.
Emergent endoscopic submucosal dissection for a polypoid fibroadipose tumor accidentally disgorged from the mouth: An organ-preserving minimally invasive treatment.
VideoGIE, 2023. 8 (2) : 50-52
 7. Sugitani, I., Kazusaka, H., Ebina, A., Shimbashi, W., Toda, K., Takeuchi, K.
Long-term outcomes after lobectomy for patients with high-risk papillary thyroid carcinoma.
World J. Surg., 2023. 47 (2) : 382-391
 8. Tomioka, T., Beppu, T., Onitsuka, T., Fujimoto, Y., Kawabata, K., Matsuura, K., Fujii, T., Hayashi, R., Asakage, T.
Post-operative progress of arm abduction function and rate of lymph node metastasis around the region of the accessory nerve: A multicentre prospective observational study.
Jpn. J. Clin. Oncol., 2023. 53 (5) : 401-409
 9. 松居祐樹, 神山亮介, 三谷浩樹, 福島啓文, 佐々木徹, 新橋渉, 瀬戸陽, 市川千恭, 鳥居淳一, 檜原浩介, 岩城弘尚, 今泉冴恵, 西條幸平
下咽頭喉頭全摘・遊離空腸再建術後に移植空腸の腸間膜リンパ節転移をきたした3例.
頭頸部外科, 2023. 33 (2) : 213-218
 10. 森田琢磨, 瀬戸陽, 三谷浩樹, 福島啓文, 佐々木徹, 新橋渉, 小泉雄, 神山亮介, 市川千恭, 鳥居淳一, 檜原浩介, 岩城弘尚, 西條幸平, 松居祐樹, 今泉冴恵, 嘉陽祐紀, 八木建樹
当科における頭頸部癌自家遊離組織移植術症例の術後合併症と対策.
頭頸部癌, 2023. 49 (1) : 1-8
 11. 鳥居淳一, 戸田和寿, 三谷浩樹
甲状腺癌気管浸潤例への対応.
耳鼻と臨床, 2023. 69 (5) : 379-387
- 【整形外科】**
1. Ariga, A., Matsumoto, S., Tanizawa, T., Hayakawa, K., Minami, Y., Saito, M., Kurosawa, N., Yamashita, K., Terauchi, T., Ae, K.
Bone metastases with “false negative” findings on 18F-FDG PET/CT in patients with angiosarcoma: A case series with literature review.
Medicine (Baltimore) , 2023. 102 (28) : e34196

2. Kito, M., Ae, K., Okamoto, M., Endo, M., Ikuta, K., Takeuchi, A., Yasuda, N., Yasuda, T., Imura, Y., Morii, T., Kikuta, K., Kawamoto, T., Nezu, Y., Baba, I., Ohshika, S., Uehara, T., Ueda, T., Takahashi, J., Kawano, H. Clinical outcome of low-grade myofibroblastic sarcoma in Japan: A multicenter study from the Japanese Musculoskeletal Oncology Group. *Cancers (Basel)*, 2023. 15 (8) : 2314
3. Kobayashi, H., Teramura, Y., Yamashita, K., Makise, N., Ae, K., Tanaka, S. Imaging findings of NTRK-rearranged spindle cell neoplasms: A case series. *Mol. Clin. Oncol.*, 2023. 18 (3) : 14
4. Nakayama, I., Shinozaki, E., Kawachi, H., Sasaki, T., Yunokawa, M., Tomomatsu, J., Yuasa, T., Kitazono, S., Kobayashi, K., Hayakawa, K., Ueki, A., Takahashi, S., Yamaguchi, K. Implementation of microsatellite instability testing for the assessment of solid tumors in clinical practice. *Cancer Med.*, 2023. 12 (7) : 7932-7940
5. Ohmoto, A., Nakano, K., Fukuda, N., Wang, X., Urasaki, T., Hayashi, N., Suto, H., Udagawa, S., Oki, R., Sato, Y., Yunokawa, M., Ono, M., Saito, M., Minami, Y., Hayakawa, K., Tanizawa, T., Ae, K., Matsumoto, S., Tomomatsu, J., Takahashi, S. Clinical characteristics of sarcoma cases in which long-term disease control was achieved with trabectedin treatment: A retrospective study. *PLoS One*, 2023. 18 (3) : e0280508
6. Omi, M., Oishi Tanaka, Y., Enokida, T., Hayama, B., Hayakawa, K., Fusegi, A., Nomura, H., Kanao, H. Osteomyelitis pubis caused by *Pseudomonas aeruginosa* secondary to surgical site infections subsequent to vulvar cancer surgeries: A case report. *Gynecol. Oncol. Rep.*, 2023. 50: 101295
7. Takeuchi, A., Tsuchiya, H., Setsu, N., Gokita, T., Tome, Y., Asano, N., Minami, Y., Kawashima, H., Fukushima, S., Takenaka, S., Outani, H., Nakamura, T., Tsukushi, S., Kawamoto, T., Kidani, T., Kito, M., Kobayashi, H., Morii, T., Akiyama, T., Torigoe, T., Hiraoka, K., Nagano, A., Kakunaga, S., Hashimoto, K., Emori, M., Aiba, H., Tanzawa, Y., Ueda, T., Kawano, H. What are the complications, function, and survival of tumor-devitalized autografts used in patients with limb-sparing surgery for bone and soft tissue tumors? A Japanese Musculoskeletal Oncology Group multi-institutional study. *Clin. Orthop. Relat. Res.*, 2023. 481 (11) : 2110-2124
8. Tanaka, M., Chuaychob, S., Homme, M., Yamazaki, Y., Lyu, R., Yamashita, K., Ae, K., Matsumoto, S., Kumegawa, K., Maruyama, R., Qu, W., Miyagi, Y., Yokokawa, R., Nakamura, T. ASPSCR1::TFE3 orchestrates the angiogenic program of alveolar soft part sarcoma. *Nat. Commun.*, 2023. 14 (1) : 1957
9. Yamashita, K., Baba, S., Togashi, Y., Dobashi, A., Ae, K., Matsumoto, S., Tanaka, M., Nakamura, T., Takeuchi, K. Clinicopathologic and genetic characterization of angiofibroma of soft tissue: A study of 12 cases including two cases with AHR-R::NCOA3 gene fusion. *Histopathology*, 2023. 83 (1) : 57-66
10. Zhang, L., Akiyama, T., Saito, M., Okamoto, M., Gokita, T., Kobayashi, H., Ae, K., Ohno, T. Complications and functional outcome differences in carbon Ion radiotherapy and surgery for malignant bone tumors of the pelvis: A multicenter, cohort study. *Ann. Surg. Oncol.*, 2023. 30 (7) : 4475-4484

11. Zhang, L., Iwata, S., Saito, M., Nakagawa, M., Tsukushi, S., Yoshida, S., Gokita, T., Ae, K., Nakashima, S., Watanuki, M., Akiyama, T.
Hip transposition can provide early walking function after periacetabular tumor resection: A multicenter study.
Clin. Orthop. Relat. Res., 2023. 481 (12) : 2406-2416
 12. 松本誠一, 阿江啓介, 川口智義
骨・軟部腫瘍医のキャリアパス: 次世代育成に向けて: 骨・軟部腫瘍に興味を持つ若手を育てるには.
日本整形外科学会雑誌, 2023. 97 (9) : 645-649
 13. 船内雄生, 阿江啓介
整形外科手術: 名人の know-how: ナビゲーションを用いた骨・軟部腫瘍切除 (CATS) .
整形・災害外科, 2023. 66 (3) : 232-235
- 【泌尿器科】**
1. Aoyama, T., Nakano, K., Yuasa, T., Sugiyama, E., Okawa, T., Ito, K., Azuma, K., Hashimoto, K., Furutani, R., Hiraide, M., Kobayashi, K., Suzuki, K., Tomomatsu, J., Tajima, M., Sato, H., Hama, T., Takahashi, S.
Association between pazopanib exposure and safety in Japanese patients with renal cell carcinoma or soft tissue sarcoma.
Sci. Rep., 2023. 13 (1) : 2099
 2. Chung, E., Liao, L., Kim, J. H., Wang, Z., Kitta, T., Lin, A. T., Lee, K. S., Ye, L., Chu, P., Kaiho, Y., Takei, M., Jiang, H., Lee, J., Masuda, H., Tse, V.
The Asia-Pacific AMS800 artificial urinary sphincter consensus statement.
Int. J. Urol., 2023. 30 (2) : 128-138
 3. Ernst, M. S., Navani, V., Wells, J. C., Donskov, F., Basappa, N., Labaki, C., Pal, S. K., Meza, L., Wood, L. A., Ernst, D. S., Szabados, B., McKay, R. R., Parnis, F., Suarez, C., Yuasa, T., Lalani, A. K., Alva, A., Bjarnason, G. A., Choueiri, T. K., Heng, D. Y. C.
Corrigendum to "Outcomes for International Metastatic Renal Cell Carcinoma Database Consortium Prognostic Groups in Contemporary First-line Combination Therapies for Metastatic Renal Cell Carcinoma" [Eur Urol 2023].
Eur. Urol., 2023. 83 (6) : e166-e167
 4. Ernst, M. S., Navani, V., Wells, J. C., Donskov, F., Basappa, N., Labaki, C., Pal, S. K., Meza, L., Wood, L. A., Ernst, D. S., Szabados, B., McKay, R. R., Parnis, F., Suarez, C., Yuasa, T., Lalani, A. K., Alva, A., Bjarnason, G. A., Choueiri, T. K., Heng, D. Y. C.
Outcomes for international metastatic renal cell carcinoma database consortium prognostic groups in contemporary first-line combination therapies for metastatic renal cell carcinoma.
Eur. Urol., 2023. 84 (1) : 109-116
 5. Fujiwara, H., Nagayama, S., Kawachi, H., Nakano, K., Shimizu, Y., Katayama, R., Yao, R., Komai, Y., Hiyoshi, Y., Mukai, T., Yamaguchi, T., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y.
A case of laparoscopically resected rectal neuroendocrine carcinoma and its renal metastasis with a potential sensitivity to inhibitors of FGFR and the Bcl family.
J. Surg., 2023. 8 (7) : 1759
 6. Fujiwara, R., Yuasa, T., Yamamoto, S., Fujiwara, M., Takemura, K., Urasaki, T., Oki, R., Komai, Y., Oguchi, T., Numao, N., Yonese, J.
Geriatric Nutritional Risk Index as a predictor of prognosis in metastatic renal cell carcinoma treated with nivolumab.
Nutr. Cancer, 2023. 75 (2) : 670-677
 7. Fujiwara, R., Yuasa, T., Kobayashi, K., Yoshida, T., Kageyama, S.
Pembrolizumab plus lenvatinib for radically unresectable or metastatic renal cell carcinoma in the Japanese population.

Expert Rev. Anticancer Ther., 2023. 23 (5) : 461-469

8. Fujiwara, M., Yokoyama, M., Toide, M., Fujiwara, R., Tanaka, H., Oguchi, T., Komai, Y., Yoshida, S., Matsuoka, Y., Numao, N., Yamamoto, S., Fukui, I., Yonese, J., Fujii, Y. Renal function outcome after selective bladder-preserving tetramodality therapy consisting of maximal transurethral resection, induction chemoradiotherapy and consolidative partial cystectomy in comparison with radical cystectomy for patients with muscle-invasive bladder cancer: A two-centre retrospective study. *Jpn. J. Clin. Oncol.*, 2023. 53 (3) : 263-269
9. Hamada, K., Komai, Y., Fujiwara, R., Numao, N., Yamamoto, S., Yonese, J. Doppler ultrasonography as a screening test for the detection of asymptomatic renal artery pseudoaneurysms following partial nephrectomy: A 15-year single-institution experience. *Int. J. Urol.*, 2023. 30 (5) : 492-494
10. Komai, Y., Nakajima, K., Saito, K., Tomioka, Y., Masuda, H., Ogawa, A., Yonese, J., Kobayashi, E., Ito, M. Development of a new two-arm transurethral surgical system for en bloc resection of bladder tumor: A preclinical study. *J. Endourol.*, 2023. 37 (2) : 165-170
11. Matsubara, N., Yonese, J., Kojima, T., Azuma, H., Matsumoto, H., Powles, T., Rosenberg, J. E., Petrylak, D. P., Matsangou, M., Wu, C., Campbell, M., Yamashiro, M. Japanese subgroup analysis of EV-301: An open-label, randomized phase 3 study to evaluate enfortumab vedotin versus chemotherapy in subjects with previously treated locally advanced or metastatic urothelial carcinoma. *Cancer Med.*, 2023. 12 (3) : 2761-2771
12. Nakayama, I., Shinozaki, E., Kawachi, H., Sasaki, T., Yunokawa, M., Tomomatsu, J., Yuasa, T., Kitazono, S., Kobayashi, K., Hayakawa, K., Ueki, A., Takahashi, S., Yamaguchi, K. Implementation of microsatellite instability testing for the assessment of solid tumors in clinical practice. *Cancer Med.*, 2023. 12 (7) : 7932-7940
13. Nishizawa, A., Takeda, K., Urasaki, T., Ono, M., Mochizuki, T., Shiga, T., Fujiwara, M., Yuasa, T., Murakami, A., Koike, R., Yunokawa, M., Kanao, H., Shimozaki, K., Takahari, D., Kogawa, T., Takahashi, S., Kitano, S. Severe drug eruption after antibiotic administration in patients receiving immune checkpoint inhibitors: A monocentric case series. *JEADV Clin. Pract.*, 2023. 2 (2) : 330-337
14. Oki, R., Urasaki, T., Ueki, A., Inamura, K., Komai, Y., Takahashi, S., Yonese, J., Yuasa, T. A radiological complete response to pembrolizumab in a patient with metastatic upper urinary tract urothelial cancer and Lynch syndrome. *IJU Case Rep.*, 2023. 6 (1) : 33-36
15. Soyano, T., Kozuka, T., Kashiara, K., Murakami, Y., Yonese, J., Sasamura, K., Shimoyachi, N., Kashiara, T., Yoshioka, Y., Oguchi, M. Intensity-modulated radiation therapy for intermediate-risk prostate cancer: Does ADT still have an impact in the dose-escalated external beam radiation therapy era? *Jpn. J. Clin. Oncol.*, 2023. 53 (6) : 514-521
16. Sugawara, E., Shigematsu, Y., Amori, G., Sugita, K., Yonese, J., Takeuchi, K., Inamura, K. CDX2- and PAX8-expressing subtypes in female urethral adenocarcinoma: Patho-

- genesis insights through immunohistochemical and morphological analyses. *Diagnostics (Basel)*, 2023. 13 (14) : 2408
17. Takemura, K., Navani, V., Ernst, M. S., Wells, J. C., Meza, L., Pal, S. K., Lee, J. L., Li, H., Agarwal, N., Alva, A. S., Hansen, A. R., Basappa, N. S., Szabados, B., Powles, T., Tran, B., Hocking, C. M., Beuselinck, B., Yuasa, T., Choueiri, T. K., Heng, D. Y. C. Characterization of patients with metastatic renal cell carcinoma experiencing complete response to first-line therapies: Results from the international metastatic renal cell carcinoma database consortium (IMDC) . *J. Urol.*, 2023. 209 (4) : 701-709
 18. Une, M., Fujiwara, R., Ueki, A., Oki, R., Urasaki, T., Inamura, K., Takahashi, S., Yonese, J., Yuasa, T. A case of sequential medical therapy for advanced ureteral cancer in Li-Fraumeni syndrome. *IJU Case Rep.*, 2023. 6 (5) : 286-289
 19. Yasuda, Y., Sakurai, M., Numao, N., Yamamoto, S., Yonese, J., Yuasa, T. Efficacy and safety profile of olaparib for patients with metastatic castration-resistant prostate cancer: A preliminary report of real-world data in a single institution in Japan. *Int. J. Urol.*, 2023. 30 (11) : 1060-1062
 20. Yasuda, Y., Fujiwara, R., Oguchi, T., Komai, Y., Numao, N., Yamamoto, S., Oki, R., Urasaki, T., Takahashi, S., Yonese, J., Yuasa, T. Prognostic significance of immune-related adverse events in metastatic renal cell carcinoma patients treated with immune-checkpoint-inhibitors. *Cancer Diagn. Progn.*, 2023. 3 (3) : 327-333
 21. Yonese, J., Hinata, N., Masui, S., Nakai, Y., Shirotake, S., Takeuchi, A., Inamoto, T., Nozawa, M., Ueda, K., Etsunaga, T., Osa-
wa, T., Uemura, M., Kimura, G., Numakura, K., Yamana, K., Miyake, H., Fukasawa, S., Morishima, N., Ito, H., Uemura, H. Real-world effectiveness of nivolumab and subsequent therapy in Japanese patients with metastatic renal cell carcinoma (POST-NIVO study) : 36-month follow-up results of a clinical chart review. *Int. J. Urol.*, 2023. 30 (9) : 762-772
 22. Yoshida, S., Takahara, T., Arita, Y., Ito, M., Hayakawa, S., Oguchi, T., Komai, Y., Numao, N., Yuasa, T., Inoue, M., Ushijima, H., Kudo, S., Shimano, Y., Nakamura, Y., Uchida, Y., Uehara, S., Tanaka, H., Yae-gashi, H., Izumi, K., Yokoyama, M., Mat-suoka, Y., Yoshioka, Y., Konishi, K., Nakanishi, K., Nagahara, A., Hirakawa, A., Koike, R., Koga, F., Nishimura, K., Mizokami, A., Yonese, J., Kageyama, Y., Yoshimura, R., Fujii, Y. A phase II randomized trial of metastasis-directed therapy with alpha emitter radium-223 in men with oligometastatic castration-resistant prostate cancer (MEDAL) . *BMC Urol.*, 2023. 23 (1) : 33
 23. Yuasa, T. Editorial comment on Clinical outcomes of nivolumab plus ipilimumab in patients with metastatic non-clear cell renal cell carcinoma: Real-world data from a Japanese multicenter retrospective study. *Int. J. Urol.*, 2023. 30 (9) : 721-722
 24. Yuasa, T. Editorial comment to Bone-modifying agents are protective for symptomatic skeletal events in radium-223 treatment. *Int. J. Urol.*, 2023. 30 (11) : 1034-1035
 25. Yuasa, T. Editorial comment to Plasma circulating tumor DNA profiling in patients with chemo-refractory germ cell tumors. *Int. J. Urol.*, 2023. 30 (5) : 463

26. 山本真也
ロボット支援腹腔鏡下膀胱全摘除術の実際と今後の課題
AL media, 2023. 27-3 (通巻 120 号) : 7-9
27. 西野貴斗, 駒井好信
ストーマのすべて : 造設・閉鎖から合併症管理まで : 「回腸導管造設」.
消化器外科, 2023. 46 (6) : 599-608
28. 賀本敏行, 湯浅健, 松本一宏, 近藤千尋
転移性尿路上皮癌における最新の治療戦略.
診療と新薬, 2023. 60 (2) : 81-87

【形成外科】

1. Fujii, T., Karakawa, R., Yoshimatsu, H., Yano, T.
Cannulation indocyanine green method for strategic management of postoperative arterial thrombosis after free jejunal flap transfer.
Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open, 2023. 11 (12) : e5463
2. Fukui, M., Hihara, M., Takeji, K., Matsuoka, Y., Okamoto, M., Fujita, M., Kakudo, N.
Potent micrografting using the meek technique for knee joint wound reconstruction.
ePlasty, 2023. 23: e14
3. Karakawa, R., Yoshimatsu, H., Fuse, Y., Yano, T.
Comparison of outcomes following pedicled and free flap transfers for the defect after shoulder sarcoma resection.
J. Plast. Reconstr. Aesthet. Surg., 2023. 83: 373-379
4. Karakawa, R., Yoshimatsu, H., Fuse, Y., Tanakura, K., Imai, T., Sawaizumi, M., Yano, T.
Immediate tendon transfer for functional reconstruction of a dorsal forearm defect after sarcoma resection.
J. Plast. Surg. Hand Surg., 2023. 57 (1) : 157-62
5. Karakawa, R., Yoshimatsu, H., Fuse, Y., Yano, T.
Multiple flap transfer for multiple local recurrence of soft tissue sarcoma.
Medicina (Kaunas, Lithuania) , 2023. 59 (8) : 1489
6. Kimura, T., Yano, T., Akabane, A.
Temporo-parietal muscle pedicle flap for reconstruction of the anterior skull base after resection of recurrent olfactory groove meningioma: A technical note.
Br. J. Neurosurg., 2023. 37 (3) : 499-502
7. Kugisaki, A., Kimura, T., Yano, T., Ichi, S.
Reconstruction of the temporal line for sinking skin flap syndrome using split rib grafts: A technical note.
Br. J. Neurosurg., 2023. 37 (6) : 1922-1924
8. Matsuoka, Y., Karakawa, R., Yoshimatsu, H., Yano, T.
Postoperative hematoma-induced vasospasm after sarcoma reconstruction using a pedicled anterolateral thigh flap.
Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open, 2023. 11 (9) : e5271
9. Matsuoka, Y., Karakawa, R., Yoshimatsu, H., Kuramoto, Y., Suesada, N., Yano, T.
Use of the head-mounted 4K camera for recording the procedure of a flap surgery.
Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open, 2023. 11 (9) : e5298
10. Nakatsuka, K., Karakawa, R., Fuse, Y., Yoshimatsu, H., Yano, T.
Bilateral transposition flap for postoperative anal stenosis after reconstruction for paget disease.
Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open, 2023. 11 (8) : e5142
11. Nakatsuka, K., Fuse, Y., Karakawa, R., Yano, T., Yoshimatsu, H.

- Comparing seroma formation rate after harvest of the deep inferior epigastric artery perforator flap and the superficial abdominal perforator flaps in autologous breast reconstruction: A propensity-matched analysis.
Microsurgery, 2023. 43 (1) : 39-43
12. Onuma, H., Fuse, Y., Karakawa, R., Yano, T., Yoshimatsu, H.
The pedicled anterolateral thigh flap for donor site closure after a large superficial circumflex Iliac artery perforator flap harvest. Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open, 2023. 11 (7) : e5115
 13. Yano, T.
Profunda artery perforator flap.
Core Techniques in Flap Reconstructive Microsurgery (Nikkha, D., Rawlis, J., Pafitanis, G., eds.) , Springer
Nature: pp.365-371, 2023
 14. Yano, T., Lu, X., Ding, Y.
Shaping for breast reconstruction with autologous tissue transplantation.
Oncoplastic Flap Surgery (Li, Z., Song, D., eds.) , Singapore, Springer Nature: pp.505-526, 2023
 15. Yoshimatsu, H., Karakawa, R., Fuse, Y., Yano, T.
Tube-in-tube phalloplasty with tailor-made bilateral superficial circumflex iliac artery perforator flaps using preoperative high-resolution ultrasound.
Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open, 2023. 11 (9) : e5280
 16. Yoshimatsu, H., Karakawa, R., Scaglioni, M. F., Fuse, Y., Yano, T.
Use of intraoperative indocyanine green angiography for detection and prediction of congestion in pedicled island flaps.
Microsurgery, 2023. 43 (5) : 452-459
 17. Yoshimatsu, H., Karakawa, R., Fuse, Y., Yano, T., Muro, S., Akita, K.
The use of the deep brachial artery as the recipient artery for free perforator flap transfer: An anatomic study and clinical applications.
Medicina (Kaunas, Lithuania) , 2023. 59 (6) : 1087
 18. 倉元有木子, 矢野智之
再建手術後の乳房 .
第3版 (石田孝宣, 上野貴之編集) , 東京, 文光堂 : pp.342-346, 2023
 19. 倉元有木子
子育て再建女医の独り言 .
形成外科 , 2023. 66 (7) : 840-841
 20. 布施佑馬, 矢野智之
知っておくべき穿通枝皮弁 10 : 深大腿動脈穿通枝皮弁 (Profunda artery perforator flap;- PAP flap) .
PEPARS, 2023 (203) : 78-84
- 【眼科】**
1. 辻英貴
眼腫瘍テクニク : 臨床所見と画像診断 : 結膜腫瘍 .
Monthly Book Oculista, 2023. 122: 7-14
- 【血液腫瘍科】**
1. Arakawa, Y., Narita, Y., Nagane, M., Mishima, K., Terui, Y., Yonezawa, H., Asai, K., Fukuhara, N., Sugiyama, K., Shinojima, N., Aoi, A., Nishikawa, R.
Karnofsky Performance Status and quality of life in patients with relapsed or refractory primary CNS lymphoma from a phase I/II study of tirabrutinib.
Neurooncol. Adv., 2023. 5 (1) : vdad109
 2. Fukuhara, N., Maruyama, D., Hatake, K., Nagai, H., Makita, S., Kamezaki, K., Uchida, T., Kusumoto, S., Kuroda, J., Iriyama, C., Yanada, M., Tsukamoto, N., Suehiro, Y., Minami, H., Garcia-Vargas, J., Childs, B. H.,

- Yasuda, M., Masuda, S., Tsujino, T., Terao, Y., Tobinai, K.
Safety and antitumor activity of copanlisib in Japanese patients with relapsed/refractory indolent non-Hodgkin lymphoma: A phase Ib/II study.
Int. J. Hematol., 2023. 117 (1) : 100-109
3. Iida, S., Sunami, K., Mishima, Y., Fujii, T., Kato, H., Terao, T., Matsuzawa, Y., Matsubara, M., Crossman, T., Kremer, B. E., Gupta, I.
Safety, pharmacokinetics, and efficacy of belantamab mafodotin monotherapy in Japanese patients with relapsed or refractory multiple myeloma: DREAMM-11.
Int. J. Hematol., 2023. 118 (5) : 596-608
4. Izutsu, K., Yamamoto, K., Kato, K., Ishikawa, T., Fukuhara, N., Terui, Y., Choi, I., Okubo, S., Ogawa, N., Sakai, M., Nishimura, Y., Chyla, B., Sun, Y., Maruyama, D.
Measurable residual disease in Japanese patients with relapsed or refractory chronic lymphocytic leukemia treated with venetoclax.
Int. J. Hematol., 2023. 118 (4) : 526-528
5. Izutsu, K., Kumode, T., Yuda, J., Nagai, H., Mishima, Y., Suehiro, Y., Yamamoto, K., Fujisaki, T., Ishitsuka, K., Ishizawa, K., Ikezoe, T., Nishikori, M., Akahane, D., Fujita, J., Dinh, M., Soong, D., Noguchi, H., Buchbjerg, J. K., Favaro, E., Fukuhara, N.
Subcutaneous epcoritamab monotherapy in Japanese adults with relapsed/refractory diffuse large B-cell lymphoma.
Cancer Sci., 2023. 114 (12) : 4643-4653
6. Makiyama, J., Ishitsuka, K., Munakata, W., Maruyama, D., Nagai, H.
An update on the developments in the treatment of adult T-cell leukemia-lymphoma: Current knowledge and future perspective.
Jpn. J. Clin. Oncol., 2023. 53 (12) : 1104-1111
7. Maruyama, D., Wang, C., Tanizawa, Y., Cai, Z., Huang, Y., Tajimi, M., Kusumoto, S.
Treatment patterns in patients with chronic lymphocytic leukemia/small lymphocytic lymphoma post covalent Bruton tyrosine kinase inhibitor treatment: A Japanese claims database study.
J. Clin. Exp. Hematop., 2023. 63 (4) : 219-229
8. Miyake, M., Sakata, S., Tsuyama, N., Togashi, Y., Noguchi, M., Tsukada, N., Kumagai, T., Mishima, Y., Takeuchi, K.
Eosinophil-rich variant of nodal marginal zone lymphoma: A clinicopathological study of 11 cases.
Histopathology, 2023. 83 (3) : 443-452
9. Munakata, W., Izutsu, K., Mishima, Y., Nagai, H., Ishihara, Y., Suzumiya, J., Kanakura, Y., Nanki, T., Miyake, T., Kawasaki, A., Yoshinaga, T., Ishizawa, K.
Dose-escalation part of Phase I study of single-agent mosunetuzumab in Japanese patients with relapsed/refractory B-cell non-Hodgkin lymphoma.
Jpn. J. Clin. Oncol., 2023. 53 (10) : 912-921
10. Munakata, W., Ando, K., Yokoyama, M., Fukuhara, N., Yamamoto, K., Fukuhara, S., Ohmachi, K., Mishima, Y., Ichikawa, S., Ogiya, D., Aoi, A., Hatsumichi, M., Tobinai, K.
Long-term safety profile of tirabrutinib: Final results of a Japanese phase I study in patients with relapsed or refractory B-cell malignancies.
Int. J. Hematol., 2023. 117 (4) : 553-562
11. Negoro, E., Yamauchi, T., Fukuhara, N., Yamamoto, K., Uchida, T., Izutsu, K., Maruyama, D., Terui, Y., Nakajima, H., Ando, K., Suehiro, Y., Choi, I., Kanemura, N., Nakamura, N., Yamamoto, G., Maeda, Y., Shibayama, H., Nagahama, F., Sonehara, Y., Nagai, H., Tien, H. F., Kwong, Y. L., Kim, W.

- S., Tobinai, K.
Japanese subgroup analysis in the Asian phase II study of darinaparsin in patients with relapsed or refractory peripheral T-cell lymphoma.
J. Clin. Exp. Hematop., 2023. 63 (2) : 108-120
12. Rai, S., Kim, W. S., Ando, K., Choi, I., Izutsu, K., Tsukamoto, N., Yokoyama, M., Tsukasaki, K., Kuroda, J., Ando, J., Hidaka, M., Koh, Y., Shibayama, H., Uchida, T., Yang, D. H., Ishitsuka, K., Ishizawa, K., Kim, J. S., Lee, H. G., Minami, H., Eom, H. S., Kurosawa, M., Lee, J. H., Lee, J. S., Lee, W. S., Nagai, H., Shindo, T., Yoon, D. H., Yoshida, S., Gillings, M., Onogi, H., Tobinai, K.
Oral HDAC inhibitor tucidinostat in patients with relapsed or refractory peripheral T-cell lymphoma: Phase IIb results.
Haematologica, 2023. 108 (3) : 811-821
 13. Shirouchi, Y., Nishimura, N., Mishima, Y., Ishihara, Y., Asai, H., Tamba, M., Hirano, M., Hirano, K., Teramoto, Y., Yoshida, K., Takeuchi, K., Terauchi, T., Maruyama, D.
Prognostic value of post-treatment serum soluble interleukin-2 receptor in newly diagnosed diffuse large B-cell lymphoma patients who achieved complete metabolic response following R-CHOP therapy.
Sci. Rep., 2023. 13 (1) : 13713
 14. Song, Y., Tilly, H., Rai, S., Zhang, H., Jin, J., Goto, H., Terui, Y., Shin, H. J., Kim, W. S., Cao, J., Feng, J., Eom, H. S., Kim, T. M., Tsai, X. C., Gau, J. P., Koh, H., Zhang, L., Song, Y., Yang, Y., Li, W., Huang, H., Ando, K., Sharman, J. P., Sehn, L. H., Bu, L., Wang, X., Jiang, Y., Hirata, J., Lee, C., Zhu, J., Izutsu, K.
Polatuzumab vedotin in previously untreated DLBCL: An Asia subpopulation analysis from the Phase 3 POLARIX trial.
Blood, 2023. 141 (16) : 1971-1981
 15. Suzuki, T., Maruyama, D., Machida, R., Kataoka, T., Fukushima, N., Takayama, N., Ohba, R., Omachi, K., Imaizumi, Y., Tokunaga, M., Katsuya, H., Yoshida, I., Sunami, K., Kurosawa, M., Kubota, N., Morimoto, H., Kobayashi, M., Yamamoto, K., Kameoka, Y., Kagami, Y., Tabayashi, T., Maruta, M., Kobayashi, T., Iida, S., Nagai, H.
Prognostic impact of the UK Myeloma Research Alliance Risk Profile in transplant-ineligible patients with multiple myeloma who received a melphalan, prednisolone, and bortezomib regimen: A supplementary analysis of JCOG1105.
Hematol. Oncol., 2023. 41 (3) : 590-593
 16. Suzuki, T., Terada, M., Machida, R., Kataoka, T., Ito, Y., Kataoka, K., Maruyama, D., Nagai, H.
Randomized phase III study of daratumumab versus bortezomib plus daratumumab as maintenance therapy after D-MPB for transplant-ineligible patients with untreated multiple myeloma (JCOG1911, B-DASH study)
Jpn. J. Clin. Oncol., 2023. 53 (4) : 349-354
 17. 三嶋裕子
リンパ系腫瘍に対する新薬開発状況と今後の展開 2023 : リンパ系腫瘍に対する免疫チェックポイント阻害薬 .
血液内科 , 2023. 86 (2) : 224-228
 18. 丸山大
新リンパ腫学 : 基礎・臨床の最新動向 : 病型各論 : 疾患概念・疫学・分類・臨床像・診断・治療・予後・話題 : びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫 , 非特定型 .
日本臨床 , 2023. 81 (増刊 3 新リンパ腫学) : 251-257
 19. 丸山大
治療法の再整理とアップデートのために : 専門家による私の治療 : 節外性 T/NK 細胞リンパ腫 .
日本医事新報 , 2023 (5152) : 42-43

20. 吉田菊晃, 丸山大
実診療において治療に難渋する造血器腫瘍の病態と新たな治療戦略：自家移植後再発ホジキンリンパ腫の治療戦略．
血液内科, 2023. 87 (2) : 174-180
21. 城内優子, 丸山大
リンパ系腫瘍に対する新薬開発状況と今後の展望 update 2023 : B 細胞リンパ腫に対する抗 CD19 抗体薬物複合体 (loncastuximab tesirine) の開発状況と今後の展望．
血液内科, 2023. 87 (4) : 406-411
22. 城内優子, 崔日承, 大間知謙, 丸山大
再発・難治性末梢性 T 細胞リンパ腫の治療について：新規薬剤を中心に．
血液内科, 2023. 86 (5) : 760-768
23. 山内寛彦, 丸山大
Hematologic Malignancies/Pediatric Malignancies : 血液・リンパ系腫瘍：特殊な B 細胞性リンパ腫の治療指針：縦隔グレイゾーンリンパ腫の最近の動向．
癌と化学療法, 2023. 50 (5) : 599-604
24. 山内寛彦, 丸山大
これだけは押さえておきたい：がん化学療法の薬：抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬：はや調べノート：分子標的薬：BCR-ABL 阻害薬：イマチニブ：メシル酸塩．
YORi-SOU がんナーシング, 2023. 別冊（がん化学療法の薬 - 抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬：はや調べノート 2023・2024 年版）：90-91
25. 山内寛彦, 丸山大
これだけは押さえておきたい：がん化学療法の薬：抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬：はや調べノート：分子標的薬：BCR-ABL 阻害薬：ダサチニブ水和物．
YORi-SOU がんナーシング, 2023. 別冊（がん化学療法の薬 - 抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬：はや調べノート 2023・2024 年版）：94-95
26. 山内寛彦, 丸山大
これだけは押さえておきたい：がん化学療法の薬：抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬：はや調べノート：分子標的薬：BCR-ABL 阻害薬：ニロチニブ塩酸塩水和物．
YORi-SOU がんナーシング, 2023. 別冊（がん化学療法の薬 - 抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬：はや調べノート 2023・2024 年版）：92-93
27. 山内寛彦, 丸山大
これだけは押さえておきたい：がん化学療法の薬：抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬：はや調べノート：分子標的薬：BCR-ABL 阻害薬：ボスチニブ水和物．
YORi-SOU がんナーシング, 2023. 別冊（がん化学療法の薬 - 抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬：はや調べノート 2023・2024 年版）：96-97
28. 山内寛彦, 丸山大
これだけは押さえておきたい：がん化学療法の薬：抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬：はや調べノート：分子標的薬：BCR-ABL 阻害薬：ポナチニブ塩酸塩．
YORi-SOU がんナーシング, 2023. 別冊（がん化学療法の薬 - 抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬：はや調べノート 2023・2024 年版）：98-99
29. 山内寛彦, 丸山大
これだけは押さえておきたい：がん化学療法の薬：抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬：はや調べノート：分子標的薬：EZH2 阻害薬：タゼメトスタット．
YORi-SOU がんナーシング, 2023. 別冊（がん

ん化学療法の薬 - 抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬：はや調べノート 2023・2024 年版）：186-187

30. 山内寛彦, 丸山大

これだけは押さえておきたい：がん化学療法の薬：抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬：はや調べノート：分子標的薬：プロテアソーム阻害薬：イキサゾミブ：クエン酸エステル．

YORi-SOU がんナーシング, 2023. 別冊（がん化学療法の薬 - 抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬：はや調べノート 2023・2024 年版）：126-127

31. 山内寛彦, 丸山大

これだけは押さえておきたい：がん化学療法の薬：抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬：はや調べノート：分子標的薬：プロテアソーム阻害薬：カルフィルゾミブ．

YORi-SOU がんナーシング, 2023. 別冊（がん化学療法の薬 - 抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬：はや調べノート 2023・2024 年版）：124-125

32. 山内寛彦, 丸山大

これだけは押さえておきたい：がん化学療法の薬：抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬：はや調べノート：分子標的薬：抗 CD79b モノクローナル抗体：ポラツズマブベドチン．

YORi-SOU がんナーシング, 2023. 別冊（がん化学療法の薬 - 抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬：はや調べノート 2023・2024 年版）：68-69

33. 山内寛彦

リンパ系腫瘍に対する新薬開発状況と今後の展望 update 2023：B 細胞リンパ腫に対する抗 ROR1 抗体薬物複合体（zilovertamab vedotin）の開発状況と今後の展望．
血液内科, 2023. 87（4）：412-418

34. 山内寛彦

リンパ系腫瘍に対する新薬開発状況と今後の展開 2023：B 細胞リンパ腫に対する二重特異性抗体．
血液内科, 2023. 86（2）：163-170

35. 山内寛彦

新リンパ腫学：基礎・臨床の最新動向：悪性リンパ腫に対する新規治療戦略の現状と展望：成熟 B 細胞性腫瘍における B 細胞受容体シグナル標的治療薬と分子病態．
日本臨床, 2023. 81（増刊 3 新リンパ腫学）：464-472

36. 山内寛彦

造血器腫瘍における微小残存病変（MRD）の評価と臨床的意義：マントル細胞リンパ腫における MRD 測定の臨床的意義．
血液内科, 2023. 86（6）：809-816

37. 朝井洋晶

Double-expressor および Double-hit DLBCL に対する DA-EPOCH-R 療法．
血液内科, 2023. 86（2）：246-253

38. 朝井洋晶

江口論文に対する Editorial Comment.
心臓, 2023. 55（1）：71-72

【総合腫瘍科】

1. Aoyama, T., Nakano, K., Yuasa, T., Sugiyama, E., Okawa, T., Ito, K., Azuma, K., Hashimoto, K., Furutani, R., Hiraide, M., Kobayashi, K., Suzuki, K., Tomomatsu, J., Tajima, M., Sato, H., Hama, T., Takahashi, S.

Association between pazopanib exposure and safety in Japanese patients with renal cell carcinoma or soft tissue sarcoma.
Sci. Rep., 2023. 13（1）：2099

2. Chan, H. T., Nagayama, S., Otaki, M., Chin, Y. M., Fukunaga, Y., Ueno, M., Nakamura, Y., Low, S. K.

Tumor-informed or tumor-agnostic circulating tumor DNA as a biomarker for risk

of recurrence in resected colorectal cancer patients.

Front. Oncol., 2023. 12: 1055968

3. Doi, T., Matsubara, N., Naito, Y., Kuboki, Y., Harano, K., Ono, M., Urasaki, T., Ohmoto, A., Kawanai, T., Hisai, T., Ikezawa, H., Shiba, S., Ito, K., Semba, T., Asano, O., Takahashi, S.
First-in-human study of E7130 (a tumor microenvironment-ameliorating microtubule inhibitor) in patients with advanced solid tumors: Primary results of the dose-escalation part.
Cancer, 2023. 129 (5) : 2348-2359
4. Endo, M., Kataoka, T., Fujiwara, T., Tsukushi, S., Takahashi, M., Kobayashi, E., Yamada, Y., Tanaka, T., Nezu, Y., Hiraga, H., Wasa, J., Nagano, A., Nakano, K., Nakayama, R., Hamada, T., Kawano, M., Torigoe, T., Sakamoto, A., Asanuma, K., Morii, T., Machida, R., Sekino, Y., Fukuda, H., Oda, Y., Ozaki, T., Tanaka, K.
Protocol for the 2ND-STEP study, Japan Clinical Oncology Group study JCOG1802: A randomized phase II trial of second-line treatment for advanced soft tissue sarcoma comparing trabectedin, eribulin and pazopanib.
BMC Cancer, 2023. 23 (1) : 219
5. Fujiwara, Y., Kuboki, Y., Furukawa, M., Mizuno, N., Hara, H., Ioka, T., Ueno, M., Takahashi, Y., Takahashi, S., Takeuchi, S., Lihou, C., Ji, T., Tian, C., Shimizu, T.
FIGHT-102: A phase 1 study of pemigatinib in Japanese patients with advanced malignancies.
Cancer Med., 2023. 12: 10597-10611
6. Fujiwara, R., Yuasa, T., Yamamoto, S., Fujiwara, M., Takemura, K., Urasaki, T., Oki, R., Komai, Y., Oguchi, T., Numao, N., Yonese, J.
Geriatric Nutritional Risk Index as a predictor of prognosis in metastatic renal cell carcinoma treated with nivolumab.

Nutr. Cancer, 2023. 75 (2) : 670-677

7. Fujiwara, Y., Sato, Y., Hayashi, N., Fukuda, N., Wang, X., Nakano, K., Ohmoto, A., Urasaki, T., Ono, M., Tomomatsu, J., Toshiyasu, T., Mitani, H., Takahashi, S.
The Geriatric Nutritional Risk Index as a prognostic factor in older adult patients with locally advanced head and neck cancer receiving definitive chemoradiotherapy with tri-weekly cisplatin.
J. Geriatr. Oncol., 2023. 14 (5) : 101523
8. Fukada, I., Mori, S., Hayashi, N., Hosonaga, M., Xiaofei, W., Yamazaki, M., Ueki, A., Kiyotani, K., Tonooka, A., Takeuchi, K., Ueno, T., Takahashi, S.
Prognostic impact of cancer genomic profile testing for advanced or metastatic solid tumors in clinical practice.
Cancer Sci., 2023. 114 (12) : 4632-4642
9. Fukuda, N., Oki, R., Suto, H., Wang, X., Urasaki, T., Sato, Y., Nakano, K., Yunokawa, M., Ono, M., Tomomatsu, J., Mitani, H., Takahashi, S.
Comparison of paclitaxel plus carboplatin versus observation in patients with recurrent or metastatic adenoid cystic carcinoma of the head and neck.
Oncology, 2023. 101 (8) : 502-511
10. Fukuda, N., Tanizawa, Y., Nakamura, K., Okada, Y., Segall, G., Kiiskinen, U., Fasnacht, N., Sanderson, I., Rider, A., Lewis, K.
Real-world clinical profile, treatment patterns and patient-reported outcomes for thyroid cancer in Japan.
Future Oncol., 2023. 19 (16) : 1125-1137
11. Kage, H., Shinozaki-Ushiku, A., Ishigaki, K., Sato, Y., Tanabe, M., Tanaka, S., Tanikawa, M., Watanabe, K., Kato, S., Akagi, K., Uchino, K., Mitani, K., Takahashi, S., Miura, Y., Ikeda, S., Kojima, Y., Watanabe, K., Mochizuki, H., Yamaguchi, H., Kawazoe,

- Y., Kashiwabara, K., Kohsaka, S., Tatsuno, K., Ushiku, T., Ohe, K., Yatomi, Y., Seto, Y., Aburatani, H., Mano, H., Miyagawa, K., Oda, K.
Clinical utility of Todai OncoPanel in the setting of approved comprehensive cancer genomic profiling tests in Japan.
Cancer Sci., 2023. 114 (4) : 1710-1717
12. Koppikar, S., Oaknin, A., Babu, K. G., Lorusso, D., Gupta, S., Wu, L. Y., Rajabto, W., Harano, K., Hong, S. H., Malik, R. A., Strebel, H., Aggarwal, I. M., Lai, C. H., Dejthevaporn, T., Tangjitgamol, S., Cheng, W. F., Chay, W. Y., Benavides, D., Hashim, N. M., Moon, Y. W., Yunokawa, M., Anggraeni, T. D., Wei, W., Curigliano, G., Maheshwari, A., Mahantshetty, U., Sheshadri, S., Peters, S., Yoshino, T., Pentheroudakis, G.
Pan-Asian adapted ESMO Clinical Practice Guidelines for the diagnosis, treatment and follow-up of patients with endometrial cancer.
ESMO Open, 2023. 8 (1) : 100774
 13. Krop, I. E., Masuda, N., Mukohara, T., Takahashi, S., Nakayama, T., Inoue, K., Iwata, H., Yamamoto, Y., Alvarez, R. H., Toyama, T., Takahashi, M., Osaki, A., Saji, S., Sagar, Y., O' Shaughnessy, J., Ohwada, S., Koyama, K., Inoue, T., Li, L., Patel, P., Mostillo, J., Tanaka, Y., Sternberg, D. W., Sellami, D., Yonemori, K.
Patritumab deruxtecan (HER3-DXd) , a human epidermal growth factor receptor 3-directed antibody-drug conjugate, in patients with previously treated human epidermal growth factor receptor 3-expressing metastatic breast cancer: A multicenter, phase I/II trial.
J. Clin. Oncol., 2023. 41 (36) : 5550-5560
 14. Nakamura, Y., Mizuno, N., Sunakawa, Y., Canon, J. L., Galsky, M. D., Hamilton, E., Hayashi, H., Jerusalem, G., Kim, S. T., Lee, K. W., Kankeu Fonkoua, L. A., Monk, B. J., Nguyen, D., Oh, D. Y., Okines, A., O' Malley, D. M., Pohlmann, P., Reck, M., Shin, S. J., Sudo, K., Takahashi, S., Van Marcke, C., Yu, E. Y., Groisberg, R., Ramos, J., Tan, S., Stinchcombe, T. E., Bekaii-Saab, T.
Tucatinib and trastuzumab for previously treated human epidermal growth factor receptor 2-positive metastatic biliary tract cancer (SGNTUC-019) : A phase II basket study.
J. Clin. Oncol., 2023. 41 (36) : 5569-5578
 15. Nakano, K.
The future of HER2-targeted treatment for osteosarcoma: Lessons from the negative trastuzumab deruxtecan results.
Int. J. Mol. Sci., 2023. 24 (23) : 16823
 16. Nakano, K.
Inflammatory myofibroblastic tumors: Recent progress and future of targeted therapy.
Jpn. J. Clin. Oncol., 2023. 53 (10) : 885-892
 17. Nakayama, I., Shinozaki, E., Kawachi, H., Sasaki, T., Yunokawa, M., Tomomatsu, J., Yuasa, T., Kitazono, S., Kobayashi, K., Hayakawa, K., Ueki, A., Takahashi, S., Yamaguchi, K.
Implementation of microsatellite instability testing for the assessment of solid tumors in clinical practice.
Cancer Med., 2023. 12 (7) : 7932-7940
 18. Nishizawa, A., Takeda, K., Urasaki, T., Ono, M., Mochizuki, T., Shiga, T., Fujiwara, M., Yuasa, T., Murakami, A., Koike, R., Yunokawa, M., Kanao, H., Shimozaki, K., Takahashi, D., Kogawa, T., Takahashi, S., Kitano, S.
Severe drug eruption after antibiotic administration in patients receiving immune checkpoint inhibitors: A monocentric case series.
JEADV Clin. Pract., 2023. 2 (2) : 330-337

19. Ohmoto, A., Nakano, K., Fukuda, N., Wang, X., Urasaki, T., Hayashi, N., Suto, H., Udagawa, S., Oki, R., Sato, Y., Yunokawa, M., Ono, M., Saito, M., Minami, Y., Hayakawa, K., Tanizawa, T., Ae, K., Matsumoto, S., Tomomatsu, J., Takahashi, S.
Clinical characteristics of sarcoma cases in which long-term disease control was achieved with trabectedin treatment: A retrospective study.
PLoS One, 2023. 18 (3) : e0280508
20. Ohmoto, A., Fuji, S.
Clinical status of induction therapy incorporating a hypomethylating agent for newly diagnosed adult acute myeloid leukemia compared to the standard 7+3 regimen.
Expert Rev. Hematol., 2023. 16 (10) : 761-771
21. Ohmoto, A., Fuji, S., Kohmo, S., Katsura, K.
HTLV-I associated bronchioloalveolar disorder (HABA) : Disease concept and differential diagnosis of an unsolved disease entity.
Expert Rev. Anti Infect. Ther., 2023. 21(1): 57-63
22. Ohmoto, A., Fuji, S.
Prospects of early therapeutic interventions for indolent adult T-cell leukemia/lymphoma based on the chronic lymphocytic leukemia progression model.
Blood Rev., 2023. 60: 101057
23. Ohmoto, A., Fuji, S.
Rapid T-cell lymphoma progression associated with immune checkpoint inhibitors.
Expert Rev. Hematol., 2023. 16 (7) : 535-541
24. Oki, R., Urasaki, T., Ueki, A., Inamura, K., Komai, Y., Takahashi, S., Yonese, J., Yuasa, T.
A radiological complete response to pembrolizumab in a patient with metastatic upper urinary tract urothelial cancer and Lynch syndrome.
IJU Case Rep., 2023. 6 (1) : 33-36
25. Shimomura, A., Takano, T., Takahashi, S., Sagara, Y., Watanabe, J., Tokunaga, E., Shinkai, T., Kamio, T., Kikumori, K., Kamiyama, E., Fujisaki, Y., Saotome, D., Yamashita, T.
Effect of trastuzumab deruxtecan on QT/QTc interval and pharmacokinetics in HER2-positive or HER2-low metastatic/unresectable breast cancer.
Clin. Pharmacol. Ther., 2023. 113 (1) : 160-169
26. Shitara, K., Hirao, M., Iwasa, S., Oshima, T., Komatsu, Y., Kawazoe, A., Sato, Y., Hamakawa, T., Yonemori, K., Machida, N., Yuki, S., Suzuki, T., Okumura, S., Takase, T., Semba, T., Zimmermann, B., Teng, A., Yamaguchi, K.
Phase 1 study of the liposomal formulation of eribulin (E7389-LF) : results from the advanced gastric cancer expansion cohort.
Clin. Cancer Res., 2023. 29 (8) : 1406-1467
27. Suto, H., Inui, Y., Nishikawa, S., Okamura, A.
Delayed diagnosis of bladder cancer in a patient with autosomal dominant polycystic kidney disease.
J. Cancer Res. Ther., 2023. 19 (S2) : S925-S927
28. Suto, H., Inui, Y., Okamura, A.
Is CT or FDG-PET more useful for evaluation of the treatment response in metastatic HER2-positive breast cancer? A case report and literature review.
Front. Oncol., 2023. 13: 1158797
29. Suto, H., Suto, M., Inui, Y., Okamura, A.
Late-onset doxorubicin-induced congestive heart failure in an elderly cancer survivor: A case report.

- Front. Cardiovasc. Med., 2023. 10: 1124276
30. Suto, H., Inui, Y., Okamura, A.
Slowly progressive bone marrow metastasis of gastric cancer followed-up without treatment.
In Vivo, 2023. 37 (3) : 1389-1393
 31. Takahashi, S., Matsumoto, K., Ohba, K., Nakano, Y., Miyazawa, Y., Kawaguchi, T.
The incidence and management of cancer-related anorexia during treatment with vascular endothelial growth factor receptor-tyrosine kinase inhibitor.
Cancer Manag. Res., 2023. 15: 1033-1046
 32. Takahashi, S.
Management of cancer treatment-induced bone loss (CTIBL) in patients with breast cancer or prostate cancer.
J. Bone. Miner. Metab., 2023. 41 (3) : 307-316
 33. Tateai, Y., Kawakami, K., Teramae, M., Fukuda, N., Yokokawa, T., Kobayashi, K., Shibata, N., Suzuki, W., Shimizu, H., Takahashi, S., Ozaka, M., Sasahira, N., Hori, S., Yamaguchi, M.
Factors associated with lenvatinib adherence in thyroid cancer and hepatocellular carcinoma.
PLoS One, 2023. 18 (11) : e0294320
 34. Teruya, N., Inoue, H., Horii, R., Akiyama, F., Ueno, T., Ohno, S., Takahashi, S.
Intratumoral heterogeneity, treatment response, and survival outcome of ER-positive HER2-positive breast cancer.
Cancer Med., 2023. 12 (9) : 10526-10535
 35. Udagawa, H., Takahashi, S., Hirao, M., Tahara, M., Iwasa, S., Sato, Y., Hamakawa, T., Shitara, K., Horinouchi, H., Chin, K., Masuda, N., Suzuki, T., Okumura, S., Takase, T., Nagai, R., Yonemori, K.
Liposomal eribulin for advanced adenoid cystic carcinoma, gastric cancer, esophageal cancer, and small cell lung cancer.
Cancer Med., 2023. 12 (2) : 1269-1278
 36. Une, M., Fujiwara, R., Ueki, A., Oki, R., Urasaki, T., Inamura, K., Takahashi, S., Yonese, J., Yuasa, T.
A case of sequential medical therapy for advanced ureteral cancer in Li-Fraumeni syndrome.
IJU Case Rep., 2023. 6 (5) : 286-289
 37. Yasuda, Y., Fujiwara, R., Oguchi, T., Komai, Y., Numao, N., Yamamoto, S., Oki, R., Urasaki, T., Takahashi, S., Yonese, J., Yuasa, T.
Prognostic significance of immune-related adverse events in metastatic renal cell carcinoma patients treated with immune-checkpoint-inhibitors.
Cancer Diagn. Progn., 2023. 3 (3) : 327-333
 38. 五味直哉, 深田一平, 笹野公伸, 高橋俊二
症例検討会: 内分泌療法抵抗性のIV期の浸潤性小葉癌: エキスパートパネルでの検討を踏まえて.
Cancer Board Breast, 2023. 7 (2) : 71-80
 39. 仲野兼司
豊富な処方例でポイント解説! 耳鼻咽喉科・頭頸部外科処方マニュアル: がん治療の副作用・疼痛緩和: 抗EGFR抗体薬・免疫チェックポイント阻害薬による間質性肺炎.
耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 2023. 95 (5) : 340-342
 40. 仲野兼司
頭頸部癌治療の新しい道: 免疫・薬物療法: 今後期待される頭頸部癌の免疫・薬物療法.
ENTONI, 2023 (285) : 69-77
 41. 佐藤靖祥, 瀬戸泰之
外科医が知っておくべき! 免疫チェックポイント阻害薬: 症例紹介: 腹水濾過濃縮再静注法(CART)を併用してニボルマブ療法を行いCRが得られた高度腹水を伴う胃癌症例.

臨床外科, 2023. 78 (1) : 70-72

42. 高橋俊二

ASCO 2022 meeting report 1) 総論、その他のがん.

腫瘍内科, 2023. 30 (4) : 409-413

【総合診療部】

1. Imura, M., Katada, J., Shiga, T.

Correction to: Epidemiological study regarding the incidence of V=venous thromboembolism in patients after cancer remission.

Cardiol. Ther., 2023. 12 (4) : 749

2. Ishii, H., Kamei, N., Shimono, D., Niiya, T., Tosaki, T., Kitazawa, T., Suzuki, D., Wakasa, Y., Seino, H., Oishi, M., Ohashi, H., Higami, K., Akai, H.

Treatment burden on once-weekly omari-gliptin versus daily dipeptidyl peptidase-4 inhibitors in patients with type 2 diabetes: Randomized controlled trial (ONWARD-DPP4 study) .

Diabetes Ther., 2023. 14 (10) : 1639-1658

3. Nishizawa, A., Takeda, K., Urasaki, T., Ono, M., Mochizuki, T., Shiga, T., Fujiwara, M., Yuasa, T., Murakami, A., Koike, R., Yunokawa, M., Kanao, H., Shimozaeki, K., Takahari, D., Kogawa, T., Takahashi, S., Kitano, S.

Severe drug eruption after antibiotic administration in patients receiving immune checkpoint inhibitors: A monocentric case series.

JEADV Clin. Pract., 2023. 2 (2) : 330-337

4. 中山耕之介

プライマリ・ケアにも役立つ続発性内分泌代謝異常の診断・治療：悪性腫瘍に伴う高カルシウム (Ca) 血症 .

糖尿病・内分泌代謝科, 2023. 56 (2) : 158-163

5. 佐瀬一洋, 木田圭亮, 志賀太郎

ここが変わった！循環器診療 最新スタンダード：循環器診療に関わる領域；腫瘍循環器学の新しい診療ガイドラインと今後の課題 .

循環器ジャーナル, 2023. 71 (1) : 122-127

6. 北澤公

外科手術と感染症：総論：周術期の血糖コントロールと術後感染症 .

外科, 2023. 85 (5) : 458-462

7. 北澤公

激アツ！糖尿病教室ハイパースライド：(第3章) 患者を飽きさせない★糖尿病教室で使えるハイパースライド & 台本：糖尿病とがんには関連があります .

糖尿病ケア, 2023 (2023 夏季増刊) : 264

8. 北澤公

激アツ！糖尿病教室ハイパースライド：(第3章) 患者を飽きさせない★糖尿病教室で使えるハイパースライド & 台本：糖尿病とがんのリスクになるような生活習慣は改善しましょう .

糖尿病ケア, 2023 (2023 夏季増刊) : 265-266

9. 北澤公

激アツ！糖尿病教室ハイパースライド：(第3章) 患者を飽きさせない★糖尿病教室で使えるハイパースライド & 台本：糖尿病とがんは誰しもがなりえる病気です .

糖尿病ケア, 2023 (2023 夏季増刊) : 263

10. 北澤公編集, 河合俊秀編集協力

ちょっと困った背景を持つ糖尿病の診かた：基本をクリアしたすべての糖尿病診療医へ捧げる .

京都, 金芳堂 : 317p., 2023

11. 山本恒久, 伊村美紀, 鳥越万紀夫, 志賀太郎

がん関連静脈血栓塞栓症の治療選択肢としてのアピキサバン (総説) .

Therapeutic Research, 2023. 44 (7) : 479-490

12. 志賀太郎
循環器学と腫瘍学の新たな接点：腫瘍循環器学の課題と将来：ハイボリュームセンターにおける腫瘍循環器学の実践．
日本内科学会雑誌，2023. 112 (9)：1580-1587

13. 福満雅史，志賀太郎
がん関連血栓症の病態生理と治療．
血液内科，2023. 86 (5)：724-730

【麻酔科】

1. Hara, T., Ozawa, A., Shibutani, K., Tsujino, K., Miyauchi, Y., Kawano, T., Ito, K., Sakai, H., Yokota, M.
Practical guide for safe sedation.
J. Anesth., 2023. 37 (3)：340-356
2. Nishizawa, D., Morino, R., Inoue, R., Ohka, S., Kasai, S., Hasegawa, J., Ebata, Y., Nakayama, K., Sumikura, H., Hayashida, M., Yokota, M., Ikeda, K.
Genome-wide association study identifies novel candidate variants associated with postoperative nausea and vomiting.
Cancers (Basel), 2023. 15 (19)：4729
3. 升田茉莉子，高野利実，寺嶋克幸，横田美幸，立道昌幸，立石清一郎
がん患者の仕事と治療の両立支援．
腫瘍内科，2023. 32 (2)：189-194
4. 升田茉莉子，寺嶋克幸，横田美幸
硬膜カテーテル留置後確認テストは陰性であったが、術後カテーテルがくも膜下腔に迷入していた1症例．
臨床麻酔，2023. 47 (5)：710-712

【腫瘍精神科】

1. Sri-Iesaranusorn, P., Sadahiro, R., Murakami, S., Wada, S., Shimizu, K., Yoshida, T., Aoki, K., Uezono, Y., Matsuoka, H., Ikeda, K., Yoshimoto, J.
Data-driven categorization of postoperative delirium symptoms using unsupervised machine learning.

Front. Psychiatry, 2023. 14: 1205605

2. Yamazaki, T., Miyamoto, S., Matsubara, T., Yamagata, H., Kobo, H., Otani, M., Abe, H., Sumitani, M., Shimizu, K., Rodin, G., Yoshiuchi, K.
Development of a Japanese version of the quality of life at the end of life-cancer scale.
J. Pain Symptom Manage., 2023. 66 (2)：e189-e195
3. Yoshida, S., Shimizu, K., Matsui, M., Fujimori, M., Uchitomi, Y., Horibe, K.
Preferred communication with adolescent and young adult patients receiving bad news about cancer.
J. Adolesc. Young Adult Oncol., 2023. 12 (4)：561-568
4. 厚坊浩史
サイコオンコロジーの考えから導く：患者 & 家族のタイプ別に指南！質問力アップ講座（最終回）：不安で押しつぶされそうになっており心身の痛みを訴えている子宮頸がんの女性．
YORi-SOU がんナーシング，2023. 13 (6)：714-715
5. 厚坊浩史
サイコオンコロジーの考えから導く：患者 & 家族のタイプ別に指南！質問力アップ講座（第8回）：外来でいつもつらそうな表情をしている乳がんの女性．
YORi-SOU がんナーシング，2023. 13 (2)：184-185
6. 厚坊浩史
サイコオンコロジーの考えから導く：患者 & 家族のタイプ別に指南！質問力アップ講座（第9回）：今後の治療について悩んでいる子宮頸がんの患者．
YORi-SOU がんナーシング，2023. 13 (3)：322-323

7. 厚坊浩史
サイコオンコロジーの考えから導く：患者 & 家族のタイプ別に指南！質問力アップ講座（第10回）：「前向きにがんばらないといけない」という思いが強い子宮体がんの患者．
YORi-SOU がんナーシング，2023. 13（4）：442-443
8. 厚坊浩史
サイコオンコロジーの考えから導く：患者 & 家族のタイプ別に指南！質問力アップ講座（第11回） 周囲との人間関係に悩みながら治療を受けている肺がんの患者．
YORi-SOU がんナーシング，2023. 13（5）：566-567
9. 厚坊浩史
サイコオンコロジーの考えから導く：患者さん & 家族のタイプ別に指南！質問力アップ講座（第7回）：治療がうまく進まず落ち込んでいる子宮頸がんの女性．
YORi-SOU がんナーシング，2023. 13（1）：72-73
10. 厚坊浩史
ナースのためのストレスマネジメント対策も伝授！告知→終末期まで精神的な悩みに答える：これが知りたかった！こころの緩和ケア：（Part2）エキスパートの極意を伝授！悩める事例 13：診断期 意思決定支援（悩み7）：発達障害が疑われる患者への意思決定支援。どうすすめたらよい？
YORi-SOU がんナーシング，2023. 13（6）：633-636
11. 土井善貴，清水研
適応障害（適応反応症）の予防と対策：進行がん患者における適応障害の予防と対策．
医学のあゆみ，2023. 287（4）：267-271
12. 川居利有
今求められる MRI のリスクマネジメント：日常診療に潜むリスクとその対応：MRI 検査におけるリスクマネジメントと安全管理体制：臨床心理士が伝える MRI 検査におけるトラブル回避．
INNERVISION，2023. 38（6）：38-40
13. 清水研
からだの不調と暮らしのケア：よくみられる自覚的身体症状：がんにまつわる不安．
こころの科学，2023（231）：10-13
14. 清水研
患者さんに「寄り添って」話を聴くってどういうこと？：（第7回）怒りへの対応：やり場のない怒りが医療者にぶつけられたとき．
公衆衛生，2023. 87（2）：160-167
15. 清水研
患者さんに「寄り添って」話を聴くってどういうこと？：（第9回） 家族から「本人には厳しい状況を伝えないでください」と言われたとき．
公衆衛生，2023. 87（7）：712-717
16. 清水研
患者さんに「寄り添って」話を聴くってどういうこと？（第8回）：「ずっとそばにいてください」と言われたら：退行への対応．
公衆衛生，2023. 87（5）：475-481
17. 清水研
患者さんに「寄り添って」話を聴くってどういうこと？（第11回）：「もう生きていても意味がない」と言われたら．
公衆衛生，2023. 87（11）：1161-1167
18. 清水研
精神科医のキャリアパス：チーム医療のコンサルタント：総合病院の精神科医に求められること．
臨床精神医学，2023. 52（8）：893-899
19. 清水研
薬剤師が行うこころのケア：こんなときどうするの？特別寄稿：病気が治らないなんて納得できません！怒りという感情との向き合い方．
薬事，2023. 65（8）：1615-1623

【感染症科】

1. Itoh, N., Akazawa, N., Kurai, H., Kawamura, I., Okinaka, K., Fujita, T., Sekiya, N., Takeda, K., Shiotsuka, M., Ishikane, M., Iwamoto, N., Ohmagari, N., Suzuki, T.

- A nationwide cross-sectional study using a web-based questionnaire survey of the duration of isolation of COVID-19 inpatients with cancer at Japanese cancer centers. *J. Infect. Chemother.*, 2023. 29 (12) : 1185-1188
2. Nishizawa, A., Takeda, K., Urasaki, T., Ono, M., Mochizuki, T., Shiga, T., Fujiwara, M., Yuasa, T., Murakami, A., Koike, R., Yunokawa, M., Kanao, H., Shimozaaki, K., Takahari, D., Kogawa, T., Takahashi, S., Kitano, S. Severe drug eruption after antibiotic administration in patients receiving immune checkpoint inhibitors: A monocentric case series. *JEADV Clin. Pract.*, 2023. 2 (2) : 330-337
 3. Omi, M., Oishi Tanaka, Y., Enokida, T., Hayama, B., Hayakawa, K., Fusegi, A., Nomura, H., Kanao, H. Osteomyelitis pubis caused by *Pseudomonas aeruginosa* secondary to surgical site infections subsequent to vulvar cancer surgeries: A case report. *Gynecol. Oncol. Rep.*, 2023. 50: 101295
 4. Sakurai, A., Suzuki, M., Ohkushi, D., Harada, S., Hosokawa, N., Ishikawa, K., Sakurai, T., Ishihara, T., Sasazawa, H., Yamamoto, T., Takehana, K., Koyano, S., Doi, Y. Clinical features, genome epidemiology, and antimicrobial resistance profiles of *Aeromonas* spp. causing human infections: A multicenter prospective cohort study. *Open Forum Infect. Dis.*, 2023. 10 (12) : ofad587
 5. 大串大輔
ポストコロナ時代の感染症診療：(第 III 章) 特殊な状況下での感染症：緩和医療における感染症診療の注意点。
診断と治療, 2023. 111 (Suppl.) : 256-259
 6. 武田孝一
免疫関連事象に対するステロイド, 免疫抑制薬使用の留意点 (4) 関節炎・筋炎。
腫瘍内科, 2023. 32 (5) : 559-567
 7. 武田孝一
悪性腫瘍と発熱：複雑化するがん患者対応のアップデート。
Hospitalist, 2023. 10 (4) : 561-474
 8. 武田孝一, 伊東直哉
感染症：がん患者において肺のすりガラス陰影を認めた時のマネジメントは？鑑別診断の中でも, ニューモシスチス肺炎 (PJP) vs. 薬剤性肺障害の見積もりがキモです。
日本医事新報, 2023 (5198) : 49-50
 9. 武田孝一, 原田壮平
抗菌薬の使い方：より狭域・より短期の治療で耐性菌を抑えつつ治癒を目指す：この症例から何を学ぶか：子宮頸がん術後の広域抗菌薬に反応しないリンパ嚢胞感染の 1 例。
Medical Practice, 2023. 40 (4) : 630-634
 10. 武田孝一
第 3 章 免疫不全と感染症。
感染症プラチナマニュアル Ver.8 2023-2024 (岡英昭著), 東京, メディカル・サイエンス・インターナショナル pp.324-329, 2023

【歯科】

1. Kanie, Y., Okamura, A., Tomizuka, K., Uchiyama, T., Kanamori, J., Imamura, Y., Ebata, T., Watanabe, M.
ASO author reflections: Periodontal inflamed surface area predicts postoperative pneumonia after esophagectomy. *Ann. Surg. Oncol.*, 2023. 30 (13) : 8280-8281
2. Kanie, Y., Okamura, A., Tomizuka, K., Uchiyama, T., Kanamori, J., Imamura, Y., Ebata, T., Watanabe, M.
ASO visual abstract: Quantitative evaluation of periodontitis for predicting the occurrence of postoperative pneumonia after oncologic esophagectomy.

Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (13) : 8285-8286

3. Kanie, Y., Okamura, A., Tomizuka, K., Uchiyama, T., Kanamori, J., Imamura, Y., Ebata, T., Watanabe, M.

Quantitative evaluation of periodontitis for predicting the occurrence of postoperative pneumonia after oncologic esophagectomy. Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (13) : 8216-8222

【放射線治療部】

1. Fujiwara, Y., Sato, Y., Hayashi, N., Fukuda, N., Wang, X., Nakano, K., Ohmoto, A., Urasaki, T., Ono, M., Tomomatsu, J., Toshiyasu, T., Mitani, H., Takahashi, S.

The Geriatric Nutritional Risk Index as a prognostic factor in older adult patients with locally advanced head and neck cancer receiving definitive chemoradiotherapy with tri-weekly cisplatin.

J. Geriatr. Oncol., 2023. 14 (5) : 101523

2. Hashimoto, M., Ito, Y., Tanaka, Y., Nakano, M.

Four-dimensional dose reconstruction system for lung cancer VMAT treatment: A 4D phantom study.

Int. J. Radiat. Res., 2023. 21 (3) : 467-474

3. Hirata, T., Suzuki, O., Otani, K., Miyake, A., Tamari, K., Seo, Y., Isohashi, F., Kai, N., Hatanoto, K., Fujita, K., Uemura, M., Imamura, R., Tamenaga, S., Yoshino, Y., Fumimoto, Y., Yoshioka, Y., Nonomura, N., Ogawa, K.

Increased toxicities associated with dose escalation of stereotactic body radiation therapy in prostate cancer: Results from a phase I/II study.

Acta Oncol., 2023. 62 (5) : 488-494

4. Ito, M., Yoshioka, Y., Takase, Y., Suzuki, J., Takahashi, H., Minami, Y., Sakuragi, A., Oshima, Y., Okuda, T., Suzuki, K.

Stereotactic body radiation therapy for prostate cancer: A study comparing 3-year genitourinary toxicity between CyberKnife and volumetric-modulated arc therapy by propensity score analysis.

Radiat. Oncol., 2023. 18 (1) : 39

5. Kamima, T., Iino, M., Sakai, R., Ito, Y., Sakae, T., Moriya, S., Tokumasu, K., Yoshioka, Y.

Evaluation of the four-dimensional motion of lung tumors during end-exhalation breath-hold conditions using volumetric cine computed tomography images.

Radiother. Oncol., 2023. 182: 109573

6. Kawamura, H., Nakamura, K., Yoshioka, Y., Itasaka, S., Tomita, N., Onishi, M., Iwata, H., Aizawa, T., Kikuchi, K., Nagata, K., Nakamura, K., Nishioka, K., Ishiyama, H., Ueno, S., Kokubo, M., Yamazaki, H., Watanabe, K., Toyoda, T., Akimoto, T.

Radiotherapy for ductal carcinoma of the prostate: An analysis based on the Japanese radiation oncology study group survey.

Jpn. J. Clin. Oncol., 2023. 53 (2) : 146-152

7. Kodaira, T., Kagami, Y., Machida, R., Shikama, N., Sekino, Y., Ito, Y., Ishikura, S., Saito, Y., Matsumoto, Y., Konishi, K., Murakami, N., Akimoto, T., Fukushima, Y., Toshiyasu, T., Katano, A., Nagata, Y., Ogawa, H., Uno, T., Hamamoto, Y., Nishimura, Y., Mizowaki, T.

Long-term follow-up of an RCT on accelerated radiotherapy vs. standard fractionated radiotherapy for early glottic cancer (JCO-G0701A3) .

Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys., 2023. 117 (5) : 1118-1124

8. Murakami, N., Watanabe, M., Uno, T., Sekii, S., Tsujino, K., Kasamatsu, T., Machitori, Y., Aoshika, T., Kato, S., Hirowatari, H., Kaneyasu, Y., Nakagawa, T., Ikushima, H., Ando, K., Murata, M., Yoshida, K., Yoshioka,

- H., Murata, K., Ohno, T., Okonogi, N., Saito, A. I., Ichikawa, M., Okuda, T., Tsuchida, K., Sakurai, H., Yoshimura, R., Yoshioka, Y., Yorozu, A., Kunitake, N., Okamoto, H., Inaba, K., Kato, T., Igaki, H., Itami, J.
Phase I/II prospective clinical trial for the hybrid of intracavitary and interstitial brachytherapy for locally advanced uterine cervical cancer.
J. Gynecol. Oncol., 2023. 34 (3) : e24
9. Nakajima, N., Isobe, T., Furuyama, Y., Tomita, T., Kobayashi, D., Mori, Y., Takei, H., Nagai, Y., Ide, Y., Murofushi, K. N., Nakajima, M., Yoshioka, Y.
Analysis of source dwell position during treatment in brachytherapy using CT scout images.
J. Contemp. Brachytherapy, 2023. 15 (5) : 357-364
 10. Omura, K., Murakami, Y., Hashimoto, K., Takahashi, H., Suzuki, R., Yoshioka, Y., Oguchi, M., Ichinose, J., Matsuura, Y., Nakao, M., Okumura, S., Mun, M.
Detection of EGFR mutations in early-stage lung adenocarcinoma by machine learning-based radiomics.
Transl. Cancer Res., 2023. 12 (4) : 837-847
 11. Sagawa, T., Ueda, Y., Tsuru, H., Kamima, T., Ohira, S., Tamura, M., Miyazaki, M., Monzen, H., Konishi, K.
Dosimetric potential of knowledge-based planning model trained with HyperArc plans for brain metastases.
J. Appl. Clin. Med. Phys., 2023. 24 (2) : e13836
 12. Saotome, S., Matsubayashi, F., Yoshioka, M., Hashimoto, T., Ito, Y., Oguchi, M., Yoshioka, Y.
Effectiveness of the barcode certification system in preventing incorrect use of patient immobilization device in radiotherapy.
Adv. Radiother. Nucl. Med., 2023. 1 (1) : 1036
 13. Sato, Y., Shimizu, M., Takeda, M., Fujita, Y., Kato, M., Kurosawa, T., Sato, M.
Development of absolute measurement system for Wair in 60Co gamma rays.
Radiat. Prot. Dosimetry, 2023. 199 (3) : ncac280 262 269-276
 14. Soyano, T., Kozuka, T., Kashiara, K., Murakami, Y., Yonese, J., Sasamura, K., Shimoyachi, N., Kashiara, T., Yoshioka, Y., Oguchi, M.
Intensity-modulated radiation therapy for intermediate-risk prostate cancer: Does ADT still have an impact in the dose-escalated external beam radiation therapy era?
Jpn. J. Clin. Oncol., 2023. 53 (6) : 514-521
 15. Suzuki, K., Ikenoyama, Y., Hirasawa, T., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Yoshio, T., Taguchi, S., Yoshioka, Y., Fujisaki, J.
Clinical course and treatment of radiation-induced hemorrhagic gastritis: A case series study.
Clin. J. Gastroenterol., 2023. 16 (2) : 152-158
 16. Tsuno, H., Sasaki, K., Matsubayashi, F., Koyama, T., Oosaka, A., Sakamoto, M., Hosoki, K., Suzuki, H., Okano, E.
New idea for determining the optimal number of measurements in absorbed dose-to-water measurement of high-energy photon beam.
Radiat. Prot. Dosimetry, 2023. 199 (3) : 246-253
 17. Ueda, Y., Fukunaga, J. I., Kamima, T., Shimizu, Y., Kubo, K., Doi, H., Monzen, H.
Standardization of knowledge-based volumetric modulated arc therapy planning with a multi-institution model (broad model) to improve prostate cancer treatment quality.
Phys. Eng. Sci. Med., 2023. 46 (3) : 1091-1100

18. Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y., Sakamoto, T., Mukai, T., Hiyoshi, Y., Nagasaki, T., Taguchi, S., Chino, A., Shinozaki, E., Yamaguchi, K., Konishi, T.
Adding induction chemotherapy before chemoradiotherapy with total mesorectal excision and selective lateral lymph node dissection for patients with poor-risk, locally advanced, mid-to-low rectal cancer may improve oncologic outcomes: A propensity score-matched analysis.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (8) : 4716-4724
19. Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y., Sakamoto, T., Mukai, T., Hiyoshi, Y., Nagasaki, T., Taguchi, S., Chino, A., Shinozaki, E., Yamaguchi, K., Konishi, T.
ASO visual abstract: Adding induction chemotherapy before chemoradiotherapy with total mesorectal excision and selective lateral lymph node dissection in patients with poor-risk, locally advanced, mid-to-low rectal cancer may improve oncological outcomes: A propensity score-matched analysis.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (8) : 4727-4728
20. Yoshida, S., Takahara, T., Arita, Y., Ito, M., Hayakawa, S., Oguchi, T., Komai, Y., Numao, N., Yuasa, T., Inoue, M., Ushijima, H., Kudo, S., Shimano, Y., Nakamura, Y., Uchida, Y., Uehara, S., Tanaka, H., Yae-gashi, H., Izumi, K., Yokoyama, M., Matsuoka, Y., Yoshioka, Y., Konishi, K., Nakanishi, K., Nagahara, A., Hirakawa, A., Koike, R., Koga, F., Nishimura, K., Mizokami, A., Yonese, J., Kageyama, Y., Yoshimura, R., Fujii, Y.
A phase II randomized trial of metastasis-directed therapy with alpha emitter radium-223 in men with oligometastatic castration-resistant prostate cancer (MEDAL) .
BMC Urol., 2023. 23 (1) : 33
21. Yoshioka, Y., Sasamura, K., Ito, M., Kaneko, M., Takahashi, T., Anno, W., Shimoyachi, N., Suzuki, J., Okuda, T., Kashiwara, T., Inaba, K., Igaki, H., Itami, J.
Treatment planning comparison of high-dose-rate brachytherapy vs. robotic and conventional stereotactic body radiotherapy for ultrahypofractionated treatment of prostate cancer.
Phys. Imaging Radiat. Oncol., 2023. 26: 100445
22. 中島大分担執筆
第9章 位置照合 .
強度変調放射線治療における物理技術ガイドライン 2023 (IMRT 物理技術ガイドライン改訂小委員会編集) ,
日本医学物理学会 / 日本放射線技術学会 / 日本放射線腫瘍学会 : pp.25-29, 2023
23. 利安隆史
感染症と腫瘍 : 最新の知見 : 子宮頸癌以外の HPV 関連癌 .
病理と臨床 , 2023. 41 (3) : 0240-0245
24. 吉岡靖生 , 渡邊詩織
外照射療法の進歩 : 臨床前立腺癌学 .
日本臨床 , 2023. 81 (Suppl.6) : 259-263
25. 田口千蔵
節外性リンパ腫の病態把握と治療の進歩 : 節外性リンパ腫に対する放射線療法 .
血液内科 , 2023. 86 (4) : 462-467

【緩和治療科】

1. Funayama, M., Taira, T., Saeki, Y., Kato, O., Suda, S., Yasui-Furukori, N., Anamizu, S., Sato, K., Muroi, H., Satake, N., Koishikawa, H., Sato, S., Nishimura, K.
Enhancing functionality of psychiatric department in general hospital without psychiatric ward: Role of full-time psychiatrist.
Asian J. Psychiatr., 2023. 89: 103751

2. Mashiro, E., Arao, H., Aoki, M., Matsumoto, Y.
What are the barriers to medical collaboration in community-based integrated care supporting cancer patients? A qualitative analysis of healthcare and long-term care providers' perceptions.
Jpn. J. Clin. Oncol., 2023. 53 (12) : 1162-1169
3. Mori, M., Yamaguchi, T., Suzuki, K., Matsuda, Y., Matsunuma, R., Watanabe, H., Ikari, T., Matsumoto, Y., Imai, K., Yokomichi, N., Miwa, S., Yamauchi, T., Okamoto, S., Inoue, S., Inoue, A., Hui, D., Morita, T., Satomi, E.
Do types of opioids matter for terminal cancer dyspnea? A preliminary multicenter cohort study.
J. Pain Symptom Manage., 2023. 66 (2) : e177-e184
4. Mori, M., Yamaguchi, T., Suzuki, K., Matsuda, Y., Matsunuma, R., Watanabe, H., Ikari, T., Matsumoto, Y., Imai, K., Yokomichi, N., Miwa, S., Yamauchi, T., Okamoto, S., Inoue, S., Inoue, A., Morita, T., Satomi, E.
The feasibility and effects of a pharmacological treatment algorithm for cancer patients with terminal dyspnea: A multicenter cohort study.
Cancer Med., 2023. 12 (5) : 5397-5408
5. Morita, K., Miyamoto, Y., Mizuno, A., Shirane, S., Ohbe, H., Hashimoto, Y., Kaneko, H., Matsui, H., Fushimi, K., Yasunaga, H.
Impact of a financial incentive scheme for team-based palliative care in patients with heart failure in Japan: A nationwide database study.
Int. J. Cardiol., 2023. 387: 131145
6. Zenda, S., Arai, Y., Sugawara, S., Inaba, Y., Hashimoto, K., Yamamoto, K., Saigusa, Y., Kawaguchi, T., Shimada, S., Yokoyama, M., Miyaji, T., Okano, T., Nakamura, N., Kobayashi, E., Takagi, T., Matsumoto, Y., Uchitomi, Y., Sone, M.
Protocol for a confirmatory trial of the effectiveness and safety of palliative arterial embolization for painful bone metastases.
BMC Cancer, 2023. 23 (1) : 109
7. 佐伯吉規
ナースのためのストレスマネジメント対策も伝授！告知→終末期まで精神的な悩みに答える：これが知りたかった！こころの緩和ケア：（Part2）エキスパートの極意を伝授！悩める事例 13：治療期精神症状コントロール（悩み 9）：不眠がみられる患者への症状マネジメント。どうしたらよい？
YORi-SOU がんナーシング, 2023. 13 (6) : 651-655
8. 佐伯吉規
まだできる！難治性疼痛の緩和ケア：（第 I 章）治療モダリティを知る：難治性疼痛を前提とした薬物療法：オピオイドによる有害事象への対応：難治性疼痛に対してオピオイド鎮痛薬を増量中に精神症状が生じた場合の薬物療法の考え方．
緩和ケア, 2023. 33 (6 月増刊) : 053-059
9. 佐伯吉規
向精神薬はどこから使う？どう使う？入院患者の精神症状：不眠へのアプローチ：不眠の評価と鑑別，治療指針．
薬事, 2023. 65 (15) : 3041-3046
10. 佐伯吉規
「痛み」に強くなる：産婦人科医として知っておきたい最新知識：がん患者の感情的苦痛の対応．
産科と婦人科, 2023. 90 (6) : 671-677
11. 松本禎久
JSMO 2023 meeting report 4) 骨転移の症状管理．
腫瘍内科, 2023. 32 (1) : 92-96
12. 松本禎久
がんの痛み 治療の基本的な考え方．pp.56-59

がんの痛み治療の実際 . pp. 60-67
 胸膜浸潤による痛み . pp. 314-317
 患者自己調整鎮痛 (PCA) . pp. 323-324
 持続皮下注入法 (CSI) . pp. 325
 せん妄, ケミカルコーピング, 認知・解釈の問題 . pp. 352-358
 骨関節痛を知っておく . p.365
 トータルマネジメントをめざす! がんの痛み
 治療テキスト (松本禎久, 森雅紀, 田上恵太編
 集), 東京, 南江堂: 2023

13. 松本禎久
 まだできる! 難治性疼痛の緩和ケア: (第 III 章)
 病態別の鎮痛法を知る: 頭頸部がん .
 緩和ケア, 2023. 33 (6 月増刊): 160-163
14. 松本禎久
 仕事人の楽屋裏: 第 47 回
 緩和ケア, 2023. 33 (2): 164-165
15. 松本禎久
 痛みの治療
 家庭の医学 (佐田尚宏, 岡崎仁昭編集), 東京,
 時事通信社: pp.https://medical.jiji.com/
 medical/022-2084-99, 2023
16. 松本禎久
 痛み以外の緩和医療
 家庭の医学 (佐田尚宏, 岡崎仁昭編集), 東京,
 時事通信社: pp.https://medical.jiji.com/
 medical/022-2085-99, 2023
17. 松本禎久, 臼井優子
 緩和医療特論
 がん治療認定医教育セミナーテキスト 第 17 版
 (がん治療認定医機構教育委員会編集), 東京,
 日本がん
 治療認定医機構教育委員会: pp.90-96, 2023

【トータルケアセンター】

1. Aoki, Y., Inoue, Y., Sasahira, N., Ono,
 M., Inamura, K., Kataoka, A., Takano, T.,
 Kanao, H., Watanabe, M.
 Primary ovarian insufficiency associated
 with lenvatinib therapy in a patient with
 hepatocellular carcinoma: A case report.
 Oncol. Lett., 2023. 26 (4): 450

2. Hiyoshi, Y., Yamaguchi, T., Matsuura, N.,
 Amano, T., Kozu, T., Mukai, T., Nagasaki, T.,
 Akiyoshi, T., Fukunaga, Y.
 Advantages of the umbilical minilaparoto-
 my-first approach in robotic rectal cancer
 surgery.
 Tech. Coloproctol., 2023. 27 (1): 71-74
3. Koizumi, T., Sugishita, Y., Suzuki-Taka-
 hashi, Y., Nara, K., Miyagawa, T., Nakajima,
 M., Sugimoto, K., Futamura, M., Furui, T.,
 Takai, Y., Matsumoto, H., Yamauchi, H.,
 Ohno, S., Kataoka, A., Kawai, K., Fukuma,
 E., Nogi, H., Tsugawa, K., Suzuki, N.
 Oncofertility-related psycho-education-
 al therapy for young adult patients with
 breast cancer and their partners: Random-
 ized controlled trial.
 Cancer, 2023. 129 (16): 2568-2580
4. Ota, E., Hiyoshi, Y., Matsuura, N., Ishikawa,
 K., Fujinami, F., Mukai, T., Yamaguchi, T.,
 Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y.
 Standardization of preoperative stoma site
 marking and its utility for preventing stoma
 leakage: A retrospective study of 519 pa-
 tients who underwent laparoscopic/robotic
 rectal cancer surgery.
 Tech. Coloproctol., 2023. 27 (12): 1387-
 1392
5. Ozaki, Y., Masuda, J., Kataoka, A., Kogawa,
 T., Abe, T., Morizono, H., Inagaki, R., Hara,
 F., Takano, T., Ueno, T., Ohno, S.
 The impact of obesity and endocrine ther-
 apy on the prognosis of premenopausal
 women with hormone receptor-positive
 breast cancer: A single-institute retrospec-
 tive study.
 Cancer Rep., 2023. 6 (2): e1695
6. Partridge, A. H., Niman, S. M., Ruggeri, M.,
 Peccatori, F. A., Azim, H. A., Jr., Colleoni,
 M., Saura, C., Shimizu, C., Sætersdal, A. B.,
 Kroep, J. R., Mailliez, A., Warner, E., Borg-
 es, V. F., Amant, F., Gombos, A., Kataoka, A.,

- Rousset-Jablonski, C., Borstnar, S., Takei, J., Lee, J. E., Walshe, J. M., Ruíz-Borrego, M., Moore, H. C. F., Saunders, C., Bjelic-Radic, V., Susnjar, S., Cardoso, F., Smith, K. L., Ferreira, T., Ribi, K., Ruddy, K., Kammler, R., El-Abed, S., Viale, G., Piccart, M., Korde, L. A., Goldhirsch, A., Gelber, R. D., Pagani, O. Interrupting endocrine therapy to attempt pregnancy after breast cancer. *N. Engl. J. Med.*, 2023. 388 (18) : 1645-1656
7. Takeda, M., Kataoka, A., Abe, T., Inoue, Y., Uehiro, N., Takahashi, Y., Nakashima, E., Ogiya, A., Sakai, T., Morizono, H., Miyagi, Y., Ohno, S., Ueno, T.
Childbirth after perioperative systemic therapy in patients with breast cancer: A retrospective single institutional study in Japan. *Jpn. J. Clin. Oncol.*, 2023. 53 (6) : 457-462
 8. 升田茉莉子, 高野利実, 寺嶋克幸, 横田美幸, 立道昌幸, 立石清一郎
がん患者の仕事と治療の両立支援.
腫瘍内科, 2023. 32 (2) : 189-194
 9. 松浦信子
ここがポイント! 消化管ストーマ関連合併症の予防と管理: 晩期ストーマ関連合併症の予防のためのセルフケア指導と管理.
WOC Nursing, 2023. 11 (1) : 63-68
 10. 片岡明美
IV-D. 特殊状態の手術: 12. 妊娠期の手術.
Knack & Pitfalls: 乳腺外科の要点と盲点 (石田孝宣, 上野貴之編集), 東京, 文光堂: pp.260-262, 2023
 11. 片岡明美
IV-D. 特殊病態の手術: 13. 授乳期の手術.
Knack & Pitfalls: 乳腺外科の要点と盲点 第3版 (石田孝宣, 上野貴之編集), 東京, 文光堂: pp.263-265, 2023
 12. 片岡明美, 阿部朋未, 大野真司
乳癌患者の妊孕性温存と POSITIVE 試験の意義.
腫瘍内科, 2023. 32 (2) : 166-170
 13. 片岡明美, 阿部朋未, 大野真司
乳腺: 産婦人科医が知っておくべき必須知識: 乳がんの早期発見: ホルモン補充療法, ピルと乳がんリスク・検診の有効性.
臨床婦人科産科, 2023. 77 (3) : 384-388
- 【画像診断部】**
1. Baba, T., Kusumoto, M., Kato, T., Kurihara, Y., Sasaki, S., Oikado, K., Saito, Y., Endo, M., Fujiwara, Y., Kenmotsu, H., Sata, M., Takano, T., Kato, K., Hirata, K., Katagiri, T., Saito, H., Kuwano, K.
Clinical and imaging features of interstitial lung disease in cancer patients treated with trastuzumab deruxtecan.
Int. J. Clin. Oncol., 2023. 28 (12) : 1585-1596
 2. Kikuchi, M., Gomi, N., Ueki, A., Osako, T., Terauchi, T.
Effectiveness and tasks of breast MRI surveillance for high-risk women with cancer susceptibility genes other than BRCA1/2: A single institution study.
Breast Cancer, 2023. 30 (4) : 577-583
 3. Nagaoka, T., Osumi, H., Ueno, T., Ooki, A., Wakatsuki, T., Nakayama, I., Ogura, M., Takahari, D., Chin, K., Matsueda, K., Yamaguchi, K., Shinozaki, E.
Morphological response and tumor shrinkage as predictive factors in metastatic colorectal cancer treated with first-line capecitabine, oxaliplatin, and bevacizumab.
Int. J. Clin. Oncol., 2023. 28 (9) : 1191-1199
 4. Nakao, M., Terauchi, T., Oikado, K., Sato, Y., Hashimoto, K., Ichinose, J., Matsuura, Y., Okumura, S., Ninomiya, H., Mun, M.
Distinct prognostic impact of PET findings

- based on radiological appearance in clinical stage IA lung adenocarcinoma.
Clin. Lung Cancer, 2023. 24 (2) : 107-113
5. Okamoto, T., Sasaki, T., Takahashi, Y., Takamatsu, M., Kanda, H., Hiratsuka, M., Matsuyama, M., Ozaka, M., Sasahira, N.
Perivascular epithelioid cell tumor (PEComa) of the cystic duct.
Clin. J. Gastroenterol., 2023. 16 (1) : 87-95
 6. Omi, M., Oishi Tanaka, Y., Enokida, T., Hayama, B., Hayakawa, K., Fusegi, A., Nomura, H., Kanao, H.
Osteomyelitis pubis caused by Pseudomonas aeruginosa secondary to surgical site infections subsequent to vulvar cancer surgeries: A case report.
Gynecol. Oncol. Rep., 2023. 50: 101295
 7. Ono, Y., Inoue, Y., Ito, H., Sasaki, T., Takeda, T., Ozaka, M., Sasahira, N., Hiratsuka, M., Matsueda, K., Oba, A., Sato, T., Saiura, A., Takahashi, Y.
Analysis of prognostic factors for borderline resectable pancreatic cancer after neoadjuvant chemotherapy: The importance of CA19-9 decrease in patients with elevated pre-chemotherapy CA19-9 levels.
HPB (Oxford) , 2023. 25 (1) : 100-108
 8. Sato, Y., Ishiyama, M., Nakano, S., Nakao, M., Mun, M., Ninomiya, H., Terauchi, T., Oikado, K.
Ringlike peripheral increased iodine concentration for the differentiation of primary lung cancer and pulmonary metastases on contrast-enhanced dual-energy CT.
Am. J. Roentgenol., 2023. 220 (6) : 828-837
 9. Seki, M., Ninomiya, E., Saiura, A., Takahashi, Y., Inoue, Y., Katori, M., Yamamoto, N., Takamatsu, M., Kato, Y., Yamada, K., Matsueda, K., Ohkura, Y.
Clinicopathological study of surgically treated non-neoplastic diseases of the pancreas with special reference to autoimmune pancreatitis.
Langenbecks Arch. Surg., 2023. 408 (1) : 223
 10. Tanaka, Y. O., Chiba, T., Tonooka, A., Okamoto, S., Kanao, H.
Brenner tumor of the ovary: A challenging case to be differentiated from benign counterpart.
Eurorad, 2023: DOI:10.35100/eurorad/case.18023
 11. Tanaka, Y. O., Sugawara, E., Tonooka, A., Saida, T., Sakata, A., Fukunaga, Y., Kanao, H., Satoh, T., Noguchi, M., Terauchi, T.
Mucinous tumors arising from ovarian teratomas as another source of pseudomyxoma peritonei: MR findings comparison with ovarian metastases from appendiceal mucinous tumors.
BJR open, 2023. 5 (1) : 20220036
 12. 一川良太, 負門克典, 佐藤嘉尚, 寺内隆司
症例から学ぶ心臓血管放射線診断: 大動脈疾患: G-CSF 関連大血管炎.
画像診断, 2023. 44 (1) : 90-91
 13. 上田和彦
主膵管内腫瘍を伴う T2 延長: 拡散制限領域
300 例で学ぶ読影レポートの流儀: MRI, CT, X 線, PET まで完全理解 (齋田幸久編集), 東京, 学研メディカル秀潤社: pp.135, 2023
 14. 上田和彦
壁在結節と主膵管拡張を伴う膵嚢胞性腫瘍
300 例で学ぶ読影レポートの流儀: MRI, CT, X 線, PET まで完全理解 (齋田幸久編集), 東京, 学研メディカル秀潤社: pp.133, 2023
 15. 上田和彦
大動脈傍リンパ節腫大
300 例で学ぶ読影レポートの流儀: MRI, CT, X 線, PET まで完全理解 (齋田幸久編集), 東京, 学研メディカル秀潤社: pp.134, 2023

16. 上田和彦
臍尾部側主臍管拡張を伴う多房性嚢胞性腫瘍
300 例で学ぶ読影レポートの流儀：MRI,CT,X
線,PET まで完全理解（齋田幸久編集），東京，
学研メディカル秀潤社：pp.132, 2023
17. 五味直哉
BIA-ALCL 特集：乳房インプラント関連未分化
大細胞型リンパ腫（BIA-ALCL）の画像診断．
Oncoplast Breast Surg, 2023. 8（1）：1-7
18. 五味直哉，深田一平，笹野公伸，高橋俊二
症例検討会：内分泌療法抵抗性の IV 期の浸潤
性小葉癌：エキスパートパネルでの検討を踏ま
えて．
Cancer Board Breast, 2023. 7（2）：71-80
19. 五味直哉，菊池真理
遺伝性腫瘍：放射線科医が担う新たな使命：
HBOC と乳癌ハイリスクサーベイランス．
臨床画像，2023. 29（2）：52-63
20. 佐藤嘉尚
肺癌の治療後画像変化と合併症．
肺癌，2023. 63（Suppl.）：825-828
21. 木曾翔平，田中宏子
臨床 MRI を基礎から知る：さまざまな角度か
ら MRI の魅力に迫る：頸部領域：頸部深部間隙．
臨床画像，2023. 39（4 月増刊）：73-79
22. 田中優美子
画像診断ガイドラインの使い方：トレーニング
と症例集：婦人科領域の到達点と課題．
臨床画像，2023. 39（12）：1400-1407
23. 田中優美子
豊富な所見で診断の進め方がわかる：産婦人科
画像診断アトラス：悪性腫瘍：画像診断の進め
方：子宮頸癌・内膜癌のリンパ節転移診断．
臨床婦人科産科，2023. 77（4）：240-244
24. 田中優美子
遺伝性腫瘍：放射線科医が担う新たな使命：遺
伝性卵巣腫瘍の画像診断：HBOC を中心に．
臨床画像，2023. 39（2）：164-171
25. 菊池真理，五味直哉
遺伝性腫瘍：放射線科医が担う新たな使命：
HBOC 以外の遺伝性乳癌．
臨床画像，2023. 39（2）：184-191

【臨床遺伝医療部】

1. Chikatani, K., Ishida, H., Mori, Y., Nakajima, T., Ueki, A., Akagi, K., Takao, A., Yamada, M., Taniguchi, F., Komori, K., Sasaki, K., Sudo, T., Miyakura, Y., Chino, A., Yamaguchi, T., Tanakaya, K., Tomita, N., Ajioka, Y. Risk of metachronous colorectal cancer after colectomy for first colon cancer in Lynch syndrome: Multicenter retrospective study in Japan. Int. J. Clin. Oncol., 2023. 28（12）：1633-1640
2. Fukada, I., Mori, S., Hayashi, N., Hosonaga, M., Xiaofei, W., Yamazaki, M., Ueki, A., Kiyotani, K., Tonooka, A., Takeuchi, K., Ueno, T., Takahashi, S. Prognostic impact of cancer genomic profile testing for advanced or metastatic solid tumors in clinical practice. Cancer Sci., 2023. 114（12）：4632-4642
3. Kikuchi, M., Gomi, N., Ueki, A., Osako, T., Terauchi, T. Effectiveness and tasks of breast MRI surveillance for high-risk women with cancer susceptibility genes other than BRCA1/2: A single institution study. Breast Cancer, 2023. 30（4）：577-583
4. Matsubayashi, H., Kosaka, T., Yoshida, R., Ueki, A. A commentary on Helicobacter pylori and gastric cancer risk in BRCA1/2 pathogenic germline variant carrier. J. Hum. Genet., 2023. 68（10）：727-728
5. Nakayama, I., Shinozaki, E., Kawachi, H., Sasaki, T., Yunokawa, M., Tomomatsu, J., Yuasa, T., Kitazono, S., Kobayashi, K., Hayakawa, K., Ueki, A., Takahashi, S., Yamaguchi, K.

- Implementation of microsatellite instability testing for the assessment of solid tumors in clinical practice.
Cancer Med., 2023. 12 (7) : 7932-7940
6. Nomura, H., Abe, A., Fusegi, A., Yoshimitsu, T., Misaka, S., Murakami, A., Matsumoto, T., Tsumura, S., Kanno, M., Aoki, Y., Netsu, S., Omi, M., Tanigawa, T., Okamoto, S., Omatsu, K., Yunokawa, M., Kanao, H., Habano, E., Arakawa, H., Kaneko, K., Ueki, A., Haruyama, Y., Inari, H., Ueno, T.
Impact of the coverage of risk-reducing salpingo-oophorectomy by the national insurance system for women with BRCA pathogenic variants in Japan.
Sci. Rep., 2023. 13 (1) : 1018
 7. Oda, S., Ushiyama, M., Nakamura, W., Gotoh, M., Tanabe, N., Watanabe, T., Odaka, Y., Aoyagi, K., Sakamoto, H., Nakajima, T., Sugano, K., Yoshida, T., Shiraishi, Y., Hirata, M.
A complex rearrangement between APC and TP63 associated with familial adenomatous polyposis identified by multimodal genomic analysis: A case report.
Front. Oncol., 2023. 13: 1205847
 8. Oki, R., Urasaki, T., Ueki, A., Inamura, K., Komai, Y., Takahashi, S., Yonese, J., Yuasa, T.
A radiological complete response to pembrolizumab in a patient with metastatic upper urinary tract urothelial cancer and Lynch syndrome.
IJU Case Rep., 2023. 6 (1) : 33-36
 9. Takamatsu, R., Nakamura, K., Suzuki, O., Okada, C., Mori, R., Kawano, R., Hayashi, H., Ishikawa, M., Aimonio, E., Nohara, S., Tanishima, S., Ueki, A., Ishida, H., Nishi-hara, H.
Clinical predominance of whole-exome sequencing to evaluate microsatellite instability status.
Cancer Sci., 2023. 114 (7) : 2848-2859
 10. Ueki, A., Yoshida, R., Kosaka, T., Matsubayashi, H.
Clinical risk management of breast, ovarian, pancreatic, and prostatic cancers for BRCA1/2 variant carriers in Japan.
J. Hum. Genet., 2023. 68 (8) : 517-526
 11. Une, M., Fujiwara, R., Ueki, A., Oki, R., Urasaki, T., Inamura, K., Takahashi, S., Yonese, J., Yuasa, T.
A case of sequential medical therapy for advanced ureteral cancer in Li-Fraumeni syndrome.
IJU Case Rep., 2023. 6 (5) : 286-289
 12. Yamamoto, H., Sakamoto, H., Kumagai, H., Abe, T., Ishiguro, S., Uchida, K., Kawasaki, Y., Saida, Y., Sano, Y., Takeuchi, Y., Tajika, M., Nakajima, T., Banno, K., Funasaka, Y., Hori, S., Yamaguchi, T., Yoshida, T., Ishikawa, H., Iwama, T., Okazaki, Y., Saito, Y., Matsuura, N., Mutoh, M., Tomita, N., Akiyama, T., Yamamoto, T., Ishida, H., Nakayama, Y.
Clinical guidelines for diagnosis and management of Peutz-Jeghers syndrome in children and adults.
Digestion, 2023. 104 (5) : 335-347
 13. Yamazawa, K., Sugano, K., Tanakaya, K., Inoue, S., Murakami, H., Nakashima, M., Adachi, M., Oki, S., Makabe, T., Yamashita, H., Ueki, A., Sasaoka, A., Nakashoji, A., Kinoshita, T., Matsunaga, T., Arai, M., Nakamura, S., Miyata, H., Ikegami, M., Mano, H., Kohsaka, S., Matsui, A.
The pathogenic role of the BRCA2 c.7847C>T (p.Ser2616Phe) variant in breast and ovarian cancer predisposition.
Cancer Sci., 2023. 114 (7) : 2993-3002
 14. 一木愛, 野村秀高, 箕浦祐子, 幅野愛理, 金子景香, 植木有紗, 中島健, 金尾祐之
不妊治療中に子宮内膜癌と診断された Lynch 症候群の 2 例 .
遺伝性腫瘍, 2023. 22 (4) : 101-105

15. 幅野愛理, 植木有紗, 中島健
遺伝性腫瘍：放射線科医が担う新たな使命：
Li-Fraumeni 症候群のサーベイランス。
臨床画像, 2023. 39 (2) : 133-141
16. 新川裕美, 植木有紗
遺伝性腫瘍：放射線腫瘍医が担う新たな使命：
遺伝性腫瘍の基礎。
臨床画像, 2023. 39 (2) : 126-132
17. 植木有紗
HBOC の最近の話題：HBOC 治療の現在とこれ
から：HBOC 診断を治療に活かすために。
日本婦人科腫瘍学会雑誌, 2023. 41 (2) :
202-206
18. 植木有紗
Precision oncology の検証：がん全ゲノム解析
における生殖細胞系列所見の解釈と開示におけ
る課題。
腫瘍内科, 2023. 31 (1) : 22-27
19. 植木有紗
子宮体部悪性腫瘍の最前線：診断・治療の最前
線：子宮体部腫瘍（がん, がん肉腫, 肉腫）に
対する遺伝子検査の選択とタイミング, 患者説
明のポイント。
産科と婦人科, 2023. 90 (3) : 289-295
20. 植木有紗
産婦人科における保険診療と自費診療：保険診
療におけるがん遺伝子パネル検査と治療選択。
産婦人科の実際, 2023. 72 (1) : 61-66
21. 箕浦祐子, 植木有紗
図解：産婦人科医のための臨床遺伝学必修知識
II：がん対策としての遺伝子検査。
産婦人科の実際, 2023. 72 (9) : 901-907

【集中治療部】

1. 望月俊明
めざせ！一歩進んだ周術期管理；頭頸部外科患
者の術後 ICU 管理。
耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 2023. 95 (13) :
1128-1131

2. 望月俊明
循環器集中治療の最前線：がんと循環器集中治
療。
循環器内科, 2023. 93 (1) : 47-53

【核医学部】

1. Ariga, A., Matsumoto, S., Tanizawa, T., Ha-
yakawa, K., Minami, Y., Saito, M., Kurosa-
wa, N., Yamashita, K., Terauchi, T., Ae, K.
Bone metastases with “false negative” find-
ings on 18F-FDG PET/CT in patients with
angiosarcoma: A case series with literature
review.
Medicine (Baltimore), 2023. 102 (28) :
e34196
2. Fukai, S., Daisaki, H., Ishiyama, M., Shima-
da, N., Umeda, T., Motegi, K., Ito, R., Ter-
auchi, T.
Reproducibility of the principal compo-
nent analysis (PCA) -based data-driven
respiratory gating on texture features in
non-small cell lung cancer patients with
18F-FDG PET/CT.
J. Appl. Clin. Med. Phys., 2023. 24 (5) :
e13967
3. Miyaji, N., Miwa, K., Yamashita, K., Motegi,
K., Wagatsuma, K., Kamitaka, Y., Yamao, T.,
Ishiyama, M., Terauchi, T.
Impact of irregular waveforms on da-
ta-driven respiratory gated PET/CT images
processed using MotionFree algorithm.
Ann. Nucl. Med., 2023. 37 (12) : 665-674
4. Nakao, M., Terauchi, T., Oikado, K., Sato, Y.,
Hashimoto, K., Ichinose, J., Matsuura, Y.,
Okumura, S., Ninomiya, H., Mun, M.
Distinct prognostic impact of PET findings
based on radiological appearance in clinical
stage IA lung adenocarcinoma.
Clin. Lung Cancer, 2023. 24 (2) : 107-113
5. Shirouchi, Y., Nishimura, N., Mishima, Y.,
Ishihara, Y., Asai, H., Tamba, M., Hirano,
M., Hirano, K., Teramoto, Y., Yoshida, K.,

Takeuchi, K., Terauchi, T., Maruyama, D.
Prognostic value of post-treatment serum
soluble interleukin-2 receptor in newly
diagnosed diffuse large B-cell lymphoma
patients who achieved complete metabolic
response following R-CHOP therapy.
Sci. Rep., 2023. 13 (1) : 13713

6. Sugyo, A., Tsuji, A. B., Sudo, H., Sugiura, Y.,
Koizumi, M., Higashi, T.
Wnt1 induces osteoblastic changes in a
well-established osteolytic skeletal meta-
static model derived from breast cancer.
Cancer Rep. (Hoboken) , 2023. 6 (12) :
e1909
7. 一川良太, 負門克典, 佐藤嘉尚, 寺内隆司
症例から学ぶ心臓血管放射線診断: 大動脈疾患:
G-CSF 関連大血管炎.
画像診断, 2023. 44 (1) : 90-91
8. 宮司典明, 山下康輔, 米山寛人, 花岡宏平, 右
近直之, 前田貴雅, 飯森隆志
核医学治療における適正使用の実態調査.
日本放射線技術学会雑誌, 2023. 79 (3) :
262-270
9. 寺内隆司
新リンパ腫学: 基礎・臨床の最新動向: 悪性リ
ンパ腫の診断概論: 悪性リンパ腫の FDG-PET/
CT による画像診断と効果判定のエッセンス.
日本臨床, 2023. 81 (増刊 3 新リンパ腫学) :
149-154

【救急部】

1. Nishizawa, A., Takeda, K., Urasaki, T., Ono,
M., Mochizuki, T., Shiga, T., Fujiwara, M.,
Yuasa, T., Murakami, A., Koike, R., Yunoka-
wa, M., Kanao, H., Shimosaki, K., Takahari,
D., Kogawa, T., Takahashi, S., Kitano, S.
Severe drug eruption after antibiotic ad-
ministration in patients receiving immune
checkpoint inhibitors: A monocentric case
series.
JEADV Clin. Pract., 2023. 2 (2) : 330-337

2. 望月俊明
めざせ！ 一歩進んだ周術期管理；頭頸部外科患
者の術後 ICU 管理.
耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 2023. 95 (13) :
1128-1131
3. 望月俊明
循環器集中治療の最前線：がんと循環器集中治
療.
循環器内科, 2023. 93 (1) : 47-53

【臨床検査センター】

1. Sakurai, A., Suzuki, M., Ohkushi, D., Hara-
da, S., Hosokawa, N., Ishikawa, K., Sakurai,
T., Ishihara, T., Sasazawa, H., Yamamoto, T.,
Takehana, K., Koyano, S., Doi, Y.
Clinical features, genome epidemiology,
and antimicrobial resistance profiles of Aer-
omonas spp. causing human infections: A
multicenter prospective cohort study.
Open Forum Infect. Dis., 2023. 10 (12) :
ofad587
2. 友田美穂子
尿沈渣検査からの病態推測と診療へのアプロ
ーチ: 各種尿沈渣成分 - 出現背景, 推測される病態,
診療へのアプローチ: ウイルス感染細胞.
Med. Technol., 2023. 51 (12) : 1245-1250
3. 関田綱基
治療薬物および透析による検査値への影響: 薬
物および薬物代謝物による検査値への影響: ス
トロンチウム含有サプリメントによる Ca 値
(AMY 酵素法) への影響.
医療検査と自動化, 2023. 48 (Suppl.1) :
26-27
4. 関田綱基
治療薬物および透析による検査値への影響: 薬
物および薬物代謝物による検査値への影響: ダ
ラツムマブなどの抗体薬による血清蛋白分画、
IFE 上の M 蛋白出現.
医療検査と自動化, 2023. 48 (Suppl.1) :
28-30

5. 関田綱基
治療薬物および透析による検査値への影響：薬物および薬物代謝物による検査値への影響：乳がん治療薬フェソロデックスとの交差反応によるエストラジオール（E2）への影響．
医療検査と自動化，2023. 48（Suppl.1）：36-37
6. 関田綱基
治療薬物および透析による検査値への影響：薬物および薬物代謝物による検査値への影響：前立腺がん治療薬サイティガの代謝産物との交差反応によるテストステロンへの影響．
医療検査と自動化，2023. 48（Suppl.1）：34-35
7. 関田綱基
治療薬物および透析による検査値への影響：薬物の副作用による検査値への影響：抗腫瘍薬メトトレキサート（MTX）によるAST、ALT活性上昇．
医療検査と自動化，2023. 48（Suppl.1）：15-17

【超音波診断・IVR 部】

1. Inoue, Y., Ebina, A., Toda, K., Shimbashi, W., Yamada, K., Mitani, H., Tanaka, Y., Sugitani, I.
Surgical strategy for patients with papillary thyroid carcinoma invading the trachea: a comparison of tracheal sleeve resection with end-to-end anastomosis and window resection with tracheocutaneous fistula.
Gland Surg., 2023. 12（9）：1167-1178
2. Izumori, A., Kokubu, Y.
Ultrasound diagnosis of non-mass MRI-detected lesions.
J. Med. Ultrason., 2023. 50（3）：351-360
3. Kobayashi, K., Inoue, Y., Omiya, K., Sato, S., Kato, T., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Matsueda, K., Saiura, A., Takahashi, Y.
Diagnosis and management of postpancreatectomy hemorrhage: A single-center experience of consecutive 1,096 pancreatoduodenectomies.

Pancreatology, 2023. 23（3）：235-244

4. Mie, T., Sasaki, T., Matsueda, K., Okamoto, T., Hirai, T., Ishitsuka, T., Yamada, M., Nakagawa, H., Furukawa, T., Takeda, T., Kasuga, A., Ozaka, M., Sasahira, N.
Ruptured cystic artery pseudoaneurysm after self-expandable metal stent placement for malignant biliary obstruction.
DEN Open, 2023. 4（1）：e304
5. Yamada, M., Okamoto, T., Sato, Y., Takeda, T., Mie, T., Ishitsuka, T., Nakagawa, H., Matsuyama, M., Sasaki, T., Sasahira, N.
Late-onset hemobilia due to pseudoaneurysm rupture after endoscopic ultrasound-guided hepaticogastrostomy.
Clin. J. Gastroenterol., 2023. 16（5）：743-747
6. 佐藤洋造，松枝清
外科手術と感染症：総論：術後感染性合併症に対するインターベンショナルラジオロジー．
外科，2023. 85（5）：502-506
7. 加藤千絵子，棚倉健太
乳癌診断と治療における押さえるべきトレンド：乳房再建術後のフォローアップにおける超音波検査．
Rad Fan, 2023. 21（7）：32-40
8. 國分優美
・Ⅲ 10a FNA P81-82
・Ⅲ 10b 組織生検1：超音波ガイド下生検 P83 - 85
・Ⅲ 10c 組織生検2：ステレオガイド下生検・MRIガイド下生検 P86 - 88
Knack & pitfalls：乳腺外科の要点と盲点 第3版（石田孝宣，上野貴之編集），東京，文光堂：2023
9. 松枝清，佐藤洋造，藤原良将，國分優美，永井一夫，龍見秋一，後藤志保，川村奈津樹
画像ガイド下治療：最前線：がん診療におけるIVR（画像下治療）の実際．
映像情報 Medical, 2023. 55（7）：4-8

【看護部】

1. Hiyoshi, Y., Yamaguchi, T., Matsuura, N., Amano, T., Kozu, T., Mukai, T., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y.
Advantages of the umbilical minilaparotomy-first approach in robotic rectal cancer surgery.
Tech. Coloproctol., 2023. 27 (1) : 71-74
2. Ota, E., Hiyoshi, Y., Matsuura, N., Ishikawa, K., Fujinami, F., Mukai, T., Yamaguchi, T., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y.
Standardization of preoperative stoma site marking and its utility for preventing stoma leakage: A retrospective study of 519 patients who underwent laparoscopic/robotic rectal cancer surgery.
Tech. Coloproctol., 2023. 27 (12) : 1387-1392
3. 中原由美子, 秋山愛
がん研究会有明病院の看護部人事交流制度 .
看護のチカラ, 2023. 28 (596) : 11-18
4. 後藤志保
患者のセルフケア支援 ; 患者の生活を支える .
がん・放射線療法 改訂第 8 版 (大西洋ほか編集) , 東京 , Gakken: pp.107-111, 2023
5. 松枝清, 佐藤洋造, 藤原良将, 國分優美, 永井一夫, 龍見秋一, 後藤志保, 川村奈津樹
画像ガイド下治療 : 最前線 : がん診療における IVR (画像下治療) の実際 .
映像情報 Medical, 2023. 55 (7) : 4-8
6. 松浦信子
ここがポイント ! 消化管ストーマ関連合併症の予防と管理 : 晩期ストーマ関連合併症の予防のためのセルフケア指導と管理 .
WOC Nursing, 2023. 11 (1) : 63-68
7. 武田知子
4 月に向けて ! 先輩力 UP ↑ シリーズ (1) 指導・説明に活用度 120% ! 手術で使う機器・物品を整理して理解 ! ポイント & 使い分けノート : 手術室の設備 : 手術ベッド・空調・無影灯・吸引器・X 線透視装置・緊急用フットスイッチ .
オペナーシング, 2023. 38 (2) : 110-115
8. 武田知子
たった 1 日で “ ? ” を解消 ! ごっそり身につく ! 輸液・輸血の知識と実践力 : (1 章) 輸液 オペネースが知っておきたい : 輸液の取り扱いがごっそりわかる !
オペナーシング, 2023. 38 (10) : 946-949
9. 清水多嘉子
人生 100 年時代の看護師の養成 : 慢性疾患、ヘルスケア、生き方を見ずえる : 病、痛みとともに生きる高齢者への理解とケアの視点がん : がん患者の持つ力を見いだし支援する看護 .
看護教育, 2023. 64 (1) : 044-047
10. 赤土朋美
“よく遭遇する” 質問を解決 ! ウィズコロナ時代の感染対策ベストアンサー 9 : 実践編 : 面会 .
INFECTION CONTROL, 2023. 32 (5) : 495-499
11. 長崎礼子
予防・対策・セルフケア指導 : がん薬物療法中のしびれをくい止めたい ! : どんなスケールを使用する ? しびれの評価とアセスメント : 経時的に、他覚的・自覚的症状の詳細を多職種で共有する .
YORi-SOU がんナーシング, 2023. 13 (2) : 176-177
12. 長崎礼子
予防・対策・セルフケア指導 : がん薬物療法中のしびれをくい止めたい ! : どんな指導ができる ? 投与前のオリエンテーション : 具体的な症状と対処方法を指導し心理的サポートを行う .
YORi-SOU がんナーシング, 2023. 13 (2) : 174-175
13. 高橋まみ, 中山章子, 横田淳子, 下大川恵, 稲城陽子, 長井優子
教育が重要かつデリケートなのは卒後 2 年目と中堅看護師 ! : 「最新の知識」を身につけ「初めて覚えた時のままの技術」を学び直す : 入職後 6 年目以降の看護師を対象とした “看護実践アップデート研修” .
ナースマネジャー, 2023. 25 (5) : 2-7

14. 黒田直子
がん薬物療法の看護技術：(第 IV 章) 治療経過に伴う患者の“そのとき”に寄り添う：治療開始×不安軽減．
がん看護，2023. 28 (5)：495-497

【薬剤部】

1. Aoyama, T., Nakano, K., Yuasa, T., Sugiyama, E., Okawa, T., Ito, K., Azuma, K., Hashimoto, K., Furutani, R., Hiraide, M., Kobayashi, K., Suzuki, K., Tomomatsu, J., Tajima, M., Sato, H., Hama, T., Takahashi, S.
Association between pazopanib exposure and safety in Japanese patients with renal cell carcinoma or soft tissue sarcoma.
Sci. Rep., 2023. 13 (1)：2099
2. Hashimoto, K., Kawakami, K., Yokokawa, T., Shibata, N., Soejima, A., Sugisaki, T., Mori, Y., Shimizu, H., Yunokawa, M., Kanao, H., Yamaguchi, M.
Serum creatinine elevation as a risk factor for niraparib-induced hematologic toxicity.
Anticancer Res., 2023. 43 (10)：4533-4541
3. Ichimura, T., Nomura, H., Shimizu, H.
Community pharmacists' measurement of health-related quality of life for breast cancer with positive hormone receptors: A prospective observational study.
SAGE Open Med., 2023. 11：20503121231164491
4. Kawaguchi, F., Aoyama, T., Tsuneki, T., Kaneko, K., Kawamura, R., Sato, H., Kobayashi, M.
Differentiating between laryngopharyngeal dysesthesia and hypersensitivity reactions to oxaliplatin and addressing dyspnea: 2 case reports.
Case. Rep. Oncol., 2023. 16 (1)：331-337
5. Kuniyoshi, O., Sano, M., Nakano, Y., Kawaguchi, T., Hatakeyama, T., Tsuchiya, Y., Inada, Y., Harada, T., Kurosaki, M., Mashiko, T., Miyaji, T., Yamaguchi, T.
Protocol for the ASTRO study (SSOP-01) : A multicenter prospective cohort study investigating adverse events based on electronic patient-reported outcomes in patients with breast cancer after adjuvant chemotherapy.
BMJ Open, 2023. 13 (9)：e071500
6. Takahashi, S., Matsumoto, K., Ohba, K., Nakano, Y., Miyazawa, Y., Kawaguchi, T.
The incidence and management of cancer-related anorexia during treatment with vascular endothelial growth factor receptor-tyrosine kinase inhibitor.
Cancer Manag. Res., 2023. 15: 1033-1046
7. Tateai, Y., Kawakami, K., Teramae, M., Fukuda, N., Yokokawa, T., Kobayashi, K., Shibata, N., Suzuki, W., Shimizu, H., Takahashi, S., Ozaka, M., Sasahira, N., Hori, S., Yamaguchi, M.
Factors associated with lenvatinib adherence in thyroid cancer and hepatocellular carcinoma.
PLoS One, 2023. 18 (11)：e0294320
8. Ueki, D., Suzuki, S., Ohta, T., Shinohara, A., Ohashi, Y., Konuma, D., Ryushima, Y., Udagawa, R., Motoshige, H., Ieoka, M., Taji, A., Kogure, Y., Hiraike, M., Uoi, M., Ino, K., Kawasaki, T., Yamaguchi, M.
Cancer-chemotherapy-related regimen checks performed by pharmacists of general hospitals other than cancer treatment collaborative base hospitals: A multicenter, prospective survey.
Pharmacy (Basel, Switzerland) , 2023. 12 (1)：1.
9. Yokokawa, T., Suzuki, K., Tsuji, D., Hosonaga, M., Kobayashi, K., Kawakami, K., Kawazoe, H., Nakamura, T., Suzuki, W., Sugisaki, T., Aoyama, T., Hashimoto, K., Hatori, M., Tomomatsu, T., Inoue, A., Azuma, K., Asa-

no, M., Takano, T., Ohno, S., Yamaguchi, M.
Influence of menopause on chemotherapy-induced nausea and vomiting in highly emetogenic chemotherapy for breast cancer: A retrospective observational study.
Cancer Med., 2023. 12 (18) : 18745-18754

10. 小林一男
いまさら聞けない・いますぐ知りたい「疑問」に答える：抗がん薬の支持療法：(PART 3) 免疫チェックポイント阻害薬の副作用と支持療法：irAE の大腸炎，重度の下痢．
薬事，2023. 65 (10) : 2083-2089
11. 小林一男
いまさら聞けない・いますぐ知りたい「疑問」に答える：抗がん薬の支持療法：(PART 3) 免疫チェックポイント阻害薬の副作用と支持療法：irAE 肝障害．
薬事，2023. 65 (10) : 2115-2120
12. 小林一男
パゾパニブ（ヴォトリエント®）
がん化学療法レジメン管理マニュアル 第4版（青山剛ほか編集，濱敏弘監修），東京，医学書院，2023
13. 小林一男
肝細胞がん：がん薬物療法の副作用マネジメント．
薬局薬剤師のための外来がん薬物療法入門：日経 DI クイズで学ぶ（山口正和監修，川上和宜，清水久範，日経ドラッグインフォメーション編集），東京，日経 BP，日経 BP マーケティング，2023
14. 尾阪将人，上村恵一，田上恵太，辻哲也，森雅紀，横川貴志，親川拓也，光永修一，藤森麻衣子，坂本はと恵，清水陽一
膀胱癌診療ガイドライン 2022 改訂のポイント：支持緩和療法．
膀胱，2023. 38 (2) : 138-146

15. 川上和宜
めまいを起こす薬・治す薬；原因・症状のおさらい & 薬剤性めまいを見逃さない：見落とすまい！薬剤性めまい；めまいを起こす薬の薬学的フォロー：抗がん薬．
薬局，2023. 74 (10) : 1737-1741
16. 川上和宜
患者安全管理を目指した ALL 薬剤師による次世代のがん薬物療法の提供を考える：がん薬剤師外来での患者安全管理のスキルを共有する．
薬学雑誌，2023. 143 (3) : 217-221
17. 川上和宜，堀里子
患者安全管理を目指した ALL 薬剤師による次世代のがん薬物療法の提供を考える．
薬学雑誌，2023. 143 (3) : 211-212
18. 清水久範
患者安全管理を目指した ALL 薬剤師による次世代のがん薬物療法の提供を考える：がん薬物療法の価値評価創出．
薬学雑誌，2023. 143 (3) : 233-236
19. 青山剛
こんなときはどの検定？：臨床研究から学ぶ“逆引き”統計：第3章 仮説検定編：Fisher の正確確率検定と χ^2 検定の使い分け．
調剤と情報，2023. 29 (10) : 1714-1715

【栄養管理部】

1. Amano, T., Akiyoshi, T., Furuta, M., Saino, Y., Mukai, T., Hiyoshi, Y., Nagasaki, T., Yamaguchi, T., Kawachi, H., Fukunaga, Y.
Geriatric nutritional risk index after neoadjuvant chemoradiotherapy and survival in older patients with advanced rectal cancer.
Int. J. Colorectal Dis., 2023. 38 (1) : 119
2. Saino, Y., Kawase, F., Nagano, A., Ueshima, J., Kobayashi, H., Murotani, K., Inoue, T., Nagami, S., Suzuki, M., Maeda, K.
Diagnosis and prevalence of sarcopenic obesity in patients with colorectal cancer: A scoping review.
Clinical nutrition, 2023. 42 (9) : 1595-1601

3. Takagi, K., Inoue, Y., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Saino, Y., Saiura, A., Takahashi, Y. Impact of sarcopenia on S1 adjuvant chemotherapy and prognosis in pancreatic cancer patients. Biosci. Trends, 2023. 17 (4) : 310-317
4. Ueshima, J., Inoue, T., Saino, Y., Kobayashi, H., Murotani, K., Mori, N., Maeda, K. Diagnosis and prevalence of cachexia in Asians: A scoping review. Nutrition, 2023. 119: 112301
5. 斎野容子
がん周術期栄養管理のいま：ERAS 実践における工夫とその成果：ERAS における消化管術後食のあるべき姿を再考する．
臨床栄養，2023. 143 (3) : 337-342
6. 斎野容子
切断患者の栄養管理
四肢切断術のすべて（田中康仁，富村奈津子編集），東京，メジカルビュー社：pp.63-68, 2023
7. 斎野容子
現場発！管理栄養士のための臨床研究 Tips：投稿前に見直しを：Editing と英文校正．
臨床栄養，2023. 別冊（現場発！管理栄養士のための臨床研究 Tips）：115-121
8. 松下亜由子
05 がん治療で食事療法が困難になった場合の糖尿病管理．
ちょっと困った背景を持つ糖尿病の診かた：基本をクリアしたすべての糖尿病診療医へ捧げる（北澤公編集，河合俊英編集協力），京都，金芳堂：pp.190-196, 2023
9. 榎田滋穂，片岡明美，伊丹優貴子，藤原彩，中屋恵梨香，松下亜由子，川名加織，斎野容子，井田智，熊谷厚志
肥満乳がん患者に対する減量栄養指導の成果に関連する因子の検討．
学会誌 JSPEN, 2023. 5 (3-4) : 99-106

【細胞診断部】

1. 千葉知宏
甲状腺腫瘍の WHO 分類の改訂について：甲状腺腫瘍の遺伝子異常．
日本内分泌外科学会雑誌，2023. 40 (2) : 93-98
2. 千葉知宏
甲状腺腫瘍の分子病理学：新 WHO 分類を読み解く 8 つのポイント．
診断病理，2023. 40 (2) : 103-113
3. 杉山裕子
子宮体癌の診断・治療アップデート：子宮体癌の診断と内膜細胞診．
日本女性医学学会雑誌，2023. 30 (3) : 431-435

【検診センター】

1. 上田和彦
主膵管内腫瘍を伴う T2 延長：拡散制限領域 300 例で学ぶ読影レポートの流儀：MRI,CT,X 線,PET まで完全理解（齋田幸久編集），東京，学研メディカル秀潤社：pp.135, 2023
2. 上田和彦
壁在結節と主膵管拡張を伴う膵嚢胞性腫瘍 300 例で学ぶ読影レポートの流儀：MRI,CT,X 線,PET まで完全理解（齋田幸久編集），東京，学研メディカル秀潤社：pp.133, 2023
3. 上田和彦
大動脈傍リンパ節腫大 300 例で学ぶ読影レポートの流儀：MRI,CT,X 線,PET まで完全理解（齋田幸久編集），東京，学研メディカル秀潤社：pp.134, 2023
4. 上田和彦
膵尾部側主膵管拡張を伴う多房性嚢胞性腫瘍 300 例で学ぶ読影レポートの流儀：MRI,CT,X 線,PET まで完全理解（齋田幸久編集），東京，学研メディカル秀潤社：pp.132, 2023
5. 宇津木久仁子，野村秀高，金尾祐之
子宮頸がんの包括的戦略：ワクチン・検診・診断から最新治療まで：診断；進行子宮頸がんに対する広汎子宮全摘出術の合併症対策．

産科と婦人科, 2023. 90 (11) : 1235-1240

6. 藤崎順子

Barrett 食道腺癌の ESD と治療成績 .

Gastroenterol. Endosc., 2023. 65 (9) : 1405-1414

【先進がん治療開発センター】

1. 浅井洋, 若林由美, 樽野弘之

臨床研究法施行後の 5 年間に於ける製薬業界の
取り組みと今後の展望 .

日本臨床試験学会雑誌, 2023. 51 (Suppl.2) : S51-S56

【皮膚腫瘍科】

1. Fujimura, T., Furudate, S., Maekawa, T., Kato, H., Ito, T., Matsushita, S., Yoshino, K., Hashimoto, A., Muto, Y., Ohuchi, K., Amagai, R., Kambayashi, Y., Fujisawa, Y.

Cutaneous angiosarcoma treated with taxane-based chemoradiotherapy: A multi-center study of 90 Japanese cases.

Skin Health Dis., 2023. 3 (1) : e180

2. Fujimura, T., Maekawa, T., Kato, H., Ito, T., Matsushita, S., Yoshino, K., Fujisawa, Y., Ishizuki, S., Segawa, K., Yamamoto, J., Hashimoto, A., Kambayashi, Y., Asano, Y.

Treatment for taxane-resistant cutaneous angiosarcoma: A multicenter study of 50 Japanese cases.

J. Dermatol., 2023. 50 (7) : 912-916

3. Fujisawa, Y., Namikawa, K., Yoshino, K., Kiniwa, Y., Ito, T., Kato, H., Matsushita, S., Hoashi, T., Nakamura, Y., Yoshikawa, S., Miyagawa, T., Asai, J., Matsuya, T., Fukushima, S., Kato, J., Takenouchi, T., Uchi, H., Masuzawa, M., Yanagi, T., Maekawa, T.

Combined use of nivolumab and ipilimumab among Japanese melanoma patients: Multi-center, retrospective study of 111 cases.

Br. J. Dermatol., 2023. 189 (2) : 223-250

4. Inozume, T., Namikawa, K., Kato, H., Yoshikawa, S., Kiniwa, Y., Yoshino, K., Mizuhashi, S., Ito, T., Takenouchi, T., Matsushita, S., Fujisawa, Y., Matsuzawa, T., Sugihara, S., Asai, J., Kitagawa, H., Maekawa, T., Isei, T., Yasuda, M., Yamazaki, N., Uhara, H., Nakamura, Y.

Analyzing the relationship between the efficacy of first-line immune checkpoint inhibitors and cumulative sun damage in Japanese patients with advanced BRAF wild-type nonacral cutaneous melanoma: A retrospective real-world, multicenter study. J. Dermatol. Sci., 2023. 110 (1) : 19-26

5. Muto, Y., Kambayashi, Y., Kato, H., Fukushima, S., Ito, T., Maekawa, T., Shoichiro, I., Uchi, H., Matsushita, S., Yamamoto, Y., Yoshino, K., Fujisawa, Y., Amagai, R., Ohuchi, K., Hashimoto, A., Asano, Y., Fujimura, T.

Postoperative adjuvant therapy for 120 melanoma patients, including acral and mucosal subtypes: A multicenter, observational study of two-year follow-up results.

Br. J. Dermatol., 2023. 189 (4) : 476-478

6. Nishizawa, A., Shinozaki, E., Wakatsuki, T., Satoh, T., Yamazaki, N., Oyamada, S., Ariyoshi, K., Kihara, K., Tsuboi, M., Yamaguchi, K.

Efficacy of aluminum chloride in severe regorafenib-associated hand-foot skin reactions: A single-arm trial.

BMC Cancer, 2023. 23 (1) : 401

7. Nishizawa, A., Takeda, K., Urasaki, T., Ono, M., Mochizuki, T., Shiga, T., Fujiwara, M., Yuasa, T., Murakami, A., Koike, R., Yunokawa, M., Kanao, H., Shimozaaki, K., Takahashi, D., Kogawa, T., Takahashi, S., Kitano, S.

Severe drug eruption after antibiotic administration in patients receiving immune checkpoint inhibitors: A monocentric case series.

J. EADV Clin. Pract., 2023. 2 (2) : 330-337

8. 吉野公二
乳房外パジェット病の診療ガイドライン .
皮膚科, 2023. 4 (1) : 96-102
9. 吉野公二
知っておくべき皮膚科キードラッグのピット
フォール : 皮膚科診療における抗腫瘍薬 .
Derma., 2023 (336) : 80-87
10. 杉本映綺, 日浦梓, 大熊香織, 上原治朗, 吉野
公二, 後藤啓介, 元井亨
足底軟部明細胞肉腫の1例 .
皮膚科の臨床, 2023. 65 (3) : 400-404
11. 蛇澤悠, 上原治朗, 比島恒和, 鈴木樹里, 坂本
悠紀子, 渡辺麗子, 田中春奈, 原正樹, 田中啓
之, 太田英里子, 太田哲人
悪性黒色腫に対して免疫チェックポイント阻害
薬投与中に水疱性類天疱瘡を発症し血漿交換を
行った1例 .
日本内科学会雑誌, 2023. 112 (4) : 680-
685

【先端医療開発科】

1. Fukada, I., Mori, S., Hayashi, N., Hosonaga,
M., Xiaofei, W., Yamazaki, M., Ueki, A., Kiy-
otani, K., Tonooka, A., Takeuchi, K., Ueno,
T., Takahashi, S.
Prognostic impact of cancer genomic pro-
file testing for advanced or metastatic solid
tumors in clinical practice.
Cancer Sci., 2023. 114 (12) : 4632-4642

【先端医療開発科がん免疫治療開発部】

1. Hanamura, T., Kitano, S., Kagamu, H., Ya-
mashita, M., Terao, M., Okamura, T., Ku-
maki, N., Hozumi, K., Iwamoto, T., Honda,
C., Kurozumi, S., Niikura, N.
Correction: Expression of hormone recep-
tors is associated with specific immunolog-
ical profiles of the breast cancer microenvi-
ronment.
Breast Cancer Res., 2023. 25 (1) : 28
2. Hanamura, T., Kitano, S., Kagamu, H., Ya-
mashita, M., Terao, M., Okamura, T., Ku-

maki, N., Hozumi, K., Iwamoto, T., Honda,
C., Kurozumi, S., Niikura, N.

Expression of hormone receptors is associ-
ated with specific immunological profiles of
the breast cancer microenvironment.

Breast Cancer Res., 2023. 25 (1) : 13

3. Ishihara, M., Nishida, Y., Kitano, S., Kawai,
A., Muraoka, D., Momose, F., Harada, N.,
Miyahara, Y., Seo, N., Hattori, H., Takada,
K., Emori, M., Kakunaga, S., Endo, M., Mat-
sumoto, Y., Sasada, T., Sato, E., Yamada,
T., Matsumine, A., Nagata, Y., Watanabe, T.,
Kageyama, S., Shiku, H.

A phase 1 trial of NY-ESO-1-specific
TCR-engineered T-cell therapy combined
with a lymph node-targeting nanopartic-
ulate peptide vaccine for the treatment of
advanced soft tissue sarcoma.

Int. J. Cancer, 2023. 152 (12) : 2554-
2566

4. Nishizawa, A., Takeda, K., Urasaki, T., Ono,
M., Mochizuki, T., Shiga, T., Fujiwara, M.,
Yuasa, T., Murakami, A., Koike, R., Yunoka-
wa, M., Kanao, H., Shimozaki, K., Takahari,
D., Kogawa, T., Takahashi, S., Kitano, S.

Severe drug eruption after antibiotic ad-
ministration in patients receiving immune
checkpoint inhibitors: A monocentric case
series.

JEADV Clin. Pract., 2023. 2 (2) : 330-337

5. 北野滋久

12. 免疫チェックポイント阻害薬による内分泌
障害について対処法を教えてください .

肺癌診療 Q&A : 一つ上に行く診療の実践 第
4 版 (弦間昭彦編集), 東京, 中外医学社 :
pp.579-585, 2023

6. 北野滋久

13. 免疫チェックポイント阻害薬による重症糖
尿病について対処法を教えてください .

肺癌診療 Q&A : 一つ上に行く診療の実践 第
4 版 (弦間昭彦編集), 東京, 中外医学社 :
pp.586-587, 2023

7. 北野滋久
CAR-T 療法の進展：新規遺伝子改変 T 細胞療法 (CAR-T, TCR-T) の開発。
癌と化学療法, 2023. 50 (10) : 1032-1037
8. 北野滋久
がん免疫療法の診断と治療の現状と展望：免疫チェックポイント阻害薬の進歩。
Vita, 2023. 40 (1) : 29-36
9. 北野滋久
免疫が切り開く新時代の医療：がん免疫療法の現状と今後の展望。
Pharma Medica, 2023. 40 (2) : 65-72
10. 北野滋久
免疫チェックポイント阻害薬の使い方 & irAE 対策：irAE の症状と発現時期：早期に発見・治療を開始するために。
薬事, 2023. 65 (6) : 1133-1139

【先端医療開発科がん早期臨床開発部】

1. Funasaka, C., Hanai, A., Zenda, S., Mori, K., Fukui, M., Hirano, N., Shinohara, R., Fuse, N., Wakabayashi, M., Itagaki, M., Tomioka, Y., Nishina, M., Arai, Y., Kogawa, T., Ozaki, Y., Nishimura, M., Kobayashi, T., Hara, F., Takano, T., Mukohara, T.
Mitigation of paclitaxel-induced peripheral neuropathy in breast cancer patients using limb-cooling apparatus: A study protocol for a randomized controlled trial.
Front. Oncol., 2023. 13: 1216813
2. Misawa, S., Denda, T., Kodama, S., Suzuki, T., Naito, Y., Kogawa, T., Takada, M., Suichi, T., Shiosakai, K., Kuwabara, S.
Efficacy and safety of mirogabalin for chemotherapy-induced peripheral neuropathy: a prospective single-arm trial (MiroCIP study) .
BMC Cancer, 2023. 23 (1) : 1098
3. Nishizawa, A., Takeda, K., Urasaki, T., Ono, M., Mochizuki, T., Shiga, T., Fujiwara, M., Yuasa, T., Murakami, A., Koike, R., Yunokawa, M., Kanao, H., Shimozaeki, K., Takahari, D., Kogawa, T., Takahashi, S., Kitano, S.
Severe drug eruption after antibiotic administration in patients receiving immune checkpoint inhibitors: A monocentric case series.
JEADV Clin. Pract., 2023. 2 (2) : 330-337
4. Omori, S., Muramatsu, K., Kawata, T., Miyawaki, E., Miyawaki, T., Mamesaya, N., Kawamura, T., Kobayashi, H., Nakashima, K., Wakuda, K., Ono, A., Kenmotsu, H., Naito, T., Murakami, H., Sugino, T., Takahashi, T.
Immunohistochemical analysis of B7-H3 expression in patients with lung cancer following various anti-cancer treatments.
Invest. New Drugs., 2023. 41 (2) : 356-364
5. Ozaki, Y., Masuda, J., Kataoka, A., Kogawa, T., Abe, T., Morizono, H., Inagaki, R., Hara, F., Takano, T., Ueno, T., Ohno, S.
The impact of obesity and endocrine therapy on the prognosis of premenopausal women with hormone receptor-positive breast cancer: A single-institute retrospective study.
Cancer Rep., 2023. 6 (2) : e1695
6. 古川孝広
泌尿器がん薬物療法の副作用：支持療法を知らずして行うべからず！：CIPN の予防と治療。
臨床泌尿器科, 2023. 77 (8) : 600-606

【先端医療開発科がんゲノム医療開発部】

1. 上野貴之
これだけは押さえておきたい：がん化学療法の薬：抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬：はや調ベノート：分子標的薬：抗 HER2 抗体：トラスツズマブエムタンシン。
YORi-SOU がんナーシング, 2023. 別冊（がん化学療法の薬：抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬：はや調ベノート 2023・2024 年版）：34-35

2. 上野貴之
これだけは押さえておきたい：がん化学療法の薬：抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬：はや調べノート：分子標的薬：抗 HER2 抗体：トラスツズマブデルクステカン。
YORi-SOU がんナーシング，2023. 別冊（がん化学療法の薬：抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬：はや調べノート 2023・2024 年版）：32-33
3. 上野貴之
これだけは押さえておきたい：がん化学療法の薬：抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬：はや調べノート：分子標的薬：抗 HER2 抗体：ペルツズマブ。
YORi-SOU がんナーシング，2023. 別冊（がん化学療法の薬：抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬・支持療法薬：はや調べノート 2023・2024 年版）：36-37

【ゲノム診療部】

1. Fukada, I., Mori, S., Hayashi, N., Hosonaga, M., Xiaofei, W., Yamazaki, M., Ueki, A., Kiyotani, K., Tonooka, A., Takeuchi, K., Ueno, T., Takahashi, S.
Prognostic impact of cancer genomic profile testing for advanced or metastatic solid tumors in clinical practice.
Cancer Sci., 2023. 114 (12) : 4632-4642
2. Mishima, S., Naito, Y., Akagi, K., Hayashi, N., Hirasawa, A., Hishiki, T., Igarashi, A., Ikeda, M., Kadowaki, S., Kajiyama, H., Kato, M., Kenmotsu, H., Koder, Y., Komine, K., Koyama, T., Maeda, O., Miyachi, M., Nishihara, H., Nishiyama, H., Ohga, S., Okamoto, W., Oki, E., Ono, S., Sanada, M., Sekine, I., Takano, T., Tao, K., Terashima, K., Tsuchihara, K., Yatabe, Y., Yoshino, T., Baba, E.
Japanese Society of Medical Oncology/Japan Society of Clinical Oncology/Japanese

Society of Pediatric Hematology/Oncology-led clinical recommendations on the diagnosis and use of immunotherapy in patients with DNA mismatch repair deficient (dMMR) tumors, third edition.

Int. J. Clin. Oncol., 2023. 28 (10) : 1237-1258

3. Mishima, S., Naito, Y., Akagi, K., Hayashi, N., Hirasawa, A., Hishiki, T., Igarashi, A., Ikeda, M., Kadowaki, S., Kajiyama, H., Kato, M., Kenmotsu, H., Koder, Y., Komine, K., Koyama, T., Maeda, O., Miyachi, M., Nishihara, H., Nishiyama, H., Ohga, S., Okamoto, W., Oki, E., Ono, S., Sanada, M., Sekine, I., Takano, T., Tao, K., Terashima, K., Tsuchihara, K., Yatabe, Y., Yoshino, T., Baba, E.
Japanese Society of Medical Oncology/Japan Society of Clinical Oncology/Japanese Society of Pediatric Hematology/Oncology-led clinical recommendations on the diagnosis and use of immunotherapy in patients with high tumor mutational burden tumors.
Int. J. Clin. Oncol., 2023. 28 (8) : 941-955
4. Naito, Y., Mishima, S., Akagi, K., Hayashi, N., Hirasawa, A., Hishiki, T., Igarashi, A., Ikeda, M., Kadowaki, S., Kajiyama, H., Kato, M., Kenmotsu, H., Koder, Y., Komine, K., Koyama, T., Maeda, O., Miyachi, M., Nishihara, H., Nishiyama, H., Ohga, S., Okamoto, W., Oki, E., Ono, S., Sanada, M., Sekine, I., Takano, T., Tao, K., Terashima, K., Tsuchihara, K., Yatabe, Y., Yoshino, T., Baba, E.
Japanese Society of Medical Oncology/Japan Society of Clinical Oncology/Japanese Society of Pediatric Hematology/Oncology-led clinical recommendations on the diagnosis and use of tropomyosin receptor kinase inhibitors in adult and pediatric patients with neurotrophic receptor tyrosine kinase fusion-positive advanced solid tumors.

Int. J. Clin. Oncol., 2023. 28 (7) : 827-840

5. 五味直哉, 深田一平, 笹野公伸, 高橋俊二
症例検討会: 内分泌療法抵抗性のIV期の浸潤性小葉癌: エキスパートパネルでの検討を踏まえて.
Cancer Board Breast, 2023. 7 (2) : 71-80
6. 山崎真澄
がんの臨床試験を受けている患者を診るスタッフが知っておきたい抗がん剤の有害事象の評価について.
臨床薬理, 2023. 54 (3) : 153-156
7. 深田一平, 上野貴之
Precision oncology の検証: がん全ゲノム解析の臨床活用概要: 患者還元班の目的と課題.
腫瘍内科, 2023. 31 (1) : 8-15

【医療情報部】

1. Omura, K., Murakami, Y., Hashimoto, K., Takahashi, H., Suzuki, R., Yoshioka, Y., Oguchi, M., Ichinose, J., Matsuura, Y., Nakao, M., Okumura, S., Mun, M.
Detection of EGFR mutations in early-stage lung adenocarcinoma by machine learning-based radiomics.
Transl. Cancer Res., 2023. 12 (4) : 837-847
2. Saotome, S., Matsubayashi, F., Yoshioka, M., Hashimoto, T., Ito, Y., Oguchi, M., Yoshioka, Y.
Effectiveness of the barcode certification system in preventing incorrect use of patient immobilization device in radiotherapy.
Adv. Radiother. Nucl. Med., 2023. 1 (1) : 1036
3. Soyano, T., Kozuka, T., Kashihara, K., Murakami, Y., Yonese, J., Sasamura, K., Shimoyachi, N., Kashihara, T., Yoshioka, Y., Oguchi, M.
Intensity-modulated radiation therapy for intermediate-risk prostate cancer: Does

ADT still have an impact in the dose-escalated external beam radiation therapy era?
Jpn. J. Clin. Oncol., 2023. 53 (6) : 514-521

【脳腫瘍外科】

1. 宮北康二
緩和ケアで必要な中枢神経症状・合併症の知識: オマヤ貯留槽.
緩和ケア, 2023. 33 (4) : 342-343

【病理部】

1. Amino, Y., Low, S. K., Ninomiya, H., Kiritani, A., Miyadera, K., Kakuto, S., Akita, T., Tsugitomi, R., Ariyasu, R., Uchibori, K., Kitazono, S., Yanagitani, N., Nishio, M.
Clinical characteristics of patients with KRAS mutation detected by liquid biopsy.
Thorac. Cancer, 2023. 14 (33) : 3317-3322
2. Amori, G., Sugawara, E., Inamura, K.
Leveraging transcriptomics data to refine immunotherapy response prediction in NSCLC: STK11 deficiency and beyond.
Journal of thoracic oncology, 2023. 18(11): e134-e135
3. Aoki, Y., Inoue, Y., Sasahira, N., Ono, M., Inamura, K., Kataoka, A., Takano, T., Kanao, H., Watanabe, M.
Primary ovarian insufficiency associated with lenvatinib therapy in a patient with hepatocellular carcinoma: A case report.
Oncol. Lett., 2023. 26 (4) : 450
4. Ariga, A., Matsumoto, S., Tanizawa, T., Hayakawa, K., Minami, Y., Saito, M., Kurosawa, N., Yamashita, K., Terauchi, T., Ae, K.
Bone metastases with "false negative" findings on 18F-FDG PET/CT in patients with angiosarcoma: A case series with literature review.
Medicine (Baltimore), 2023. 102 (28) : e34196

5. Fujiwara, H., Nagayama, S., Kawachi, H., Nakano, K., Shimizu, Y., Katayama, R., Yao, R., Komai, Y., Hiyoshi, Y., Mukai, T., Yamaguchi, T., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y.
A case of laparoscopically resected rectal neuroendocrine carcinoma and its renal metastasis with a potential sensitivity to inhibitors of FGFR and the Bcl family.
J. Surg., 2023. 8 (7) : 1759
6. Fukada, I., Mori, S., Hayashi, N., Hosonaga, M., Xiaofei, W., Yamazaki, M., Ueki, A., Kiyotani, K., Tonooka, A., Takeuchi, K., Ueno, T., Takahashi, S.
Prognostic impact of cancer genomic profile testing for advanced or metastatic solid tumors in clinical practice.
Cancer Sci., 2023. 114 (12) : 4632-4642
7. Goto, K., Oishi, T., Yoshikawa, S.
Carcinoid-like cell arrangements in basal cell carcinoma: A study of 11 cases.
International journal of surgical pathology, 2023. 31 (8) : 1466-1472
8. Hashimoto, H., Miura, S., Tanaka, M., Sakuma, J., Fujita, Y., Takamatsu, M., Noie, T., Morikawa, T.
Gastric succinate dehydrogenase-deficient gastrointestinal stromal tumor presenting as a solitary cystic lesion.
Pathol. Int., 2023. 73 (9) : 469-472
9. Hashimoto, T., Nakayama, I., Ohashi, M., Mizusawa, J., Kawachi, H., Kita, R., Fukuda, H., Kurokawa, Y., Boku, N., Yoshikawa, T., Terashima, M.
Randomized phase II study comparing neoadjuvant 5-fluorouracil/oxaliplatin/docetaxel versus docetaxel/oxaliplatin/S-1 for patients with type 4 or large type 3 gastric cancer.
Future Oncol., 2023. 19 (32) : 2147-2155
10. Hirai, H., Nakaguro, M., Tada, Y., Saigusa, N., Kawakita, D., Honma, Y., Kano, S., Tsukahara, K., Ozawa, H., Okada, T., Okami, K., Yamazaki, K., Sato, Y., Urano, M., Kajiwar, M., Utsumi, Y., Shimura, T., Fushimi, C., Shimizu, A., Kondo, T., Imanishi, Y., Sakai, A., Sato, Y., Togashi, T., Hanazawa, T., Matsuki, T., Yamazaki, K., Nagao, T.
Prognostic value and clinicopathological roles of the tumor immune microenvironment in salivary duct carcinoma.
Virchows Arch., 2023. 483 (3) : 367-379
11. Hiyoshi, Y., Daitoku, N., Mukai, T., Nagasaki, T., Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Yasue, C., Chino, A., Saito, S., Takamatsu, M., Fukunaga, Y.
ASO visual abstract: Risk factors for lymph node metastasis of rectal neuroendocrine tumor and its prognostic impact: A single-center retrospective analysis of 195 cases with radical resection.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (7) : 3956
12. Hiyoshi, Y., Daitoku, N., Mukai, T., Nagasaki, T., Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Yasue, C., Chino, A., Saito, S., Takamatsu, M., Fukunaga, Y.
Risk factors for lymph node metastasis of rectal neuroendocrine tumor and its prognostic impact: A single-center retrospective analysis of 195 cases with radical resection.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 30 (7) : 3944-3935
13. Honma, N., Arai, T., Matsuda, Y., Fukunaga, Y., Muramatsu, M., Ikeda, S., Akishima-Fukasawa, Y., Yamamoto, N., Kawachi, H., Ishikawa, Y., Takeuchi, K., Mikami, T.
Estrogen receptor- β gene cytosine-adenine (ESR2-CA) repeat polymorphism in postmenopausal colon cancer.
Int. J. Mol. Sci., 2023. 24 (5) : 4502

14. Inamura, K.
Beyond bacteria: Fungi in the tumor micro-
biome.
Cancers (Basel) , 2023. 15 (3) : 572
15. Inamura, K.
Exploiting tumor Immune microenviron-
ment to predict response to immunothera-
py plus chemotherapy in NSCLC.
Journal of thoracic oncology, 2023. 18(10):
e109-e110
16. Inamura, K., Shigematsu, Y.
Is machine learning-based assessment of
tumor-infiltrating lymphocytes on standard
histologic images associated with outcomes
of immunotherapy in patients with NSCLC?
J. Thorac. Dis., 2023. 15 (5) : 2882-2884
17. Inamura, K.
Leveraging next-generation sequencing
data to refine immunotherapy response
Prediction in NSCLC: Programmed death-li-
gand 1 copy number, tumor mutation bur-
den, and beyond.
J. Thorac. Oncol., 2023. 18 (9) : e87-e88
18. Inamura, K.
Screening for prostate cancer.
N. Engl. J. Med., 2023. 389 (1) : 93
19. Ishioka, M., Osawa, H., Hirasawa, T., Kawa-
chi, H., Nakano, K., Fukushima, N., Saka-
guchi, M., Tada, T., Kato, Y., Shibata, J.,
Ozawa, T., Tajiri, H., Fujisaki, J.
Performance of an artificial intelli-
gence-based diagnostic support tool for
early gastric cancers: A retrospective study.
Digestive endoscopy 2023. 35 (4) : 483-
491
20. Kajiwarara, Y., Oka, S., Tanaka, S., Nakamu-
ra, T., Saito, S., Fukunaga, Y., Takamatsu,
M., Kawachi, H., Hotta, K., Ikematsu, H.,
Kojima, M., Saito, Y., Yamada, M., Kane-
mitsu, Y., Sekine, S., Nagata, S., Yamada,
K., Kobayashi, N., Ishihara, S., Saitoh, Y.,
Matsuda, K., Togashi, K., Komori, K., Ishig-
uro, M., Kuwai, T., Okuyama, T., Ohuchi,
A., Ohnuma, S., Sakamoto, K., Sugai, T.,
Katsumata, K., Matsushita, H. O., Yamano,
H. O., Eda, H., Uraoka, T., Akimoto, N., Ko-
bayashi, H., Ajioka, Y., Sugihara, K., Ueno,
H.
Nomogram as a novel predictive tool for
lymph node metastasis in T1 colorectal
cancer treated with endoscopic resection:
A nationwide, multicenter study.
Gastrointest. Endosc., 2023. 97 (6) :
1119-1128
21. Kamada, T., Watanabe, H., Furuta, T., Ter-
ao, S., Maruyama, Y., Kawachi, H., Kushi-
ma, R., Chiba, T., Haruma, K.
Diagnostic criteria and endoscopic and his-
tological findings of autoimmune gastritis
in Japan.
J. Gastroenterol., 2023. 58 (3) : 185-195
22. Karube, K., Takeuchi, K.
Masqueraded mastocytosis with prominent
crystal-storing histiocytic infiltration.
Blood, 2023. 142 (16) : 1404
23. Kiritani, S., Ono, Y., Takamatsu, M., Yoshio,
S., Miyashita, M., Oba, A., Sato, T., Ito, H.,
Inoue, Y., Saiura, A., Takahashi, Y.
ASO visual abstract: Unique biology of
pancreatic ductal adenocarcinoma accom-
panied by rapidly impaired diabetes: A
favorable long-term survival after curative
resection.
Ann. Surg. Oncol., 2023. 31: 1944-1945
24. Kitagawa, Y., Ishihara, R., Ishikawa, H., Ito,
Y., Oyama, T., Oyama, T., Kato, K., Kato, H.,
Kawakubo, H., Kawachi, H., Kuribayashi,
S., Kono, K., Kojima, T., Takeuchi, H., Tsu-
shima, T., Toh, Y., Nemoto, K., Booka, E.,
Makino, T., Matsuda, S., Matsubara, H.,
Mano, M., Minashi, K., Miyazaki, T., Muto,
M., Yamaji, T., Yamatsuji, T., Yoshida, M.

- Esophageal cancer practice guidelines 2022 edited by the Japan Esophageal Society: Part 1.
Esophagus, 2023. 20 (3) : 343-372
25. Kitagawa, Y., Ishihara, R., Ishikawa, H., Ito, Y., Oyama, T., Oyama, T., Kato, K., Kato, H., Kawakubo, H., Kawachi, H., Kuribayashi, S., Kono, K., Kojima, T., Takeuchi, H., Tsuchishima, T., Toh, Y., Nemoto, K., Booka, E., Makino, T., Matsuda, S., Matsubara, H., Mano, M., Minashi, K., Miyazaki, T., Muto, M., Yamaji, T., Yamatsuji, T., Yoshida, M.
Esophageal cancer practice guidelines 2022 edited by the Japan Esophageal Society: part 2.
Esophagus, 2023. 20 (3) : 373-389
 26. Kobayashi, K., Ono, Y., Sato, S., Kato, T., Oba, A., Sato, T., Ito, H., Inoue, Y., Takamatsu, M., Saiura, A., Takahashi, Y.
Evaluation of local recurrence after pancreaticoduodenectomy for borderline resectable pancreatic head cancer with neoadjuvant chemotherapy: Can the resection level change after chemotherapy?
Surgery, 2023. 173 (5) : 1220-1228
 27. Kobayashi, H., Teramura, Y., Yamashita, K., Makise, N., Ae, K., Tanaka, S.
Imaging findings of NTRK-rearranged spindle cell neoplasms: A case series.
Mol. Clin. Oncol., 2023. 18 (3) : 14
 28. Kondo, N., Utsumi, T., Shimizu, Y., Takemoto, A., Oh-Hara, T., Uchibori, K., Subat-Motoshi, S., Ninomiya, H., Takeuchi, K., Nishio, M., Miyazaki, Y., Katayama, R.
MIG6 loss confers resistance to ALK/ROS1 inhibitors in NSCLC through EGFR activation by low-dose EGF.
JCI insight, 2023. 8 (24) : e173688
 29. Koyama, K., Inamura, K.
Tumor-resident intracellular bacteria benefit metastasis.
Ann. Transl. Med., 2023. 11 (10) : 376
 30. Liu, C. Y., Kang, N. W., Takeuchi, K., Chuang, S. S.
Combined Merkel cell carcinoma with nodal presentation: Report of a case diagnosed with excisional but not incisional biopsy and literature review.
Diagnostics (Basel) , 2023. 13 (3) : 449
 31. Mima, K., Hamada, T., Inamura, K., Baba, H., Ugai, T., Ogino, S.
The microbiome and rise of early-onset cancers: knowledge gaps and research opportunities.
Gut Microbes, 2023. 15 (2) : 2269623
 32. Miyake, M., Sakata, S., Tsuyama, N., Togashi, Y., Noguchi, M., Tsukada, N., Kumagai, T., Mishima, Y., Takeuchi, K.
Eosinophil-rich variant of nodal marginal zone lymphoma: A clinicopathological study of 11 cases.
Histopathology, 2023. 83 (3) : 443-452
 33. Morita, Y., Yoshio, T., Nakano, K., Shimabashi, W., Imamura, Y.
Emergent endoscopic submucosal dissection for a polypoid fibroadipose tumor accidentally disgorged from the mouth: An organ-preserving minimally invasive treatment.
VideoGIE, 2023. 8 (2) : 50-52
 34. Murai, H., Kodama, T., Maesaka, K., Tange, S., Motooka, D., Suzuki, Y., Shigematsu, Y., Inamura, K., Mise, Y., Saiura, A., Ono, Y., Takahashi, Y., Kawasaki, Y., Iino, S., Kobayashi, S., Idogawa, M., Tokino, T., Hashidate-Yoshida, T., Shindou, H., Miyazaki, M., Imai, Y., Tanaka, S., Mita, E., Ohkawa, K., Hikita, H., Sakamori, R., Tatsumi, T., Eguchi, H., Morii, E., Takehara, T.
Multiomics identifies the link between intra-tumor steatosis and the exhausted tumor immune microenvironment in hepatocellular carcinoma.
Hepatology, 2023. 77 (1) : 77-91

35. Nakao, M., Terauchi, T., Oikado, K., Sato, Y., Hashimoto, K., Ichinose, J., Matsuura, Y., Okumura, S., Ninomiya, H., Mun, M.
Distinct prognostic impact of PET findings based on radiological appearance in clinical stage IA lung adenocarcinoma.
Clin. Lung Cancer, 2023. 24 (2) : 107-113
36. Nakao, E., Fujisaki, J., Nakano, K., Kawachi, H., Narimiya, N., Suzuki, S., Namikawa, K., Tokai, Y., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T.
Early esophageal adenocarcinoma with non-Barrett's columnar epithelium origin: Two case reports and a literature review.
Internal medicine 2023. 62 (13) : 1939-1946
37. Nakashima, H., Kitazawa, N., Fukuyama, C., Kawachi, H., Kawahira, H., Momma, K., Sakaki, N.
Clinical evaluation of computer-aided colorectal neoplasia detection using a novel endoscopic artificial intelligence: A single-center randomized controlled trial.
Digestion, 2023. 104 (3) : 193-201
38. Nakayama, I., Shinozaki, E., Kawachi, H., Sasaki, T., Yunokawa, M., Tomomatsu, J., Yuasa, T., Kitazono, S., Kobayashi, K., Hayakawa, K., Ueki, A., Takahashi, S., Yamaguchi, K.
Implementation of microsatellite instability testing for the assessment of solid tumors in clinical practice.
Cancer Med., 2023. 12 (7) : 7932-7940
39. Narita, K., Takeuchi, K.
FISH for EBV genome in a patient with diffuse large B-cell lymphoma harboring t (14;18) (q32;q21) .
Blood, 2023. 142 (13) : 1172
40. Nigam, N., Bernard, B., Sevilla, S., Kim, S., Dar, M. S., Tsai, D., Robbins, Y., Burkitt, K., Sievers, C., Allen, C. T., Bennett, R. L., Tettey, T. T., Carter, B., Rinaldi, L., Lin, M. W., Sater, H., Edmondson, E. F., Moshiri, A., Saeed, A., Cheng, H., Luo, X., Brennan, K., Koparde, V., Chen, C., Das, S., Andresson, T., Abdelmaksoud, A., Murali, M., Sakata, S., Takeuchi, K., Chari, R., Nakamura, Y., Uppaluri, R., Sunwoo, J. B., Van Waes, C., Licht, J. D., Hager, G. L., Salloura, V.
SMYD3 represses tumor-intrinsic interferon response in HPV-negative squamous cell carcinoma of the head and neck.
Cell Rep., 2023. 42 (7) : 112823
41. Nishimura, T., Kakiuchi, N., Yoshida, K., Sakurai, T., Kataoka, T. R., Kondoh, E., Chigusa, Y., Kawai, M., Sawada, M., Inoue, T., Takeuchi, Y., Maeda, H., Baba, S., Shiozawa, Y., Saiki, R., Nakagawa, M. M., Nannya, Y., Ochi, Y., Hirano, T., Nakagawa, T., Inagaki-Kawata, Y., Aoki, K., Hirata, M., Nanki, K., Matano, M., Saito, M., Suzuki, E., Takada, M., Kawashima, M., Kawaguchi, K., Chiba, K., Shiraishi, Y., Takita, J., Miyano, S., Mandai, M., Sato, T., Takeuchi, K., Haga, H., Toi, M., Ogawa, S.
Evolutionary histories of breast cancer and related clones.
Nature, 2023. 620 (7974) : 607-614
42. Nonaka, T., Kawashiro, S., Ishikawa, H., Ito, Y., Nemoto, K., Ishihara, R., Oyama, T., Oyama, T., Kato, K., Kato, H., Kawakubo, H., Kawachi, H., Kuribayashi, S., Kono, K., Kojima, T., Takeuchi, H., Tsushima, T., Toh, Y., Booka, E., Makino, T., Matsuda, S., Matsubara, H., Mano, M., Minashi, K., Miyazaki, T., Muto, M., Yamaji, T., Yamatsuji, T., Yoshida, M., Kitagawa, Y.
Concurrent chemoradiotherapy using proton beams can reduce cardiopulmonary morbidity in esophageal cancer patients: A systematic review.
Esophagus, 2023. 20 (4) : 605-616
43. Okamoto, T., Sasaki, T., Takahashi, Y., Takamatsu, M., Kanda, H., Hiratsuka, M., Matsuyama, M., Ozaka, M., Sasahira, N.

- Perivascular epithelioid cell tumor (PEComa) of the cystic duct.
Clin. J. Gastroenterol., 2023. 16 (1) : 87-95
44. Okuno, Y., Hattori-Kato, M., Tanaka, H., Tonooka, A., Takeuchi, T.
Relationship between the reduced expression of zinc finger protein 668 in bladder cancer and its invasiveness.
Int. J. Mol. Sci., 2023. 24 (10) : 8668
 45. Ono, Y., Inoue, Y., Kato, T., Kobayashi, K., Takamatsu, M., Atsushi, O., Sato, T., Ito, H., Takahashi, Y.
New approach of circumferential lymph node dissection around the superior mesenteric artery for pancreatic cancer during pancreaticoduodenectomy (with video) .
Langenbecks Arch. Surg., 2023. 408 (1) : 422
 46. Osakada, A., Fujimoto, M., Ueshima, C., Kaku, Y., Nishikori, M., Inoue, N., Takeuchi, K., Haga, H.
Constant small-cell changes and variable LEF1 expression in DUSP22-rearranged primary cutaneous anaplastic large-cell lymphoma: Analysis of the repeated biopsies of three patients.
Pathol. Int., 2023. 73 (9) : 456-462
 47. Pinto, D. G., Bychkov, A., Tsuyama, N., Fukuoka, J., Eloy, C.
Real-world implementation of digital pathology: Results from an intercontinental survey.
Lab. Invest., 2023. 103 (12) : 100261
 48. Sakamoto, K., Baba, S., Okumura, Y., Momose, S., Ono, S., Tonooka, A., Ichinohasama, R., Takakuwa, E., Nakasone, H., Ohshima, K., Takeuchi, K.
Comparison and development of immunohistochemical diagnostic criteria for blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm.
Mod. Pathol., 2023. 36 (10) : 100253
 49. Sato, Y., Ishiyama, M., Nakano, S., Nakao, M., Mun, M., Ninomiya, H., Terauchi, T., Oikado, K.
Ringlike peripheral increased iodine concentration for the differentiation of primary lung cancer and pulmonary metastases on contrast-enhanced dual-energy CT.
Am. J. Roentgenol., 2023. 220 (6) : 828-837
 50. Shigematsu, Y., Inamura, K.
High levels of antidrug antibodies against Atezolizumab as a predictive marker for clinical outcomes in patients with hepatocellular carcinoma.
JAMA Oncol., 2023. 9 (5) : 725-726
 51. Shigematsu, Y., Inamura, K.
Machine learning-based treatment allocation for recurrent hepatocellular carcinoma.
JAMA Surg., 2023. 158 (10) : 1113-1114
 52. Shigematsu, Y., Amori, G., Tanaka, K., Kitahama, K., Kanda, H., Takahashi, Y., Takazawa, Y., Takeuchi, K., Inamura, K.
MHC class I loss is associated with biliary/progenitor cell features and "cold" tumor-immune microenvironment in hepatocellular carcinoma.
Virchows Arch., 2023. 483 (2) : 177-186
 53. Shimozaki, K., Shinozaki, E., Yamamoto, N., Imamura, Y., Osumi, H., Nakayama, I., Wakatsuki, T., Ooki, A., Takahari, D., Ogura, M., Chin, K., Watanabe, M., Yamaguchi, K.
KRAS mutation as a predictor of insufficient trastuzumab efficacy and poor prognosis in HER2-positive advanced gastric cancer.
J. Cancer Res. Clin. Oncol., 2023. 149 (3) : 1273-1283
 54. Shirouchi, Y., Nishimura, N., Mishima, Y., Ishihara, Y., Asai, H., Tamba, M., Hirano, M., Hirano, K., Teramoto, Y., Yoshida, K., Takeuchi, K., Terauchi, T., Maruyama, D.

- Prognostic value of post-treatment serum soluble interleukin-2 receptor in newly diagnosed diffuse large B-cell lymphoma patients who achieved complete metabolic response following R-CHOP therapy. *Sci. Rep.*, 2023. 13 (1) : 13713
55. Sugawara, E., Shigematsu, Y., Amori, G., Sugita, K., Yonese, J., Takeuchi, K., Inamura, K.
CDX2- and PAX8-expressing subtypes in female urethral adenocarcinoma: Pathogenesis insights through immunohistochemical and morphological analyses. *Diagnostics (Basel)* , 2023. 13 (14) : 2408
 56. Tanaka, I., Fujishima, F., Kawachi, H.
Esophageal squamous cell carcinoma darkly stained with iodine. *Digestive endoscopy* 2023. 35 (3) : 401
 57. Tanaka, M., Homme, M., Teramura, Y., Kumegawa, K., Yamazaki, Y., Yamashita, K., Osato, M., Maruyama, R., Nakamura, T.
HEY1-NCOA2 expression modulates chondrogenic differentiation and induces mesenchymal chondrosarcoma in mice. *JCI insight*, 2023. 8 (10) : e160279
 58. Tanaka, Y. O., Sugawara, E., Tonooka, A., Saida, T., Sakata, A., Fukunaga, Y., Kanao, H., Satoh, T., Noguchi, M., Terauchi, T.
Mucinous tumors arising from ovarian teratomas as another source of pseudomyxoma peritonei: MR findings comparison with ovarian metastases from appendiceal mucinous tumors. *BJR open*, 2023. 5 (1) : 20220036
 59. Terayama, M., Kumagai, K., Kawachi, H., Makuuchi, R., Hayami, M., Ida, S., Ohashi, M., Sano, T., Nunobe, S.
Optimal resection of gastric bronchogenic cysts based on anatomical continuity with adherent gastric muscular layer: A case report. *World J. Gastrointest. Surg.*, 2023. 15 (6) : 1216-1223
 60. Teruya, N., Inoue, H., Horii, R., Akiyama, F., Ueno, T., Ohno, S., Takahashi, S.
Intratumoral heterogeneity, treatment response, and survival outcome of ER-positive HER2-positive breast cancer. *Cancer Med.*, 2023. 12 (9) : 10526-10535
 61. Tokai, Y., Horiuchi, Y., Yamamoto, N., Namikawa, K., Yoshimizu, S., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Fujisaki, J.
Effect of *Helicobacter pylori* eradication evaluated using magnifying endoscopy with narrow-band imaging in mixed-type early gastric cancer. *BMC Gastroenterol.*, 2023. 23 (1) : 425
 62. Une, M., Fujiwara, R., Ueki, A., Oki, R., Urasaki, T., Inamura, K., Takahashi, S., Yonese, J., Yuasa, T.
A case of sequential medical therapy for advanced ureteral cancer in Li-Fraumeni syndrome. *IJU Case Rep.*, 2023. 6 (5) : 286-289
 63. Yamada, T., Hiramoto, N., Mori, T., Yamashita, D., Tai, Y., Yamamoto, R., Nishikubo, M., Maruoka, H., Sakamoto, K., Takeuchi, K., Nannya, Y., Ogawa, S., Ishikawa, T.
Coincidence of cutaneous blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm and myelodysplastic syndrome derived from clonal hematopoiesis. *Blood Cancer J.*, 2023. 13 (1) : 119
 64. Yamashita, K., Baba, S., Togashi, Y., Dobashi, A., Ae, K., Matsumoto, S., Tanaka, M., Nakamura, T., Takeuchi, K.
Clinicopathologic and genetic characterization of angiofibroma of soft tissue: A study of 12 cases including two cases with AHR-R::NCOA3 gene fusion. *Histopathology*, 2023. 83 (1) : 57-66

65. 井上典仁, 津山直子, 竹内賢吾
造血器・リンパ系腫瘍の WHO 分類第 5 版: T/
NK 細胞腫瘍: 未分化大細胞リンパ腫 / 節性 T
濾胞ヘルパー細胞リンパ腫 / その他の末梢性 T/
NK 細胞リンパ腫 .
臨床検査, 2023. 67 (7) : 772-779
66. 加藤祐己, 河内洋
大腸腺腫および非腫瘍部陰窩上皮にタキサン系
薬剤による核分裂停止像を随伴した 1 例 .
診断病理, 2023. 40 (1) : 45-48
67. 原健三, 斎藤彰一, 高松学
最新の診断・治療と病態: 診断: 拡大内視鏡検
査 (pit pattern 診断) .
日本臨床, 2023. 81 (増刊 5: 最新臨床大腸癌
学 2023) : 62-67
68. 原健三, 高松学, 十倉淳紀, 鈴木桂悟, 安江千
尋, 井出大資, 千野晶子, 五十嵐正広, 斎藤彰
一, 河内洋
消化管リンパ増殖性疾患の診断アプローチの基
本: 直腸 MALT リンパ腫: 鑑別のポイントを中心
に .
胃と腸, 2023. 58 (7) : 949-954
69. 古谷建悟, 平澤俊明, 高松学, 池之山洋平, 並
河健, 渡海義隆, 吉水祥一, 堀内裕介, 石山晃
世志, 由雄敏之, 藤崎順子
消化管リンパ増殖性疾患の診断アプローチの基
本: 胃 MALT リンパ: 胃癌との鑑別点を中心に .
胃と腸, 2023. 58 (7) : 893-896
70. 大迫智
マクロクイズ: 第 170 回 .
病理と臨床, 2023. 41 (6) : 633-638
71. 大迫智
マクロクイズ: 第 173 回 .
病理と臨床, 2023. 41 (9) : 973-975
72. 大迫智
乳腺診断のエッセンス: 希少乳腺腫瘍に対する
分子病理診断 .
病理と臨床, 2023. 41 (9) : 0961-0969
73. 大迫智
稀に遭遇する乳腺疾患の病理と臨床③ 唾液腺
型浸潤性乳癌 (腺様嚢胞癌・分泌癌): 唾液腺
型浸潤性乳癌 (腺様嚢胞癌・分泌癌) の病理診断 .
乳癌の臨床, 2023. 38 (4) : 253-257
74. 山下享子
病理診断クイックリファレンス: 2023: (第
17 章) 骨・軟部: 悪性末梢神経鞘腫瘍
病理と臨床, 2023. 41 (臨増) : 274
75. 山下享子
病理診断クイックリファレンス: 2023: (第
17 章) 骨・軟部: 結節性筋膜炎
病理と臨床, 2023. 41 (臨増) : 263
76. 山下享子
病理診断クイックリファレンス: 2023: (第
17 章) 骨・軟部: 腱滑膜巨細胞腫 (びまん型,
限局型)
病理と臨床, 2023. 41 (臨増) : 259
77. 山本浩之, 平澤俊明, 高松学
「胃と腸」式 読影問題集 2023 応用と発展: 考
える画像診断が身につく: 胃 (Case 8) .
胃と腸, 2023. 58 (10) : 1276-1279
78. 斎藤彰一, 河内洋, 池上雅博, 森田祐規, 小林
輝, 十倉淳紀, 鈴木桂悟, 安江千尋, 井出大資,
千野晶子, 五十嵐正広, 藤井有里, 玉井尚人,
中尾裕
鋸歯状病変関連の早期大腸癌: 癌併存大腸 SSL
の内視鏡診断: 画像強調観察の立場から: NBI
の立場から .
胃と腸, 2023. 58 (2) : 146-158
79. 森田祐規, 中野薫, 高松学, 十倉淳紀, 鈴木桂
悟, 安江千尋, 井出大資, 千野晶子, 五十嵐正
広, 斎藤彰一, 河内洋
鋸歯状病変関連の早期大腸癌: serrated pol-
ypsis syndrome に合併した粘膜下層浸潤を
呈した早期大腸癌の 1 例 .
胃と腸, 2023. 58 (2) : 215-221

80. 河内洋
大腸 T1 癌の病理診断の変遷：大腸癌治療ガイドラインの改定の歴史を振り返る．
消化器内視鏡，2023. 35（1）：15-21
81. 河内洋
病理診断クイックリファレンス：2023：（第 5 章）食道・胃：Barrett 食道，Barrett 食道腺癌．
病理と臨床，2023. 41（臨増）：71
82. 河内洋
胃良性疾患の近未来：[総論]Post HP 時代の胃疾患：病理学的特徴．
消化器内視鏡，2023. 35（8）：978-991
83. 泉敦子，斎藤彰一，高松学
「胃と腸」式読影問題集 2023：基本と応用：考える画像診断が身につく：大腸（Case 3）．
胃と腸，2023. 58（4）：534-537
84. 渡邊昌人，斎藤彰一，河内洋
「胃と腸」式読影問題集 2023 応用と発展：考える画像診断が身につく：大腸（Case 12）．
胃と腸，2023. 58（10）：1414-1417
85. 藤崎順子，東佑香，並河健，高松学
ピロリ菌未感染胃粘膜に発生する種々の疾患：未感染粘膜の印環細胞癌．
消化器内科，2023. 5（1）：60-65
86. 重松康之，稲村健太郎
マイクロバイオームと腫瘍免疫．
肝胆膵，2023. 86（3）：299-304
87. 鎌田智有，渡辺英伸，古田隆久，寺尾秀一，丸山保彦，河内洋，九嶋亮治，千葉勉，春間賢
自己免疫性胃炎の診断基準に関する附置研究会からの新提案．
Gastroenterol. Endosc., 2023. 65（2）：173-182

11. 獲得研究費一覧

受託元	種目/項目	研究テーマ	金額	研究者
内閣府 (NCGM)	統合型ヘルスケアシステムの構築	がん診療についての統合的臨床データベースの社会実装	37,996,982	医療情報部 鈴木一洋
内閣府 (NCGM)	統合型ヘルスケアシステムの構築	医療機関・ベンダー・システムの垣根を超えた医療データ基盤構築による組織横断的な医療情報収集の実現	6,650,000	副院長 小口正彦
厚生労働省	がん対策推進総合研究事業	がん関連苦痛症状の体系的治療の開発と実践および専門的がん疼痛治療の地域連携体制モデル構築に関する研究	500,000	緩和治療科 松本禎久
厚生労働省	がん対策推進総合研究事業	小児・AYA世代がん患者に対する生殖機能温存に関わる心理支援体制の均てん化と安全な長期検体保管体制の確立を志向した研究-患者本位のがん医療の実現を目指して	0	乳腺センター 片岡明美
厚生労働省	エイズ対策政策研究事業	非加熱血液凝固因子製剤によるH I V感染血友病等患者に合併する腫瘍への包括的対策に関する研究	300,000	総合腫瘍科 高橋俊二
文部科学省	基盤研究 (A)	次世代遺伝子発現解析法に立脚したシーケンスレスながん分子サブタイプ規定法の開発	500,000	がん免疫治療開発部 北野滋久
文部科学省	基盤研究 (B)	分子疫学研究による胆のうがんリスク要因の解明	50,000	消化器内科 笹平直樹
文部科学省	基盤研究 (B)	次世代トランスクリプトーム解析を用いた肺癌個別化医療開発	320,000	がん免疫治療開発部 北野滋久
文部科学省	基盤研究 (C)	トリプルネガティブ乳癌における多様性の分子機序解明と新規治療への展開	500,000	乳腺外科 山下奈真
文部科学省	基盤研究 (C)	遺伝性胃癌における初期病変に着眼した病理組織学的特徴とゲノム異常の解明	800,000	病理部 中野薫
文部科学省	基盤研究 (C)	子宮癌に対するマッピング生検ガイド下穿刺対応強度変調組織内照射テンプレートの開発	900,000	放射線治療部 久能木裕明
文部科学省	基盤研究 (C)	蛍光多重免疫組織化学染色を用いた非小細胞肺がんの腫瘍微小免疫環境の解析	1,000,000	がん免疫治療開発部 水柿秀紀
文部科学省	基盤研究 (C)	CDK4/6阻害剤による抗腫瘍免疫応答活性化の解析と新規多剤併用免疫療法への応用	1,000,000	乳腺内科 小林隆之
文部科学省	基盤研究 (C)	T細胞解析を起点としたリンパ浮腫の免疫病態の解明・リンパ管吻合は抗癌免疫となるか	797,302	形成外科 今井洋文
文部科学省	基盤研究 (C)	未知の機能的リンパ管解剖の探求からリンパ浮腫外科治療の効果を向上させる研究	75,809	形成外科 関征央
文部科学省	基盤研究 (C)	術者のコツと経験則を拡張現実を用いて共有するシステムの開発	700,000	形成外科 矢野智之
文部科学省	基盤研究 (C)	WHO分類における新規脂肪性腫瘍の検証とテロメア維持機構を含む全体像の解明	1,200,000	病理部 山下享子
文部科学省	基盤研究 (C)	転移性乳癌患者における全身免疫病態の網羅的集団動態解析	800,000	がん免疫治療開発部 山下万貴子
文部科学省	基盤研究 (C)	進行下部直腸癌に対する待機療法の前向きコホートをを用いた縦断的循環腫瘍DNA解析	900,000	大腸外科 秋吉高志
文部科学省	基盤研究 (C)	経口抗がん薬のアドヒアランスをリアルタイムに評価しアドヒアランス向上を目指す研究	800,000	薬剤部 川上和宜
文部科学省	基盤研究 (C)	周術期乳癌患者における抗腫瘍B細胞免疫応答の解明	1,900,000	がん免疫治療開発部 北野滋久
文部科学省	基盤研究 (C)	子宮頸がん患者の放射線治療による腔関連有害事象に対する患者支援プログラムの開発	500,000	看護部 後藤志保
文部科学省	基盤研究 (C)	照射技術に応じた適切な放射線治療法の開発とその普及	80,000	放射線治療部 吉岡靖生
文部科学省	基盤研究 (C)	革新的治療法開発を目指した食道胃接合部腺癌の網羅的ゲノム解析	100,000	消化器外科 今村裕
文部科学省	基盤研究 (C)	食道癌手術後の呼吸器合併症減少を目指した革新的リスク評価法の確立	100,000	消化器外科 今村裕
文部科学省	基盤研究 (C)	食道癌手術後の呼吸器合併症減少を目指した革新的リスク評価法の確立	300,000	消化器外科 渡邊雅之
文部科学省	基盤研究 (C)	胃切除後の血糖変動を考慮した個別化栄養介入によるダンピング症候群の克服	100,000	消化器外科 渡邊雅之
文部科学省	基盤研究 (C)	胃切除後の血糖変動を考慮した個別化栄養介入によるダンピング症候群の克服	100,000	消化器外科 今村裕
文部科学省	基盤研究 (C)	組織血流動態と組織硬さを定量指標化する形成外科手術支援システム	100,000	形成外科 矢野智之
文部科学省	基盤研究 (C)	ブルスルー法は直腸癌のストーマレス肛門温存手術を実現可能にするか?	50,000	消化器外科 福長洋介
文部科学省	挑戦的研究(萌芽)	オンライン遺伝診療: 家系単位での遺伝医療を実現する遠隔診療ネットワークの構築	150,000	臨床遺伝医療部 植木有紗

受託元	種目/項目	研究テーマ	金額	研究者
文部科学省	若手研究	狭帯域光併用エンドサイトスコピーによる胃癌の診断法と診断性能の検討	1,200,000	上部消化管内科 堀内裕介
文部科学省	若手研究	抗原特異的CD8+T細胞を活性化させる免疫重粒子線治療の開発	1,800,000	大腸外科 栗山健吾
文部科学省	若手研究	タイトジャンクションの構造破綻を起点とした腫瘍とその微小環境特性の解明	1,200,000	消化器化学療法科 中山蔵馬
文部科学省	若手研究	オルガノイド技術と新規シンジェニックマウスモデルを用いた胆道癌・膵癌の治療開発	1,600,000	肝胆膵内科 春日章良
文部科学省	若手研究	EGFR陽性肺癌における小細胞癌転化の分子プロファイル解析と転化機構の解明	1,300,000	呼吸器内科 内堀健
文部科学省	若手研究	『皮膚－再生軟骨複合組織』による体表欠損治療法の検討	400,000	形成外科 鍵本慎太郎
文部科学省	若手研究	言語化困難な切除適応と治療結果のAI解析に基づく進行大腸癌肝転移の切除適応標準化	1,800,000	肝胆膵外科 小林光助
文部科学省	若手研究	非ウイルス性非アルコール性肝臓の発癌および再発に関連する腫瘍内細菌の同定	1,700,000	病理部 重松康之
文部科学省	若手研究	臓器横断的腫瘍内細菌叢の解析によるがん免疫応答への関わり の解明	1,200,000	消化器化学療法科 福岡聖大
文部科学省	若手研究	BH3 profilingを用いた、頭頸部扁平上皮癌に対する免疫療法の 治療戦略探索研究	85,515	先端医療開発科 在原洋平
文部科学省	若手研究	最適ながん免疫療法の実現に向けた根治的放射線治療施行頭頸 部癌患者の免疫応答解析	1,300,000	先端医療開発科 豊島雄二郎
文部科学省	若手研究	サルコペニア・肥満が膵癌患者予後を不良にする癌微小環境に おける分子機序の解明	1,300,000	肝胆膵内科 武田剛志
文部科学省	若手研究	炎症性大腸癌におけるDNA 損傷と免疫応答に着目した新たな 治療の開発	1,800,000	大腸外科 小澤直也
文部科学省	若手研究	Opioid-free anesthesiaによる重症睡眠時無呼吸症候群への治 療効果の解明	1,474,773	麻酔科 川上定俊
文部科学省	研究活動スタート支 援（基金）	機械学習を用いた直腸癌術後再発の予測モデルの構築と臨床応 用	1,000,000	大腸外科 坂本貴志
日本医療研究 開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用 化研究事業	全ゲノム情報等の高精度かつ迅速な患者還元および新たな創薬 等の創出を通じた高度化がんプレジジョン医療の実践（緑越）	349,962,308	先端医療開発センター がんゲノム医療開発部 上野貴之
日本医療研究 開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用 化研究事業	全ゲノム情報等の高精度かつ迅速な患者還元および新たな創薬 等の創出を通じた高度化がんプレジジョン医療の実践	145,884,616	先端医療開発センター がんゲノム医療開発部 上野貴之
日本医療研究 開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用 化研究事業	オールジャパン体制による食道がん等消化器難治がんの全ゲノ ム配列データ及び臨床情報による先端的創薬開発・全ゲノム医 療基盤構築	1,900,000	消化器外科 渡邊雅之
日本医療研究 開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用 化研究事業	高齢者多発性骨髄腫に対する標準治療の確立と治療効果・耐性 獲得に関わる分子基盤の探索	8,510,000	血液腫瘍科 丸山大
日本医療研究 開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用 化研究事業	進行直腸癌に対する導入/強化化学療法を併用した化学放射線 療法後の待機療法に関する多施設ランダム化第II相試験	20,100,000	大腸外科 秋吉高志
日本医療研究 開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用 化研究事業	乳がん患者の乳がん切除後疼痛症候群に対するスマホ精神療法 の開発：革新的な分散型基盤を用いた多機関共同無作為割付比 較試験	200,000	乳腺センター 大野真司 乳腺外科 植弘奈津恵
日本医療研究 開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用 化研究事業	早期転移発見による予後の向上を目指した乳がん術後の新たな 標準的フォローアップ法開発に関する研究	700,000	乳腺センター 乳腺内科 尾崎由記範
日本医療研究 開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用 化研究事業	切除不能膵癌に対する標準治療の確立に関する研究	1,000,000	肝胆膵内科 尾阪将人
日本医療研究 開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用 化研究事業	未治療高腫瘍量濾胞性リンパ腫に対するオピヌツズマブ+ベン ダムスチン療法後のオピヌツズマブ維持療法の省略に関するラン ダム化第Ⅲ相試験	1,000,000	画像診断センター 寺内隆司
日本医療研究 開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用 化研究事業	高齢者切除可能膵癌に対する術前ゲムシタピン+ S-1療法と術 前ゲムシタピン+ナバクリタキセル療法のランダム化比較第 III相試験 JCOG2101C	1,000,000	肝胆膵内科 尾阪将人
日本医療研究 開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用 化研究事業	早期非小細胞肺癌に対する体幹部定位放射線治療線量増加ラン ダム化比較試験	150,000	放射線治療部 徳増健二

受託元	種目/項目	研究テーマ	金額	研究者
日本医療研究 開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用 化研究事業	局所進行胃癌に対する術前化学療法の有効性を検証する第III相 試験	800,000	消化器センター 消化器外科 胃外科 布部創也
日本医療研究 開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用 化研究事業	cT1-4aN0-3胃癌におけるロボット支援下胃切除術の腹腔鏡下 胃切除術に対する優越性を検証するランダム化比較試験	800,000	消化器センター 消化器外科 胃外科 幕内梨恵
日本医療研究 開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用 化研究事業	薬物療法により臨床的完全奏効が得られたHER2陽性原発乳癌 に対する非切除療法の有効性に関する単群検証的試験	1,000,000	乳腺センター 乳腺内科 原文堅
日本医療研究 開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用 化研究事業	MAGE-A4抗原を発現する切除不能進行・再発腫瘍に対する CAR-T細胞療法の医師主導第I相試験	800,000	先端医療開発科 北野滋久
日本医療研究 開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用 化研究事業	進行胃癌を対象とした大網切除に対する大網温存の非劣性を検 証するランダム化比較第III相試験	300,000	消化器センター 消化器外科 胃外科 大橋孝
日本医療研究 開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用 化研究事業	がん患者のオピオイド不応の神経障害性疼痛への標準的薬物療 法の開発：国際共同試験ならびに普及実装に向けた研究	110,000	緩和治療科 松本禎久
日本医療研究 開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用 化研究事業	臨床病期I/II/III食道癌（T4を除く）に対する胸腔鏡下手術と 開胸手術のランダム化比較第III相試験	50,000	渡邊雅之
日本医療研究 開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用 化研究事業	高齢者HER2 陽性進行乳癌に対する T-DM1療法とベルツマ ブ＋トラスツマブ＋ドセタキセル療法のランダム化比較第 III相試験	500,000	乳腺センター 乳腺内科 原文堅
日本医療研究 開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用 化研究事業	Stage I/II舌癌に対する予防的頸部郭清省略の意義を検証する ための多施設共同臨床試験	600,000	頭頸科 福島啓文
日本医療研究 開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用 化研究事業	未治療低腫瘍量濾胞性リンパ腫に対するリツキシマブ早期介入 に関するランダム化比較第Ⅲ相試験	300,000	血液腫瘍科 丸山大
日本医療研究 開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用 化研究事業	非浸潤性乳管癌（DCIS）に対する有効かつ安全な患者 QOL の 向上をめざした手術省略による新たな標準治療開発のための多 施設共同臨床試験	300,000	乳腺センター 乳腺内科 原文堅
日本医療研究 開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用 化研究事業	進行軟部肉腫に対する二次治療における標準治療の開発のため の研究	400,000	総合腫瘍科 高橋俊二
日本医療研究 開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用 化研究事業	解析・データセンターにおける情報システム基盤の研究と構築 （繰越）	3,000,000	医療情報部 鈴木一洋 次世代がん研究シーズ育成プロジェクト 田中教生
日本医療研究 開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用 化研究事業	解析・データセンターにおける情報システム基盤の研究と構築	2,838,462	医療情報部 鈴木一洋 次世代がん研究シーズ育成プロジェクト 田中教生
日本医療研究 開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用 化研究事業	非小細胞肺癌に対するPD-1経路阻害薬の継続と休止に関する ランダム化比較第III相試験	500,000	呼吸器内科 柳谷典子
日本医療研究 開発機構 (AMED)	臨床研究・治験推進 研究事業	BRAF V600E変異型切除可能大腸癌遠隔転移に対する個別化周 術期治療の医師主導治験の実施	1,000,000	消化器化学療法科 篠崎英司
日本医療研究 開発機構 (AMED)	臨床研究・治験推進 研究事業	切除可能な高頻度マイクロサテライト不安定性結腸直腸癌に対 して免疫チェックポイント阻害薬を用いた根治治療の有効性・ 安全性を検討する研究	3,000,000	大腸外科 秋吉高志
日本医療研究 開発機構 (AMED)	臨床研究・治験推進 研究事業	子宮内膜異型増殖症・子宮体癌妊娠性温存療法に対するメトホ ルミンの適応拡大にむけた多施設共同医師主導治験	800,000	婦人科 温泉川真由
日本医療研究 開発機構 (AMED)	新興・再興感染症に 対する革新的医薬品 等開発推進研究事業	思春期女性への HPV ワクチン公費助成開始後における子宮頸 癌の HPV16/18 陽性割合の推移に関する疫学研究	300,000	婦人科 金尾祐之
日本医療研究 開発機構 (AMED)	橋渡し研究プログラ ム	進行性悪性黒色腫治療における抗PD-1抗体とのTM5614の安全 性・有効性を検討する第II相試験	1,000,000	皮膚腫瘍科皮膚科 吉野公二

受託元	種目/項目	研究テーマ	金額	研究者
日本医療研究開発機構 (AMED)	医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業	日・リトアニアにおける遺伝性乳癌の遺伝学的特徴の比較検討及び乳房MRIによる早期乳癌の検出能に関する研究	250,000	乳腺センター 大野真司 乳腺外科 稲荷均
日本医療研究開発機構 (AMED)	次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業	患者層別化マーカー探索技術の開発／がん免疫モニタリングによる患者層別化を行う基盤技術の開発	8,800,000	先端医療開発科 北野滋久
日本医療研究開発機構 (AMED)	若手研究者によるスタートアップ課題解決支援事業	がん切除後再建手術のための皮弁血流動態画像解析システムの開発	13,080,000	形成外科 辛川領
国立がん研究センター	国立がん研究センター研究開発費	成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	250,000	消化器センター胃外科 大橋学
国立がん研究センター	国立がん研究センター研究開発費	成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	0	消化器内科 肝胆膵内科 尾阪将人
国立がん研究センター	国立がん研究センター研究開発費	成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	0	超音波診断・IVR部 松枝清
国立がん研究センター	国立がん研究センター研究開発費	成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	0	血液腫瘍科 丸山大
国立がん研究センター	国立がん研究センター研究開発費	成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	0	乳腺センター 乳腺内科 原文堅
国立がん研究センター	国立がん研究センター研究開発費	成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	0	乳腺センター 乳腺内科 尾崎由記範
国立がん研究センター	国立がん研究センター研究開発費	成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	0	画像診断センター 寺内隆司
AYAがんの医療と支援のあり方研究会	研究助成 A 区分	C-CAT (Center for Cancer Genomics and Advanced Therapeutics) データを用いた若年がん患者に関連する遺伝子異常の探索的検討	500,000	総合腫瘍科 小野麻紀子
AYAがんの医療と支援のあり方研究会	研究助成 B 区分	遺伝性腫瘍と生殖医療技術に関するインターネットを用いたアンケート形式による意識調査	300,000	臨床遺伝医療部 新川裕美
MSD(株)	MSD医学教育助成	(仮称) 乳がん薬物療法管理プログラムを用いたirAEを含む副作用マネジメント力向上を目的とする教育事業	15,000,000	乳腺内科 原文堅
SGH財団	第5回SGHがん看護研究助成	「遺伝性腫瘍 当事者からのメッセージ」ツール作成と医療者に対する有用性の評価	500,000	臨床遺伝医療部 幅野愛理
ゲルベ・ジャパン	ゲルベ・ジャパン研究助成 (奨学寄附)	肺結節性病変の画像診断と報告書：人工知能モデル活用 Workflow	200,000	健診センター 上田和彦
ジャパンハートクラブ	2023年度ジャパンハートクラブ研究助成	がん患者に対する遠隔による腫瘍循環器リハビリテーション (Cardio Oncology Rehabilitation: CORE) 介入の安全性確認を中心としたパイロット臨床研究	651,000	総合内科 志賀太郎
慶應義塾大学薬学部KP会	星野尚美記念 薬学研究・活動助成金	高度管理医療電解水生成装置を活用した清潔区域の新規清掃法の検証	500,000	薬剤部 野々宮悠真
日本がん薬剤学会	研究助成金	薬剤師による検査値網羅的チェックアプリケーションを用いた注射抗がん薬実施患者に対するスクリーニングの評価とリスク因子解析	150,000	薬剤部 橋本幸輝
日本健康増進財団	生活習慣病予防等に関する研究助成金	任意型内視鏡検診におけるダブルチェック機構としての Artificial intelligence(AI)の構築	1,000,000	上部消化管内科 渡海義隆
日本対がん協会	リレー・フォー・ライフ プロジェクト 未来	患者主体外科周術期早期回復プログラムに関するアプリケーションの開発導入およびその有用性に関する前向き研究	500,000	肝胆膵外科 小林光助
日本臨床腫瘍薬学会	がん研究助成	胃がん術後補助化学療法における薬剤師外来の有用性の検討	200,000	薬剤部 中村匡志
武田科学振興財団	医学系研究助成 (がん領域 (臨床))	肥満を有するがん患者に対するフォーミュラ食を用いた術前減量プログラムの安全性と有効性への助成	2,000,000	胃外科 松井亮太
武田科学振興財団	医学系研究助成 (がん領域 (臨床))	血漿定量化ctDNAによる画像的「切除不能・可能」肺癌の定義付けに関する研究への助成	2,000,000	呼吸器外科 松浦陽介
臨床薬理研究振興財団	研究奨励金	実臨床での悪液質患者に対するアナモレリン錠長期投与におけるQOL改善効果の解明	3,000,000	薬剤部 小林一男

12. 学術研究講演

回	日付	開催時間	演題	発表者
第312回	2023年5月8日	18:00～19:00	「新設脳腫瘍外科について」	がん研有明病院 脳腫瘍外科 宮北康二先生
第313回	2023年7月26日	17:30～	"Interesting Pancreas Cases"	メイヨークリニック膵臓内科教授 Santhi Vege先生
第314回	2023年8月8日	17.30～	大野真司先生退任記念講演会	がん研有明病院乳腺センター長 大野真司
第315回	2023年10月10日	18.00	がん医療におけるアピアランスケア	アピアランスビューティクリニック院長 堀口和美
第316回	2023年10月18日	17.15～	「病院における医療機器開発：Stanford Biodesign の例を参考に」	Medical Director/Research Associate, Experimental Interventional Laboratory, Division of Cardiology, Stanford University 池野 文昭
第317回	2023年12月23日	18:00～19:00	ランサムウェア感染で診療システムが停止した日のこと ～大阪急性期・総合医療センター様の実体験に学ぶ～	大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター医療情報部 診療情報管理室 森藤 祐史 先生
第318回	2024年2月8日	18:00～19:00	「臨床試験とトランスレーショナルリサーチの現状-CRC、ナース、 薬剤師に知ってもらいたい米国のチーム医療-」	ダートマス大学 白井啓祐先生
第319回	2024年2月29日	18:00～19:00	「病院内における仕事と治療の両立支援」	一般社団法人がんチャレンジャー 代表理事 花木 裕介先生
第320回	2024年3月7日	18:00～19:30	2023年度 Best English Paper 受賞記念講演会	
			【ゴールド賞】	
			A randomised phase II study of modified FOLFIRINOX versus gemcitabine plus nab-paclitaxel for locally advanced pancreatic cancer (JCOG1407).	肝胆膵内科 尾阪将人医師
			【シルバー賞】	
			Perioperative TAS-118 plus oxaliplatin in patients with locally advanced gastric cancer: APOLLO-11 study.	消化器化学療法科/高張大亮医師
			Ringlike peripheral increased iodine concentration for the differentiation of primary lung cancer and pulmonary metastases on contrast-enhanced dual-energy CT.	画像診断部 /佐藤嘉尚医師
			Evaluation of the four-dimensional motion of lung tumors during end- exhalation breath-hold conditions using volumetric cine computed tomography images.	放射線治療チーム/上間達也技師
			【ブロンズ賞】	
			Oncological impact of unexpected horizontal tumor spread in gastric cancer that requires total gastrectomy.	消化器外科 小寺澤康文医師
			Performance of an artificial intelligence-based diagnostic support tool for early gastric cancers: A retrospective study.	下部消化管内科 石岡充彬医師
			Clinical characteristics and long-term prognosis of type 1 gastric neuroendocrine tumors in a large Japanese national cohort.	上部消化管内科 並河健医師

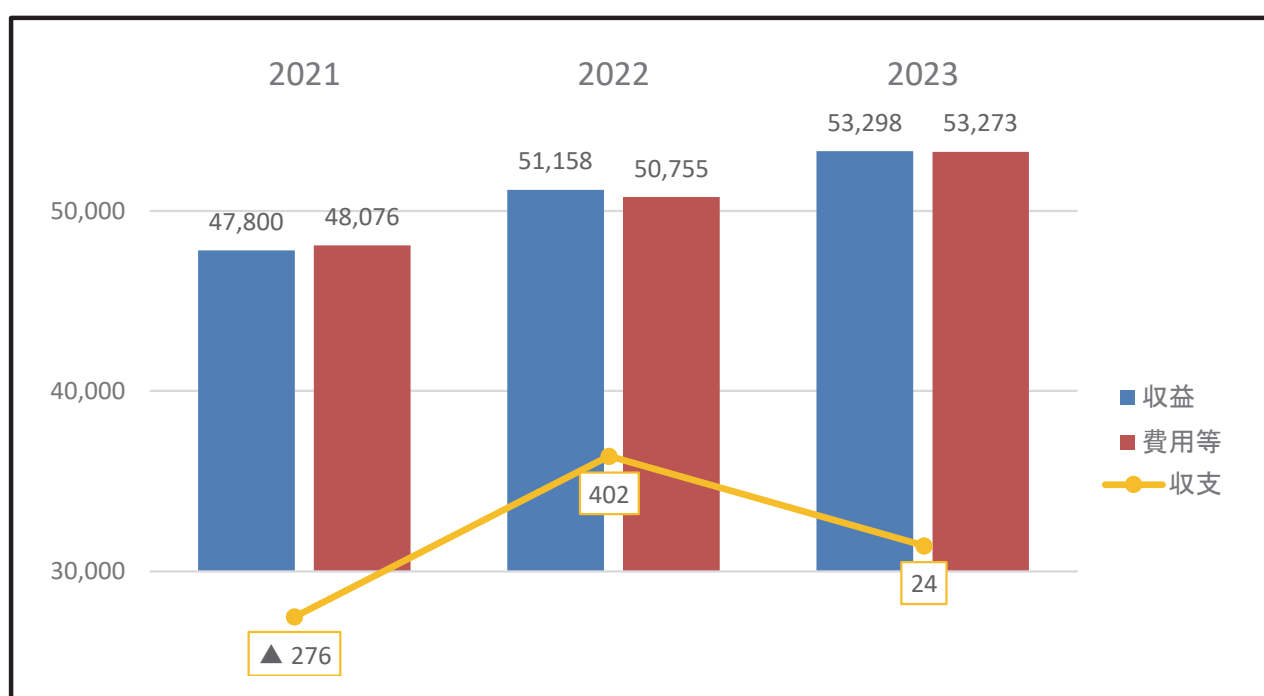
13. 財政状況

正味財産増減計算書 (2021年度-2023年度)

(単位: 百万円)

科 目	2021年度	2022年度	2023年度
経常収支の部			
経常収益			
基本財産運用益	3	3	4
事業収益	45,333	48,841	51,672
受取補助金等	1,497	762	618
受取負担金	16	21	22
受取寄付金	517	1,103	571
雑収益	434	428	412
合計	47,800	51,158	53,298
経常費用			
事業費	47,133	49,857	52,334
管理費	846	897	932
合計	47,979	50,754	53,266
評価損益等	▲ 15	13	0
当期経常収支 ①	▲ 193	417	31
経常外収支の部			
当期経常外収支 ②	▲ 83	▲ 15	▲ 7
当期 正味財産増減 ③=①+②	▲ 276	402	24

※ 端数処理のため、合計が合わないことがあります。





公益財団法人 **がん**研究会